流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書3

―流山市市野谷入台遺跡―

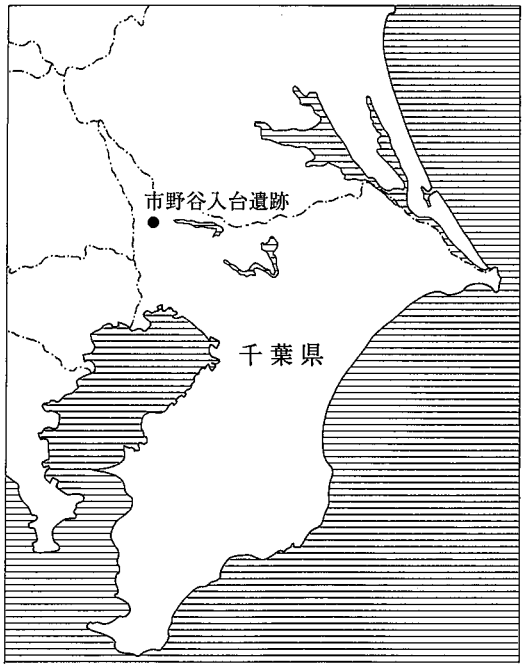
平成20年11月

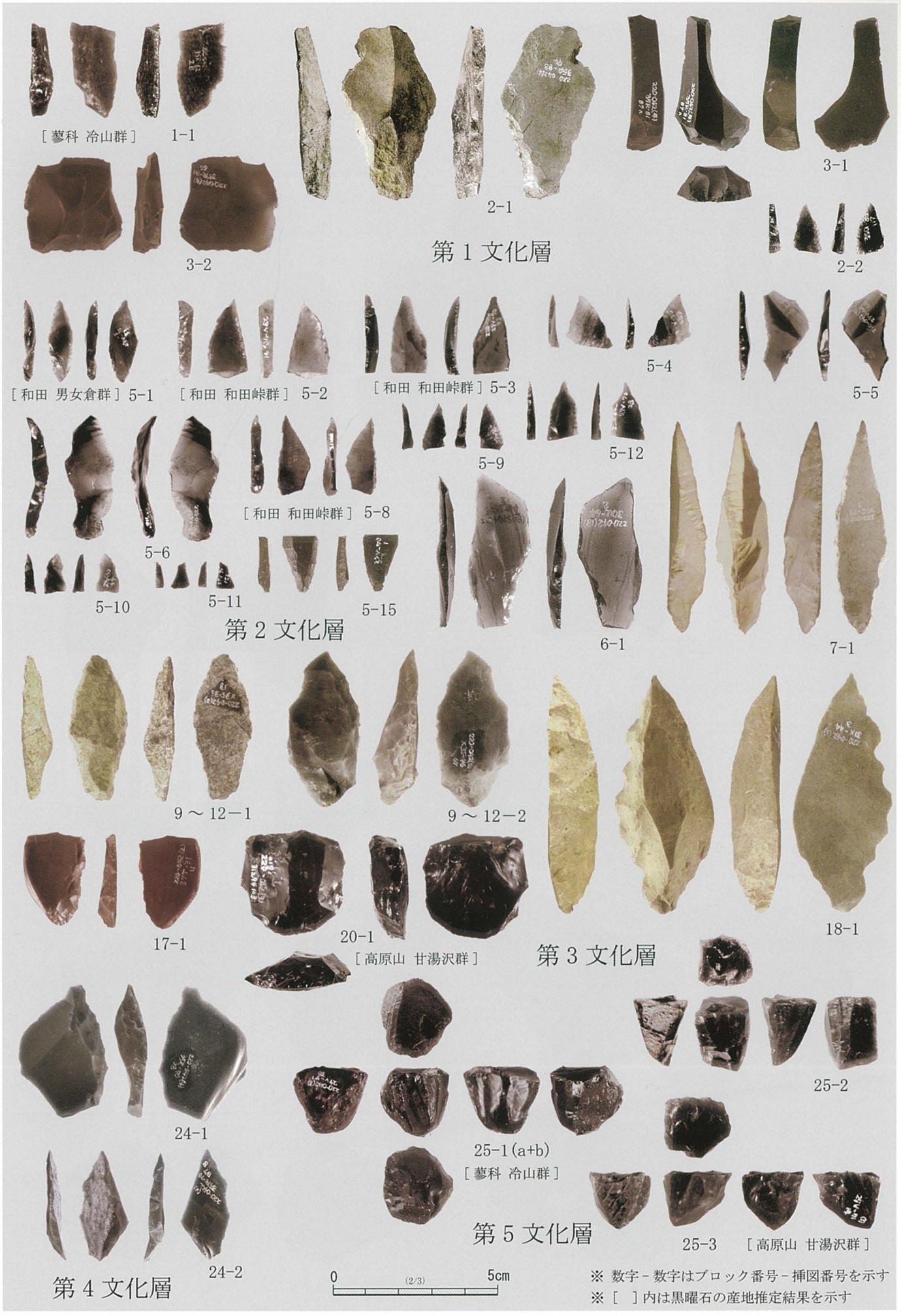
独立行政法人　都市再生機構

財団法人　千葉県教育振興財団

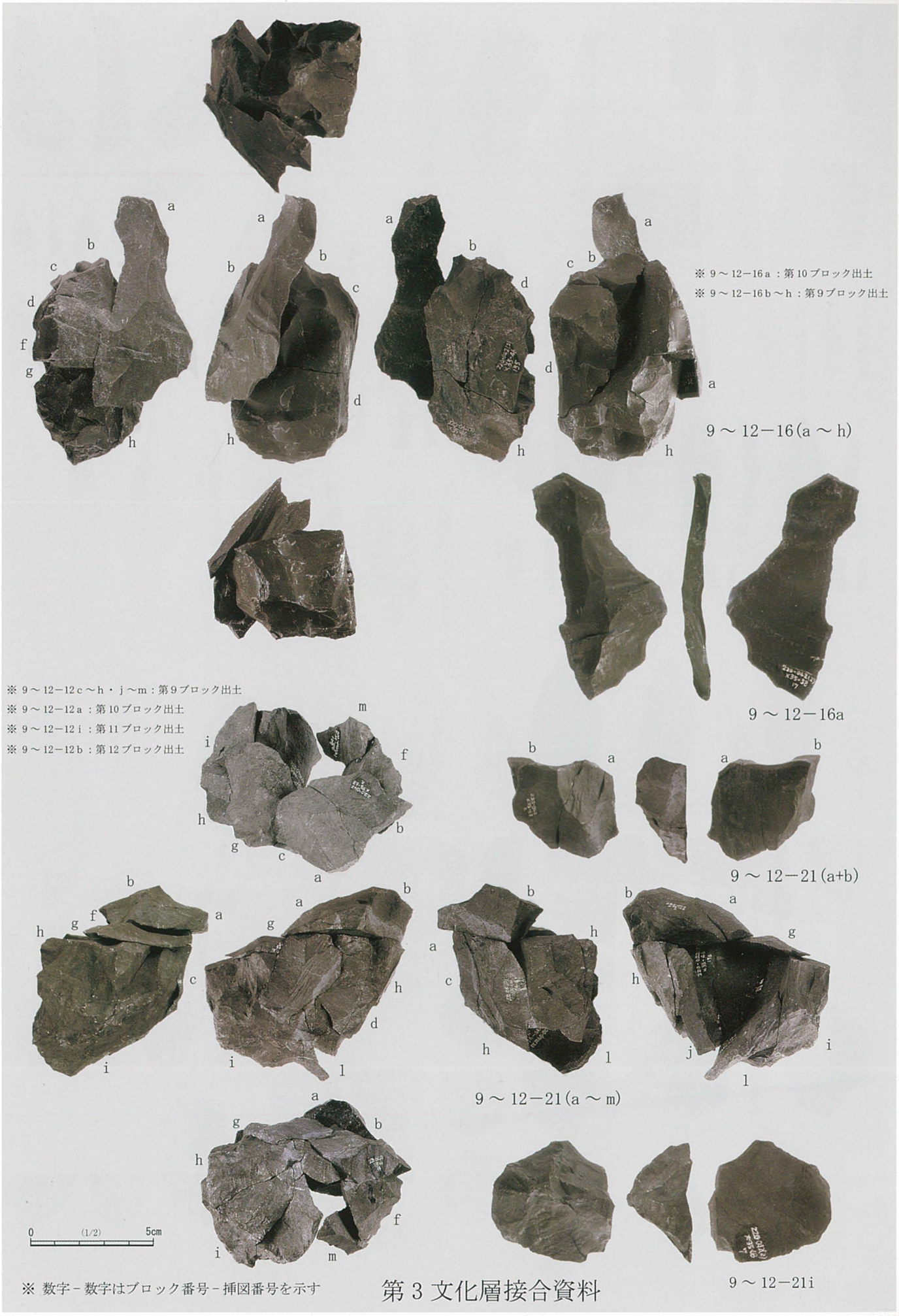
流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書3

—流山市市野谷入台遺跡—





旧石器時代文化層別主要石器



旧石器時代　第3文化層接合資料

序　文

財団法人千葉県教育振興財団（文化財センター）は、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され、以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その結果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県教育振興財団調査報告書第606集として、独立行政法人都市再生機構の流山新市街地地区土地区画整理事業に伴って実施した流山市市野谷入台遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、旧石器時代のブロック群や古墳時代中期の石製模造品類の工房を伴う集落跡が発見されており、この地域の歴史を知る上で多くの貴重な成果が得られております。

刊行に当たり、本書が学術資料として、また埋蔵文化財の保護に対する理解を深めるための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々を始めとする関係の皆様や関係機関、また、発掘から整理までご苦労をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成20年11月

財団法人　千葉県教育振興財団

理事長　福　島　　義　弘

凡　例

1　本書は、独立行政法人都市再生機構による流山新市街地地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。

2　本書に収録した遺跡は、千葉県流山市市野谷653－1ほかに所在する市野谷入台遺跡（遺跡コード220－042）である。

3　発掘調査から報告書作成に至る業務は、独立行政法人都市再生機構の委託を受け、財団法人千葉県教育振興財団が実施した。

4　発掘調査及び整理作業の担当者並びに実施期間は本文中に記載した。

5　本書の執筆は第２章及び第７章第１節を上席研究員　新田浩三が、第３章第１節・第４節を上席研究員　安井健一が、それ以外の部分を主席研究員　伊藤智樹が担当し、編集は伊藤と新田が担当した。

6　貝類の同定に当たっては、前管理普及部長　小宮　孟の協力を得た。

7　発掘調査から報告書の刊行に至るまで、千葉県教育庁教育振興部文化財課、独立行政法人都市再生機構、流山市教育委員会、椙山林継氏、笹生　衛氏の御指導、御協力を得た。

8　本書で使用した地形図は以下のとおりである。

第３図　国土地理院発行　1/25,000地形図「流山」（N1－54－25－1－2）

9　周辺航空写真は、京葉測量株式会社による昭和48年撮影のものを使用した。

10　本書で使用した図面の方位は、すべて座標北であり、測量値は日本測地系による。

11　第２章第９節の黒曜石産地推定に当たっては、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団（主に大屋道則氏、国武貞克氏）のご厚意により、黒曜石原産地を特定することができた。御指導、御協力に対して感謝の意を表します。この分析結果を基に文化層別の黒曜石産地の変遷を記載した。

12　挿図に使用したスクリーントーンの用例は、次のとおりである。

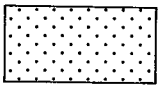
● 土器

■ 石製品

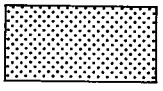
○ 土製品

▲ 鉄製品

焼土・炉



カマド・山砂



粘土

本文目次

第１章 はじめに …… 1
　第１節　調査の概要…… 1
　　１　調査の経緯と経過…… 1
　　２　調査の方法と概要…… 2
　　３　遺跡の位置と環境…… 5
第２章　旧石器時代 …… 11
　第１節　概要 …… 11
　第２節　基本層序 …… 16
　第３節　第１文化層 …… 17
　第４節　第２文化層 …… 29
　第５節　第３文化層 …… 42
　第６節　第４文化層 …… 88
　第７節　第５文化層…… 101
　第８節　単独出土石器…… 106
　第９節　黒曜石産地推定結果について…… 109
　第10節　石器属性計測基準…… 111
第３章　縄文時代…… 135
　第１節　竪穴住居跡…… 135
　第２節　陥穴…… 135
　第３節　土坑…… 138
　第４節　グリッド出土遺物…… 142
第４章　古墳時代…… 152
　第１節　竪穴住居跡…… 152
　第２節　土坑…… 219
　第３節　グリッド出土遺物…… 225
第５章　奈良時代…… 227
　第１節　竪穴住居跡…… 227
第６章　中世その他…… 231
　第１節　土坑・竪穴建物…… 231
第７章　まとめ…… 240
　第１節　旧石器時代…… 240
　第２節　出土土器と集落の変遷…… 245
　第３節　石製模造品について…… 256
　第４節　中世竪穴建物について…… 258

挿図目次

第 1 図　調査区域と周辺の地形 …… 3
第 2 図　上層確認・本調査範囲 …… 4
第 3 図　遺跡の位置と周辺の遺跡 …… 6
第 4 図　遺構分布図 …… 8
第 5 図　遺構分布図（主要部①）…… 9
第 6 図　遺構分布図（主要部②）…… 10
第 7 図　旧石器時代確認・本調査範囲と
　　石器集中地点位置図…… 12
第 8 図　旧石器時代本調査範囲と文化層別
　　ブロック位置図…… 13
第 9 図　基本層序…… 16
第 10 図　第１文化層ブロック分布図…… 18
第 11 図　第１文化層第１ブロック遺物分布図…… 20
第 12 図　第１文化層第１ブロック出土石器…… 21
第 13 図　第１文化層第２ブロック遺物分布図…… 23
第 14 図　第１文化層第２ブロック出土石器…… 24
第 15 図　第１文化層第３ブロック遺物分布図…… 26
第 16 図　第１文化層第３ブロック出土石器…… 27
第 17 図　第１文化層第４ブロック遺物分布図…… 28
第 18 図　第１文化層第４ブロック出土石器…… 28
第 19 図　第１文化層単独出土石器…… 28
第 20 図　第２文化層ブロック分布図…… 30
第 21 図　第２文化層第５ブロック遺物分布図…… 32
第 22 図　第２文化層第５ブロック出土石器（１）…… 34
第 23 図　第２文化層第５ブロック出土石器（２）…… 35
第 24 図　第２文化層第５ブロック出土石器（３）…… 36
第 25 図　第２文化層第６ブロック出土石器…… 37
第 26 図　第２文化層第６ブロック遺物分布図…… 38
第 27 図　第２文化層第７ブロック遺物分布図…… 39
第 28 図　第２文化層第７ブロック出土石器…… 40
第 29 図　第２文化層第８ブロック遺物分布図…… 41
第 30 図　第２文化層第８ブロック出土石器…… 41
第 31 図　第３文化層ブロック分布図…… 43
第 32 図　第３文化層第９～12ブロック剥片石器
　　母岩別分布図…… 44
第 33 図　第３文化層第９～12ブロック礫・礫片
　　母岩別分布図…… 45
第 34 図　第３文化層第９ブロック器種別分布図…… 48
第 35 図　第３文化層第10ブロック器種別分布図…… 49
第 36 図　第３文化層第11ブロック器種別分布図…… 51
第 37 図　第３文化層第12ブロック器種別分布図…… 52
第 38 図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（１）… 55
第 39 図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（２）… 56
第 40 図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（３）… 57
第 41 図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（４）… 58
第 42 図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（５）… 59
第 43 図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（６）… 60
第 44 図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（７）… 61
第 45 図　第３文化層第13ブロック出土石器…… 62
第 46 図　第３文化層第13ブロック遺物分布図…… 63
第 47 図　第３文化層第14ブロック出土石器…… 64
第 48 図　第３文化層第14ブロック遺物分布図…… 65
第 49 図　第３文化層第15ブロック出土石器…… 66
第 50 図　第３文化層第15ブロック遺物分布図…… 67
第 51 図　第３文化層第16ブロック出土石器…… 68
第 52 図　第３文化層第16ブロック遺物分布図…… 69
第 53 図　第３文化層第17ブロック出土石器…… 70
第 54 図　第３文化層第17ブロック遺物分布図…… 70
第 55 図　第３文化層第18ブロック遺物分布図…… 72
第 56 図　第３文化層第18ブロック出土石器（１）…… 73
第 57 図　第３文化層第18ブロック出土石器（２）…… 74
第 58 図　第３文化層第18ブロック出土石器（３）…… 75
第 59 図　第３文化層第18ブロック出土石器（４）…… 76
第 60 図　第３文化層第19ブロック遺物分布図…… 78
第 61 図　第３文化層第19ブロック出土石器（１）…… 79
第 62 図　第３文化層第19ブロック出土石器（２）…… 80
第 63 図　第３文化層第20ブロック遺物分布図…… 82
第 64 図　第３文化層第20ブロック出土石器…… 83
第 65 図　第３文化層第21ブロック出土石器…… 84
第 66 図　第３文化層第21ブロック遺物分布図…… 85
第 67 図　第３文化層第22ブロック遺物分布図…… 86
第 68 図　第３文化層第22ブロック出土石器…… 87
第 69 図　第３文化層単独出土石器…… 87
第 70 図　第４文化層ブロック分布図…… 88
第 71 図　第４文化層第23ブロック器種別分布図…… 90
第 72 図　第４文化層第23ブロック母岩別分布図…… 91

第73図　第4文化層第23ブロック出土石器（1）…… 92
第74図　第4文化層第23ブロック出土石器（2）…… 93
第75図　第4文化層第23ブロック出土石器（3）…… 94
第76図　第4文化層第23ブロック出土石器（4）…… 95
第77図　第4文化層第23ブロック出土石器（5）…… 96
第78図　第4文化層第24ブロック遺物分布図…… 98
第79図　第4文化層第24ブロック出土石器（1）…… 99
第80図　第4文化層第24ブロック出土石器（2）…… 100
第81図　第5文化層第25ブロック器種別分布図 …… 102
第82図　第5文化層第25ブロック母岩別分布図 …… 103
第83図　第5文化層第25ブロック出土石器 …… 105
第84図　旧石器時代単独出土石器（1）…… 107
第85図　旧石器時代単独出土石器（2）…… 108
第86図　SI001…… 136
第87図　SK001・002・020・041…… 137
第88図　SK044 …… 138
第89図　SK003・015・032・035…… 139
第90図　SK036・037・038・039・040・042・043 …… 141
第91図　グリッド出土縄文土器（1）…… 143
第92図　グリッド出土縄文土器（2）…… 144
第93図　グリッド出土縄文土器（3）…… 145
第94図　グリッド出土縄文土器（4）…… 146
第95図　グリッド出土縄文時代石器（1）…… 148
第96図　グリッド出土縄文時代石器（2）…… 149
第97図　グリッド出土縄文時代石器（3）…… 150
第98図　グリッド出土縄文時代石器（4）…… 151
第99図　SI002（1） …… 153
第100図　SI002（2） …… 154
第101図　SI003（1） …… 155
第102図　SI003（2） …… 156
第103図　SI004…… 158
第104図　SI005…… 159
第105図　SI006…… 161
第106図　SI007…… 162
第107図　SI008…… 163
第108図　SI009（1） …… 165
第109図　SI009（2） …… 166
第110図　SI010（1） …… 168
第111図　SI010（2） …… 169
第112図　SI011…… 170
第113図　SI012（1） …… 171
第114図　SI012（2） …… 172
第115図　SI013…… 173
第116図　SI014…… 174
第117図　SI015…… 175
第118図　SI016（1） …… 177
第119図　SI016（2） …… 178
第120図　SI017（1） …… 179
第121図　SI017（2） …… 181
第122図　SI017（3） …… 182
第123図　SI018（1） …… 183
第124図　SI018（2） …… 184
第125図　SI019…… 185
第126図　SI020…… 187
第127図　SI021（1） …… 189
第128図　SI021（2） …… 190
第129図　SI022…… 191
第130図　SI023…… 193
第131図　SI024…… 194
第132図　SI025…… 196
第133図　SI026…… 197
第134図　SI027…… 198
第135図　SI028（1） …… 200
第136図　SI028（2） …… 201
第137図　SI029（1） …… 202
第138図　SI029（2） …… 203
第139図　SI030…… 204
第140図　SI031…… 205
第141図　SI032（1） …… 207
第142図　SI032（2） …… 208
第143図　SI033（1） …… 209
第144図　SI033（2） …… 210
第145図　SI034（1） …… 211
第146図　SI034（2） …… 212
第147図　SI035（1） …… 213
第148図　SI035（2） …… 214
第149図　SI035（3） …… 215
第150図　SI036（1） …… 217
第151図　SI036（2） …… 218
第152図　SK004・005・007・008・009 …… 220
第153図　SK010・011・012・013・014・018…… 222
第154図　SK019・030AB・031…… 224

第155図　SK033 …… 225
第156図　グリッド出土遺物 …… 226
第157図　SI037…… 227
第158図　SI038…… 228
第159図　SI039…… 229
第160図　SI040…… 230
第161図　SK021・022・023・024…… 232
第162図　SK025・026・027 …… 234
第163図　SK028・029…… 235
第164図　SK006・016・017・034…… 236
第165図　SD001・002・003 …… 238
第166図　SD003及びグリッド出土遺物 …… 239
第167図　旧石器時代文化層別主要石器（1）…… 242
第168図　旧石器時代文化層別主要石器（2）…… 243
第169図　古墳時代出土土器変遷図（1）…… 250
第170図　古墳時代出土土器変遷図（2）…… 251
第171図　集落変遷図（1）…… 254
第172図　集落変遷図（2）…… 255
第173図　時期別主軸方向分布図 …… 256
第174図　弥生時代・古墳時代以降玉類出土遺跡分布図… 258

表　目　次

第1表　発掘調査一覧…… 1
第2表　遺構番号新旧対照表…… 5
第3表　周辺遺跡一覧表…… 7
第4表　文化層ブロック別器種組成表 …… 14
第5表　文化層ブロック別石材組成表 …… 15
第6表　第1文化層器種石材組成表 …… 17
第7表　第1文化層第1ブロック石器組成表 …… 19
第8表　第1文化層第2ブロック石器組成表 …… 22
第9表　第1文化層第3ブロック石器組成表 …… 25
第10表　第1文化層第4ブロック石器組成表 …… 27
第11表　第2文化層器種石材組成表 …… 29
第12表　第2文化層第5ブロック石器組成表 …… 31
第13表　第2文化層第6ブロック石器組成表 …… 37
第14表　第2文化層第7ブロック石器組成表 …… 39
第15表　第2文化層第8ブロック石器組成表 …… 40
第16表　第3文化層器種石材組成表 …… 46
第17表　第3文化層第9ブロック石器組成表 …… 47
第18表　第3文化層第10ブロック石器組成表 …… 49
第19表　第3文化層第11ブロック石器組成表 …… 51
第20表　第3文化層第12ブロック石器組成表……52
第21表　第3文化層第13ブロック石器組成表 …… 62
第22表　第3文化層第14ブロック石器組成表 …… 64
第23表　第3文化層第15ブロック石器組成表 …… 66
第24表　第3文化層第16ブロック石器組成表 …… 68
第25表　第3文化層第17ブロック石器組成表 …… 70
第26表　第3文化層第18ブロック石器組成表 …… 71
第27表　第3文化層第19ブロック石器組成表 …… 77
第28表　第3文化層第20ブロック石器組成表 …… 81
第29表　第3文化層第21ブロック石器組成表 …… 84
第30表　第3文化層第22ブロック石器組成表 …… 86
第31表　第4文化層器種石材組成表 …… 88
第32表　第4文化層第23ブロック石器組成表 …… 89
第33表　第4文化層第24ブロック石器組成表 …… 97
第34表　第5文化層器種石材組成表…… 101
第35表　第5文化層第25ブロック石器組成表…… 101
第36表　単独出土器種石材組成表…… 106
第37表　旧石器属性表…… 112
第38表　SK003貝類出土数量 …… 140
第39表　縄文時代石器属性表…… 147
第40表　出土銭貨一覧表…… 239
第41表　高杯の分類と遺構別伴出数量…… 246
第42表　甕の分類と遺構別伴出数量…… 247
第43表　編年対応表…… 253
第44表　石製模造品類集計表…… 257
第45表　竪穴住居跡一覧表…… 264
第46表　石製模造品類属性表…… 265
第47表　土製品（土玉・土錘）計測表…… 267
第48表　軽石計測表…… 268
第49表　出土土器観察表…… 269

図版目次

巻頭図版１　旧石器時代文化層別主要石器
巻頭図版２　旧石器時代　第３文化層接合資料

図版１　遺跡周辺航空写真
図版２　２区・４区・５区調査前風景
図版３　２区航空写真
図版４　旧石器第15ブロック遺物出土状況
旧石器第17ブロック遺物出土状況
旧石器第18ブロック遺物出土状況
図版５　SI001、SI001遺物出土状況
SK001、SK002
図版６　SK041、SK044、SK003、SK032、SK036
SK037、SK040、SK038、SK042、SK043
図版７　SI002、SI003、SI003遺物出土状況
図版８　SI004、SI005、SI006
図版９　SI007、SI007遺物出土状況
SI008
図版10　SI009、SI009遺物出土状況
SI010、SI010遺物出土状況
図版11　SI011、SI012、SI012遺物出土状況
SI013
図版12　SI014、SI014遺物出土状況
SI015
図版13　SI016、SI016遺物出土状況
SI017、SI017遺物出土状況
図版14　SI018、SI019、SI020、SI021
図版15　SI022、SI023、SI023遺物出土状況
SI024遺物出土状況、SI024
図版16　SI025、SI025遺物出土状況
SI026遺物出土状況、SI026
図版17　SI027、SI028
SI028遺物出土状況、SI029
図版18　SI030、SI031
SI031遺物出土状況
図版19　SI032、SI033、SI034
図版20　SI034遺物出土状況
SI035、SI035遺物出土状況
SI026
図版21　SK004、SK007、SK008、SK009、SK011
SK012、SK018、SK030、SK031、SK033
図版22　SI037、SI038、SI039
図版23　SI040、SK021、SK022
SK023、SK024、SK025、SK026
図版24　SK027、SK028、SK029、SD001北側
SD002、SD003、SD001南側
図版25　第１文化層　第１～４ブロック・単独出土石器
図版26　第２文化層　第５ブロック出土石器（１）
図版27　第２文化層　第５（２）・６～８ブロック出土石器
図版28　第３文化層　第９～12ブロック出土石器（１）
図版29　第３文化層　第９～12ブロック出土石器（２）
図版30　第３文化層　第９～12ブロック出土石器（３）
図版31　第３文化層　第13～17ブロック出土石器
図版32　第３文化層　第18ブロック出土石器
図版33　第３文化層　第19ブロック出土石器
図版34　第３文化層　第20～22ブロック・単独出土石器
図版35　第４文化層　第23ブロック出土石器（１）
図版36　第４文化層　第23ブロック出土石器（２）
図版37　第４文化層　第24ブロック出土石器
図版38　第５文化層　第25ブロック出土石器
図版39　単独出土石器
図版40　グリッド・竪穴住居跡出土土器（１）
図版41　竪穴住居跡出土土器（２）
図版42　竪穴住居跡出土土器（３）
図版43　竪穴住居跡出土土器（４）
図版44　竪穴住居跡出土土器（５）
図版45　竪穴住居跡出土土器（６）
図版46　竪穴住居跡出土土器（７）
図版47　竪穴住居跡・土坑出土土器（８）
図版48　遺構・グリッド出土縄文土器
図版49　グリッド出土縄文土器
図版50　縄文時代石器
図版51　石製模造品類（１）
図版52　石製模造品類（２）
図版53　土玉・土錘
図版54　軽石・黒曜石石核
図版55　砥石・鉄製品・銭貨

第１章　はじめに

第１節　調査の概要

１　調査の経緯と経過

独立行政法人都市再生機構は、茨城県つくば市と都心を結ぶつくばエクスプレス（常磐新線）の沿線整備計画に関連して、千葉県流山市市野谷から東初石、十太夫地区一帯の土地区画整理事業を計画した。この事業は流山市新拠点構想として位置づけられ、施行にあたり、独立行政法人都市再生機構から区域内の「埋蔵文化財の所在の有無とその取り扱いについて」の照会文書が千葉県教育委員会宛に提出された。区域内には本遺跡（市野谷入台遺跡）を含め市野谷宮尻遺跡、市野谷二反田遺跡等の包蔵地15か所、野馬土手３か所が所在しており、その取り扱いについて千葉県教育委員会との間で度重なる協議が行われた。その結果、事業区域内には山林・雑木林・畑地のほか既存の住宅地が点在していることから、住宅地や緑地など現状保存する区域を策定し、現状保存が困難な区域については、やむを得ず記録保存の措置を講ずることで協議が整い、財団法人千葉県教育振興財団が発掘調査を実施することとなった。

市野谷入台遺跡の発掘調査は、平成12年５月からの第１次の確認調査を皮切りに、平成17年度まで26次にわたって実施し、調査対象面積126,488㎡、上層本調査18,446㎡、下層本調査2,198㎡を実施した。各年度毎の調査内容及び担当者等は第１表のとおりである。

第１表　発掘調査一覧

年度	調査次	対象面積	確認調査(㎡)		本調査(㎡)		調査期間	調査事務所長	担当者
			上層	下層	上層	下層			
平成12	(1)	3,757	378	192	—	—	12.5.1～12.6.29	及川淳一	雨宮龍太郎、角谷敏昭
	(2)	25,431	2,550	1,020	5,175	570	12.7.3～13.3.5	及川淳一	角谷敏昭、森本和男
	(3)	11,400	1,140	456	6,000	380	12.11.1～13.3.27	及川淳一	森本和男
平成13	(4)	20,317	2,128	788	—	1,188	13.4.5～13.8.31	田坂　浩	雨宮龍太郎
	(5)	8,328	932	344	1,110	—	13.6.1～13.9.14	田坂　浩	岡田誠造
	(6)	5,124	684	120	—	—	13.9.3～13.10.31	田坂　浩	雨宮龍太郎
	(7)	7,491	840	304	2,048	60	13.10.16～14.1.31	田坂　浩	岡田誠造
	(8)	1,568	180	88	941	—	14.1.7～14.1.31	田坂　浩	岡田誠造
	(9)	8,526	912	380	3,172	—	13.11.1～14.1.31	田坂　浩	雨宮龍太郎
	(10)	460	46	12	—	—	14.2.1～14.2.28	田坂　浩	角谷敏昭
	(11)	440	44	12	—	—	14.2.8～14.2.28	田坂　浩	角谷敏昭
	(12)	3,997	424	80	—	—	14.2.1～14.3.22	田坂　浩	雨宮龍太郎
平成14	(13)	590	100	24	—	—	14.4.1～14.4.30	田坂　浩	岡田誠造
	(14)	600	120	24	—	—	14.4.1～14.4.30	田坂　浩	岡田誠造
	(15)	1,410	168	88	—	—	14.8.1～14.8.16	田坂　浩	岡田誠造
	(16)	3,358	340	216	—	—	14.10.10～14.10.31	田坂　浩	岡田誠造
	(17)	3,168	320	80	—	—	14.12.2～14.12.20	田坂　浩	竹内久美子
平成15	(18)	2,244	380	110	—	—	15.4.14～15.4.30	田坂　浩	福田　誠
	(19)	2,855	308	80	—	—	15.6.1～15.6.30	田坂　浩	高橋博文
	(20)	1,445	190	44	—	—	15.7.14～15.7.31	田坂　浩	立石圭一
	(21)	5,104	582	184	—	—	15.6.16～15.7.31	田坂　浩	立石圭一
	(22)	2,000	200	40	—	—	16.3.1～16.3.26	田坂　浩	立石圭一
平成16	(23)	3,905	705	290	—	—	16.4.5～16.5.21	田坂　浩	高橋博文
	(24)	1,540	154	32	—	—	17.3.7～17.3.31	田坂　浩	久高将勝
平成17	(25)	980	98	19	—	—	18.1.16～18.2.10	田坂　浩	郷堀英司
	(26)	450	450	—	—	—	18.3.9	田坂　浩	郷堀英司

整理作業は、平成15年度から発掘調査と並行して開始した。当初は、西部調査事務所で平成12年度から平成14年度調査分の整理を開始したが、後に平成15年度以降の調査分を一本化し、平成17年度からは調査研究部整理課で実施することになった。整理作業の体制は下記のとおりである。

平成15年度　記録整理の一部　西部調査事務所長　田坂　浩　副所長　高橋博文

平成16年度　記録整理の一部～接合の一部　西部調査事務所長　田坂　浩　副所長　高橋博文
上席研究員　郷堀英司

平成17年度　記録整理の一部～実測の一部　西部調査事務所長　田坂　浩　主席研究員　石倉亮治
整理課長　加藤修司　上席研究員　糸川道行

平成18年度　実測の一部～トレースの一部　整理課長　郷田良一　上席研究員　小林信一

平成19年度　トレースの一部～原稿の一部　整理課長　高田　博　主席研究員　伊藤智樹
上席研究員　新田浩三　安井健一

平成20年度　原稿の一部～編集　整理課長　高田　博　主席研究員　伊藤智樹　上席研究員　新田浩三

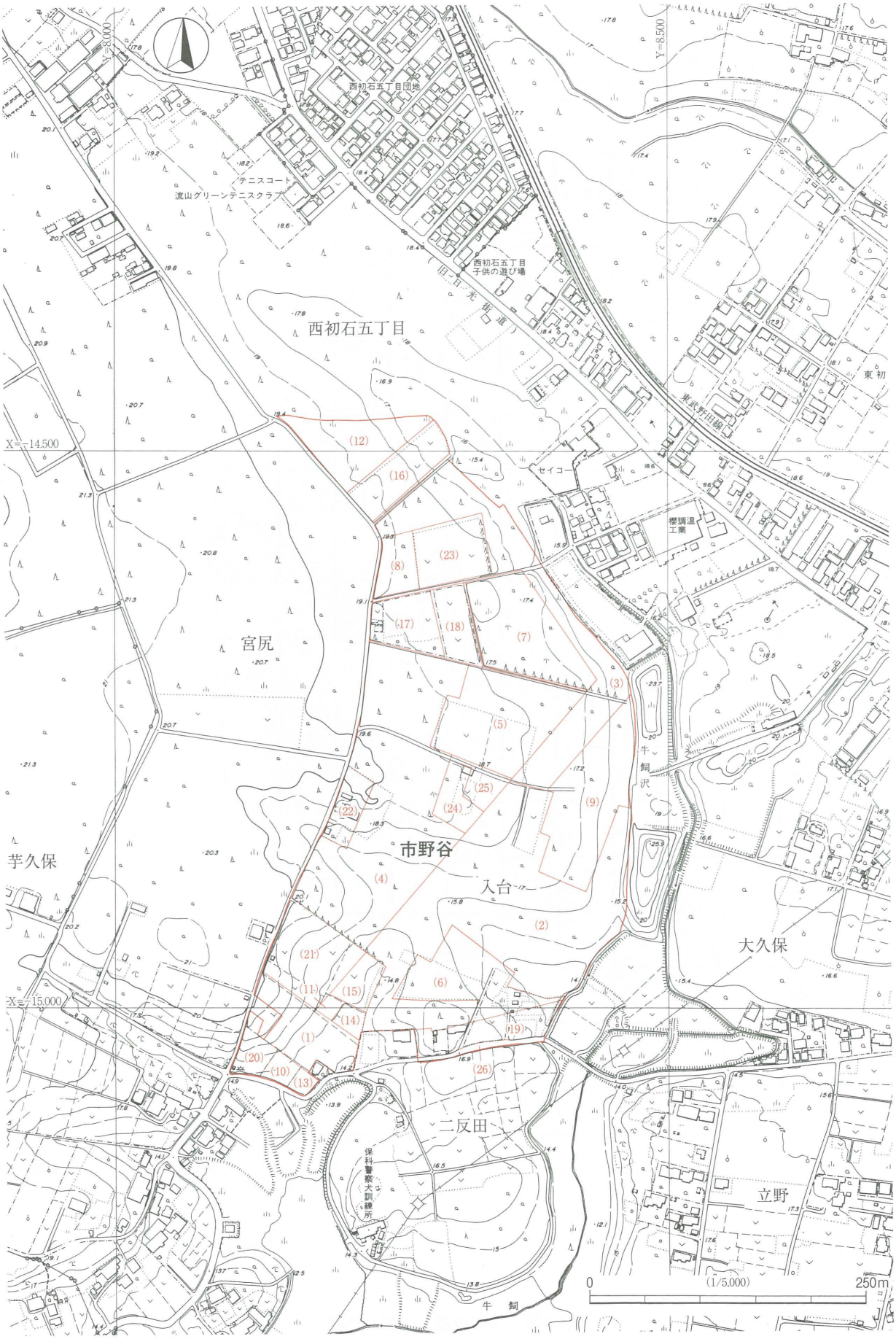
2　調査の方法と概要

調査にあたっては、国土方眼座標（第Ⅸ座標系）に基づいたグリッドの設定を行っている。新市街地地区内に所在する遺跡群全体に調査対象範囲を覆うように、40m×40mの方眼網を設定し、これを大グリッドとした。大グリッドの名称は、南北方向を北から１、２、３…、東西方向は西からＡ、Ｂ、Ｃ…とし、この数字とアルファベットを組み合わせて大グリッド名とした。本遺跡の調査範囲が含まれるグリッドは東西方向にＰ～Ｙ、南北方向に25～40である（第２図）。大グリッドを４ｍ×４ｍの小グリッドに100分割し、北から00～90、西から00～09とした。グリッド名は、大グリッドと小グリッドを組み合わせ、例えば25P－00と呼称した。

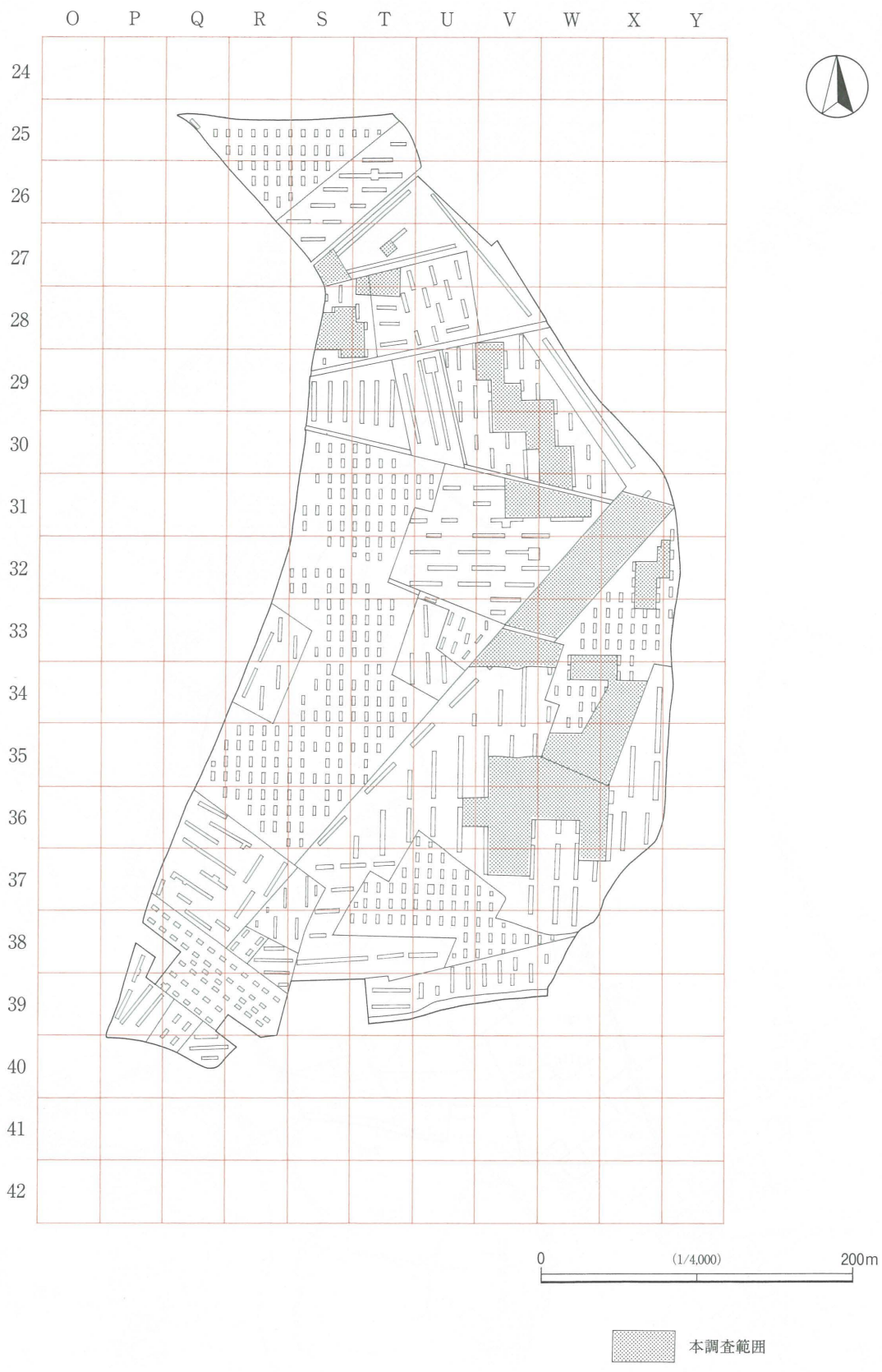
上層の調査は、まず調査対象面積の10％についてトレンチを設定し、遺構の有無、種類や時期及びその分布を把握するため確認調査を実施した。トレンチの設定方向は各調査区の形状や地形に即しており、必ずしも方眼に沿っていない。確認調査の段階で検出された遺構が希薄な場合は、トレンチを適宜拡張し、遺構の精査を行った。また遺構が広範囲に分布する場合は、本調査範囲を設定し引き続き調査を行った。上層の調査では、縄文時代の竪穴住居跡１軒、陥穴５基、土坑10基、炉跡１基、古墳時代の竪穴住居跡35軒、土坑15基、奈良時代竪穴住居跡４軒、中世竪穴遺構８基等が発見された。掲載した遺構の中には、遺物が出土していない不定形な土坑もある。その帰属時期は、周辺から出土した遺物の検討や調査時の判断に従い、当該期の所産とした。なお、調査段階で遺構として扱ったものの、遺物が出土していない不定形な穴で人為的に造営されたものかどうか判断が困難なものは、整理段階で除外した。

遺構番号は、各調査区ごとに遺構種別に関係なく通し番号を付し、第１次調査の場合は（１）－001のように呼称した。なお、報告に際しては本来、調査段階の遺構番号を踏襲すべきであったが、同一種別、同一番号の遺構が生じ混乱を招くため、これを遺構種別ごとに区分し遺跡全体で共通の遺構番号に改めた。各遺構の種別は、アルファベットの略称で、竪穴住居跡：SI、土坑：SK、溝：SDを冠して、それぞれに通し番号を付した。従って、各種記録類と出土遺物に記された遺跡コード及び遺構番号は当初のままであることをお断りしておく。

下層の調査は上層の調査が終了した後、調査対象面積の４％について２ｍ×２ｍのグリッドを設定し確認調査を行った。石器等の遺物が集中的に出土した箇所については拡張後、本調査に移行した。



第１図　調査区域と周辺の地形



第２図　上層確認・本調査範囲

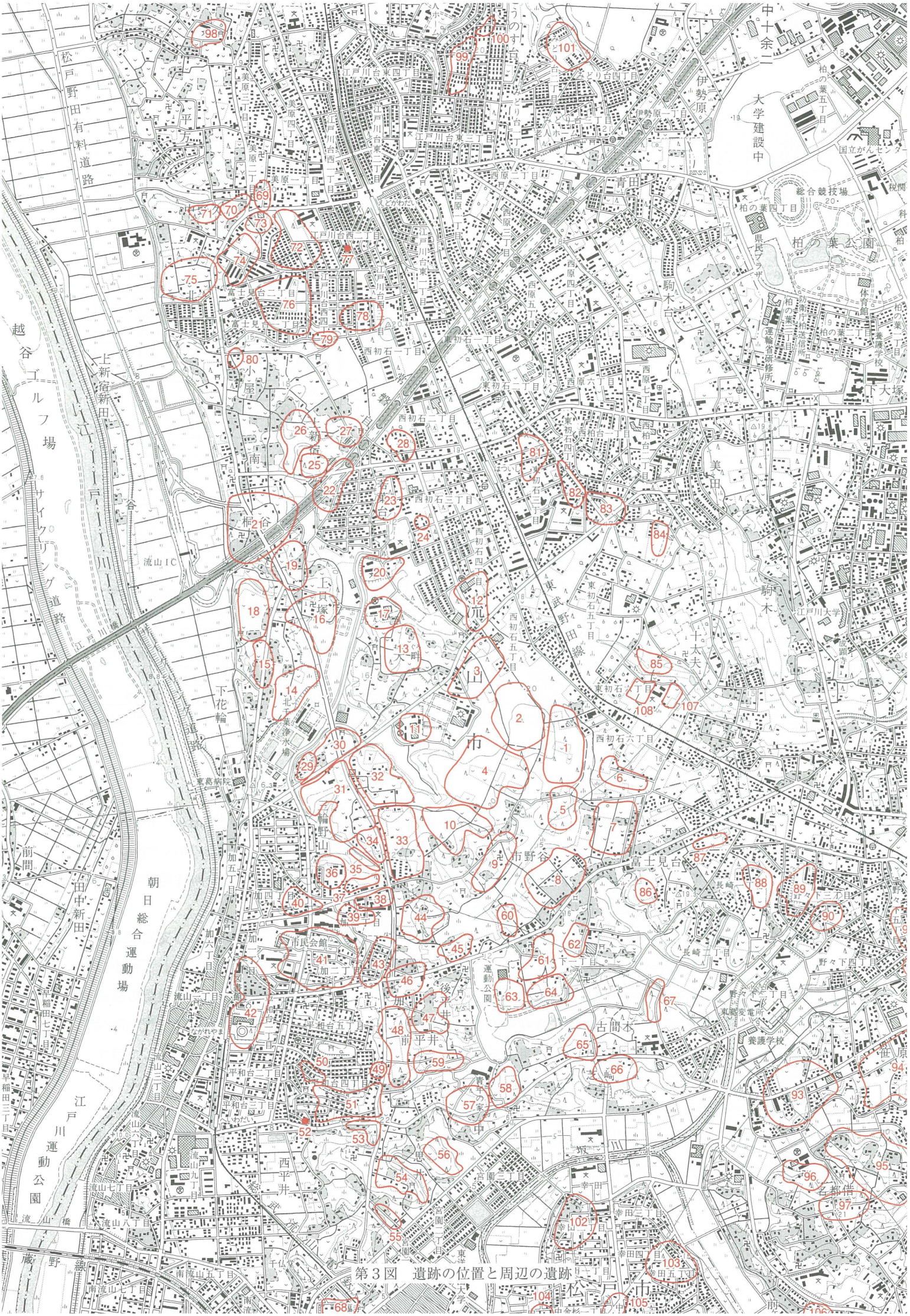
第２表　遺構番号新旧対照表

新番号	地区名	旧番号	新番号	地区名	旧番号	新番号	地区名	旧番号
SI001	(2)	005	SI030	(2)	011	SK020	(9)	(9)018
SI002	(3)	024	SI031	(9)	(9)005	SK021	(9)	(9)013
SI003	(8)	(8)－4	SI032	(2)	002	SK022	(9)	(9)006
SI003	(23)	(8)－4	SI033	(2)	004	SK023	(9)	(9)011
SI004	(23)	(23)001	SI034	(2)	007	SK024	(9)	(9)001
SI005	(8)	(8)－1	SI035	(2)	010	SK025	(9)	(9)012
SI006	(8)	(8)－2	SI036	(2)	009	SK026	(9)	(9)002
SI007	(8)	(8)－3	SI037	(2)	017	SK027	(9)	(9)007
SI008	(18)	(18)001	SI038	(2)	016	SK028	(9)	(9)009
SI009	(7)	(7)－8	SI039	(2)	015	SK029	(9)	(9)003
SI010	(7)	(7)－7	SI040	(1)	001	SK030	(2)	014
SI011	(7)	(7)－4	SK001	(16)	(16)－1	SK031	(2)	018
SI012	(7)	(7)－2	SK002	(3)	026	SK032	(2)	003
SI013	(5)	(5)－3	SK003	(8)	(8)－5	SK033	(2)	006
SI014	(5)	(5)－4	SK004	(7)	(7)－9	SK034	(6)	(6)001
SI015	(5)	(5)－2	SK005	(7)	(7)－5	SK035	(21)	(21)002
SI016	(5)	(5)－1	SK006	(7)	(7)－6	SK036	(21)	(21)006
SI017	(3)	019	SK007	(7)	(7)－1	SK038	(21)	(21)003
SI018	(3)	020	SK008	(5)	(5)－11	SK039	(14)	(14)002
SI019	(9)	(9)010	SK009	(5)	(5)－10	SK039	(21)	(21)005
SI020	(3)	023	SK010	(5)	(5)－9	SK040	(14)	(14)001
SI021	(3)	022	SK011	(5)	(5)－8	SK041	(20)	(20)003
SI022	(3)	021	SK012	(5)	(5)－7	SK042	(20)	(20)002
SI023	(2)	013	SK013	(5)	(5)－6	SK043	(20)	(20)001
SI024	(3)	027	SK014	(7)	(7)－3	SK044	(13)	(13)001
SI025	(2)	008	SK015	(5)	(5)－14	SD001	(3)	025
SI026	(9)	(9)004	SK016	(5)	(5)－13	SD001	(9)	(9)015
SI027	(9)	(9)008	SK017	(5)	(5)－12	SD001	(9)	(9)017
SI028	(9)	(9)019	SK018	(5)	(5)－5	SD002	(9)	(9)014
SI029	(2)	012	SK019	(3)	028	SD003	(9)	(9)016

3　遺跡の位置と環境

市野谷入台遺跡の所在する流山市は、千葉県の北西部に位置し、東京湾に注ぐ江戸川に沿って南北に長い市域を形成している。江戸川に沿った市の西部は平坦な沖積低地であり、東部は高低差のある台地が広がっている。近年ではJR武蔵野線、東武野田線の在来線に加え、つくばエクスプレスの開通等都心からの利便性が高まり、急激な住宅都市化が進んでいる。

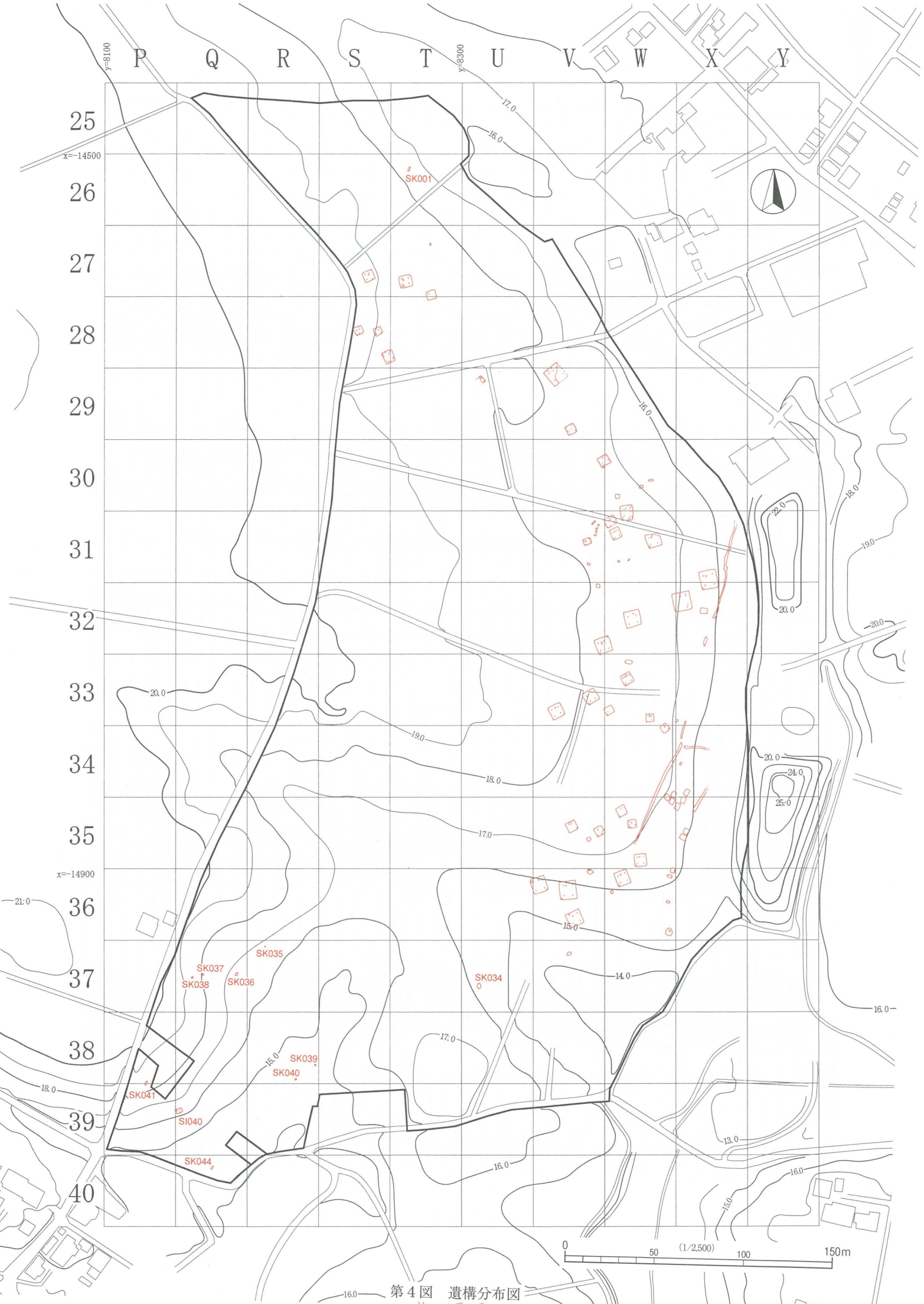
市野谷入台遺跡は、市の中央部、東武野田線西初石駅の西に位置する（第３図）。江戸川の支流坂川の源流域にあたる標高約14m～20mの台地は、南北に長い平坦面を形成するが、東側の「牛飼沢」と称する谷と南側の谷頭部に沿って緩やかな斜面となっている。既に報告した市野谷宮尻遺跡とは、本遺跡の西を南北に延びる道路を介して接し、北側には西初石五丁目遺跡が続いている。この二つの遺跡には古墳時代前期の集落が営まれており、本遺跡と同じ集落を形成している。また本遺跡の南側に浅い谷を介して接する市野谷二反田遺跡と市野谷宮尻遺跡の南に続く市野谷芋久保遺跡では、散漫ながら縄文時代前期の集落跡が確認されている。支谷「牛飼沢」を介して東から南に広がる台地上には市野谷向山遺跡、市野谷立野遺跡、大久保遺跡など旧石器時代及び縄文時代から近世に至る遺跡が数多く所在しているが、既報告で詳述しているため、ここでは省略する。



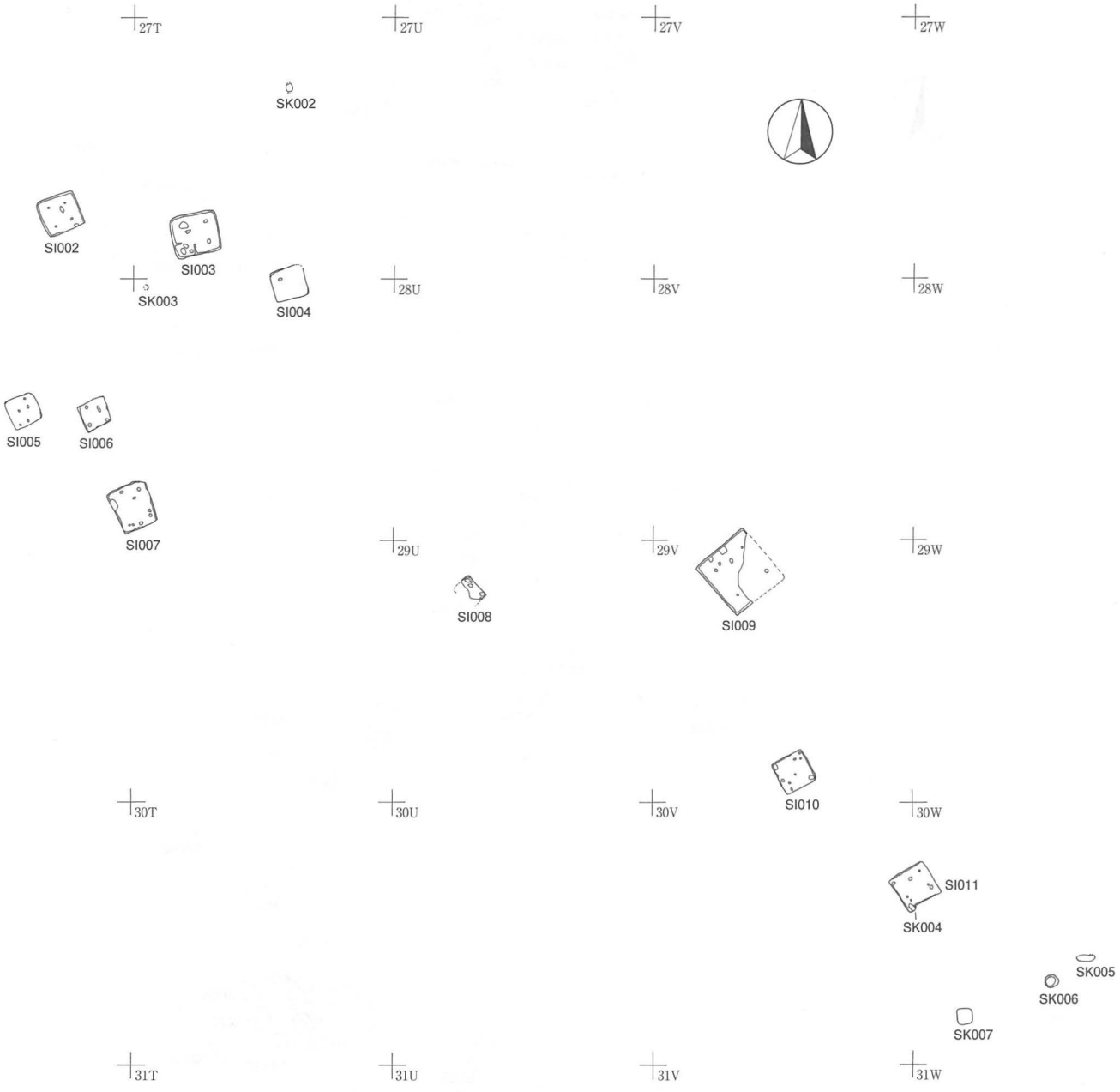
第３図　遺跡の位置と周辺の遺跡

第３表　周辺遺跡一覧表

番号	県分布図番号	遺　跡　名	時　代
1	210	市野谷入台遺跡	旧石器、縄文、古墳（前・中）、中近世
2	218	市野谷宮尻遺跡	縄文、古墳（後）、奈良、平安
3	202	西初石五丁目遺跡	旧石器、縄文、古墳（前）
4	219	市野谷芋久保遺跡	縄文（早）
5	222	市野谷二反田遺跡	旧石器、縄文（前）
6	221	大久保遺跡	旧石器、縄文（前）
7	223	市野谷立野遺跡	旧石器、縄文（前）、古墳（後）
8	39	市野谷向山遺跡	旧石器、縄文（前・中）、古墳（後）
9	156	市野谷中島遺跡	縄文（前・中）、平安
10	220	市野谷宮後遺跡	縄文
11	208	三輪野山向原古墳	縄文（前）、弥生、古墳（前）
12	203	花山東遺跡	旧石器、縄文、奈良、平安
13	152	大畔中ノ割遺跡	縄文（早・前・中）、平安
14	29	下花輪荒井前遺跡	弥生、古墳、平安
15	209	下花輪西山遺跡	縄文、古墳、中世
16	28	桐ヶ谷浅間後遺跡	旧石器、縄文（前・後）、平安
17	80	大畔台遺跡	縄文（前）、古墳、中世
18	27	上貝塚大門遺跡	縄文（前・後）、平安
19	26	上貝塚貝塚	縄文（前・中・後）
20	136	西初桜窪遺跡	縄文（前・中・後）、近世
21	24	桐ヶ谷南割遺跡	旧石器、縄文、古墳（中）、平安
22	130	若葉台遺跡	旧石器、縄文（前・中）
23	135	桐ヶ谷新田第Ⅰ遺跡	旧石器、縄文、平安
24	195	西初石三丁目遺跡	縄文（前･中・後・晩）
25	129	上新宿向宿遺跡	縄文（前・中）
26	23	上新宿貝塚	縄文（後・晩）
27	127	上新宿宿後遺跡	縄文（前・後）、平安
28	134	西初石二丁目遺跡	縄文（中・後）
29	79	三輪野山第Ⅲ遺跡	縄文、古墳（後）、平安、近世
30	78	三輪野山北浦遺跡	旧石器、縄文（前・後）、古墳、平安、近世
31	211	三輪野山道六神遺跡	縄文、古墳、平安、近世
32	154	三輪野山宮前遺跡	縄文（前）、古墳（後）、平安、近世
33	153	三輪野山八幡前遺跡	縄文、古墳、平安、近世
34	31	三輪野山貝塚	旧石器、縄文（前・中・後・晩）
35	213	三輪野山低地遺跡	縄文（後・晩）
36	185	三輪野山八重塚	縄文、古墳、平安
37	197	三輪山八重塚Ⅱ遺跡	縄文（早）、平安
38	190	加若宮第Ⅱ遺跡	縄文、平安
39	188	加北谷津第Ⅰ遺跡	旧石器、縄文、平安
40	189	加北谷津第Ⅱ遺跡	旧石器、縄文、平安
41	186	加町畑遺跡	縄文、古墳、奈良、平安
42	90	加村台遺跡	弥生（中）、古墳（後）、平安、近世
43	187	加若宮第Ⅰ遺跡	旧石器、縄文、平安
44	215	市野谷地蔵谷ッ遺跡	古墳（後）、平安
45	224	市野谷梶内第Ⅱ遺跡	縄文
46	212	加東割遺跡	縄文（前）、中近世
47	225	後平井中道遺跡	古墳（後）、奈良・平安
48	32	前平井遺跡	縄文（前・中）、平安
49	204	宮本遺跡	縄文（早）、平安
50	184	大原神社遺跡	縄文（早）、古墳（後）、平安
51	170	平和台遺跡	縄文（中）、古墳、平安、中近世
52	47	流山廃寺遺跡	奈良
53	228	西平井二階畑遺跡	縄文、古墳（後）、奈良・平安
54	169	思井堀ノ内遺跡	旧石器、縄文（中）、平安
55	193	思井鷹の見遺跡	縄文（早・前）、古墳、近世
56	229	思井上ノ内遺跡	古墳（後）、奈良・平安
57	167	中中屋敷遺跡	縄文（前・中・後）、平安
58	36	古間木三王第Ⅰ遺跡	縄文（前）、平安
59	226	前平井堀米遺跡	古墳（後）、奈良・平安
60	40	市野谷梶内第Ⅰ遺跡	縄文（前・中）、古墳（中・後）
61	41	野々下山中遺跡	縄文（前）、平安
62	81	野々下貝塚	縄文（前・中・後・晩）
63	42	野々下西方遺跡	縄文（前・中）
64	43	野々下大屋敷遺跡	縄文（後）、平安
65	158	古間木芳賀殿第Ⅰ遺跡	縄文（前・中）、平安
66	159	芝崎大囲遺跡	縄文（前・中）、古墳、平安
67	82	古間木茱萸木谷遺跡	縄文（早・前・後）
68	33	鰭ヶ崎貝塚	縄文（早・中・後）、平安
69	198	美原二丁目遺跡	縄文（前･中）、近世
70	17	中野久木貝塚	縄文（早・前・中）
71	114	中野久木日暮第Ⅰ遺跡	縄文（後）
72	75	中野久木谷頭遺跡	縄文（中）、古墳
73	123	中野久木囲ノ内遺跡	縄文（前・中）、平安
74	18	中野久木遺跡	縄文（早・前・中・後）、古墳（中）
75	139	中野久木米の台遺跡	縄文（前・中・後）、平安
76	20	富士見台第Ⅱ遺跡	奈良・平安
77	205	中野久木谷頭古墳	古墳
78	137	江戸川台第Ⅰ遺跡	縄文（後）、中近世
79	21	小谷貝塚	縄文（中）、平安
80	201	小屋神明脇遺跡	縄文（前･後）、近世
81	119	東初石三丁目第Ⅰ遺跡	縄文（晩）
82	120	東初石三丁目第Ⅱ遺跡	縄文（早）、古墳（後）、平安
83	121	東初石三丁目第Ⅲ遺跡	縄文（早）、平安、近世
84	122	十太夫第Ⅱ遺跡	縄文（前）、平安、近世
85	145	十太夫第Ⅰ遺跡	縄文（中・後）、平安、近世
86	164-1	富士見台（Ⅰ）遺跡	不明
87	164-2	富士見台（Ⅱ）遺跡	縄文（中・後）
88	149	長崎五牧割遺跡	縄文（前・中）、平安
89	51	長崎遺跡	縄文（早・前・中・後）
90	55	野々下長田遺跡	縄文（早・前・中・後）
91	57	野々下御成堤遺跡	縄文（前・中）
92	58	野々下金クソ遺跡	縄文（前・中）
93	168-1	笹原（Ⅰ）遺跡	縄文（中）、弥生、古墳
94	168-2	笹原（Ⅱ）遺跡	縄文（中）
95	66	名都借並木遺跡	縄文（中）
96	162	清流院前遺跡	縄文（前）、平安、近世
97	67	名都借笹堀込遺跡	縄文（前・中）、平安
98	109	西深井一の割第Ⅰ遺跡	旧石器、縄文、奈良、平安、中近世
99	98	こうのす台第Ⅳ遺跡	縄文（早・前・中・後）
100	200	鴻ノ巣遺跡	縄文（早・前･中・後）
101	191	猪ノ尻遺跡	縄文（早）
102	1	幸田貝塚	旧石器、縄文（前･中・後）、古墳
103	2	中芝遺跡	弥生（後）、古墳（前・中･後）
104	4	道六神遺跡	縄文（早・前・中･晩）弥生（後）、奈良・平安
105	3	木戸口（中金）遺跡	縄文（前）、古墳（中）
106	69	前ヶ崎貝塚	縄文（前・中・後）
107		東初石六丁目第Ⅰ遺跡	旧石器、縄文
108		東初石六丁目第Ⅱ遺跡	旧石器、縄文


P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
y=8100
y=8300
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
x=-14500
x=-14900
SK001
SK034
SK035
SK036
SK037
SK038
SK039
SK040
SK041
SI040
SK044
17.0
16.0
18.0
19.0
20.0
22.0
24.0
25.0
15.0
14.0
13.0
21.0
0
50
100
150m
(1/2,500)

第４図　遺構分布図



第５図　遺構分布図（主要部①　1/1,000）

第６図　遺構分布図（主要部②　1/1,000）

第２章　旧石器時代

第１節　概要（第７・８図、第４・５表）

旧石器時代の確認・本調査範囲と石器集中地点位置図は第７図のとおりである。確認調査は２ｍ×２ｍの確認グリッドを設定して行い、石器の出土した地点については、周囲の拡張調査やグリッドを追加し、遺物集中の存否と広がりを確認したうえで、本調査を実施した。本調査範囲と文化層別ブロック位置図は第８図のとおりである。遺物分布状況は、ドットで図示した。第１文化層～第５文化層の５文化層に分離される。旧石器時代出土の文化層・ブロック別の器種組成・石材組成は、第４・５表のとおりである。石器の出土総点数は、1,670点である。第３文化層が出土点数・ブロック数ともに最も多い。本節においては、文化層の概要を簡単に触れ、石器群の観察基準や石材の識別方法や各ブロックの記載方法を述べる。

第１文化層：Ⅶ層に生活面を持つ。総計101点出土した。調査区南西部に分布し、第１～４ブロックの４か所のブロックで構成される。ブロック間の接合資料はみられなかった。ナイフ形石器３点、掻器２点が主な出土器種である。

第２文化層：Ⅵ層に生活面を持つ。総計510点出土した。調査区中央部と南西部に分布し、第５～８ブロックの４か所のブロックで構成される。第５ブロックから493点出土している。ブロック間の接合資料はみられなかった。ナイフ形石器18点、削器２点が主要器種で、黒曜石が多用されている。

第３文化層：Ⅴ層～Ⅳ層下部に生活面を持つ。総計818点出土した。調査区北部・東部・南部に分布し、第９～22ブロックの14か所のブロックで構成される。第９～12ブロックにおいて、ブロック間の接合資料がみられた。ナイフ形石器４点、角錐状石器２点が主な出土器種である。礫群を伴う。

第４文化層：Ⅴ層～Ⅳ層下部に生活面を持つ。第３文化層と同一段階である可能性もあるが、石器群の様相が異なるため文化層を区分した。総計142点出土した。調査区南西部に分布し、第23・24ブロックの２か所のブロックで構成される。ナイフ形石器３点が主な出土器種である。石材はすべてチャートである。

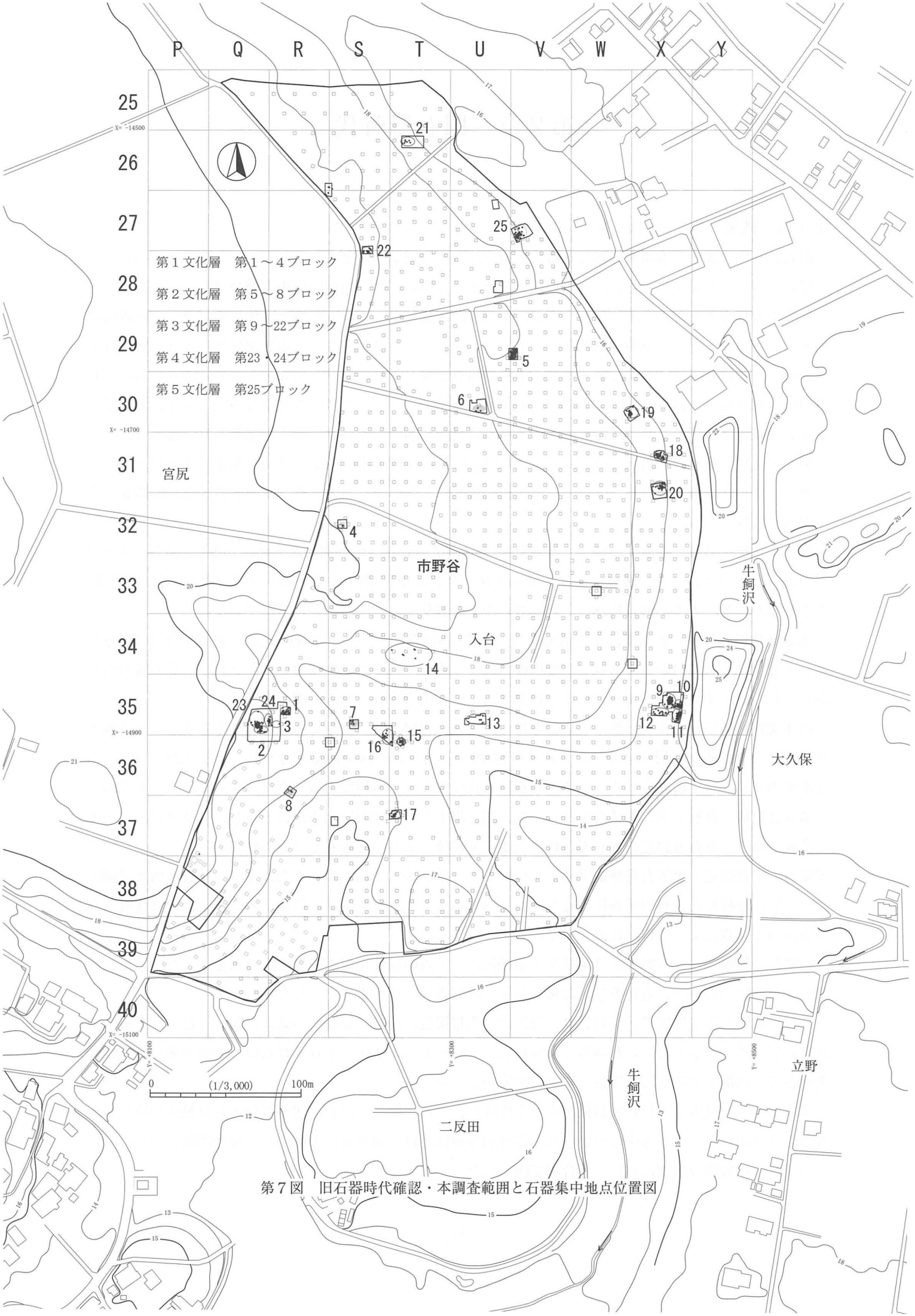
第５文化層：Ⅲ層上面に生活面を持つ。総計52点出土した。調査区北東部に分布し、第25ブロックのみで構成される。細石刃14点、細石刃石核３点が主要器種である。黒曜石が多用されている。

黒曜石の産地推定：黒曜石産地推定結果については、第９節に記載した。また、カラー写真図版と実測図の右下に、分析した資料の産地推定地を［　］内に示した。分析結果は、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団のご厚意によって得られたものである。

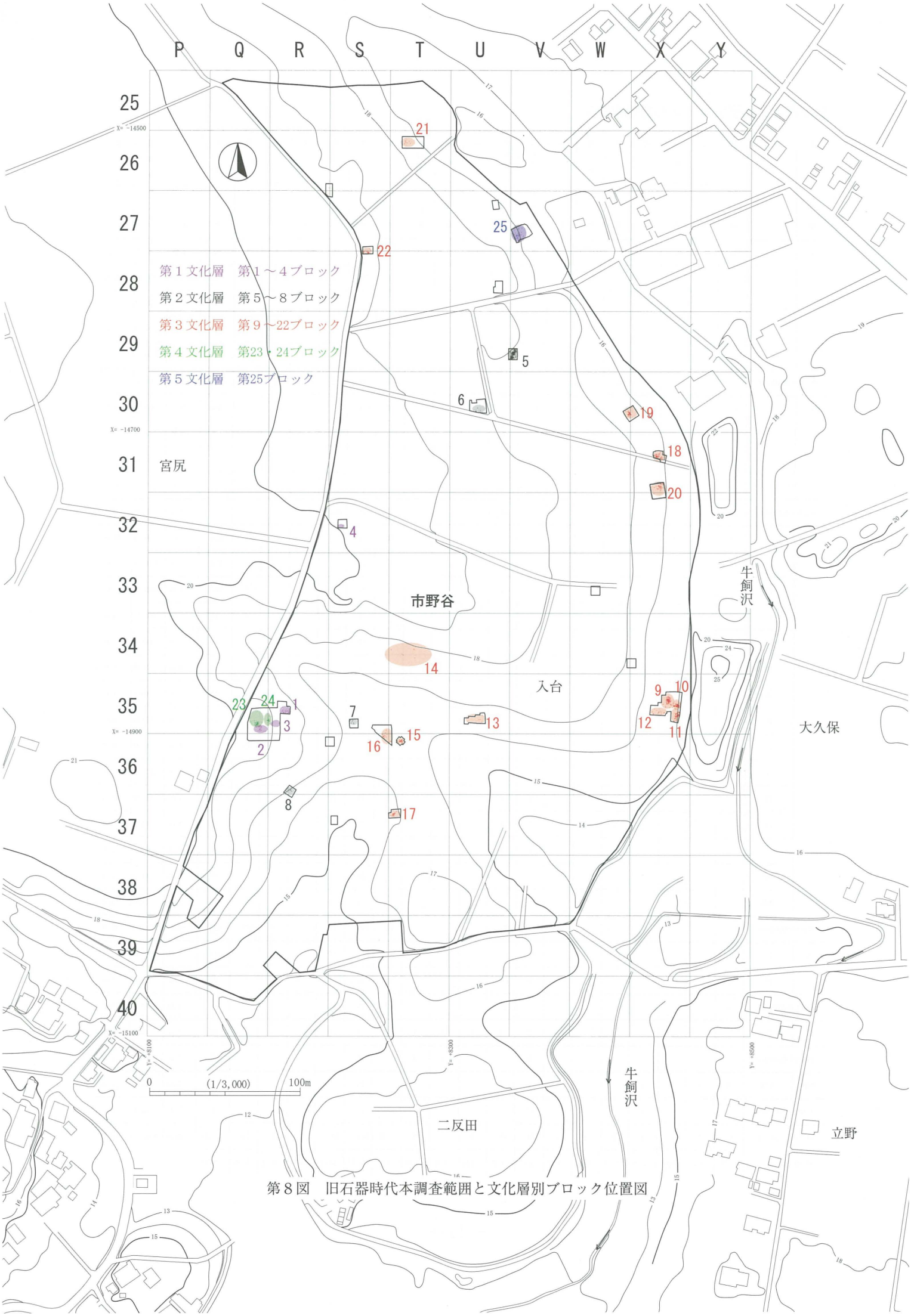
石器群の観察基準：石器属性計測基準を第10節に、全点の属性を第37表にそれぞれ記載した。また、図示した実測図の右下に、遺物番号・器種・石材・母岩番号・接合番号を示した。

石材の識別方法：嶺岡産珪質頁岩は、自然面が明橙褐色、内部は灰緑色の地に白色・灰色の斑が混じる珪質頁岩のことを示した。いわゆる「白滝頁岩」と同じものを示す。トロトロ石は、表面が著しく風化し、明灰色で、内部が黒色をした黒色緻密質安山岩のことを示す。

ブロックの記載方法：母岩別器種組成表を作成し、母岩の搬入・消費方法や器種・石材組成の特徴が現れるように記載した。分布図については、器種別分布図と母岩別分布図を図示し、接合関係にある母岩については、母岩別分布図において接合線で図示した。



第７図　旧石器時代確認・本調査範囲と石器集中地点位置図



第８図　旧石器時代本調査範囲と文化層別ブロック位置図

第４表　文化層ブロック別器種組成表

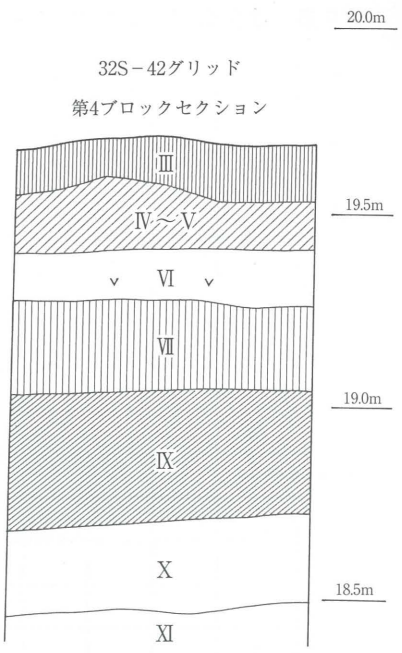
文化層	ブロック	ナイフ形石器	尖頭器	角錐状石器	削器	掻器	模形石器	磨石	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	細石刃	細石刃石核	細石刃石核原型	石核	剥片	砕片	原石	礫	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
1	1	1					2		2	1				1	24	10		1	3	45	2.69	241.32	1.01
	2	2							3					4	29	2		3	3	46	2.75	541.88	2.26
	3					2			1						2					5	0.30	25.87	0.11
	4														4					4	0.24	71.53	0.30
	単独														1					1	0.06	39.02	0.16
第１文化層点数合計		3				2	2		6	1				5	60	12		4	6	101	6.05	919.62	3.83
2	5	16			2				21	30				2	128	293	1			493	29.52	414.97	1.73
	6	1								2					2	1				6	0.36	26.61	0.11
	7	1								2					3					6	0.36	16.39	0.07
	8														1				4	5	0.30	178.38	0.74
第２文化層点数合計		18			2				21	34				2	134	294	1		4	510	30.54	636.35	2.65
3	9	1		1					2					11	60	1			135	211	12.63	5792.4	24.14
	10									3					12				119	134	8.02	5133.85	21.39
	11									2				1	20			2	110	135	8.08	5922.83	24.68
	12														1				14	15	0.90	1011.83	4.22
	13									1				1	3			1		6	0.36	442.61	1.84
	14					1				1					4					6	0.36	75.49	0.31
	15								4						3				39	46	2.75	419.5	1.75
	16								2					1	5				13	21	1.26	568.52	2.37
	17	1																	33	34	2.04	713.82	2.97
	18	2			1	1		1	2	4				3	41	4			1	60	3.59	1004.06	4.18
	19								2	4				3	30	19			1	59	3.53	181.86	0.76
	20					1			3	8					19	21				52	3.11	92.28	0.38
	21								1	1					1	2		1	1	7	0.42	69.16	0.29
	22								1						20	6				27	1.62	53.39	0.22
	単独			1											1	1			2	5	0.30	37.15	0.15
第３文化層点数合計		4		2	1	3		1	17	24				20	220	54		4	468	818	48.98	21518.75	89.67
4	23	1							12	7				1	70	19				110	6.59	397.45	1.66
	24	2							2	4				2	18	4				32	1.92	139.89	0.58
第４文化層点数合計		3							14	11				3	88	23				142	8.50	537.34	2.24
5	25								3	3	14	3	3		22	4				52	3.11	83.19	0.35
第５文化層点数合計									3	3	14	3	3		22	4				52	3.11	83.19	0.35
単独	単独	3	9		2				10	3					20					47	2.81	302.41	1.26
単独出土点数合計		3	9		2				10	3					20					47	2.81	302.41	1.26
総計点数		31	9	2	5	5	2	1	71	76	14	3	3	30	544	387	1	8	478	1,670	100.00	23997.66	100.00
点数組成比		1.86	0.54	0.12	0.30	0.30	0.12	0.06	4.25	4.55	0.84	0.18	0.18	1.80	32.57	23.17	0.06	0.48	28.62	100.00			

第５表　文化層ブロック別石材組成表

文化層	ブロック	ガラス質黒色安山岩	トロトロ石	安山岩	流紋岩	黒曜石	砂岩	珪質頁岩	硬質頁岩	ホルンフェルス	チャート	玉髄（メノウ含む）	頁岩	点数合計	点数比	重量合計（g）
1	1	6	1			24	2				3		9	45	2.69	241.32
	2	9			2	26	1			2	1		5	46	2.75	541.88
	3					2			3					5	0.30	25.87
	4					1					3			4	0.24	71.53
	単独									1				1	0.06	39.02
第１文化層点数合計		15	1		2	53	3		3	3	7		14	101	6.05	919.62
2	5	3	2	1		479			5	1	2			493	29.52	414.97
	6					6								6	0.36	26.61
	7					5							1	6	0.36	16.39
	8					1	4							5	0.30	178.38
第２文化層点数合計		3	2	1		491	4		5	1	2		1	510	30.54	636.35
3	9	3	2	3	64	3	32			50	54			211	12.63	5792.4
	10	3			48		33			30	20			134	8.02	5133.85
	11	9			42		62			19	3			135	8.08	5922.83
	12			1	8		5			1				15	0.90	1011.83
	13		1	1		1		1		1	1			6	0.36	442.61
	14					3					2		1	6	0.36	75.49
	15				12		20			2	12			46	2.75	419.5
	16				2	2	8	2		2	2	3		21	1.26	568.52
	17				14		12		1		5	2		34	2.04	713.82
	18		3	2		47		1			6		1	60	3.59	1004.06
	19		2			49			3	1	1		3	59	3.53	181.86
	20	1				48					3			52	3.11	92.28
	21	1					2				1		3	7	0.42	69.16
	22							21			6			27	1.62	53.39
	単独				2					1		1	1	5	0.30	37.15
第３文化層点数合計		17	8	7	192	153	174	25	4	107	116	6	9	818	48.98	21518.75
4	23										110			110	6.59	397.45
	24										32			32	1.92	139.89
第４文化層点数合計											142			142	8.50	537.34
5	25					51			1					52	3.11	83.19
第５文化層点数合計						51			1					52	3.11	83.19
単独	単独	2	1	2	1	9		12	4	2	10	1	3	47	2.81	302.41
単独出土点数合計		2	1	2	1	9		12	4	2	10	1	3	47	2.81	302.41
総計点数		37	12	10	195	757	181	37	17	113	277	7	27	1,670	100.00	23997.66
点数組成比		2.22	0.72	0.60	11.68	45.33	10.84	2.22	1.02	6.77	16.59	0.42	1.62	100.00		

第２節　基本層序

基本層序は第９図のとおりである。



第９図　基本層序

Ⅰ層　黒色の表土である。

Ⅱａ層　黒褐色土である。

Ⅱｂ層　明褐色土である。いわゆる「新期テフラ層」である。

Ⅱｃ層　暗褐色土である。

Ⅲ層　明黄褐色ローム土である。立川ローム最上層に相当する。いわゆる「ソフトローム層」である。下部に向かってソフト化が進行している。赤色スコリアのを少量含む。第５文化層はⅢ層上面に集中して出土した。

Ⅳ層　明褐色ローム土である。硬質のローム層でいわゆる「ハードローム層」である。２㎜～３㎜大の赤色スコリアを多く含み、全体に赤みを帯びて明色。第３文化層と第４文化層の石器は、Ⅴ層～Ⅳ層下部にかけて集中して出土した。第３・４文化層の出土層位の上下関係は明確ではなかったが、石器群の様相が異なることから文化層を区分した。

Ⅴ層　黄褐色ローム土である。第１黒色帯に相当する。Ⅳ層に比べて、赤色スコリアの量が少なく、全体に黒ずんでいる。１㎜大の赤色スコリアが微量に含まれる。遺跡全体では、Ⅳ層とⅤ層とを明確に区分できる地点はみられなかった。

Ⅵ層　明黄褐色ローム土。AT（姶良丹沢火山灰）がブロック状に含まれる。１㎜大の赤色スコリアが微量に含まれる。第２文化層の石器はⅥ層に集中して出土した。

Ⅶ層　褐色ローム土。第２黒色帯上部に相当する。全体に黒ずんでいる。１㎜～２㎜大の黄色スコリアと１㎜大の赤色スコリアが少量含まれる。第１文化層の石器は、Ⅶ層に集中して出土した。

Ⅸａ層　暗褐色ローム土。第２黒色帯下部の上半である。Ⅶ層よりも黒ずんでいる。２㎜～３㎜大の赤色スコリアが多く含まれる。１㎜大の黄色スコリアが少量含まれる。

Ⅸｂ層　暗褐色ローム土。第２黒色帯下部の間層である。Ⅸa層より若干褐色分が強く、赤みがある。３㎜～５㎜大の黄色スコリア、２㎜～４㎜大の赤色スコリア、３㎜大の灰青色スコリアがそれぞれ多量に含まれる。この層が明確に区分できる地点は少なかった。

Ⅸｃ層　暗黄褐色ローム土。第２黒色帯下部の下半である。２㎜大の赤色スコリアが微量に含まれる。

Ⅹａ層　暗黄褐色ローム土。スコリア粒がほとんど含まれない。Ⅹ層をXa層・Xb層・Xc層に細分できる地点は少なかった。

Ⅹｂ層　黄褐色ローム土。Xa層よりも若干暗く、上下の層に比べて、スコリアの量が少なくなる。黒色スコリアを微量含む。

Ⅹｃ層　暗黄褐色ローム土。スコリア粒がほとんど含まれない。

Ⅺ層　灰褐色ローム土。武蔵野ローム最上層である。粘性を帯びた灰褐色ロームである。

第３節　第１文化層

（１）概要（第10図、第６表）

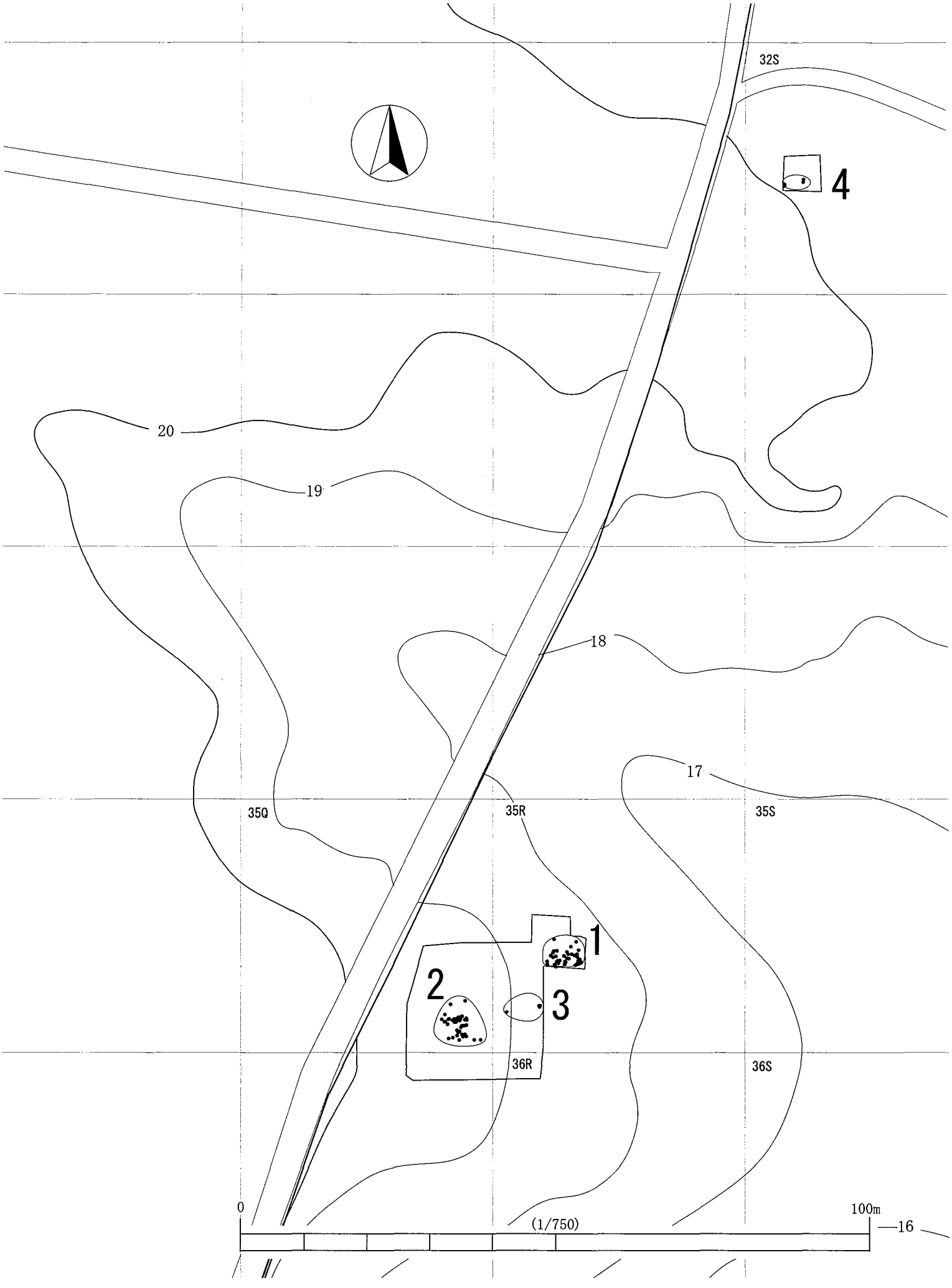
第１文化層の石器群は、総計101点出土し、構成ブロックが第１～４ブロックの４か所識別できた。調査区の南西部の35Q・35Rグリッドに第１～３ブロック、南西部中央側の32Sグリッドに第４ブロックが分布する。標高は18m～20m（現地表面）にかけて分布しており、本遺跡において、最も標高の高い地点に分布する。第１文化層の石器群は、ブロック間に接合資料がみられないので、厳密な意味では、同一時期の所産のものとはいえない。しかしながら、これらの石器群は、出土層位がⅦ層に集中し、調査区の南西部に分布することから、同一段階の石器群と考えられ、第１文化層の石器群として捉えた。

出土層位は、４か所のブロックにおいて、ほぼ同じ層位から出土している。Ⅸa層～Ⅵ層にかけて出土しており、Ⅶ層に集中することから、Ⅶ層に生活面を持つ石器群と推定される。

器種石材組成は第６表のとおりである。石器組成は、ナイフ形石器３点、掻器２点、楔形石器２点を含む101点が出土した。石材組成は、黒曜石53点が最も多く過半数を占め、次にガラス質黒色安山岩15点、頁岩14点で高い割合を示す。黒曜石の産地推定の分析を行った資料は４点である。第１ブロックは蓼科エリア冷山群が２点、第２ブロックは蓼科エリア双子山群が１点であるのに対して、第４ブロックは箱根エリア畑宿群が１点であった。分析資料は少数であるが、ブロックごとに違いがみられた。

第６表　第１文化層器種石材組成表

ブロック	石材	ナイフ形石器	掻器	楔形石器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	磨製	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
1	ガラス質黒色安山岩							6				6	5.94	38.34	4.17
	トロトロ石							1				1	0.99	20.8	2.26
	黒曜石	1		2	1			10	10			24	23.76	28.69	3.12
	砂岩									1	1	2	1.98	53.74	5.84
	チャート							1			2	3	2.97	28.77	3.13
	頁岩				1	1	1	6				9	8.91	70.98	7.72
第１ブロック点数合計		1		2	2	1	1	24	10	1	3	45	44.55	241.32	26.24
2	ガラス質黒色安山岩							9				9	8.91	79.69	8.67
	流紋岩									2		2	1.98	184.84	20.10
	黒曜石	1			2		4	17	2			26	25.74	71.57	7.78
	砂岩										1	1	0.99	45.98	5.00
	ホルンフェルス										2	2	1.98	65.37	7.11
	チャート									1		1	0.99	45.5	4.95
	頁岩	1			1			3				5	4.95	48.93	5.32
第２ブロック点数合計		2			3		4	29	2	3	3	46	45.54	541.88	58.92
3	黒曜石							2				2	1.98	7.37	0.80
	硬質頁岩		2		1							3	2.97	18.5	2.01
第３ブロック点数合計			2		1			2				5	4.95	18.5	2.01
4	黒曜石							1				1	0.99	3.9	0.42
	チャート							3				3	2.97	67.63	7.35
第４ブロック点数合計								4				4	3.96	71.53	7.78
単独	ホルンフェルス							1				1	0.99	39.02	4.24
単独出土点数合計								1				1	0.99	39.02	4.24
第１文化層点数合計		3	2	2	6	1	5	60	12	4	6	101	100.00	919.62	100.00
点数組成比		2.97	1.98	1.98	5.94	0.99	4.95	59.41	11.88	3.96	5.94	100.00			



第10図　第１文化層ブロック分布図

（2）第1ブロック（第11・12図、第7・37表、巻頭図版1、図版25）

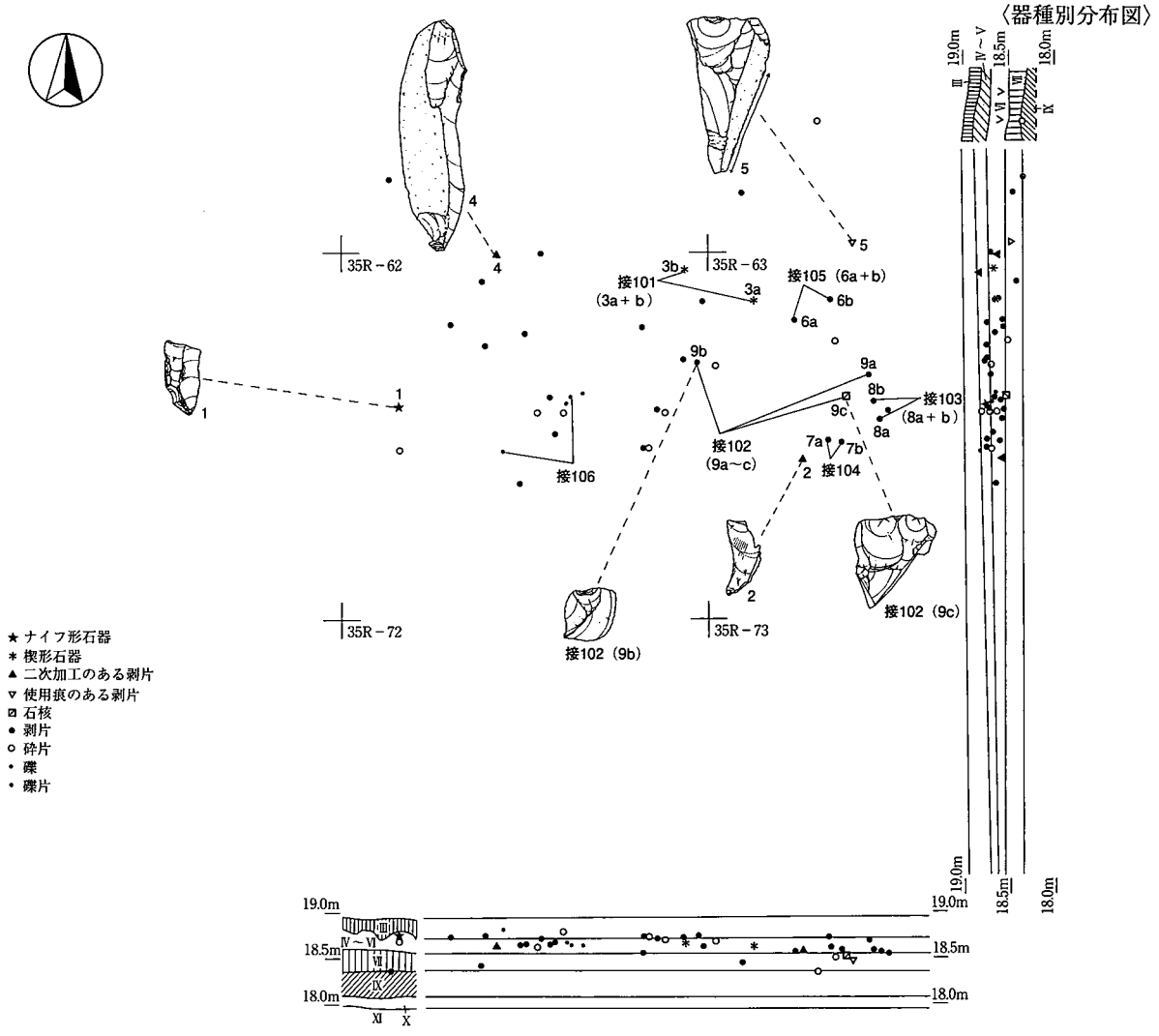
出土状況　第3ブロックの北東に位置し、約6m×4mの楕円形の範囲に分布している。集中地点は、35R－53・63グリッド出土の東部と35R－52・62出土の西部との2か所に分けることができる。黒曜石1は両集中地点に散漫に分布する。東部では、頁岩1が集中し、接合資料102～104が分布している。西部では、本ブロックで唯一の出土であるナイフ形石器が西端から出土している。また、チャート1・2が分布している。Ⅸa層～Ⅵ層上部にかけて出土しており、Ⅶ層に集中する。

出土遺物　ナイフ形石器（1）1点、二次加工のある剥片（2・4）2点、楔形石器（3a＋b）2点、石核（9c）1点を含む45点が出土した。1・2・3a＋bは、黒色不透明で白色の夾雑物を含む黒曜石1を用いている。1は縦長剥片を素材として、左側縁下部と右側縁に調整加工が施されたナイフ形石器である。左側縁下部にはブランティング加工が施されている。先端部は折れている。2は末端部が湾曲した縦長剥片を素材として、左側縁下部に調整加工が施された二次加工のある剥片である。3a＋bは両極剥離によって剥離された楔形石器である。4は縦長剥片を素材として、打面付近の両側縁に調整加工が施された二次加工のある剥片である。素材の背面には大きく自然面を残している。5は大きな剥離面を打面として、頭部調整を施し、末端部が細い縦長剥片を素材として、末端部付近の両側縁に微細剥離痕が連続的にみられる。6a＋bは打面幅の広い幅広の剥片を剥離した時に、器体の中央部から6aと6bとに同時割れした接合資料である。7a＋bは節理面に沿って剥離された不定形な剥片で、末端部で折れて、7aと7bとが接合している。8a＋bは自然面を打面とした、末端部が細長い剥片の接合資料である。9a～cは、上面の分割面を打面として、小型の貝殻状の剥片である9aと9bを剥離している。残核である9cは、裏面右側縁上部から細長い剥片が剥離されたことがうかがえる。

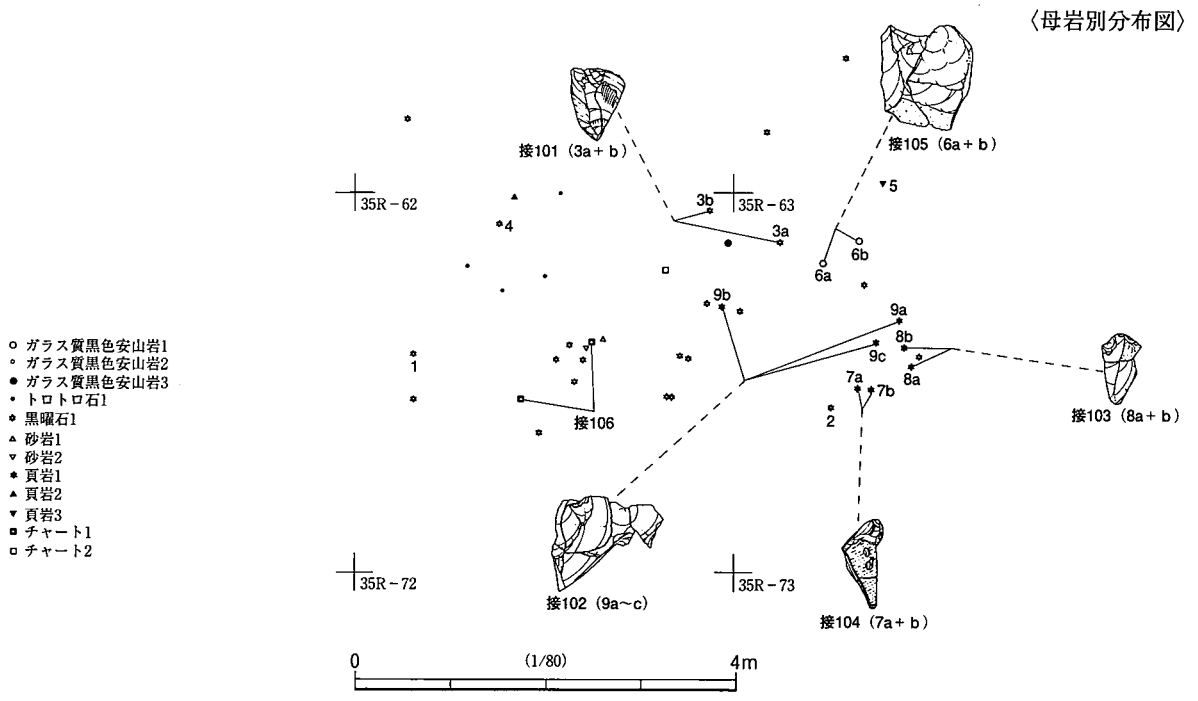
第7表　第1文化層第1ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	楔形石器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	磨石	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	1						2				2	4.44	14.86	6.16
	2						3				3	6.67	16.39	6.79
	3						1				1	2.22	7.09	2.94
ガラス質黒色安山岩点数合計							6				6	13.33	38.34	15.89
トロトロ石	1						1				1	2.22	20.8	8.62
黒曜石	1	1	2	1			10	10			24	53.33	28.69	11.89
黒曜石点数合計		1	2	1			10	10			24	53.33	28.69	11.89
砂岩	1								1		1	2.22	39.44	16.34
	2									1	1	2.22	14.3	5.93
砂岩点数合計									1	1	2	4.44	53.74	22.27
チャート	1									2	2	4.44	26.29	10.89
	2						1				1	2.22	2.48	1.03
チャート点数合計							1			2	3	6.67	28.77	11.92
頁岩	1					1	6				7	15.56	22.23	9.21
	2			1							1	2.22	27.56	11.42
	3				1						1	2.22	21.19	8.78
頁岩点数合計				1	1	1	6				9	20.00	70.98	29.41
全体点数合計		1	2	2	1	1	24	10	1	3	45	100.00	241.32	100.00
点数組成比（%）		2.22	4.44	4.44	2.22	2.22	53.33	22.22	2.22	6.67	100.00			

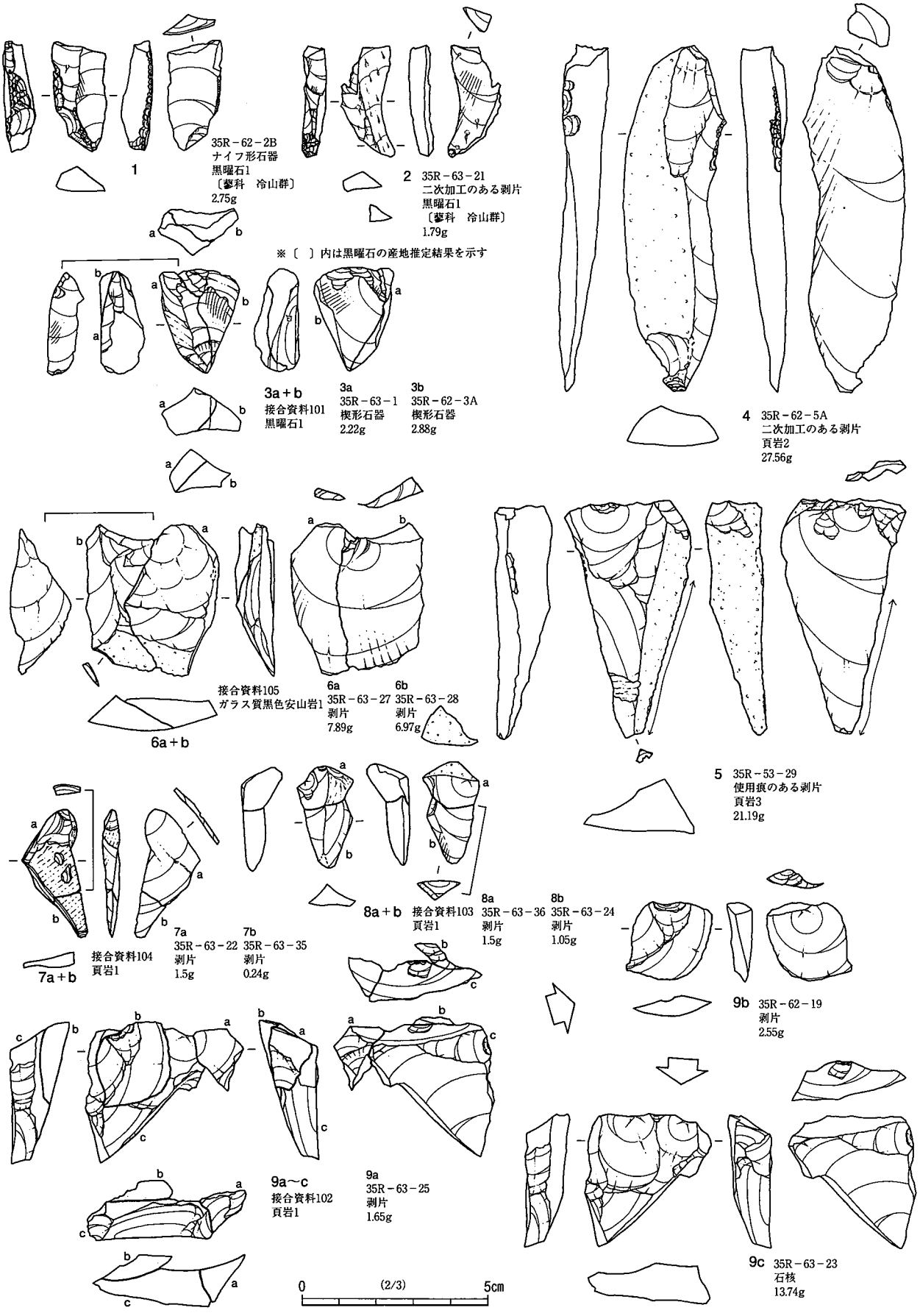
〈器種別分布図〉



〈母岩別分布図〉



第11図　第１文化層第１ブロック遺物分布図



第12図　第１文化層第１ブロック出土石器

（3）第2ブロック（第13・14図、第8・37表、巻頭図版1、図版25）

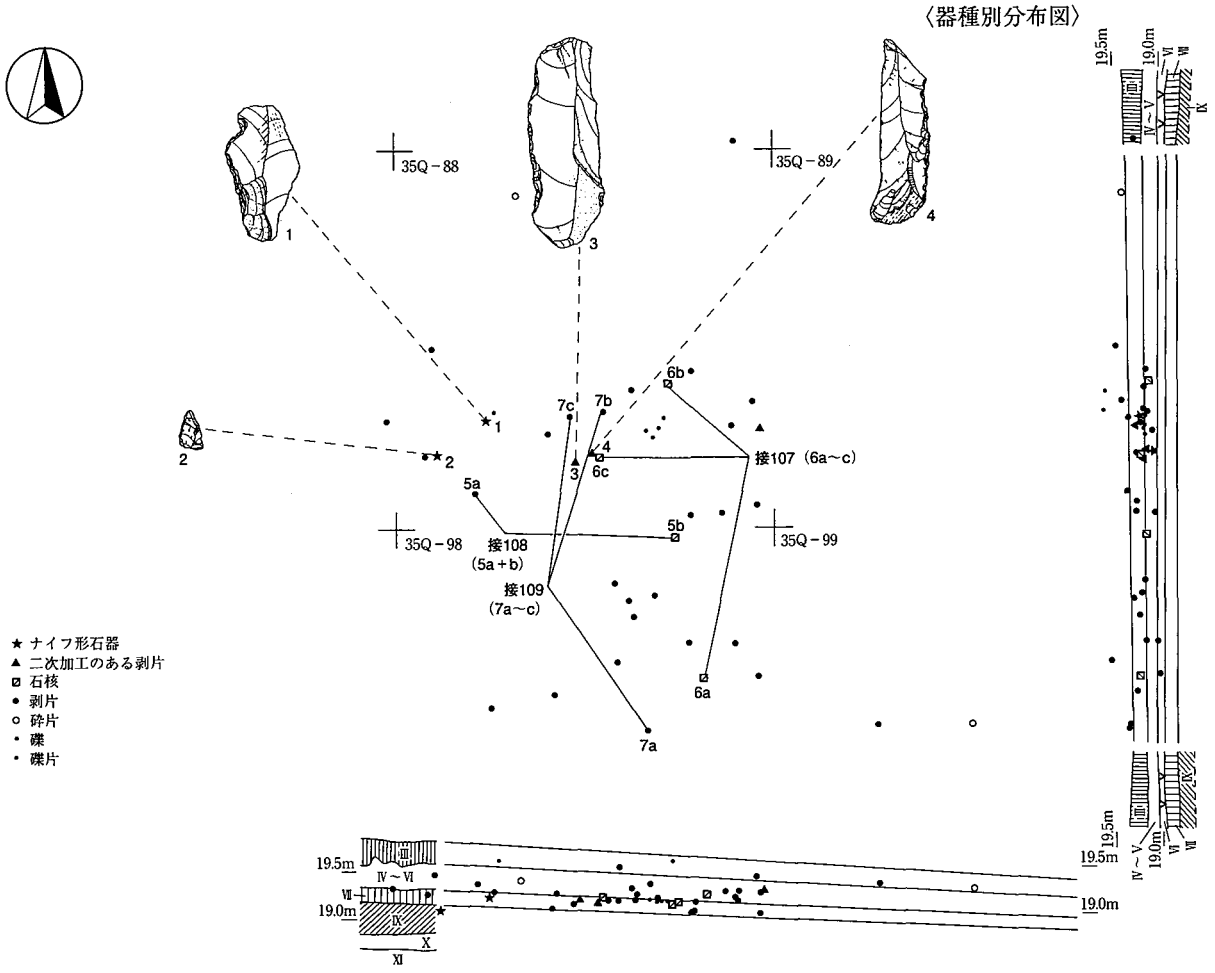
出土状況　第3ブロックの南西に位置し、約8m×4mの楕円形の範囲に分布している。集中地点は、北西部・北東部・南部の3か所に分けることができる。35Q－88の南西部を中心とする北西部の集中地点からは、出土点数が少ないものの、ナイフ形石器が2点出土しており、35Q－88の南東部を中心とする北東部の集中地点からは、3・4の縦長剥片を素材とした二次加工のある剥片が出土している。35Q－98を中心とする南部の集中地点からは、石核が2点（5b・6a）と剥片が出土している。出土層位は、Ⅸ層上部からⅢ層下部にかけて出土しており、Ⅶ層上部に集中する。

出土遺物　ナイフ形石器（1・2）2点、二次加工のある剥片（3・4など）3点、石核（5b・6a～c）4点を含む46点が出土した。1は単独母岩で搬入された頁岩4を用いたナイフ形石器である。左側縁下部には急角度のブランティング加工が施され、右側縁下部は腹面側にやや平坦な調整加工が施されている。左側縁上部には素材の縁辺がわずかに残っている。左側縁上部と右側縁上部には、使用時の衝撃痕がみられる。素材の形状は、3・4のような形状・サイズの縦長剥片が用いられたものと思われる。2は黒曜石2を用いたナイフ形石器である。先端部の残存品と思われ、左側縁に急角度のブランティング加工が施され、右側縁に素材の縁辺が残っている。残存部の形状から1よりも小型で細身のナイフ形石器であったと推定される。3・4は縦長の石刃状の剥片を素材として、側縁部に細かい調整加工が連続的に施されている。4は打面部が折れた後に調整加工が施されている。5a＋bと6a～cは黒曜石2を用いた接合資料である。5a＋bは厚みのある剥片を素材として、上部の折れ面を打面として固定し、5aをはじめとした縦長剥片を連続的に剥離している。6a～cは裏面に自然面を大きく残した厚みのある剥片を素材として、剥離が行われているが、節理面に沿って、6aが剥離され、残核も6bと6cとに分割されている。7a～cは幅広の打面から剥離された剥片が同時割れした接合資料である。

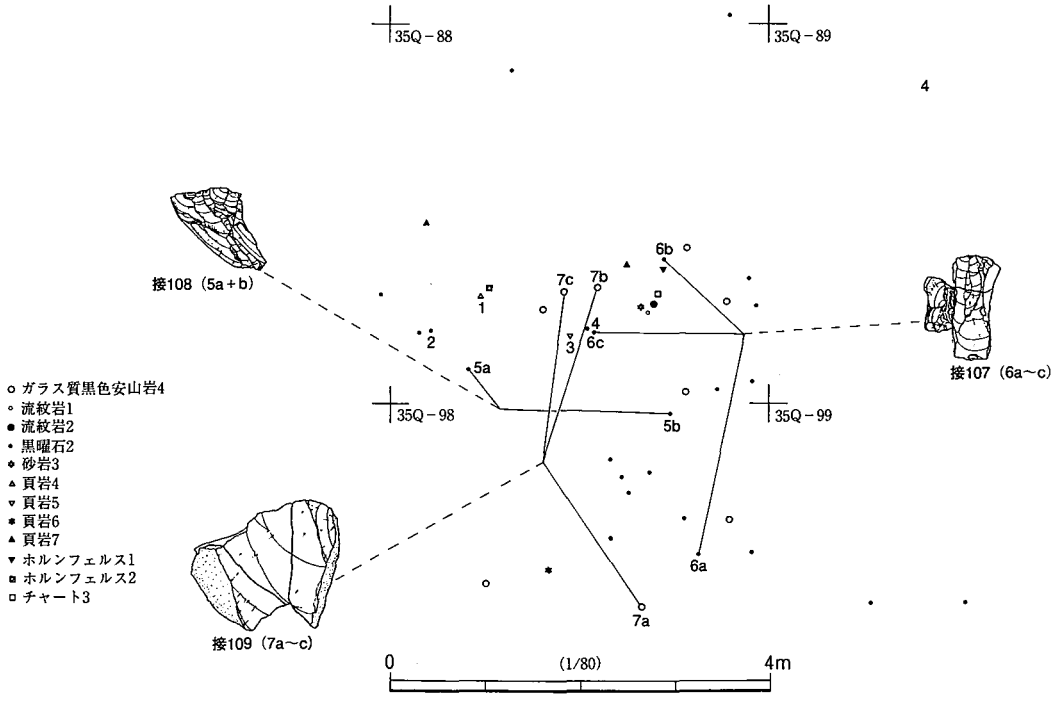
第8表　第1文化層第2ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	4				9				9	19.57	79.69	14.71
流紋岩	1						1		1	2.17	104.31	19.25
	2						1		1	2.17	80.53	14.86
流紋岩点数合計							2		2	4.35	184.84	34.11
黒曜石	2	1	2	4	17	2			26	56.52	71.57	13.21
砂岩	3							1	1	2.17	45.98	8.49
ホルンフェルス	1							1	1	2.17	28.02	5.17
	2							1	1	2.17	37.35	6.89
ホルンフェルス点数合計								2	2	4.35	65.37	12.06
チャート	3						1		1	2.17	45.5	8.40
頁岩	4	1							1	2.17	12.77	2.36
	5		1						1	2.17	24.49	4.52
	6				1				1	2.17	7.22	1.33
	7				2				2	4.35	4.45	0.82
頁岩点数合計		1	1		3				5	10.87	48.93	9.03
全体点数合計		2	3	4	29	2	3	3	46	100.00	541.88	100.00
点数組成比（%）		4.35	6.52	8.70	63.04	4.35	6.52	6.52	100.00			

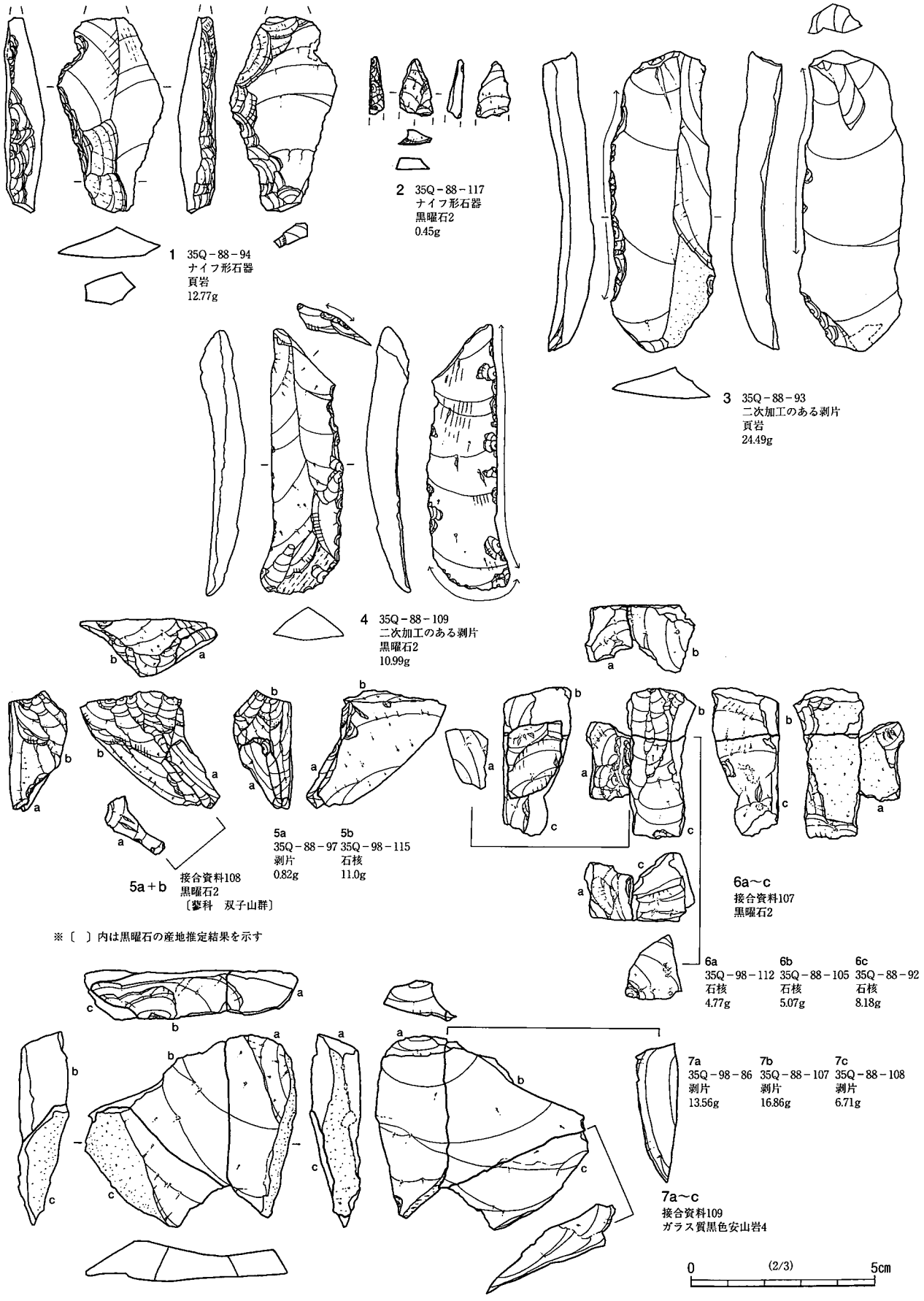
〈器種別分布図〉



〈母岩別分布図〉



第13図　第１文化層第２ブロック遺物分布図



第14図　第１文化層第２ブロック出土石器

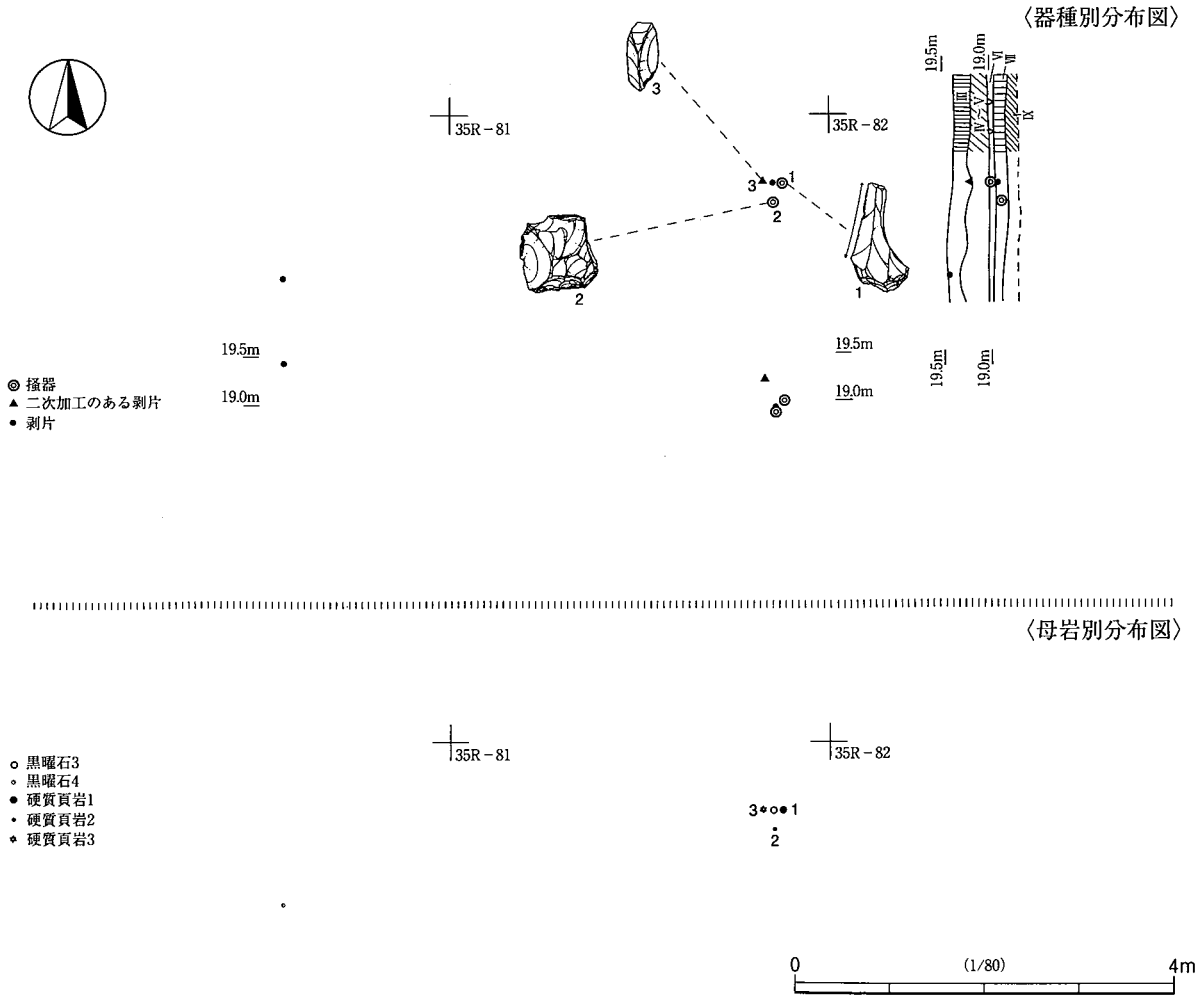
（4）第3ブロック（第15・16図、第9・37表、巻頭図版1、図版25）

出土状況　第1ブロックの南西側、第2ブロックの北東側に隣接して出土した。調査区南西部の35R－81を中心として、約6m×2mの楕円形の範囲に散漫に出土している。同じ文化層と識別した第1・2ブロックと隣接した位置に立地している。Ⅶ層～Ⅲ層にかけて幅広く出土しているが、セクションに近い位置から出土している1・2の掻器はⅦ層から出土している。1・2・3は良質のチョコレート色をした硬質頁岩が用いられており、隣接して出土している。なおかつ、製品として搬入されており、下総型石刃再生技法による石器群であると推定される。出土点数が少ないものの、これらの石器群は、Ⅶ層に特徴的にみられることから、第1文化層はⅦ層に生活面を持つ石器群であると捉えた。集中地点は東側の35R－81に4点集中し、西側の35R－80から1点のみ出土している。

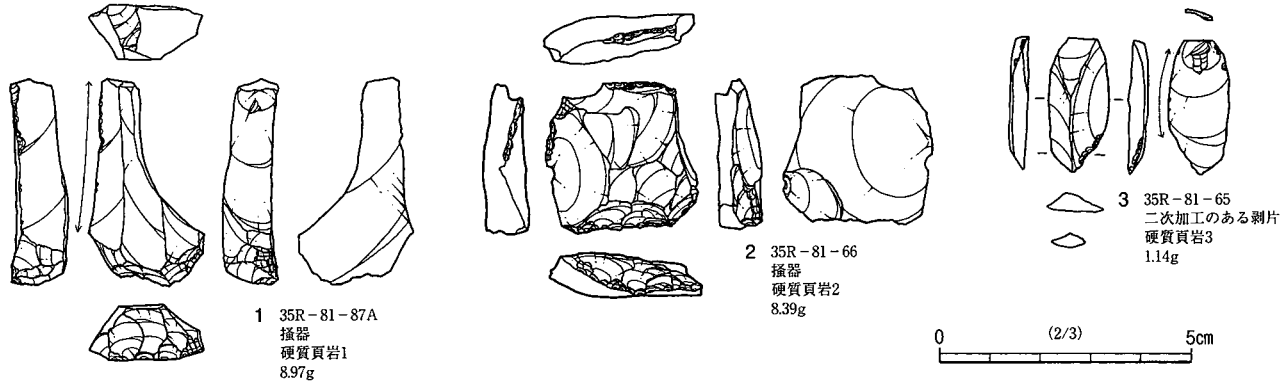
出土遺物　掻器（1・2）2点、二次加工のある剥片（3）1点を含む5点出土した。本ブロックの特徴は、良質のチョコレート色をした硬質頁岩と黒曜石の石材で構成されていることがまずあげられる。次に、良質のチョコレート色をした硬質頁岩は、すべて製品で構成され、下総型石刃再生技法による石器であることがあげられる。1は大型の石刃を素材として、分割や刃部再生を繰り返して、最終的な形状が掻器となったものである。左側縁には、素材の大型石刃の縁辺が残されており、左側縁上部に微細剥離痕が連続的にみられる。大型石刃の末端部にあたる下端部には、急角度の調整加工が施されており、この加工を捉えて掻器として分類した。また、上部は分割面を打面として、樋状の剥離を行ったもので、右側面はポジティブ面であり、大型石刃から剥離された剥片を素材としており、新たに形成された剥離面には微細剥離痕がみられる。この樋状剥離面と下端部の急角度の調整加工との切り合い関係は不明ではあるが、おそらく、下端部の掻器を形成する急角度の調整加工の後に、樋状剥離が行われたものと思われる。2は縦長剥片（おそらく石刃と捉えることも可能）を素材として、素材を横位に用い、末端部にあたる右側縁を折断している。左側縁下部には、腹面側に平坦な剥離が行われた後に、背面側に急角度の調整加工が行われている。打面部にあたる左側縁からは、器体の奥まで入る平坦な剥離が3回程度行われ、器体の厚みを少なくした後に、左側縁上部に細かい調整加工が施されている。左側縁上端部は、錐状の尖った形状を呈する。上面右側は細かい調整加工が施されている。下部は急角度の調整加工が入念に施されており、この加工を捉えて掻器として分類した。3は小石刃とも分類可能な小型の石刃を素材として、右側縁下部に細かい調整加工が施されている。

第9表　第1文化層第3ブロック石器組成表

器種／母岩		重量合計	掻器	二次加工のある剥片	剥片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
黒曜石		3			1	1	20.00	0.54	2.09
		4			1	1	20.00	6.83	26.40
黒曜石点数合計					2	2	40.00	7.37	28.49
硬質頁岩		1	1			1	20.00	8.97	34.67
		2	1			1	20.00	8.39	32.43
		3		1		1	20.00	1.14	4.41
硬質頁岩点数合計			2	1		3	60.00	18.5	71.51
全体点数合計			2	1	2	5	100.00	25.87	100.00
点数組成比（%）			40.00	20.00	40.00	100.00			



第15図　第１文化層第３ブロック遺物分布図



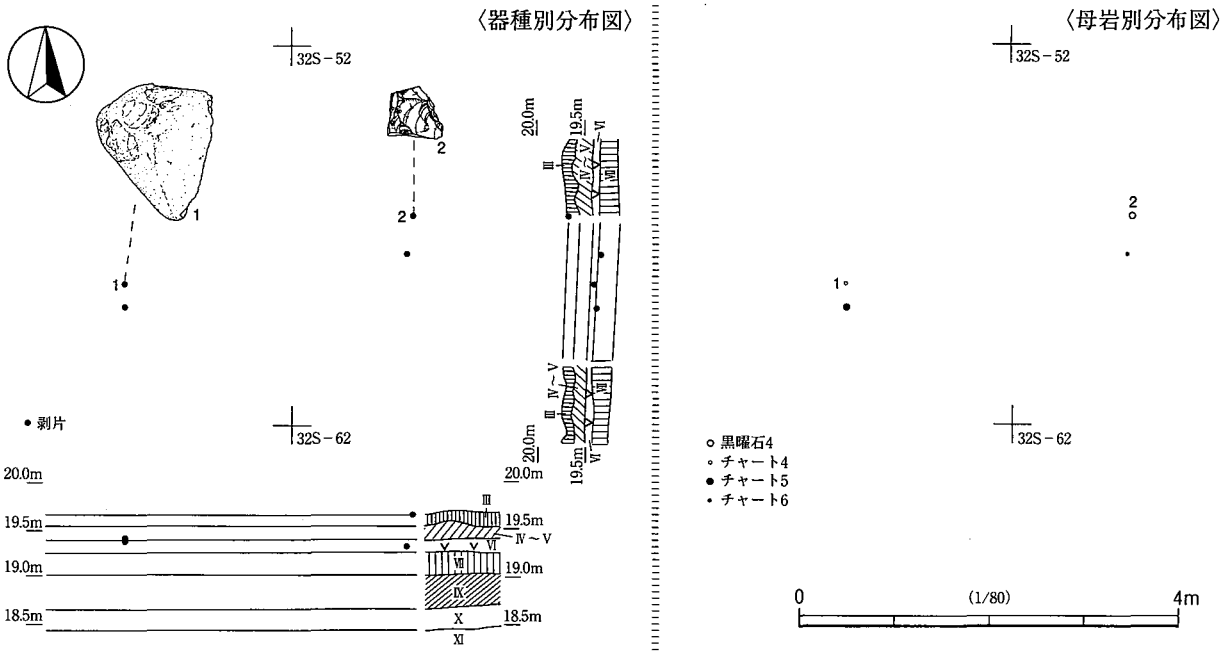
第16図　第１文化層第３ブロック出土石器

（5）第４ブロック（第17・18図、第10・37表、図版25）

出土状況　調査区南西部のやや中央よりの32S－52を中心として、約４ｍ×２ｍの楕円形の範囲に散漫に出土している。同じ文化層と識別した第１～３ブロックとは離れた位置に立地する。標高19m～20m（現地表面）に分布している。出土層位は、Ⅶ層上部～Ⅲ層にかけて分布し、Ⅶ層上部に集中する。セクションと遺物分布が近いことから、Ⅶ層上部に生活面を持った石器群と考えられる。本ブロックは、第１～３ブロックとは離れた位置から出土しており、出土点数が４点で少ないことから、文化層の識別が困難であったが、立地が標高19m～20m（現地表面）で、出土層位がⅦ層上部に集中するという共通する特徴から、第１文化層の石器群として捉えた。

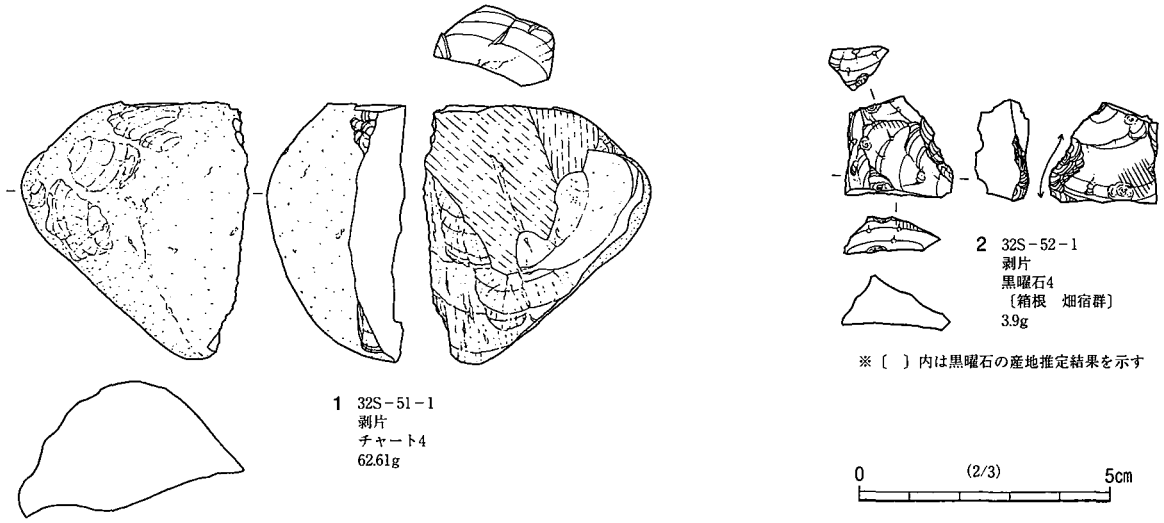
第10表　第１文化層第４ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	剥片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
黒曜石	4	1	1	25.00	3.9	5.45
チャート	4	1	1	25.00	62.61	87.53
	5	1	1	25.00	1.89	2.64
	6	1	1	25.00	3.13	4.38
チャート点数合計		3	3	75.00	67.63	94.55
全体点数合計		4	4	100.00	71.53	100.00
点数組成比（%）		100.00	100.00			



第17図　第１文化層第４ブロック遺物分布図

出土遺物　製品は出土しておらず、剥片（１・２など）４点のみの出土である。石材組成は、黒曜石１点、チャート３点である。すべて、単独母岩で構成されており、本ブロックでの石器製作の痕跡は、あまり認められない。１は背面に自然面を大きく残した厚みのある剥片である。分割面を打面として、節理面に沿って剥離されている。右側縁上部には、微細な剥離痕がみられる。２は漆黒で不透明な黒曜石４が用いられている。第１～３ブロック出土の黒曜石よりは、黒味が強い。赤褐色の夾雑物を含む。不定形な剥片を素材として、上部・左側縁・下部は折れている。右側縁下半部には微細剥離痕が連続的にみられる。１・２は剥片として分類したが、右側縁の微細剥離痕を積極的に捉えて、使用痕のある剥片と識別することも可能である。

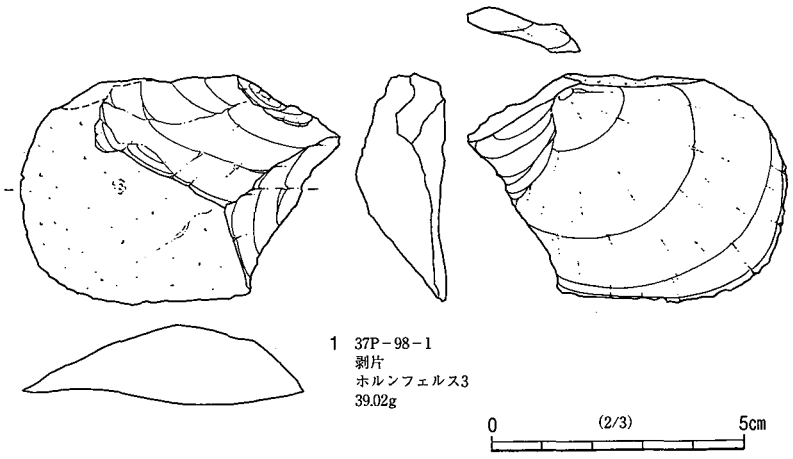


第18図　第１文化層第４ブロック出土石器

（６）第１文化層単独出土石器（第19図、図版25）

出土状況　調査区南西部の37P－98グリッドから単独出土した。標高19m～20m（現地表面）に立地しており、出土層位がⅦ層から出土していることから、第１文化層の石器として捉えた。単独出土であることから、ブロックとして取り扱わなかった。

出土遺物　分割面を打面として、頭部調整が施された幅広の剥片である。背面に大きく自然面を残し、厚みのある剥片である。



第19図　第１文化層単独出土石器

第４節　第２文化層

（１）概要（第20図、11表）

第２文化層の石器群は、総計510点出土し、第５～８ブロックの４か所のブロックが識別できた。生活面は、Ⅵ層と考えられる。調査区中央部の29U・Vと30Uに第５・６ブロックが分布し、調査区南西部の35Sと36Qに第７・８ブロックが分布する。標高17m～18m（現地表面）に立地し、第１文化層よりも１m～２m標高の低い場所に立地する傾向がある。第２文化層は４か所のブロックで構成されるが、第５ブロックから493点出土しており、第２文化層出土総数の97％を占める。器種組成は、ナイフ形石器18点、削器２点、二次加工のある剥片21点、使用痕のある剥片34点、石核２点、剥片134点、砕片294点、原石１点、礫片４点である。製品では、石刃素材で両側縁に調整加工が施されたナイフ形石器が主体を占める。ナイフ形石器は、第５ブロックから16点、第６・７ブロックから各１点出土している。削器は第５ブロックのみから２点出土している。剥片134点で26％、砕片294点で58％の出土割合で、剥片・砕片の割合が極めて高い。石材組成は、黒曜石が491点で96％のきわめて高い割合であることが特徴と言えよう。黒曜石の産地推定の分析を行った資料は９点である。第５ブロックは和田エリアが６点、第６ブロックも和田エリアが２点、第７ブロックは蓼科エリア冷山群が１点であった。分析対象資料は、すべて長野県の産地と推定されたが、近接する第５・６ブロックが和田エリアであるのに対して、第５・６ブロックから南西側約200mに位置する第７ブロックは蓼科エリアであった。黒曜石以外の石材は、製品においては、第５ブロックから硬質頁岩のナイフ形石器１点と第７ブロックから頁岩のナイフ形石器１点が出土している。第６～８ブロックの出土点数が少ないことから、石器群の内容把握は困難である。第６ブロックは、第５ブロックの南西に隣接して立地しており、すべて黒曜石が用いられており、ナイフ形石器の形態も第５ブロックと類似する。第７・８ブロックは、調査区南西部に位置し、第７ブロックでは頁岩のナイフ形石器が

第11表　第２文化層器種石材組成表

ブロック	石材	ナイフ形石器	削器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	原石	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
5	ガラス質黒色安山岩					1	2				3	0.59	37.27	5.86
	トロトロ石						1	1			2	0.39	0.72	0.11
	安山岩					1					1	0.20	190.22	29.89
	黒曜石	15	2	19	28		125	289	1		479	93.92	155.42	24.42
	硬質頁岩	1		2	1			1			5	0.98	28.81	4.53
	ホルンフェルス				1						1	0.20	2.36	0.37
	チャート							2			2	0.39	2.36	0.37
第５ブロック点数合計		16	2	21	30	2	128	293	1		493	96.67	414.97	65.21
6	黒曜石	1			2		2	1			6	1.18	26.61	4.18
第６ブロック点数合計		1			2		2	1			6	1.18	26.61	4.18
7	黒曜石				2		3				5	0.98	6.88	1.08
	頁岩	1									1	0.20	9.51	1.49
第７ブロック点数合計		1			2		3				6	1.18	16.39	2.58
8	黒曜石						1				1	0.20	0.24	0.04
	砂岩									4	4	0.78	178.14	27.99
第８ブロック点数合計							1			4	5	0.98	178.38	28.03
第２文化層点数合計		18	2	21	34	2	134	294	1	4	510	100.00	636.35	100.00
点数組成比		3.53	0.39	4.12	6.67	0.39	26.27	57.65	0.20	0.78	100.00			

第20図　第２文化層ブロック分布図

単独で搬入され、第８ブロックでは砂岩の礫片が４点出土しており、器種石材組成において第５・６ブロックとはやや異なる。以上のことから、第５・６ブロックは同時期、あるいは、近接した時期である可能性が高い。第７・８ブロックは、第５・６ブロックとは異なる石器群の内容であり、時期の異なる可能性がある。

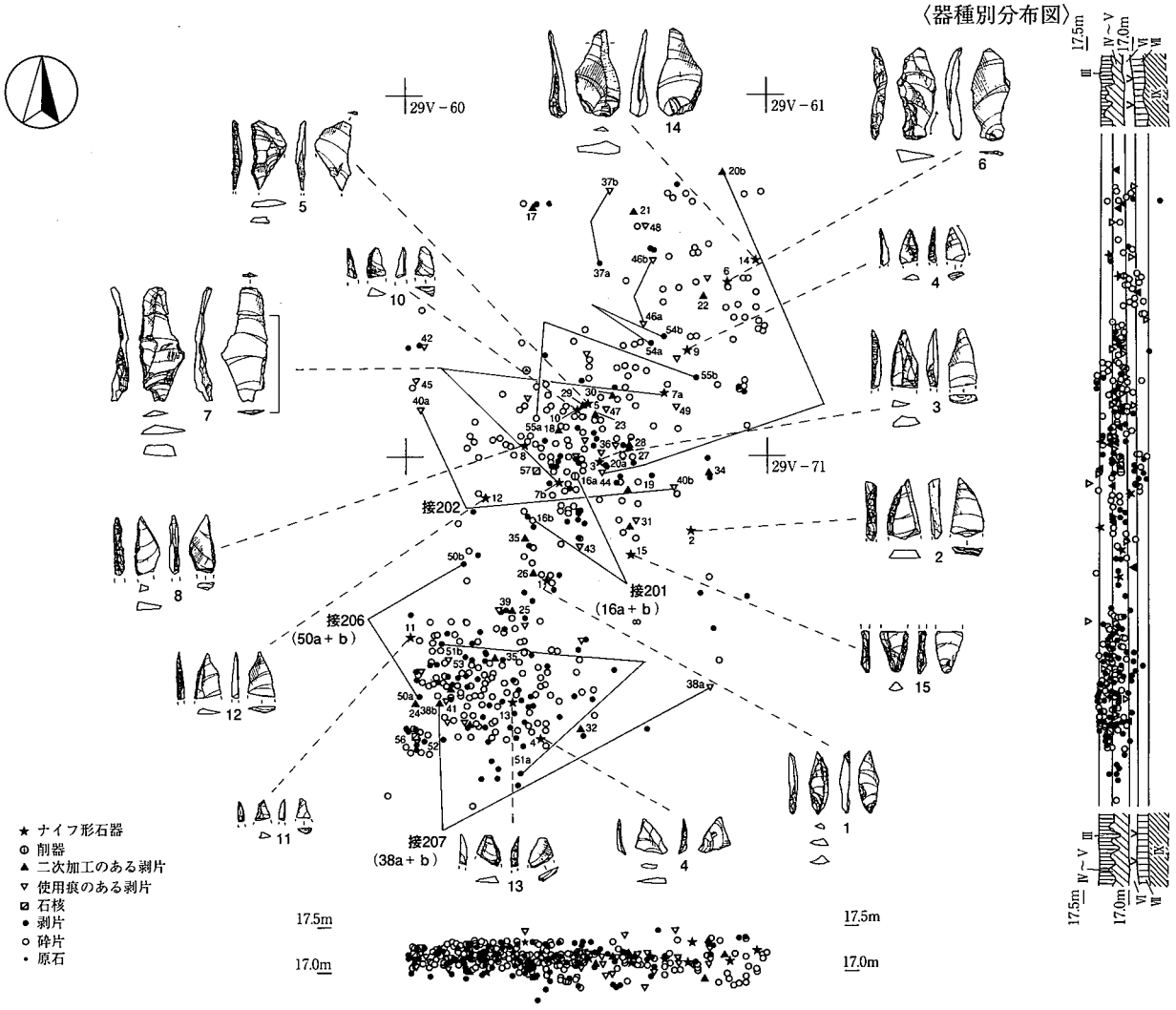
（２）第５ブロック（第21～24図、第12・37表、巻頭図版１、図版26・27）

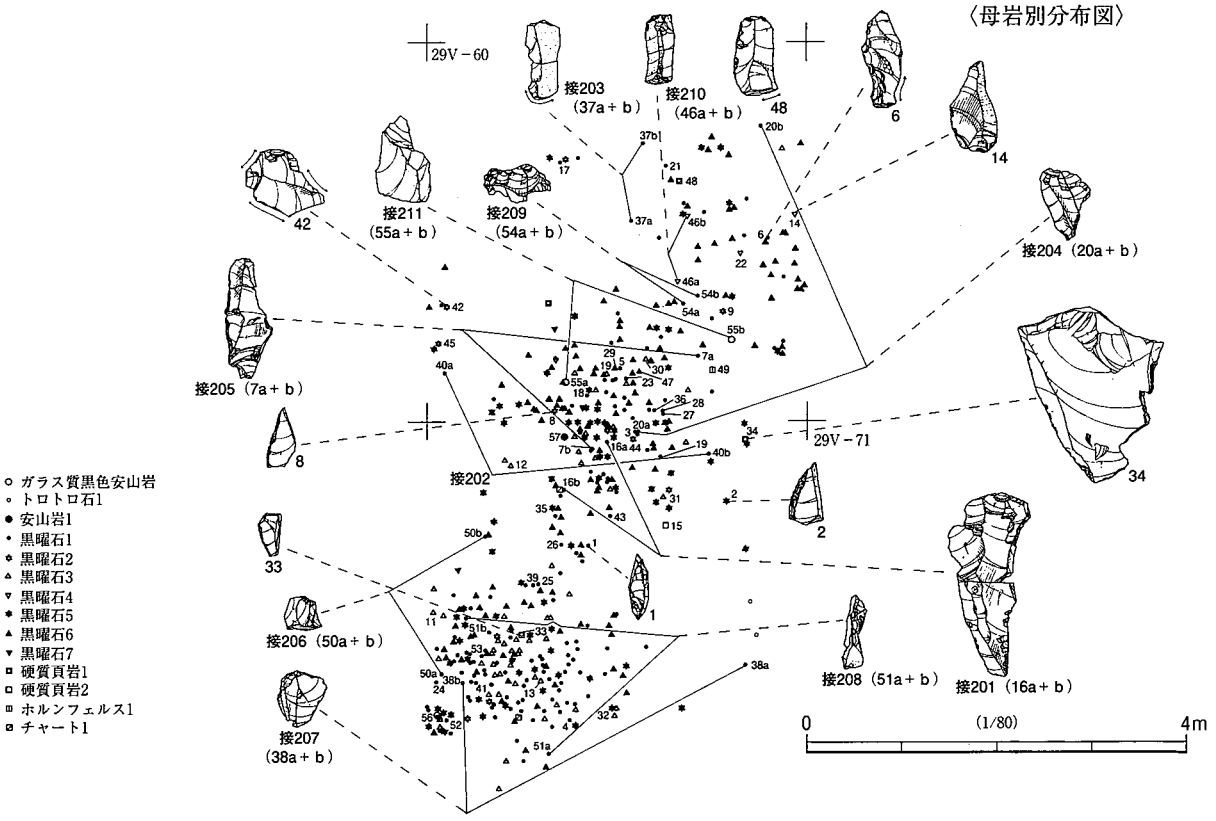
出土状況　調査区中央部の18m（現地表面）のコンタラインがやや突出した地点に立地し、南東に緩やかに傾斜する斜面の縁辺付近に分布する。約８ｍ×３ｍの楕円形の範囲に密集して分布する。集中地点は、北東部と中央部と南西部の３つに細分することができる。北東部は砕片の割合が高い。ナイフ形石器は、破損がなくやや不定形な形状をした６・14の２点が、集中地点の外縁部に分布する。中央部は北東部に比べて砕片の割合が低く、集中地点の中央部付近に製品や剥片が出土し、周縁部に砕片が分布する傾向がみられる。ナイフ形石器は器体中央部付近から破損したものが多くみられ、完形品である１は集中部の南端に分布する。南西部は最も密集しており、東側に砕片が、西側に製品・剥片類が分布する傾向がみられる。ナイフ形石器は先端部付近から破損し、先端部が残存した資料が多くみられる。３つの集中地点間の接合資料がみられることから、同時期に形成されたものと思われる。出土層位は、南北のセクション投影図において、北東部・中央部・南西部の３つの集中部から構成されていることが観察され、いずれも、Ⅶ層からⅢ層にかけて出土している。セクションに最も近い集中地点が北東部であり、Ⅵ層に集中することから、生活面はⅥ層にあったと考えられる。

出土遺物　ナイフ形石器（１～６・7a+b・８～15）16点、削器（16a+b）２点、二次加工のある剥片（17～35・38bなど）21点、使用痕のある剥片（36・37b・38a・39～49など）30点、石核（56・57）２点、剥片128点、砕片293点、原石１点の493点が出土した。第５ブロックが、本遺跡において最も出土点数が多い。石刃を素材としたナイフ形石器が多くみられ、黒曜石を多用することが本ブロックの特徴と言えよう。

第12表　第２文化層第５ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	削器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	原石	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	1					1	2			3	0.61	37.27	8.98
トロトロ石	1						1	1		2	0.41	0.72	0.17
安山岩	1					1				1	0.20	190.22	45.84
黒曜石	1	7	2	13	15		69	65		171	34.69	81.05	19.53
	2	2		1	5		4			12	2.43	29.29	7.06
	3	4		2	1		14	38		59	11.97	9.2	2.22
	4	1		1	3			1		6	1.22	5.24	1.26
	5	1		1			12	73		87	17.65	5.6	1.35
	6			1	4		26	112		143	29.01	14.81	3.57
	7								1	1	0.20	10.23	2.47
黒曜石点数合計		15	2	19	28		125	289	1	479	97.16	155.42	37.45
硬質頁岩	1			2	1			1		4	0.81	28.06	6.76
	2	1								1	0.20	0.75	0.18
硬質頁岩点数合計		1		2	1			1		5	1.01	28.81	6.94
ホルンフェルス	1				1					1	0.20	2.36	0.57
チャート	1							2		2	0.41	0.17	0.04
全体点数合計		16	2	21	30	2	128	293	1	493	100.00	414.97	100.00
点数組成比（％）		3.25	0.41	4.26	6.09	0.41	25.96	59.43	0.20	100.00			





第21図　第２文化層第５ブロック遺物分布図

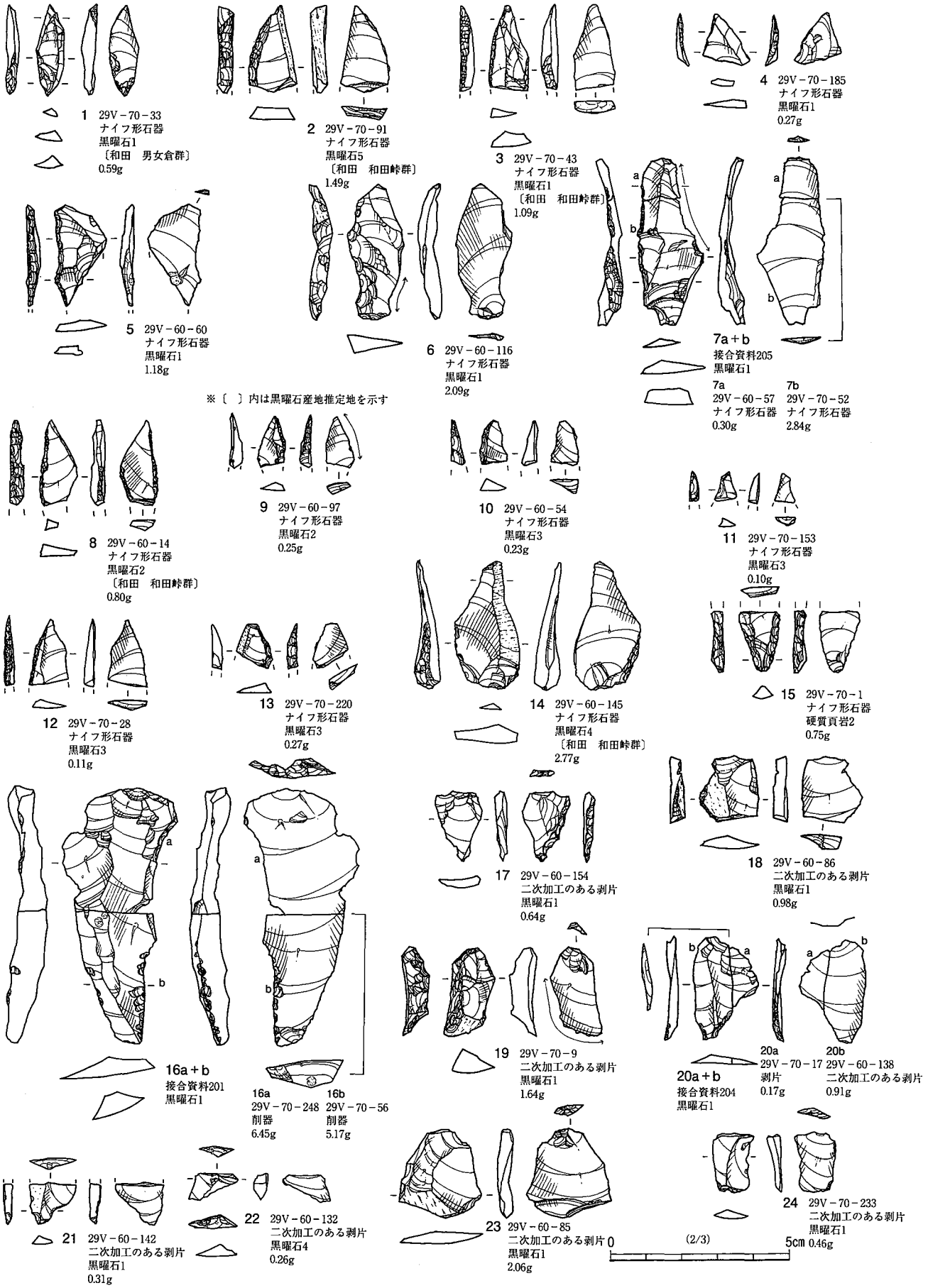
１～15はナイフ形石器である。ナイフ形石器の形態は、石刃を素材として、素材を縦位に用いて、片側縁と反対側縁下部にブランティング加工が施されている。典型例として１～３があげられる。小型のナイフ形石器のうち、完形品は１のみであり、他はすべて破損している。先端部付近で破損して先端部が残存しているものは、４・10・11・13である。中間部から破損して先端側が残存しているものは、２・３・５・９・12である。基部が破損したものは８である。黒曜石製で先端側が破損し、基部側が残存しているものはみられない。

ナイフ形石器と同一母岩である剥片・砕片が多量に出土していることから、本ブロックにおいて、黒曜石を用いたナイフ形石器が製作されたと考えられる。これに対して、15のナイフ形石器は硬質頁岩２が単品として搬入されたもので、中央部から破損し基部が残存している。このように、本ブロックで製作された黒曜石が先端部残存品であるのに対して、搬入品の硬質頁岩が基部残存品であることは非常に興味深い傾向である。この要因として、本ブロックで黒曜石を用いてナイフ形石器を製作する際に、素材の縁辺を残しながら製作途中に破損したものが、本ブロックに残存した可能性がある。また、ナイフ形石器のうち完形品の割合が極めて低いことから、製品は搬出されたと推定される。これらのことから、本ブロックにおける黒曜石を用いたナイフ形石器の製作過程は、初期工程に先端部の素材の縁辺部を残しながら調整加工を行い、最終工程で基部加工の調整が行われている。これとは対照的に、硬質頁岩２のナイフ形石器は、製品として搬入され使用等により先端部が破損したと推察される。６・7a＋b・14はナイフ形石器として分類したが、調整加工が連続的に施されておらず、形状が不定形であることから二次加工のある剥片・削器として分類したほうが妥当かもしれない。あるいは、本ブロックが黒曜石を用いたナイフ形石器の製作跡であると推察されることから、ナイフ形石器の未製品である可能性もある。

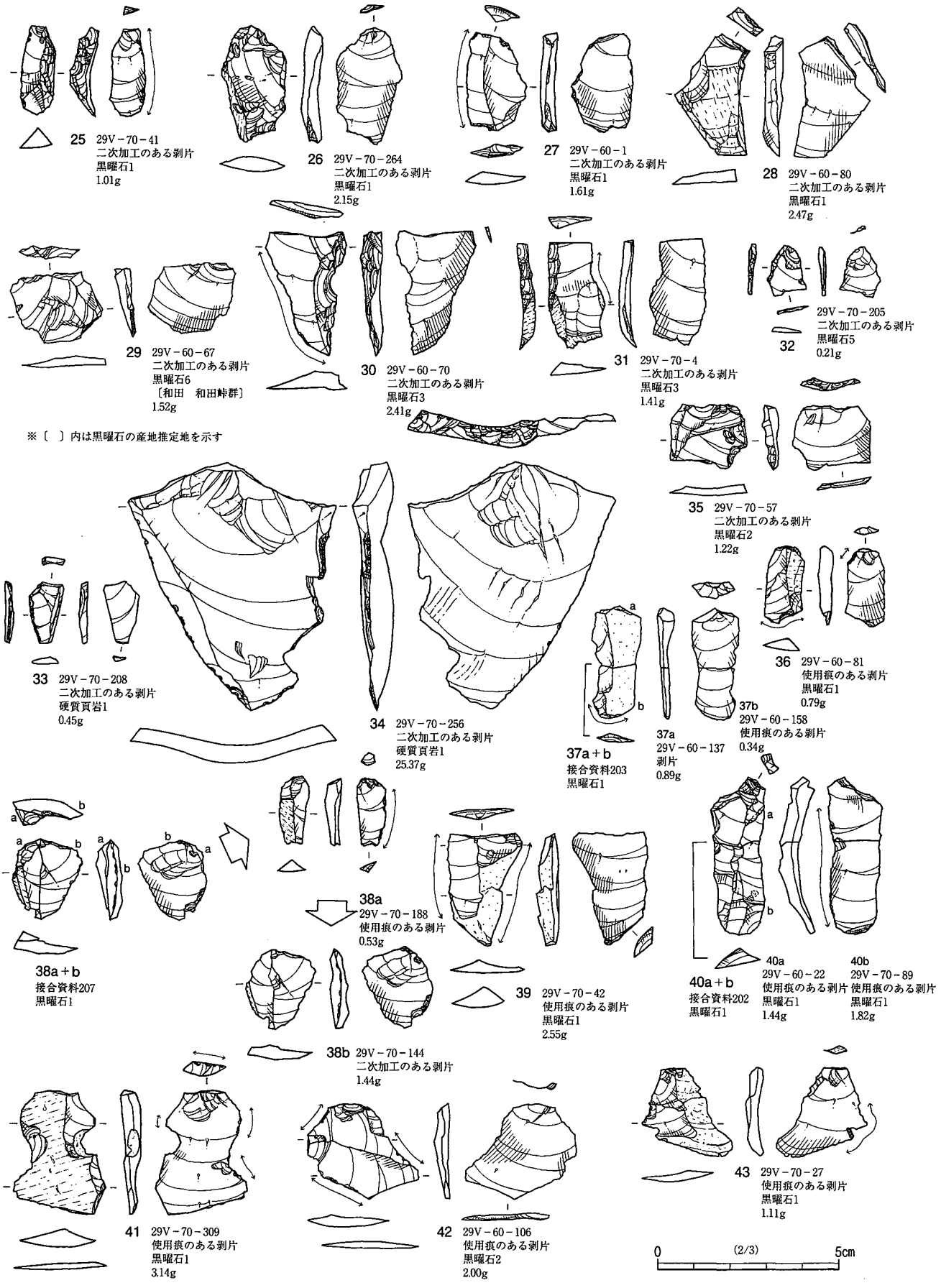
16a＋bは削器である。縦長の剥片を素材として右側縁に連続的に調整加工が施されている。17～19・20b・21～35・38bは二次加工のある剥片である。このうち急角度の調整加工が施されているものは17・30・31であり、ナイフ形石器の未製品の可能性がある。33・34は硬質頁岩１が用いられており、素材の末端部と側縁部に調整加工が施されている。36・37b・38a・39～49は使用痕のある剥片である。調整加工を行わないで、素材の鋭い縁辺部を刃部として使用されたものが多くあることが伺える。このうち36・37a＋b・38a・40a＋b・45・46a＋b・48は石刃を素材としており、石刃を刃器として使用したことが考えられる。50・51・54は黒曜石１の接合資料であり、52・53は黒曜石１の剥片である。

本ブロックにおける黒曜石の母岩消費方法については、次のような特徴がみられる。黒曜石は７個の母岩が用いられており、いずれの母岩とも石核がみられない。ただし、ナイフ形石器の製作や50・51・54のような小型の剥片の接合資料があることから、残核までも石器の素材として利用したことにより、残核が残存しなかったことが推察される。

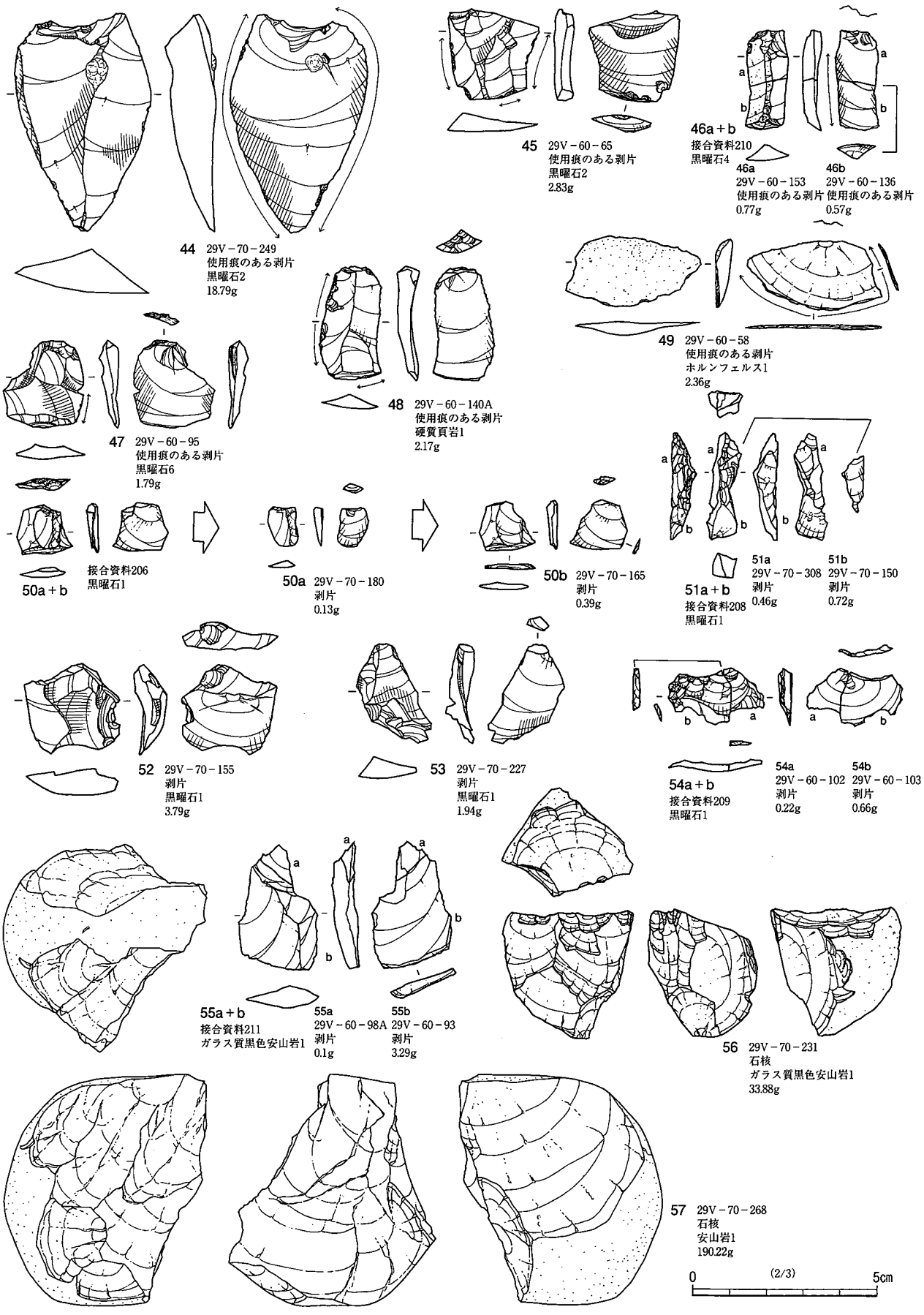
黒曜石以外の石材では、ガラス質黒色安山岩１が剥片２点の接合資料（55a＋b）に加えて、石核（56）１点の計３点が出土している。また、安山岩１は57の石核が単品で搬入されている。多量に出土している黒曜石では石核が出土していないのに対して、点数の少ないガラス質黒色安山岩１や安山岩１では石核が出土していることから、石材によって母岩消費過程が大きく異なっていたことが推察される。56・57にみられる石核は、円礫を分割したものを素材としており、分割面から不定形な剥片を剥離し、自然面を大きく残している。このため、これ以降にも剥片剥離が可能な製作形状を残しているものと思われる。



第22図　第２文化層第５ブロック出土石器（１）



第23図　第２文化層第５ブロック出土石器（２）



第24図　第２文化層第５ブロック出土石器（３）

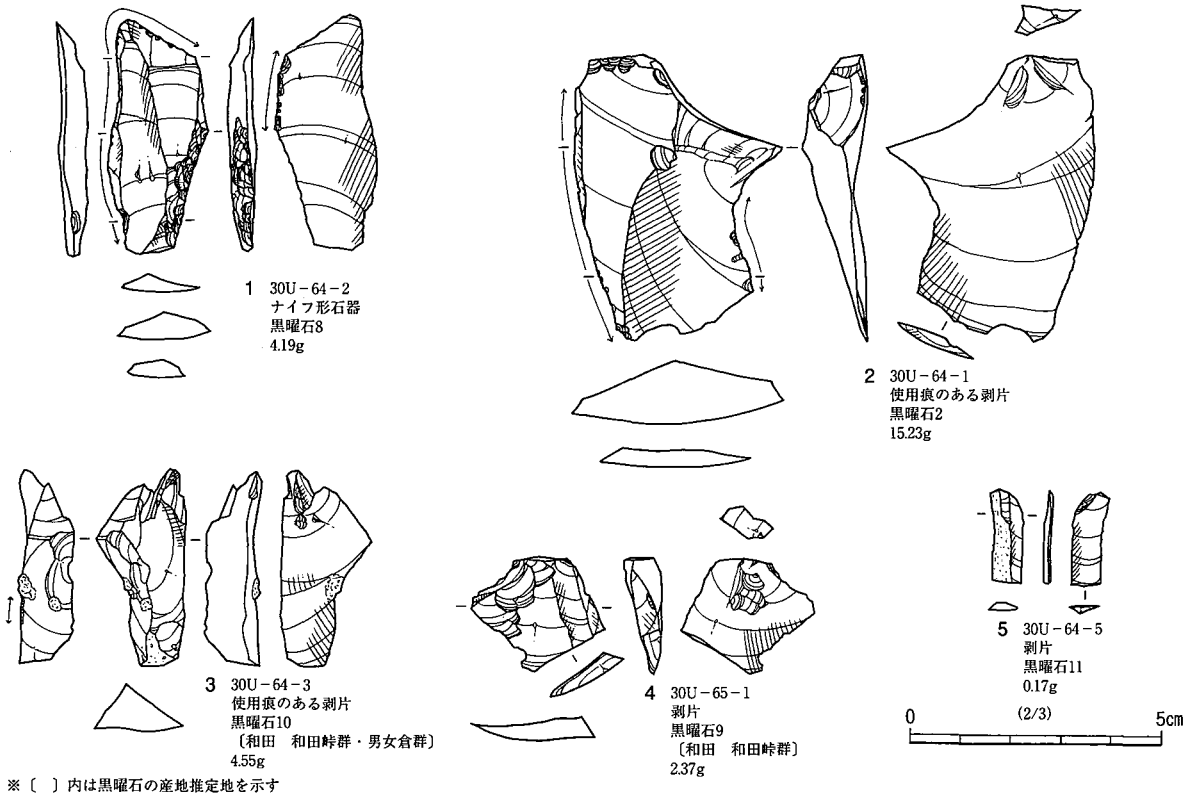
（3）第6ブロック（第25・26図、第13・37表、巻頭図版1、図版27）

出土状況　第5ブロックの南西に近接して分布する。18m～19m（現地表面）のコンタラインが台地側に入り込み、東側に緩やかに傾斜する場所に立地する。約4m×3mの楕円形の範囲に散漫に分布している。出土点数は総計6点で少ないものの、ナイフ形石器1点、使用痕のある剥片2点で使用された石器が多く分布する。すべて黒曜石が用いられており、2の黒曜石2の母岩は、第5ブロックに多量に出土している。第5ブロックとは接合関係がみられないが、近接して出土しており、石材組成やナイフ形石器の形態が類似することから、同時期に存在した可能性が高い。

出土遺物　ナイフ形石器（1）1点、使用痕のある剥片（2・3）2点、剥片（4・5）2点、砕片1点の総計6点が出土した。1はナイフ形石器である。素材である石刃の打面部を下位に設置して、縦位に用いられている。腹面側からねじり折るような調整加工で打面部の厚みを除去した後に、右側縁にブランティング加工が施されている。2・3は幅広の剥片を素材として、鋭い縁辺に連続した微細剥離痕がみられる。4・5は剥片である。背面に縦長剥片が剥離された痕跡がみられる。

第13表　第2文化層第6ブロック石器組成表

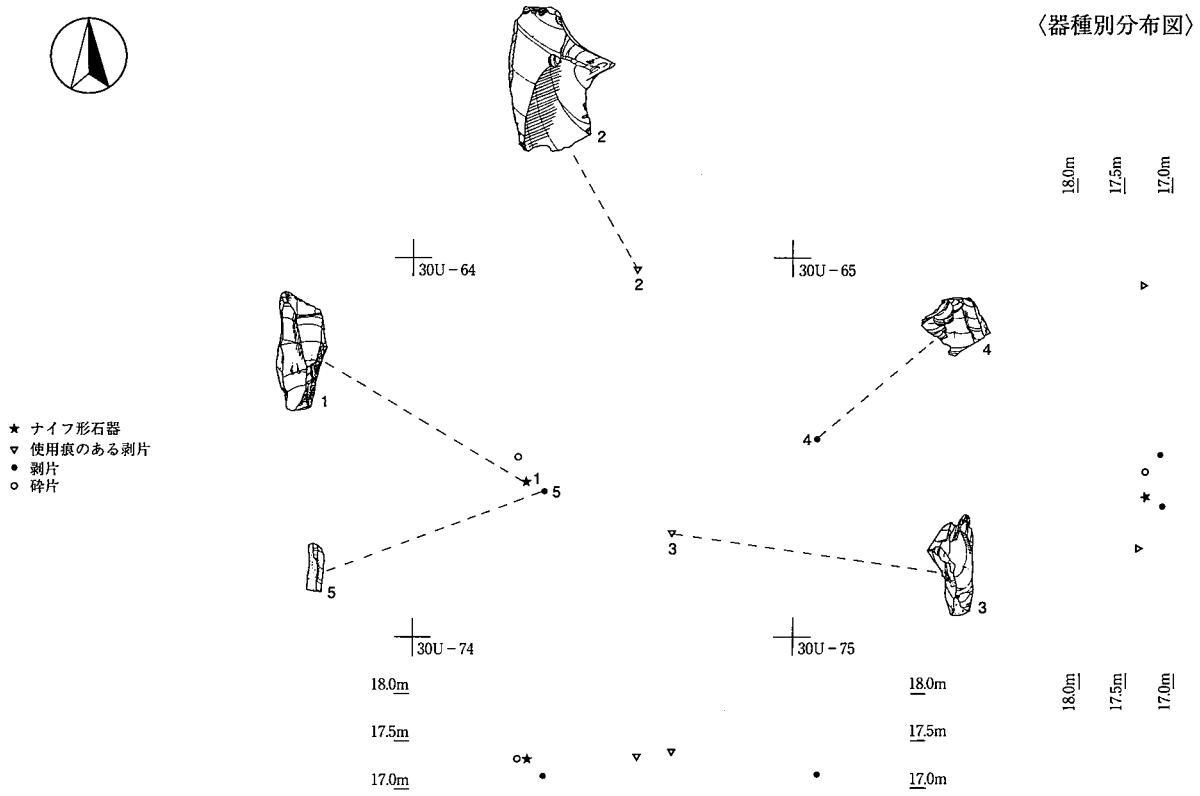
器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	使用痕のある剥片	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
黒曜石	2		1			1	16.67	15.23	57.23
	8	1				1	16.67	4.19	15.75
	9			1		1	16.67	2.37	8.91
	10		1			1	16.67	4.55	17.10
	11			1	1	2	33.33	0.27	1.01
黒曜石点数合計		1	2	2	1	6	100.00	26.61	100.00
全体点数合計		1	2	2	1	6	100.00	26.61	100.00
点数組成比（%）		40.00	40.00	20.00	40.00	100.00			



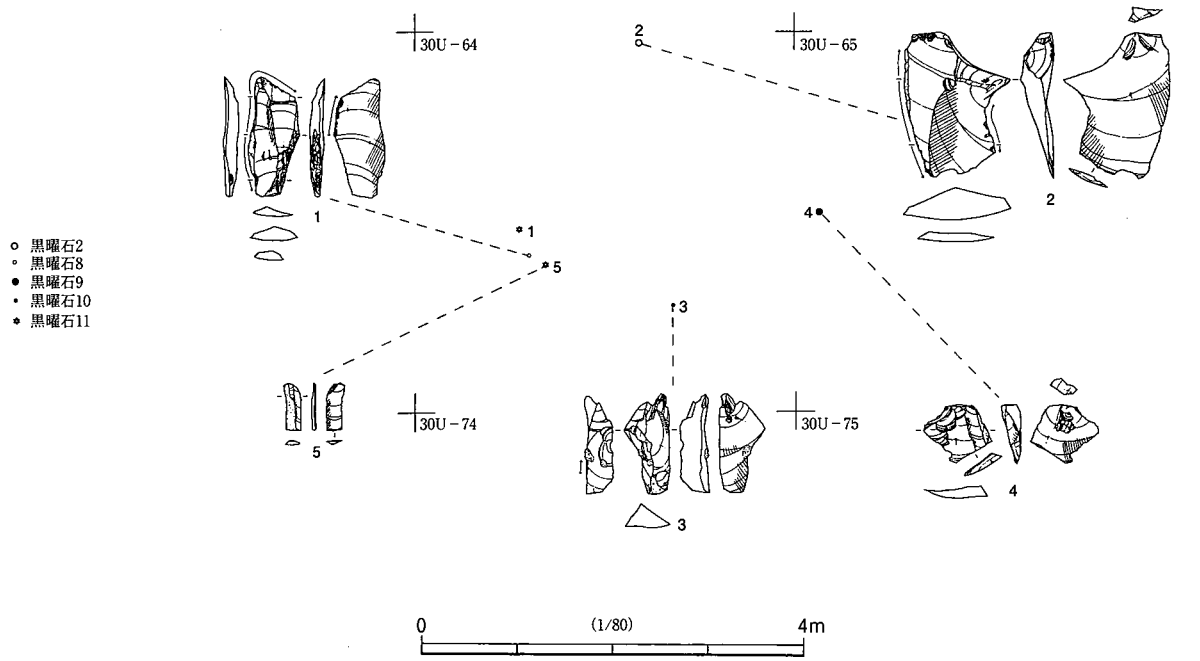
※〔 〕内は黒曜石の産地推定地を示す

第25図　第2文化層第6ブロック出土石器

〈器種別分布図〉



〈母岩別分布図〉



第26図　第２文化層第６ブロック遺物分布図

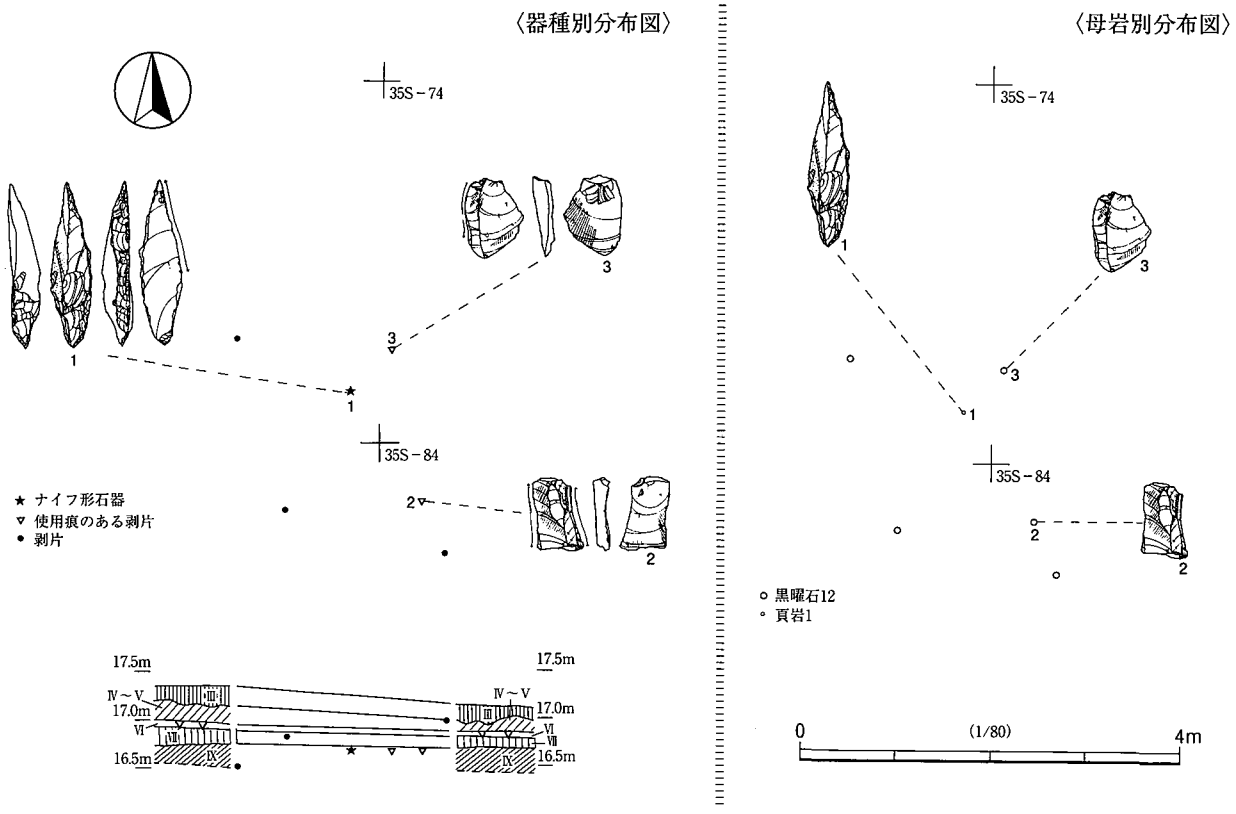
（4）第７ブロック（第27・28図、第14・37表、巻頭図版１、図版27）

出土状況　南西側に第８ブロックが近接し、南東側に緩やかに傾斜する斜面の縁辺付近に分布する。約３ｍ×２ｍの楕円形の範囲に散漫に出土している。頁岩１がナイフ形石器として単品で搬入され、集中地点中央部から出土し、黒曜石12がその周辺に散漫に出土する。出土層位は、Ⅸ層上部からⅣ～Ⅴ層にかけて散漫に分布し、Ⅶ層～Ⅵ層付近に集中する。

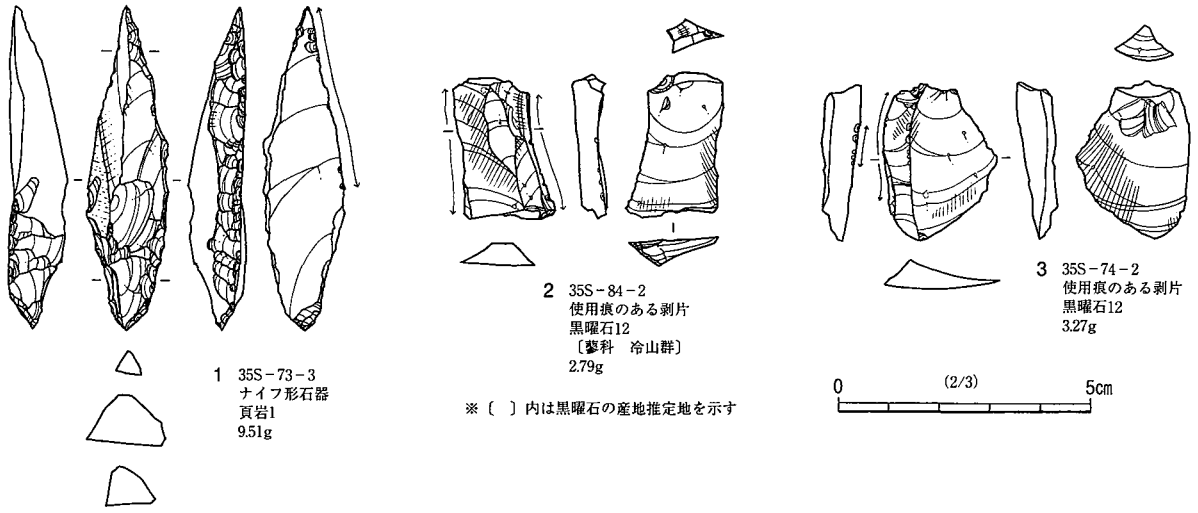
出土遺物　ナイフ形石器（１）１点、使用痕のある剥片（２・３）２点を含む６点が出土した。１は縦長剥片を素材とし、素材をやや斜め縦方向に用い、打面部を基部として用いている。右側縁には急角度の調整加工が施され、特に先端部付近は細かい調整加工により尖っている。先端部の腹面には使用によると思われる微細剥離痕がみられる。素材打面部にはやや荒い調整加工が施されている。素材の縁辺は左側縁上半部に残っている。２・３は縦長剥片を素材とした使用痕のある剥片である。

第14表　第２文化層第７ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	使用痕のある剥片	剥片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
黒曜石	12		2	3	5	83.33	6.88	41.98
頁岩	1	1			1	16.67	9.51	58.02
全体点数合計		1	2	3	6	100.00	16.39	100.00
点数組成比（%）		16.67	33.33	50.00	100.00			



第27図　第２文化層第７ブロック遺物分布図



第28図　第２文化層第７ブロック出土石器

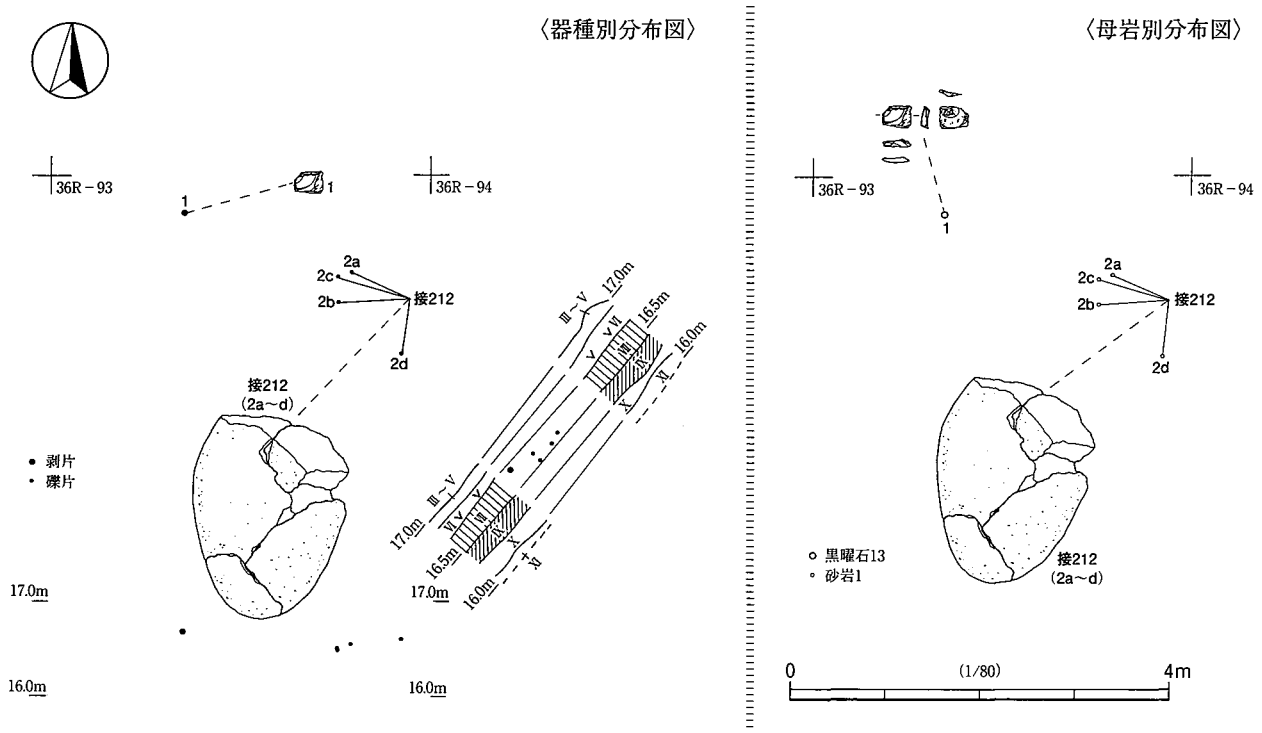
（５）第８ブロック（第29・30図、第15・37表、図版27）

出土状況　第２文化層では南西側に位置し、標高17m付近に立地する。南東側に谷津が入り込んでおり、緩やかに南東側に傾斜する斜面の縁辺付近に分布する。単品で出土している黒曜石13は北西部に分布し、４点で構成される砂岩１は南東部に分布し、完形に近い形状まで接合している。出土層位はすべてⅦ層から出土している。

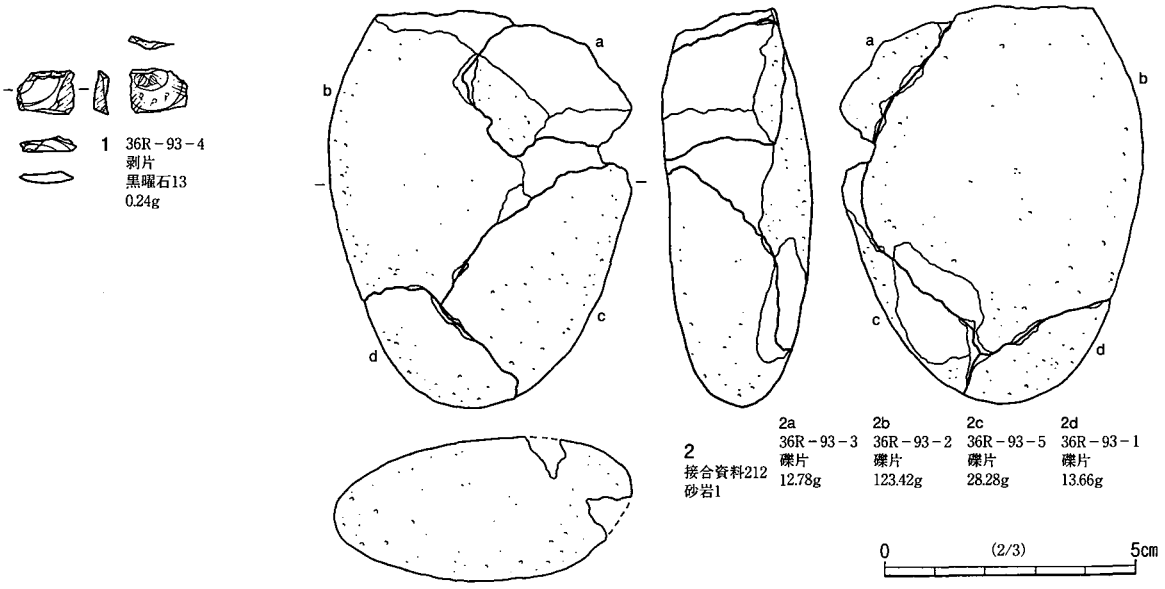
出土遺物　剥片（１）１点、礫片（2a～d）４点の５点が出土した。１は良質な黒曜石を用いた剥片である。幅広の貝殻状の剥片で、背面右半部に節理面を残し、末端部は折れている。2a～dは礫片の接合資料で、完形近くまで接合した資料である。火熱を受けており、自然面が赤色に変色している。2a～dは、第３文化層の礫群を形成する礫と類似するが、出土層位がいずれもⅦ層であり、第２文化層で高い割合を示した黒曜石が出土していることから、本ブロックを第２文化層に帰属させた。しかしながら、出土点数が少なく、定型的な石器がみられないことから、他のブロックに比べて、第２文化層に帰属させる要因が少ない。

第15表　第２文化層第８ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	剥片	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
黒曜石	13	1		1	20.00	0.24	0.13
砂岩	1		4	4	80.00	178.14	99.87
全体点数合計		1	4	5	100.00	178.38	100.00
点数組成比（％）		20.00	80.00	100.00			



第29図　第２文化層第８ブロック遺物分布図



第30図　第２文化層第８ブロック出土石器

第５節　第３文化層

（１）概要（第31図、第16表）

第３文化層の石器群は、総計818点出土し、第９～22ブロックの14か所のブロックが識別できた。生活面は、Ⅴ層～Ⅳ層下部と考えられる。本文化層の特徴は、多量の焼礫を伴う礫群が形成され、角錐状石器が伴うことである。特に、南東部の35Xグリッド出土の第９～12ブロックにおいては、ブロック間接合がみられる。剥片石器は、接合資料304（21a～m）が第９～12ブロックの４ブロックにわたって接合した資料がみられる（第32図）。礫片は、多数のブロック間接合がみられる（第33図）。遺跡北東部の29Xグリッド付近に湧水地があったと推定され、地形図に川の流れを示す矢印が遺跡の東側から南側に向かっている。この川は地形図では「牛飼沢」と表記されている。第３文化層はこの牛飼沢に沿って、台地縁辺部に数ブロックごとにまとまり（ブロック群）を持っている。コンタライン16m～17mに立地し、第３文化層が最も低い標高から検出されている（第７・８・31図）。ブロック群ごとに、立地と分布の傾向をみていく。

遺跡南東部に分布する第９～12ブロック群は、川の流路に最も近接して分布しており、多量の焼礫が形成され、角錐状石器が伴う。出土点数は495点で最も多く、剥片石器の接合資料などから剥片剥離方法が観察される良好な資料が出土している。ブロック間の接合資料が多く、母岩別分布も各ブロックに分布していることから、同時期に形成されたブロック群と捉えられる。遺物の実測図の掲載や記載については、第９～12ブロックをまとめて取り上げた。

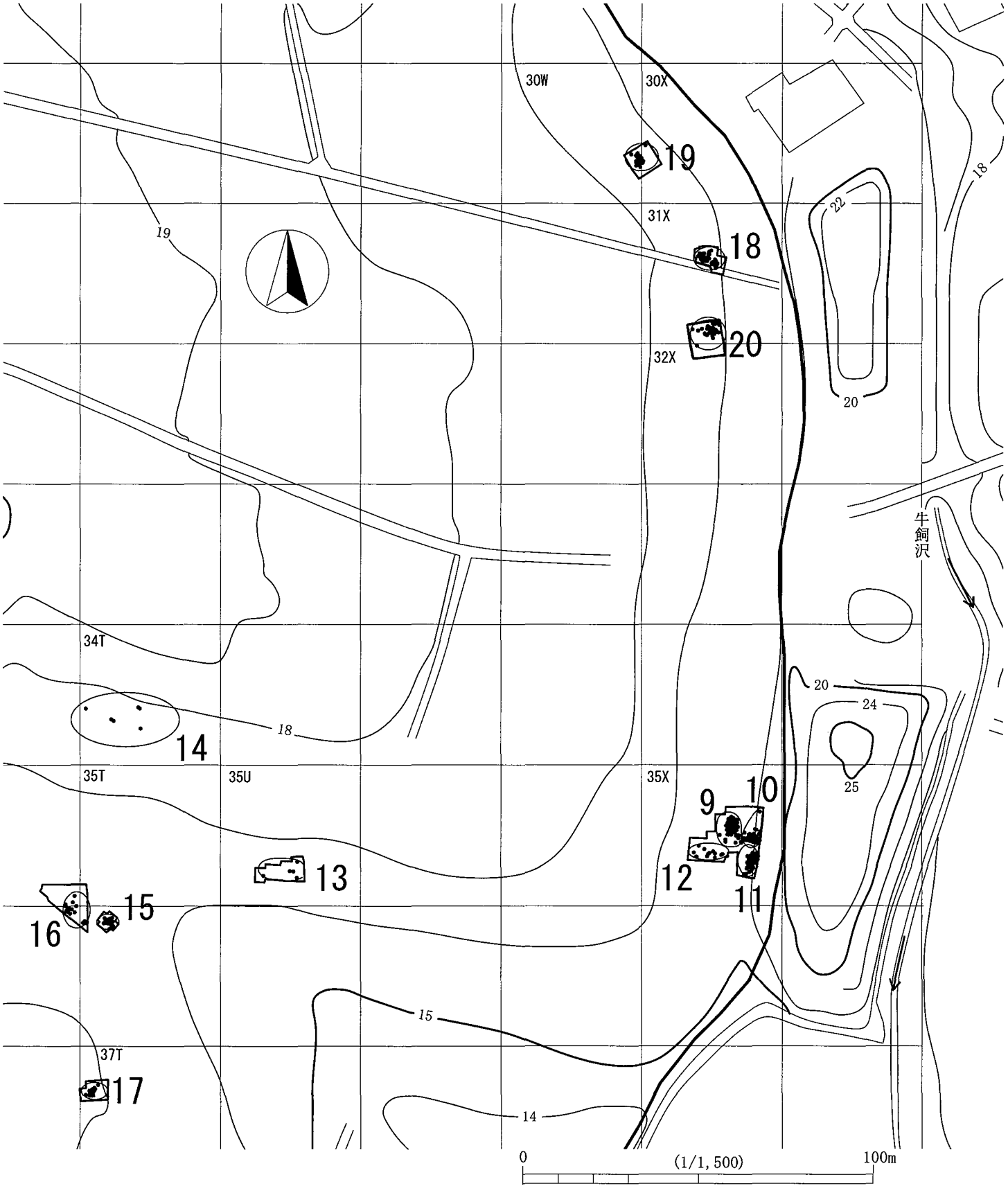
遺跡南部に分布する第13～17ブロック群は、現在地図上に表記されている川の流路から離れた位置に分布するものの、南西方向に傾斜する谷津頭の位置に立地している。おそらく第３文化層の時期には、南西部に湧水地があったと推測される。ブロック間の接合資料はみられなかった。焼礫である礫片は、第15・17ブロックに伴うが、第13・14・16ブロックでは伴っていない。定型的な石器は、第14ブロックの掻器１点と第17ブロックのナイフ形石器１点のみの出土である。これらのブロック群は、ブロック間接合がみられず、各ブロックの器種・石材組成に相違点がみられることから、明確には同時期に形成された資料と言うことはできない。

遺跡中央部東側に分布する第18～20ブロック群は、川の流路に近接して分布している。ブロック間の接合資料はみられなかった。礫片がわずか２点のみの出土で、角錐状石器は出土していない。各ブロックでは黒曜石を主体としている。このように、器種組成や石材組成において共通する点が多い。南側に位置する第９～12ブロック群が、角錐状石器と多量の焼礫を伴い、黒曜石がわずか３点のみであることなど対照的な石器群の様相を呈する。

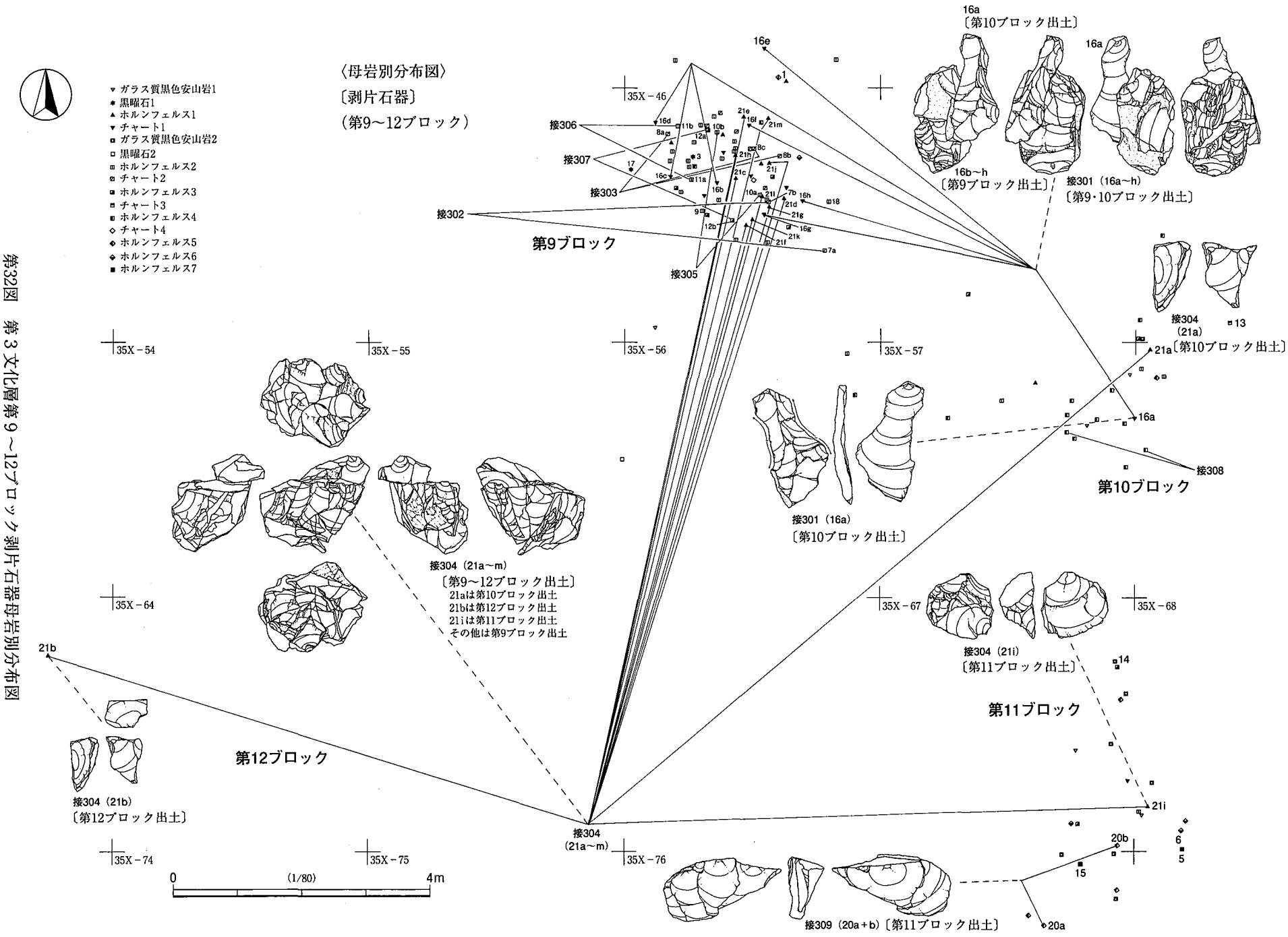
遺跡北部に分布する第21・22ブロック群は、定型的な石器は出土しておらず、焼礫がわずか１点のみの出土である。全体の出土点数が少ないことから、石器群の様相が明確ではない。コンタライン17m～19mにかけて分布しており、標高が１m～２m高い地点から出土しており、他の第３文化層のブロック群とは遺跡立地が異なる。

黒曜石の産地推定の分析を行った資料は６点である。すべて高原山エリア甘湯沢群であった。

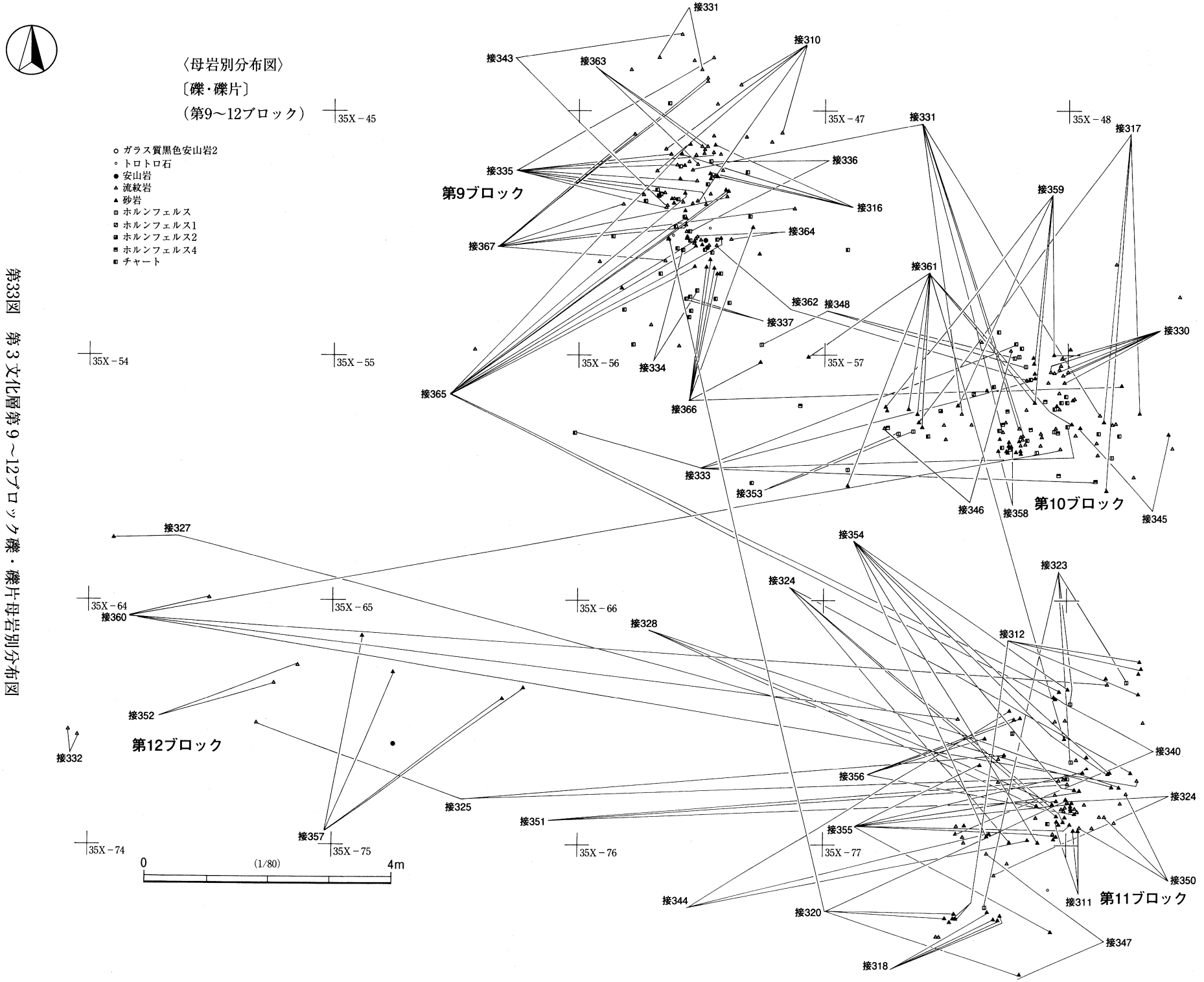
本遺跡は江戸川東側で江戸川に流入していた坂川の源流域である「牛飼沢」の標高16m～20mの低い台地に位置している。おそらく、河岸段丘が形成され、古い時期から新しい時期にかけての石器群の立地は、高位段丘面から低位段丘面に変遷していることが伺える。第３文化層は最も低位の段丘面に位置し、牛飼沢によって浸食され露出した段丘礫層の礫を用いて、礫群を形成したものと思われる。



第31図　第３文化層ブロック分布図



第32図　第３文化層第９～12ブロック剥片石器母岩別分布図



第33図　第３文化層第９～12ブロック礫・礫片母岩別分布図

第16表　第３文化層器種石材組成表

ブロック	石材	ナイフ形石器	角錐状石器	削器	掻器	磨石	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
9	ガラス質黒色安山岩								1	2				3	0.37	79.29	0.37
	トロトロ石												2	2	0.24	12.54	0.06
	安山岩												3	3	0.37	189.45	0.88
	流紋岩												64	64	7.82	2610.89	12.13
	黒曜石						1		1	1				3	0.37	24.81	0.12
	砂岩												32	32	3.91	1210.8	5.63
	ホルンフェルス		1				1		3	43	1		1	50	6.11	765.95	3.56
	チャート	1							6	14			33	54	6.60	898.67	4.18
第９ブロック点数合計		1	1				2		11	60	1		135	211	25.79	5792.4	26.92
10	ガラス質黒色安山岩									3				3	0.37	25.48	0.12
	流紋岩												48	48	5.87	1767.92	8.22
	砂岩												33	33	4.03	1614.03	7.50
	ホルンフェルス							1		9			20	30	3.67	997.85	4.64
	チャート							2					18	20	2.44	997.85	4.64
第10ブロック点数合計								3		12			119	134	16.38	5133.85	23.86
11	ガラス質黒色安山岩									8			1	9	1.10	131.28	0.61
	流紋岩												42	42	5.13	1930.1	8.97
	砂岩												62	62	7.58	2527.21	11.74
	ホルンフェルス							2	1	11		1	4	19	2.32	1014.13	4.71
	チャート									1		1	1	3	0.37	320.11	1.49
第11ブロック点数合計								2	1	20		2	110	135	16.50	5922.83	27.52
12	安山岩												1	1	0.12	280.93	1.31
	流紋岩												8	8	0.98	467.79	2.17
	砂岩												5	5	0.61	238.58	1.11
	ホルンフェルス									1				1	0.12	24.43	0.11
第12ブロック点数合計										1			14	15	1.83	1011.83	4.70
13	トロトロ石									1				1	0.12	5.77	0.03
	安山岩											1		1	0.12	398.3	1.85
	黒曜石									1				1	0.12	2.18	0.01
	珪質頁岩							1						1	0.12	9.9	0.05
	ホルンフェルス									1				1	0.12	0.46	0.002
	チャート								1					1	0.12	26	0.12
第13ブロック点数合計								1	1	3		1		6	0.73	442.61	2.06
14	黒曜石				1					2				3	0.37	23.72	0.11
	チャート							1		1				2	0.24	49.06	0.23
	頁岩									1				1	0.12	2.71	0.01
第14ブロック点数合計					1			1		4				6	0.73	75.49	0.35
15	流紋岩												12	12	1.47	78.54	0.36
	砂岩												20	20	2.44	223.35	1.04
	ホルンフェルス												2	2	0.24	24.57	0.11
	チャート						4			3			5	12	1.47	93.04	0.43
第15ブロック点数合計							4			3			39	46	5.62	419.5	1.95
16	流紋岩												2	2	0.24	450.4	2.09
	黒曜石								1	1				2	0.24	450.4	2.09
	砂岩												8	8	0.98	68.05	0.32
	珪質頁岩						1			1				2	0.24	6.54	0.03
	ホルンフェルス												2	2	0.24	13.15	0.06
	チャート						1						1	2	0.24	10.41	0.05
	玉髄（メノウ含む）									3				3	0.37	2.05	0.01
第16ブロック点数合計							2		1	5			13	21	2.57	568.52	2.64
17	流紋岩												14	14	1.71	172.05	0.80
	砂岩												12	12	1.47	474.36	2.20
	硬質頁岩	1												1	0.12	3.3	0.02
	チャート												5	5	0.61	47.15	0.22
	玉髄（メノウ含む）												2	2	0.24	16.96	0.08
第17ブロック点数合計		1											33	34	4.16	713.82	3.32
18	トロトロ石									2	1			3	0.37	243.02	1.13
	安山岩					1							1	2	0.24	214.32	1.00
	黒曜石	1		1	1		2	3	3	33	3			47	5.75	242.32	1.13
	珪質頁岩	1												1	0.12	26.49	0.12
	チャート							1		5				6	0.73	272.9	1.27
	頁岩									1				1	0.12	5.01	0.02
第18ブロック点数合計		2		1	1	1	2	4	3	41	4		1	60	7.33	1004.06	4.67
19	トロトロ石									1	1			2	0.24	0.49	0.00
	黒曜石						2	4	2	24	17			49	5.99	117.01	0.54
	硬質頁岩								1	2				3	0.37	40.96	0.19
	ホルンフェルス										1			1	0.12	0.27	0.001
	チャート												1	1	0.12	11.63	0.05
	頁岩									3				3	0.37	11.5	0.05
第19ブロック点数合計							2	4	3	30	19		1	59	7.21	181.86	0.85
20	ガラス質黒色安山岩									1				1	0.12	6.04	0.03
	黒曜石				1		3	8		15	21			48	5.87	75.53	0.35
	チャート									3				3	0.37	10.71	0.05
第20ブロック点数合計					1		3	8		19	21			52	6.36	92.28	0.43
21	ガラス質黒色安山岩									1				1	0.12	44.77	0.21
	砂岩											1	1	2	0.24	13.84	0.06
	チャート										1			1	0.12	0.18	0.001
	頁岩						1	1			1			3	0.37	10.37	0.05
第21ブロック点数合計							1	1		1	2	1	1	7	0.86	69.16	0.32
22	珪質頁岩						1			15	5			21	2.57	38.82	0.18
	チャート									5	1			6	0.73	14.57	0.07
第22ブロック点数合計							1			20	6			27	3.30	53.39	0.25
単独	流紋岩												2	2	0.24	23.62	0.11
	ホルンフェルス										1			1	0.12	0.18	0.001
	玉髄（メノウ含む）									1				1	0.12	5.15	0.02
	頁岩		1											1	0.12	8.2	0.04
単独出土点数合計			1							1	1		2	5	0.61	37.15	0.17
第３文化層点数合計		4	2	1	3	1	17	24	20	220	54	4	468	818	100.00	21518.75	100.00
点数組成比		0.49	0.24	0.12	0.37	0.12	2.08	2.93	2.44	26.89	6.60	0.49	57.21	100.00			

（2）第9ブロック（第32～34図、第17表）

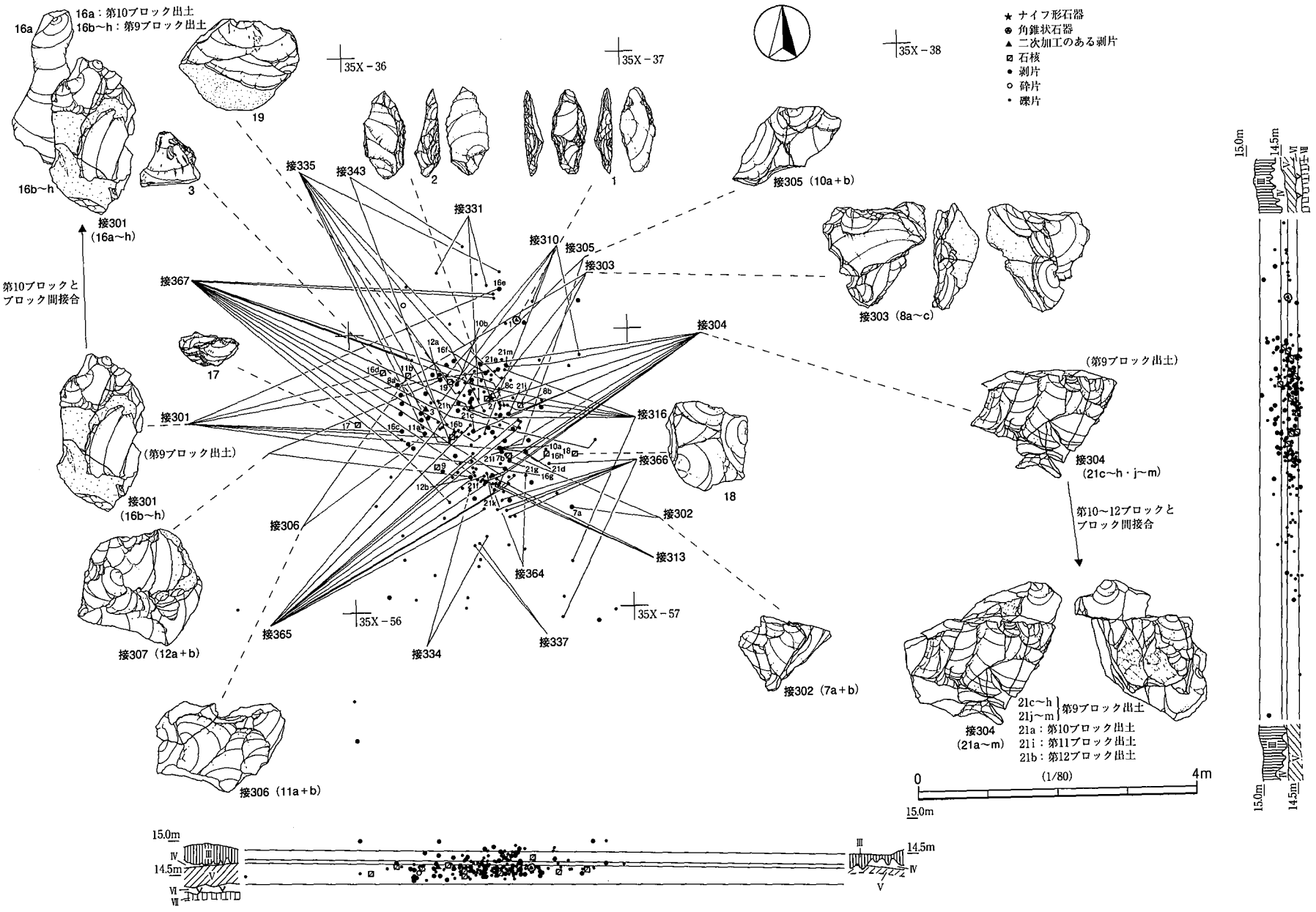
出土状況　第9～12ブロック群の中では北西部に位置し、4ブロック中最も出土点数が多い211点が出土した。ナイフ形石器・角錐状石器と多量の焼礫を伴う。約4m×4mの円形の範囲に密集している。ブロック間の接合資料も多くみられ、剥片石器では、接合資料304が第9～12ブロックの4ブロックにわたって接合しており、第9～12ブロック群を特徴付ける資料と言えよう。また、接合資料301が第10ブロックと接合している（第32・34図）。礫片では第9～12ブロックとのブロック間接合が多くみられる（第33図）。このような出土状況から、第9～12ブロックのなかで中核的なブロックであったことが推察される。接合資料を剥片剥離工程やブロック別分布に着目してみていくことにしよう。

接合資料304は、21a～mの13点の接合資料のうち10点が第9ブロック出土で、21aが第10ブロック、21iが第11ブロック、21bが第12ブロック出土である。このことから、本ブロックで剥片剥離を行い、剥離された剥片を各ブロックに分配譲与した可能性もある。また、剥片剥離工程別にみると、初期剥離剥片の21aが第10ブロック、21bが第12ブロックから出土しており、石核を第10ブロック→第12ブロック→第9ブロックの順に石核を持ち歩いて移動し、剥片剥離を行い、最終的に第9ブロックで最終剥離が行われた可能性もある。接合資料301は、16a～hの8点の接合資料のうち7点が第9ブロック出土で、16aのみが第10ブロック出土である。接合資料304と同様に、初期剥離剥片が第10ブロック出土で、残核（16h）を含めた最終剥離の接合資料が第9ブロックで出土している。第10ブロックに分配譲与したか、石核を持ち歩いて第10ブロックから第9ブロックに移動して、剥片剥離を行った可能性がある。

定型的な石器の出土点数は少ない。少量出土している角錐状石器（1）とナイフ形石器（2）は石器集中地点の北側に隣接して分布している。角錐状石器（1）はホルンフェルス5を単独母岩で製品として搬入している。ナイフ形石器（2）は、石核3点・剥片6点で構成されるチャート2を用いており、本ブロックで製作された可能性がある。出土層位は、Ⅴ層中部～Ⅲ層下部にかけて分布し、Ⅴ層上部～Ⅳ層下部に集中する。

第17表　第3文化層第9ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	角錐状石器	二次加工のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	1				1	2			3	1.42	79.29	1.37
トロトロ石								2	2	0.95	12.54	0.22
安山岩								3	3	1.42	189.45	3.27
流紋岩								64	64	30.33	2610.89	45.07
黒曜石	1			1	1				2	0.95	20.81	0.36
	2					1			1	0.47	4	0.07
黒曜石点数合計				1	1	1			3	1.42	24.81	0.43
砂岩								32	32	15.17	1210.8	20.90
ホルンフェルス	1			1		13			14	6.64	145.62	2.51
	2				3	22	1		26	12.32	305.12	5.27
	3					6			6	2.84	143.47	2.48
	4					1			1	0.47	65.66	1.13
	5		1						1	0.47	7.37	0.13
	6					1			1	0.47	17.19	0.30
								1	1	0.47	81.52	1.41
ホルンフェルス点数合計			1	1	3	43	1	1	50	23.70	765.95	13.22
チャート	1				3	7			10	4.74	251.7	4.35
	2	1			3	6			10	4.74	99.59	1.72
	4					1			1	0.47	0.83	0.01
								33	33	15.64	546.55	9.44
チャート点数合計		1			6	14		33	54	25.59	898.67	15.51
全体点数合計		1	1	2	11	60	1	135	211	100.00	5792.4	100.00
点数組成比（%）		0.47	0.47	0.95	5.21	28.44	0.47	63.98	100.00			



第34図　第３文化層第９ブロック器種別分布図

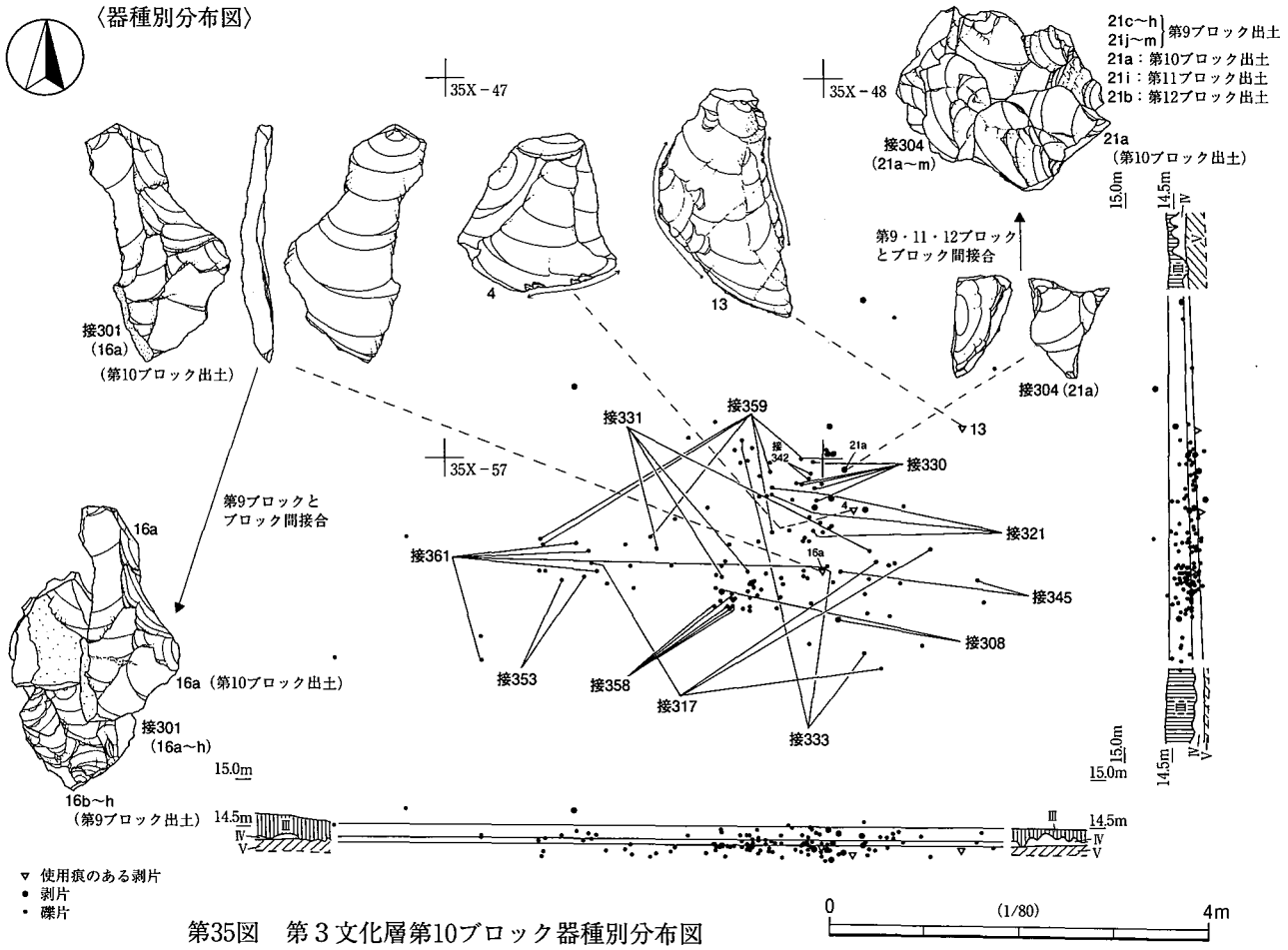
（3）第10ブロック（第32・33・35図、第18表）

出土状況　第9～12ブロック群の中では北東部に位置する。遺物分布は、約7m×4mの楕円形の範囲に集中して分布している。第9～12ブロックのなかで3番目に多い出土点数の134点が出土した。

ブロック間接合は、剥片石器では、接合資料304が第9・11・12ブロック、接合資料301が第9ブロックと接合している。第9ブロックとのブロック間の緊密性が高いことが伺える。礫片では、接合資料331が

第18表　第3文化層第10ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	使用痕のある剥片	剥片	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	1		2		2	1.49	9.15	0.18
	2		1		1	0.75	16.33	0.32
ガラス質黒色安山岩点数合計			3		3	2.24	25.48	0.50
流紋岩				48	48	35.82	1767.92	34.44
砂岩				33	33	24.63	1614.03	31.44
ホルンフェルス	1		1	1	2	1.49	17.41	0.34
	2		2	1	3	2.24	21.21	0.41
	3		2		2	1.49	37.73	0.73
	4		4	9	13	9.70	269.24	5.24
	5	1			1	0.75	39.23	0.76
				9	9	6.72	613.03	11.94
ホルンフェルス点数合計		1	9	20	30	22.39	997.85	19.44
チャート	1	1			1	0.75	30.47	0.59
	3	1			1	0.75	67.55	1.32
				18	18	13.43	630.55	12.28
チャート点数合計		2		18	20	14.93	728.57	14.19
全体点数合計		3	12	119	134	100.00	5133.85	100.00
点数組成比（%）		2.24	8.96	88.81	100.00			



第35図　第3文化層第10ブロック器種別分布図

第９ブロック、接合資料361が第11ブロック、接合資料360が第11・12ブロックと接合しており、第９～12ブロック群の各ブロックと接合関係がみられる。

礫片と剥片石器について、接合関係や分布傾向をもとに対比してみよう。

礫片においては、礫片のブロック間接合個体数が、第９～12ブロック群のなかで第11ブロックの次に多い。第11ブロックの器種組成と類似する点が多いことから、礫群を形成することが主要な機能であった可能性が高い。後述の第11ブロックの場所の機能と同様に、牛飼沢によって浸食され露出した礫を採取して用いた可能性が高い。

剥片石器においては、接合資料301の16aと接合資料304の21aは、いずれも初期剥離剥片であり、単独母岩として出土している。使用痕のある剥片と剥片の点数が15点で礫片が119点で圧倒的に礫片の割合が高い。使用痕のある剥片と剥片は集中地点の北東部側に、礫片は中央部から西部にそれぞれまとまって出土しており、剥片石器類と礫片の分布域が異なっている。少数ながら出土している剥片石器が他のブロックと接合関係を持つ資料であり、しかも初期剥離剥片であることは非常に興味深い出土状況である。第９ブロックで剥離した剥片を分配譲与したか、石核を持ち歩いて第10ブロックから第９ブロックに移動して、剥片剥離を行った可能性がある。母岩別にみた場合、ブロック間の接合資料である16ａと21ａは単独母岩で出土していることから、本ブロックで石器製作した可能性は低い。このことから、第９ブロックで剥離した剥片を必要に応じて第10ブロックに分配譲与された可能性の方が高いと推察される。

出土層位は、Ⅴ層からⅢ層にかけて出土しており、Ⅴ層上部～Ⅳ層下部に集中する。

（４）第11ブロック（第32・33・36図、第19表）

出土状況　第９～12ブロック群の中では南東部に位置する。遺物分布は、約６ｍ×４ｍの楕円形の範囲に集中する。第９～12ブロックのなかで２番目に多い135点が出土した。

ブロック間接合は、剥片石器では、接合資料304が第９・10・12ブロックと接合したのみである。礫片では、接合資料360が第10・12ブロック、接合資料320・365が第９ブロック、接合資料361が第10ブロック、接合資料325が第12ブロックとブロック間接合しており、剥片石器と同様に、第９・10・12ブロックと接合関係がみられる。

礫片と剥片石器について、接合関係や分布傾向をもとに対比してみよう。

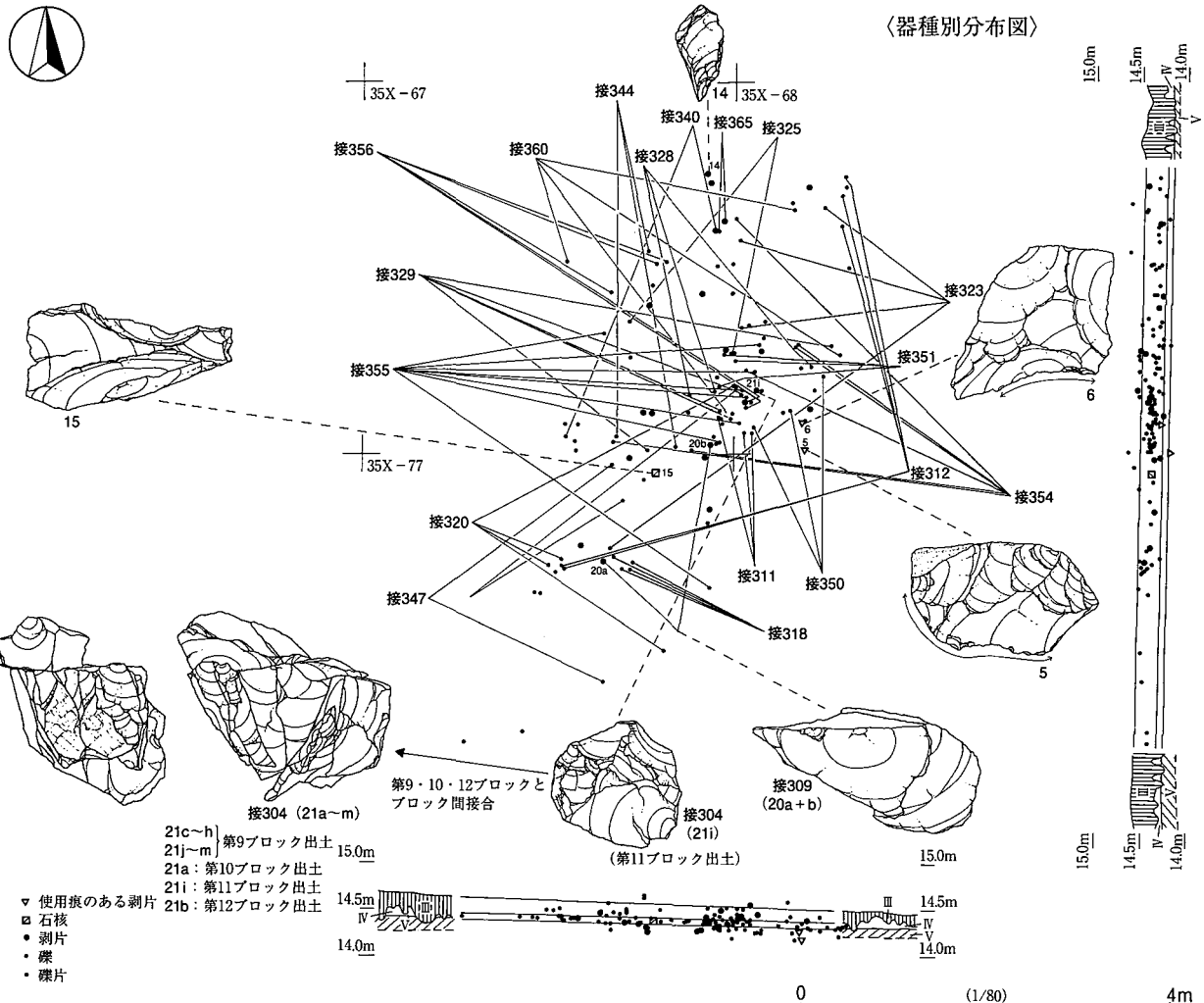
礫片においては、ブロック間接合個体数は、第９～12ブロック群のなかで最も多い。第11ブロックは牛飼沢の河川に最も近いブロックである。河川によって浸食された砂礫層中の礫を採取して持ち込むには地形的に最短で、最も適した場所であったと推察される。礫片のブロックの接合関係から、おそらく最初に礫群として機能した場所が第11ブロックであり、第11ブロックの礫片を隣接する第９・10・11ブロックにおいて再利用したと推察することも可能である。

剥片石器においては、集中地点の北東側に集中する傾向がみられる。また、器種組成では、剥片石器類（使用痕のある剥片２点・石核１点・剥片20点）が23点出土であるのに対して、礫片が110点で、礫片の割合が高い。このように、器種組成・出土点数・分布範囲は、第10ブロックと類似する点が多い。

出土層位は、Ⅴ層からⅢ層にかけて出土しており、Ⅴ層上部～Ⅳ層下部に集中する。

第19表　第３文化層第11ブロック石器組成表

器種 / 母岩	母岩番号	使用痕のある剥片	石核	剥片	礫	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	1			2			2	1.48	40.3	0.68
	2			6		1	7	5.19	90.98	1.54
ガラス質黒色安山岩 点数合計				8		1	9	6.67	131.28	2.22
流紋岩						42	42	31.11	1930.1	32.59
砂岩						62	62	45.93	2527.21	42.67
ホルンフェルス	1			1			1	0.74	53.79	0.91
	2			1			1	0.74	1.02	0.02
	3			2			2	1.48	28.06	0.47
	5			5			5	3.70	102.13	1.72
	6	1		2			3	2.22	102.82	1.74
	7	1	1				2	1.48	116.79	1.97
					1	4	5	3.70	609.52	10.29
ホルンフェルス 点数合計		2	1	11	1	4	19	14.07	1014.13	17.12
チャート	1			1			1	0.74	7.23	0.12
					1	1	2	1.48	312.88	5.28
チャート 点数合計				1	1	1	3	2.22	320.11	5.40
全体点数合計		2	1	20	2	110	135	100.00	5922.83	100.00
点数組成比（%）		1.48	0.74	14.81	1.48	81.48	100.00			



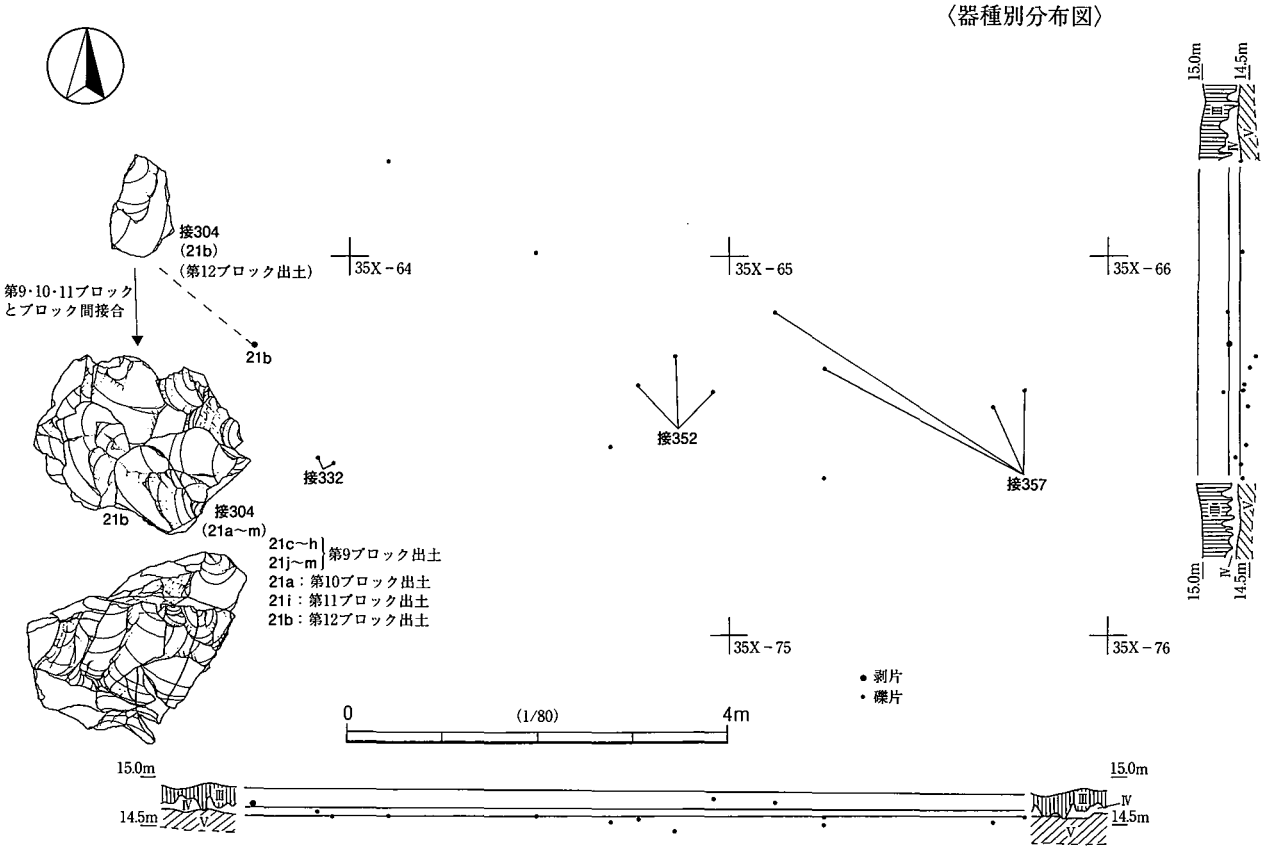
第36図　第３文化層第11ブロック器種別分布図

（5）第12ブロック（第32・33・37図、第20表）

出土状況　第9～12ブロック群の中では南西部に位置する。遺物分布は、約8m×5mの楕円形の範囲に散漫に分布している。第9～12ブロックのなかで最も少ない15点が出土した。剥片石器類では、剥片が1点のみの出土であるが、この剥片（21b）は、接合資料304であり、第9・10・11ブロックと接合している。礫片では、接合資料360が第10・11ブロック、接合資料325が第11ブロックとブロック間接合している。出土層位は、Ⅴ層からⅢ層にかけて出土しており、Ⅴ層上部～Ⅳ層下部に集中する。

第20表　第3文化層第12ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	剥片	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
安山岩			1	1	6.67	280.93	27.76
流紋岩			8	8	53.33	467.79	46.23
砂岩			5	5	33.33	238.68	23.59
ホルンフェルス	1	1		1	6.67	24.43	2.41
全体点数合計		1	14	15	100.00	1011.83	100.00
点数組成比（%）		6.67	93.33	100.00			



第37図　第3文化層第12ブロック器種別分布図

（6）第9～12ブロック出土石器（第38～44図、第37表、巻頭図版1・2、図版28～30）

第9～12ブロックの石器群は、剥片石器・礫片ともにブロック間接合が頻繁にみられた。各ブロックの出土状況については、前述のとおりに個別に記載したので参照していただきたい（第32～37図）。第9～12ブロックの出土状況を観察した結果、これらのブロック群は同時期に形成されたものであることが判明したので、本項においては第9～12ブロック出土の石器をまとめて記載することにする。

出土遺物　第9～12ブロックの出土石器は、角錐状石器（1）1点、ナイフ形石器（2）1点、二次加工のある剥片（3・21h）2点、使用痕のある剥片（4～6・13・16a）5点、石核（7b・8b・8c・9・11b・15・16b・16d・16h・17～19）12点、剥片93点、砕片1点、礫2点、礫片378点で総計495点が出土した。礫片は76.4%もの高い割合を示す。ナイフ形石器・角錐状石器は各1点であり、製品の占める割合がきわめて低いのに対して、剥片や石核の割合が高い。剥片や石核を特徴付ける資料は、接合資料301（16a～h）や接合資料304（21a～m）である。これらの接合資料は、ブロック間接合が頻繁にみられることと、剥離された剥片に調整加工が施されておらず、使用痕のある剥片が多いことが特徴としてあげられる。第9～12ブロックにおいて剥片剥離を行い、剥片を刃器として使用した可能性が高い。

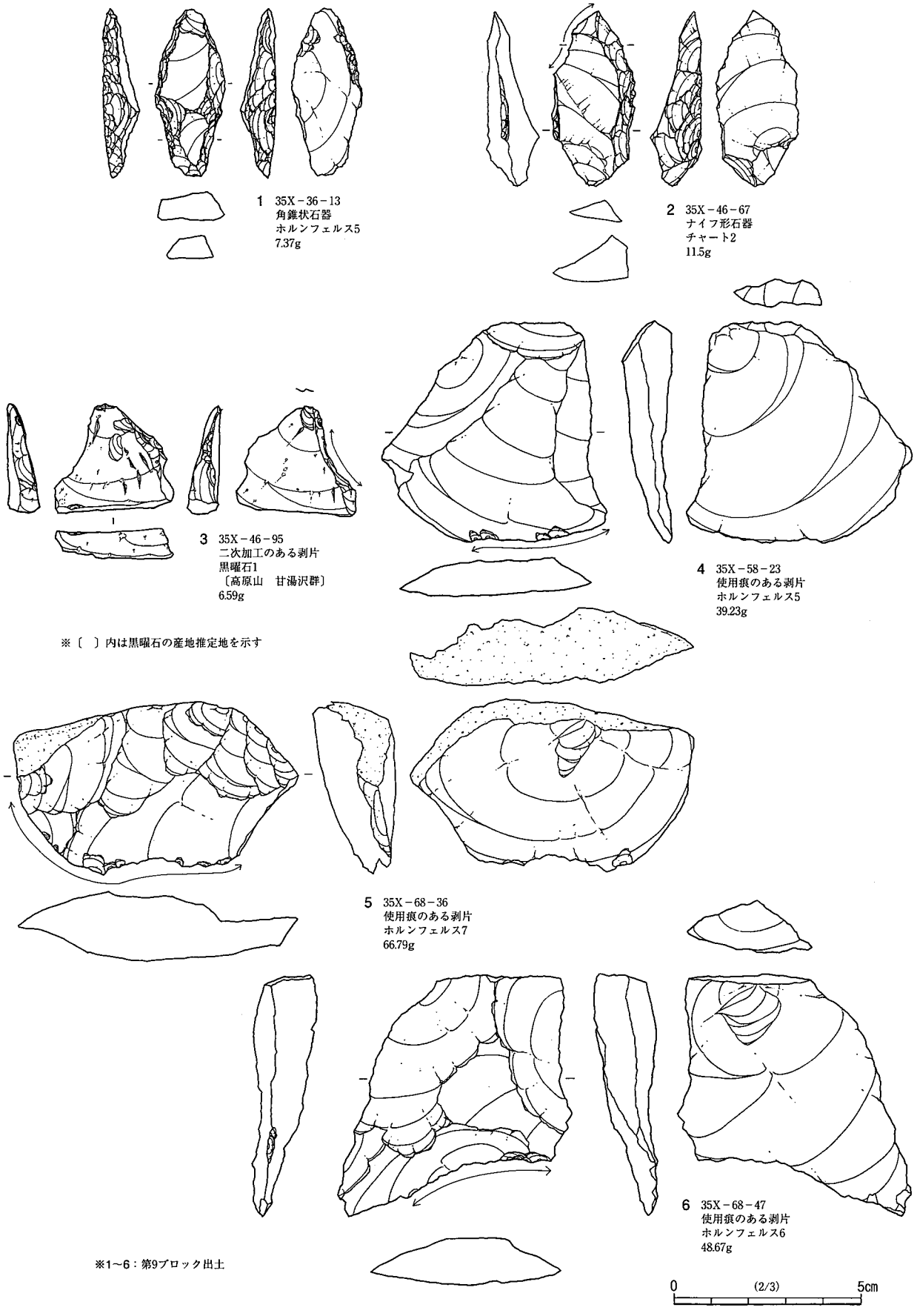
石材組成は、剥片石器類においては、ホルンフェルス74点、チャート24点、ガラス質黒色安山岩14点、黒曜石3点の総計115点で、ホルンフェルスの占める割合（64.3%）が高い。礫・礫片においては、流紋岩162点、砂岩132点、チャート64点、ホルンフェルス15点、安山岩4点、トロトロ石2点、ガラス質黒色安山岩1点で総計380点で、流紋岩・砂岩・チャートが大半（94.2%）を占める。

出土ブロックは第38～44図に※印の後に記載したとおりであるが、大半が第9ブロック出土のものである。第9ブロック以外の出土のものを記載すると、第10ブロック出土は13・16a・21a、第11ブロック出土は14・15・20a＋b・21i、第12ブロック出土は21bである。

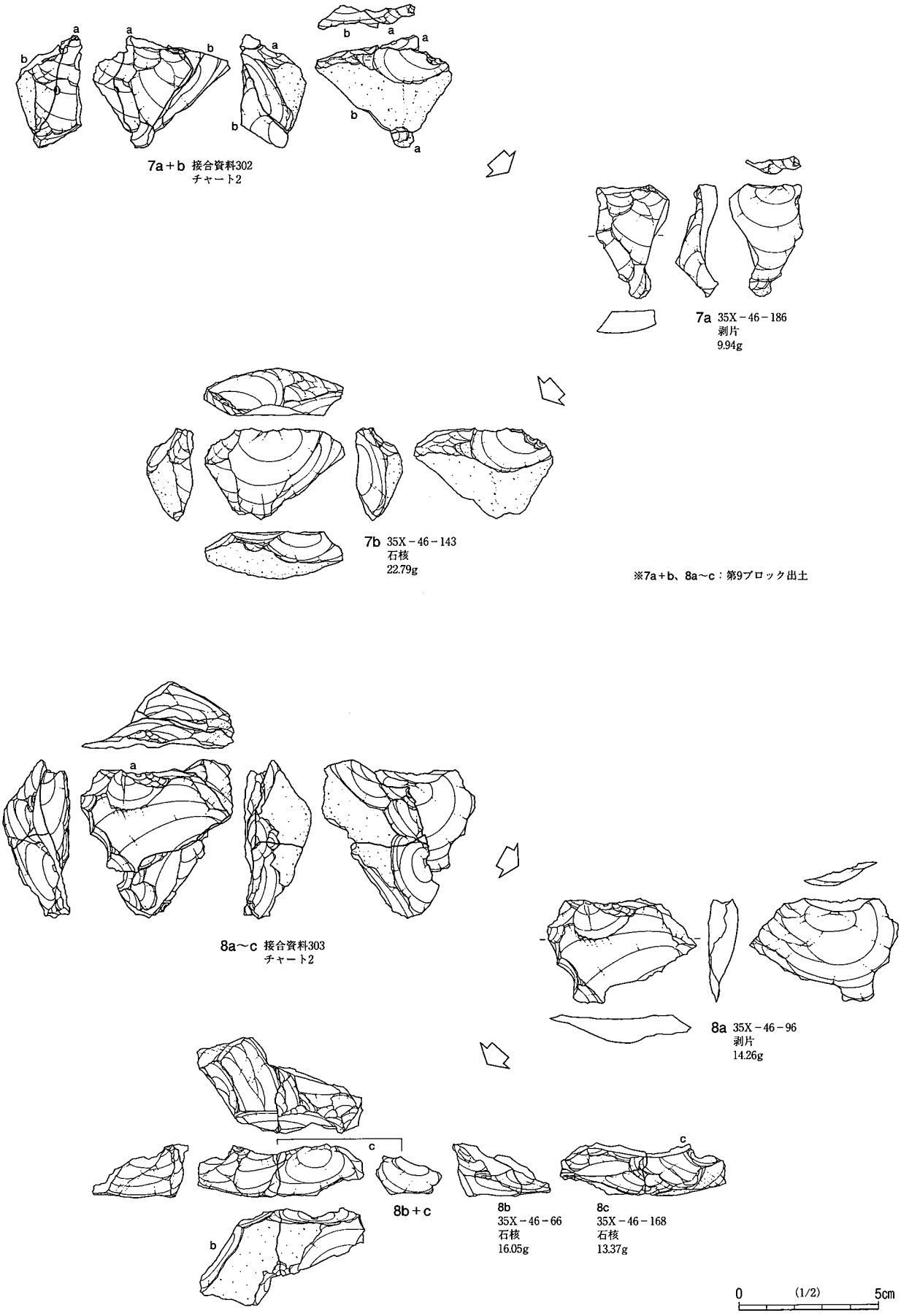
1は厚みのある幅広の剥片を素材とした角錐状石器である。製品として単独母岩（ホルンフェルス5）で搬入されている。素材を斜位に用いて、両側縁に急角度の調整加工が施されている。表面先端部と裏面左側縁上部には平坦な剥離がみられ、衝撃痕か、あるいは先端部の再生調整加工の可能性がある。先端部が衝撃により破損した後に、再生調整加工を行ったものと思われる。

2は厚みのある縦長剥片を素材としたナイフ形石器である。素材を縦位に用いて、右側縁下部に急角度の調整加工、右側縁上部に平坦な調整加工、左側縁下部に細部調整加工がそれぞれ施され、左側縁上部には素材の縁辺が残されている。良質なチャート2が用いられており、同一母岩では石核3点、剥片6点が出土しており、本遺跡においてナイフ形石器が製作された可能性が高い。3は打面部が幅狭で末端部が幅広の剥片を素材とした二次加工のある剥片である。両側縁と下端部を折断した後に、左側縁に調整加工が施されている。4～6はやや大型の幅広剥片を素材とし、末端部の鋭い縁辺に微細剥離痕がみられる。7a＋b～12a＋bは、第9ブロック出土の資料である。接合資料302（7a＋b）は、分割礫を素材として、上面の分割面を打面として、7aを含む縦長剥片が数枚剥離されている。7bの残核の裏面には自然面が大きく残されている。接合資料303（8a～c）は、接合資料302（7a＋b）と同様に分割礫を素材として、分割面を打面として8aを含む剥片が剥離されている。その後、8b＋cの石核から小型で幅広の剥片が数枚剥離された後に、8bと8cに分割されている。接合資料302（7a＋b）・接合資料303（8a～c）とナイフ形石器（2）は、同一母岩のチャート2が用いられており、いずれも第9ブロック出土である。第9ブロックにおいて、分割礫から剥片剥離を行い、ナイフ形石器を製作したことが推察される。9は厚みのある分割剥

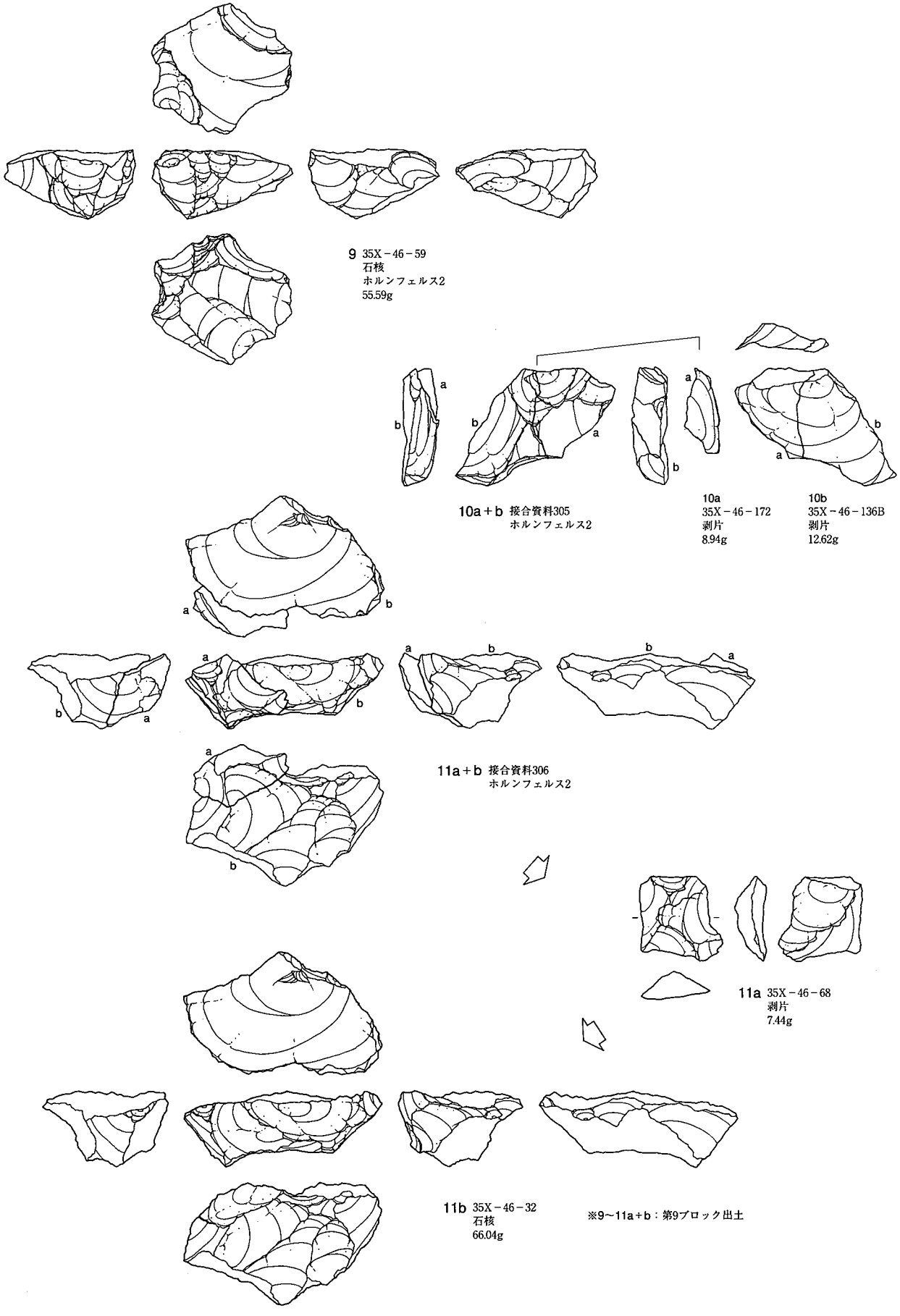
片を素材として、分割面を打面として右側縁から正面にかけて小型の剥片を剥離したことが観察される石核である。接合資料305（10a＋b）は、幅広で先細りの剥片を剥離した際に打点部から同時割れした接合資料である。接合資料306（11a＋b）は、９の石核と同様に厚みのある分割剥片を素材として、分割面の末端部を打面として、11aを含む幅広の剥片を数枚剥離している。残核である11bは形態的に９と類似する。９・10a＋b・11a＋bは、ホルンフェルス２が用いられており、剥片剥離方法も共通した特徴がみられる。接合資料301（12a＋b）は、打面幅の狭い剥片12aと12bを剥離している。13は大型の縦長剥片であり、両側縁に微細剥離痕がみられる。第10ブロック出土で、単独母岩で本遺跡に搬入された資料である。14・15は第11ブロック出土の資料である。14は打面幅の狭い縦長剥片である。15は厚みのある幅広剥片を素材として、素材の主要剥離面の末端部を打面として、幅広の剥片を剥離したことが観察される石核である。接合資料301（16a～h）は、16aが第10ブロック、16b～hが第９ブロック出土のブロック間接合資料である。この接合資料を剥離工程別に観察してみよう。初期段階の剥片剥離を示す資料は、16aの資料のみである。16aは打面幅の狭い大型の縦長剥片を素材として、両側縁に微細剥離痕がみられる。次の段階の剥片剥離は行われているが、本遺跡においてはこの段階の資料は出土していない。最終段階の剥片剥離を示す資料は、16b～hですべて第９ブロックから出土している。16b～hは節理面に沿って16b～fと16g＋hの２個体に分割され、剥片剥離が行われている。16b～fの個体は、さらに16bと16c～fの個体に分割されている。残核である16bは小型の幅広剥片を剥離し、サイコロ状の形態を呈する。16c～fの個体は、幅広剥片の16c・e・fを剥離し、残核である16dは16bと同様に小型の幅広剥片を剥離している。16g＋hの個体は、分割面を打面として16gを含む幅広剥片を剥離し、残核である16hはサイコロ状の形態を呈する。17～19は第９ブロック出土の石核である。第９ブロックからは、石核が11点出土している。第９ブロックにおいて、母岩の最終剥離を行ったことが推察される。17は下面に自然面を大きく残した直方体を呈する石核である。小型の幅広剥片が数枚剥離されている。18は厚みのある剥片を素材として、表裏両面にわたって幅広剥片が剥離されている。19は表面下部に自然面を残した厚みのある剥片を素材として、素材の主要剥離面の末端部を打面として剥片を数枚剥離している。接合資料309（20a＋b）は第11ブロック出土である。自然面の打面から幅広の剥片が剥離された資料である。接合資料304（21a～m）は第９～12ブロックの４ブロックにわたってブロック間接合した資料である。21aが第10ブロック、21iが第11ブロック、21bが第12ブロック出土で、これ以外は第９ブロック出土の資料である。この接合資料を剥離工程別に観察してみよう。初期段階の剥片剥離を示す資料は、21a＋bであり、右側縁上部から剥離を行っている。21a＋bは剥片剥離の際に、打点から同時割れした資料である。初期段階の２点の剥片である21aが第10ブロック、21bが第12ブロックから出土していることは母岩の消費過程を解読するには非常に優良な情報と言えよう。その後の剥離は、21a＋bを剥離した剥離面を打面として、21c～f・j・kの縦長剥片が剥離されている。次に正面上部に打点を転移して21gを剥離している。さらに21gで剥離された剥離面を打面として、左側縁上部から21h・iを剥離している。21c～mの剥片は比較的厚みのない剥片が剥離されているが、21iは厚みのある剥片が剥離されている。21iのみが第11ブロックから出土していることは、第11ブロックにおいて、厚みのある剥片を選別して使用したことが推察される。



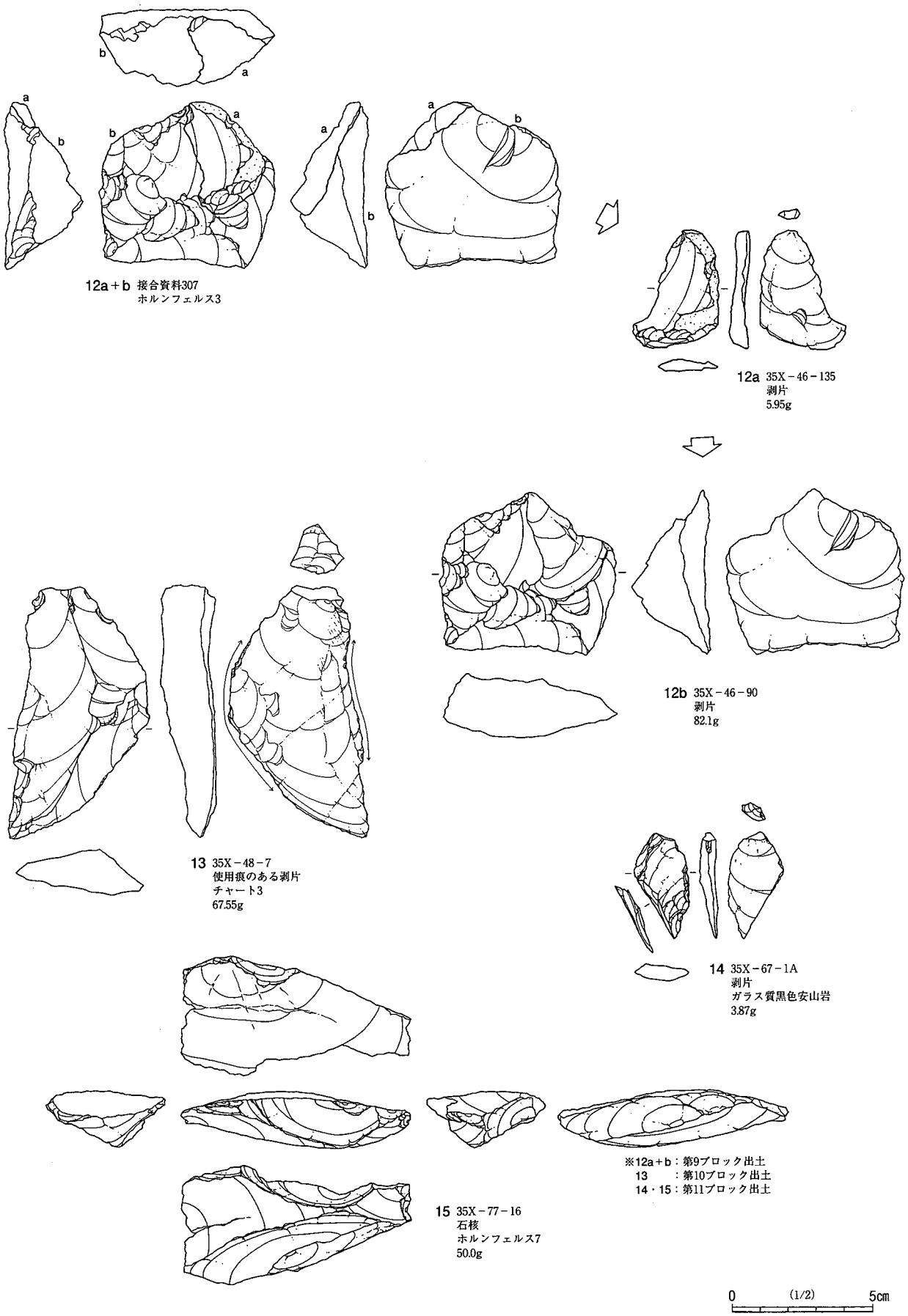
第38図　第3文化層第９～12ブロック出土石器（１）



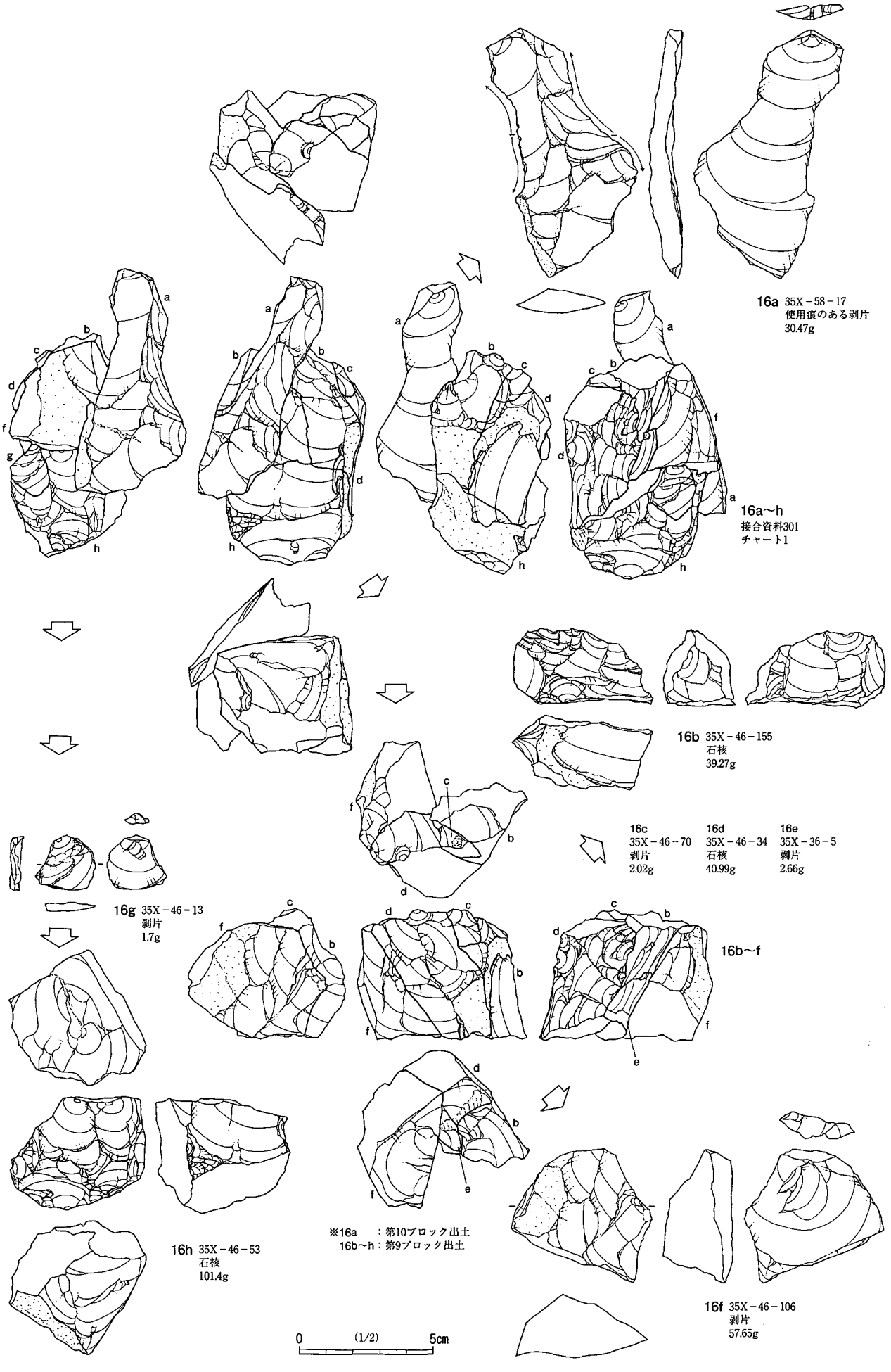
第39図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（２）



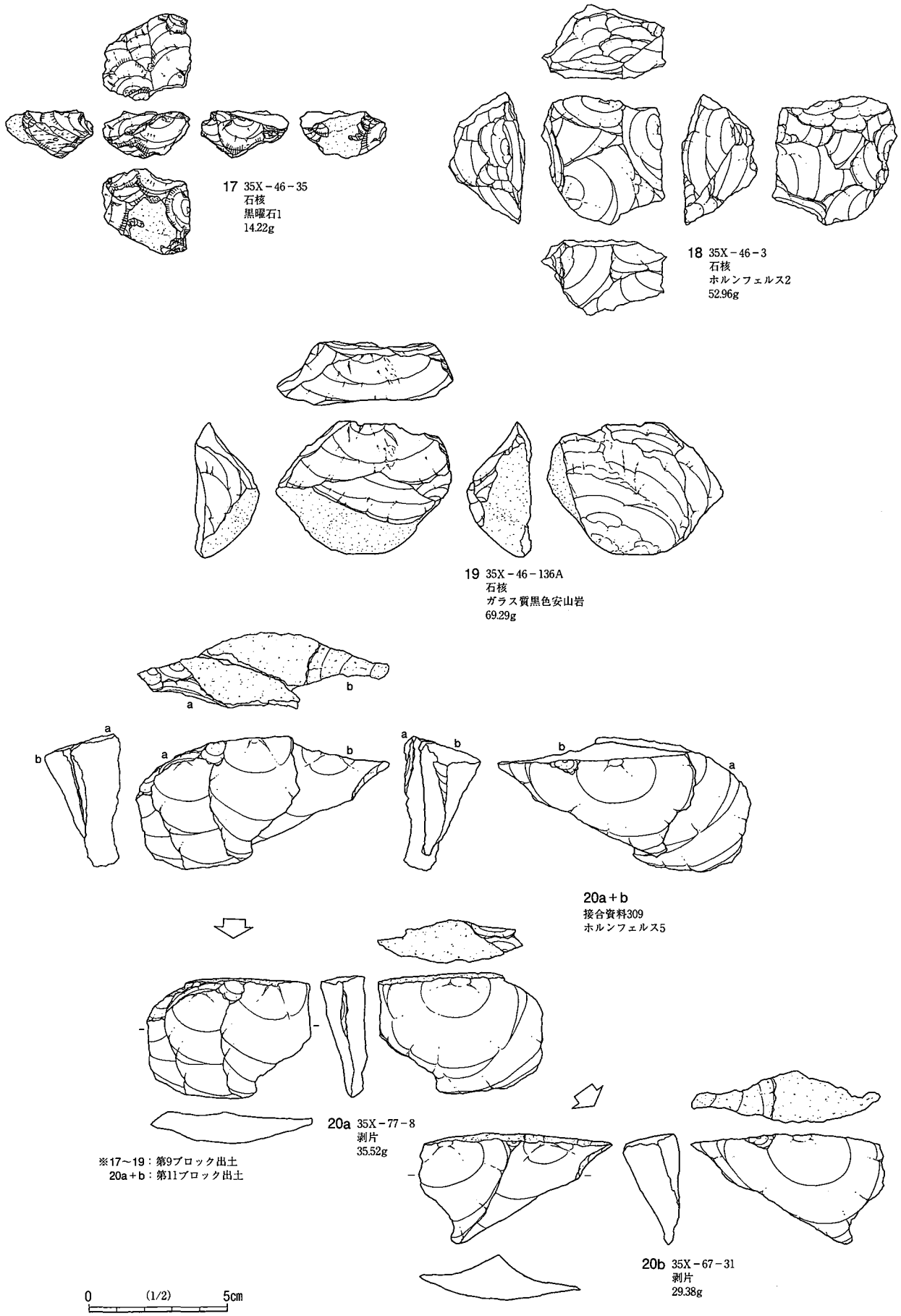
第40図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（３）



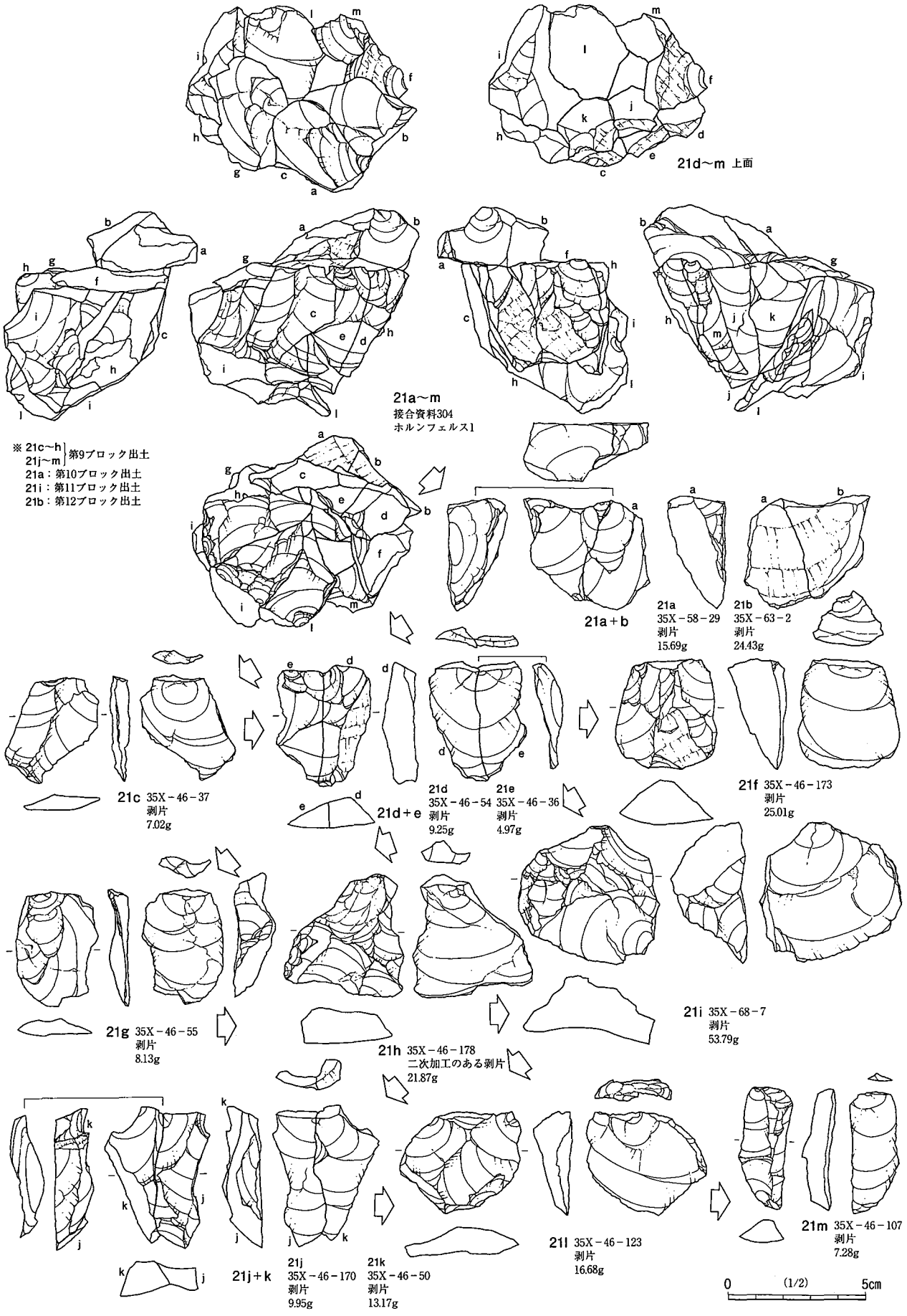
第41図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（４）



第42図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（５）



第43図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（６）



第44図　第３文化層第９～12ブロック出土石器（７）

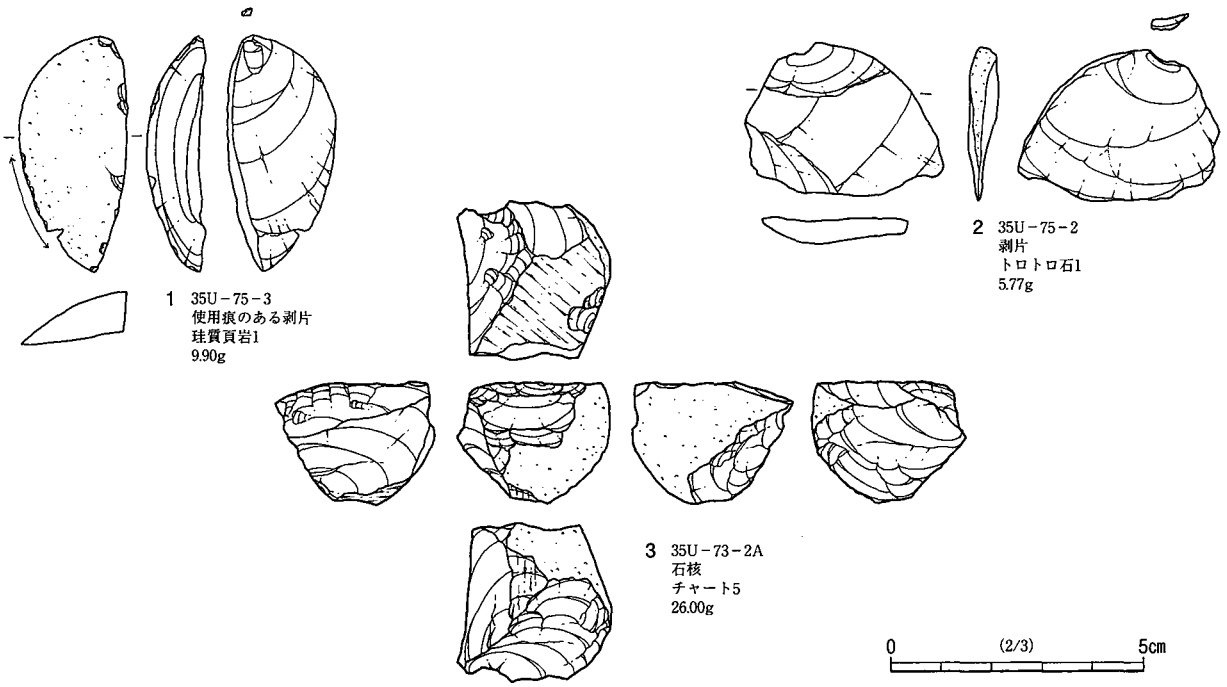
（7）第13ブロック（第45・46図、第21・37表、図版31）

出土状況　調査区南側の南東斜面の縁辺付近に分布する。遺物は約10m×6mの楕円形の範囲に散漫に分布している。東部に使用痕のある剥片（1）や剥片（2）が集中しており、西部に単独で石核（3）が分布している。石器は、Ⅶ層～Ⅲ層にかけて分布し、Ⅴ層～Ⅳ層下部に集中する。

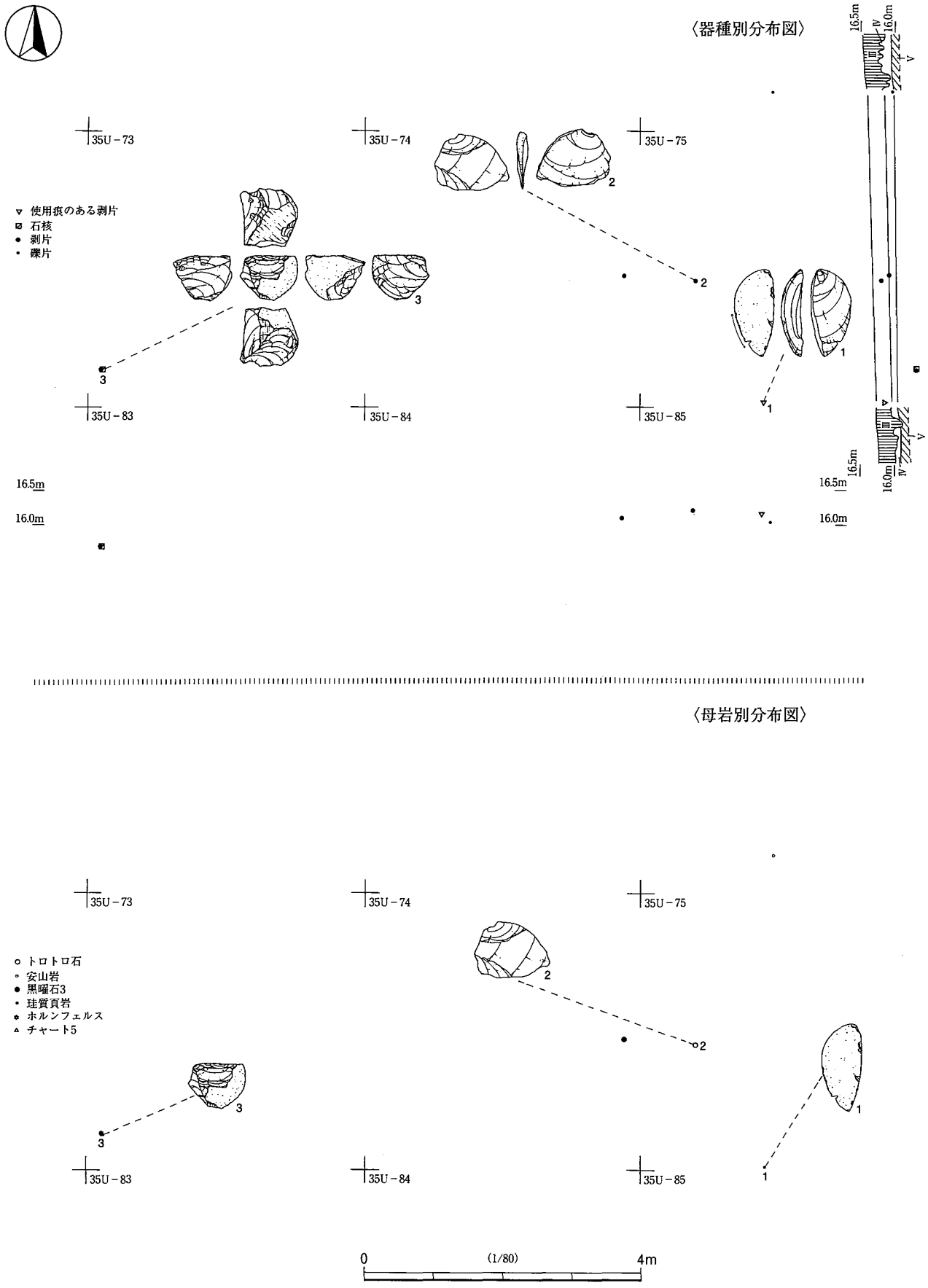
出土遺物　使用痕のある剥片（1）1点、石核（3）1点を含む6点が出土した。1は背面に自然面を大きく残した縦長剥片を素材として、右側縁に微細剥離痕がみられる。2は幅広で厚みのない剥片である。3は節理面に沿って剥離された分割礫を素材として、左側縁下部から縦長剥片を剥離後に、上部の節理面を打面として、小型の貝殻状の剥片を剥離した石核である。6点出土しているが、すべて単独母岩で構成されていることが本ブロックの特徴である。

第21表　第3文化層第13ブロック石器組成表

器種 / 母岩	母岩番号	使用痕のある剥片	石核	剥片	礫	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
トロトロ石	1			1		1	16.67	5.77	1.30
安山岩	1				1	1	16.67	398.3	89.99
黒曜石	3			1		1	16.67	2.18	0.49
黒曜石点数合計				1		1	16.67	2.18	0.49
珪質頁岩	1	1				1	16.67	9.9	2.24
ホルンフェルス	8			1		1	16.67	0.46	0.10
チャート	5		1			1	16.67	26	5.87
全体点数合計		1	1	3	1	6	100.00	442.61	100.00
点数組成比（%）		16.67	16.67	50.00	16.67	100.00			



第45図　第3文化層第13ブロック出土石器



第46図　第３文化層第13ブロック遺物分布図

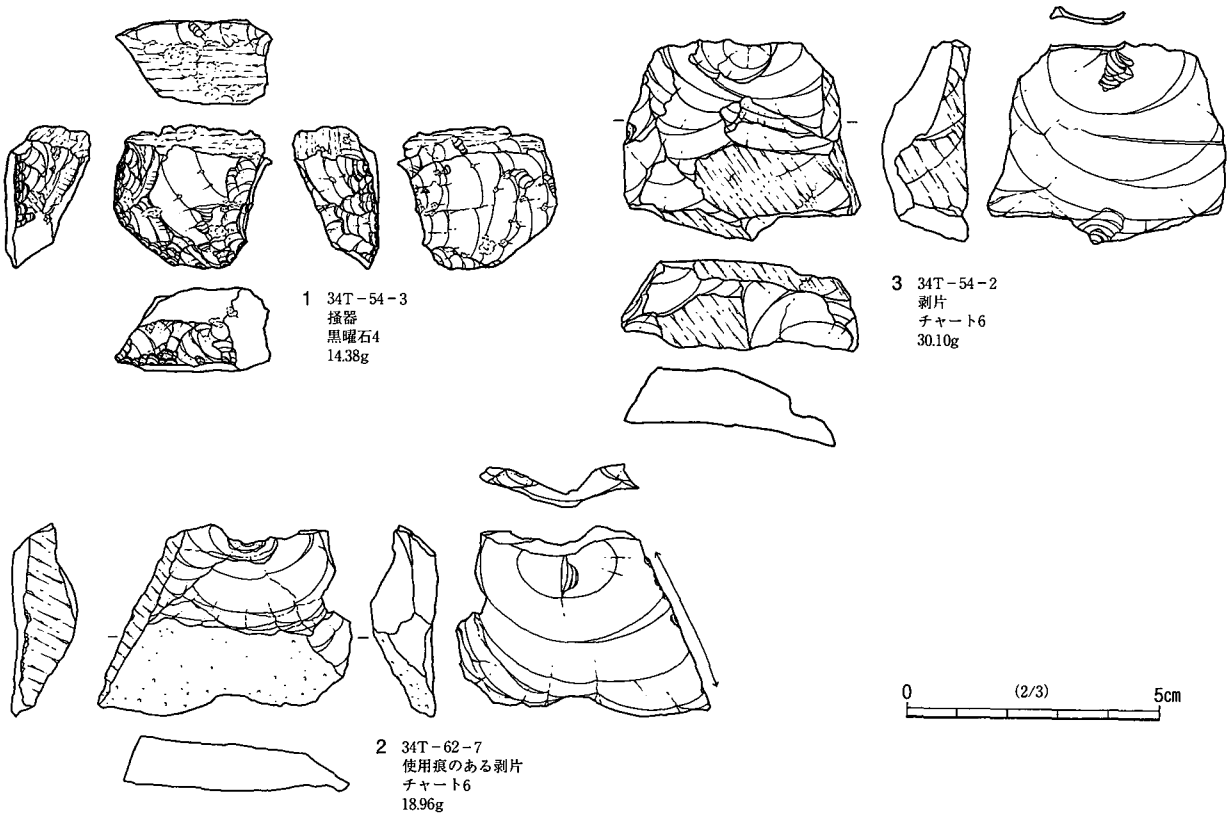
（8）第14ブロック（第47・48図、第22・37表、図版31）

出土状況　第13ブロックの北西側の台地中央部付近に分布する。約8m×6mの楕円形の範囲に散漫に分布している。出土層位は明確ではないが、Ⅴ層～Ⅳ層下部に特徴的にみられる掻器が出土しており、周辺に第3文化層の第13・15～17ブロックが分布することから、第3文化層に帰属させることにした。

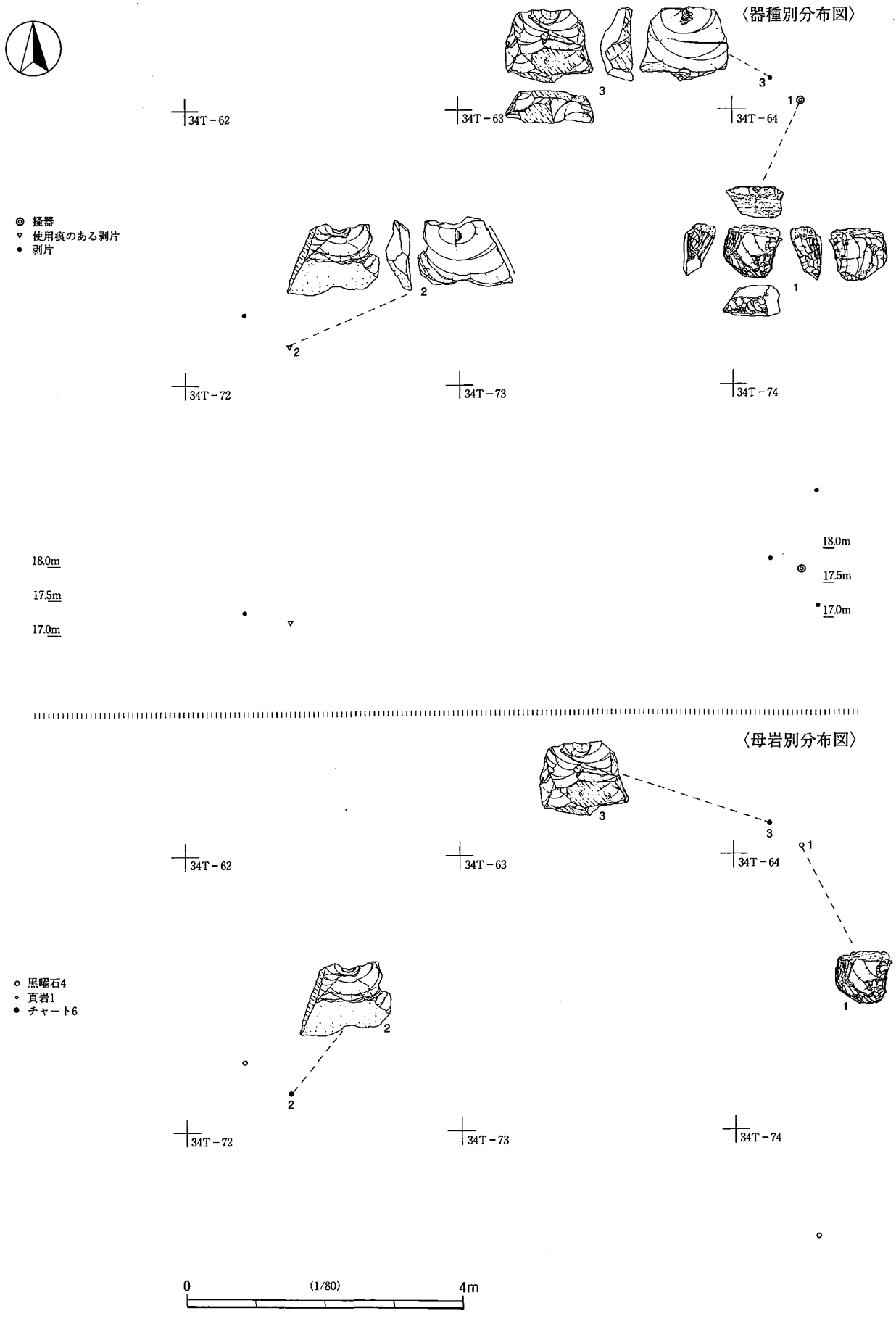
出土遺物　掻器（1）1点、使用痕のある剥片（2）1点、剥片（3など）4点が出土した。1は上部に3㎜大の大きな粒状の夾雑物を残した横長剥片を素材として、下部には細かい調整加工が施されている。掻器の刃部右側が破損したため、右側縁を再生加工したものと思われる。

第22表　第3文化層第14ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	掻器	使用痕のある剥片	剥片	点数合計	点数比	重量合計（g）
黒曜石	4	1		2	3	50.00	23.72
チャート	6		1	1	2	33.33	49.06
頁岩	1			1	1	16.67	2.71
全体点数合計		1	1	4	6	100.00	75.49
点数組成比（%）		16.67	16.67	66.67	100.00		



第47図　第3文化層第14ブロック出土石器



第48図　第３文化層第14ブロック遺物分布図

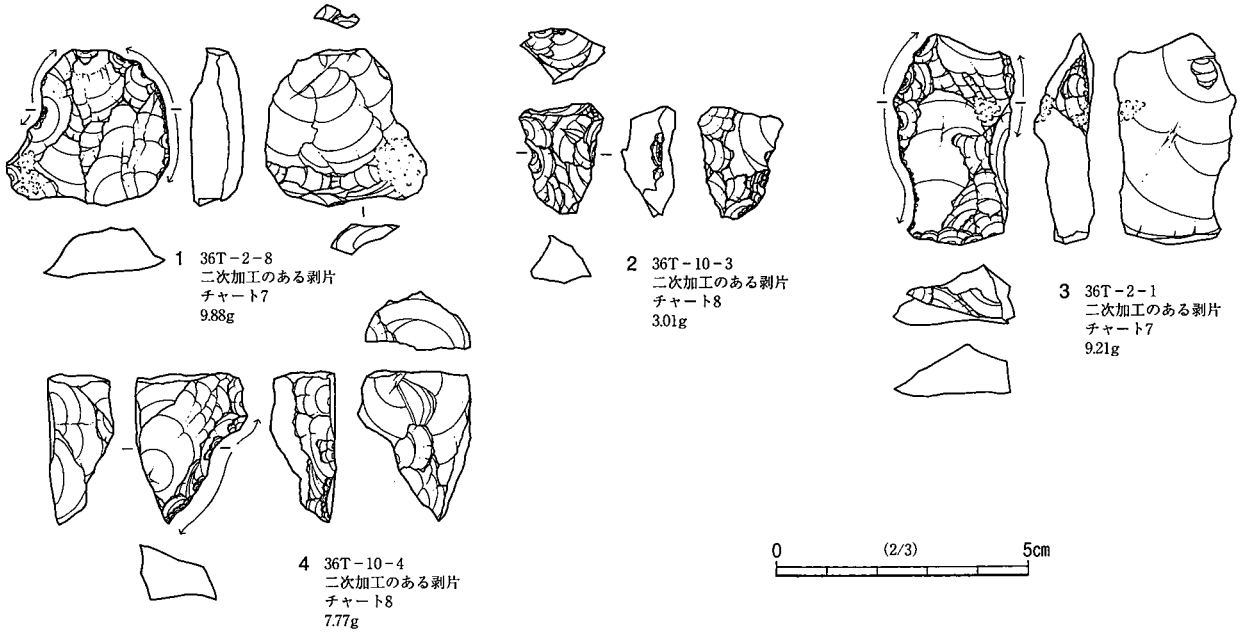
（9）第15ブロック（第49・50図、第23・37表、図版4・31）

出土状況　西側に第16ブロックが隣接し、南東斜面の縁辺付近に分布する。約8m×4mの楕円形の範囲に分布している。東部は二次加工のある剥片（1・3）が2点と礫片が集中しており、西部は二次加工のある剥片（2・4）が2点と少量の礫片が出土している。出土層位はV層～Ⅲ層にかけて出土しており、V層～Ⅳ層下部に集中する。

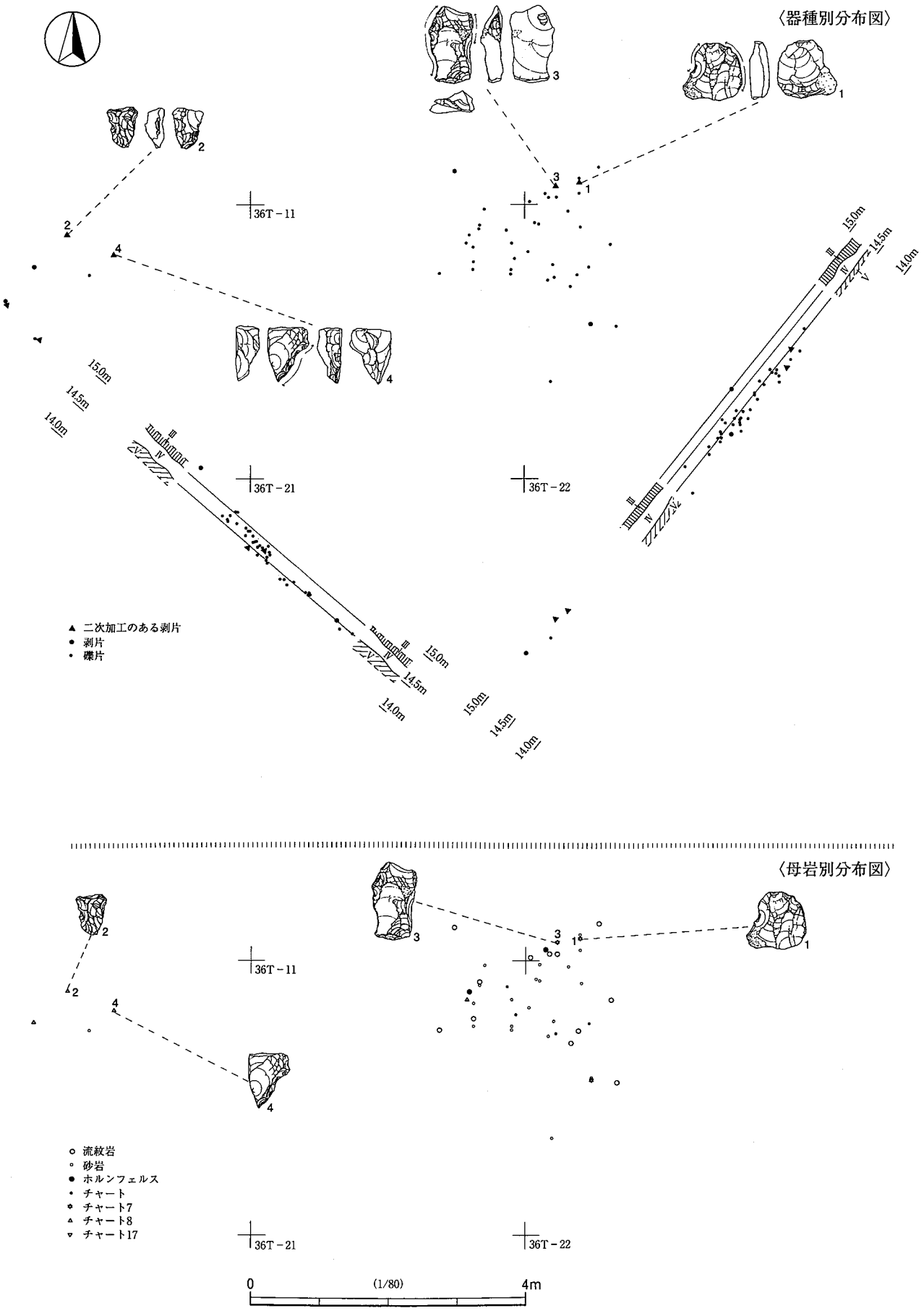
出土遺物　二次加工のある剥片（1～4）4点、剥片3点、礫片39点で合計46点が出土した。二次加工のある剥片と剥片はすべてチャートが用いられている。1～4の二次加工のある剥片は、いずれも不定形な剥片を素材としている。2は鋸歯状の調整加工が施され、上部は折れている。角錐状石器の基部側の残存品、あるいは、未製品の可能性がある。1・3・4は側縁の縁辺に調整加工が施されている。

第23表　第3文化層第15ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	二次加工のある剥片	剥片	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）
流紋岩				12	12	26.09	78.54
砂岩				20	20	43.48	223.35
ホルンフェルス				2	2	4.35	24.57
チャート	7	2	1		3	6.52	21.11
	8	2	1	1	4	8.70	18.32
	17		1		1	2.17	4.74
				4	4	8.70	48.87
チャート点数合計		4	3	5	12	26.09	93.04
全体点数合計		4	3	39	46	100.00	419.5
点数組成比（%）		8.70	6.52	84.78	100.00		



第49図　第3文化層第15ブロック出土石器



第50図　第３文化層第15ブロック遺物分布図

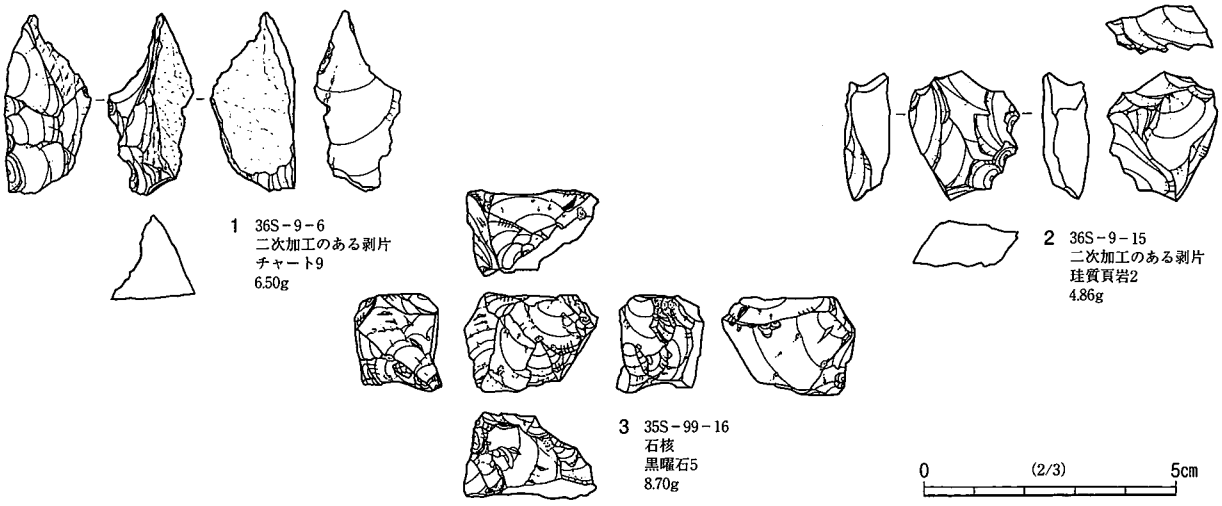
（10）第16ブロック（第51・52図、第24・37表、図版31）

出土状況　第15ブロックの西側に隣接し、南東斜面の縁辺付近に分布する。約６ｍ×４ｍの楕円形の範囲に分布している。南部に二次加工のある剥片（１・２）２点と礫片13点が集中して分布し、北部に石核（３）が単独で出土している。出土層位はⅦ層～Ⅲ層にかけて分布し、Ⅴ層～Ⅳ層下部に集中する。

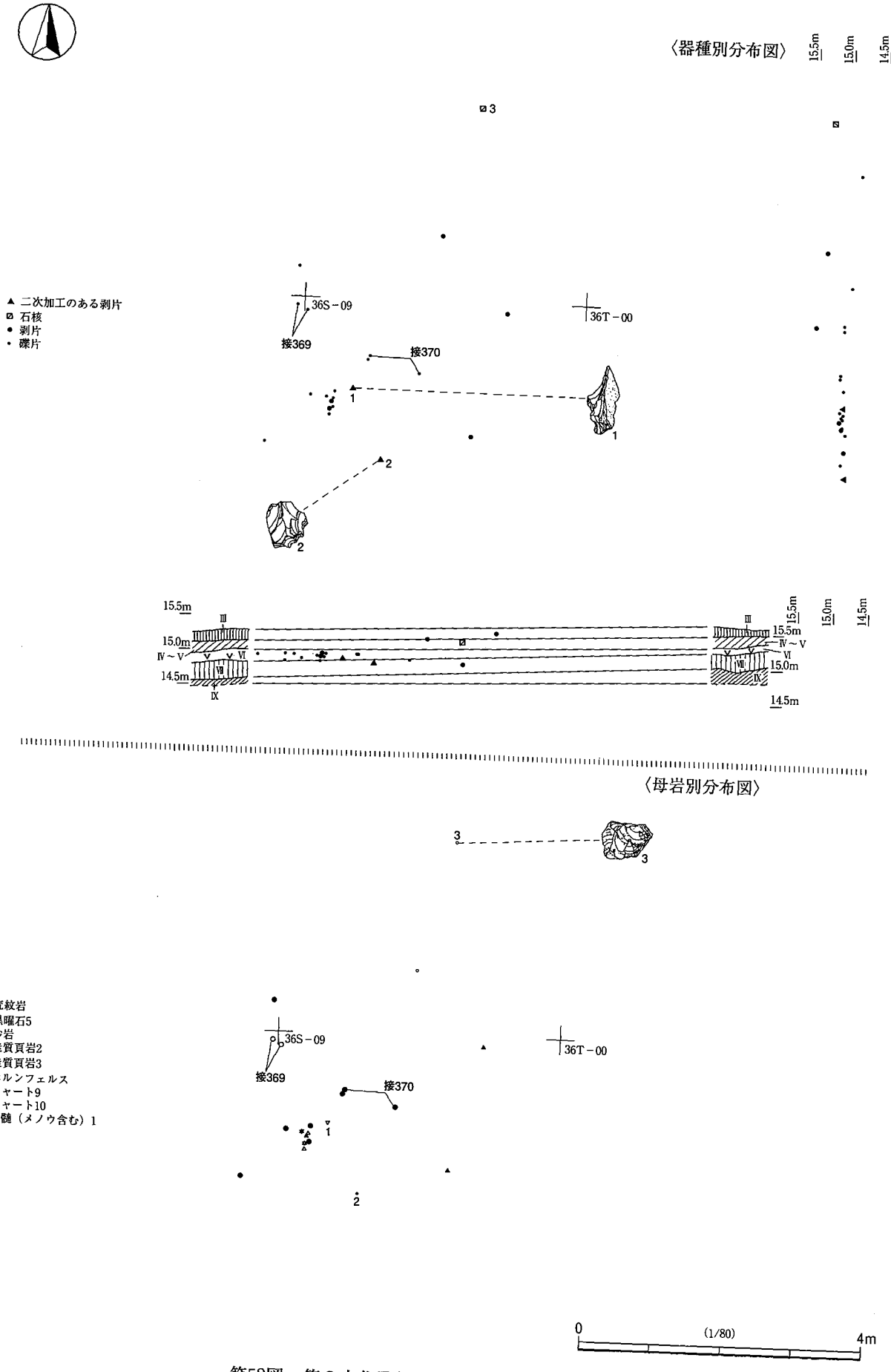
出土遺物　二次加工のある剥片（１・２）２点、石核（３）１点、剥片５点、礫片13点で合計21点が出土した。１は右側縁に大きく自然面を残した厚みのある剥片を素材として、左側縁に鋸歯状の荒い調整加工が施されている。形状的には角錐状石器に類似しており、角錐状石器、あるいは、角錐状石器未製品の可能性がある。２は右側縁下部に鋸歯状の調整加工が施されいる。３は夾雑物が多いが不透明漆黒で良質の黒曜石が用いられている。裏面に素材の分割面が残っている。下面部左側から剥片を剥離後、打面を上面に転移して、幅広の剥片を剥離した石核である。

第24表　第３文化層第16ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	二次加工のある剥片	石核	剥片	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）
流紋岩					2	2	9.52	450.4
黒曜石	5		1	1		2	9.52	17.92
砂岩					8	8	38.10	68.05
珪質頁岩	2	1				1	4.76	4.86
	3			1		1	4.76	1.68
珪質頁岩点数合計		1		1		2	9.52	6.54
ホルンフェルス					2	2	9.52	13.15
チャート	9	1				1	4.76	6.5
	10				1	1	4.76	3.91
チャート点数合計		1			1	2	9.52	10.41
玉髄（メノウ含む）	1			3		3	14.29	2.05
全体点数合計		2	1	5	13	21	100.00	568.52
点数組成比（％）		9.52	4.76	23.81	61.90	100.00		



第51図　第３文化層第16ブロック出土石器

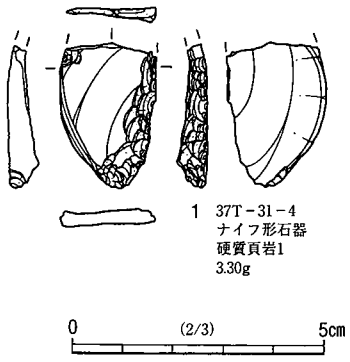


第52図　第３文化層第16ブロック遺物分布図

(11) 第17ブロック（第53・54図、第25・37表、巻頭図版１、図版４・31）

出土状況　第３文化層の出土地点では、最も南側に分布する。約４ｍ×３ｍの楕円形の範囲にやや密集して分布している。本ブロックは、ナイフ形石器１点と礫片33点で構成されており、唯一の石器であるナイフ形石器は、北東部から出土している。出土層位は、Ⅴ層上部～Ⅲ層下部にかけて分布し、Ⅳ層下部に集中する。

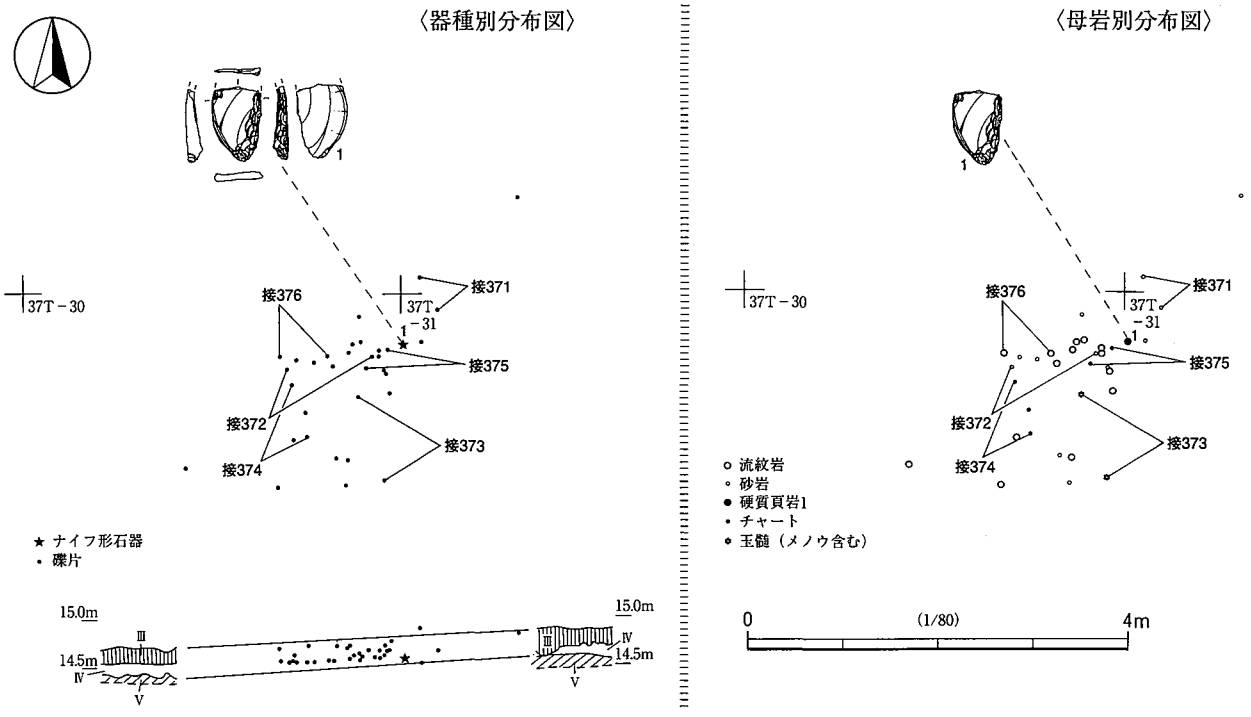
出土遺物　ナイフ形石器（１）１点、礫片33点で合計34点の石器が出土した。１はチョコレート色の良質な硬質頁岩を用いたナイフ形石器である。横長剥片を用いており、主要剥離面は末端部が表面まで入り込んでいる。右側縁中間部は急角度の調整加工が施され、先端部は破損している。



第53図　第３文化層第17ブロック出土石器

第25表　第３文化層第17ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
流紋岩			14	14	41.18	172.05	24.10
砂岩			12	12	35.29	474.36	66.45
硬質頁岩	1	1		1	2.94	3.3	0.46
チャート			5	5	14.71	47.15	6.61
玉髄（メノウ含む）			2	2	5.88	16.96	2.38
全体点数合計		1	33	34	100.00	713.82	100.00
点数組成比（％）		2.94	97.06	100.00			



第54図　第３文化層第17ブロック遺物分布図

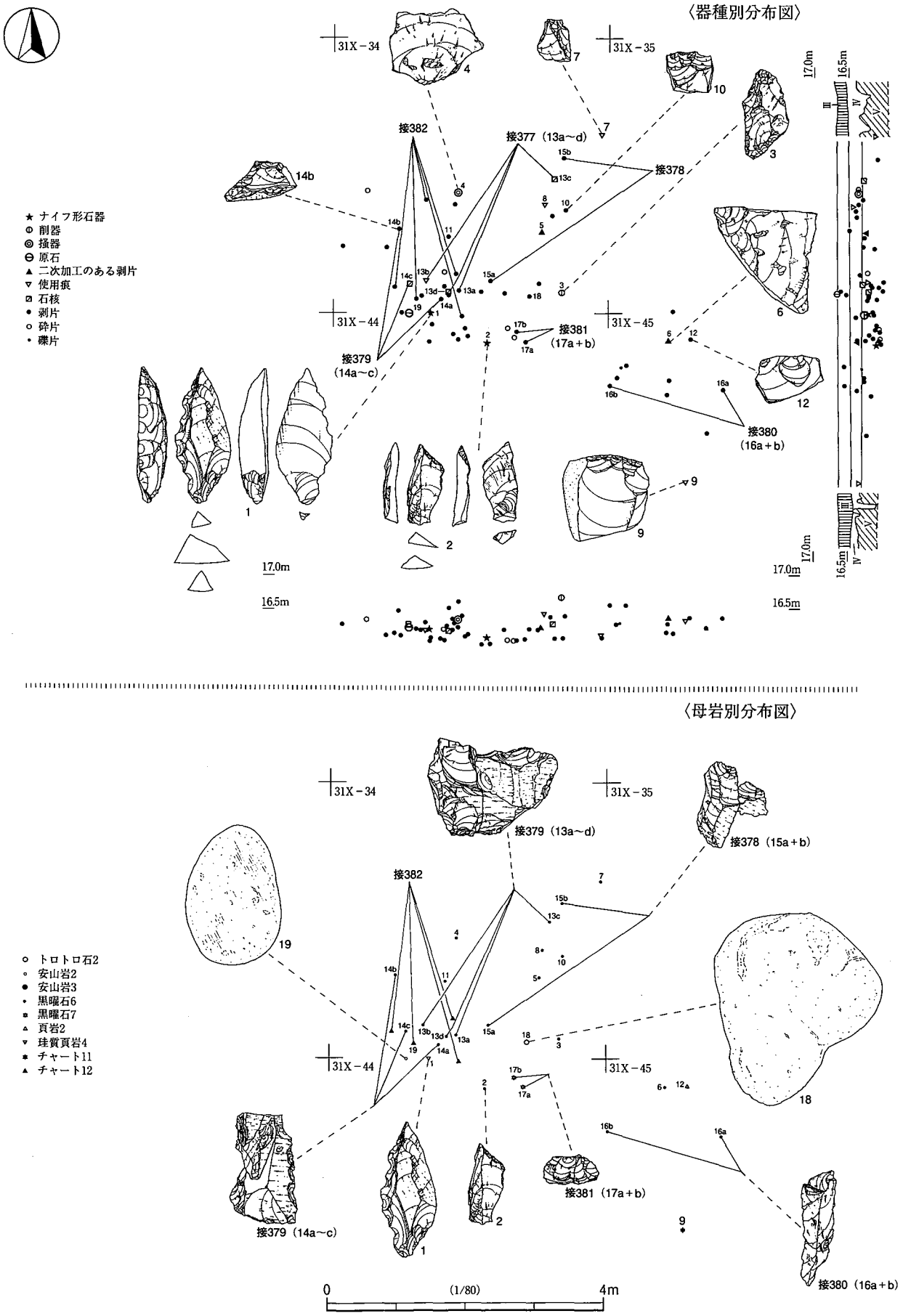
(12) 第18ブロック（第55～59図、第26・37表、巻頭図版１、図版４・32）

出土状況　第３文化層のなかで最も北東側にまとまって分布するブロック群（第18～20ブロック）の中央に位置する。約７ｍ×５ｍの楕円形の範囲に密集している。集中地点は南西部と北東部と南東部の３か所に分けることができる。南西部の集中地点が最も遺物が密集しており、ナイフ形石器２点、磨石１点が出土している。本ブロックで最も出土点数の多い黒曜石６の母岩は、すべての集中地点から出土している。出土層位は、Ⅴ層～Ⅲ層にかけて分布しており、Ⅴ層上部～Ⅳ層下部に集中する。

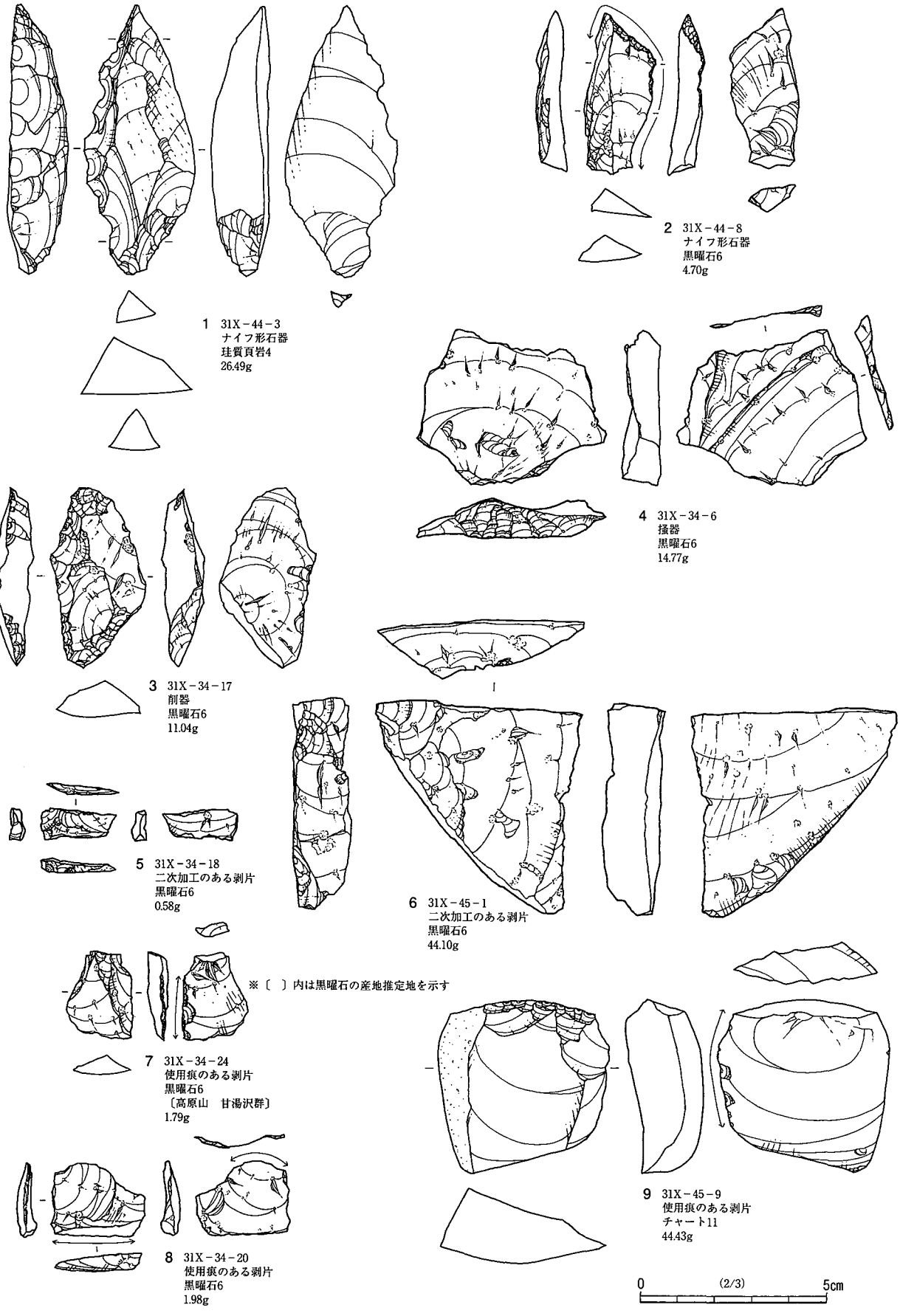
出土遺物　ナイフ形石器（１・２）２点、削器（３）１点、掻器（４）１点、磨石（19）１点、石核（13c・13d・14c）３点を含む60点が出土した。１は厚みのある縦長剥片を素材としたナイフ形石器である。左側縁と右側縁下部にやや粗い鋸歯状の調整加工が施され、左側縁上部には細かい調整加工が施され、先端が尖った形状を呈する。２は縦長剥片を素材として、右側縁上部に急角度のブランティング加工が施されたナイフ形石器である。左側縁は背面側から折れている。１・２ともに素材の打面の一部が、下端部に残っている。３は厚みのある剥片を斜位に用いて左側縁にやや平坦な調整加工が施された削器である。右側縁上部は素材の縁辺が残っている。４は厚みのある打面部を持った幅広の剥片を素材とした掻器である。打面部側の背面方向から急角度の調整加工が施されている。５は上下両端と左側縁が折断されている。６は厚みのある大型の剥片を素材として、器体中央部付近から折断した後に、左側縁上部に急角度の調整加工が施されている。７・９は右側縁、８は上下両端に微細剥離痕がみられる。10～12は折断面のある剥片である。本ブロックを含む第３文化層において多くみられる資料である。接合資料377（13a～d）は、厚みのある大型の横長剥片を素材としている。素材末端部の腹面を打面として、13aと13bの剥片が剥離されている。最終的には、13cと13dの残核が残されている。接合資料379（14a～c）は厚みのある剥片を素材として、腹面を打面として、左側縁上部から中央部にかけて14a・bを剥離している。また、残核の14cの右側縁には二次加工が施されている。接合資料380（16a＋b）と接合資料381（17a＋b）は、剥片剥離時の同時割れの資料である。18は背面に自然面を大きく残した剥片である。19は楕円形礫を素材として、全面が研磨された磨石である。表面がやや凹凸した安山岩を用いている。

第26表　第３文化層第18ブロック石器組成表

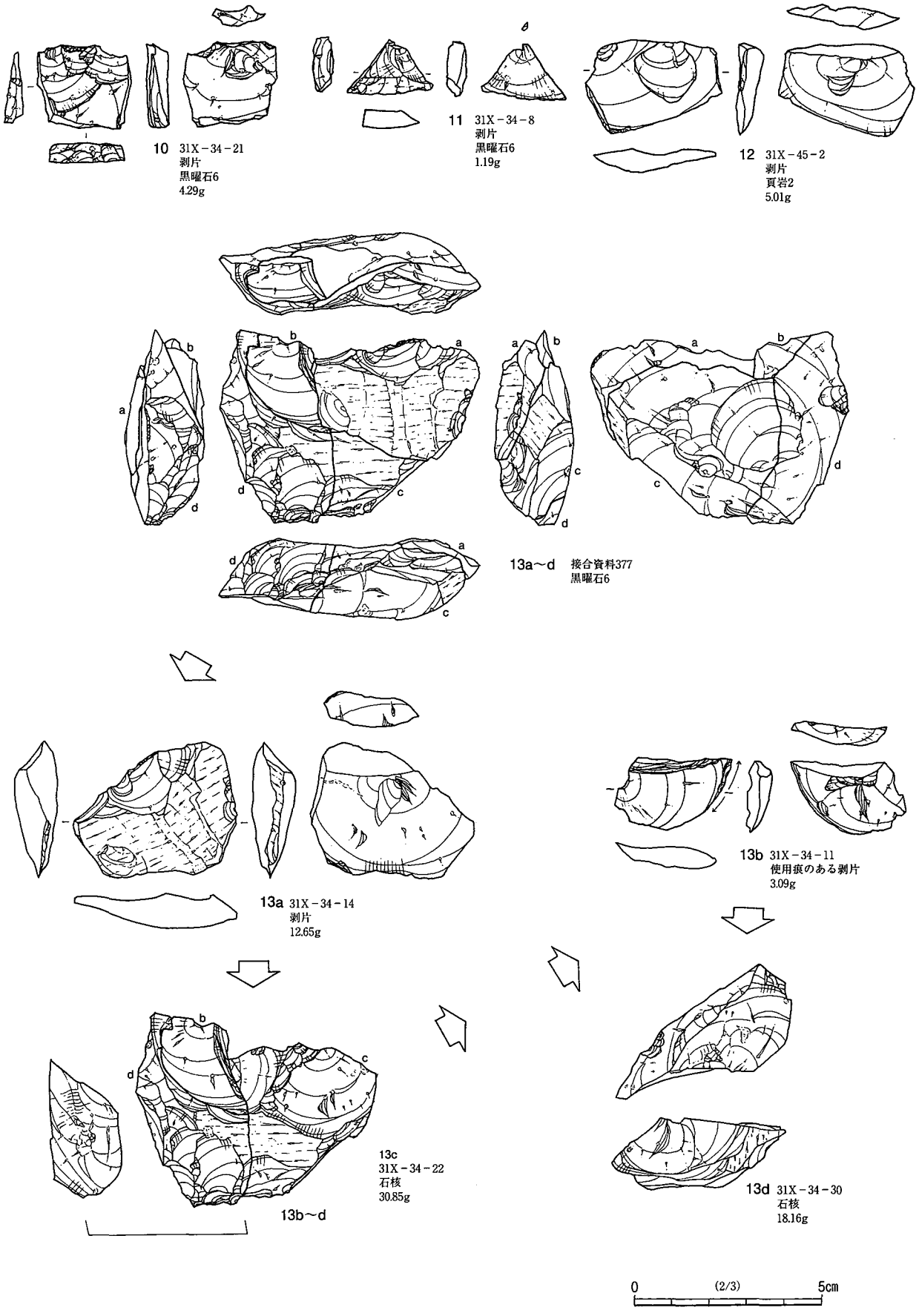
器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	削器	掻器	磨石	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
トロトロ石	2								2	1		3	5.00	243.02	24.20
安山岩	2				1							1	1.67	200.71	19.99
	3										1	1	1.67	13.61	1.36
安山岩点数合計					1						1	2	3.33	214.32	21.35
黒曜石	6	1	1	1		2	3	3	23			34	56.67	235.8	23.48
	7								10	3		13	21.67	6.52	0.65
黒曜石点数合計		1	1	1		2	3	3	33	3		47	78.33	242.32	24.13
珪質頁岩	4	1										1	1.67	26.49	2.64
チャート	11						1					1	1.67	44.43	4.43
	12								5			5	8.33	228.47	22.75
チャート点数合計							1		5			6	10.00	272.9	27.18
頁岩	2								1			1	1.67	5.01	0.50
全体点数合計		2	1	1	1	2	4	3	41	4	1	60	100.00	1004.06	100.00
点数組成比（％）		3.33	1.67	1.67	1.67	3.33	6.67	5.00	68.33	6.67	1.67	100.00			



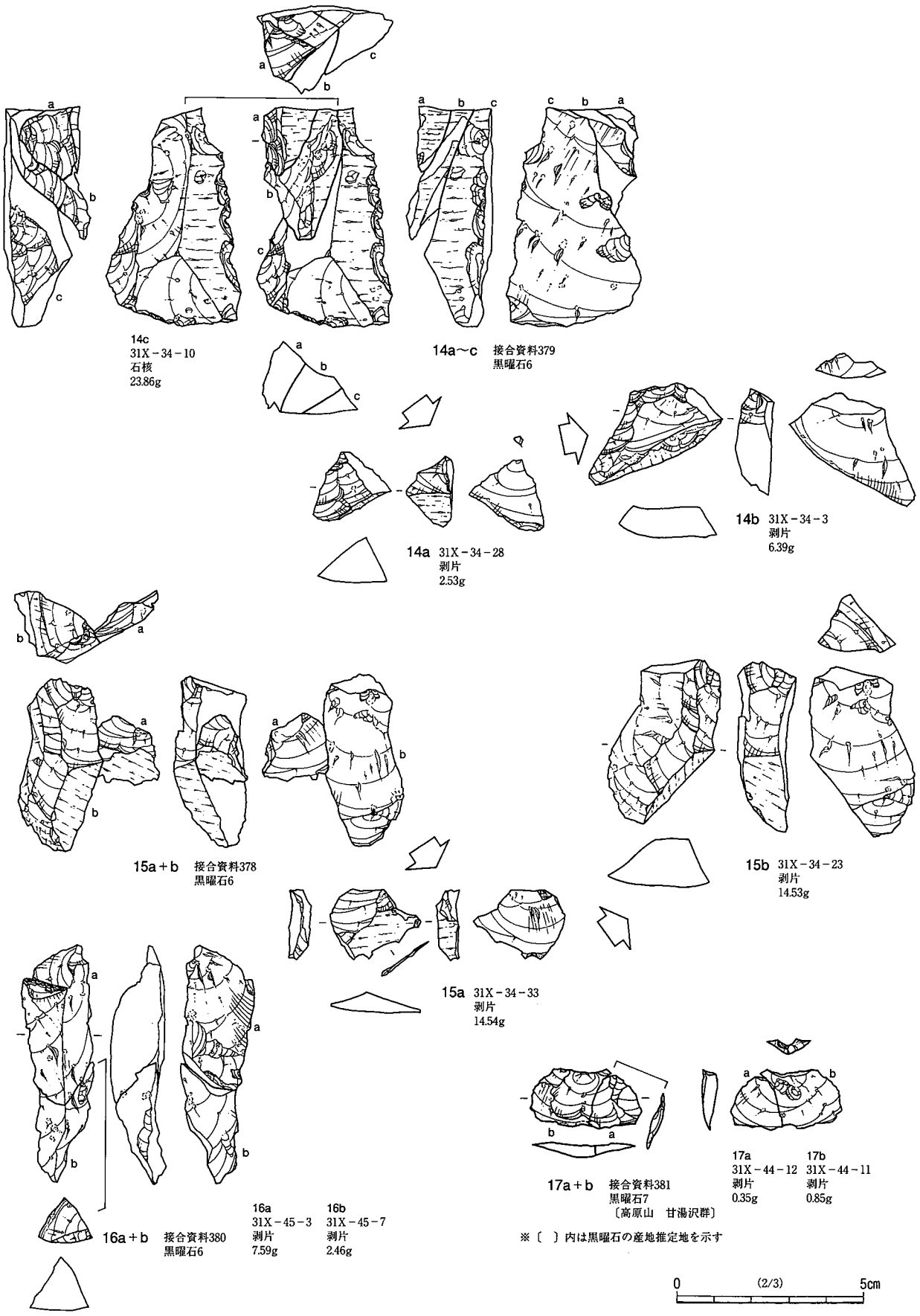
第55図　第３文化層第18ブロック遺物分布図



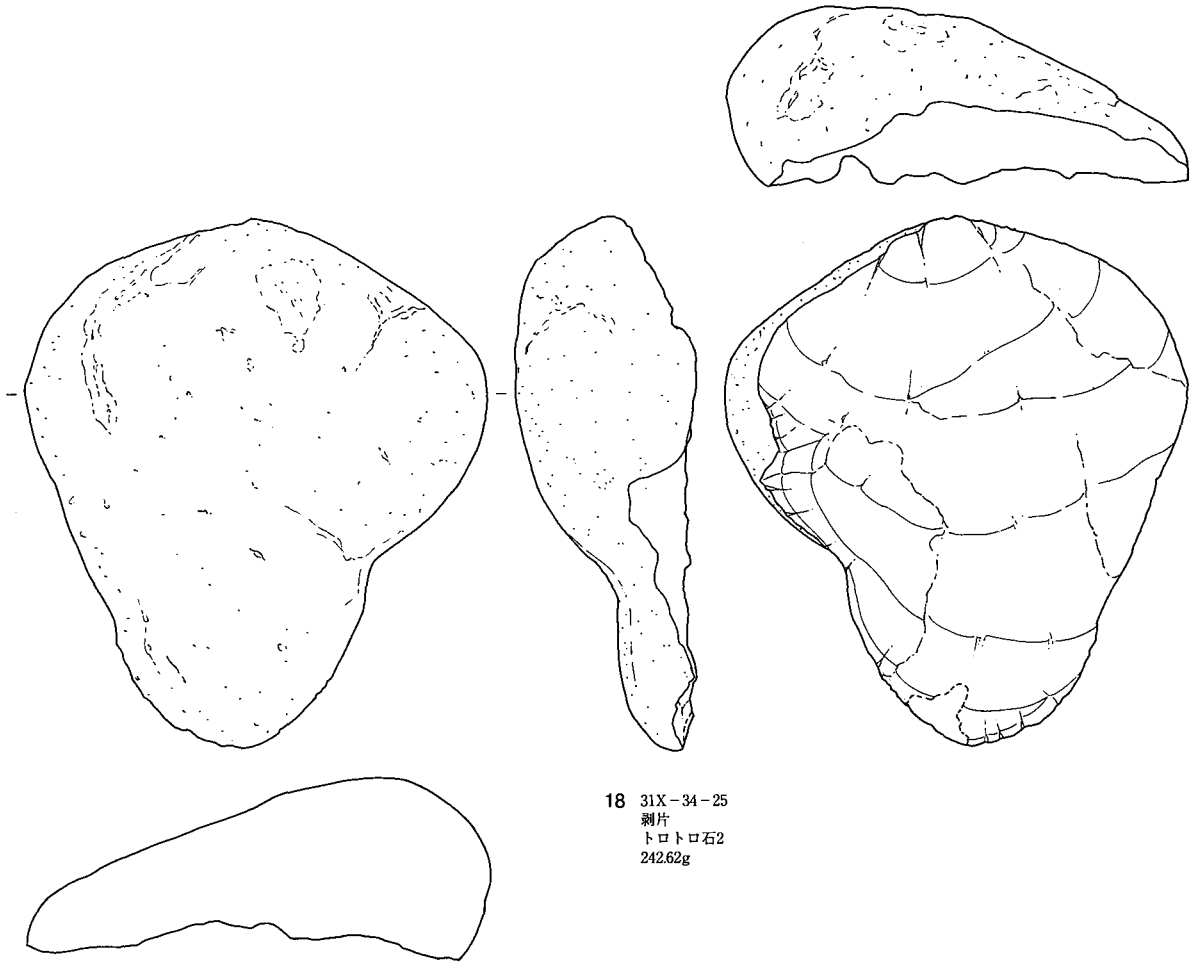
第56図　第３文化層第18ブロック出土石器（１）



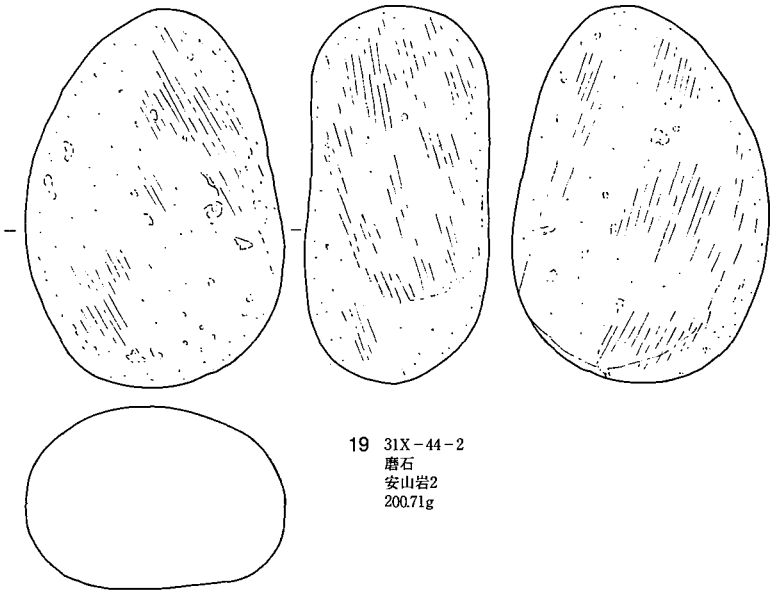
第57図　第３文化層第18ブロック出土石器（２）



第58図　第３文化層第18ブロック出土石器（３）



18 31X－34－25
剥片
トロトロ石2
242.62g



19 31X－44－2
磨石
安山岩2
200.71g

0 (2/3) 5cm

第59図　第３文化層第18ブロック出土石器（４）

（13）第19ブロック（第60～62図、第27・37表、図版33）

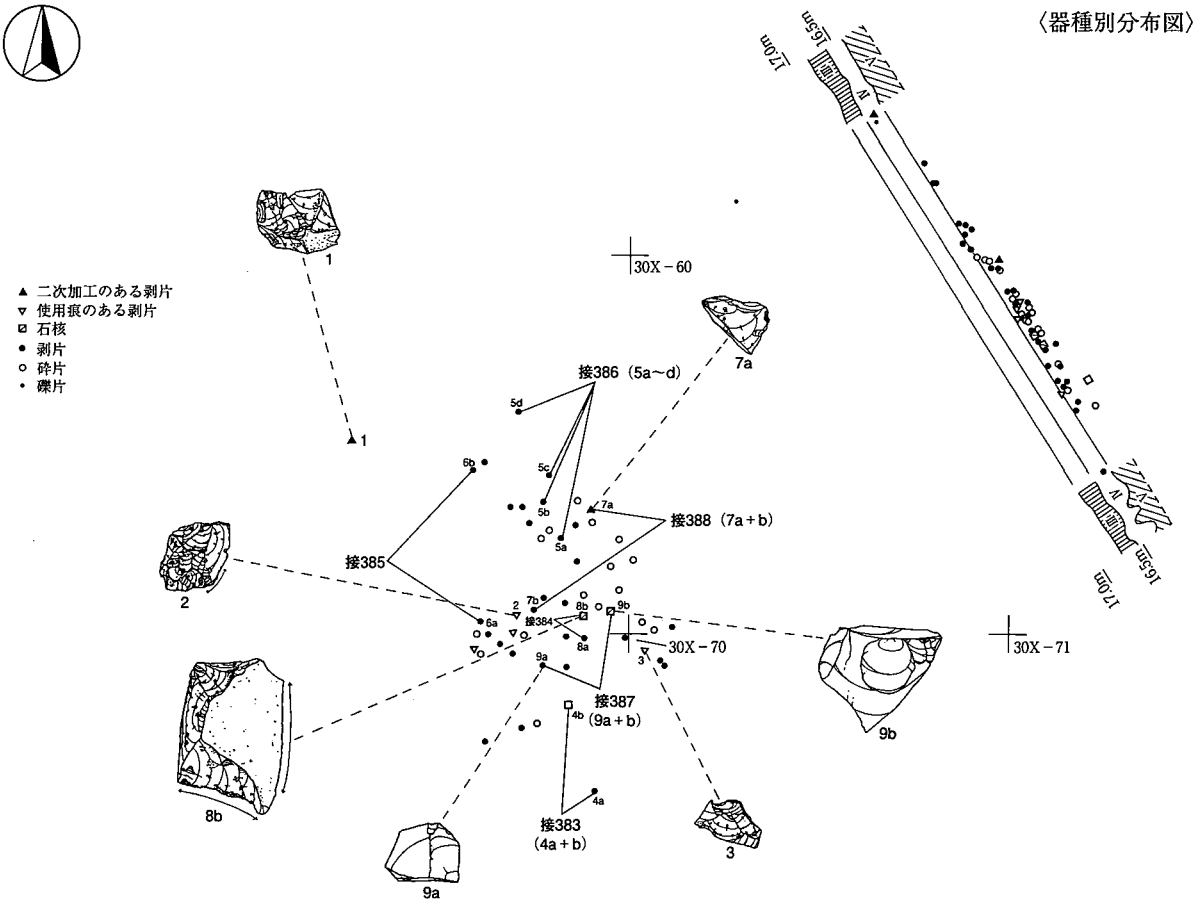
出土状況　第３文化層のなかで最も北東側にまとまって分布するブロック群（第18～20ブロック）の北部に位置する。約４ｍ×３ｍの楕円形の範囲に密集している。集中地点は北部と南部の２か所に分けることができる。出土点数の最も多い母岩の黒曜石８は、ブロック全域に分布しているものの、個体別にみると、北部に接合資料385・386・388が分布し、南部に接合資料383・384が分布する。出土層位は、Ⅴ層～Ⅳ層にかけて分布しており、Ⅴ層上部～Ⅳ層下部に集中する。

出土遺物　二次加工のある剥片（１・7a）２点、使用痕のある剥片（２・３など）４点、石核（4b・8b・9b）３点を含む59点が出土した。１は左側縁にやや荒い調整加工が施され、右側縁は折断されている。２は右側縁、３は下部に微細剥離痕がみられる。接合資料383（4a＋b）は、厚みのある剥片を素材として、腹面を打面として、小型の幅広剥片を剥離している。右側縁から剥離を行った際に4aが剥離されている。残核である4bは上部と左側縁上部から剥離を行っている。接合資料386（5a～d）は、縦長剥片を剥離時に、同時割れしたのものが5aであり、縦長剥片が剥離された後に腹面側から5bと5cが剥離されており、5bの下部には剥離痕がみられる。接合資料385（6a＋b）は、厚みのある幅広剥片で、剥離時に6aと6bが同時割れしている。接合資料388（7a＋b）は、幅広の剥片7aを剥離後、縦長剥片7bを剥離している。7aは打面部と左側縁を折断し右側縁上部に調整加工が施されている。接合資料384（8a＋b）は、背面に自然面を大きく残した厚みのある剥片を素材として、素材末端部と左側縁を折断した後に、素材打面部側の腹面から8aを含む小型の幅広剥片を数枚剥離している。残核の8bの右側縁と下端部には微細剥離痕がみられる。接合資料387（9a＋b）は、打面幅が広く厚みのある横長剥片を素材とし、さらに二分割した個体から剥片剥離を行ったことが観察される。つまり、9aを含む個体と9bとに分割した石核をもとにして、それぞれ剥片を剥離しており、9aを含む個体は、9aの横長剥片を剥離しているが、残核は出土していない。一方、9bの個体は9bの残核のみが出土している。9bは素材の打面右上部から中央にかけて小型の貝殻状の剥片を剥離している。本ブロックの剥片剥離の特徴は、接合資料383～386・388の黒曜石８と接合資料387の硬質頁岩２でみられるように、分厚い幅広剥片を素材として、折断により石核成形した後に、小型の剥片を剥離していることがあげられる。

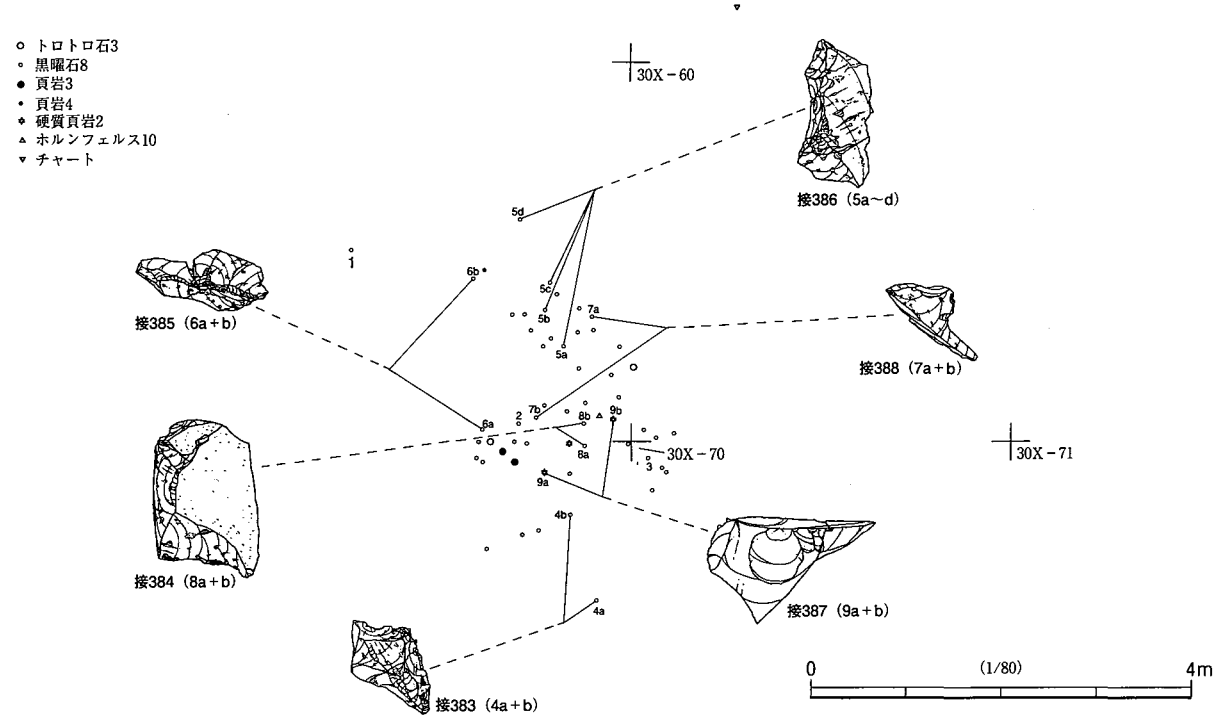
第27表　第３文化層第19ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
トロトロ石	3				1	1		2	3.39	0.49	0.27
黒曜石	8	2	4	2	24	17		49	83.05	117.01	64.34
硬質頁岩	2			1	2			3	5.08	40.96	22.52
ホルンフェルス	10					1		1	1.69	0.27	0.15
チャート							1	1	1.69	11.63	6.40
頁岩	3				2			2	3.39	11.15	6.13
	4				1			1	1.69	0.35	0.19
頁岩点数合計					3			3	5.08	11.5	6.32
全体点数合計		2	4	3	30	19	1	59	100.00	181.86	100.00
点数組成比（％）		3.39	6.78	5.08	50.85	32.20	1.69	100.00			

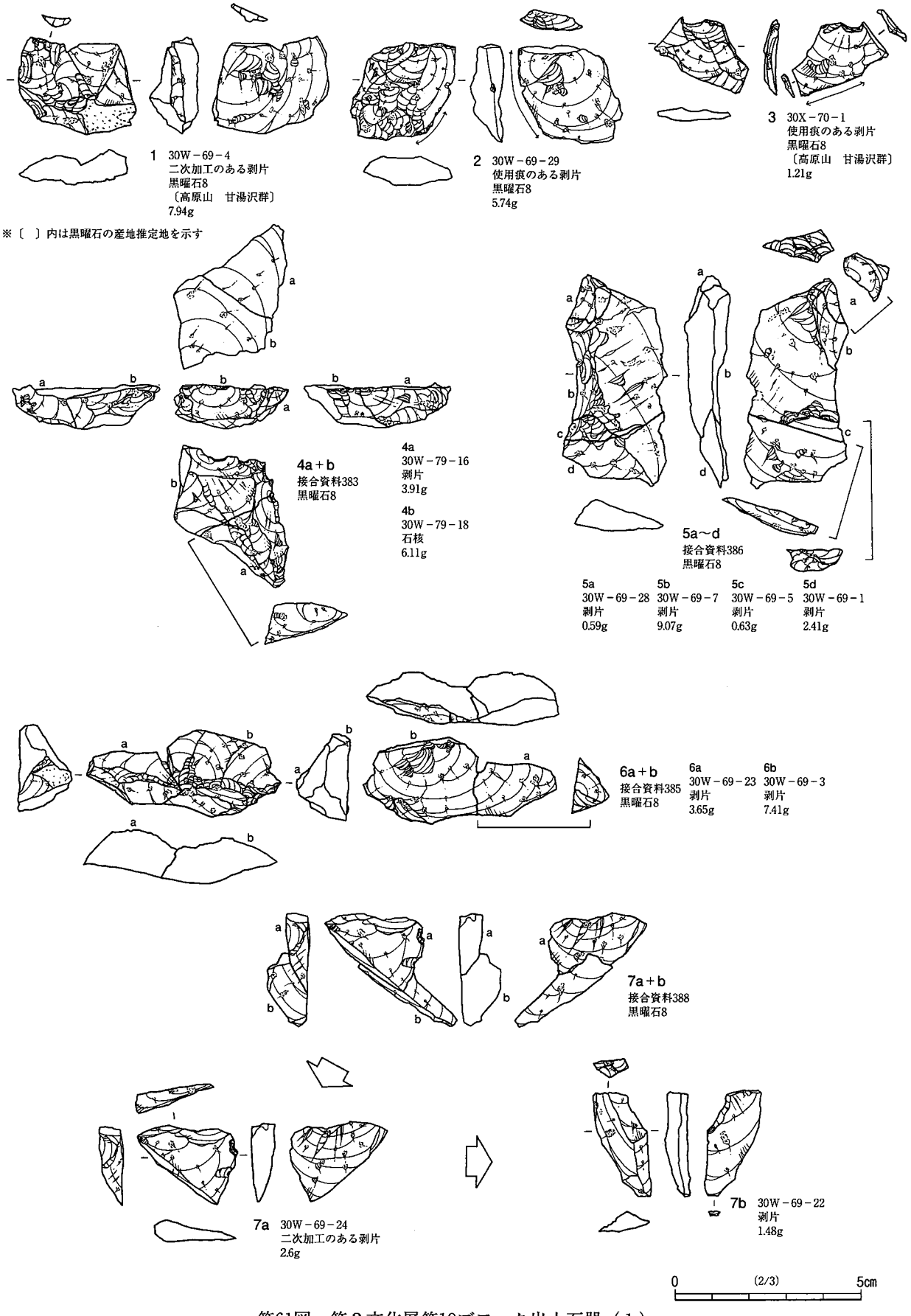
〈器種別分布図〉



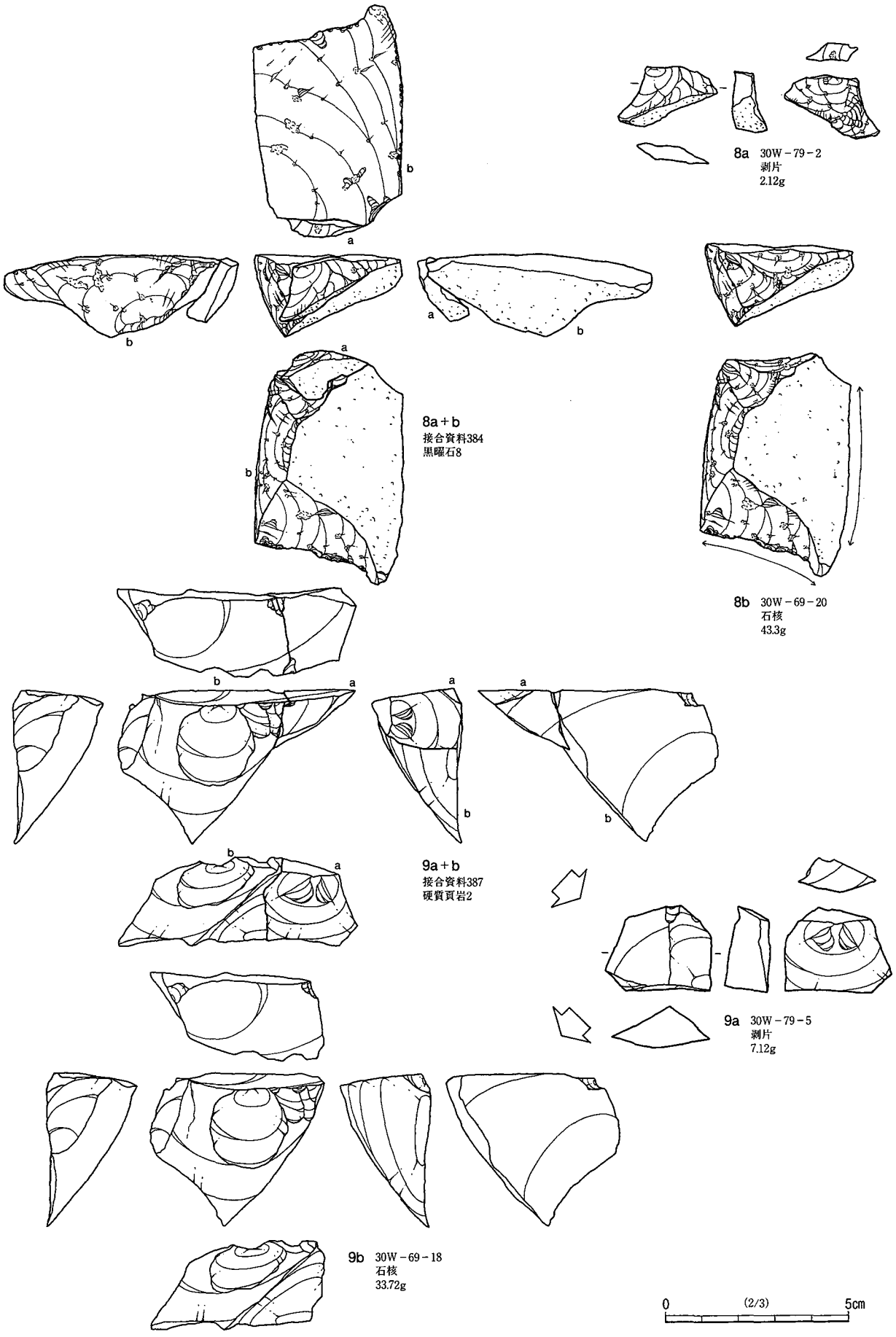
〈母岩別分布図〉



第60図　第３文化層第19ブロック遺物分布図



第61図　第３文化層第19ブロック出土石器（１）



第62図　第３文化層第19ブロック出土石器（２）

（14）第20ブロック（第63・64図、第28・37表、巻頭図版１、図版34）

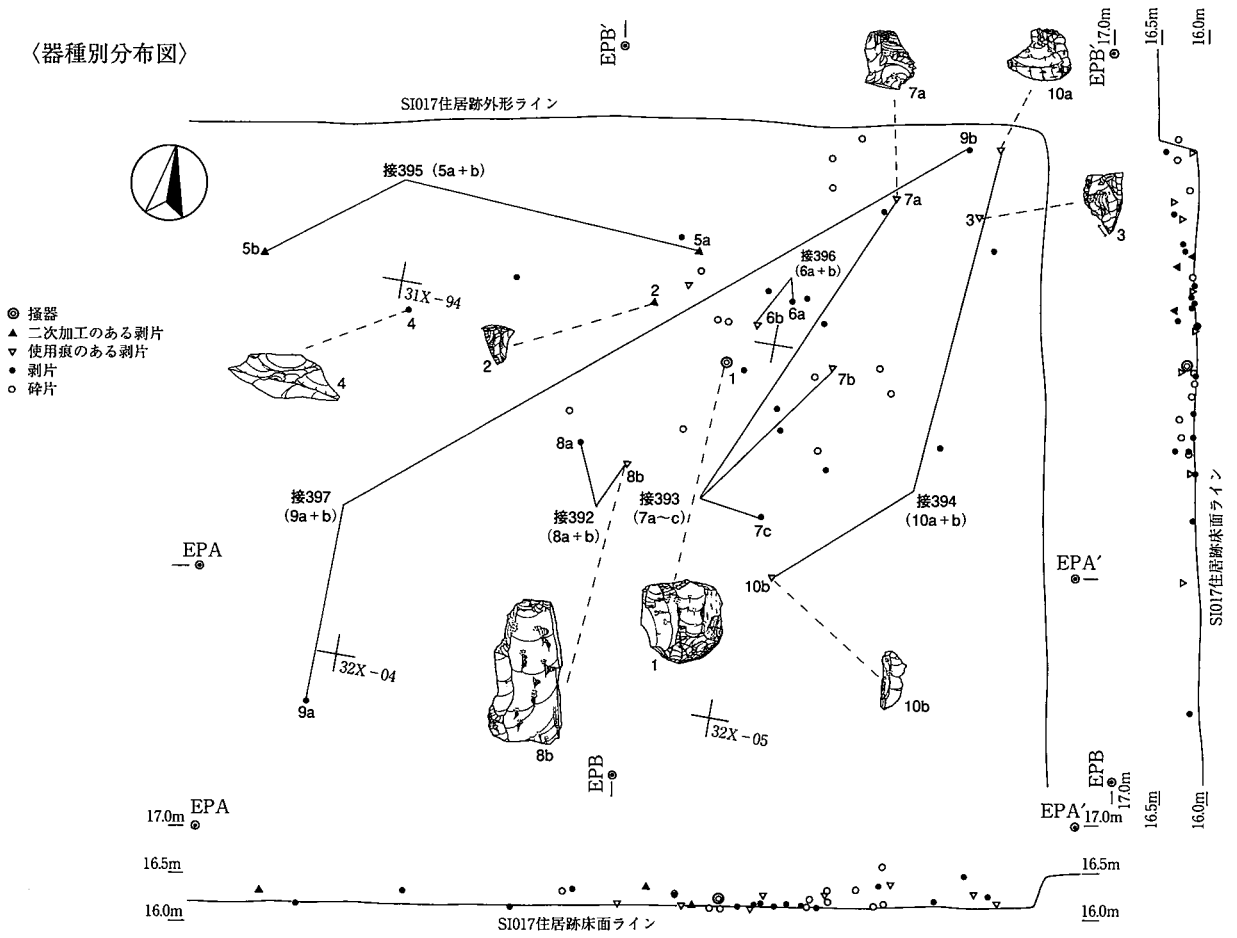
出土状況　第３文化層のなかで最も北東側にまとまって分布するブロック群（第18～20ブロック）の南部に位置する。上層調査の住居跡（SI017）床面の直上付近から出土したブロックである。調査時には住居跡に伴う遺物として取り上げられていたが、北側に隣接する第18・19ブロックと同様の石材構成をしており、第３文化層に特徴的にみられる掻器が出土していた。このことから、住居跡北東隅にまとまって出土した石器を、旧石器時代の遺物として捉えた。第63図ではSI017の住居跡床面ラインと遺物の垂直分布を示した。第20ブロックの石器は、住居跡の貼り床に使われた埋土の中に旧石器が入っていたか、あるいは、住居跡を埋め戻した土の中に旧石器が入っていたと推察される。いずれにしても、SI017住居跡の北東隅付近に第20ブロックの石器群が存在していたと思われる。第18・19ブロックと近接し、石材構成や石器群の内容が類似していることから、出土層位は第18・19ブロックと同様にⅤ層上部～Ⅳ層下部に集中して出土したものと推定される。約10m×８mの楕円形の範囲に52点が集中して分布する。黒曜石９はブロック全域に分布し、６個体の接合資料392～397がみられる。

出土遺物　掻器（１）１点、二次加工のある剥片（２・5a・5b）３点、使用痕のある剥片（３・6b・7a・7b・10a・10bなど）８点を含む52点が出土した。１は幅広の剥片を素材として、素材末端部に急角度の調整加工が施された掻器である。右側縁下部と上部には平坦な調整加工が施されている。２は縦長剥片の中央部を折断した後に、急角度の調整加工が施されている。左側縁は上部の調整加工後に折断されている。３は素材末端部に微細剥離痕がみられる。また、２と同様に縦長剥片の中間部を折断している。４は厚みのある剥片を素材として、上部と右側縁が折断された剥片である。接合資料395（5a＋b）は、縦長剥片を素材として、左側縁に背面側から急角度の調整加工が施された二次加工のある剥片である。右側縁中央部を加工した際に5aと5bに分割されている。接合資料396（6a＋b）は、小型で幅広の剥片を剥離した際に打点付近から同時割れした接合資料である。接合資料393（7a～c）は縦長剥片である7aと7b＋cを連続剥離した接合資料である。7bは左側縁中部に微細剥離痕がみられる。接合資料392（8a＋b）と接合資料397（9a＋b）は、剥片を剥離した際に打点付近から同時割れした接合資料である。接合資料394（10a＋b）は末端部が厚みのある剥片（10a＋b）を剥離したものを素材として、右側縁下部から調整加工が施されている。その調整加工の際に、10bの細長の剥片が剥離されている。本ブロックにおいて、主要母岩である夾雑物の多い黒曜石９は、打点付近からの同時割れした接合資料392・396・397と使用時の折断と思われる接合資料393・395とがみられる。

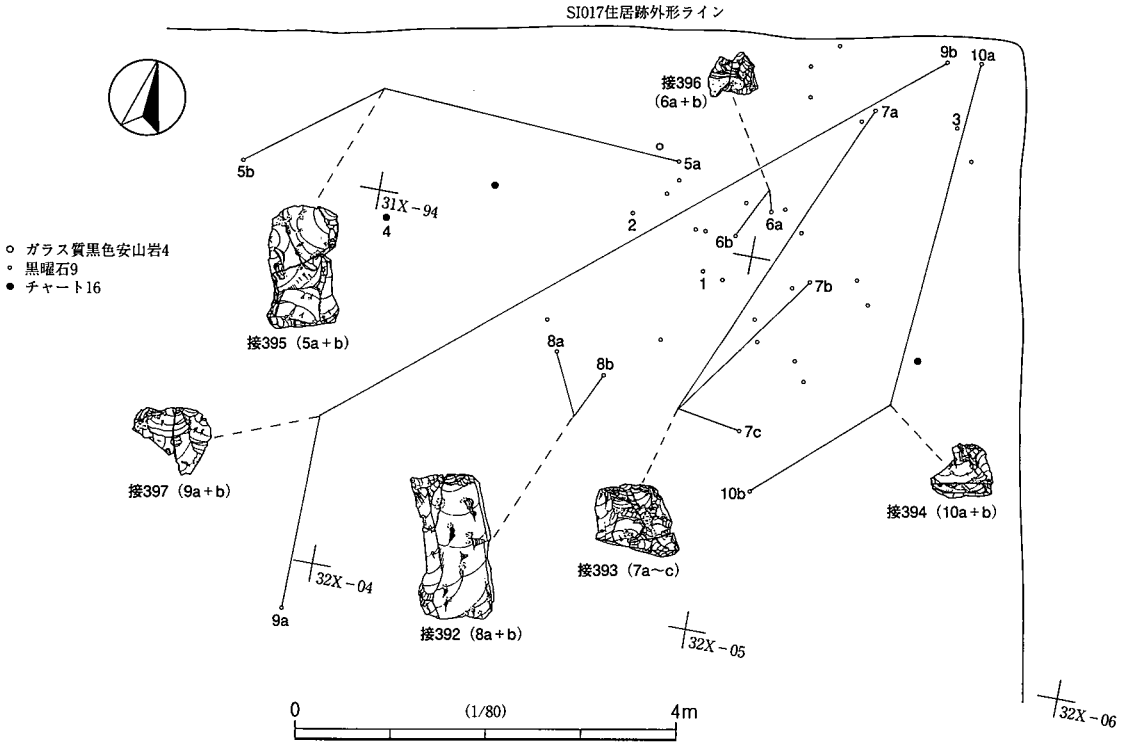
第28表　第３文化層第20ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	掻器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	4				1		1	1.92	6.04	6.55
黒曜石	9	1	3	8	15	21	48	92.31	75.53	81.85
チャート	16				3		3	5.77	10.71	11.61
全体点数合計		1	3	8	19	21	52	100.00	92.28	100.00
点数組成比（%）		1.92	5.77	15.38	36.54	40.38	100.00			

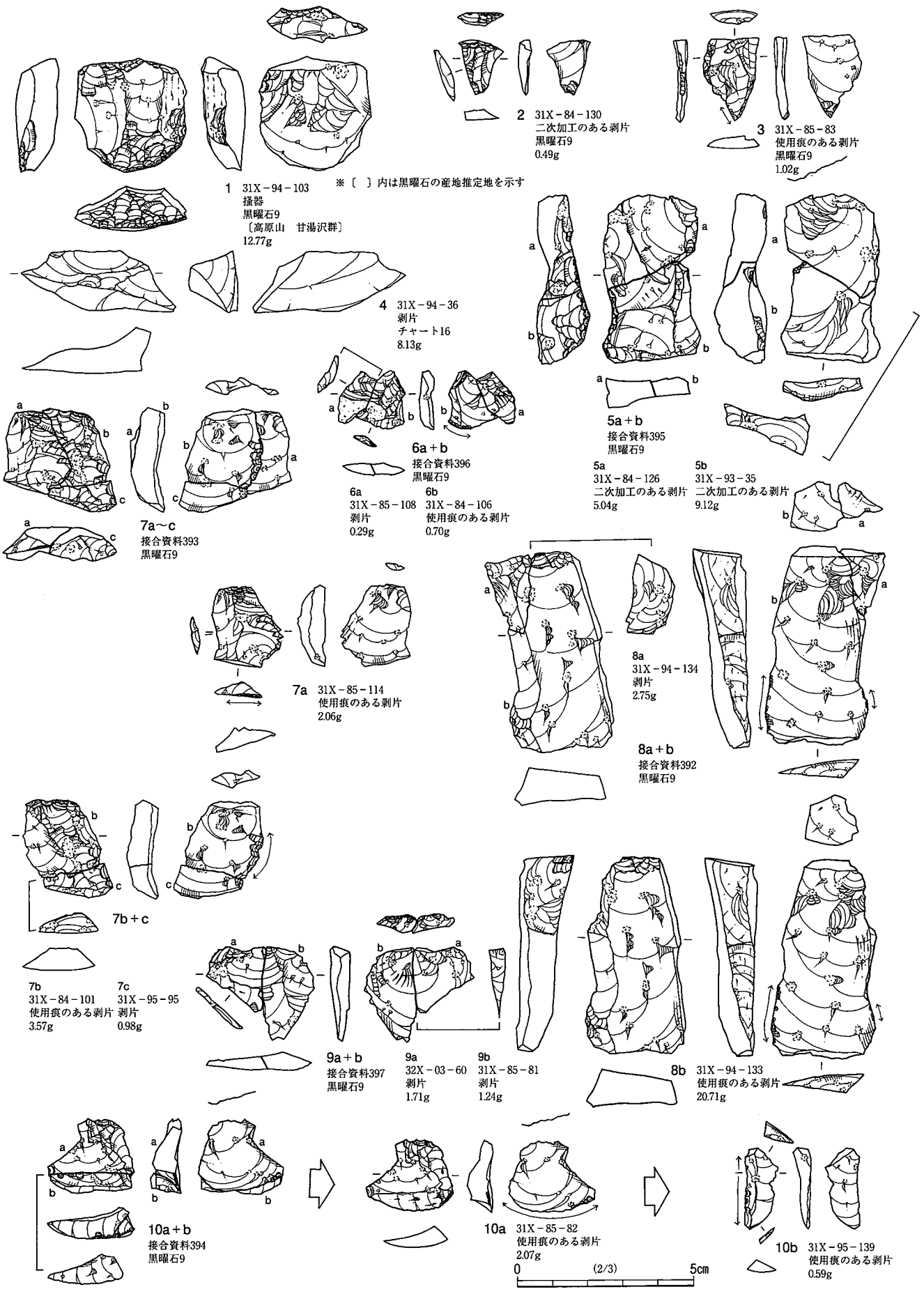
〈器種別分布図〉



〈母岩別分布図〉



第63図　第３文化層第20ブロック遺物分布図



第64図　第３文化層第20ブロック出土石器

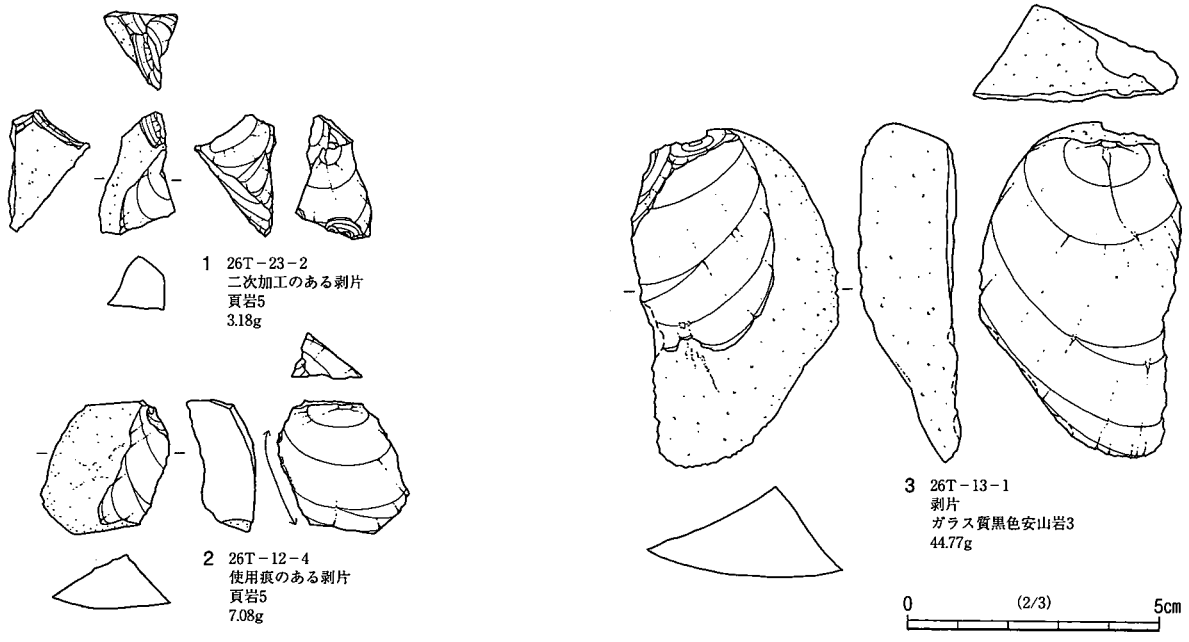
（15）第21ブロック（第65・66図、第29・37表、図版34）

出土状況　調査区の最も北側に位置する。約５ｍ×４ｍの楕円形の範囲に散漫に分布している。出土層位は、Ⅴ層～Ⅳ層の上部に集中し、Ⅳ層に集中する。前述の第９～12ブロックや第18～20ブロックのように、礫がまとまって出土したり、角錐状石器や掻器などの製品は出土していないが、出土層位がⅣ層に集中することから、第３文化層に帰属するブロックとして捉えた。

出土遺物　二次加工のある剥片（１）１点、使用痕のある剥片（２）１点を含む７点が出土した。１は背面に自然面を大きく残した厚みのある剥片を素材として、素材末端に調整加工が施されている。２は右側縁に微細剥離痕がみられる。３は自然面を打面とした厚みのある剥片である。本ブロック出土の石器の特徴は、定型的な石器がみられず、背面に自然面を大きく残した剥片を剥離していることが特徴である。石器群の位置づけは困難であるが、出土層位がⅣ層に集中することと、第９～12ブロックや第18～20ブロックと同じ東側の台地斜面縁辺部に立地し、16m～18mのコンタラインに分布することから、第３文化層の石器群として捉えた。

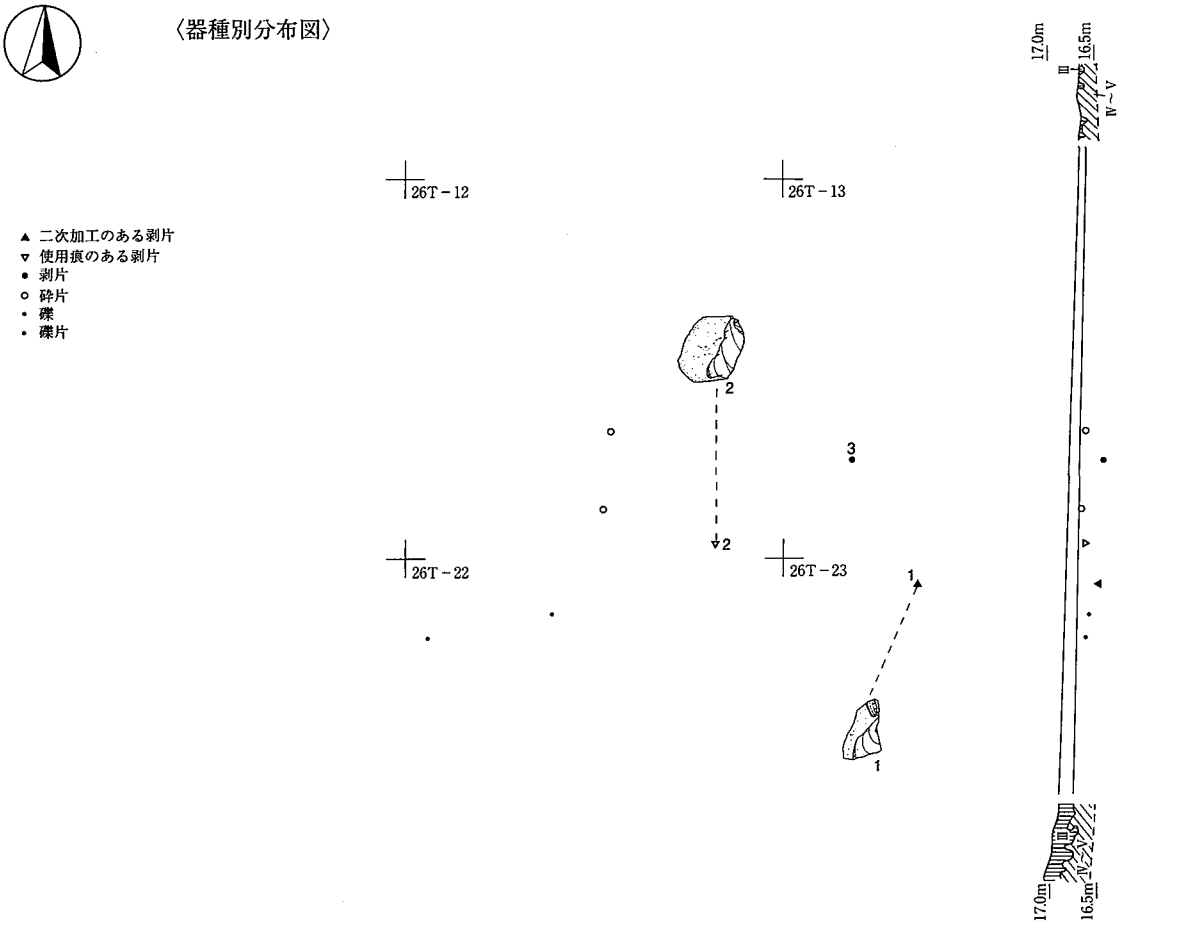
第29表　第３文化層第21ブロック石器組成表

器種 ＼ 母岩	母岩番号	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	剥片	砕片	礫	礫片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
ガラス質黒色安山岩	3			1				1	14.29	44.77	64.73
砂岩						1	1	2	28.57	13.84	20.01
チャート	12				1			1	14.29	0.18	0.26
頁岩	5	1	1		1			3	42.86	10.37	14.99
全体点数合計		1	1	1	2	1	1	7	100.00	69.16	100.00
点数組成比（%）		14.29	14.29	14.29	28.57	14.29	14.29	100.00			

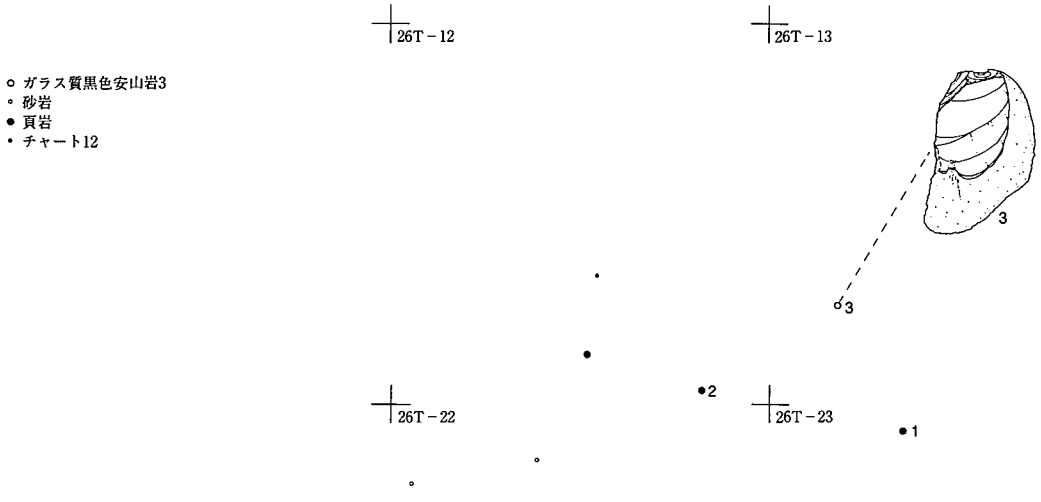


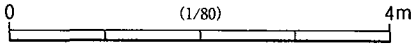
第65図　第３文化層第21ブロック出土石器

〈器種別分布図〉



〈母岩別分布図〉





第66図　第３文化層第21ブロック遺物分布図

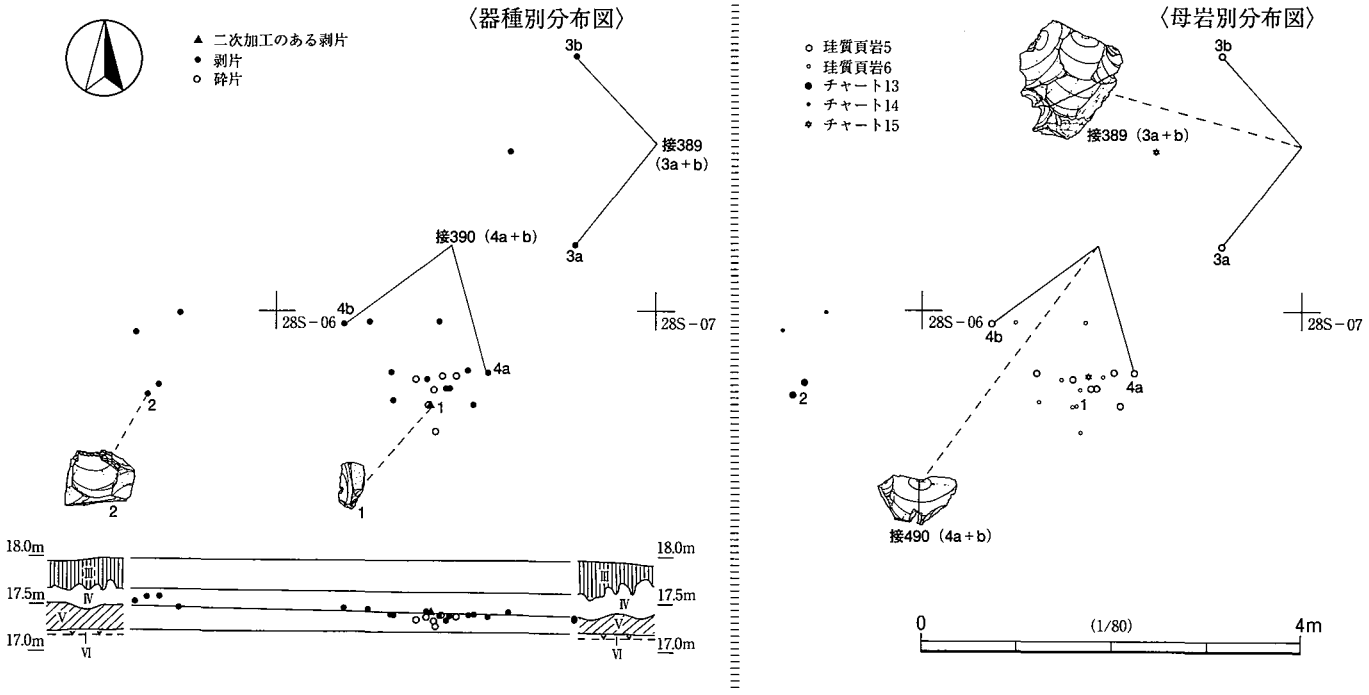
（16）第22ブロック（第67・68図、第30・37表、図版34）

出土状況　調査区北側に位置し、第21ブロックの南西部に分布する。北東に緩やかに傾斜する縁辺に立地する。約６ｍ×３ｍの楕円形の範囲に散漫に分布している。集中地点は、西部と南部と北東部の３つに細分することができる。28S－06グリッドの南部が最も遺物が密集している。珪質頁岩５・６が南部と北東部に分布し、チャート13・14が西部に分布しており、集中地点ごとに母岩消費の違いがみられる。出土層位は、Ⅴ層上部からⅣ層にかけて分布しており、Ⅴ層上部～Ⅳ層下部に最も集中する。

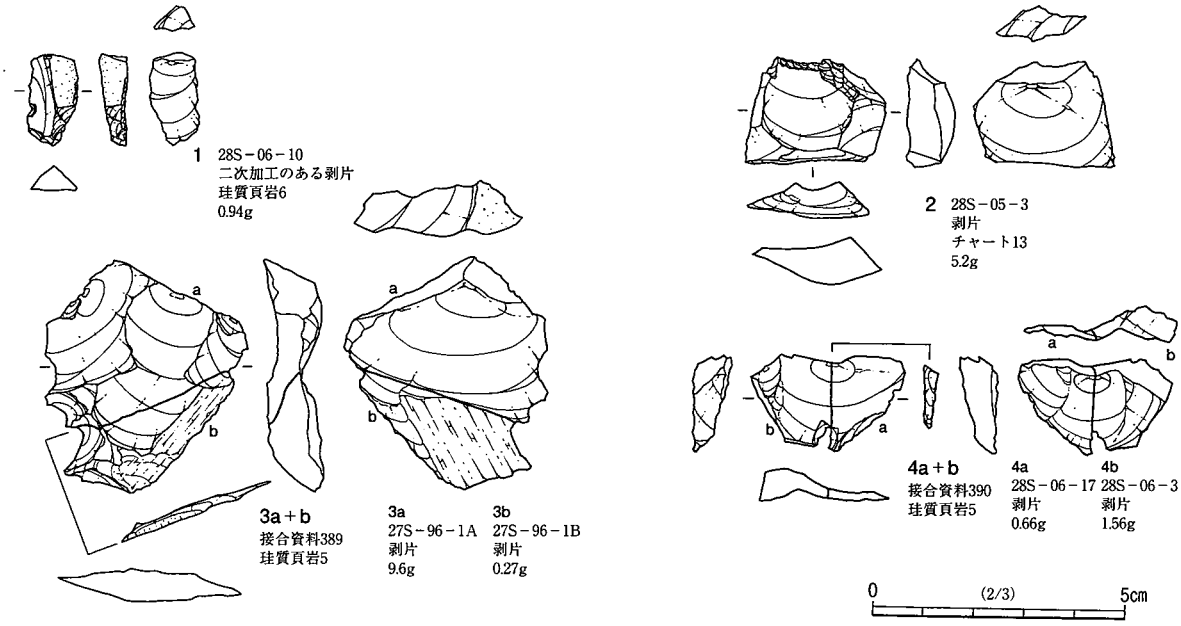
出土遺物　二次加工のある剥片（１）１点を含む27点が出土した。１は細長の剥片を素材として、素材末端部と右側縁下部に急角度の調整加工が施されている。２は幅広の打面から剥離された剥片で、末端部は折断されている。接合資料389（3a＋b）は幅広の剥片を剥離した際に節理面に沿って器体中央部から同時割れした接合資料である。接合資料390（4a＋b）は、幅広の剥片を剥離した際に打点部から同時割れした接合資料である。

第30表　第３文化層第22ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	二次加工のある剥片	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
珪質頁岩	5		12		12	44.44	32.22	60.35
	6	1	3	5	9	33.33	6.6	12.36
珪質頁岩点数合計		1	15	5	21	77.78	38.82	72.71
チャート	13		2		2	7.41	6.39	11.97
	14		2		2	7.41	6.45	12.08
	15		1	1	2	7.41	1.73	3.24
チャート点数合計			5	1	6	22.22	14.57	27.29
全体点数合計		1	20	6	27	100.00	53.39	100.00
点数組成比（％）		3.70	74.07	22.22	100.00			



第67図　第３文化層第22ブロック遺物分布図

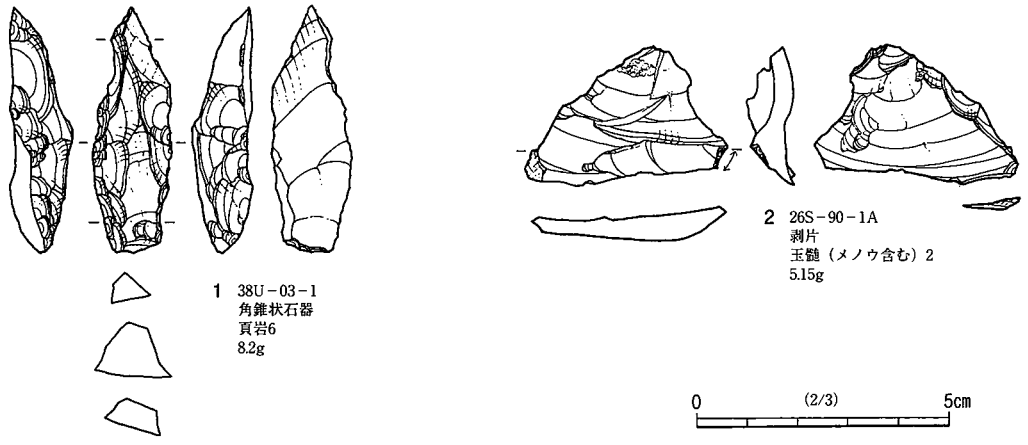


第68図　第３文化層第22ブロック出土石器

(17) 第３文化層単独出土石器（第69図、図版34）

出土状況　単独出土したもののうち、石器の形態や石材の特徴などの検討した結果、第３文化層に帰属すると思われるものを第３文化層単独出土石器として扱うこととした。

出土遺物　１は角錐状石器である。第17ブロックの南西の38U－03グリッドから出土している。厚みのある縦長剥片を斜位に用いている。左側縁と右側縁中央から下部にかけて、急角度の荒い加工によって器体を成形した後に、両側縁下部と下端部に細かい調整加工が入念に施されている。右側縁上部には、素材剥離の縁辺が残されている。第９ブロック出土の１・２の角錐状石器と形態的に類似する。２は良質な玉随（メノウ含む）を用いた横長剥片である。素材末端部の縁辺は折断されている。第22ブロックの北西の26S－90グリッドから出土している。

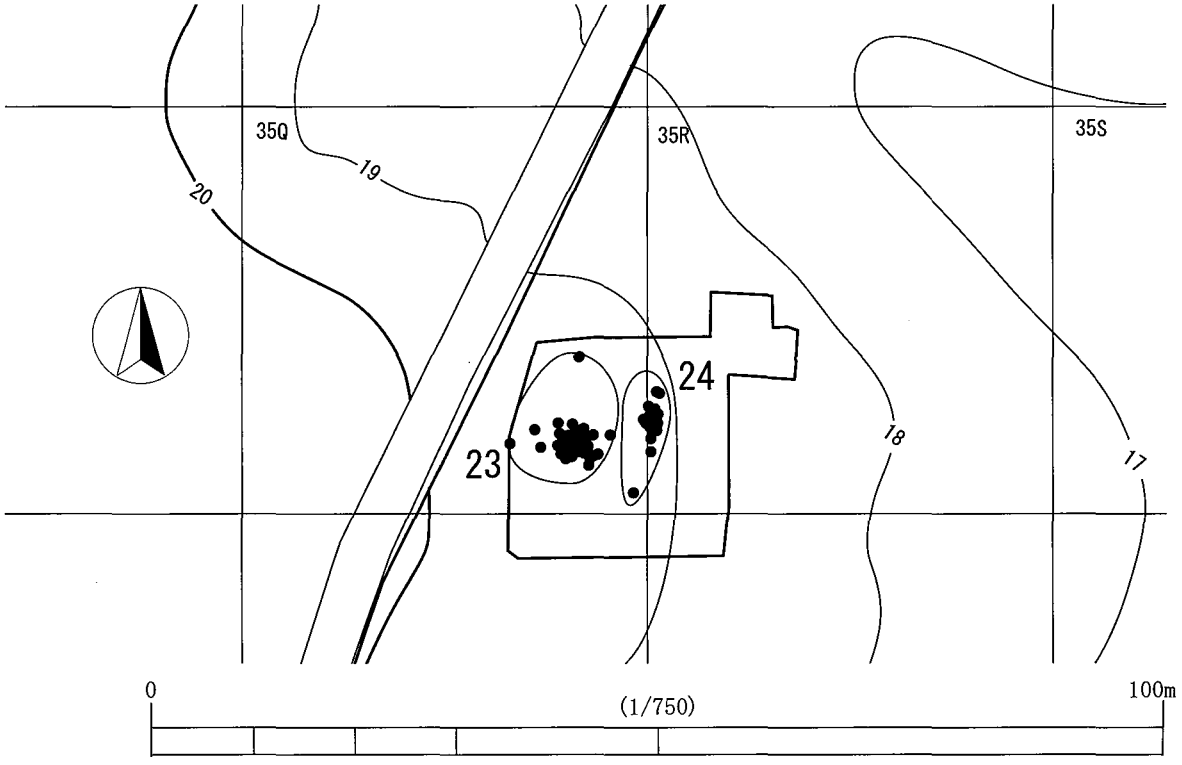


第69図　第３文化層単独出土石器

第６節　第４文化層

（１）概要（第70図、第31表）

第４文化層の石器群は、総計142点出土し、第23・24ブロックの２か所のブロックが識別できた。生活面は、Ⅴ層～Ⅳ層下部と考えられる。第３文化層と生活面はほぼ同一の層位であることが推定される。しかしながら、ブロック数が少なく、ソフトローム上部が削平されており、出土地点に近い場所でのセクション投影図が作成できなかったために、出土層位を明確に把握できなかった。第４文化層の石材においては、すべて良質で緑色のチャート（珪質頁岩の可能性もある）が用いられており、第３文化層ではこのような特徴的なチャートは出土していなかった。これらの理由により、第４文化層と第３文化層とを区分けした。ただし、第３文化層との先後関係は明確ではない。調査区の西側に位置し、標高は最も高い地表面コンタライン19mから20mに立地する。隣接する東側には、生活面がⅦ層と推定される第１文化層の第１～３ブロックが分布しており、第１文化層の出土標高よりも約30～50cm上位で出土している。



第70図　第４文化層ブロック分布図

第31表　第４文化層器種石材組成表

ブロック	石材	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
23	チャート	1	12	7	1	70	19	110	77.46	397.45	73.97
24	チャート	2	2	4	2	18	4	32	22.54	139.89	26.03
第４文化層点数合計		3	14	11	3	88	23	142	100.00	537.34	100.00
点数組成比		2.11	9.86	7.75	2.11	61.97	16.20	100.00			

（2）第23ブロック（第71～77図、第32・37表、図版35・36）

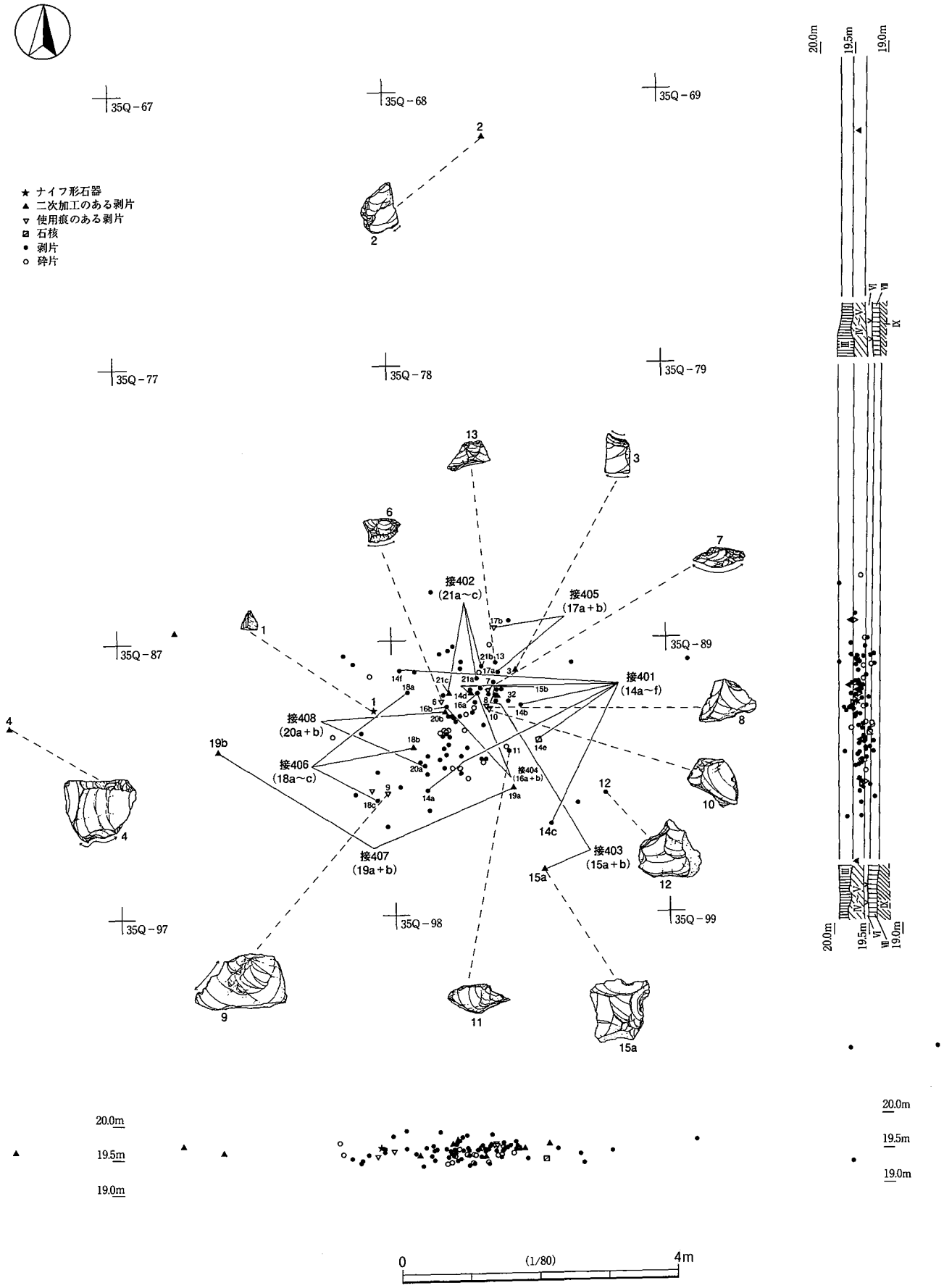
出土状況　第24ブロックの西側に隣接して出土している。南東側に緩やかに傾斜する斜面の縁辺付近に立地する。約11m×9mの楕円形の範囲に分布している。35Q－88グリッドに密集し、周辺に散漫に出土する。使用された母岩はチャート1のみで構成され、ブロック内での接合資料が8個体（接合資料401～408）みられる。隣接する第24ブロックとの関連は、第24ブロックではチャート1が5点出土しているが、自然面や節理面の石質が異なるチャート2が27点で主体を占めており、消費する母岩が両ブロックで異なることが特徴としてあげられる。出土層位は、投影セクション面が出土地点から遠く離れた場所であることから、Ⅶ層からⅢ層にかけて幅広く出土しているが、石器の出土した直下の土柱や掘削面の観察から、Ⅴ層～Ⅳ層下部に石器が集中して出土したものと推察される。なお、隣接する第24ブロックにおいても同様の出土状況である。

出土遺物　ナイフ形石器（1）1点、二次加工のある剥片（2～5・14d・15a・18b・19a＋b・20a・21cほか）12点、使用痕のある剥片（6～10・17bほか）7点、石核（14e）1点を含む110点が出土した。1はナイフ形石器で、先端部が残存したものである。左側縁に急角度の調整加工が施され、右側縁には素材の縁辺が残されている。全体形状が不明であるが、第24ブロックの1・2のナイフ形石器の先端部と類似する。2は幅広の剥片を素材として、両側縁を折断した後に、左側縁に急角度の調整加工が施されている。3は幅広の剥片を素材として両側縁と上下両端を折断した後に、上下両端に調整加工が施されている。4は素材末端部に調整加工が施されている。5は左側縁下部に荒い調整加工が施されている。6～10は幅広の剥片を素材とした使用痕のある剥片である。6～8は素材末端部、9・10は側縁部に微細剥離痕がみられる。11～13は不定形な幅広剥片である。接合資料401（14a～f）は節理面に沿って分割された厚みのある剥片を素材としている。節理面を打面として、14a～c→14d→14e＋fの順番に3回の剥離を行っている。14a～cは剥離時に打点付近から3つに同時割れしている。14dは末端部に調整加工が施されている。14e＋fも同様に打点付近から同時割れした資料である。接合資料403（15a＋b）は上部から15aを剥離後に、打面を左方向に転移して15bを剥離している。15aは打面部に荒い調整加工、右側縁下部に細かい調整加工が施されている。接合資料404（16a＋b）は背面に大きく自然面を残し、縦長剥片を剥離した接合資料である。接合資料405（17a＋b）と接合資料406（18a～c）は節理面を打面として、末端部が幅広な剥片を剥離した接合資料である。接合資料407（19a＋b）は幅広の剥片を素材として、素材末端部に急角度の調整加工が施されており、調整加工の途中で19aと19bに分割されている。接合資料408（20a＋b）は、頭部調整の際に剥離された小型の剥片20aと幅広の剥片20bが接合した資料である。接合資料402（21a～c）は21a＋bと21cの横長剥片を剥離した接合資料である。

第32表　第4文化層第23ブロック石器組成表

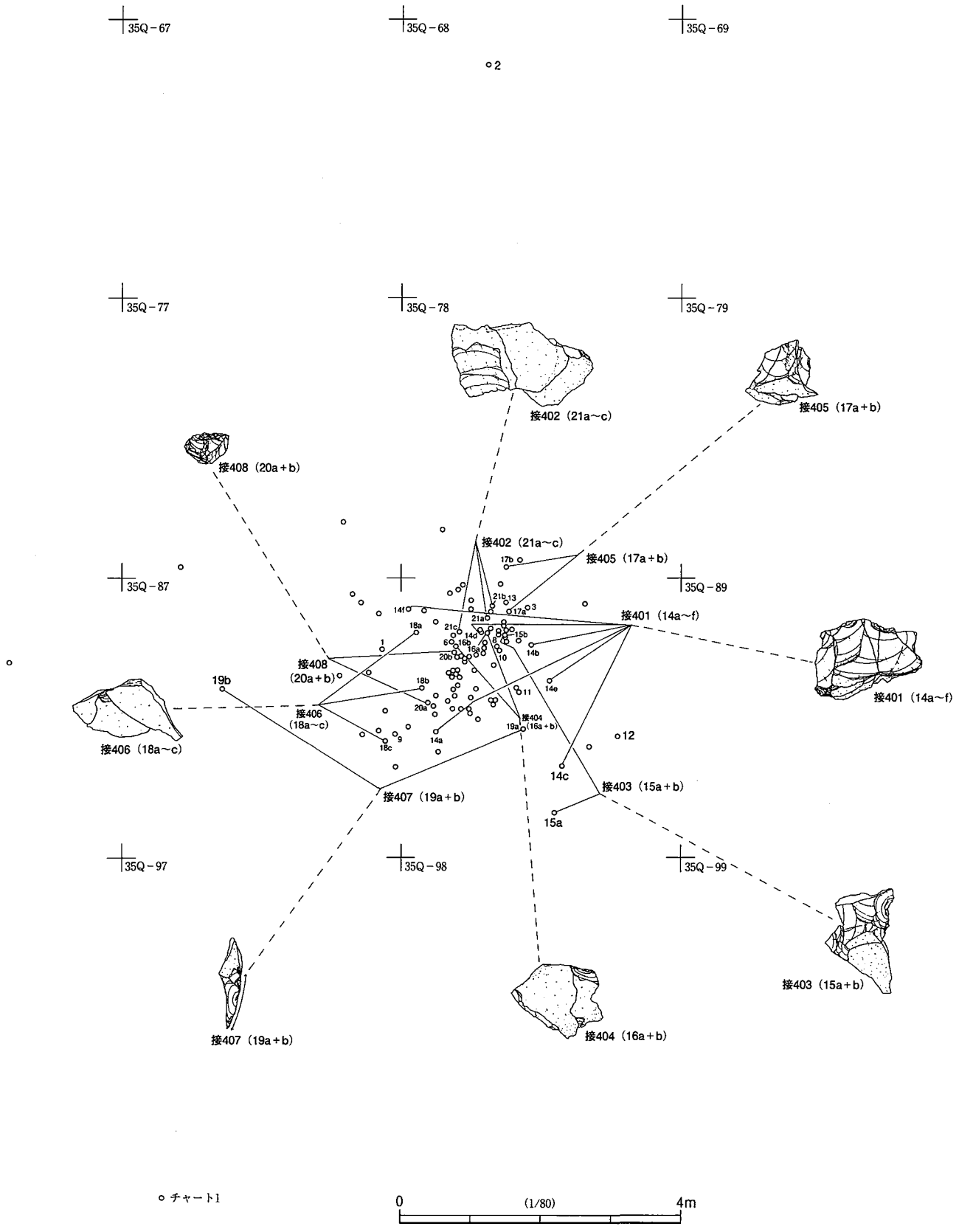
器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
チャート	1	1	12	7	1	70	19	110	100.00	397.45	100.00
全体点数合計		1	12	7	1	70	19	110	100.00	397.45	100.00
点数組成比（%）		0.91	10.91	6.36	0.91	63.64	17.27	100.00			

〈器種別分布図〉

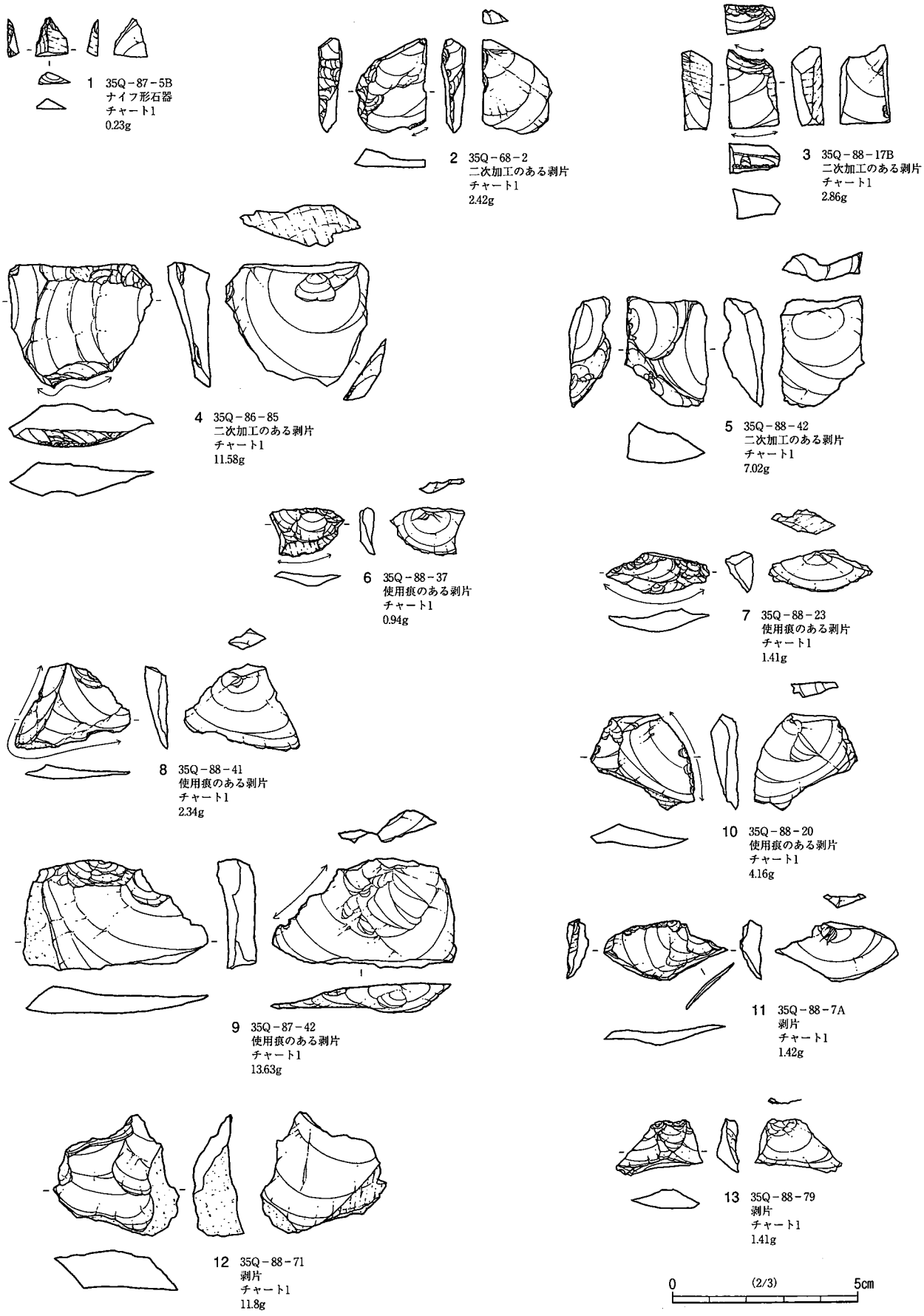


第71図　第４文化層第23ブロック器種別分布図

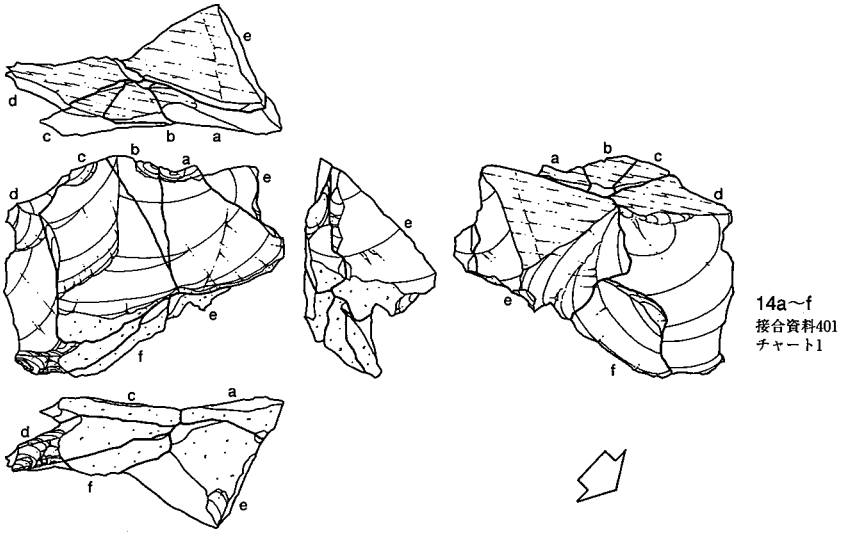
〈母岩別分布図〉



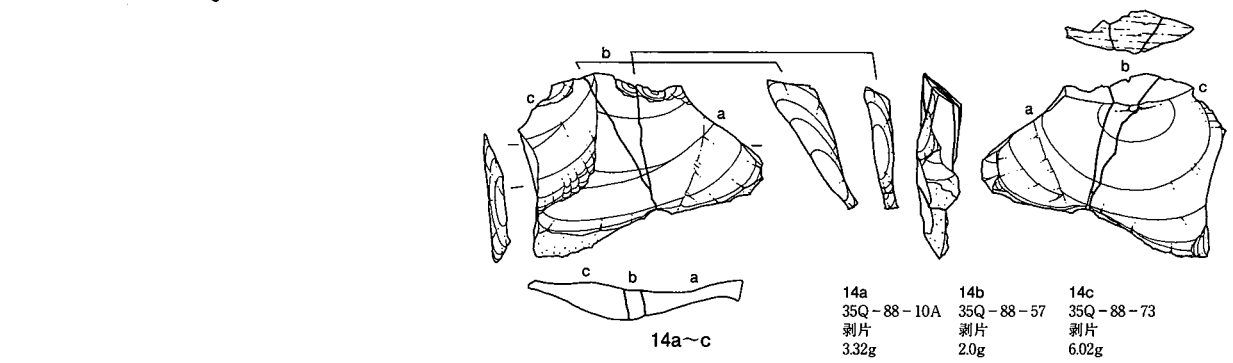
第72図　第４文化層第23ブロック母岩別分布図



第73図　第４文化層第23ブロック出土石器（１）

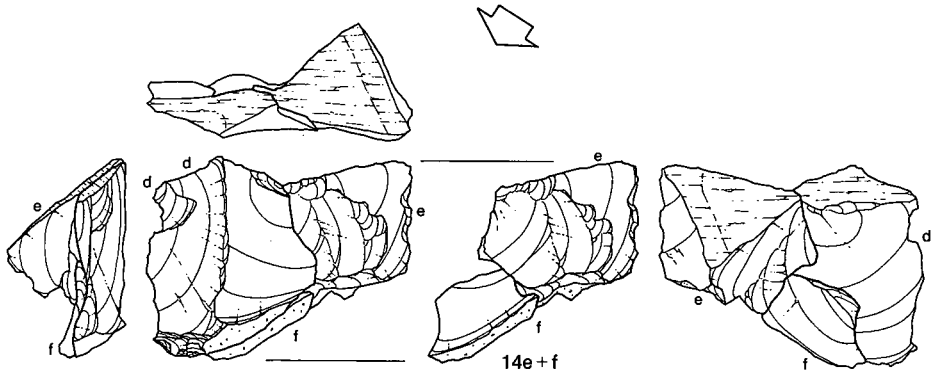


14a～f
接合資料401
チャート1



14a～c

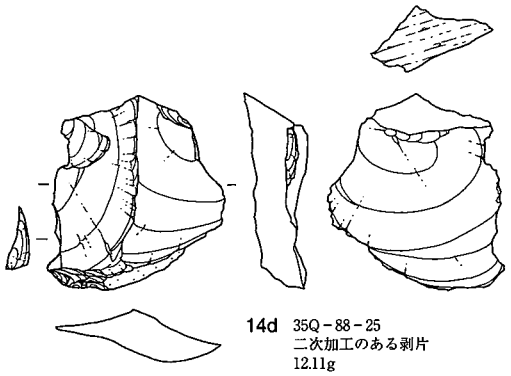
14a	14b	14c
35Q－88－10A	35Q－88－57	35Q－88－73
剥片	剥片	剥片
3.32g	2.0g	6.02g



14e＋f

14d～f

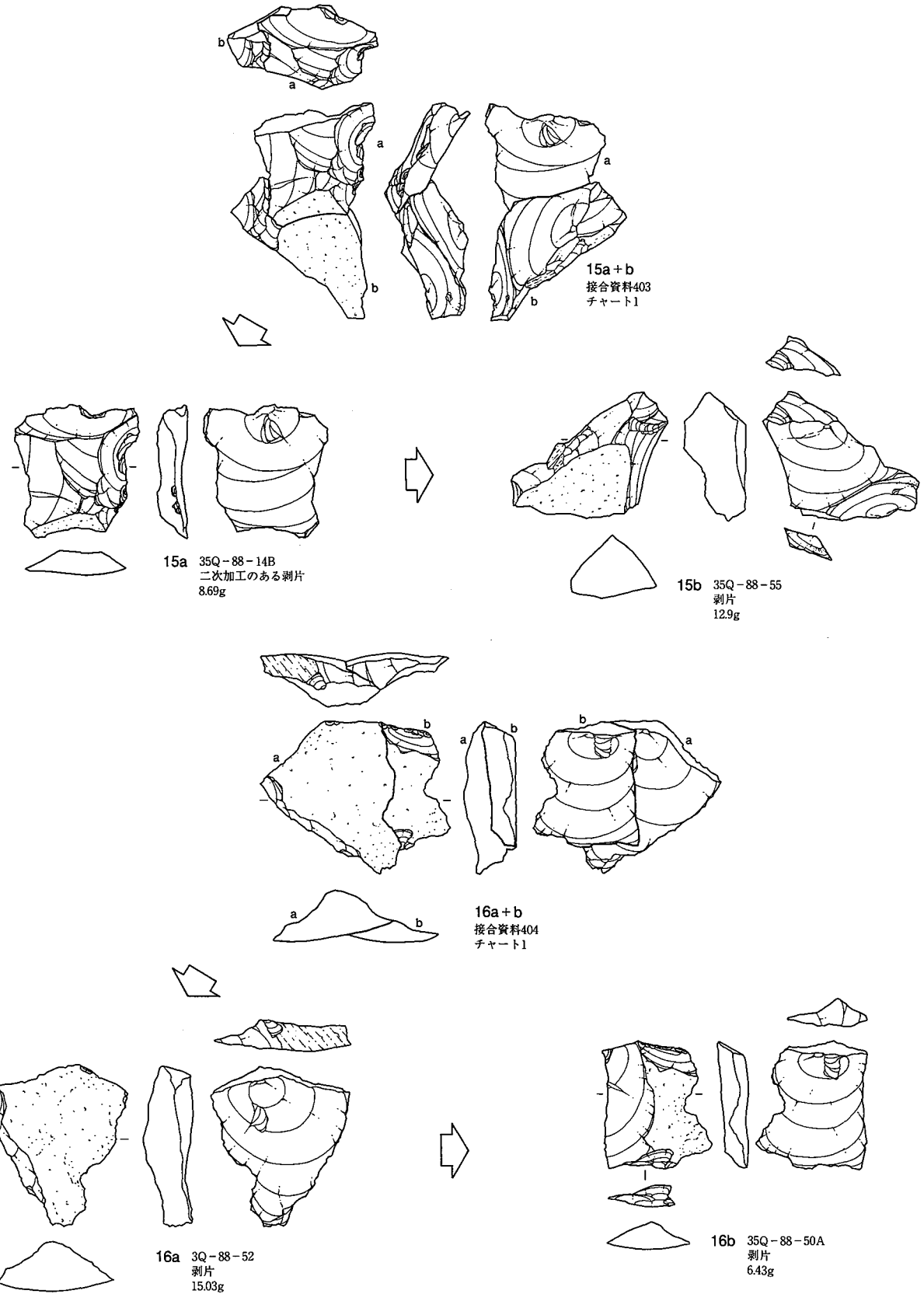
14d	14e	14f
35Q－88－25	35Q－88－76	35Q－88－9B
二次加工のある剥片	石核	剥片
12.11g	14.77g	1.28g



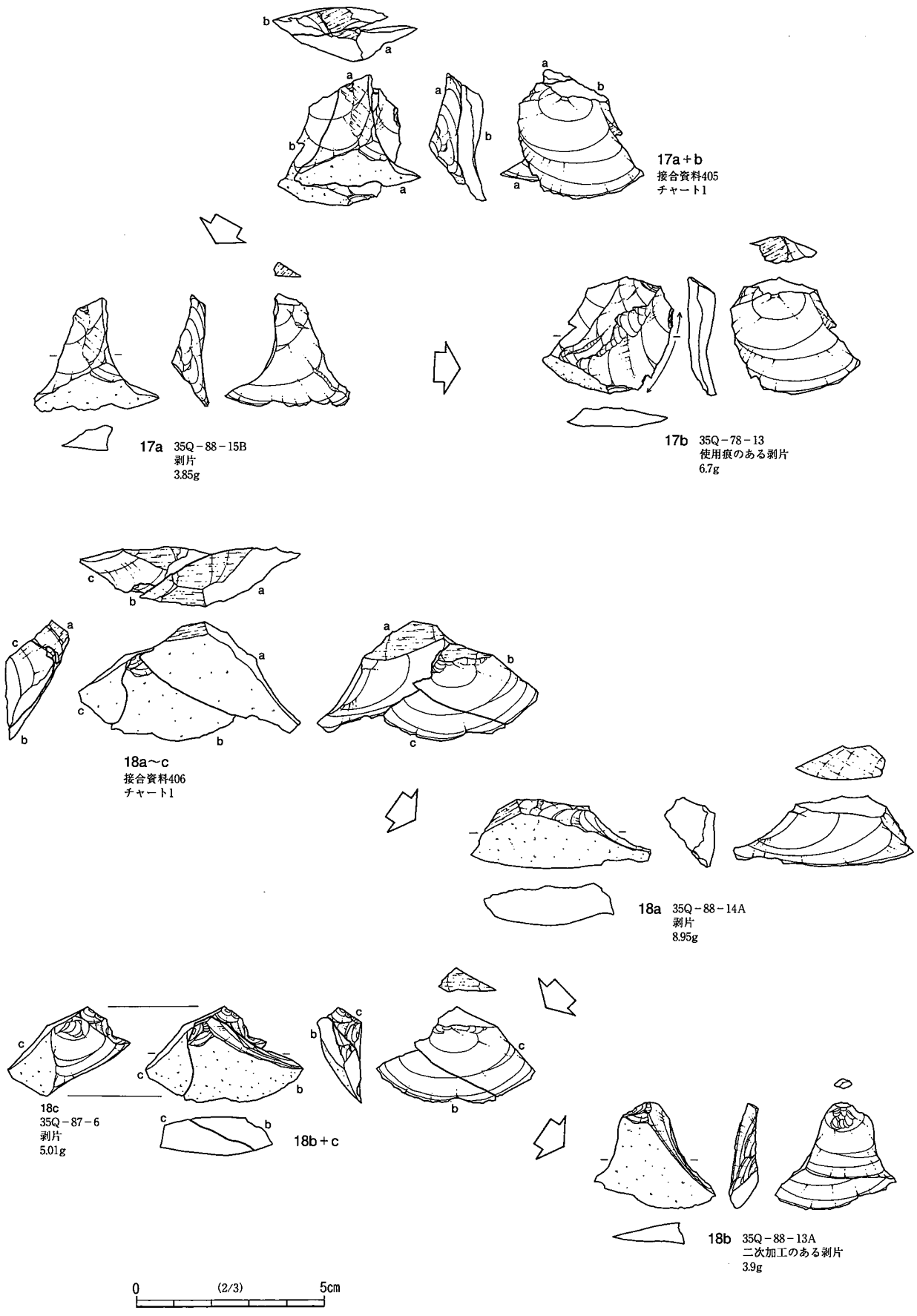
14d　35Q－88－25
二次加工のある剥片
12.11g

0　(2/3)　5cm

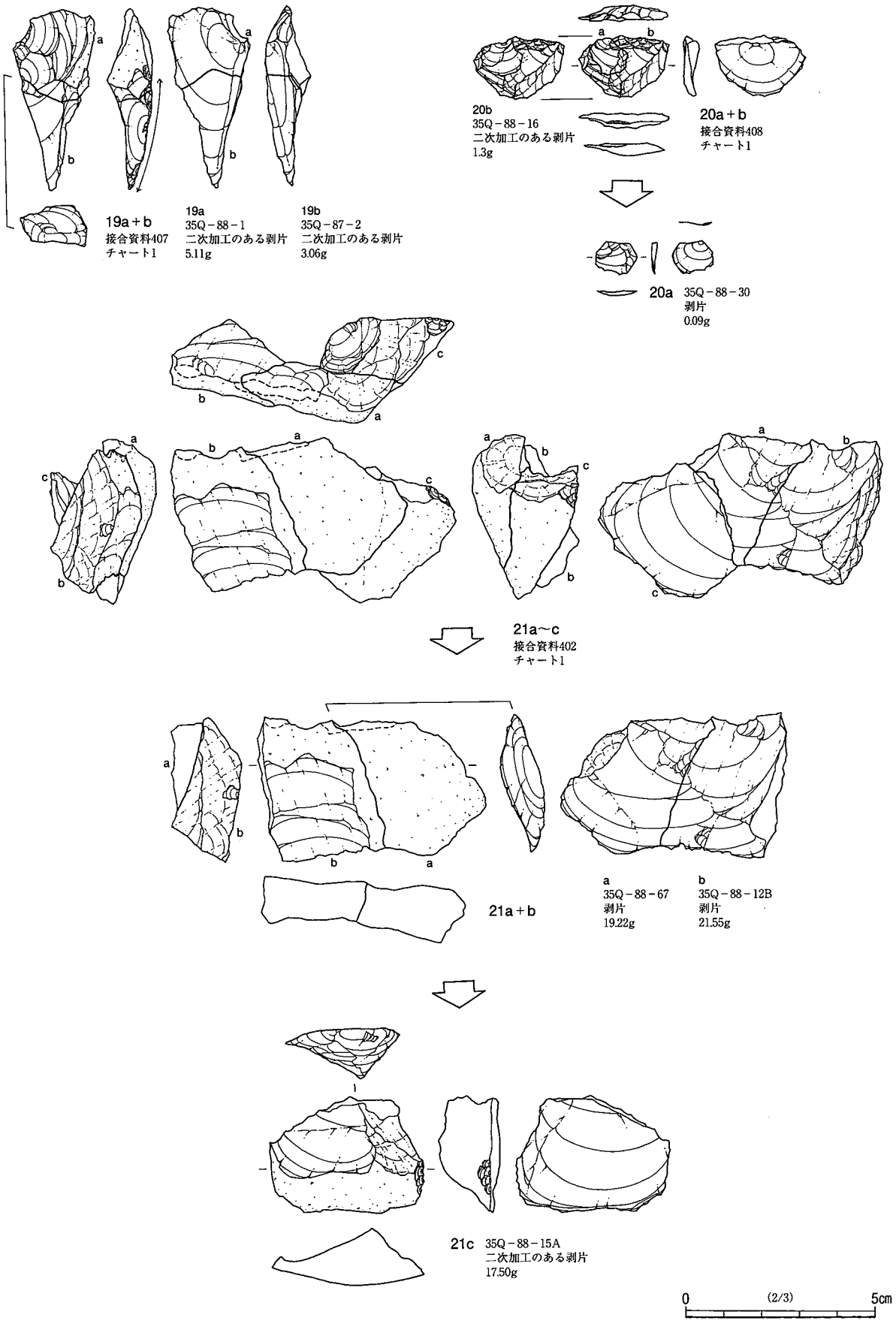
第74図　第４文化層第23ブロック出土石器（２）



第75図　第４文化層第23ブロック出土石器（３）



第76図　第４文化層第23ブロック出土石器（４）



第77図　第４文化層第23ブロック出土石器（５）

（3）第24ブロック（第78～80図、第33・37表、巻頭図版1、図版37）

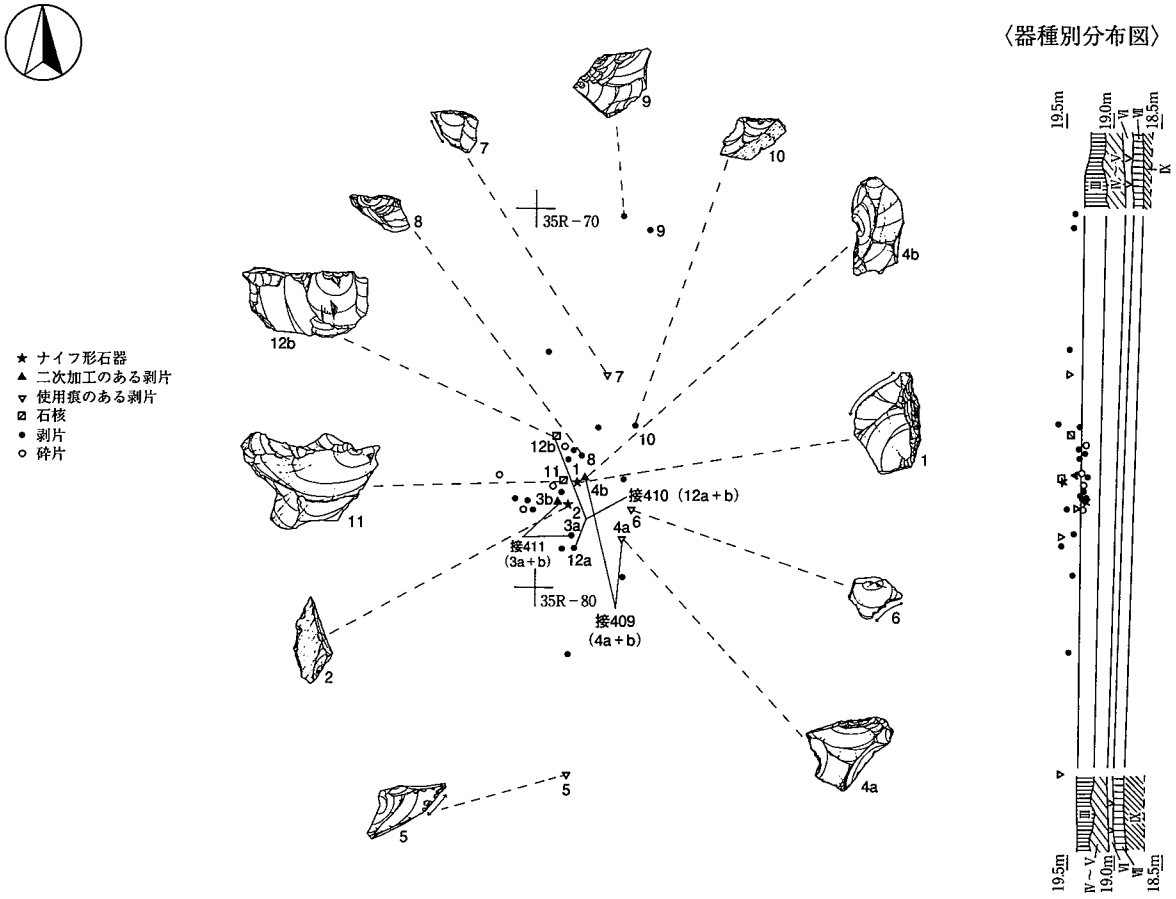
出土状況　第23ブロックの東側に隣接して出土している。南東側に緩やかに傾斜する斜面の縁辺付近に立地する。約6m×3mの楕円形の範囲に分布している。35R－70グリッドの南西部に密集し、周辺に散漫に分布する。出土した母岩はチャート1とチャート2の2母岩のみである。チャート2は東側に集中し、ブロック全体に分布している。チャート1は、第23ブロックにおいてこの母岩のみが用いられていたが、第24ブロックにおいては、5点が西側の小範囲にまとまって出土している。第4文化層の石器群は、隣接する第23・24ブロックのみで構成されているが、これらを1つのブロックとして識別した方が妥当であるかもしれない。第4文化層全体の母岩別分布をみると、西側にチャート1、東側にチャート2が分布するという明確な母岩消費の傾向がみられる。出土層位は、投影セクション面が出土地点から離れた場所で、傾斜面の低い地点のものであることから明確な出土層位は不明である。しかしながら、石器の出土した直下の土柱や掘削面の観察から、Ⅴ層～Ⅳ層下部に石器が集中して出土したものと推察される。

出土遺物　ナイフ形石器（1・2）2点、二次加工のある剥片（3b・4b）2点、使用痕のある剥片（4a・5～7）4点、石核（11・12b）2点を含む32点が出土した。1は幅広の剥片を横位に用いて、打面部側を腹面からブランティング加工されている。左側縁上部には素材剥離面が残されており、微細剥離痕がみられる。2は背面に節理面を大きく残した縦長剥片を斜位に用いて、左側縁と右側縁下部には急角度の調整加工が施されている。右側縁上部に素材剥離面が残されている。1・2のナイフ形石器ともに、先端が鋭く尖った形状をしており、第23ブロック出土のナイフ形石器（第73図1）の先端部残存品と類似する。接合資料411（3a＋b）は、中間部が幅広で厚みのある剥片を素材として、左側縁を背面側から調整加工を行っている際に、器体の中間部から節理面に沿って3aと3bに分割された接合資料である。接合資料409（4a＋b）は、上部の大きな剥離面を打面として、末端部がねじれた剥片を連続的に剥離した接合資料である。4aは頭部調整が顕著に行われており、末端部に微細剥離痕が連続的にみられる。4bは左側縁中間部に抉りの深い調整加工が施されている。5～7は打面が幅広で先端が先細りの厚みのない剥片を素材として、素材末端部に微細剥離痕がみられる。8～10も5～7と同様に打面が幅広で先端が先細りの厚みのない剥片である。11は裏面を多方向から剥片剥離を行った後に、表面を上部から剥離している。剥離された剥片の形状は、5～10のように打面が幅広で、先端先細りである。接合資料410（12a＋b）は、厚みのある分割剥片を素材として、上面左方向から剥離→左面上部方向から剥離→表面右方向から剥離→表面上部方向から剥離（この際に12aが剥離）されており、打面転移を頻繁に繰り返し剥離をしていることが観察される資料である。

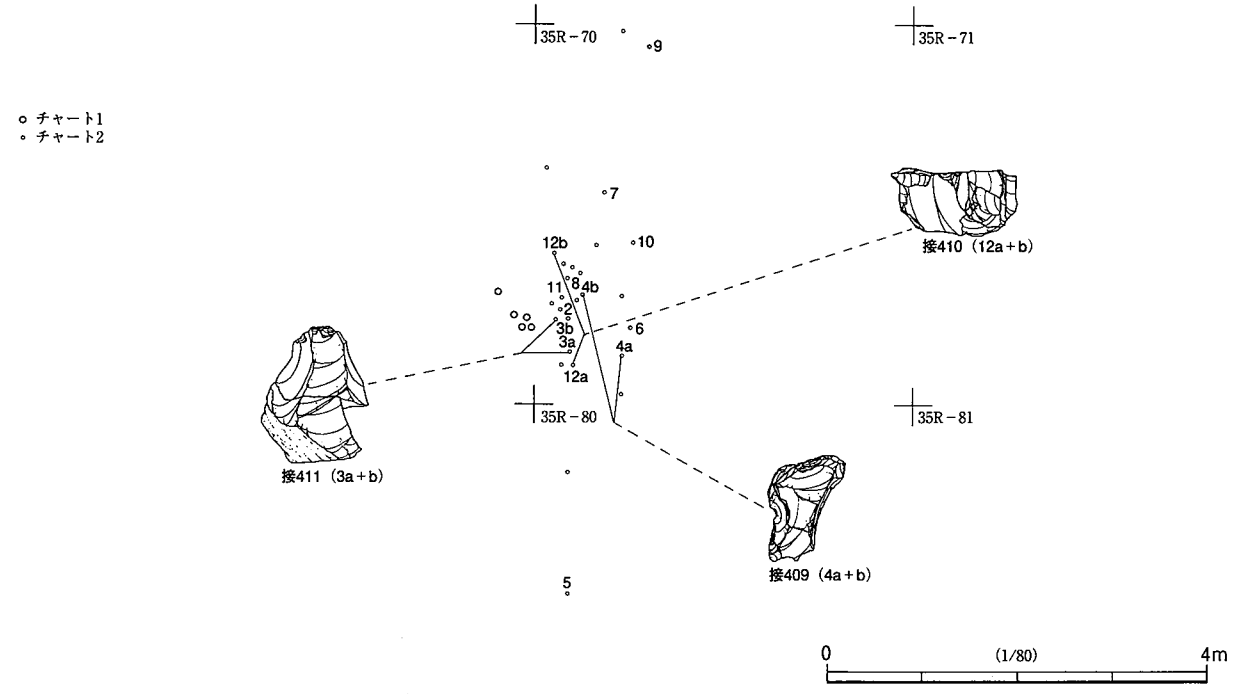
第33表　第4文化層第24ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	石核	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
チャート	1					3	2	5	15.63	3.7	2.64
	2	2	2	4	2	15	2	27	84.38	136.19	97.36
チャート点数合計		2	2	4	2	18	4	32	100.00	139.89	100.00
全体点数合計		2	2	4	2	18	4	32	100.00	139.89	100.00
点数組成比（%）		6.25	6.25	12.50	6.25	56.25	12.50	100.00			

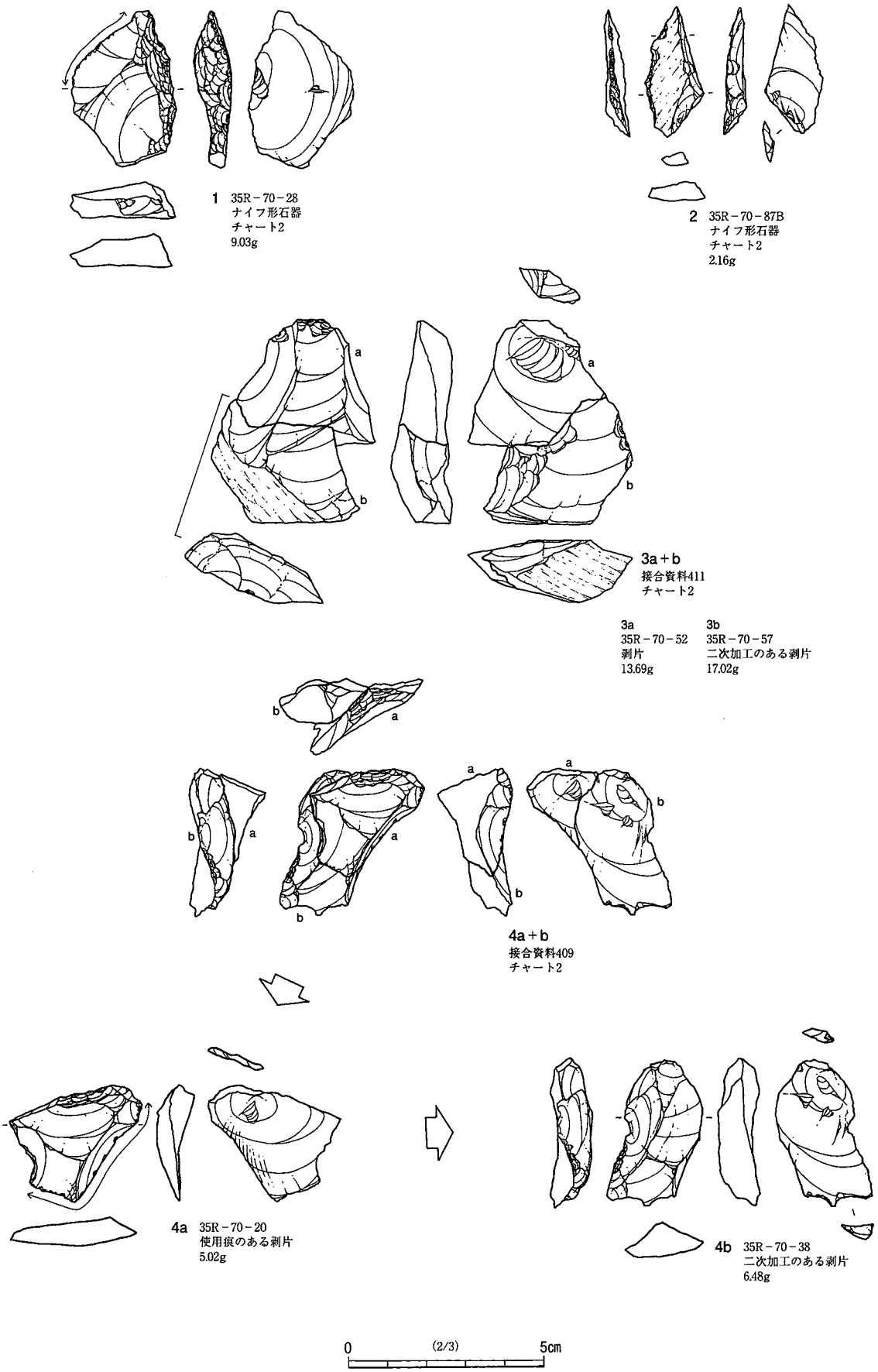
〈器種別分布図〉



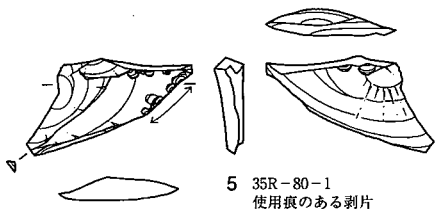
〈母岩別分布図〉



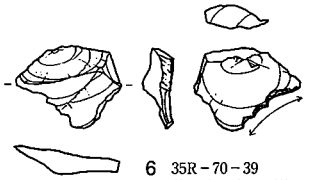
第78図　第４文化層第24ブロック遺物分布図



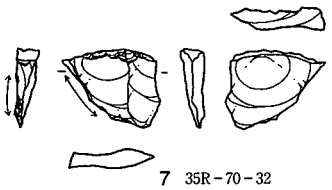
第79図　第４文化層第24ブロック出土石器（１）



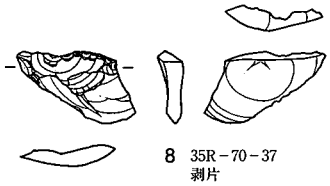
5 35R－80－1
使用痕のある剥片
チャート2
2.31g



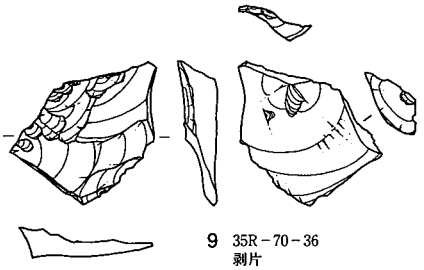
6 35R－70－39
使用痕のある剥片
チャート2
1.25g



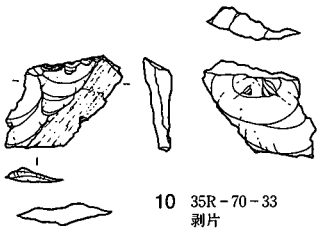
7 35R－70－32
使用痕のある剥片
チャート2
1.21g



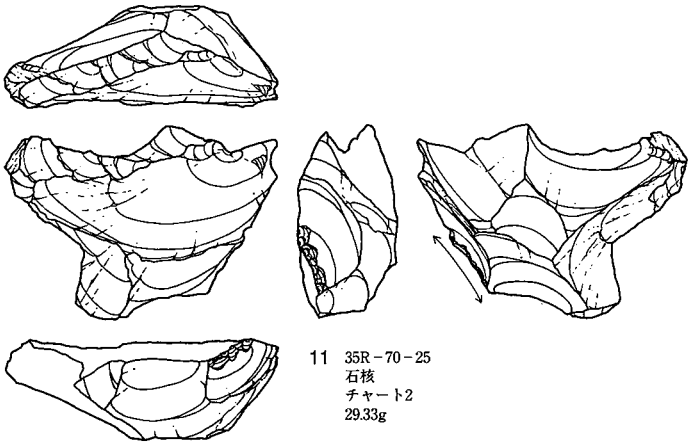
8 35R－70－37
剥片
チャート2
0.76g



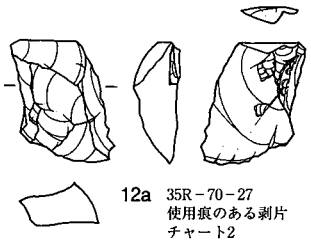
9 35R－70－36
剥片
チャート2
3.23g



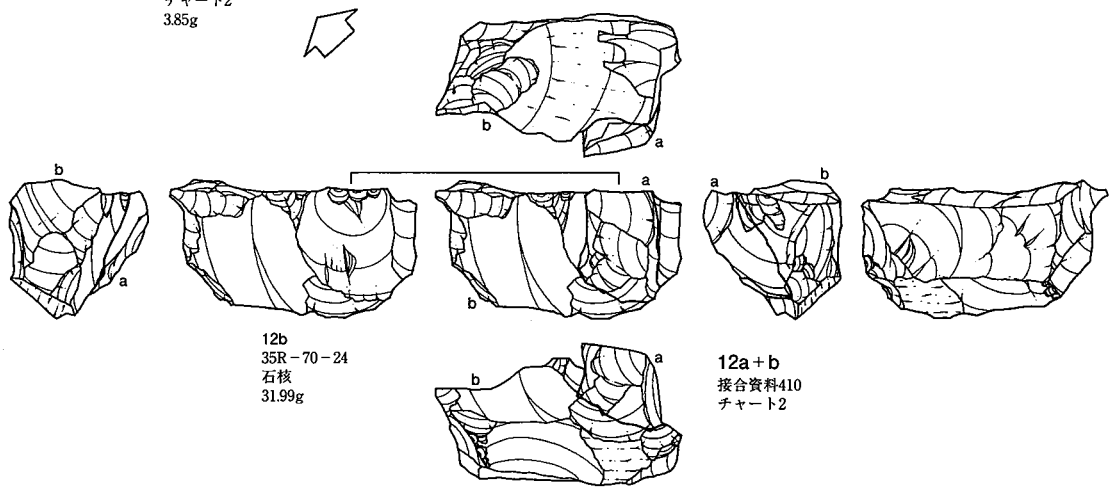
10 35R－70－33
剥片
チャート2
1.54g



11 35R－70－25
石核
チャート2
29.33g



12a 35R－70－27
使用痕のある剥片
チャート2
3.85g



12b
35R－70－24
石核
31.99g

12a＋b
接合資料410
チャート2

0 (2/3) 5cm

第80図　第４文化層第24ブロック出土石器（２）

第７節　第５文化層

（１）概要（第７・８図、第34表）

第５文化層の石器群は、総計52点出土し、第25ブロック１か所のみで構成される。生活面は、Ⅲ層上面と考えられる。調査区の北東部に分布し、地表面コンタラインの16mと17mとの中間部に位置し、窪地状になった地形に位置する。おそらく、南東側に埋没谷が形成されており、その縁辺に立地したことが推定される。細石刃・細石刃石核を伴う石器群である。黒曜石の産地推定の分析を行った資料は８点である。和田エリアが１点、蓼科エリアが４点、高原山エリアが３点で、３つの産地エリアで構成されていた。

第34表　第５文化層器種石材組成表

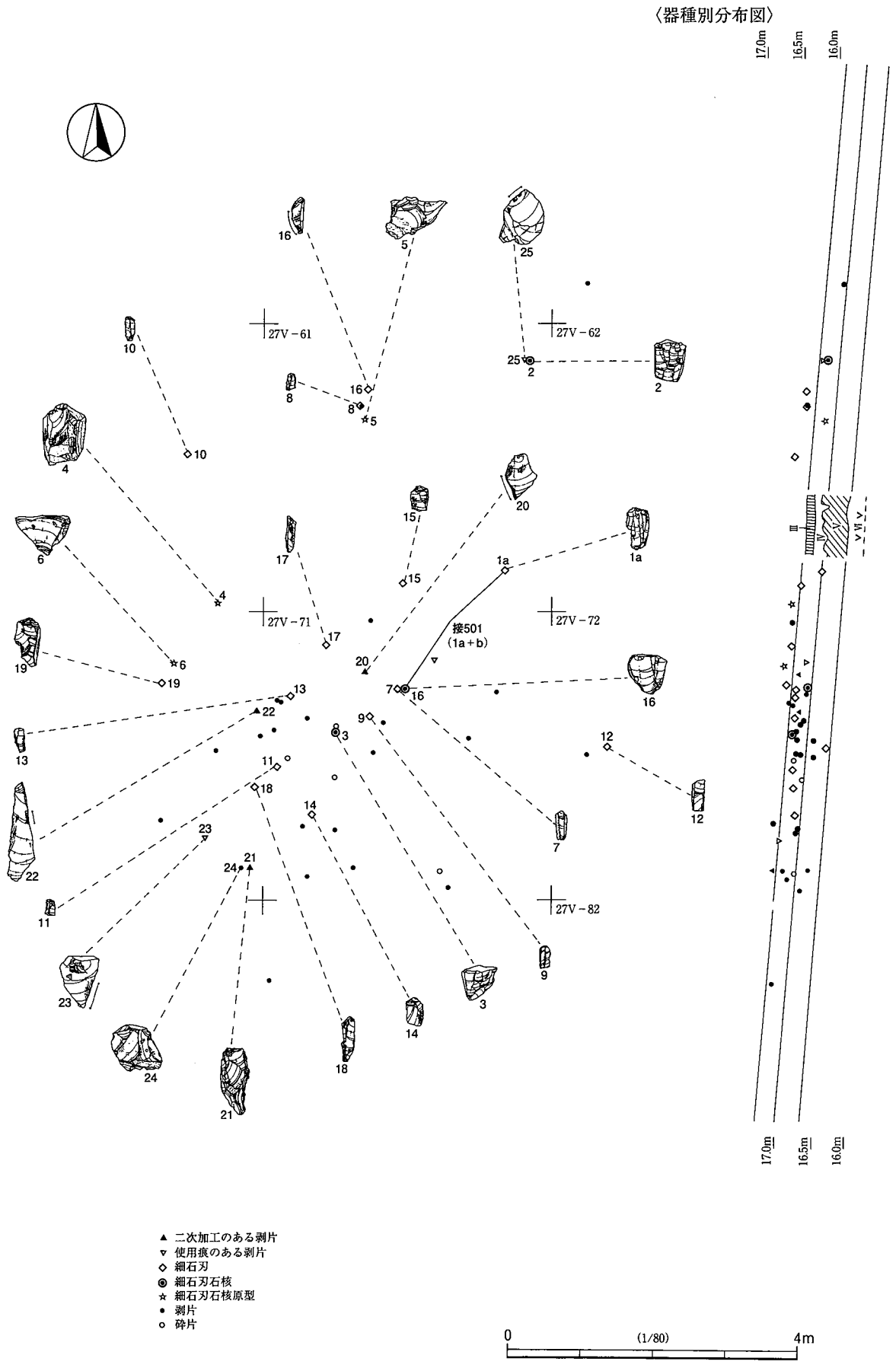
ブロック	石材	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	細石刃	細石刃石核	細石刃石核原型	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
25	黒曜石	3	2	14	3	3	22	4	51	98.08	77.57	93.24
	硬質頁岩		1						1	1.92	5.62	6.76
第５文化層点数合計		3	3	14	3	3	22	4	52	100.00	83.19	100.00
点数組成比		5.77	5.77	26.92	5.77	5.77	42.31	7.69	100.00			

（２）第25ブロック（第81～83図、第35・37表、巻頭図版１、図版38）

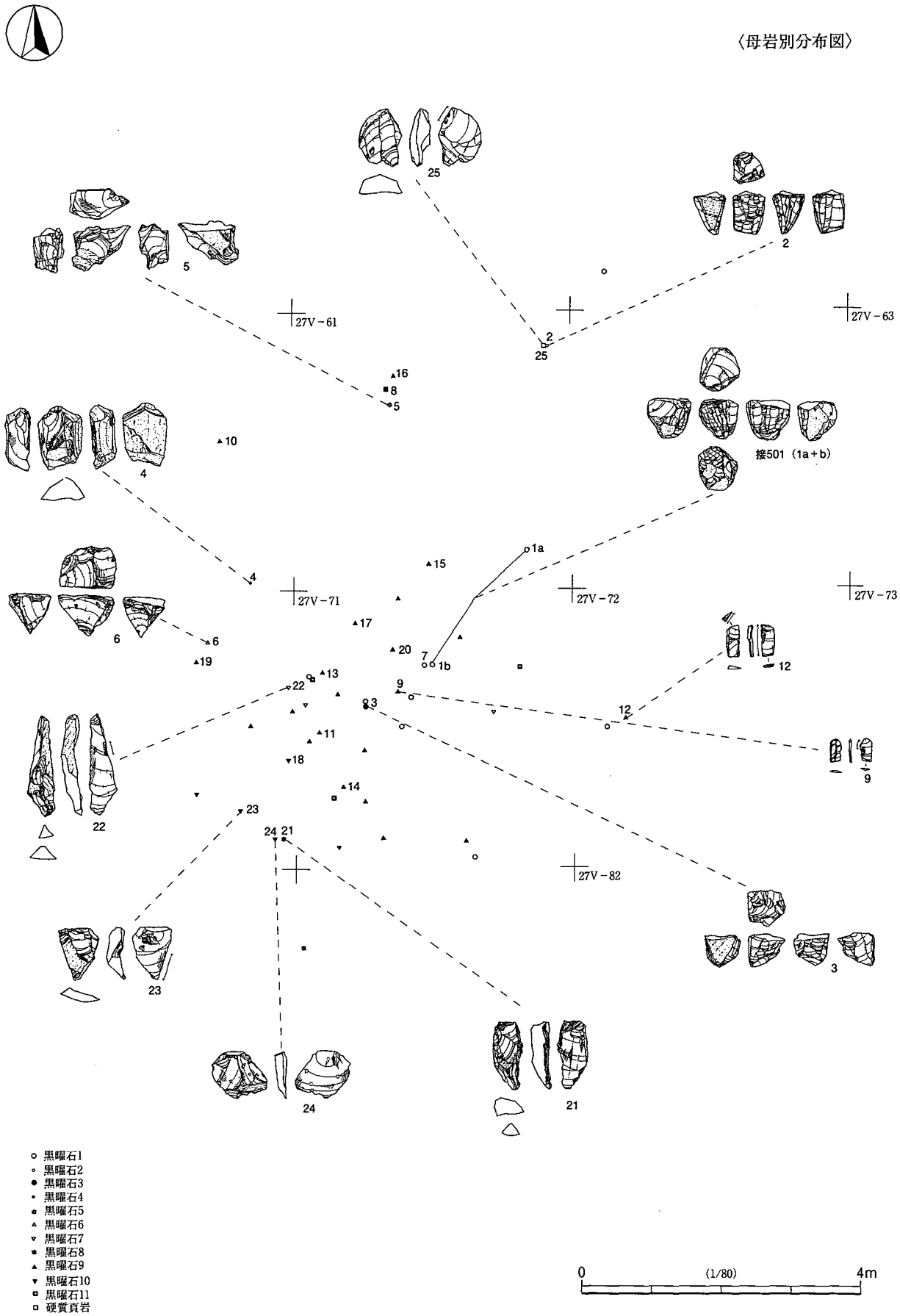
出土状況　約10m×６mの楕円形の範囲に散漫に分布している。北東に傾斜する斜面の縁辺に分布し、セクション投影図では、Ⅳ層からⅢ層にかけて出土しており、Ⅲ層上面に集中する。表土層からⅢ層上面にかけて縄文時代中期の土器と石器が分布していたが、第25ブロックの石器群の出土層位が下位であることや、平面分布がやや重複するものの集中分布区域が異なることから、縄文時代の遺物と第25ブロックの遺物とを分離識別することができた。また、第25ブロックの石器群の98％が黒曜石で、細石刃とその製作に関連するものであることからも識別が可能となった。出土層位は、Ⅱc層とⅢ層（ソフトローム）との境界付近に集中し、Ⅲ層上面に生活面を持つ石器群であることが推定される。

第35表　第５文化層第25ブロック石器組成表

器種／母岩	母岩番号	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	細石刃	細石刃石核	細石刃石核原型	剥片	砕片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
黒曜石	1			2	1		6	1	10	19.23	13.08	15.72
	2				1				1	1.92	5.55	6.67
	3				1				1	1.92	5.28	6.35
	4					1			1	1.92	8.69	10.45
	5					1	1		2	3.85	9.02	10.84
	6					1			1	1.92	9.77	11.74
	7	1					2		3	5.77	4.29	5.16
	8	1							1	1.92	4.32	5.19
	9	1	1	11			6	3	22	42.31	5.73	6.89
	10		1	1			3		5	9.62	7.91	9.51
	11						4		4	7.69	3.93	4.72
黒曜石点数合計		3	2	14	3	3	22	4	51	98.08	77.57	93.24
硬質頁岩	1		1						1	1.92	5.62	6.76
全体点数合計		3	3	14	3	3	22	4	52	100.00	83.19	100.00
点数組成比（％）		5.77	5.77	26.92	5.77	5.77	42.31	7.69	100.00			

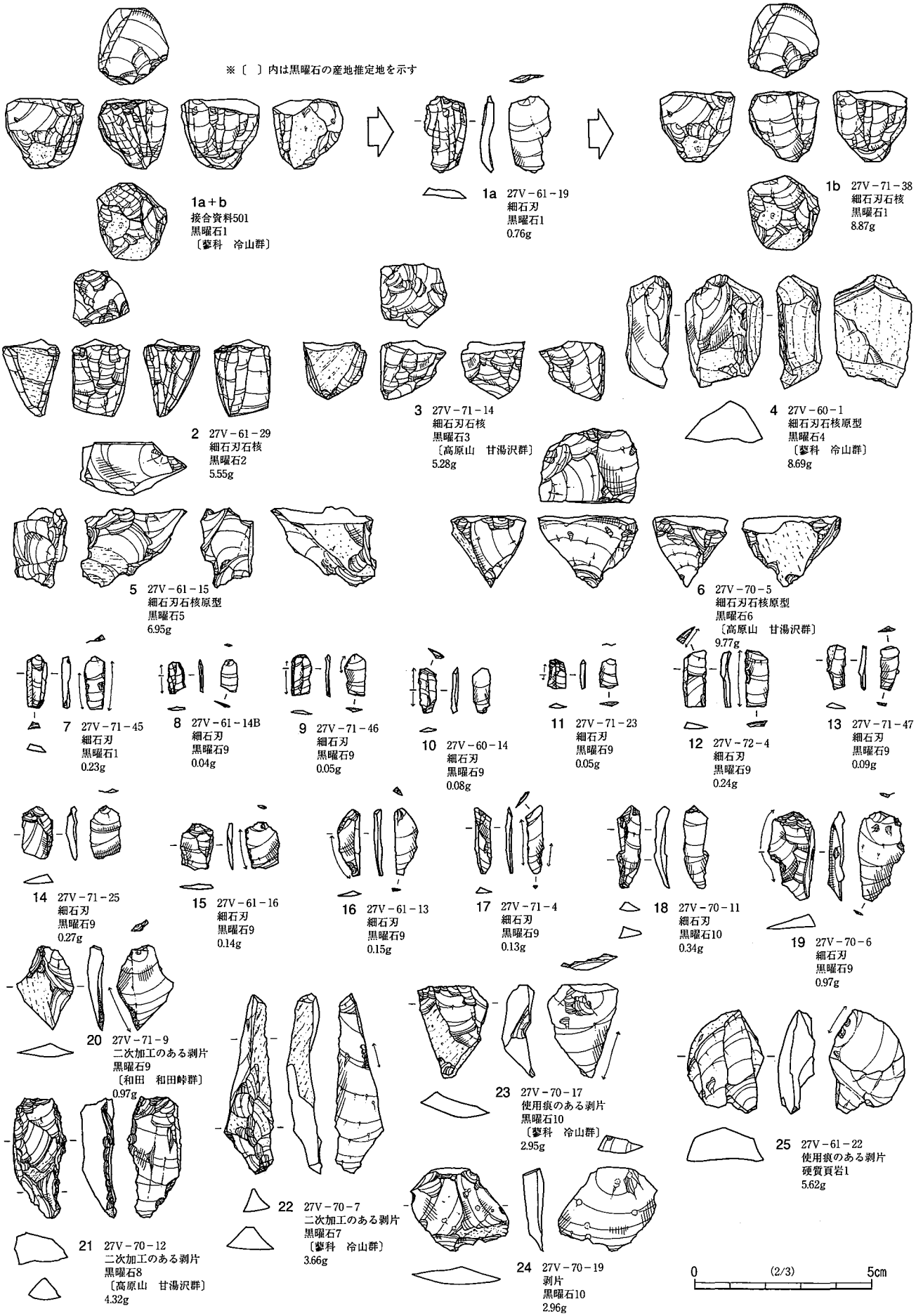


第81図　第５文化層第25ブロック器種別分布図



第82図　第５文化層第25ブロック母岩別分布図

出土遺物　細石刃石核（1b・２・３）３点、細石刃石核原型（４～６）３点、細石刃（1a・７～19）14点、二次加工のある剥片（20～22）３点、使用痕のある剥片（23・25ほか）３点を含む52点が出土した。石材構成は、総計52点のうち51点が黒曜石で、１点のみが硬質頁岩である。黒曜石９は細石刃11点、黒曜石１は細石刃２点と細石刃石核１点、黒曜石４～６は細石刃石核原型を各１点というように、母岩により器種組成が異なる傾向がみられる。細石刃を主体とする黒曜石９が南部、細石刃石核原型は北西部、細石刃石核は北東部の集中地点から母岩ごとにまとまって出土している。接合資料501（1a＋b）は本ブロックでの唯一の接合資料であり、細石刃（1a）と細石刃石核（1b）で構成されている。分割された厚みのある剥片を素材としている。裏面に自然面を残し、上面の分割面を打面として固定し、表面上部から細石刃を連続的に剥離している。1aが最終剥離である。母岩である黒曜石１は、このほかに剥片６点、砕片１点が出土しており、本ブロックにおいて剥片剥離を行ったことが観察される。２・３は単独母岩の細石刃石核である。大きさは1a＋bと比べてやや小さく、他の地点で剥片剥離された後に残核の形状で本地点に持ち込まれたものと思われる。２・３は右側面に自然面を残し、上部の分割面を打面として、表面・右側面・裏面にかけて細石刃を剥離している。２は頭部調整と打面調整が入念に施されており、細長の細石刃が量産されていることが観察される。３は２に比べて寸詰まりで、小型でやや幅広の細石刃が剥離されている。２・３は、剥離方法が類似するが、剥離されている細石刃の形状が異なっている。これは２の方が良質の石質であることによるものと推察される。４～６は分割された厚みのある剥片を素材とした細石刃石核原型である。いずれも、自然面が残されている。４・６は単独母岩で、５は他に剥片１点を伴う母岩である。これらは、1a＋b・２・３の細石刃石核の素材形状と一致しており、大きさは細石刃石核よりも大型である。おそらく、細石刃石核のブランクとして持ち込まれたものと推察される。７～19は細石刃である。８～17・19の11点は黒曜石９の母岩から剥離された資料である。７は1a＋bと同一母岩の黒曜石１である。ほとんどのものは側縁に微細剥離痕がみられる。７～９・11・13・16・19は末端部が折れている。10・12・17が上下両端部が折れて中間部が残存している。14・15は完形品。18は上部が折れている。細石刃の主体を占める黒曜石９の細石刃石核は出土していないが、おそらく細長の細石刃が量産されている1a＋bや２のような形状の細石刃石核から剥離されたものと推察される。20～22は二次加工のある剥片である。20については、左側縁上部と右側縁下部の加工をブランティング加工として捉えることも可能であり、ナイフ形石器の範疇に含まれるかと思われるが、全体形状が不定形であり、21の二次加工のある剥片の調整加工と類似することから、二次加工のある剥片をして捉えた。21は縦長剥片を素材として、両側縁に荒い調整加工が施されている。22は打面部が細く末端部付近が幅広の縦長剥片を素材として、上下両端部に調整加工が施されている。細石刃石核調整剥片を素材とした資料と推察される。23・24は黒曜石10を用いた使用痕のある剥片と剥片である。25は良質の硬質頁岩を用いた使用痕のある剥片である。黒曜石以外の石材は本資料のみである。次に本ブロックにおける母岩消費過程をみていくことにしよう。黒曜石１は、細石刃と細石刃石核とが接合しており、本ブロックで細石刃の剥離を行ったことが推察される。黒曜石２・３は、細石刃石核が単独母岩として搬入されている。黒曜石４～６は、細石刃石核原型が単独母岩として搬入されている。黒曜石９は、細石刃が多量に消費されているものの、細石刃石核は残されていない。このように、母岩別にみると消費過程が異なるものが混在していることが観察され、母岩を消費するとともに、一方では他の母岩をストック・補充していることが推察される。



第83図　第５文化層第25ブロック出土石器

第８節　単独出土石器

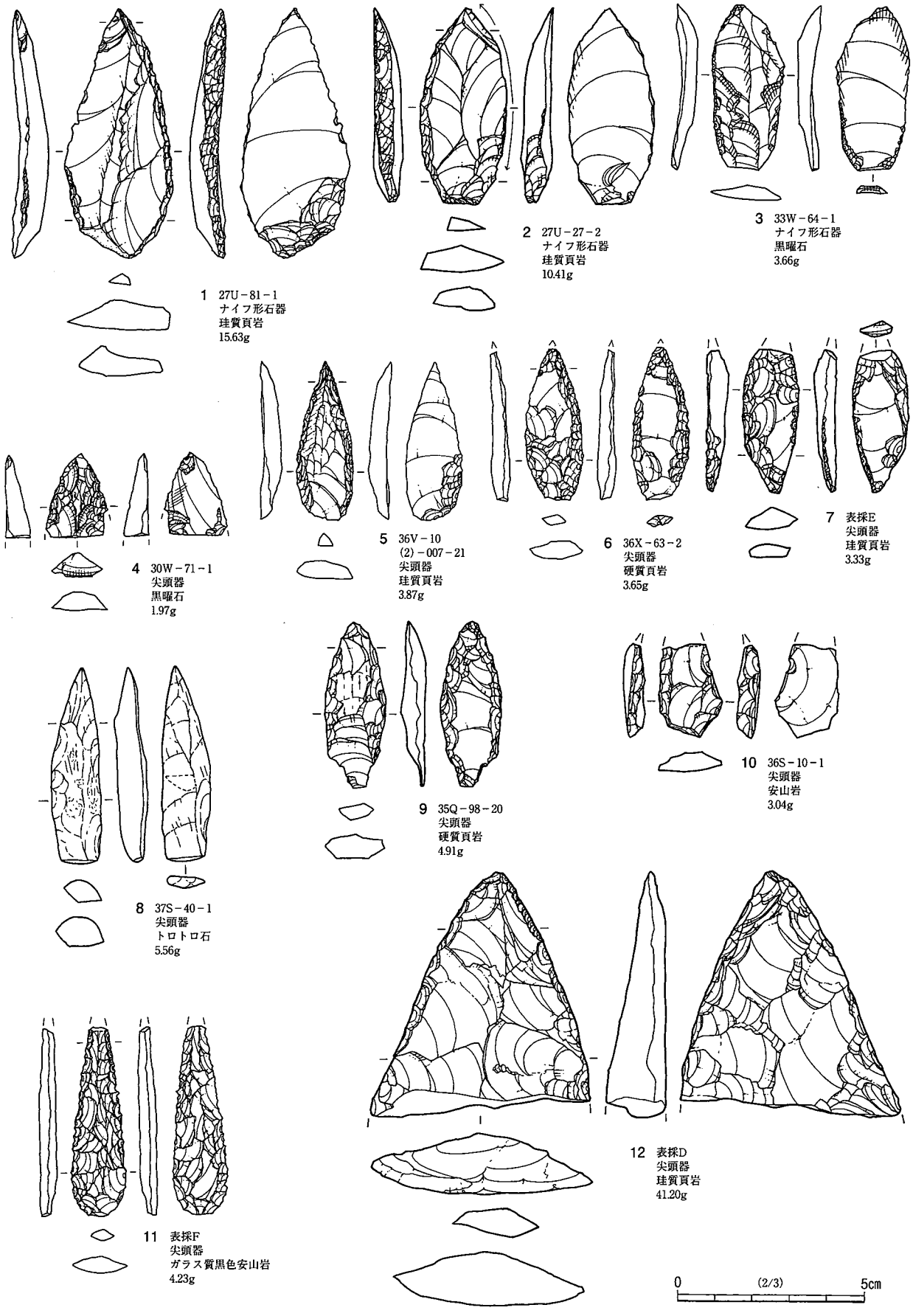
概要（第84・85図、第36表）

旧石器時代に所属する石器で、いずれの文化層に帰属するか明確でなく、単独で出土したものを本節では単独出土石器としてまとめて取り扱うことにする。

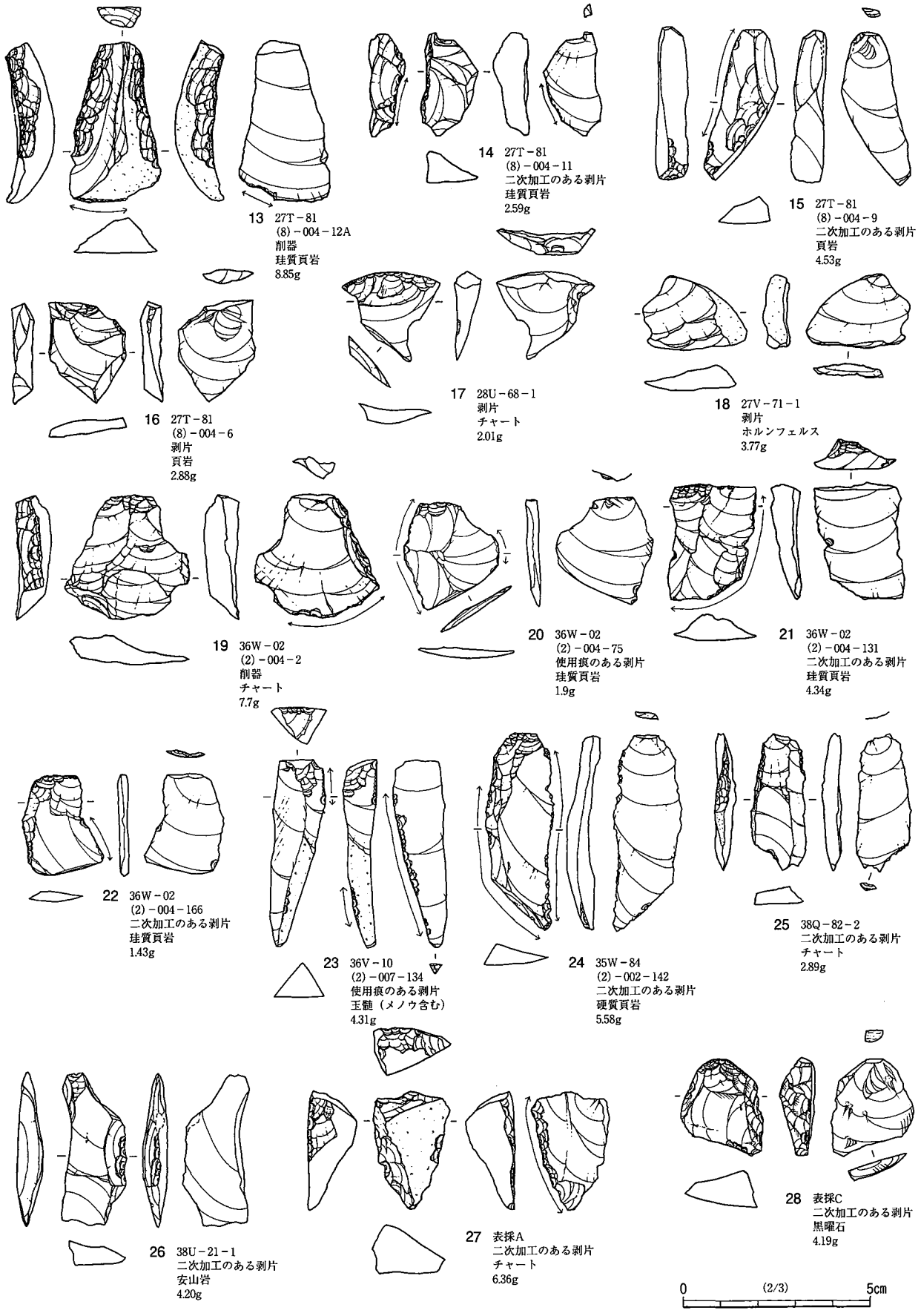
出土遺物　ナイフ形石器（１～３）３点、尖頭器（４～12）９点、削器（13・19）２点、二次加工のある剥片（14・15・21・22・24～28ほか）10点、使用痕のある剥片（20・23ほか）３点、剥片（16～18ほか）20点の総計47点を単独出土石器として取り扱う。１・２は、チョコレート色の良質な珪質頁岩を用いたナイフ形石器である。一側縁と反対側の側縁の下部にブランティング加工が施されている。27Uグリッドから出土しており、同一段階の石器と推察される。３は縞模様のある黒曜石を用いており、厚みのない縦長剥片を素材として、左側縁と右側縁下部に細かくて平坦な調整加工が施されている。４～10は主要剥離面を一部残した半両面加工の尖頭器である。４は厚みのある剥片を素材として用いており、器体の中央部付近から破損し、先端部が残存した資料である。５～８は柳葉形の尖頭器であり、全周に平坦で入念な調整加工が施されている。８は風化の激しいトロトロ石を用いている。９は基部側が破損しており、全体形状は不明であるが、おそらく５～７と同様な形状をしていたものと思われる。10は先端が破損し基部が残存した尖頭器で、11のような全体形状をしていたと推察される。11は細長で基部が丸みを持つ尖頭器である。12は幅広で非常に大型の尖頭器である。器体の全面に平坦な調整加工が施されており、断面はレンズ状の形状を呈する。器体の中央部付近から破損しており、先端部が残存した資料である。松戸市子和清水遺跡出土の大型尖頭器と類似する。13・19は削器である。13は両側縁に平坦な調整加工が施されている。19は左側縁に背面側から急角度の調整加工が施されている。14・15・21・22・26～28は不定形な剥片を素材とした二次加工のある剥片である。23～25は石刃状の縦長剥片を素材とした使用痕のある剥片と二次加工のある剥片である。出土地点は13～16が27Tグリッド、19～22が36Wグリッド出土である。いずれの資料も単独出土であり、どの文化層でどの段階に帰属するか明確でない資料を器種別、あるいは、グリッド別に取り上げて記載した。

第36表　単独出土器種石材組成表

ブロック	石材	ナイフ形石器	尖頭器	削器	二次加工のある剥片	使用痕のある剥片	剥片	点数合計	点数比	重量合計（g）	重量比
単独	ガラス質黒色安山岩		1				1	2	4.26	5.57	1.84
	トロトロ石		1					1	2.13	5.56	1.84
	安山岩		1		1			2	4.26	7.24	2.39
	流紋岩						1	1	2.13	2.19	0.72
	黒曜石	1	1		2	1	4	9	19.15	18.7	6.18
	珪質頁岩	2	3	1	3	1	2	12	25.53	95.3	31.51
	硬質頁岩		2		1		1	4	8.51	14.57	4.82
	ホルンフェルス						2	2	4.26	42.84	14.17
	チャート			1	2		7	10	21.28	96.95	32.06
	玉髄（メノウ含む）					1		1	2.13	4.31	1.43
	頁岩				1		2	3	6.38	9.18	3.04
単独出土点数合計		3	9	2	10	3	20	47	100.00	302.41	100.00
点数組成比		6.38	19.15	4.26	21.28	6.38	42.55	100.00			



第84図　旧石器時代単独出土石器（1）



第85図　旧石器時代単独出土石器（２）

第９節　黒曜石産地推定結果について

（１）分析方法と分析委託機関

今回黒曜石産地推定を委託した機関は、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団である。委託先機関においては、2005年度より黒曜石の産地推定が行われ、その成果は『研究紀要　第21号』（2006）等に記載されている。市野谷入台遺跡では各文化層で黒曜石が出土しており、本遺跡を含めた周辺遺跡での黒曜石産地推定が行われていなかった。旧石器時代の石材獲得方法を検討するためには、黒曜石産地推定成果を得ることが必要であった。そこで、黒曜石産地推定に積極的に取り組まれてきた財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団に分析依頼をしたところ快諾頂き、本節においてその成果を記載する機会を得た。紙面において、感謝の意を表するとともに、今後も共同研究が円滑に進むことを望みます。

分析方法は、前述の『研究紀要　第21号』（2006）に記載されているので、詳細についてはそちらを参照いただきたい。分析方法の概要は、波長分散型蛍光Ｘ線分析装置ZSX－miniを用いて、元素組成を確認し、産地を推定する方法である。また、産地推定の誤差の目安をmm±nσ法を用いて表記してある。

（２）産地推定結果の概要

分析資料は、第１文化層が４点、第２文化層が９点、第３文化層が６点、第５文化層が８点で合計27点である。分析資料はすべて実測図を掲載したものに限定し、各文化層で石質の違うものを任意に選び出した。今回推定された産地を県－エリア－判別群の順に記載すると下記のとおりとなる。

①長野県－和田－和田峠群
②長野県－和田－男女倉群
③長野県－蓼科－冷山群
④長野県－蓼科－双子山群
⑤栃木県－高原山－甘湯沢群
⑥神奈川県－箱根－畑宿群

以上、６つの産地の判別群に識別された。この結果を文化層別にみていくことにしよう。

（３）第１文化層

４点の推定結果をブロック－挿図－番号－判別群－誤差の目安の順に記載すると下記のとおりとなる。

①第１ブロック－第12図－１－　冷山群　－m－m±3σ
②第１ブロック－第12図－２－　冷山群　－m－m±5σ
③第２ブロック－第14図－5a－双子山群－m－m±4σ
④第４ブロック－第18図－２－　畑宿群　－m－m±2σ

第１・２ブロック出土のものは長野県蓼科エリアであるのに対して、第４ブロック出土のものは神奈川県箱根エリアである。第１・２ブロックは隣接して出土しており、第４ブロックは第１・２ブロックの約50m北側に位置する。これらのことから、ブロックの形成時期が異なる可能性が高い。

（４）第２文化層

９点の推定結果をブロック－挿図－番号－判別群－誤差の目安の順に記載すると下記のとおりとなる。

①第５ブロック－第22図－１－男女倉群－m－m±4σ
②第５ブロック－第22図－２－和田峠群－m－m±1σ
③第５ブロック－第22図－３－和田峠群－m－m±4σ

④第５ブロック－第22図－８－和田峠群－m－m±5σ

⑤第５ブロック－第22図－14－和田峠群－m－m±0σ

⑥第５ブロック－第23図－29－和田峠群－m－m±1σ

⑦第６ブロック－第25図－３－和田峠群・男女倉群－m－m±3σ

⑧第６ブロック－第25図－４－和田峠群－m－m±0σ

⑨第７ブロック－第28図－２－ 冷山群 －m－m±1σ

第２文化層の分析対象資料は、すべて長野県の産地と推定された。ただし、第５・６ブロックは和田エリアであるのに対して、第７ブロックは蓼科エリアである。第５・６ブロックは近接して分布しており、第７ブロックは第５・６ブロックの約200m南西側に位置する。

（５）第３文化層

６点の推定結果をブロック－挿図－番号－判別群－誤差の目安の順に記載すると下記のとおりとなる。

①第９ブロック－第38図－ ３ －甘湯沢群－m－m±2σ

②第18ブロック－第56図－ ７ －甘湯沢群－m－m±1σ

③第18ブロック－第58図－17b－甘湯沢群－m－m±1σ

④第19ブロック－第61図－ １ －甘湯沢群－m－m±0σ

⑤第19ブロック－第61図－ ３ －甘湯沢群－m－m±1σ

⑥第20ブロック－第64図－ １ －甘湯沢群－m－m±1σ

第３文化層の分析対象資料は、すべて栃木県高原山エリアの産地と推定された。

（６）第５文化層

８点の推定結果をブロック－挿図－番号－判別群－誤差の目安の順に記載すると下記のとおりとなる。

①第25ブロック－第83図－1b－ 冷山群 －m－m±4σ

②第25ブロック－第83図－３－甘湯沢群－m－m±5σ

③第25ブロック－第83図－４－ 冷山群 －m－m±5σ

④第25ブロック－第83図－６－甘湯沢群－m－m±1σ

⑤第25ブロック－第83図－20－和田峠群－m－m±5σ

⑥第25ブロック－第83図－21－甘湯沢群－m－m±5σ

⑦第25ブロック－第83図－22－ 冷山群 －m－m±3σ

⑧第25ブロック－第83図－23－ 冷山群 －m－m±3σ

第５文化層は第25ブロックのみであるが、長野県和田エリア・長野県蓼科エリア・栃木県高原山エリアの３つのエリアのもので構成されていた。第１～３文化層においてブロック別にみた場合、複数の産地エリアで構成されるものがなかった。

（７）文化層別にみた黒曜石産地変遷の概要

文化層別に用いられた黒曜石産地エリアの変遷を概観すると下記のとおりとなる。

①第１文化層：長野県蓼科エリアと神奈川県箱根エリアの２つのエリア

②第２文化層：長野県和田エリアと蓼科エリアの２つのエリア

③第３文化層：栃木県高原山エリア

④第５文化層：長野県和田エリア・長野県蓼科エリア・栃木県高原山エリアの３つのエリア

第10節　石器属性計測基準

（1）挿図番号　実測図を掲載した遺物の通し番号。接合資料は、番号の後ろにアルファベットを剥離順序が初期のものからａ・ｂ・ｃ…の順に記載した。ただし、剥離順序の不明なものも含まれている。

（2）接合番号　接合資料に３桁の通し番号を記した。３桁目の数字が文化層番号を示す。下２桁が各文化層の接合資料の通し番号を示す。

（3）最大長・最大幅・最大厚　計測方法は下図左に示した。

（4）打面形状　数字：打面上に残る剥離面数。Ｐ＝点状打面、Ｌ＝線状打面、Ｃ＝自然面打面、Ｊ＝節理面（節理面は剥離面数に含めない）。

（5）打角・剥離角　打角：剥片の打面とポジティヴバルブがつくる角度（下図左加撃方向のとおり）
剥離角：石核の打面とネガティヴバルブがつくる角度。

（6）打面調整・頭部調整　観察されるものについて「○」で示した。

（7）背面構成　主要剥離面の剥離方向を基準とし、背面を構成する剥離面の加撃方向について、以下のとおり分類し、背面構成の分類を有する資料については「○」で示した。Ｈ＝頭部側、Ｔ＝尾部側、Ｒ＝背面を正面にして右側、Ｌ＝左側、Ｄ＝背面側、Ｖ＝腹面側からの加撃方向を示す。Ｃ＝自然面、Ｊ＝節理面（下図右のとおり）。ただし、変形度の高いもの（楔形石器等）は記さなかった。砕片はわかる範囲で記した。

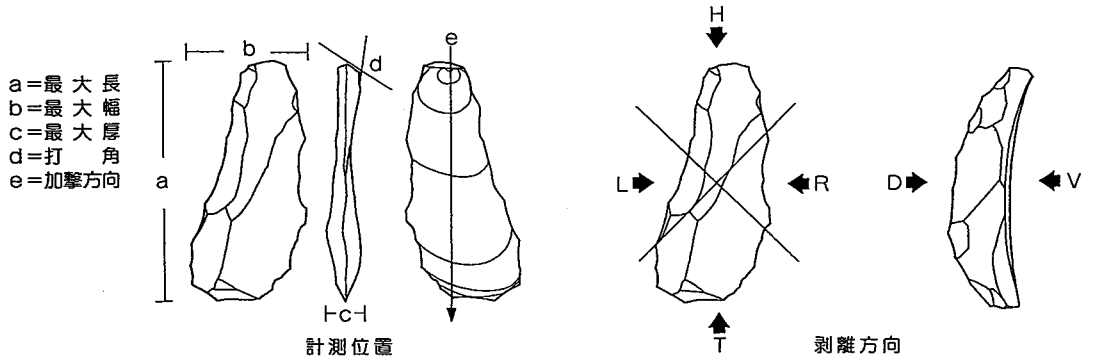
（8）末端形状　Ｆ＝直線状、Ｈ＝蝶番状、Ｓ＝階段状、Ｏ＝逆反りまたは石核底面に達するものを示す。

（9）調整角　掻器・削器の刃部、ナイフ形石器の刃潰し、彫刻刀面の形成などにおける調整剥離角。両面調整石器の場合は剥離角を示さない。

(10) 刃部角　ナイフ形石器などの刃部において、腹面と背面との角度を計測。

(11) 遺存部位　記号は折れによって遺存している部位を示す。
Ｈ＝頭部、ＶＭ＝上下方向の中間部、Ｂ＝尾部、Ｒ＝背面からみて右側、ＨＭ＝左右方向の中間部、Ｌ＝背面からみて左側、ＲＢ＝右尾部、ＬＢ＝左尾部。

(12) 欠　損　ナイフ形石器などの製品のうち、欠損を有するものは「＋」で示した。



石器属性計測基準

第37表　旧石器属性表

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
1	01	35R-52	0001	剥片	黒曜石	1			31.79	27.53	14.56	7.92	L			○				○		○		0					-14,882.183	8,189.696	18.358
1	01	35R-53	0029	使用痕のある剥片	頁岩	3	5		64.37	33.29	17.12	21.19	2	104		○	○						○		F					-14,883.899	8,193.573	18.476
1	01	35R-53	0030	剥片	黒曜石	1			14.16	21.44	13.56	3.33	C										○		0					-14,883.350	8,192.351	18.460
1	01	35R-53	0031	砕片	黒曜石	1			8.91	11.20	-3.73	0.30					○						○		H			B		-14,882.571	8,193.183	18.360
1	01	35R-62	0001	剥片	黒曜石	1			13.20	15.95	3.14	0.44	1	89					○						H					-14,886.534	8,189.935	18.645
1	01	35R-62	0006	剥片	黒曜石	1			10.30	8.13	2.94	0.18										○	○		S			B		-14,884.323	8,189.520	18.427
1	01	35R-62	0007	剥片	トロトロ石	1			49.05	37.20	14.99	20.80	1	106			○			○			○		F					-14,884.890	8,189.997	18.660
1	01	35R-62	0008	礫片	チャート	1		106	36.20	23.00	6.14	4.39	C										○		F					-14,886.182	8,189.750	18.815
1	01	35R-62	0009	砕片	黒曜石	1			13.03	6.93	4.15	0.31	1	101						○			○		F					-14,885.757	8,190.121	18.630
1	01	35R-62	0010	剥片	黒曜石	1			18.25	12.69	6.47	1.07											○					VM		-14,885.598	8,190.263	18.659
1	01	35R-62	0011	砕片	黒曜石	1			3.79	8.07	1.60	0.05											○		F			B		-14,885.757	8,190.404	18.802
1	01	35R-62	0012	剥片	黒曜石	1			18.99	12.11	8.31	1.17	L				○						○		0					-14,885.987	8,190.316	18.679
1	01	35R-62	0013	礫	砂岩	1			65.98	26.46	15.54	39.44																		-14,885.545	8,190.617	18.642
1	01	35R-62	0014	剥片	チャート	2			11.46	19.20	7.75	2.48	1	101										○	0					-14,884.819	8,191.272	18.565
1	01	35R-62	0015	剥片	黒曜石	1			9.35	19.00	5.07	0.54	1	91			○								S					-14,885.722	8,191.431	18.720
1	01	35R-62	0016	剥片	黒曜石	1			15.02	10.48	4.93	0.56											○					VM		-14,886.146	8,191.289	18.751
1	01	35R-62	0017	砕片	黒曜石	1			11.73	5.73	3.47	0.22	P				○											H		-14,885.757	8,191.520	18.708
1	01	35R-62	0018	剥片	黒曜石	1			22.30	15.70	4.75	1.53				○	○			○					F					-14,885.173	8,191.714	18.736
1	01	35R-62	0019	剥片	頁岩	1	9b	102	21.15	20.47	6.73	2.55	1	108		○	○								H					-14,885.208	8,191.874	18.764
1	01	35R-62	0032	礫片	砂岩	2			42.72	26.64	9.99	14.30																		-14,885.651	8,190.440	18.677
1	01	35R-62	0033	礫片	チャート	1		106	60.49	24.39	13.87	21.90																		-14,885.580	8,190.493	18.647
1	01	35R-62	0034	砕片	黒曜石	1			6.76	5.74	4.64	0.19																		-14,886.146	8,191.343	18.730
1	01	35R-62	0002A	剥片	ガラス質黒色安山岩	3			35.70	34.21	10.58	7.09	1	102		○	○		○				○		S					-14,884.534	8,191.935	18.645
1	01	35R-62	0002B	ナイフ形石器	黒曜石	1	1		30.22	14.42	7.51	2.75					○	○					○			91		B		-14,885.686	8,188.617	18.749
1	01	35R-62	0003A	楔形石器	黒曜石	1	3b	101	27.26	19.27	8.73	2.88						○					○					H		-14,884.194	8,191.736	18.672
1	01	35R-62	0003B	砕片	黒曜石	1			11.60	7.93	4.04	0.18	L			○	○						○		F					-14,886.164	8,188.617	18.687
1	01	35R-62	0004A	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			23.06	29.00	8.50	5.73	1	113			○						○		0					-14,884.010	8,190.164	18.712
1	01	35R-62	0004B	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			28.11	24.60	10.59	5.26	2	126			○				○		○		F					-14,884.784	8,189.183	18.733
1	01	35R-62	0005A	二次加工のある剥片	頁岩	2	4		93.83	23.87	10.53	27.56	1	110		○	○						○		F					-14,884.038	8,189.683	18.633
1	01	35R-62	0005B	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			32.77	18.44	10.28	5.40	1	117			○								S					-14,885.031	8,189.555	18.745
1	01	35R-63	0001	楔形石器	黒曜石	1	3a	101	29.42	12.19	6.82	2.22					○							○						-14,884.534	8,192.487	18.635
1	01	35R-63	0021	二次加工のある剥片	黒曜石	1	2		30.04	12.90	5.54	1.79					○									84		B	+	-14,886.270	8,193.024	18.572
1	01	35R-63	0022	剥片	頁岩	1	7a	104	16.73	26.53	4.51	1.50												○	F			B		-14,886.058	8,193.307	18.742
1	01	35R-63	0023	石核	頁岩	1	9c	102	37.44	33.51	11.06	13.74																		-14,885.580	8,193.502	18.534
1	01	35R-63	0024	剥片	頁岩	1	8b	103	18.47	12.36	7.30	1.05								○					H					-14,885.633	8,193.803	18.596
1	01	35R-63	0025	剥片	頁岩	1	9a	102	10.81	16.74	11.65	1.65	1	89			○			○					0					-14,885.350	8,193.750	18.704
1	01	35R-63	0026	砕片	黒曜石	1			5.35	10.63	3.96	0.20	L				○								0					-14,884.978	8,193.378	18.516
1	01	35R-63	0027	剥片	ガラス質黒色安山岩	1	6a	105	35.39	23.27	8.49	7.89	1	129		○	○			○			○		F					-14,884.748	8,192.936	18.576
1	01	35R-63	0028	剥片	ガラス質黒色安山岩	1	6b	105	24.72	39.33	9.47	6.97	L			○	○								F					-14,884.518	8,193.325	18.623
1	01	35R-63	0035	剥片	頁岩	1	7b	104	7.61	12.99	3.09	0.24												○	F					-14,886.076	8,193.449	18.598
1	01	35R-63	0036	剥片	頁岩	1	8a	103	10.04	15.42	11.97	1.50	1	107		○	○								0					-14,885.828	8,193.874	18.573
1	01	35R-63	0037	剥片	黒曜石	1			19.11	8.87	2.59	0.43	L			○	○								H					-14,885.739	8,193.962	18.555
1	01	35R-63	0020A	砕片	黒曜石	1			11.24	7.34	3.47	0.23	L											○				H		-14,885.244	8,192.068	18.697
1	01	35R-63	0020B	砕片	黒曜石	1			9.75	5.83	1.69	0.14																		-14,885.244	8,192.068	18.697
1	01	35R-63	0020C	砕片	黒曜石	1			6.43	6.64	2.62	0.06																		-14,885.244	8,192.068	18.697
1	02	35Q-78	0077	剥片	黒曜石	2			17.43	10.73	10.42	2.14	L			○	○					○			F					-14,891.915	8,175.586	19.265
1	02	35Q-87	0075	剥片	黒曜石	2			12.03	10.03	5.52	0.54					○								F			B		-14,894.861	8,171.907	19.337
1	02	35Q-88	0031	剥片	頁岩	7			22.19	14.20	4.39	0.92	L										○		F					-14,894.100	8,172.387	19.472
1	02	35Q-88	0070	剥片	黒曜石	2			11.52	14.07	5.19	0.68	1	110		○	○											H		-14,894.675	8,175.778	19.419
1	02	35Q-88	0074	礫片	ホルンフェルス	2			42.15	32.02	22.99	37.35																		-14,894.780	8,173.045	19.602
1	02	35Q-88	0089	二次加工のある剥片	黒曜石	2			13.66	12.51	11.12	1.98																		-14,894.952	8,175.858	19.259
1	02	35Q-88	0090	剥片	ガラス質黒色安山岩	4			31.44	19.66	8.05	6.47	1	94			○						○		S					-14,894.926	8,175.554	19.200
1	02	35Q-88	0091	礫片	砂岩	3			52.33	32.15	20.84	45.98																		-14,894.978	8,174.643	19.181
1	02	35Q-88	0092	石核	黒曜石	2	6c	107	27.97	17.34	17.43	8.18																		-14,895.256	8,174.154	19.212
1	02	35Q-88	0093	二次加工のある剥片	頁岩	5	3		80.82	27.20	10.95	24.49	1	107		○	○													-14,895.295	8,173.903	19.180
1	02	35Q-88	0094	ナイフ形石器	頁岩	4	1		53.64	29.46	9.92	12.77	1	105			○									76		B	+	-14,894.860	8,172.953	19.222
1	02	35Q-88	0097	剥片	黒曜石	2	5a	108	21.69	9.30	5.92	0.82					○											HM		-14,895.639	8,172.834	19.360
1	02	35Q-88	0098	礫	流紋岩	1			94.64	33.72	25.88	104.31																		-14,895.044	8,174.722	19.162
1	02	35Q-88	0099	礫	流紋岩	2			80.67	29.23	18.59	80.53																		-14,894.952	8,174.775	19.168
1	02	35Q-88	0101	剥片	黒曜石	2			19.60	14.24	7.19	1.72												○				L		-14,895.850	8,175.448	19.262
1	02	35Q-88	0102	剥片	黒曜石	2			14.40	13.77	5.63	0.54	1	96			○								F					-14,895.758	8,175.818	19.252
1	02	35Q-88	0103	礫	チャート	3			76.82	27.27	11.99	45.50																		-14,894.846	8,174.828	19.161
1	02	35Q-88	0104	剥片	ガラス質黒色安山岩	4			44.30	37.01	14.95	20.76	L			○	○						○		S					-14,894.358	8,175.131	19.154
1	02	35Q-88	0105	石核	黒曜石	2	6b	107	15.34	23.65	15.41	5.07																		-14,894.477	8,174.880	19.126
1	02	35Q-88	0106	剥片	頁岩	7			28.58	22.14	8.63	3.53	2	129		○	○								F					-14,894.543	8,174.498	19.180
1	02	35Q-88	0107	剥片	ガラス質黒色安山岩	4	7b	109	39.30	40.16	11.64	16.86	2	104			○				○							L		-14,894.780	8,174.194	19.177
1	02	35Q-88	0108	剥片	ガラス質黒色安山岩	4	7c	109	38.41	39.43	9.56	6.71					○						○		S			B		-14,894.820	8,173.837	19.147
1	02	35Q-88	0109	二次加工のある剥片	黒曜石	2	4		71.85	21.20	7.87	10.99					○						○		F	76				-14,895.216	8,174.088	19.145
1	02	35Q-88	0116	剥片	ガラス質黒色安山岩	4			23.26	10.09	7.79	1.88	1	97		○	○								F					-14,895.005	8,173.613	19.098
1	02	35Q-88	0117	ナイフ形石器	黒曜石	2	2		14.88	9.65	3.31	0.45					○									82	38	H	+	-14,895.229	8,172.438	19.090
1	02	35Q-88	0119	剥片	ガラス質黒色安山岩	4			10.54	8.09	7.16	0.82	1	95			○						○					H		-14,895.876	8,175.118	19.060
1	02	35Q-88	0019B	礫片	ホルンフェルス	1			50.02	36.68	14.01	28.02																		-14,894.582	8,174.880	19.585
1	02	35Q-88	0080B	砕片	黒曜石	2			5.84	5.85	1.50	0.08																		-14,892.483	8,173.283	19.398

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
1	02	35Q-88	0095A	剥片	黒曜石	2			22.86	12.89	5.54	1.16	L			○								S					-14,895.243	8,172.306	19.257
1	02	35Q-88	0095B	剥片	黒曜石	2			7.77	13.04	5.17	0.55				○											VM		-14,895.243	8,172.306	19.257
1	02	35Q-98	0086	剥片	ガラス質黒色安山岩	4	7a	109	50.27	19.90	9.55	13.56	2	105		○						○					R		-14,898.134	8,174.656	19.346
1	02	35Q-98	0096	剥片	黒曜石	2			21.46	13.12	8.95	1.71				○											VM		-14,897.421	8,174.326	19.529
1	02	35Q-98	0100	剥片	黒曜石	2			10.68	13.99	5.45	0.47	L			○								F					-14,896.774	8,174.458	19.300
1	02	35Q-98	0110	剥片	ガラス質黒色安山岩	4			24.86	25.54	12.15	6.30				○								H			B		-14,897.897	8,173.005	19.275
1	02	35Q-98	0111	剥片	黒曜石	2			13.53	7.21	3.76	0.34	L			○											H		-14,896.946	8,174.511	19.234
1	02	35Q-98	0112	石核	黒曜石	2	6a	107	25.57	13.14	15.96	4.77																	-14,897.593	8,175.250	19.230
1	02	35Q-98	0113	剥片	頁岩	6			53.08	16.70	9.31	7.22	L			○		○						0					-14,897.752	8,173.666	19.256
1	02	35Q-98	0115	石核	黒曜石	2	5b	108	29.67	35.73	16.54	11.00																	-14,896.101	8,174.947	19.152
1	02	35Q-98	0118	剥片	ガラス質黒色安山岩	4			25.30	22.63	12.34	6.33	1	81		○			○										-14,897.223	8,175.580	19.158
1	02	35Q-98	0120	剥片	黒曜石	2			11.50	19.71	5.05	0.68	1	106		○							○						-14,896.589	8,174.313	19.170
1	02	35Q-98	0121	剥片	黒曜石	2			20.65	12.31	16.03	3.49	1	78		○							○						-14,897.567	8,175.818	19.029
1	02	35Q-98	0122	剥片	黒曜石	2			29.22	36.16	19.61	10.51				○		○				○							-14,897.223	8,175.092	19.044
1	02	35Q-98	0114A	剥片	黒曜石	2			13.20	10.94	3.68	0.33	L			○								S			R		-14,896.722	8,174.735	19.205
1	02	35Q-98	0114B	剥片	黒曜石	2			12.35	6.88	3.05	0.16	L			○											R		-14,896.722	8,174.735	19.205
1	02	35Q-99	0067	剥片	黒曜石	2			12.45	12.16	7.75	3.17				○											MT		-14,898.095	8,177.073	19.334
1	02	35Q-99	0069	砕片	黒曜石	2			4.48	7.49	1.33	0.04	L			○								F					-14,898.095	8,178.076	19.258
1	03	35R-80	0051	剥片	黒曜石	4			26.52	32.22	8.25	6.83	1	78		○				○			○		F					-14,893.715	8,182.227	19.434
1	03	35R-81	0065	二次加工のある剥片	硬質頁岩	3	3		26.54	12.32	3.61	1.14	1	90		○			○					H					-14,892.717	8,187.295	19.220
1	03	35R-81	0066	掻器	硬質頁岩	2	2		30.02	29.22	9.55	8.39	L			○									81				-14,892.932	8,187.408	18.885
1	03	35R-81	0088	剥片	黒曜石	3			9.41	11.03	7.07	0.54	1	82													H		-14,892.730	8,187.408	18.921
1	03	35R-81	0087A	掻器	硬質頁岩	1	1		40.82	23.01	10.99	8.97					○									90				-14,892.730	8,187.508	18.995
1	04	32S-51	0001	剥片	チャート	4	1		51.34	46.30	23.09	62.61	1	104									○						-14,762.515	8,226.240	19.397
1	04	32S-51	0002	剥片	チャート	5			15.23	23.54	6.27	1.89	1	118		○	○	○	○			○			0					-14,762.765	8,226.240	19.375
1	04	32S-52	0001	剥片	黒曜石	4	2		20.05	21.95	11.01	3.90						○			○				0					-14,761.801	8,229.284	19.669
1	04	32S-52	0003	剥片	チャート	6			19.26	15.40	9.47	3.13					○											H		-14,762.202	8,229.221	19.331
1	単独	37P-98	0001	剥片	ホルンフェルス	3	1		44.99	64.58	16.72	39.02	1	106		○	○						○		F					-14,978.769	8,134.310	18.916
2	05	29V-60	0001	二次加工のある剥片	黒曜石	1	27		26.78	18.05	4.14	1.61					○								F			B		-14,647.909	8,342.476	17.226
2	05	29V-60	0002	剥片	黒曜石	1			10.94	11.47	1.20	0.09					○						○					VM		-14,647.875	8,342.392	17.222
2	05	29V-60	0003	使用痕のある剥片	黒曜石	1			14.57	13.39	2.16	0.31	L			○	○			○								H		-14,647.960	8,342.156	17.189
2	05	29V-60	0004	砕片	黒曜石	6			7.92	3.55	1.01	0.78																	-14,647.353	8,342.341	17.259
2	05	29V-60	0005	砕片	黒曜石	6			4.76	9.53	1.68	0.05	L				○							F					-14,646.998	8,342.021	17.330
2	05	29V-60	0007	砕片	黒曜石	6			6.51	4.48	1.56	0.03																	-14,647.133	8,342.021	17.318
2	05	29V-60	0008	剥片	黒曜石	1			8.15	11.39	1.68	0.20	L			○	○											H		-14,647.167	8,341.937	17.314
2	05	29V-60	0009	剥片	黒曜石	1			16.47	6.96	2.19	0.14	P				○							F					-14,647.740	8,342.072	17.222
2	05	29V-60	0010	剥片	黒曜石	6			10.39	6.62	0.67	0.04					○							F			B		-14,647.808	8,342.105	17.226
2	05	29V-60	0011	使用痕のある剥片	黒曜石	1			15.95	22.42	3.58	0.69	1	91		○							○	F					-14,647.825	8,341.970	17.231
2	05	29V-60	0012	剥片	黒曜石	1			9.09	9.31	3.68	0.17					○							0			B		-14,647.825	8,341.532	17.324
2	05	29V-60	0013	砕片	黒曜石	5			6.79	4.20	0.82	0.01																	-14,647.859	8,341.414	17.323
2	05	29V-60	0014	ナイフ形石器	黒曜石	2	8		24.13	10.61	3.92	0.80					○									84	21			-14,647.875	8,341.313	17.334
2	05	29V-60	0015	砕片	黒曜石	6			10.26	5.76	2.11	0.10	L			○	○						○	F					-14,647.859	8,341.110	17.240
2	05	29V-60	0016	砕片	黒曜石	6			5.53	10.39	1.26	0.06												F			B		-14,647.791	8,341.043	17.247
2	05	29V-60	0017	砕片	黒曜石	5			4.26	7.78	0.96	0.02																	-14,647.808	8,340.958	17.250
2	05	29V-60	0018	砕片	黒曜石	5			3.83	5.24	0.86	0.02																	-14,647.825	8,340.756	17.190
2	05	29V-60	0019	砕片	黒曜石	1			7.19	7.63	1.26	0.06					○							F			B		-14,647.757	8,340.706	17.188
2	05	29V-60	0020	砕片	黒曜石	6			3.17	7.15	1.37	0.01																	-14,647.606	8,340.773	17.318
2	05	29V-60	0022	使用痕のある剥片	黒曜石	1	40a	202	20.16	16.34	4.92	1.44	1	83		○	○							S					-14,647.471	8,340.166	17.214
2	05	29V-60	0023	砕片	黒曜石	6			4.80	3.72	0.61	0.01																	-14,647.218	8,341.448	17.219
2	05	29V-60	0024	剥片	黒曜石	2			21.98	25.68	6.47	1.93	1	92			○				○			0					-14,645.218	8,341.448	16.705
2	05	29V-60	0025	砕片	黒曜石	6			4.99	5.57	0.74	0.01																	-14,647.909	8,341.970	17.233
2	05	29V-60	0026	砕片	黒曜石	6			7.13	3.66	0.61	0.01	L				○							F					-14,647.437	8,341.599	17.195
2	05	29V-60	0027	砕片	黒曜石	6			6.71	5.20	1.01	0.01																	-14,647.218	8,343.741	17.387
2	05	29V-60	0028	砕片	黒曜石	1			3.54	3.97	1.08	0.01																	-14,647.150	8,343.758	17.385
2	05	29V-60	0029	剥片	黒曜石	6			14.55	9.11	1.50	0.17	P			○	○							F					-14,647.285	8,343.741	17.399
2	05	29V-60	0030	剥片	黒曜石	1			15.99	6.99	1.49	0.12	L			○	○						○	0					-14,647.235	8,343.674	17.384
2	05	29V-60	0031	砕片	黒曜石	5			8.11	3.45	0.53	0.01																	-14,647.251	8,343.691	17.391
2	05	29V-60	0032	砕片	黒曜石	5			3.64	4.08	0.86	0.01																	-14,647.859	8,341.802	17.203
2	05	29V-60	0033	砕片	黒曜石	6			5.29	4.95	1.24	0.03	L			○	○							F					-14,647.808	8,341.785	17.207
2	05	29V-60	0034	砕片	黒曜石	6			13.10	5.16	1.35	0.06	P				○							F					-14,647.015	8,342.341	17.270
2	05	29V-60	0035	砕片	黒曜石	1			4.52	9.48	1.34	0.06	P			○	○							H					-14,647.100	8,342.459	17.270
2	05	29V-60	0037	砕片	黒曜石	6			6.42	3.78	0.56	0.01																	-14,647.724	8,341.953	17.197
2	05	29V-60	0038	砕片	黒曜石	5			3.75	6.65	1.09	0.03	P			○	○							F					-14,647.842	8,341.650	17.170
2	05	29V-60	0039	砕片	黒曜石	6			5.77	8.88	1.89	0.08	L			○	○							F					-14,647.892	8,341.481	17.170
2	05	29V-60	0040	砕片	黒曜石	6			2.76	4.93	0.76	0.01																	-14,647.875	8,341.144	17.178
2	05	29V-60	0041	砕片	黒曜石	1			7.88	4.48	1.29	0.04																	-14,647.774	8,342.493	17.230
2	05	29V-60	0042	砕片	黒曜石	6			3.82	4.29	0.37	0.01																	-14,647.977	8,341.195	17.170
2	05	29V-60	0043	砕片	黒曜石	5			3.80	5.30	0.99	0.01																	-14,647.892	8,340.672	17.163
2	05	29V-60	0044	砕片	黒曜石	6			5.80	12.67	1.92	0.12	1	88		○	○											H		-14,647.201	8,342.898	17.212
2	05	29V-60	0045	砕片	黒曜石	6			5.39	5.91	0.75	0.01	L			○	○							F					-14,647.336	8,342.156	17.197
2	05	29V-60	0046	剥片	黒曜石	1			14.77	5.11	1.29	0.09	1	82		○	○											H		-14,647.555	8,341.970	17.190
2	05	29V-60	0047	砕片	黒曜石	6			4.03	4.59	0.95	0.01																	-14,647.504	8,341.852	17.177
2	05	29V-60	0048	砕片	黒曜石	6			3.75	4.75	0.81	0.01																	-14,647.690	8,342.173	17.157

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
2	05	29V-60	0049	砕片	黒曜石	6			3.67	5.73	0.66	0.02					○								F			B		-14,647.589	8,342.156	17.150
2	05	29V-60	0050	砕片	黒曜石	6			4.16	5.31	0.70	0.01																		-14,647.488	8,342.156	17.167
2	05	29V-60	0051	砕片	黒曜石	6			3.43	4.65	0.63	0.01																		-14,647.336	8,342.476	17.193
2	05	29V-60	0052	使用痕のある剥片	黒曜石	4			13.30	21.84	4.52	0.85	3	85		○	○		○				○		H					-14,647.353	8,341.346	17.105
2	05	29V-60	0053	砕片	黒曜石	6			3.26	3.38	0.37	0.01																		-14,647.437	8,341.768	17.130
2	05	29V-60	0054	ナイフ形石器	黒曜石	3	10		11.92	7.55	3.25	0.23					○									75		H	+	-14,647.488	8,341.869	17.122
2	05	29V-60	0055	砕片	黒曜石	5			4.78	3.29	0.43	0.01																		-14,647.432	8,342.541	17.137
2	05	29V-60	0056	砕片	黒曜石	3			4.91	5.56	1.10	0.03																		-14,647.660	8,342.738	17.158
2	05	29V-60	0057	ナイフ形石器	黒曜石	1	7a	205	11.89	10.64	2.61	0.30					○								H			B		-14,647.297	8,342.852	17.159
2	05	29V-60	0058	使用痕のある剥片	ホルンフェルス	1	49		19.14	37.49	3.89	2.36	L										○		H					-14,647.453	8,342.998	17.158
2	05	29V-60	0059	砕片	黒曜石	1			7.50	3.83	0.73	0.02					○								F			B		-14,647.691	8,343.008	17.150
2	05	29V-60	0060	ナイフ形石器	黒曜石	1	5		28.31	15.06	3.91	1.18					○								F	80	56		+	-14,647.421	8,342.012	17.157
2	05	29V-60	0061	砕片	黒曜石	3			4.59	3.36	1.11	0.01																		-14,647.660	8,341.764	17.081
2	05	29V-60	0062	砕片	黒曜石	6			6.66	6.52	0.63	0.03	L			○	○								F					-14,647.307	8,341.567	17.100
2	05	29V-60	0063	砕片	黒曜石	6			7.86	7.96	0.89	0.04					○								F			B		-14,647.193	8,341.546	17.112
2	05	29V-60	0064	砕片	黒曜石	6			6.40	5.00	1.24	0.02																		-14,647.432	8,341.307	17.112
2	05	29V-60	0065	使用痕のある剥片	黒曜石	2	45		24.81	24.81	5.06	2.83					○											VM		-14,647.162	8,340.115	17.066
2	05	29V-60	0066	砕片	黒曜石	5			4.05	7.16	1.21	0.03																		-14,647.224	8,340.073	17.055
2	05	29V-60	0067	二次加工のある剥片	黒曜石	6	29		22.70	21.85	3.72	1.52					○								F			B		-14,647.432	8,341.961	17.137
2	05	29V-60	0068	砕片	黒曜石	5			4.70	4.86	0.72	0.01																		-14,646.996	8,342.427	17.160
2	05	29V-60	0069	原石	黒曜石	7			25.97	24.23	18.07	10.23																		-14,647.007	8,341.338	17.087
2	05	29V-60	0070	二次加工のある剥片	黒曜石	3	30		34.41	23.24	5.80	2.41					○								H			B		-14,647.328	8,342.282	17.189
2	05	29V-60	0071	砕片	黒曜石	5			7.77	6.06	1.15	0.04	1	90		○	○								F					-14,647.017	8,342.541	17.135
2	05	29V-60	0072	砕片	黒曜石	5			6.79	6.67	0.52	0.03																		-14,647.660	8,341.712	17.080
2	05	29V-60	0073	剥片	黒曜石	1			16.74	7.98	1.49	0.14	P				○			○				○	F					-14,647.681	8,341.888	17.076
2	05	29V-60	0074	砕片	黒曜石	1			6.13	7.78	1.08	0.05																		-14,647.556	8,341.950	17.105
2	05	29V-60	0075	砕片	黒曜石	1			4.89	6.24	1.50	0.05					○											VM		-14,647.546	8,341.867	17.076
2	05	29V-60	0076	砕片	黒曜石	6			6.08	5.95	0.73	0.01					○											B		-14,647.235	8,342.427	17.134
2	05	29V-60	0077	剥片	黒曜石	1			17.97	15.62	4.52	0.84	1	93	○	○	○				○				H			L		-14,647.235	8,342.313	17.141
2	05	29V-60	0078	使用痕のある剥片	黒曜石	1			22.39	18.30	2.54	0.84					○								H			B		-14,646.861	8,342.002	17.210
2	05	29V-60	0079	砕片	黒曜石	6			6.92	2.83	1.43	0.01																		-14,646.924	8,342.023	17.140
2	05	29V-60	0080	二次加工のある剥片	黒曜石	1	28		34.15	20.41	3.20	2.47					○						○		F			HM		-14,647.889	8,342.468	17.167
2	05	29V-60	0081	使用痕のある剥片	黒曜石	1	36		21.60	10.44	4.34	0.79	1	97	○	○	○						○		F					-14,647.873	8,342.326	17.168
2	05	29V-60	0082	砕片	黒曜石	6			5.81	3.26	0.63	0.01																		-14,647.794	8,342.326	17.054
2	05	29V-60	0083	剥片	黒曜石	1			16.42	9.18	1.73	0.25	L			○	○						○					H		-14,647.873	8,342.073	17.060
2	05	29V-60	0084	砕片	黒曜石	3			5.76	12.20	2.24	0.10	L			○	○											H		-14,647.588	8,342.089	17.092
2	05	29V-60	0085	二次加工のある剥片	黒曜石	1	23		24.39	23.32	4.74	2.06	1	91	○	○	○						○					H		-14,647.541	8,342.089	17.105
2	05	29V-60	0086	二次加工のある剥片	黒曜石	1	18		18.86	16.98	4.34	0.98					○						○					VM		-14,647.715	8,341.678	17.115
2	05	29V-60	0087	砕片	黒曜石	6			6.11	9.00	0.98	0.05					○								F			B		-14,647.494	8,341.741	17.045
2	05	29V-60	0088	砕片	黒曜石	6			3.54	3.21	0.45	0.01																		-14,647.825	8,341.346	17.189
2	05	29V-60	0089	砕片	黒曜石	6			6.46	4.79	1.01	0.03																		-14,647.857	8,341.441	17.196
2	05	29V-60	0090	砕片	黒曜石	6			6.23	4.37	0.66	0.01																		-14,647.762	8,341.267	17.200
2	05	29V-60	0091	砕片	黒曜石	6			5.25	11.77	4.18	0.18					○								F					-14,647.304	8,341.062	17.056
2	05	29V-60	0092	砕片	黒曜石	6			4.62	6.33	1.30	0.05	L			○	○								F					-14,647.051	8,342.658	17.097
2	05	29V-60	0093	剥片	ガラス質黒色安山岩	1	55b	211	23.59	32.29	6.10	3.29					○								S					-14,647.130	8,343.195	17.120
2	05	29V-60	0094	砕片	黒曜石	6			10.22	9.90	1.88	0.17	P			○	○		○		○				H					-14,647.762	8,341.378	17.005
2	05	29V-60	0095	使用痕のある剥片	黒曜石	6	47		27.16	21.37	4.36	1.79	1	108	○		○		○						H					-14,647.478	8,342.215	16.978
2	05	29V-60	0096	使用痕のある剥片	黒曜石	1			19.44	13.06	5.06	0.98	1	96		○	○		○		○				F					-14,646.909	8,343.005	17.095
2	05	29V-60	0097	ナイフ形石器	黒曜石	2	9		15.05	7.30	3.06	0.25					○									70	38	H	+	-14,646.830	8,343.116	17.116
2	05	29V-60	0099	砕片	黒曜石	5			2.36	5.97	0.80	0.01																		-14,647.478	8,341.251	17.005
2	05	29V-60	0100	砕片	黒曜石	3			6.31	7.29	2.90	0.13	1	77			○								H					-14,647.478	8,341.552	16.967
2	05	29V-60	0101	砕片	黒曜石	1			6.88	9.50	3.06	0.20	1	102			○													-14,647.336	8,341.346	16.983
2	05	29V-60	0102	剥片	黒曜石	1	54a	209	13.03	10.37	2.10	0.22	1	88			○			○								H		-14,646.751	8,342.705	17.180
2	05	29V-60	0103	剥片	黒曜石	1	54b	209	16.50	19.12	3.03	0.66	1	101	○	○	○			○					0					-14,646.672	8,342.847	17.182
2	05	29V-60	0104	砕片	黒曜石	6			3.61	5.35	0.95	0.02																		-14,646.704	8,343.621	17.208
2	05	29V-60	0105	剥片	黒曜石	1			11.90	9.17	1.69	0.13	1	94	○	○	○								F					-14,646.767	8,340.145	17.160
2	05	29V-60	0106	使用痕のある剥片	黒曜石	2	42		25.61	32.96	3.27	2.00	L			○	○			○								H		-14,646.783	8,340.209	17.177
2	05	29V-60	0107	砕片	黒曜石	6			7.50	4.23	0.92	0.04					○											B		-14,646.719	8,341.852	17.097
2	05	29V-60	0108	砕片	黒曜石	6			6.03	3.84	1.11	0.02					○											B		-14,646.593	8,341.978	17.115
2	05	29V-60	0109	砕片	黒曜石	6			2.76	4.25	0.77	0.01																		-14,646.767	8,342.405	17.104
2	05	29V-60	0110	砕片	黒曜石	6			8.53	3.19	0.38	0.01					○											B		-14,646.751	8,342.531	17.100
2	05	29V-60	0111	砕片	黒曜石	6			8.65	2.37	2.39	0.02					○					○			F					-14,646.735	8,342.594	17.095
2	05	29V-60	0112	砕片	硬質頁岩	1			6.89	9.11	1.85	0.07	2	92	○	○	○								0					-14,646.735	8,341.283	17.132
2	05	29V-60	0113	砕片	黒曜石	6			8.71	7.60	1.36	0.04	1	94		○	○								F					-14,646.672	8,343.147	17.082
2	05	29V-60	0114	砕片	黒曜石	5			3.09	1.86	0.84	0.01																		-14,646.672	8,343.211	17.093
2	05	29V-60	0115	剥片	黒曜石	6			19.75	13.45	4.41	0.86	C	114			○	○						○	F					-14,646.798	8,340.019	17.156
2	05	29V-60	0116	ナイフ形石器	黒曜石	1	6		38.28	15.53	4.37	2.09	1	109			○		○		○				0					-14,646.056	8,343.574	17.130
2	05	29V-60	0117	砕片	黒曜石	6			2.80	7.31	1.51	0.02																		-14,646.340	8,343.874	17.030
2	05	29V-60	0118	砕片	黒曜石	6			2.69	3.97	0.40	0.01																		-14,646.182	8,343.874	17.007
2	05	29V-60	0119	砕片	黒曜石	6			5.80	1.89	0.43	0.01																		-14,646.024	8,343.779	17.070
2	05	29V-60	0120	使用痕のある剥片	黒曜石	1			11.76	13.77	3.57	0.34					○						○		H			B		-14,646.040	8,343.337	17.085
2	05	29V-60	0121	砕片	黒曜石	6			7.52	5.32	0.22	0.02	P				○								F					-14,646.356	8,343.542	16.990
2	05	29V-60	0122	砕片	黒曜石	6			4.53	5.73	0.96	0.01	L				○								H					-14,646.072	8,343.211	17.045

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
2	05	29V-60	0123	砕片	黒曜石	6			4.84	2.85	0.45	0.01																		-14,646.135	8,343.021	17.042
2	05	29V-60	0124	砕片	黒曜石	6			2.43	2.85	0.62	0.01																		-14,646.151	8,342.847	17.069
2	05	29V-60	0125	砕片	黒曜石	6			6.64	6.30	0.89	0.04	L				○								F					-14,646.293	8,342.847	16.978
2	05	29V-60	0126	砕片	黒曜石	6			4.71	5.28	0.79	0.01	L				○								F					-14,646.024	8,343.748	16.960
2	05	29V-60	0127	砕片	黒曜石	6			3.05	2.83	0.72	0.01																		-14,646.119	8,343.558	16.937
2	05	29V-60	0128	砕片	黒曜石	1			5.28	5.37	0.94	0.01	L				○								F					-14,646.467	8,343.748	16.892
2	05	29V-60	0129	砕片	黒曜石	6			2.52	1.72	0.26	0.01																		-14,646.467	8,343.621	16.868
2	05	29V-60	0130	砕片	黒曜石	6			3.02	3.57	0.65	0.01																		-14,646.324	8,343.669	16.883
2	05	29V-60	0131	砕片	黒曜石	1			1.93	1.48	0.87	0.01																		-14,646.056	8,342.436	16.910
2	05	29V-60	0132	二次加工のある剥片	黒曜石	4	22		6.24	14.31	4.09	0.26						○							0			B		-14,646.230	8,343.290	16.932
2	05	29V-60	0133	剥片	黒曜石	5			9.31	17.18	3.43	0.46																		-14,646.877	8,341.536	16.819
2	05	29V-60	0134	砕片	黒曜石	6			11.56	8.11	1.68	0.13	L				○								0					-14,646.372	8,340.177	17.095
2	05	29V-60	0135	砕片	黒曜石	6			3.76	2.76	0.40	0.01																		-14,647.209	8,343.448	16.893
2	05	29V-60	0136	使用痕のある剥片	黒曜石	4	46a	210	3.41	10.42	3.94	0.57	L										○		F			B		-14,646.530	8,342.626	16.837
2	05	29V-60	0137	剥片	黒曜石	1	37a	203	17.07	13.57	4.91	0.89	2	104	○	○	○						○					H		-14,645.866	8,342.136	17.254
2	05	29V-60	0138	二次加工のある剥片	黒曜石	1	20b	204	28.42	11.38	2.90	0.91	L				○									76				-14,644.871	8,343.511	17.190
2	05	29V-60	0139	砕片	黒曜石	1			9.83	6.58	3.53	0.14	P			○	○						○		F					-14,645.645	8,343.353	17.161
2	05	29V-60	0141	砕片	黒曜石	6			6.21	8.05	1.51	0.09	1	91		○	○											H		-14,645.455	8,342.563	17.145
2	05	29V-60	0142	二次加工のある剥片	黒曜石	1	21		13.21	12.31	3.04	0.31					○						○					B		-14,645.297	8,342.515	17.166
2	05	29V-60	0143	砕片	黒曜石	6			5.57	4.22	0.56	0.02	L			○	○								F					-14,645.756	8,343.179	17.085
2	05	29V-60	0144	砕片	黒曜石	1			4.15	4.28	1.13	0.02	L			○	○								F					-14,645.787	8,342.910	17.105
2	05	29V-60	0145	ナイフ形石器	黒曜石	4	14		35.80	17.91	6.01	2.77	1	102	○	○		○						○	F	112	68			-14,645.819	8,343.874	17.255
2	05	29V-60	0146	砕片	黒曜石	6			7.86	8.45	2.34	0.11					○											B		-14,645.076	8,343.937	17.201
2	05	29V-60	0147	砕片	黒曜石	3			10.61	7.59	3.85	0.17					○											B		-14,645.108	8,343.748	17.180
2	05	29V-60	0148	剥片	黒曜石	6			16.57	6.50	2.45	0.17					○											L		-14,645.724	8,342.737	17.054
2	05	29V-60	0149	砕片	黒曜石	6			6.32	4.35	2.13	0.03	L			○	○								F					-14,646.561	8,343.969	17.220
2	05	29V-60	0150	砕片	黒曜石	6			7.56	2.40	0.70	0.01																		-14,646.609	8,343.937	17.156
2	05	29V-60	0152	砕片	黒曜石	6			6.93	3.66	0.39	0.02																		-14,645.740	8,343.226	17.005
2	05	29V-60	0153	使用痕のある剥片	黒曜石	4	46b	210	13.75	11.40	4.88	0.77	L			○	○						○					H		-14,645.835	8,342.737	17.011
2	05	29V-60	0154	二次加工のある剥片	黒曜石	1	17		19.81	12.30	3.04	0.64	1	91	○	○	○								F					-14,645.250	8,341.394	17.095
2	05	29V-60	0155	砕片	黒曜石	6			6.42	3.12	1.38	0.03	L			○	○											H		-14,645.187	8,343.179	17.071
2	05	29V-60	0156	砕片	黒曜石	6			8.78	4.32	1.16	0.04					○											VM		-14,645.139	8,342.958	17.035
2	05	29V-60	0157	剥片	黒曜石	1			11.50	14.42	3.74	0.54	1	89	○	○	○						○					H		-14,645.203	8,341.583	17.010
2	05	29V-60	0158	使用痕のある剥片	黒曜石	1	37b	203	15.26	11.39	2.14	0.34					○							○	H			B		-14,645.060	8,342.263	16.985
2	05	29V-60	0159	砕片	黒曜石	6			4.19	3.41	0.31	0.01																		-14,645.000	8,343.000	
2	05	29V-60	0160	剥片	黒曜石	1			13.83	17.89	6.54	0.57	1	74	○	○				○					0					-14,645.000	8,343.000	
2	05	29V-60	0161	剥片	黒曜石	1			14.46	7.35	2.19	0.13	1	95		○	○								F					-14,645.700	8,342.700	
2	05	29V-60	0162	砕片	黒曜石	6			4.47	2.58	0.81	0.01																		-14,646.500	8,343.900	
2	05	29V-60	0163	砕片	黒曜石	6			5.60	2.19	0.45	0.01																		-14,646.600	8,343.900	
2	05	29V-60	0164	砕片	黒曜石	5			4.74	2.37	0.31	0.01																		-14,645.700	8,343.200	
2	05	29V-60	0165	砕片	黒曜石	5			2.58	2.42	0.60	0.01																		-14,645.700	8,343.200	
2	05	29V-60	0166	砕片	黒曜石	5			6.38	3.27	1.19	0.01																		-14,645.800	8,342.700	
2	05	29V-60	0167	砕片	黒曜石	5			6.22	4.77	0.66	0.01	L			○	○								F					-14,645.200	8,341.300	
2	05	29V-60	0168	砕片	黒曜石	5			9.23	4.16	0.66	0.01					○								F					-14,645.100	8,343.100	
2	05	29V-60	0169	砕片	黒曜石	5			3.80	3.81	0.32	0.01																		-14,645.100	8,342.900	
2	05	29V-60	0098A	剥片	ガラス質黒色安山岩	1	55a	211	11.24	6.51	1.39	0.10					○								F					-14,647.573	8,341.441	16.980
2	05	29V-60	0098B	砕片	黒曜石	6			4.98	3.11	0.66	0.01																		-14,647.573	8,341.441	16.980
2	05	29V-60	0140A	使用痕のある剥片	硬質頁岩	1	48		29.92	17.17	5.06	2.17			○	○									F					-14,645.455	8,342.658	17.224
2	05	29V-60	0140B	砕片	黒曜石	6			7.84	5.30	2.13	0.07																		-14,645.455	8,342.658	17.224
2	05	29V-70	0001	ナイフ形石器	硬質頁岩	2	15		16.83	10.98	3.85	0.75					○									66		T		-14,649.090	8,342.483	17.110
2	05	29V-70	0002	砕片	黒曜石	5			5.42	11.61	3.06	0.16	1	86		○	○								F					-14,648.903	8,342.546	17.197
2	05	29V-70	0003	使用痕のある剥片	黒曜石	2			11.69	11.84	4.02	0.50	2		○	○	○		○									H		-14,648.715	8,342.546	17.200
2	05	29V-70	0004	二次加工のある剥片	黒曜石	3	31		29.40	15.40	3.16	1.41					○						○			69		T		-14,648.778	8,342.468	17.195
2	05	29V-70	0005	砕片	黒曜石	5			6.23	4.97	1.15	0.01																		-14,648.700	8,342.358	17.188
2	05	29V-70	0006	砕片	黒曜石	5			5.06	9.72	1.32	0.06	L	84		○	○								H					-14,648.840	8,342.405	17.189
2	05	29V-70	0007	砕片	黒曜石	5			4.58	8.32	1.17	0.04	L			○	○								F					-14,648.528	8,342.561	17.226
2	05	29V-70	0008	砕片	黒曜石	6			6.81	2.26	0.99	0.01													F			T		-14,648.497	8,342.390	17.211
2	05	29V-70	0009	二次加工のある剥片	黒曜石	1	19		25.62	12.35	7.24	1.64	2			○	○		○		○			○	F					-14,648.371	8,342.452	17.209
2	05	29V-70	0010	砕片	黒曜石	6			7.09	8.12	0.89	0.04	L			○	○		○					○	F			L		-14,648.278	8,342.561	17.220
2	05	29V-70	0011	砕片	黒曜石	6			5.62	4.67	0.78	0.01																V-M		-14,648.278	8,342.374	17.223
2	05	29V-70	0012	砕片	黒曜石	6			7.47	6.46	1.35	0.05	L			○	○											H		-14,648.481	8,342.139	17.136
2	05	29V-70	0013	剥片	黒曜石	6			8.71	9.67	2.28	0.14	L						○		○				0					-14,648.074	8,342.515	17.212
2	05	29V-70	0014	剥片	黒曜石	5			18.15	7.20	3.01	0.26	P				○			○	○		○		F					-14,648.012	8,342.405	17.211
2	05	29V-70	0015	砕片	黒曜石	6			7.11	3.59	0.89	0.02													F			T		-14,649.778	8,341.170	17.206
2	05	29V-70	0016	剥片	黒曜石	1			11.30	12.02	2.01	0.20	1	92	○	○	○					○						H		-14,649.716	8,341.030	17.210
2	05	29V-70	0017	剥片	黒曜石	1	20a	204	16.94	8.63	2.27	0.17					○								F			R		-14,648.121	8,342.218	17.209
2	05	29V-70	0018	砕片	黒曜石	6			4.43	3.82	1.01	0.02																		-14,649.935	8,341.076	17.251
2	05	29V-70	0019	剥片	黒曜石	5			6.78	11.20	2.71	0.14	1	83		○	○							○	F					-14,648.012	8,341.874	17.200
2	05	29V-70	0020	砕片	黒曜石	5			5.22	3.43	0.61	0.01																		-14,648.012	8,341.702	17.202
2	05	29V-70	0021	剥片	黒曜石	3			8.76	12.69	1.51	0.14	J	85		○	○					○			F					-14,648.106	8,341.655	17.196
2	05	29V-70	0022	砕片	黒曜石	6			6.79	3.44	0.52	0.02																		-14,648.012	8,341.592	17.202
2	05	29V-70	0023	剥片	黒曜石	1			16.76	11.27	3.14	0.21	P				○				○				0					-14,648.731	8,341.967	17.202
2	05	29V-70	0024	砕片	黒曜石	6			6.17	3.28	1.10	0.02																		-14,648.606	8,341.921	17.199

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
2	05	29V-70	0025	砕片	黒曜石	6			5.03	3.93	0.91	0.02	L			○								F					-14,648.684	8,341.796	17.200
2	05	29V-70	0026	砕片	黒曜石	5			5.96	7.20	0.74	0.03	L		○				○					F					-14,648.356	8,341.874	16.940
2	05	29V-70	0027	使用痕のある剥片	黒曜石	1	43		25.01	25.82	4.37	1.11	J	101		○	○					○		0					-14,648.997	8,341.921	17.051
2	05	29V-70	0028	ナイフ形石器	黒曜石	3	12		18.38	10.94	2.86	0.41					○								82		H	+	-14,648.450	8,340.873	17.015
2	05	29V-70	0029	剥片	黒曜石	6			14.68	6.12	1.37	0.11					○							F			B		-14,648.668	8,341.342	17.066
2	05	29V-70	0030	剥片	黒曜石	1			13.06	8.81	3.18	0.22	J	86	○	○	○			○				0					-14,648.778	8,341.405	17.055
2	05	29V-70	0031	砕片	黒曜石	6			7.34	3.91	2.36	0.06																	-14,648.903	8,341.358	17.061
2	05	29V-70	0032	砕片	黒曜石	6			6.34	3.96	0.92	0.01																	-14,649.169	8,341.389	17.050
2	05	29V-70	0033	ナイフ形石器	黒曜石	1	1		25.95	9.14	3.24	0.59					○							F	56				-14,649.372	8,341.561	17.142
2	05	29V-70	0034	剥片	黒曜石	1			12.49	7.49	1.42	0.13	L			○	○							F					-14,649.309	8,341.686	17.141
2	05	29V-70	0035	剥片	黒曜石	1			14.19	17.54	3.23	0.46					○			○	○						B		-14,649.466	8,341.624	17.142
2	05	29V-70	0036	剥片	黒曜石	1			10.83	8.30	3.59	0.17	L			○	○				○			F					-14,649.591	8,341.389	17.059
2	05	29V-70	0037	砕片	黒曜石	3			8.51	6.91	1.72	0.08	L			○	○										H		-14,649.810	8,341.483	17.195
2	05	29V-70	0038	使用痕のある剥片	黒曜石	1			14.75	10.26	2.79	0.36	L				○										H		-14,649.872	8,341.311	17.465
2	05	29V-70	0039	砕片	黒曜石	6			5.04	4.38	0.73	0.02																	-14,648.000	8,342.515	
2	05	29V-70	0040	砕片	黒曜石	5			5.88	8.11	1.54	0.06	1		○	○	○										H		-14,648.000	8,342.405	
2	05	29V-70	0041	二次加工のある剥片	黒曜石	1	25		24.69	9.08	6.64	1.01	1		○	○	○	○			○				0				-14,649.700	8,341.170	
2	05	29V-70	0042	使用痕のある剥片	黒曜石	1	39		31.12	20.41	4.80	2.55					○				○		○				B		-14,649.700	8,341.030	
2	05	29V-70	0043	ナイフ形石器	黒曜石	1	3		24.43	11.93	3.96	1.09					○								89		H	+	-14,648.100	8,342.218	
2	05	29V-70	0044	剥片	黒曜石	1			5.83	7.76	2.66	0.13					○				○						B		-14,649.900	8,341.076	
2	05	29V-70	0045	使用痕のある剥片	黒曜石	3			9.12	8.85	2.92	0.13					○							F			B		-14,648.000	8,341.874	
2	05	29V-70	0046	砕片	黒曜石	5			7.04	4.99	0.69	0.01																	-14,648.000	8,341.702	
2	05	29V-70	0047	剥片	黒曜石	1			16.23	6.06	3.06	0.19	L			○	○			○							H		-14,648.100	8,341.655	
2	05	29V-70	0048	砕片	黒曜石	5			6.29	3.27	1.89	0.01																	-14,648.000	8,341.592	
2	05	29V-70	0049	砕片	黒曜石	5			6.48	4.54	0.75	0.02																	-14,648.700	8,341.967	
2	05	29V-70	0050	剥片	黒曜石	1			9.42	9.50	2.62	0.18	1			○	○				○				0				-14,648.600	8,341.921	
2	05	29V-70	0051	砕片	黒曜石	5			6.96	3.13	1.03	0.01																	-14,648.600	8,341.796	
2	05	29V-70	0052	ナイフ形石器	黒曜石	1	7b	205	36.79	18.78	4.81	2.84					○				○				92		B	+	-14,648.300	8,341.700	
2	05	29V-70	0053	剥片	黒曜石	1			11.76	10.43	4.28	0.40	2										○	F					-14,648.900	8,341.900	
2	05	29V-70	0054	砕片	黒曜石	5			5.98	3.29	0.53	0.01																	-14,648.000	8,340.800	
2	05	29V-70	0055	砕片	黒曜石	6			8.90	6.66	3.72	0.12	1		○	○	○							F					-14,648.600	8,341.300	
2	05	29V-70	0056	削器	黒曜石	1	16b	201	37.63	23.07	7.47	5.17					○							F	51		B		-14,648.700	8,341.400	
2	05	29V-70	0057	二次加工のある剥片	黒曜石	2	35		17.97	22.17	4.33	1.22	1		○	○	○										H		-14,648.900	8,341.300	
2	05	29V-70	0058	砕片	黒曜石	3			9.46	6.64	1.83	0.06	1			○	○						○	F					-14,649.100	8,341.300	
2	05	29V-70	0059	砕片	黒曜石	5			6.83	4.52	1.11	0.03																	-14,649.300	8,341.500	
2	05	29V-70	0060	砕片	黒曜石	6			7.21	9.54	0.81	0.03	L			○	○							F					-14,649.300	8,341.600	
2	05	29V-70	0061	砕片	黒曜石	6			6.20	4.52	0.74	0.02																	-14,649.400	8,341.600	
2	05	29V-70	0062	剥片	黒曜石	3			11.01	9.23	1.23	0.11	1	95	○	○	○						○	F					-14,649.500	8,341.300	
2	05	29V-70	0063	砕片	黒曜石	6			9.63	4.49	2.48	0.04																	-14,649.000	8,341.400	
2	05	29V-70	0064	剥片	黒曜石	6			10.45	11.37	1.64	0.16					○										VM		-14,649.800	8,341.300	
2	05	29V-70	0065	砕片	黒曜石	5			5.19	8.18	0.79	0.03					○										B		-14,648.000	8,342.500	
2	05	29V-70	0066	砕片	黒曜石	6			3.85	3.34	1.30	0.02																	-14,648.000	8,342.400	
2	05	29V-70	0067	剥片	黒曜石	1			6.80	8.66	1.82	0.10					○	○						F			B		-14,649.700	8,341.100	
2	05	29V-70	0068	砕片	黒曜石	5			6.46	3.33	2.69	0.01																	-14,649.700	8,341.000	
2	05	29V-70	0069	剥片	黒曜石	1			8.68	10.93	1.27	0.06					○							0			B		-14,648.100	8,342.200	
2	05	29V-70	0070	砕片	黒曜石	6			4.89	2.91	0.73	0.01																	-14,649.900	8,341.000	
2	05	29V-70	0071	砕片	黒曜石	5			6.77	4.69	1.11	0.03																	-14,648.000	8,341.800	
2	05	29V-70	0072	剥片	黒曜石	1			4.45	10.45	1.52	0.06					○		○					F			B		-14,648.000	8,341.700	
2	05	29V-70	0073	剥片	黒曜石	1			12.72	6.25	1.69	0.12	L			○	○							F					-14,648.100	8,341.600	
2	05	29V-70	0074	砕片	黒曜石	5			4.75	3.82	3.24	0.03																	-14,648.000	8,341.500	
2	05	29V-70	0075	剥片	黒曜石	3			7.06	10.22	2.44	0.19					○	○					○	0			B		-14,648.700	8,341.900	
2	05	29V-70	0076	剥片	黒曜石	1			11.81	7.15	1.16	0.08	L			○	○							F			R		-14,648.600	8,341.900	
2	05	29V-70	0077	砕片	黒曜石	6			5.76	9.30	0.95	0.03	L			○	○							F					-14,648.600	8,341.700	
2	05	29V-70	0078	砕片	黒曜石	6			5.31	6.42	0.88	0.03	L			○	○							F					-14,648.300	8,341.800	
2	05	29V-70	0079	砕片	黒曜石	6			6.76	3.79	0.72	0.01	L		○		○							F					-14,648.900	8,341.900	
2	05	29V-70	0080	砕片	黒曜石	3			8.94	6.53	1.20	0.05	1			○	○							F					-14,648.400	8,340.800	
2	05	29V-70	0081	砕片	黒曜石	4			8.32	6.33	0.72	0.02											○	F			B		-14,648.600	8,341.300	
2	05	29V-70	0082	砕片	黒曜石	1			7.28	6.80	1.67	0.07											○	F			B		-14,648.700	8,341.400	
2	05	29V-70	0083	砕片	チャート	1			5.99	9.35	1.95	0.07											○	F			B		-14,648.705	8,341.410	
2	05	29V-70	0085	砕片	黒曜石	5			6.11	3.67	1.94	0.02																	-14,648.900	8,341.300	
2	05	29V-70	0086	砕片	黒曜石	6			3.46	6.88	0.69	0.01																	-14,649.100	8,341.300	
2	05	29V-70	0087	砕片	黒曜石	5			5.74	4.82	0.78	0.01																	-14,649.300	8,341.500	
2	05	29V-70	0088	剥片	黒曜石	5			9.56	6.41	1.16	0.04					○							F			B		-14,648.024	8,343.332	17.320
2	05	29V-70	0089	使用痕のある剥片	黒曜石	1	40b	202	26.62	13.78	6.90	1.82					○	○						F			B		-14,648.341	8,342.970	17.465
2	05	29V-70	0090	砕片	黒曜石	5			2.49	1.80	0.25	0.01																	-14,648.420	8,342.992	17.364
2	05	29V-70	0091	ナイフ形石器	黒曜石	5	2		24.56	13.23	4.29	1.49						○					○		81		H	+	-14,648.828	8,343.151	17.334
2	05	29V-70	0092	砕片	黒曜石	5			4.27	7.18	2.78	0.02												F			B		-14,649.337	8,343.355	17.384
2	05	29V-70	0093	砕片	黒曜石	5			5.19	6.11	1.07	0.02	L			○	○							F					-14,650.571	8,342.064	17.331
2	05	29V-70	0094	剥片	黒曜石	6			7.30	8.70	1.59	0.07	L			○	○							F					-14,650.673	8,342.042	17.344
2	05	29V-70	0095	砕片	黒曜石	6			5.09	4.61	0.87	0.01																	-14,650.605	8,341.940	17.331
2	05	29V-70	0096	砕片	黒曜石	3			6.78	4.18	0.92	0.01																	-14,651.013	8,341.962	17.332
2	05	29V-70	0097	剥片	黒曜石	3			6.58	10.16	1.69	0.08	L			○	○										H		-14,651.081	8,341.951	17.337
2	05	29V-70	0098	剥片	黒曜石	1			8.82	9.89	1.99	0.14	L			○	○		○				○				H		-14,650.651	8,341.849	17.338

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
2	05	29V-70	0099	砕片	黒曜石	5			9.92	5.12	1.17	0.04	L				○								F					-14,650.696	8,341.691	17.340
2	05	29V-70	0100	剥片	黒曜石	1			8.59	9.29	2.57	0.13					○								F			B		-14,650.877	8,341.679	17.324
2	05	29V-70	0101	砕片	黒曜石	6			4.86	1.73	0.57	0.01																		-14,650.130	8,341.600	17.300
2	05	29V-70	0102	剥片	黒曜石	1			11.93	8.88	1.23	0.12	L			○	○								F					-14,650.311	8,341.555	17.302
2	05	29V-70	0103	砕片	黒曜石	1			6.28	2.22	1.00	0.01																		-14,650.639	8,341.589	17.325
2	05	29V-70	0104	砕片	黒曜石	1			7.28	4.46	0.70	0.01	L			○	○								F					-14,650.537	8,341.476	17.311
2	05	29V-70	0105	砕片	黒曜石	1			3.61	5.88	0.51	0.01	L			○	○								F					-14,650.447	8,341.464	17.301
2	05	29V-70	0106	砕片	黒曜石	1			3.74	4.19	0.71	0.01																		-14,650.956	8,341.532	17.325
2	05	29V-70	0107	剥片	黒曜石	5			6.38	12.31	1.82	0.11											○					VM		-14,648.353	8,341.804	16.943
2	05	29V-70	0108	剥片	黒曜石	1			10.98	13.74	1.73	0.22	1	88		○	○								F					-14,650.751	8,341.390	17.346
2	05	29V-70	0109	剥片	黒曜石	6			9.04	13.63	1.97	0.18	1	90		○	○											H		-14,650.571	8,341.226	17.328
2	05	29V-70	0110	砕片	黒曜石	5			8.04	4.56	1.38	0.04	L			○	○								F					-14,650.605	8,341.113	17.332
2	05	29V-70	0111	砕片	黒曜石	5			8.31	8.10	0.43	0.04	L				○								F					-14,650.175	8,341.294	17.230
2	05	29V-70	0112	剥片	黒曜石	5			13.35	6.94	1.03	0.06	P			○	○								F					-14,650.243	8,341.068	17.260
2	05	29V-70	0113	砕片	黒曜石	3			6.36	5.43	1.15	0.03	L			○	○								F					-14,650.685	8,341.113	17.347
2	05	29V-70	0114	砕片	黒曜石	1			4.42	3.62	0.28	0.01																		-14,650.820	8,341.215	17.350
2	05	29V-70	0115	剥片	黒曜石	6			10.12	12.39	2.31	0.21	2	104		○	○								0					-14,650.990	8,341.136	17.297
2	05	29V-70	0116	砕片	黒曜石	1			6.57	6.36	1.32	0.04	L			○	○											H		-14,651.036	8,340.989	17.269
2	05	29V-70	0117	砕片	チャート	1			7.05	5.62	1.81	0.10																		-14,651.103	8,340.943	17.266
2	05	29V-70	0118	剥片	黒曜石	6			15.40	7.19	3.22	0.30													0			VM		-14,650.164	8,340.864	17.234
2	05	29V-70	0119	剥片	黒曜石	1			12.15	12.13	5.10	0.49	1	87			○						○		F					-14,650.707	8,341.045	17.347
2	05	29V-70	0120	砕片	黒曜石	5			4.75	8.46	1.24	0.04	L				○								F					-14,650.639	8,340.955	17.333
2	05	29V-70	0121	砕片	黒曜石	6			4.90	7.62	1.34	0.03	L			○									F					-14,650.730	8,340.842	17.344
2	05	29V-70	0122	砕片	黒曜石	3			3.38	5.48	0.88	0.02													F			B		-14,650.549	8,340.864	17.325
2	05	29V-70	0123	砕片	黒曜石	3			5.13	10.20	2.27	0.08													F			B		-14,650.639	8,340.751	17.337
2	05	29V-70	0124	剥片	黒曜石	2			7.80	15.37	4.38	0.33					○								F			B		-14,650.254	8,340.717	17.235
2	05	29V-70	0125	砕片	黒曜石	3			5.31	7.32	1.36	0.04	L			○	○								F					-14,650.322	8,340.796	17.237
2	05	29V-70	0126	剥片	黒曜石	6			5.86	13.40	1.73	0.11	L			○	○											H		-14,650.458	8,340.785	17.278
2	05	29V-70	0127	砕片	黒曜石	3			4.40	4.75	0.62	0.01																H		-14,650.390	8,340.683	17.245
2	05	29V-70	0128	砕片	黒曜石	6			4.12	7.82	0.50	0.01	L			○	○								F					-14,650.436	8,340.615	17.297
2	05	29V-70	0129	砕片	黒曜石	1			4.79	3.58	0.84	0.01	L			○	○								F					-14,650.526	8,340.706	17.322
2	05	29V-70	0130	砕片	黒曜石	3			13.79	4.14	2.03	0.08	P				○							○	F					-14,650.526	8,340.559	17.314
2	05	29V-70	0131	砕片	黒曜石	1			2.40	6.36	1.14	0.02	L			○	○								F					-14,650.605	8,340.604	17.336
2	05	29V-70	0132	砕片	黒曜石	1			3.42	8.75	0.95	0.02	L			○	○								F					-14,650.526	8,340.445	17.311
2	05	29V-70	0133	砕片	黒曜石	3			4.30	9.85	2.47	0.07	L			○	○								F					-14,650.277	8,340.921	17.249
2	05	29V-70	0134	砕片	黒曜石	6			3.31	7.57	1.06	0.01	L			○	○								F					-14,650.639	8,340.502	17.333
2	05	29V-70	0135	砕片	黒曜石	1			3.93	5.61	1.03	0.01	L			○	○								F					-14,650.730	8,340.513	17.340
2	05	29V-70	0136	砕片	黒曜石	1			6.37	3.25	1.10	0.02	L			○		○							F					-14,650.753	8,340.672	17.335
2	05	29V-70	0137	砕片	黒曜石	3			6.30	2.05	1.01	0.01	L			○	○								F					-14,650.854	8,340.740	17.354
2	05	29V-70	0138	砕片	黒曜石	5			8.34	7.90	1.23	0.05	P				○								F					-14,650.979	8,340.808	17.318
2	05	29V-70	0139	剥片	黒曜石	1			10.68	8.47	2.61	0.15	L			○	○								F			L		-14,650.990	8,340.683	17.322
2	05	29V-70	0140	砕片	黒曜石	1			3.78	3.78	0.84	0.01																B		-14,651.092	8,340.717	17.259
2	05	29V-70	0141	砕片	黒曜石	5			6.31	4.56	0.46	0.01	P				○								F					-14,651.092	8,340.570	17.252
2	05	29V-70	0142	砕片	黒曜石	5			5.03	2.98	0.92	0.01					○											VM		-14,650.911	8,340.525	17.295
2	05	29V-70	0143	砕片	黒曜石	1			7.11	7.83	1.14	0.07	L			○	○								F					-14,650.877	8,340.423	17.286
2	05	29V-70	0144	二次加工のある剥片	黒曜石	1	38b	207	18.34	21.50	4.82	1.44	1	87			○						○		0					-14,650.730	8,340.366	17.265
2	05	29V-70	0145	砕片	黒曜石	1			2.10	9.93	1.74	0.02																		-14,650.639	8,340.355	17.281
2	05	29V-70	0146	砕片	黒曜石	1			4.24	6.75	0.80	0.01	L			○	○								F					-14,650.503	8,340.287	17.245
2	05	29V-70	0147	砕片	黒曜石	6			5.39	6.70	0.55	0.02	L			○	○								F					-14,650.481	8,340.185	17.215
2	05	29V-70	0148	剥片	黒曜石	5			11.86	6.75	2.25	0.18	1	87		○	○								F			R		-14,650.300	8,340.332	17.220
2	05	29V-70	0149	砕片	黒曜石	6			6.47	2.42	1.20	0.02																		-14,650.254	8,340.445	17.219
2	05	29V-70	0150	剥片	黒曜石	1	51b	208	24.70	11.29	5.68	0.72	P				○	○				○			F			L		-14,650.073	8,340.389	17.253
2	05	29V-70	0151	砕片	黒曜石	5			6.07	9.23	0.47	0.02							○					○	F			B		-14,649.971	8,340.355	17.232
2	05	29V-70	0152	砕片	黒曜石	3			4.11	8.10	2.05	0.05					○								F			B		-14,650.028	8,340.151	17.169
2	05	29V-70	0153	ナイフ形石器	黒曜石	3	11		8.82	6.92	2.04	0.10					○									75		H	+	-14,649.994	8,340.049	17.170
2	05	29V-70	0154	剥片	黒曜石	2			10.53	12.29	2.32	0.29	L			○	○											H		-14,651.115	8,340.400	17.240
2	05	29V-70	0155	剥片	黒曜石	1	52		24.19	25.20	7.61	3.79	2	131	○		○		○						0					-14,651.137	8,340.196	17.265
2	05	29V-70	0156	砕片	黒曜石	3			7.22	4.40	0.80	0.02	1	95		○	○								F					-14,651.115	8,340.106	17.265
2	05	29V-70	0157	砕片	黒曜石	5			5.65	9.89	3.27	0.14	L			○	○					○			H					-14,651.047	8,340.140	17.290
2	05	29V-70	0158	砕片	黒曜石	1			7.05	7.46	0.57	0.03	L			○	○			○					0					-14,651.013	8,340.083	17.290
2	05	29V-70	0159	剥片	黒曜石	3			10.95	12.10	3.11	0.18	1	82		○	○								F					-14,651.194	8,340.117	17.263
2	05	29V-70	0160	砕片	黒曜石	6			4.22	3.07	0.46	0.01																		-14,651.262	8,340.049	17.241
2	05	29V-70	0161	砕片	黒曜石	5			4.30	5.55	0.67	0.02	L			○	○								F					-14,651.262	8,340.162	17.200
2	05	29V-70	0162	剥片	黒曜石	1			14.51	6.18	1.56	0.11	1	104		○	○						○		0					-14,651.239	8,340.117	17.247
2	05	29V-70	0163	砕片	黒曜石	1			9.04	5.49	1.26	0.04					○								F			B		-14,649.824	8,340.660	17.160
2	05	29V-70	0164	砕片	黒曜石	5			8.72	3.82	0.28	0.02					○								F			B		-14,649.360	8,340.672	17.164
2	05	29V-70	0165	剥片	黒曜石	1	50b	206	13.48	13.25	2.98	0.39	2	96		○	○											H		-14,649.179	8,340.626	17.157
2	05	29V-70	0166	砕片	黒曜石	5			3.43	3.26	0.55	0.01																		-14,649.043	8,340.694	17.152
2	05	29V-70	0167	砕片	黒曜石	1			4.29	2.94	0.56	0.01																		-14,650.945	8,341.453	17.325
2	05	29V-70	0168	砕片	黒曜石	5			5.44	3.96	1.21	0.02																		-14,651.100	8,340.100	
2	05	29V-70	0169	砕片	黒曜石	5			4.05	3.25	0.45	0.01																		-14,651.000	8,340.100	
2	05	29V-70	0170	剥片	黒曜石	1			10.20	8.40	1.32	0.09					○								0			B		-14,651.000	8,340.000	
2	05	29V-70	0171	砕片	黒曜石	5			4.11	3.02	0.65	0.01																		-14,651.100	8,340.100	

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
2	05	29V-70	0172	砕片	黒曜石	5			7.88	8.25	0.38	0.01																		-14,651.200	8,340.000	
2	05	29V-70	0173	砕片	黒曜石	1			3.86	5.72	1.10	0.02																		-14,650.379	8,341.883	17.225
2	05	29V-70	0174	剥片	黒曜石	6			5.91	12.82	1.90	0.11	1	110		○	○								F			L		-14,650.141	8,341.894	17.243
2	05	29V-70	0175	砕片	黒曜石	6			3.63	4.72	0.46	0.01																		-14,650.039	8,340.593	17.157
2	05	29V-70	0176	砕片	黒曜石	6			5.12	3.01	1.52	0.03																		-14,649.949	8,340.536	17.164
2	05	29V-70	0177	砕片	黒曜石	1			7.51	6.24	0.91	0.05																		-14,649.824	8,340.264	17.122
2	05	29V-70	0178	砕片	トロトロ石	1			8.65	4.54	3.11	0.12					○											VM		-14,650.254	8,343.457	17.347
2	05	29V-70	0179	剥片	トロトロ石	1			8.79	9.01	6.77	0.60																		-14,649.903	8,343.389	17.297
2	05	29V-70	0180	剥片	黒曜石	1	50a	206	10.99	7.58	2.48	0.13	1	98		○	○								F					-14,650.651	8,340.140	17.189
2	05	29V-70	0181	砕片	黒曜石	5			6.09	5.95	0.58	0.02					○								F			B		-14,650.526	8,340.242	17.205
2	05	29V-70	0182	使用痕のある剥片	黒曜石	6			14.65	10.40	2.24	0.28	1	103		○	○								H					-14,650.390	8,340.162	17.280
2	05	29V-70	0183	砕片	黒曜石	1			2.95	2.61	0.41	0.01																		-14,650.413	8,340.140	17.154
2	05	29V-70	0184	砕片	黒曜石	5			5.28	6.16	1.12	0.02	P			○	○								0					-14,651.194	8,341.543	17.237
2	05	29V-70	0185	ナイフ形石器	黒曜石	1	4		16.55	11.17	2.21	0.27					○								F	99	64			-14,651.126	8,341.487	17.222
2	05	29V-70	0186	砕片	黒曜石	5			3.22	2.27	0.88	0.01																		-14,648.737	8,340.581	17.082
2	05	29V-70	0187	砕片	黒曜石	1			11.34	4.41	3.26	0.06					○								F					-14,650.492	8,341.193	17.268
2	05	29V-70	0188	使用痕のある剥片	黒曜石	1	38a	207	19.22	8.14	4.76	0.53	1	91		○	○				○		○		F					-14,650.549	8,343.355	17.258
2	05	29V-70	0189	剥片	黒曜石	5			10.24	12.05	3.03	0.24	L			○	○								0					-14,650.062	8,340.717	17.147
2	05	29V-70	0190	剥片	黒曜石	5			11.39	10.15	1.35	0.12	1	90	○		○						○					H		-14,648.228	8,343.355	17.195
2	05	29V-70	0191	砕片	黒曜石	1			3.72	6.12	0.85	0.01																		-14,651.036	8,341.385	17.208
2	05	29V-70	0192	砕片	黒曜石	1			3.89	6.83	2.66	0.05																		-14,651.024	8,341.226	17.212
2	05	29V-70	0193	剥片	黒曜石	1			12.81	11.56	3.39	0.30	P				○						○		F					-14,650.934	8,341.294	17.206
2	05	29V-70	0195	砕片	黒曜石	6			6.77	5.54	1.42	0.04																		-14,650.141	8,340.287	17.116
2	05	29V-70	0196	砕片	黒曜石	5			4.20	3.36	0.33	0.01																		-14,650.051	8,340.298	17.110
2	05	29V-70	0197	砕片	黒曜石	6			6.04	8.82	0.58	0.04	L			○	○			○					F					-14,649.971	8,340.321	17.095
2	05	29V-70	0198	砕片	黒曜石	3			3.40	2.60	2.16	0.01																		-14,650.048	8,341.287	17.175
2	05	29V-70	0199	砕片	黒曜石	5			4.64	7.19	0.82	0.02																		-14,649.896	8,341.211	17.160
2	05	29V-70	0200	砕片	黒曜石	6			5.32	5.26	0.81	0.02																		-14,649.823	8,340.494	17.103
2	05	29V-70	0201	砕片	黒曜石	1			7.74	10.21	2.27	0.10	1	88	○	○	○								F					-14,650.254	8,340.288	17.115
2	05	29V-70	0202	砕片	黒曜石	1			7.37	13.07	2.63	0.16	P			○	○			○					F					-14,650.441	8,340.326	17.145
2	05	29V-70	0203	砕片	黒曜石	1			7.50	3.91	0.72	0.03	L			○	○								F					-14,650.938	8,340.953	17.257
2	05	29V-70	0204	剥片	黒曜石	6			16.14	17.68	2.89	0.65	1	105		○	○								H					-14,651.144	8,340.897	17.239
2	05	29V-70	0205	二次加工のある剥片	黒曜石	5	32		13.35	11.02	1.84	0.21	1	89		○	○									78		H		-14,651.013	8,341.919	17.228
2	05	29V-70	0206	砕片	黒曜石	1			3.71	7.42	1.07	0.03												○	H			B		-14,650.329	8,341.459	17.202
2	05	29V-70	0207	剥片	黒曜石	6			9.45	13.27	2.49	0.18	L			○	○	○							S					-14,649.935	8,340.813	17.145
2	05	29V-70	0208	二次加工のある剥片	硬質頁岩	1	33		17.42	8.89	2.40	0.45					○									72		VM		-14,650.235	8,340.972	17.205
2	05	29V-70	0209	砕片	黒曜石	1			5.75	9.38	1.71	0.07	L			○	○								F					-14,650.385	8,340.616	17.166
2	05	29V-70	0210	剥片	黒曜石	1			9.66	9.14	2.24	0.18					○						○		F			B		-14,650.029	8,341.966	17.196
2	05	29V-70	0211	砕片	黒曜石	3			7.53	7.76	0.87	0.05	L			○				○					F					-14,650.404	8,340.953	17.245
2	05	29V-70	0212	砕片	黒曜石	5			4.72	3.66	1.60	0.04																		-14,650.132	8,340.382	17.191
2	05	29V-70	0213	砕片	黒曜石	5			6.59	3.10	2.35	0.01																		-14,650.498	8,340.878	17.217
2	05	29V-70	0214	砕片	黒曜石	3			4.32	4.05	1.27	0.01																		-14,650.854	8,340.635	17.210
2	05	29V-70	0215	砕片	黒曜石	6			4.08	6.05	0.64	0.01																		-14,650.859	8,342.073	17.189
2	05	29V-70	0216	砕片	黒曜石	6			12.29	3.59	3.50	0.13	1	91		○	○					○			F					-14,650.243	8,341.915	17.147
2	05	29V-70	0217	使用痕のある剥片	黒曜石	6			15.84	11.59	3.12	0.41					○						○		F			B		-14,650.037	8,341.947	17.174
2	05	29V-70	0218	砕片	黒曜石	1			10.83	3.80	1.13	0.04					○								F			B		-14,650.559	8,341.204	17.270
2	05	29V-70	0219	砕片	黒曜石	3			4.48	11.18	1.69	0.05					○							○	F			B		-14,650.970	8,341.346	17.205
2	05	29V-70	0220	ナイフ形石器	黒曜石	3	13		10.41	10.13	3.12	0.27					○									88		B	+	-14,650.717	8,341.172	17.225
2	05	29V-70	0221	砕片	黒曜石	1			4.97	3.20	1.06	0.02																		-14,650.496	8,341.078	17.184
2	05	29V-70	0222	剥片	黒曜石	3			8.18	15.13	5.18	0.46	1	85		○	○						○		F					-14,650.748	8,340.904	17.285
2	05	29V-70	0223	砕片	黒曜石	3			4.30	5.74	1.31	0.02	L			○	○								F					-14,650.401	8,340.872	17.179
2	05	29V-70	0224	剥片	黒曜石	1			6.85	12.28	2.21	0.25	L			○	○						○					H		-14,650.180	8,340.872	17.189
2	05	29V-70	0225	砕片	黒曜石	3			3.06	1.56	1.17	0.01																		-14,650.037	8,340.793	17.117
2	05	29V-70	0226	使用痕のある剥片	黒曜石	6			18.68	13.82	1.38	0.29	L			○	○								F					-14,650.243	8,340.477	17.165
2	05	29V-70	0227	剥片	黒曜石	1	53		28.67	14.75	6.53	1.94	1	124		○	○	○							F					-14,650.448	8,340.572	17.276
2	05	29V-70	0228	砕片	黒曜石	1			4.78	9.43	1.03	0.05	L			○	○											H		-14,650.638	8,340.604	17.280
2	05	29V-70	0229	使用痕のある剥片	黒曜石	2			16.07	8.23	1.64	0.27	L			○	○	○										H		-14,650.938	8,340.635	17.156
2	05	29V-70	0230	使用痕のある剥片	黒曜石	1			8.68	12.81	1.76	0.17	L			○	○								F					-14,650.922	8,340.446	17.159
2	05	29V-70	0231	石核	ガラス質黒色安山岩	1	56		38.36	34.44	28.54	33.88																		-14,651.080	8,340.098	17.214
2	05	29V-70	0232	剥片	黒曜石	1			19.43	20.00	2.26	0.81	P			○	○	○							H					-14,651.033	8,340.019	17.202
2	05	29V-70	0233	二次加工のある剥片	黒曜石	1	24		16.42	12.42	2.88	0.46	2	84	○		○													-14,650.733	8,340.098	17.125
2	05	29V-70	0234	剥片	黒曜石	6			17.25	15.68	3.41	0.78	2	95			○								H					-14,650.496	8,340.351	17.219
2	05	29V-70	0235	砕片	黒曜石	3			7.75	6.04	2.55	0.08													F			B		-14,650.290	8,341.062	17.214
2	05	29V-70	0236	砕片	黒曜石	6			4.78	7.96	1.56	0.03	L			○	○								F					-14,648.963	8,341.710	16.950
2	05	29V-70	0237	剥片	黒曜石	6			4.07	11.72	3.56	0.14	L			○	○											H		-14,648.726	8,341.773	17.112
2	05	29V-70	0238	砕片	黒曜石	5			4.01	2.89	0.29	0.01																		-14,648.047	8,341.883	17.145
2	05	29V-70	0239	砕片	黒曜石	1			7.87	5.73	1.26	0.05						○							F			B		-14,648.710	8,341.820	17.110
2	05	29V-70	0240	剥片	黒曜石	1			10.35	9.95	1.41	0.14	L			○	○		○						S					-14,648.631	8,341.899	17.119
2	05	29V-70	0241	砕片	黒曜石	1			3.86	3.46	0.34	0.01																		-14,648.552	8,341.852	17.130
2	05	29V-70	0242	砕片	黒曜石	1			6.03	7.40	3.31	0.07	P			○	○								F					-14,648.631	8,341.789	17.129
2	05	29V-70	0243	剥片	黒曜石	1			22.73	14.54	6.12	1.49	1	119	○		○		○		○							H		-14,650.432	8,340.446	17.125
2	05	29V-70	0244	砕片	黒曜石	3			8.39	4.83	0.39	0.02	L			○	○								F					-14,648.426	8,341.615	16.913
2	05	29V-70	0245	剥片	黒曜石	3			12.04	13.82	5.56	0.68					○											VM		-14,648.299	8,341.583	16.915

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
2	05	29V-70	0246	砕片	黒曜石	3			4.25	5.05	0.85	0.01																		-14,648.378	8,341.757	16.916
2	05	29V-70	0247	砕片	黒曜石	1			7.29	6.93	3.60	0.10																		-14,648.284	8,341.725	16.925
2	05	29V-70	0248	削器	黒曜石	1	16a	201	36.69	33.69	6.02	6.45	3	84	○	○	○											H		-14,648.205	8,341.868	17.115
2	05	29V-70	0249	使用痕のある剥片	黒曜石	2	44		58.09	36.21	12.98	18.79					○											T		-14,648.173	8,342.168	17.105
2	05	29V-70	0250	砕片	黒曜石	5			4.12	5.10	1.22	0.02																		-14,648.157	8,341.947	17.116
2	05	29V-70	0251	砕片	黒曜石	5			2.64	3.81	2.07	0.02																		-14,648.094	8,341.962	17.121
2	05	29V-70	0252	砕片	黒曜石	5			3.79	7.41	1.82	0.05	L			○	○								F					-14,648.157	8,341.631	17.130
2	05	29V-70	0253	砕片	黒曜石	3			4.73	6.93	1.53	0.05	L			○	○								F					-14,648.141	8,341.536	17.139
2	05	29V-70	0254	剥片	黒曜石	6			5.24	12.48	1.61	0.09	L			○	○											H		-14,648.047	8,341.678	17.126
2	05	29V-70	0255	砕片	黒曜石	6			4.33	6.49	0.83	0.02	L			○	○								F					-14,648.062	8,341.599	17.139
2	05	29V-70	0256	二次加工のある剥片	頁質頁岩	1	34		68.04	57.51	8.28	25.37	4	106	○	○	○		○						F					-14,648.189	8,343.337	17.350
2	05	29V-70	0257	剥片	黒曜石	5			15.96	6.67	2.70	0.32	1	94		○	○						○					H		-14,650.827	8,341.204	17.165
2	05	29V-70	0258	砕片	黒曜石	6			3.42	3.12	1.53	0.01																		-14,650.448	8,340.904	17.175
2	05	29V-70	0259	剥片	黒曜石	1			9.59	10.58	1.46	0.13	L			○	○											H		-14,650.265	8,340.864	17.137
2	05	29V-70	0260	砕片	黒曜石	3			7.16	3.83	2.45	0.05																		-14,650.653	8,340.706	17.264
2	05	29V-70	0261	剥片	黒曜石	1			18.74	15.13	6.31	1.54	L			○	○		○				○					H		-14,650.671	8,340.494	17.159
2	05	29V-70	0262	砕片	黒曜石	5			5.04	4.34	0.85	0.02	L			○	○						○		F					-14,651.076	8,340.221	17.140
2	05	29V-70	0263	剥片	黒曜石	6			5.56	13.44	3.21	0.28											○		H			B		-14,651.014	8,340.097	17.168
2	05	29V-70	0264	二次加工のある剥片	黒曜石	1	26		32.33	18.83	5.39	2.15	1	101		○	○							○	F					-14,649.286	8,341.402	16.963
2	05	29V-70	0265	剥片	黒曜石	1			13.68	23.16	6.66	1.36					○						○					VM		-14,648.987	8,341.358	17.050
2	05	29V-70	0266	砕片	黒曜石	5			3.93	4.51	0.70	0.01	L			○	○								F					-14,650.503	8,340.423	17.157
2	05	29V-70	0267	砕片	黒曜石	1			3.47	6.78	0.94	0.02	L			○	○								F					-14,650.918	8,340.979	17.173
2	05	29V-70	0268	石核	安山岩	1	57		64.40	52.47	52.49	190.22																		-14,648.149	8,341.437	17.130
2	05	29V-70	0269	砕片	黒曜石	1			4.17	5.08	1.64	0.03	L			○	○								F					-14,648.537	8,341.711	17.135
2	05	29V-70	0270	砕片	黒曜石	1			3.35	5.95	0.79	0.02					○								F			B		-14,650.415	8,340.415	17.124
2	05	29V-70	0271	剥片	黒曜石	3			9.04	11.66	1.86	0.14	P			○	○								F					-14,650.538	8,340.679	17.180
2	05	29V-70	0272	砕片	黒曜石	3			4.71	4.67	0.95	0.01																		-14,648.026	8,341.887	16.955
2	05	29V-70	0273	剥片	黒曜石	3			10.92	5.84	1.69	0.07	P			○	○								F					-14,648.211	8,342.716	16.972
2	05	29V-70	0274	砕片	黒曜石	3			3.80	4.24	0.55	0.01					○											B		-14,650.053	8,341.252	17.068
2	05	29V-70	0275	砕片	黒曜石	3			4.73	3.64	2.10	0.03																		-14,650.274	8,341.235	17.104
2	05	29V-70	0276	砕片	黒曜石	5			4.48	3.06	0.40	0.01																		-14,650.397	8,341.279	17.105
2	05	29V-70	0277	剥片	黒曜石	1			11.87	7.74	2.13	0.12	L			○				○					F					-14,650.688	8,341.261	17.120
2	05	29V-70	0278	剥片	黒曜石	6			11.15	14.16	2.48	0.34	1	98		○	○			○					F					-14,650.768	8,341.331	17.131
2	05	29V-70	0279	砕片	黒曜石	1			7.88	4.38	0.98	0.06	L			○	○								F					-14,650.627	8,341.428	17.109
2	05	29V-70	0280	砕片	黒曜石	1			5.17	7.26	1.35	0.04					○											VM		-14,650.759	8,340.873	17.135
2	05	29V-70	0281	砕片	黒曜石	1			2.88	5.86	1.71	0.02																		-14,650.451	8,340.792	17.123
2	05	29V-70	0282	砕片	黒曜石	1			3.34	6.16	1.07	0.02																		-14,650.517	8,341.522	17.105
2	05	29V-70	0283	砕片	黒曜石	1			4.87	5.59	0.86	0.02																		-14,650.381	8,341.553	17.105
2	05	29V-70	0284	砕片	黒曜石	1			3.75	7.38	0.80	0.03	L			○	○								F					-14,650.152	8,341.668	17.090
2	05	29V-70	0285	砕片	黒曜石	1			3.18	3.31	0.77	0.01																		-14,650.756	8,341.012	17.127
2	05	29V-70	0286	剥片	黒曜石	1			4.15	7.71	0.63	0.04					○								F			B		-14,649.955	8,340.450	17.095
2	05	29V-70	0287	砕片	黒曜石	1			3.40	4.27	0.45	0.01																		-14,648.019	8,341.709	16.920
2	05	29V-70	0288	砕片	黒曜石	5			2.83	4.34	0.67	0.01																		-14,648.165	8,341.782	16.905
2	05	29V-70	0289	砕片	黒曜石	3			4.08	5.73	0.81	0.01	L			○	○								F					-14,650.433	8,340.939	17.120
2	05	29V-70	0290	剥片	黒曜石	1			6.39	13.82	2.95	0.18					○	○							F			B		-14,649.819	8,340.648	17.075
2	05	29V-70	0291	砕片	黒曜石	1			5.84	7.46	0.83	0.02	L			○	○								F					-14,650.829	8,341.366	17.138
2	05	29V-70	0292	砕片	黒曜石	1			5.90	3.62	0.52	0.02	L			○	○								F					-14,650.631	8,341.210	17.115
2	05	29V-70	0293	剥片	黒曜石	3			10.86	3.72	3.21	0.08	P			○	○								F					-14,651.557	8,340.814	17.218
2	05	29V-70	0294	砕片	黒曜石	1			5.56	7.31	1.31	0.05	P			○	○								F					-14,650.631	8,340.825	17.097
2	05	29V-70	0296	剥片	黒曜石	1			7.85	11.79	2.85	0.19	1	101		○	○						○		H					-14,651.557	8,341.002	17.148
2	05	29V-70	0297	剥片	黒曜石	6			9.95	14.85	1.23	0.20	L			○	○								H					-14,651.630	8,341.220	17.128
2	05	29V-70	0298	剥片	黒曜石	6			14.79	9.01	1.75	0.26				○	○		○						H					-14,651.453	8,341.012	17.145
2	05	29V-70	0299	砕片	黒曜石	3			2.33	2.77	0.37	0.01																		-14,651.849	8,340.731	17.146
2	05	29V-70	0300	剥片	黒曜石	5			6.44	11.15	3.28	0.17	L			○	○								S					-14,650.662	8,341.366	17.029
2	05	29V-70	0301	剥片	黒曜石	1			16.00	17.70	3.51	0.65	1	91	○								○					H		-14,650.995	8,340.866	17.081
2	05	29V-70	0302	剥片	黒曜石	3			8.85	9.96	1.67	0.11	1	81		○	○								F					-14,651.110	8,341.220	17.090
2	05	29V-70	0303	砕片	黒曜石	1			8.32	9.30	4.60	0.26	L			○							○		S					-14,651.120	8,341.106	17.080
2	05	29V-70	0304	砕片	黒曜石	6			4.54	6.06	2.14	0.05	L			○	○								F					-14,650.943	8,340.773	17.059
2	05	29V-70	0305	砕片	黒曜石	3			4.09	5.36	0.86	0.01	L			○	○								F					-14,651.016	8,341.543	17.038
2	05	29V-70	0306	剥片	黒曜石	1			16.47	12.12	3.42	0.53	1	104			○								F					-14,650.215	8,340.648	17.038
2	05	29V-70	0307	剥片	黒曜石	6			14.70	12.47	4.49	0.43	L			○	○								S					-14,649.185	8,340.637	17.116
2	05	29V-70	0308	剥片	黒曜石	1	51a	208	20.92	7.14	6.41	0.46	P			○	○				○				F					-14,651.495	8,341.251	17.117
2	05	29V-70	0309	使用痕のある剥片	黒曜石	1	41		34.99	25.39	4.21	3.14	2	106			○						○		S					-14,650.725	8,340.460	17.047
2	05	29V-70	0310	砕片	黒曜石	3			2.69	7.08	0.96	0.02	L			○	○								F					-14,650.288	8,340.731	17.047
2	05	29V-70	0311	剥片	黒曜石	3			6.89	9.96	2.57	0.16	1	89	○	○	○								H					-14,650.475	8,340.107	17.077
2	05	29V-70	0312	砕片	黒曜石	1			2.85	5.19	0.96	0.02					○								F			B		-14,651.276	8,340.252	17.059
2	05	29V-70	0313	剥片	黒曜石	1			7.02	8.27	1.41	0.02	1	104		○	○								F					-14,651.349	8,340.939	17.058
2	05	29V-70	0314	二次加工のある剥片	黒曜石	1			10.35	5.96	1.71	0.08					○								F			B		-14,650.964	8,340.700	17.014
2	05	29V-70	0315	剥片	黒曜石	1			8.31	5.71	2.08	0.07	L				○								F					-14,650.465	8,341.168	16.977
2	05	29V-70	0316	剥片	黒曜石	6			10.48	7.55	0.88	0.07	L				○								F					-14,650.204	8,341.376	16.959
2	05	29V-70	0317	剥片	黒曜石	5			10.59	6.62	1.57	0.08							○				○		F			B		-14,651.006	8,342.656	17.141
2	05	29V-70	0318	剥片	黒曜石	1			9.20	5.02	0.96	0.05	L			○	○								F					-14,650.517	8,340.492	16.990
2	05	29V-70	0319	剥片	黒曜石	1			9.67	10.30	1.62	0.08	L			○	○								O					-14,650.371	8,340.096	17.093

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
2	05	29V-70	0320	剥片	黒曜石	1			10.48	12.58	2.77	0.28					○		○				○		H			B		-14,651.193	8,341.303	16.996
2	05	29V-70	0321	剥片	黒曜石	1			19.32	15.57	4.34	1.26					○		○				○		H			B		-14,650.881	8,340.835	16.978
2	05	29V-70	0322	剥片	黒曜石	3			6.78	8.55	2.36	0.09					○								F			B		-14,650.423	8,340.658	16.937
2	05	29V-70	0323	剥片	黒曜石	6			12.78	10.03	3.30	0.29					○											VM		-14,650.308	8,340.263	16.965
2	05	29V-70	0324	剥片	黒曜石	3			15.04	9.73	1.59	0.21	1	93		○	○								H					-14,649.747	8,340.055	17.000
2	05	29V-70	0325	剥片	黒曜石	6			8.86	5.31	0.48	0.03					○											VM		-14,648.227	8,342.365	16.861
2	05	29V-70	0326	剥片	黒曜石	1			18.33	12.98	3.47	0.49	1	107			○						○		F					-14,648.290	8,342.323	16.838
2	05	29V-70	0327	砕片	黒曜石	3			4.39	8.23	1.22	0.03					○								F			B		-14,648.040	8,341.938	16.830
2	05	29V-70	0328	剥片	黒曜石	2			11.81	6.27	1.31	0.08	L			○	○			○					F					-14,648.071	8,341.897	16.864
2	05	29V-70	0329	剥片	黒曜石	1			9.13	8.64	2.30	0.12	L			○	○								S					-14,650.360	8,342.292	16.861
2	06	30U-64	0001	使用痕のある剥片	黒曜石	2	2		56.46	42.11	11.96	15.23	1	85		○	○		○						F					-14,684.121	8,318.375	17.330
2	06	30U-64	0002	ナイフ形石器	黒曜石	8	1		46.59	19.20	5.87	4.19					○								F	73	55			-14,686.368	8,317.206	17.315
2	06	30U-64	0003	使用痕のある剥片	黒曜石	10	3		38.99	17.82	10.39	4.55	P				○				○			○	O					-14,686.907	8,318.734	17.380
2	06	30U-64	0004	砕片	黒曜石	11			6.62	9.59	2.62	0.10																		-14,686.098	8,317.116	17.315
2	06	30U-64	0005	剥片	黒曜石	11	5		18.87	6.26	1.50	0.17					○							○				VM		-14,686.458	8,317.386	17.137
2	06	30U-65	0001	剥片	黒曜石	9	4		23.30	26.72	7.33	2.37	1	88		○	○											H		-14,685.918	8,320.263	17.150
2	07	35S-73	0003	ナイフ形石器	頁岩	1	1		64.74	15.94	10.47	9.51					○			○						81	31			-14,891.461	8,235.704	16.678
2	07	35S-73	0004	剥片	黒曜石	12			15.49	10.73	2.30	0.30	L			○	○			○					F					-14,890.898	8,234.510	16.512
2	07	35S-74	0002	使用痕のある剥片	黒曜石	12	3		30.81	22.69	6.91	3.27	1	106		○	○	○							H					-14,891.017	8,236.131	16.655
2	07	35S-83	0001	剥片	黒曜石	12			15.79	12.71	2.81	0.41	2	106		○	○													-14,892.707	8,235.022	16.820
2	07	35S-84	0001	剥片	黒曜石	12			6.70	12.00	2.11	0.11	L			○	○								O					-14,893.166	8,236.702	16.980
2	07	35S-84	0002	使用痕のある剥片	黒曜石	12	2		29.68	17.61	6.39	2.79	2	86				○	○									H		-14,892.613	8,236.462	16.658
2	08	36R-93	0001	礫片	砂岩	1	2d	212	36.29	21.97	16.25	13.66																		-14,937.895	8,195.703	16.601
2	08	36R-93	0002	礫片	砂岩	1	2b	212	70.17	53.67	29.10	123.42																		-14,937.352	8,195.024	16.497
2	08	36R-93	0003	礫片	砂岩	1	2a	212	31.49	28.69	10.53	12.78																		-14,937.038	8,195.168	16.544
2	08	36R-93	0004	剥片	黒曜石	13	1		8.13	11.48	2.66	0.24	1	111		○	○					○		○						-14,936.403	8,193.397	16.674
2	08	36R-93	0005	礫片	砂岩	1	2c	212	49.86	30.13	21.95	28.28																		-14,937.081	8,195.024	16.508
3	09	35X-36	0002	剥片	ホルンフェルス	2			19.27	16.68	5.63	0.74	1	112		○	○								F					-14,875.567	8,447.315	14.812
3	09	35X-36	0003	礫片	流紋岩			310	77.11	49.15	45.03	151.46																		-14,875.577	8,446.649	14.438
3	09	35X-36	0004	礫片	流紋岩				20.12	14.56	10.76	2.13																		-14,875.889	8,446.254	14.438
3	09	35X-36	0005	剥片	チャート	1	16a	301	17.11	24.54	7.89	2.66					○								F			B		-14,875.380	8,446.188	14.639
3	09	35X-36	0006	礫片	流紋岩			335	42.08	32.59	15.89	20.29																		-14,875.133	8,446.188	14.633
3	09	35X-36	0007	礫片	流紋岩				51.36	41.45	14.51	28.27																		-14,875.183	8,445.860	14.461
3	09	35X-36	0008	礫片	流紋岩			343	35.90	24.75	19.21	12.30																		-14,874.755	8,445.663	14.492
3	09	35X-36	0009	礫片	チャート				25.41	24.92	16.80	7.57																		-14,875.873	8,445.449	14.590
3	09	35X-36	0010	礫片	流紋岩				54.38	36.94	22.99	32.46																		-14,875.331	8,444.841	14.528
3	09	35X-36	0011	礫片	流紋岩			367	43.92	39.12	14.81	33.90																		-14,875.511	8,446.090	14.447
3	09	35X-36	0012	剥片	ホルンフェルス	1			49.54	23.29	12.32	8.58	1	103			○			○			○		F					-14,875.906	8,446.534	14.332
3	09	35X-36	0013	角錐状石器	ホルンフェルス	5	1		44.60	18.75	9.47	7.37					○									78				-14,875.840	8,446.419	14.456
3	09	35X-36	0014	礫片	流紋岩			331	59.95	50.18	32.51	77.83																		-14,875.331	8,445.991	14.465
3	09	35X-36	0016	砕片	ホルンフェルス	2			24.17	26.10	11.52	4.90	1	130			○		○						F					-14,875.577	8,444.792	14.432
3	09	35X-36	0017	礫片	流紋岩			331	23.02	24.20	10.99	4.99																		-14,875.133	8,445.285	14.467
3	09	35X-36	0018	礫片	流紋岩			367	25.23	20.65	9.26	4.58																		-14,875.462	8,446.090	14.443
3	09	35X-38	0002	礫片	流紋岩				70.89	60.57	45.51	226.99																		-14,873.373	8,453.715	14.626
3	09	35X-45	0002	礫片	流紋岩				39.32	26.02	16.70	18.91																		-14,879.899	8,442.310	14.458
3	09	35X-46	0002	礫片	流紋岩			367	27.93	18.17	12.46	5.43																		-14,877.599	8,447.503	14.808
3	09	35X-46	0003	石核	ホルンフェルス	2	18		45.44	49.59	27.32	52.96																		-14,877.796	8,447.207	14.404
3	09	35X-46	0004	礫片	砂岩				27.50	19.23	11.87	7.05																		-14,878.355	8,446.944	14.540
3	09	35X-46	0005	礫片	チャート				30.73	27.44	15.62	10.09																		-14,877.730	8,446.797	14.508
3	09	35X-46	0006	礫片	チャート				32.62	26.92	18.14	14.37																		-14,877.007	8,446.747	14.736
3	09	35X-46	0007	礫片	流紋岩				26.73	16.09	12.81	4.89																		-14,876.432	8,446.731	14.685
3	09	35X-46	0008	礫片	流紋岩			310	39.11	35.37	16.62	27.01																		-14,876.366	8,447.306	14.430
3	09	35X-46	0009	礫片	流紋岩				41.02	28.33	14.06	14.73																		-14,876.415	8,446.188	14.781
3	09	35X-46	0010	礫片	砂岩				23.23	12.84	12.71	3.45																		-14,877.106	8,446.139	14.687
3	09	35X-46	0011	剥片	チャート	2			30.12	15.19	9.20	4.30	1	98		○	○		○						F			L		-14,877.582	8,446.205	14.688
3	09	35X-46	0012	剥片	ホルンフェルス	2			26.78	14.47	9.40	3.43	L			○	○								F					-14,877.779	8,446.221	14.670
3	09	35X-46	0013	剥片	チャート	1	16g	301	21.30	22.87	4.92	1.70	2	104		○	○								H					-14,877.993	8,446.188	14.667
3	09	35X-46	0014	剥片	ホルンフェルス	2			16.09	12.73	8.01	1.60					○											VM		-14,878.437	8,446.238	14.735
3	09	35X-46	0015	礫片	チャート				16.53	13.35	9.15	1.56																		-14,878.667	8,446.320	14.737
3	09	35X-46	0016	礫片	チャート				37.28	26.44	24.13	16.13																		-14,879.143	8,446.451	14.565
3	09	35X-46	0017	礫片	チャート				32.52	29.21	15.68	15.89																		-14,879.374	8,445.778	14.715
3	09	35X-46	0018	礫片	流紋岩				79.45	55.47	39.65	185.96																		-14,879.489	8,445.153	14.472
3	09	35X-46	0019	礫片	チャート				25.34	19.67	18.83	6.95																		-14,879.834	8,444.874	14.527
3	09	35X-46	0020	剥片	ガラス質黒色安山岩	1			27.42	35.48	7.50	6.84	1	105		○	○								S					-14,879.784	8,444.479	14.583
3	09	35X-46	0021	礫片	チャート				18.46	19.77	12.43	3.47																		-14,879.258	8,444.726	14.550
3	09	35X-46	0022	礫片	チャート				28.27	21.41	20.92	4.39																		-14,878.667	8,445.301	14.496
3	09	35X-46	0023	礫片	流紋岩			367	80.08	54.23	41.36	128.89																		-14,878.453	8,445.383	14.479
3	09	35X-46	0024	礫片	流紋岩			367	35.21	27.02	17.72	15.86																		-14,877.862	8,445.728	14.612
3	09	35X-46	0025	剥片	ホルンフェルス	3			16.65	21.63	6.54	1.50	1	107			○								F					-14,878.009	8,445.301	14.632
3	09	35X-46	0026	礫片	チャート				22.98	24.50	16.89	7.94																		-14,878.059	8,444.545	14.519
3	09	35X-46	0027	剥片	ホルンフェルス	2			13.98	18.96	6.68	1.55	1	91			○		○						F					-14,877.779	8,445.482	14.614
3	09	35X-46	0028	礫片	流紋岩			343	75.56	42.54	26.00	76.10																		-14,877.549	8,445.416	14.653
3	09	35X-46	0029	剥片	ガラス質黒色安山岩	1			14.09	29.63	7.56	3.16	2	92					○				○		F					-14,877.221	8,445.104	14.876

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	09	35X-46	0030	剥片	ホルンフェルス	2			50.53	19.34	4.93	6.83	1	106			○	○		○			○		0					-14,876.859	8,445.087	14.670
3	09	35X-46	0031	剥片	チャート	2			31.60	15.63	10.91	4.31	L				○		○						F					-14,876.399	8,445.498	14.628
3	09	35X-46	0032	石核	ホルンフェルス	2	11b	306	45.84	74.34	21.89	66.04	2	107			○	○	○			○			0					-14,876.596	8,444.841	14.500
3	09	35X-46	0033	剥片	ホルンフェルス	1			18.06	28.73	14.57	4.93	2	93		○	○	○							F					-14,876.875	8,444.726	14.470
3	09	35X-46	0034	石核	チャート	1	16d	301	29.36	59.04	23.03	40.99																		-14,876.547	8,444.479	14.535
3	09	35X-46	0035	石核	黒曜石	1	17		27.83	39.03	16.51	14.22																		-14,877.286	8,444.101	14.453
3	09	35X-46	0036	剥片	ホルンフェルス	1	21e	304	40.99	17.43	9.07	4.97	1	108		○	○			○					F					-14,876.465	8,445.876	14.768
3	09	35X-46	0037	剥片	ホルンフェルス	1	21c	304	37.75	37.85	7.32	7.02	1	111		○	○								S					-14,877.434	8,445.745	14.748
3	09	35X-46	0038	剥片	ホルンフェルス	2			26.68	25.49	4.29	3.07	1	114					○						F					-14,877.648	8,444.890	14.708
3	09	35X-46	0039	碎片	ホルンフェルス			348	59.35	45.91	20.64	81.52																		-14,879.834	8,446.994	14.425
3	09	35X-46	0040	碎片	チャート				47.34	36.41	24.21	38.22																		-14,879.275	8,445.810	14.505
3	09	35X-46	0041	碎片	チャート			337	48.94	32.09	17.89	27.94																		-14,879.045	8,445.794	14.487
3	09	35X-46	0042	碎片	チャート			334	42.70	27.40	21.69	32.71																		-14,878.946	8,445.909	14.487
3	09	35X-46	0043	碎片	チャート				24.07	24.99	13.41	8.39																		-14,879.078	8,446.221	14.514
3	09	35X-46	0044	碎片	砂岩			366	28.18	24.73	19.47	13.32																		-14,878.568	8,446.073	14.518
3	09	35X-46	0045	碎片	砂岩			366	57.60	35.33	37.19	85.53																		-14,878.585	8,446.205	14.415
3	09	35X-46	0046	碎片	砂岩			366	40.53	28.26	28.00	33.60																		-14,878.437	8,446.139	14.458
3	09	35X-46	0047	剥片	ホルンフェルス	2			39.65	52.52	17.27	29.40	1	111			○		○				○		S					-14,878.404	8,445.745	14.502
3	09	35X-46	0049	碎片	チャート				58.10	52.84	31.84	80.06																		-14,878.272	8,446.041	14.452
3	09	35X-46	0050	剥片	ホルンフェルス	1	21k	304	47.51	23.00	13.72	13.17																		-14,878.075	8,446.008	14.653
3	09	35X-46	0051	碎片	砂岩			365	70.69	60.12	37.64	151.23																		-14,878.092	8,446.320	14.449
3	09	35X-46	0052	碎片	流紋岩			364	40.80	29.95	19.83	23.19																		-14,878.092	8,446.484	14.467
3	09	35X-46	0053	石核	チャート	1	16h	301	42.35	50.42	48.85	101.40																		-14,877.779	8,446.797	14.383
3	09	35X-46	0054	剥片	ホルンフェルス	1	21d	304	42.48	19.46	12.01	9.25	1	118		○	○								S					-14,877.746	8,446.501	14.461
3	09	35X-46	0055	剥片	ホルンフェルス	1	21g	304	41.62	29.37	7.93	8.13	2	111		○	○								F					-14,877.862	8,446.254	14.548
3	09	35X-46	0056	碎片	チャート			336	35.18	34.33	12.73	13.57																		-14,877.977	8,445.778	14.565
3	09	35X-46	0057	碎片	チャート				34.13	29.81	12.92	8.82																		-14,877.894	8,445.548	14.565
3	09	35X-46	0058	碎片	砂岩			320	36.30	27.06	11.77	11.02																		-14,878.092	8,445.432	14.470
3	09	35X-46	0059	石核	ホルンフェルス	2	9		23.41	52.54	44.48	55.59																		-14,877.944	8,445.219	14.524
3	09	35X-46	0060	碎片	流紋岩				36.76	24.32	15.11	13.45																		-14,878.470	8,444.331	14.499
3	09	35X-46	0061	碎片	チャート			337	52.09	29.03	19.58	30.55																		-14,879.078	8,445.728	14.448
3	09	35X-46	0062	碎片	砂岩				18.38	13.65	5.51	1.11																		-14,877.631	8,445.712	14.571
3	09	35X-46	0063	碎片	チャート				16.25	9.16	10.22	1.56																		-14,877.451	8,445.580	14.540
3	09	35X-46	0064	剥片	チャート	1			22.66	16.67	5.45	1.93	1	106			○							○	F					-14,877.385	8,445.975	14.693
3	09	35X-46	0065	剥片	ホルンフェルス	6			45.15	29.23	18.40	17.19	2	108		○		○	○			○			F					-14,877.106	8,446.747	14.576
3	09	35X-46	0066	石核	チャート	2	8b	303	25.54	41.26	14.39	16.05	4	84								○			S					-14,877.073	8,446.435	14.603
3	09	35X-46	0067	ナイフ形石器	チャート	2	2		48.26	22.03	14.07	11.50																		-14,876.958	8,446.024	14.627
3	09	35X-46	0068	剥片	ホルンフェルス	2	11a	306	31.10	31.07	11.99	7.44	1	132			○	○					○		F					-14,877.451	8,445.054	14.544
3	09	35X-46	0069	剥片	ホルンフェルス	3			48.97	43.98	7.77	12.97	1	95			○			○					F					-14,877.582	8,444.808	14.505
3	09	35X-46	0070	剥片	チャート	1	16c	301	15.30	19.93	7.95	2.02	1	89				○							H					-14,877.401	8,444.726	14.375
3	09	35X-46	0071	碎片	流紋岩				47.44	36.48	30.86	42.61																		-14,876.519	8,447.146	14.410
3	09	35X-46	0072	碎片	砂岩			316	36.04	33.52	21.25	19.96																		-14,876.560	8,446.218	14.650
3	09	35X-46	0073	碎片	流紋岩				47.67	41.50	17.24	32.24																		-14,876.963	8,446.339	14.487
3	09	35X-46	0074	碎片	砂岩			365	39.61	22.56	23.38	14.37																		-14,877.306	8,446.440	14.557
3	09	35X-46	0076	碎片	流紋岩			363	26.84	22.65	10.60	8.25																		-14,876.620	8,446.036	14.701
3	09	35X-46	0077	碎片	流紋岩			363	43.89	37.48	30.99	42.69																		-14,876.870	8,445.915	14.548
3	09	35X-46	0078	碎片	砂岩			365	22.22	15.85	8.53	4.30																		-14,876.567	8,445.791	14.641
3	09	35X-46	0079	碎片	砂岩			316	51.55	41.82	26.91	52.85																		-14,876.727	8,445.648	14.545
3	09	35X-46	0080	剥片	ホルンフェルス	2			28.91	53.05	15.95	19.38	1	106			○					○			0					-14,876.460	8,445.399	14.508
3	09	35X-46	0081	碎片	流紋岩			310	30.67	20.55	15.43	6.83																		-14,876.977	8,445.256	14.535
3	09	35X-46	0082	碎片	流紋岩			362	26.69	25.12	11.73	5.55																		-14,878.195	8,446.235	14.507
3	09	35X-46	0083	碎片	流紋岩			367	42.69	36.20	17.89	31.54																		-14,878.195	8,446.106	14.562
3	09	35X-46	0084	碎片	安山岩			313	61.14	35.45	33.04	70.67																		-14,878.124	8,446.063	14.578
3	09	35X-46	0085	碎片	安山岩			313	38.60	31.19	36.72	26.84																		-14,878.195	8,446.049	14.572
3	09	35X-46	0086	碎片	流紋岩			364	33.98	26.88	22.59	25.44																		-14,878.081	8,445.891	14.555
3	09	35X-46	0089	碎片	チャート				35.90	19.50	23.20	11.95																		-14,878.124	8,445.791	14.554
3	09	35X-46	0090	剥片	ホルンフェルス	3	12b	307	60.42	64.19	27.03	82.10	1	113		○	○		○	○	○				F					-14,878.095	8,445.691	14.537
3	09	35X-46	0091	碎片	トロトロ石				23.34	19.54	15.81	5.02																		-14,878.023	8,445.519	14.483
3	09	35X-46	0092	碎片	チャート				21.06	15.18	5.85	1.87																		-14,877.293	8,445.247	14.538
3	09	35X-46	0093	碎片	流紋岩			335	21.28	20.57	11.46	4.71																		-14,877.364	8,445.032	14.447
3	09	35X-46	0094	剥片	ホルンフェルス	2			22.10	20.70	6.92	2.10	1	91			○	○							F					-14,877.250	8,445.017	14.480
3	09	35X-46	0095	二次加工のある剥片	黒曜石	1	3		28.89	32.02	8.19	6.59	L			○	○											H		-14,877.092	8,445.075	14.508
3	09	35X-46	0096	剥片	チャート	2	8a	303	37.91	55.31	8.71	14.26	1	117		○	○	○		○				○	H					-14,876.734	8,444.673	14.480
3	09	35X-46	0097	剥片	ホルンフェルス	2			33.71	20.88	7.75	4.26	1	94			○						○		F					-14,877.006	8,444.745	14.362
3	09	35X-46	0098	剥片	ホルンフェルス	2			22.18	11.70	4.50	0.97	1	96		○		○	○											-14,876.591	8,445.189	14.307
3	09	35X-46	0099	碎片	砂岩			366	36.38	25.79	22.01	16.38																		-14,877.923	8,446.837	14.455
3	09	35X-46	0100	碎片	砂岩			366	58.74	35.66	39.03	74.83																		-14,878.683	8,446.249	14.416
3	09	35X-46	0101	碎片	砂岩			365	35.62	33.71	7.92	7.71																		-14,878.554	8,445.877	14.464
3	09	35X-46	0102	剥片	ホルンフェルス	4			49.78	58.68	17.14	65.66	1	120		○	○				○	○	○		0					-14,876.548	8,446.135	14.632
3	09	35X-46	0103	碎片	流紋岩			363	42.30	24.02	25.09	27.30																		-14,876.576	8,446.078	14.660
3	09	35X-46	0104	碎片	流紋岩			363	27.93	22.89	18.27	8.27																		-14,876.576	8,445.992	14.642
3	09	35X-46	0106	剥片	チャート	1	16f	301	48.92	50.74	24.67	57.65	2	123	○		○											H		-14,876.591	8,445.949	14.567
3	09	35X-46	0107	剥片	ホルンフェルス	1	21m	304	44.72	16.71	8.74	7.28	1	101		○	○				○				F					-14,876.491	8,446.249	14.510

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	09	35X-46	0108	礫片	流紋岩				80.58	50.07	26.51	92.42																		-14,876.820	8,445.777	14.512
3	09	35X-46	0109	礫片	流紋岩			335	63.06	51.52	28.94	85.66																		-14,876.705	8,445.476	14.489
3	09	35X-46	0110	礫片	流紋岩			310	34.60	32.38	29.09	25.13																		-14,876.619	8,445.390	14.495
3	09	35X-46	0111	剥片	チャート	2			14.89	15.02	7.64	0.89	L				○								0					-14,876.605	8,445.290	14.485
3	09	35X-46	0112	剥片	ホルンフェルス	2			9.74	12.90	2.53	0.32																		-14,877.121	8,445.533	14.481
3	09	35X-46	0113	剥片	ホルンフェルス	2			20.66	31.78	7.66	2.92	1	88			○								F					-14,877.221	8,445.103	14.381
3	09	35X-46	0114	剥片	ホルンフェルス	2			24.75	10.50	5.91	1.08					○				○	○			F					-14,877.150	8,445.003	14.382
3	09	35X-46	0115	剥片	ホルンフェルス	2			17.14	16.64	4.44	1.49	L				○								F					-14,877.150	8,444.716	14.318
3	09	35X-46	0116	礫片	流紋岩				29.30	19.89	9.49	4.86																		-14,877.422	8,445.533	14.313
3	09	35X-46	0117	礫片	砂岩			315	52.32	44.05	36.00	126.13																		-14,877.508	8,445.519	14.428
3	09	35X-46	0118	礫片	流紋岩			310	40.61	20.73	15.90	9.51																		-14,877.465	8,445.920	14.427
3	09	35X-46	0119	礫片	流紋岩			335	46.46	30.54	18.89	24.98																		-14,877.522	8,446.063	14.428
3	09	35X-46	0120	礫片	流紋岩			367	26.30	21.39	11.93	6.26																		-14,877.064	8,446.206	14.488
3	09	35X-46	0121	礫片	流紋岩			367	45.62	39.17	30.98	66.85																		-14,877.393	8,446.421	14.395
3	09	35X-46	0122	剥片	チャート	1			19.01	19.00	3.85	1.04	1	94		○	○								0					-14,877.579	8,446.536	14.392
3	09	35X-46	0123	剥片	ホルンフェルス	1	21i	304	36.44	46.29	13.86	16.68				○	○		○						F					-14,877.737	8,446.149	14.482
3	09	35X-46	0124	礫片	トロトロ石				29.43	19.93	16.21	7.52																		-14,877.909	8,446.135	14.468
3	09	35X-46	0125	礫片	流紋岩				51.42	34.55	28.24	39.33																		-14,878.038	8,445.748	14.493
3	09	35X-46	0126	剥片	ホルンフェルス	3			33.24	43.29	7.86	12.61	1	108		○	○			○					S					-14,878.195	8,446.565	14.373
3	09	35X-46	0127	礫片	チャート				62.55	46.89	23.32	51.77																		-14,878.109	8,446.249	14.461
3	09	35X-46	0128	礫片	安山岩			313	59.40	37.81	37.05	91.94																		-14,878.224	8,446.092	14.432
3	09	35X-46	0129	礫片	チャート				50.48	43.57	25.79	46.75																		-14,878.324	8,446.163	14.369
3	09	35X-46	0130	礫片	チャート			334	27.29	23.72	18.17	10.51																		-14,878.281	8,445.676	14.430
3	09	35X-46	0131	礫片	チャート				13.81	16.52	7.47	1.36																		-14,878.253	8,445.576	14.407
3	09	35X-46	0132	礫片	流紋岩			335	54.61	37.05	25.34	43.31																		-14,877.579	8,445.404	14.394
3	09	35X-46	0133	礫片	流紋岩			335	22.72	21.70	15.20	6.61																		-14,877.336	8,445.376	14.427
3	09	35X-46	0135	剥片	ホルンフェルス	3	12a	307	42.57	31.04	5.78	5.95	1	92						○			○		0					-14,876.677	8,445.304	14.463
3	09	35X-46	0137	剥片	ホルンフェルス	1			27.31	23.86	4.16	2.26	1	99		○	○								F					-14,876.748	8,445.533	14.428
3	09	35X-46	0138	剥片	ホルンフェルス	2			21.70	26.96	7.13	4.07	1	116		○	○		○						F					-14,876.963	8,445.744	14.464
3	09	35X-46	0140	礫片	砂岩			316	48.93	41.38	20.49	44.91																		-14,877.064	8,446.249	14.452
3	09	35X-46	0141	礫片	流紋岩			314	88.50	60.97	23.63	122.55																		-14,878.152	8,445.848	14.458
3	09	35X-46	0142	礫片	砂岩			365	29.36	17.26	13.28	6.12																		-14,878.195	8,446.006	14.474
3	09	35X-46	0143	石核	チャート	2	7b	302	32.12	49.86	20.77	22.79																		-14,877.794	8,446.249	14.465
3	09	35X-46	0144	礫片	砂岩			365	54.98	33.45	25.21	45.24																		-14,878.210	8,445.891	14.448
3	09	35X-46	0145	剥片	チャート	1			29.83	16.96	15.40	3.04	1	118		○	○		○						F					-14,877.021	8,445.547	14.442
3	09	35X-46	0146	礫片	流紋岩			314	55.75	53.17	19.90	54.07																		-14,878.095	8,445.977	14.447
3	09	35X-46	0147	剥片	ホルンフェルス	1			20.87	36.79	12.62	6.52	1	114			○		○						F					-14,877.207	8,446.135	14.410
3	09	35X-46	0148	剥片	ホルンフェルス	2			24.45	43.89	6.50	5.46	1	108			○		○						H					-14,876.849	8,445.719	14.415
3	09	35X-46	0149	礫片	砂岩			315	59.35	32.12	16.95	34.47																		-14,876.892	8,445.705	14.400
3	09	35X-46	0150	礫片	砂岩			365	24.61	23.22	11.91	8.41																		-14,877.293	8,446.407	14.388
3	09	35X-46	0151	礫片	流紋岩				49.44	26.86	19.76	20.01																		-14,877.966	8,445.734	14.484
3	09	35X-46	0152	礫片	砂岩			315	50.82	43.84	37.07	92.49																		-14,877.436	8,445.490	14.347
3	09	35X-46	0153	礫片	流紋岩			314	82.77	59.27	29.15	134.40																		-14,877.479	8,445.676	14.393
3	09	35X-46	0154	礫片	流紋岩			367	75.33	40.78	32.49	117.85																		-14,877.508	8,445.834	14.364
3	09	35X-46	0155	石核	チャート	1	16b	301	30.31	54.60	26.85	39.27																		-14,877.508	8,445.447	14.366
3	09	35X-46	0156	剥片	ホルンフェルス	3			37.46	57.01	19.90	28.34	L			○	○		○			○			0					-14,877.407	8,446.321	14.368
3	09	35X-46	0158	礫片	流紋岩				30.73	19.59	17.43	7.18																		-14,877.350	8,446.135	14.393
3	09	35X-46	0159	礫片	流紋岩			335	16.47	11.91	13.11	2.84																		-14,876.877	8,445.576	14.418
3	09	35X-46	0160	礫片	流紋岩			326	52.61	45.83	16.87	34.25																		-14,876.677	8,446.178	14.371
3	09	35X-46	0161	礫片	流紋岩				43.72	28.89	21.20	19.05																		-14,876.705	8,446.307	14.360
3	09	35X-46	0162	礫片	チャート				25.67	16.20	7.46	2.84																		-14,877.364	8,445.304	14.338
3	09	35X-46	0163	礫片	流紋岩			331	36.76	22.73	24.14	12.94																		-14,876.963	8,445.834	14.429
3	09	35X-46	0164	礫片	チャート				25.08	24.02	18.11	10.77																		-14,876.906	8,445.633	14.430
3	09	35X-46	0165	礫片	流紋岩				42.95	31.34	20.79	40.81																		-14,878.057	8,445.927	14.457
3	09	35X-46	0166	剥片	チャート	2			23.42	13.51	8.60	2.18	L				○			○			○		F					-14,876.693	8,445.751	14.350
3	09	35X-46	0167	礫片	チャート			336	47.96	34.16	19.36	25.26																		-14,876.829	8,446.141	14.334
3	09	35X-46	0168	石核	チャート	2	8c	303	27.42	31.66	16.94	13.37																		-14,876.966	8,445.966	14.393
3	09	35X-46	0169	礫片	砂岩			316	31.96	22.94	22.13	17.28																		-14,877.024	8,446.141	14.358
3	09	35X-46	0170	剥片	ホルンフェルス	1	21j	304	49.16	20.22	12.58	9.95	1	113		○	○					○			F					-14,877.199	8,446.258	14.373
3	09	35X-46	0171	剥片	チャート	4			18.07	21.11	3.00	0.83	L			○			○						0					-14,877.453	8,446.024	14.378
3	09	35X-46	0172	剥片	ホルンフェルス	2	10a	305	33.57	32.21	12.65	8.94	1	120		○	○								S					-14,877.687	8,446.122	14.412
3	09	35X-46	0173	剥片	ホルンフェルス	1	21f	304	40.84	36.83	19.73	25.01	4	103		○	○	○							F					-14,878.174	8,445.907	14.417
3	09	35X-46	0174	礫片	砂岩			319	51.32	51.16	27.51	80.92																		-14,878.076	8,445.751	14.404
3	09	35X-46	0176	礫片	流紋岩			326	48.22	37.86	27.64	67.80																		-14,876.712	8,445.888	14.347
3	09	35X-46	0177	礫片	チャート				25.58	27.35	15.52	8.62																		-14,877.199	8,446.083	14.374
3	09	35X-46	0178	二次加工のある剥片	ホルンフェルス	1	21h	304	42.45	52.73	14.81	21.87	2	104		○	○	○	○						F					-14,877.082	8,445.732	14.371
3	09	35X-46	0179	礫片	砂岩			319	26.93	16.51	9.79	4.46																		-14,878.135	8,445.868	14.405
3	09	35X-46	0180	礫片	流紋岩			335	65.86	38.86	22.77	65.23																		-14,876.693	8,446.024	14.307
3	09	35X-46	0181	礫片	流紋岩			367	65.21	34.24	29.70	77.44																		-14,877.063	8,446.161	14.308
3	09	35X-46	0182	礫片	流紋岩			335	27.09	30.88	13.72	10.41																		-14,877.141	8,445.907	14.353
3	09	35X-46	0183	剥片	ホルンフェルス	2			28.57	28.69	10.00	6.14	1	108			○		○						F					-14,877.005	8,445.712	14.350
3	09	35X-46	0184	礫片	流紋岩			367	34.61	21.64	22.70	18.47																		-14,877.531	8,444.718	14.347
3	09	35X-46	0185	礫片	流紋岩			367	44.94	33.50	23.71	33.26																		-14,876.381	8,444.894	14.316

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	09	35X-46	0186	剥片	チャート	2	7a	302	41.02	28.80	14.73	9.94	3	90		○	○					○			0					-14,878.564	8,447.135	14.351
3	09	35X-46	0187	礫片	砂岩				42.66	33.43	19.17	22.77																		-14,878.915	8,444.699	14.365
3	09	35X-46	0188	礫片	流紋岩				38.05	24.99	18.17	10.87																		-14,879.831	8,445.615	14.372
3	09	35X-46	0075A	礫片	砂岩			365	19.50	14.43	7.44	2.49																		-14,877.750	8,445.733	14.613
3	09	35X-46	0075B	礫片	チャート				27.80	13.57	14.01	3.45																		-14,877.750	8,445.733	14.613
3	09	35X-46	0134A	礫片	チャート				40.36	17.15	8.94	5.92																		-14,877.379	8,445.275	14.389
3	09	35X-46	0134B	礫片	チャート				17.83	11.26	8.68	2.05																		-14,877.379	8,445.275	14.389
3	09	35X-46	0136A	石核	ガラス質黒色安山岩	1	19		45.99	61.36	21.75	69.29																		-14,876.705	8,445.447	14.440
3	09	35X-46	0136B	剥片	ホルンフェルス	2	10b	305	46.03	24.20	12.98	12.62	1	129			○		○	○			○		0					-14,876.705	8,445.447	14.440
3	09	35X-46	0157A	礫片	流紋岩			335	29.36	16.86	10.81	4.98																		-14,877.102	8,445.626	14.407
3	09	35X-46	0157B	礫片	砂岩			316	41.81	40.79	29.01	24.51																		-14,877.102	8,445.626	14.407
3	09	35X-46	0157B	礫片	砂岩			316	30.73	19.59	17.43	10.50																				14.593
3	09	35X-46	0175A	礫片	砂岩			365	55.59	23.81	31.33	53.45																		-14,877.336	8,445.712	14.375
3	09	35X-46	0175B	礫片	流紋岩				30.30	21.23	13.12	6.51																		-14,877.336	8,445.712	14.375
3	09	35X-55	0002	剥片	黒曜石	2			22.77	20.09	6.58	4.00	1	85		○	○						○		0					-14,881.841	8,443.965	14.911
3	09	35X-55	0003	礫片	チャート			333	38.33	32.60	27.55	33.25																		-14,881.270	8,443.945	14.445
3	09	35X-56	0002	礫片	砂岩			366	55.32	33.60	32.84	44.38																		-14,880.129	8,446.976	14.419
3	09	35X-56	0003	剥片	ホルンフェルス	2			26.08	13.38	5.99	1.82	L											○	F					-14,880.188	8,447.488	14.489
3	09	35X-56	0004	礫片	砂岩			361	65.09	52.09	25.63	95.56																		-14,880.050	8,447.744	14.479
3	10	35X-47	0002	剥片	ホルンフェルス	3			24.89	29.27	11.13	3.82						○	○						F			B		-14,879.253	8,449.381	14.688
3	10	35X-47	0003	礫片	流紋岩				48.45	32.66	13.06	20.36																		-14,879.794	8,450.571	14.420
3	10	35X-47	0004	礫片	チャート				28.59	20.86	14.94	7.40																		-14,879.631	8,450.862	14.335
3	10	35X-47	0005	礫片	流紋岩			346	44.17	29.91	22.31	25.56																		-14,879.925	8,451.058	14.317
3	10	35X-47	0006	礫片	チャート			333	55.17	41.40	29.01	66.76																		-14,879.824	8,451.152	14.309
3	10	35X-47	0007	礫片	チャート				46.65	35.59	37.81	52.68																		-14,879.893	8,451.248	14.285
3	10	35X-48	0002	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			50.29	28.12	12.49	16.33	1	92			○	○	○						S					-14,879.952	8,452.114	14.342
3	10	35X-48	0003	剥片	ホルンフェルス	4			61.02	31.62	36.63	52.04																		-14,879.656	8,452.074	14.484
3	10	35X-48	0004	剥片	ホルンフェルス	4			31.61	15.96	19.78	9.74																		-14,878.338	8,452.429	14.418
3	10	35X-48	0005	礫片	流紋岩				29.70	24.89	18.00	14.29																		-14,878.515	8,452.763	14.397
3	10	35X-48	0006	礫片	流紋岩				48.47	30.58	7.55	9.44																		-14,879.046	8,453.826	14.305
3	10	35X-48	0007	使用痕のある剥片	チャート	3	13		93.43	46.33	17.25	67.55	1	115		○	○		○						F					-14,879.696	8,453.492	14.252
3	10	35X-48	0008	剥片	ホルンフェルス	3			31.49	53.19	16.10	33.91								○		○	○		0			B		-14,879.952	8,452.055	14.274
3	10	35X-48	0009	礫片	砂岩				30.11	27.72	8.34	8.37																		-14,879.912	8,452.035	14.168
3	10	35X-56	0005	礫片	ホルンフェルス	4			34.61	33.86	7.46	11.09																		-14,880.837	8,447.606	14.699
3	10	35X-56	0006	礫片	チャート				42.18	33.40	19.12	22.39																		-14,882.097	8,446.839	14.516
3	10	35X-57	0002	礫片	ホルンフェルス				21.81	14.46	10.39	2.30																		-14,881.881	8,448.394	14.399
3	10	35X-57	0003	礫片	砂岩			361	64.83	48.83	52.88	138.27																		-14,882.137	8,448.394	14.412
3	10	35X-57	0004	礫片	砂岩			359	57.74	51.09	48.50	71.42																		-14,880.916	8,449.043	14.249
3	10	35X-57	0005	礫片	砂岩			361	58.76	23.09	13.54	25.17																		-14,880.896	8,449.397	14.470
3	10	35X-57	0006	礫片	ホルンフェルス	4			33.47	15.07	6.98	2.58																		-14,881.192	8,449.063	14.385
3	10	35X-57	0007	礫片	ホルンフェルス			353	50.22	40.41	18.76	35.66																		-14,881.290	8,449.240	14.416
3	10	35X-57	0009	礫片	砂岩			361	49.66	12.14	11.57	9.18																		-14,881.192	8,449.614	14.423
3	10	35X-57	0010	礫片	ホルンフェルス	2			27.70	15.89	4.62	1.99																		-14,880.916	8,449.909	14.275
3	10	35X-57	0011	礫片	流紋岩				27.04	15.09	12.32	4.25																		-14,881.133	8,449.968	14.323
3	10	35X-57	0012	礫片	流紋岩				31.91	21.83	7.38	6.35																		-14,881.133	8,450.401	14.262
3	10	35X-57	0013	礫片	ホルンフェルス	1			26.96	14.22	5.56	1.72																		-14,880.641	8,450.441	14.302
3	10	35X-57	0014	礫片	砂岩			358	51.12	46.22	33.77	102.84																		-14,881.428	8,451.031	14.305
3	10	35X-57	0015	礫片	砂岩			358	68.10	56.33	51.77	158.61																		-14,881.566	8,450.992	14.310
3	10	35X-57	0016	礫片	砂岩			358	34.84	24.98	15.70	20.84																		-14,881.566	8,450.854	14.328
3	10	35X-57	0017	礫片	流紋岩			331	47.02	30.34	27.92	34.00																		-14,881.251	8,450.933	14.485
3	10	35X-57	0018	礫片	ホルンフェルス	4			43.52	22.74	20.00	21.89																		-14,881.133	8,450.933	14.459
3	10	35X-57	0019	礫片	ホルンフェルス	4			32.41	23.74	14.50	10.70																		-14,880.916	8,451.011	14.308
3	10	35X-57	0020	礫片	砂岩			349	52.58	45.80	14.21	35.74																		-14,881.605	8,451.228	14.420
3	10	35X-57	0021	礫片	ホルンフェルス				68.64	58.29	46.94	267.01																		-14,881.585	8,451.504	14.342
3	10	35X-57	0022	礫片	流紋岩			331	52.33	26.42	32.33	39.42																		-14,881.192	8,451.208	14.425
3	10	35X-57	0023	礫片	流紋岩				32.27	27.37	16.32	11.68																		-14,881.270	8,451.563	14.420
3	10	35X-57	0024	礫片	ホルンフェルス	4			63.76	34.53	12.17	31.34																		-14,881.959	8,451.858	14.407
3	10	35X-57	0025	礫片	流紋岩			360	26.55	19.24	22.48	10.21																		-14,881.526	8,451.878	14.505
3	10	35X-57	0026	礫片	流紋岩				25.42	23.11	11.40	5.54																		-14,880.877	8,451.326	14.395
3	10	35X-57	0027	礫片	ホルンフェルス	4			51.48	43.57	15.26	29.95																		-14,880.759	8,451.641	14.528
3	10	35X-57	0028	礫片	チャート				59.96	47.72	37.48	102.28																		-14,880.778	8,451.897	14.480
3	10	35X-57	0029	礫片	流紋岩			362	30.98	30.41	20.93	19.28																		-14,880.404	8,451.326	14.378
3	10	35X-57	0030	礫片	チャート			333	53.83	44.45	24.17	53.08																		-14,880.404	8,451.405	14.375
3	10	35X-57	0031	礫片	砂岩			321	38.88	34.10	17.84	18.50																		-14,880.306	8,451.464	14.365
3	10	35X-57	0032	礫片	流紋岩				39.86	27.00	23.21	25.06																		-14,880.444	8,451.681	14.500
3	10	35X-57	0033	礫片	流紋岩			330	49.95	38.83	23.84	34.16																		-14,880.444	8,451.937	14.447
3	10	35X-57	0034	礫片	流紋岩			330	35.17	34.49	24.01	23.31																		-14,880.050	8,451.897	14.353
3	10	35X-57	0035	礫片	砂岩			359	51.68	36.41	21.51	40.27																		-14,880.011	8,451.779	14.314
3	10	35X-57	0036	礫片	砂岩				26.04	24.29	7.61	4.06																		-14,880.050	8,451.444	14.298
3	10	35X-57	0037	礫片	ホルンフェルス			348	61.22	42.88	26.03	102.01																		-14,880.050	8,451.130	14.429
3	10	35X-57	0038	礫片	砂岩			359	56.32	44.79	24.36	44.83																		-14,880.857	8,449.023	14.196
3	10	35X-57	0039	礫片	流紋岩			346	29.05	19.54	14.69	7.59																		-14,881.192	8,449.004	14.365
3	10	35X-57	0040	礫片	砂岩			317	60.69	41.41	22.16	58.24																		-14,881.113	8,449.555	14.386

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	10	35X-57	0041	礫片	ホルンフェルス			353	33.13	17.17	8.21	5.98																	-14,881.251	8,449.476	14.370
3	10	35X-57	0042	礫片	チャート				40.07	31.95	19.15	20.57																	-14,881.329	8,449.712	14.265
3	10	35X-57	0043	礫片	砂岩			361	47.90	20.58	12.46	12.05																	-14,880.975	8,449.535	14.440
3	10	35X-57	0044	礫片	流紋岩			331	77.60	29.08	31.82	65.77																	-14,880.955	8,450.244	14.240
3	10	35X-57	0045	礫片	チャート				22.12	22.67	13.57	6.37																	-14,881.231	8,450.874	14.260
3	10	35X-57	0046	礫片	砂岩				52.92	51.31	18.22	45.11																	-14,881.369	8,450.874	14.299
3	10	35X-57	0047	礫片	チャート				20.40	15.34	13.64	3.69																	-14,881.507	8,450.913	14.295
3	10	35X-57	0048	剥片	ホルンフェルス	4		308	54.45	19.79	18.03	20.26																	-14,881.408	8,450.933	14.300
3	10	35X-57	0049	礫片	砂岩			358	62.78	33.20	23.25	97.34																	-14,881.585	8,451.011	14.297
3	10	35X-57	0050	礫片	砂岩			358	49.04	39.33	32.47	68.77																	-14,881.487	8,451.031	14.302
3	10	35X-57	0051	礫片	砂岩			349	66.24	40.40	36.28	91.70																	-14,881.585	8,451.149	14.363
3	10	35X-57	0052	礫片	流紋岩				51.19	26.25	15.28	14.67																	-14,881.369	8,451.267	14.385
3	10	35X-57	0053	礫片	流紋岩				49.10	32.70	29.38	43.14																	-14,881.467	8,451.563	14.336
3	10	35X-57	0054	礫片	ホルンフェルス				29.62	15.56	11.89	5.93																	-14,881.251	8,451.799	14.430
3	10	35X-57	0055	礫片	流紋岩				68.56	54.33	35.29	122.47																	-14,881.448	8,451.307	14.477
3	10	35X-57	0056	礫片	砂岩			359	55.28	31.85	27.91	33.58																	-14,880.778	8,451.464	14.255
3	10	35X-57	0057	礫片	砂岩			321	46.95	30.60	27.26	27.12																	-14,880.385	8,451.464	14.357
3	10	35X-57	0058	礫片	ホルンフェルス			348	71.26	47.53	26.39	116.89																	-14,880.188	8,451.326	14.242
3	10	35X-57	0059	礫片	ホルンフェルス				59.05	39.16	18.21	60.26																	-14,880.030	8,451.208	14.278
3	10	35X-57	0060	礫片	流紋岩			342	38.19	26.82	11.18	11.36																	-14,880.168	8,451.878	14.300
3	10	35X-57	0061	礫片	砂岩			358	52.10	41.25	30.48	71.40																	-14,881.566	8,451.031	14.293
3	10	35X-57	0062	礫片	流紋岩				73.62	56.93	35.94	129.31																	-14,881.487	8,451.070	14.308
3	10	35X-57	0063	礫片	流紋岩				82.49	63.78	41.38	220.04																	-14,881.566	8,451.228	14.294
3	10	35X-57	0064	礫片	流紋岩				63.80	58.11	32.65	83.48																	-14,881.467	8,451.228	14.308
3	10	35X-57	0065	礫片	流紋岩				59.96	43.70	15.95	34.32																	-14,881.329	8,451.228	14.317
3	10	35X-57	0066	礫片	流紋岩			331	47.06	46.33	34.95	71.39																	-14,881.310	8,451.267	14.343
3	10	35X-57	0067	礫片	ホルンフェルス	4			58.73	28.90	18.70	19.82																	-14,881.211	8,451.405	14.334
3	10	35X-57	0068	礫片	砂岩			321	80.96	57.88	26.84	120.73																	-14,880.837	8,451.818	14.325
3	10	35X-57	0069	礫片	チャート				47.72	25.33	19.06	24.69																	-14,880.680	8,451.976	14.431
3	10	35X-57	0070	礫片	流紋岩				32.03	29.00	26.59	23.43																	-14,881.093	8,450.972	14.205
3	10	35X-57	0071	礫片	ホルンフェルス	4			43.11	33.46	17.09	23.37																	-14,881.270	8,451.838	14.345
3	10	35X-57	0072	礫片	流紋岩			330	32.73	20.30	12.18	9.68																	-14,880.267	8,451.720	14.283
3	10	35X-57	0073	礫片	砂岩			359	54.86	50.72	31.35	57.24																	-14,880.148	8,451.444	14.264
3	10	35X-57	0074	礫片	ホルンフェルス	4			50.03	39.09	12.03	22.58																	-14,881.507	8,451.051	14.307
3	10	35X-57	0076	礫片	砂岩			365	55.88	16.39	29.98	29.94																	-14,881.408	8,451.208	14.336
3	10	35X-57	0077	礫片	チャート				23.23	13.28	11.80	3.31																	-14,881.389	8,451.346	14.273
3	10	35X-57	0079	礫片	流紋岩				45.29	27.78	26.99	29.82																	-14,881.329	8,451.582	14.186
3	10	35X-57	0080	礫片	流紋岩				27.55	26.18	10.82	5.28																	-14,881.192	8,451.799	14.317
3	10	35X-57	0081	礫片	チャート				55.43	49.18	11.35	34.70																	-14,880.877	8,451.799	14.333
3	10	35X-57	0082	礫片	流紋岩			330	53.67	35.09	25.60	49.88																	-14,880.286	8,451.779	14.260
3	10	35X-57	0083	剥片	ガラス質黒色安山岩	1			32.74	33.57	5.51	5.54	L			○	○							F					-14,881.310	8,451.248	14.300
3	10	35X-57	0084	礫片	流紋岩				31.80	26.73	12.88	7.28																	-14,880.877	8,451.858	14.317
3	10	35X-57	0085	礫片	流紋岩				49.70	39.46	28.98	59.47																	-14,880.621	8,451.858	14.233
3	10	35X-57	0086	剥片	ガラス質黒色安山岩	1			29.60	24.69	6.97	3.61	1	92		○	○			○				0					-14,880.522	8,451.917	14.273
3	10	35X-57	0087	礫片	流紋岩			330	48.05	35.96	19.30	32.69																	-14,880.326	8,451.917	14.278
3	10	35X-57	0088	礫片	流紋岩			342	64.06	41.83	18.06	51.31																	-14,880.227	8,451.858	14.274
3	10	35X-57	0089	礫片	流紋岩				43.44	38.45	26.04	25.88																	-14,881.369	8,449.988	14.221
3	10	35X-57	0090	礫片	砂岩			359	51.03	38.29	17.03	40.91																	-14,880.837	8,450.185	14.197
3	10	35X-57	0091	礫片	チャート				34.89	22.87	23.56	16.79																	-14,880.522	8,450.775	14.238
3	10	35X-58	0002	剥片	ホルンフェルス	4		308	53.01	20.11	12.59	13.88																	-14,881.684	8,452.173	14.449
3	10	35X-58	0003	礫片	流紋岩				50.90	38.94	21.93	52.59																	-14,881.428	8,452.448	14.561
3	10	35X-58	0004	剥片	ホルンフェルス	2			41.63	27.11	9.96	11.87	1	129		○	○		○					H					-14,880.542	8,452.448	14.329
3	10	35X-58	0006	礫片	流紋岩				32.39	24.23	15.38	10.17																	-14,881.625	8,452.468	14.362
3	10	35X-58	0007	礫片	ホルンフェルス				29.48	29.10	18.76	16.99																	-14,881.664	8,452.704	14.302
3	10	35X-58	0008	礫片	チャート			333	42.53	38.61	39.47	46.24																	-14,882.058	8,452.448	14.321
3	10	35X-58	0009	礫片	砂岩			317	40.90	37.45	20.21	30.27																	-14,882.215	8,452.625	14.409
3	10	35X-58	0010	礫片	流紋岩				66.53	42.19	40.16	134.07																	-14,881.979	8,453.059	14.420
3	10	35X-58	0011	礫片	流紋岩				24.63	14.32	13.61	4.53																	-14,881.113	8,452.763	14.440
3	10	35X-58	0012	礫片	砂岩			366	36.44	34.15	30.91	32.09																	-14,880.503	8,452.862	14.364
3	10	35X-58	0013	礫片	砂岩			317	44.35	36.86	28.93	47.31																	-14,880.955	8,453.157	14.209
3	10	35X-58	0014	礫片	砂岩			345	36.14	26.73	15.50	14.30																	-14,881.290	8,453.649	14.356
3	10	35X-58	0016	礫片	流紋岩				49.72	32.53	29.97	37.48																	-14,881.310	8,452.114	14.340
3	10	35X-58	0017	使用痕のある剥片	チャート	1	16a	301	94.02	45.51	9.12	30.47	2	108		○	○		○				○	F					-14,881.192	8,451.996	14.290
3	10	35X-58	0018	礫片	砂岩			361	38.31	30.42	10.25	9.16																	-14,881.133	8,452.055	14.335
3	10	35X-58	0019	礫片	砂岩			345	47.56	29.96	32.77	30.50																	-14,881.192	8,452.192	14.228
3	10	35X-58	0020	礫片	流紋岩			331	34.14	24.99	26.11	20.61																	-14,880.975	8,452.507	14.282
3	10	35X-58	0021	礫片	流紋岩				43.84	33.71	23.73	28.92																	-14,881.133	8,452.704	14.405
3	10	35X-58	0022	礫片	チャート				40.78	37.03	17.24	18.89																	-14,880.778	8,451.996	14.342
3	10	35X-58	0023	使用痕のある剥片	ホルンフェルス	5	4		60.30	62.32	13.30	39.23	1	109		○	○			○				0					-14,880.562	8,452.330	14.208
3	10	35X-58	0024	礫片	流紋岩				53.12	33.20	24.53	32.56																	-14,881.507	8,453.708	14.453
3	10	35X-58	0025	礫片	チャート			333	76.45	38.83	35.64	116.33																	-14,881.172	8,451.996	14.215
3	10	35X-58	0026	礫片	流紋岩				39.55	27.44	19.34	16.79																	-14,880.739	8,452.074	14.272
3	10	35X-58	0027	礫片	流紋岩				42.80	44.16	16.49	33.62																	-14,880.719	8,452.094	14.276

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	10	35X-58	0028	礫片	流紋岩				27.03	17.59	14.32	4.63																		-14,880.267	8,451.996	14.270
3	10	35X-58	0029	剥片	ホルンフェルス	1	21a	304	36.99	30.55	14.85	15.69	1	98				○							0					-14,880.129	8,452.232	14.238
3	10	35X-58	0030	礫片	チャート				51.31	32.21	17.42	29.08																		-14,881.270	8,452.488	14.222
3	10	35X-58	0031	礫片	砂岩			317	31.96	28.93	18.35	18.17																		-14,881.093	8,452.566	14.269
3	10	35X-58	0032	剥片	ホルンフェルス	2			27.84	24.17	12.39	7.35	1	118		○	○											H		-14,880.424	8,452.094	14.169
3	10	35X-58	0005A	礫片	流紋岩				27.75	28.83	13.29	10.78																		-14,881.310	8,452.822	14.460
3	10	35X-58	0005B	礫片	チャート				24.55	21.93	13.55	5.30																		-14,881.310	8,452.822	14.460
3	11	35X-67	0002	剥片	ホルンフェルス	3			33.86	40.86	10.86	13.32	1	114		○			○				○		S					-14,885.089	8,451.740	14.434
3	11	35X-67	0003	礫片	砂岩			365	74.62	39.05	15.18	50.04																		-14,885.620	8,451.818	14.313
3	11	35X-67	0005	礫片	砂岩				27.04	25.90	25.07	17.14																		-14,887.687	8,450.323	14.417
3	11	35X-67	0006	礫片	流紋岩				64.78	48.13	46.70	126.01																		-14,885.975	8,451.818	14.313
3	11	35X-67	0007	礫片	砂岩			344	46.10	12.45	26.68	15.00																		-14,885.817	8,451.070	14.635
3	11	35X-67	0008	礫片	流紋岩			360	30.69	24.93	15.61	11.53																		-14,885.935	8,450.204	14.395
3	11	35X-67	0009	礫片	砂岩			356	63.60	51.34	23.07	74.55																		-14,886.270	8,450.657	14.365
3	11	35X-67	0011	礫片	流紋岩			325	67.84	41.06	30.61	78.66																		-14,886.585	8,450.874	14.496
3	11	35X-67	0012	礫片	砂岩			355	48.33	31.66	7.30	9.63																		-14,886.703	8,450.578	14.380
3	11	35X-67	0013	礫片	流紋岩				63.85	57.74	12.77	67.59																		-14,886.959	8,450.874	14.511
3	11	35X-67	0014	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			64.30	38.98	16.41	37.85	1	128			○						○		F					-14,886.290	8,451.641	14.285
3	11	35X-67	0015	礫片	砂岩			361	47.48	38.70	32.56	40.25																		-14,886.270	8,451.976	14.340
3	11	35X-67	0016	剥片	ホルンフェルス	6			33.82	35.56	14.55	14.88	1	118		○	○			○					H					-14,887.549	8,451.011	14.360
3	11	35X-67	0017	礫片	砂岩			328	71.51	46.91	14.50	59.90																		-14,887.353	8,451.523	14.386
3	11	35X-67	0018	礫片	流紋岩				48.74	37.41	27.95	31.22																		-14,887.549	8,451.504	14.380
3	11	35X-67	0019	礫片	流紋岩			341	36.40	27.20	28.07	24.32																		-14,887.175	8,451.818	14.460
3	11	35X-67	0020	礫片	流紋岩			325	34.71	23.65	20.26	15.28																		-14,886.920	8,451.956	14.533
3	11	35X-67	0021	礫片	砂岩			340	41.00	26.03	28.36	32.76																		-14,887.825	8,450.185	14.413
3	11	35X-67	0022	礫片	流紋岩				25.46	18.60	18.48	6.33																		-14,887.864	8,450.283	14.413
3	11	35X-67	0023	礫片	流紋岩				56.92	54.80	30.67	90.12																		-14,887.963	8,450.303	14.416
3	11	35X-67	0024	礫片	砂岩			344	41.62	23.45	12.31	17.35																		-14,887.825	8,450.736	14.476
3	11	35X-67	0025	礫片	砂岩			329	42.02	30.77	11.44	14.91																		-14,887.963	8,451.070	14.650
3	11	35X-67	0026	礫片	砂岩			344	32.72	18.82	12.36	7.71																		-14,887.923	8,451.366	14.399
3	11	35X-67	0027	礫片	砂岩				60.96	43.17	19.35	61.88																		-14,887.668	8,451.878	14.439
3	11	35X-67	0028	礫片	砂岩			354	54.58	40.48	27.35	49.65																		-14,887.963	8,451.543	14.395
3	11	35X-67	0029	礫片	砂岩				26.98	14.92	3.94	1.40																		-14,887.904	8,451.799	14.409
3	11	35X-67	0030	礫片	流紋岩				56.09	49.89	26.06	72.75																		-14,887.687	8,450.185	14.405
3	11	35X-67	0031	剥片	ホルンフェルス	5	20b	309	38.76	70.34	20.75	29.38	1	88		○	○								F					-14,887.904	8,451.740	14.400
3	11	35X-67	0032	礫片	砂岩			356	54.63	43.51	41.62	97.89																		-14,885.955	8,451.149	14.409
3	11	35X-67	0033	礫片	砂岩			356	52.50	37.89	34.01	86.54																		-14,885.935	8,451.248	14.380
3	11	35X-67	0034	礫片	流紋岩				23.26	18.00	20.75	8.30																		-14,886.526	8,450.972	14.425
3	11	35X-67	0035	剥片	チャート	1			34.72	23.29	8.54	7.23	1	130		○	○	○					○		S					-14,886.880	8,451.897	14.507
3	11	35X-67	0036	礫片	流紋岩				33.45	25.90	15.88	7.59																		-14,885.955	8,451.976	14.288
3	11	35X-67	0037	礫	ホルンフェルス				99.73	93.65	43.79	482.45																		-14,886.172	8,451.110	14.310
3	11	35X-67	0038	剥片	ガラス質黒色安山岩	1			66.24	40.07	17.62	36.96	1	109			○	○					○		F					-14,886.408	8,451.090	14.325
3	11	35X-67	0039	礫片	砂岩			355	47.66	29.47	19.89	29.13																		-14,887.864	8,451.838	14.363
3	11	35X-67	0040	礫片	砂岩			354	55.49	40.09	45.10	95.55																		-14,887.864	8,450.697	14.361
3	11	35X-67	0041	剥片	ホルンフェルス	3			25.00	48.57	13.50	14.74	1	83					○						F					-14,887.569	8,451.110	14.270
3	11	35X-67	0042	礫片	流紋岩				43.59	40.17	24.00	30.26																		-14,887.805	8,451.779	14.363
3	11	35X-67	0043	礫	チャート				75.39	68.90	40.85	272.43																		-14,887.648	8,451.700	14.352
3	11	35X-67	0044	礫片	砂岩			328	49.45	39.98	10.88	23.13																		-14,887.333	8,451.779	14.400
3	11	35X-67	0045	礫片	流紋岩			341	55.23	29.93	33.18	51.77																		-14,887.412	8,451.917	14.406
3	11	35X-67	0047	礫片	流紋岩			351	44.96	29.60	28.02	30.00																		-14,887.274	8,451.838	14.377
3	11	35X-67	0048	礫片	流紋岩			351	42.89	30.17	19.30	26.08																		-14,886.939	8,451.878	14.342
3	11	35X-67	0049	礫片	砂岩			329	57.80	39.94	11.89	19.96																		-14,887.628	8,451.956	14.373
3	11	35X-67	0050	礫片	流紋岩				58.90	51.10	36.22	116.36																		-14,887.392	8,451.976	14.358
3	11	35X-67	0051	礫片	砂岩			329	37.62	26.93	10.10	10.97																		-14,887.530	8,451.838	14.376
3	11	35X-67	0052	礫片	砂岩				36.36	40.82	31.05	61.51																		-14,887.549	8,451.976	14.354
3	11	35X-67	0053	礫片	流紋岩				28.70	27.40	15.66	12.96																		-14,887.431	8,451.956	14.365
3	11	35X-67	0001A	剥片	ガラス質黒色安山岩	2	14		38.51	19.10	5.35	3.87	2	93			○					○			F					-14,885.000	8,451.700	
3	11	35X-67	0001B	剥片	ホルンフェルス	5			24.89	22.16	4.34	1.51	1	103		○	○								0					-14,885.600	8,451.800	
3	11	35X-67	0001C	礫片	砂岩			340	25.07	16.58	20.29	9.96																		-14,885.600	8,451.800	
3	11	35X-67	0004A	礫片	砂岩			365	42.75	33.53	22.34	20.19																		-14,885.502	8,451.878	14.301
3	11	35X-67	0004B	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			32.16	23.96	8.87	4.77					○								F			B		-14,885.502	8,451.878	14.301
3	11	35X-67	0046A	礫片	流紋岩			360	50.72	47.68	50.99	117.26																		-14,887.609	8,451.838	14.354
3	11	35X-67	0046B	礫片	砂岩			311	50.72	47.68	50.99	50.60																		-14,887.609	8,451.838	14.354
3	11	35X-67	0046C	礫片	砂岩			311	36.89	27.49	19.61	54.86																		-14,887.619	8,451.848	14.354
3	11	35X-68	0002	礫片	ホルンフェルス			323	50.72	33.74	20.27	40.99																		-14,885.699	8,452.055	14.313
3	11	35X-68	0003	礫片	ホルンフェルス			323	46.89	29.00	24.57	31.15																		-14,886.644	8,452.074	14.377
3	11	35X-68	0005	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			29.87	28.84	11.19	8.16	C	95		○	○								F					-14,886.900	8,452.291	14.460
3	11	35X-68	0006	礫片	砂岩			354	65.89	59.73	20.78	90.71																		-14,887.097	8,452.133	14.519
3	11	35X-68	0007	剥片	ホルンフェルス	1	21i	304	45.03	50.46	25.77	53.79	L				○		○	○					F					-14,887.294	8,452.212	14.556
3	11	35X-68	0008	剥片	ガラス質黒色安山岩	1			20.25	23.60	6.81	3.34	1	110			○						○		F					-14,887.431	8,452.114	14.440
3	11	35X-68	0009	礫片	砂岩			311	46.93	23.65	26.22	21.10																		-14,887.766	8,452.114	14.439
3	11	35X-68	0010	礫片	砂岩				42.63	29.35	15.07	21.04																		-14,885.286	8,452.625	14.599
3	11	35X-68	0011	礫片	ホルンフェルス			323	56.97	23.84	20.52	31.43																		-14,885.345	8,452.960	14.429

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	11	35X-68	0012	礫片	砂岩			312	54.80	43.93	44.73	114.13																	-14,885.010	8,453.177	14.310
3	11	35X-68	0013	礫片	砂岩				43.32	32.70	10.24	13.24																	-14,885.128	8,453.196	14.329
3	11	35X-68	0015	礫片	砂岩				74.18	63.69	35.18	147.82																	-14,886.565	8,452.330	14.284
3	11	35X-68	0016	礫片	砂岩			329	71.55	44.79	29.44	96.50																	-14,886.821	8,453.039	14.319
3	11	35X-68	0017	礫片	流紋岩			360	66.42	41.74	46.99	138.81																	-14,886.939	8,453.137	14.314
3	11	35X-68	0018	礫片	砂岩			327	47.51	22.42	11.51	14.34																	-14,887.057	8,452.724	14.330
3	11	35X-68	0019	礫片	砂岩			328	41.85	37.07	21.24	26.62																	-14,887.057	8,452.842	14.309
3	11	35X-68	0020	礫片	流紋岩				63.14	50.04	30.87	99.31																	-14,887.313	8,452.862	14.299
3	11	35X-68	0021	剥片	ホルンフェルス	6			56.13	41.01	17.07	39.27	1	114			○						○		F					-14,887.510	8,452.822	14.400
3	11	35X-68	0022	礫片	砂岩			354	59.73	47.02	27.75	82.71																	-14,885.463	8,452.015	14.202
3	11	35X-68	0023	礫片	流紋岩			360	57.15	38.69	22.57	44.68																	-14,885.365	8,452.645	14.440
3	11	35X-68	0024	礫片	砂岩			312	35.77	29.51	11.49	10.71																	-14,885.207	8,453.157	14.235
3	11	35X-68	0025	礫片	砂岩			312	55.04	33.23	28.85	51.94																	-14,885.542	8,453.157	14.326
3	11	35X-68	0026	礫片	流紋岩				60.22	45.28	39.27	58.42																	-14,885.994	8,453.236	14.350
3	11	35X-68	0028	礫片	チャート				42.05	39.94	22.74	40.45																	-14,886.920	8,452.015	14.375
3	11	35X-68	0029	礫片	砂岩			320	56.38	55.93	24.50	60.96																	-14,887.254	8,451.996	14.424
3	11	35X-68	0030	礫片	砂岩			354	27.99	27.88	15.07	11.90																	-14,886.841	8,452.665	14.262
3	11	35X-68	0031	礫片	流紋岩			350	44.71	33.30	18.09	19.66																	-14,887.156	8,452.960	14.280
3	11	35X-68	0032	礫片	砂岩			355	63.63	28.27	18.15	31.87																	-14,887.431	8,452.074	14.447
3	11	35X-68	0033	礫片	流紋岩				32.43	22.59	14.44	12.80																	-14,887.530	8,452.527	14.342
3	11	35X-68	0034	礫片	流紋岩				39.37	25.33	18.08	16.07																	-14,887.628	8,452.763	14.365
3	11	35X-68	0035	礫片	砂岩			311	38.56	31.88	31.16	48.22																	-14,887.766	8,452.192	14.385
3	11	35X-68	0036	使用痕のある剥片	ホルンフェルス	7	5		48.01	76.97	19.56	66.79	C	117		○	○		○						F					-14,887.963	8,452.763	14.190
3	11	35X-68	0037	礫片	砂岩			356	46.75	33.98	18.83	30.60																	-14,887.412	8,452.074	14.434
3	11	35X-68	0038	礫片	砂岩			356	43.53	28.53	17.85	15.12																	-14,887.490	8,452.133	14.410
3	11	35X-68	0039	礫片	流紋岩			350	47.56	33.09	17.49	26.26																	-14,887.707	8,452.212	14.400
3	11	35X-68	0040	礫片	砂岩			355	87.60	35.56	18.84	57.83																	-14,887.668	8,452.055	14.385
3	11	35X-68	0041	礫片	流紋岩				74.86	43.61	37.41	154.57																	-14,887.451	8,452.173	14.386
3	11	35X-68	0043	礫片	砂岩			355	51.14	44.80	28.16	57.06																	-14,887.116	8,452.212	14.352
3	11	35X-68	0044	礫片	流紋岩			324	70.58	47.29	49.04	121.97																	-14,887.294	8,452.015	14.393
3	11	35X-68	0045	礫片	流紋岩				39.03	30.83	18.80	18.95																	-14,886.605	8,452.153	14.299
3	11	35X-68	0046	礫片	流紋岩			350	52.93	39.12	21.42	45.51																	-14,887.530	8,452.606	14.395
3	11	35X-68	0047	使用痕のある剥片	ホルンフェルス	6	6		66.58	64.14	16.16	48.67	1	112		○	○		○						F					-14,887.668	8,452.744	14.274
3	11	35X-68	0048	礫片	流紋岩				34.98	30.52	12.09	17.51																	-14,887.333	8,452.291	14.267
3	11	35X-68	0049	礫片	砂岩			355	62.84	62.04	19.97	73.35																	-14,887.313	8,452.094	14.402
3	11	35X-68	0050	礫片	流紋岩			351	55.45	26.53	34.28	38.64																	-14,887.000	8,452.016	14.348
3	11	35X-68	0051	礫片	砂岩			355	45.16	31.53	12.17	17.90																	-14,886.822	8,452.267	14.258
3	11	35X-68	0052	礫片	砂岩				37.26	29.04	13.51	16.25																	-14,886.747	8,452.325	14.257
3	11	35X-68	0053	礫片	流紋岩				23.48	17.60	13.54	5.72																	-14,887.395	8,452.132	14.360
3	11	35X-68	0054	礫片	砂岩			354	67.66	47.19	34.25	91.74																	-14,886.817	8,452.694	14.188
3	11	35X-68	0042A	剥片	ホルンフェルス	2			13.45	13.06	5.34	1.02	1	116			○								F					-14,887.372	8,452.074	14.426
3	11	35X-68	0042B	礫片	砂岩			329	20.50	14.50	5.34	5.90																	-14,887.372	8,452.074	14.526
3	11	35X-77	0002	礫片	砂岩			320	26.44	17.54	18.73	10.49																	-14,889.132	8,450.164	14.521
3	11	35X-77	0003	礫片	砂岩				28.39	24.66	6.41	3.10																	-14,889.268	8,450.090	14.492
3	11	35X-77	0004	礫片	流紋岩				36.72	29.70	24.26	24.00																	-14,891.094	8,449.102	14.436
3	11	35X-77	0005	礫片	流紋岩				29.92	25.39	17.08	7.79																	-14,890.983	8,449.732	14.436
3	11	35X-77	0006	礫片	流紋岩			347	46.25	38.28	25.87	53.06																	-14,890.440	8,450.608	14.491
3	11	35X-77	0007	礫片	砂岩			320	18.54	14.67	13.15	3.79																	-14,890.119	8,451.249	14.506
3	11	35X-77	0008	剥片	ホルンフェルス	5	20a	309	43.73	58.96	15.79	35.52	C	96		○	○		○						H					-14,889.157	8,450.595	14.471
3	11	35X-77	0010	礫片	流紋岩			324	36.07	28.36	33.34	29.05																	-14,888.490	8,450.805	14.409
3	11	35X-77	0011	礫片	流紋岩			347	47.95	32.41	26.79	25.41																	-14,888.133	8,450.682	14.579
3	11	35X-77	0012	礫片	流紋岩				48.96	37.66	18.15	27.85																	-14,888.293	8,451.027	14.375
3	11	35X-77	0013	礫片	ガラス質黒色安山岩	2			33.00	31.02	7.71	7.47	2	102		○	○	○							S					-14,888.737	8,451.718	14.400
3	11	35X-77	0014	礫片	砂岩			355	71.57	40.57	26.57	73.95																	-14,889.428	8,451.755	14.529
3	11	35X-77	0015	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			43.15	31.64	21.50	19.68	1	128		○			○			○			0					-14,888.034	8,451.681	14.298
3	11	35X-77	0016	石核	ホルンフェルス	7	15		20.00	86.16	17.79	50.00																	-14,888.194	8,451.163	14.390
3	11	35X-77	0017	剥片	ガラス質黒色安山岩	2			43.05	40.37	9.48	9.18	1	109			○								F					-14,888.046	8,450.867	14.370
3	11	35X-77	0018	剥片	ホルンフェルス	5			36.42	59.22	17.97	31.28	L				○						○		F					-14,888.601	8,451.731	14.372
3	11	35X-77	0019	礫片	砂岩			318	39.87	20.04	17.60	14.69																	-14,889.243	8,450.879	14.478
3	11	35X-77	0020	礫片	ホルンフェルス			323	44.27	32.95	17.84	23.50																	-14,889.021	8,450.657	14.440
3	11	35X-77	0021	剥片	ホルンフェルス	5			30.40	20.35	7.30	4.44					○								F			B		-14,888.996	8,450.349	14.410
3	11	35X-77	0022	礫片	砂岩			312	63.88	39.23	48.25	105.37																	-14,889.218	8,450.188	14.438
3	11	35X-77	0023	礫片	砂岩			320	29.89	15.88	21.79	12.05																	-14,889.206	8,450.016	14.502
3	11	35X-77	0024	礫片	流紋岩				32.46	26.72	22.72	14.12																	-14,889.490	8,449.867	14.418
3	11	35X-77	0025	礫片	流紋岩				22.02	19.67	13.96	5.55																	-14,889.502	8,449.917	14.413
3	11	35X-77	0026	礫片	砂岩			312	39.14	27.13	14.17	14.94																	-14,889.206	8,450.151	14.435
3	11	35X-77	0028	礫片	砂岩			318	39.64	30.14	24.92	28.51																	-14,889.231	8,450.805	14.460
3	11	35X-77	0029	礫片	砂岩			318	31.27	19.89	23.14	15.98																	-14,889.107	8,450.707	14.302
3	11	35X-77	0009A	礫片	砂岩			318	38.62	22.72	22.31	22.32																	-14,889.169	8,450.916	14.380
3	12	35X-54	0002	礫片	砂岩			327	69.13	50.02	39.84	174.80																	-14,883.003	8,436.406	14.599
3	12	35X-54	0003	礫片	流紋岩			360	41.65	35.73	30.90	41.01																	-14,883.967	8,437.961	14.581
3	12	35X-63	0002	剥片	ホルンフェルス	1	21b	304	42.16	30.12	22.56	24.43																	-14,884.932	8,434.989	14.719
3	12	35X-63	0003	礫片	流紋岩			332	65.87	32.96	34.68	62.08																	-14,886.132	8,435.658	14.651

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	12	35X-63	0004	磯片	流紋岩			332	31.93	21.74	14.13	11.10																	-14,886.211	8,435.816	14.600
3	12	35X-63	0005	磯片	流紋岩			332	7.98	23.80	18.60	14.24																	-14,888.211	8,437.816	14.630
3	12	35X-64	0002	磯片	流紋岩			352	41.51	32.50	32.31	31.26																	-14,885.069	8,439.438	14.435
3	12	35X-64	0003	磯片	流紋岩			352	39.45	34.07	35.10	27.89																	-14,885.365	8,439.044	14.566
3	12	35X-64	0004	磯片	流紋岩			325	94.49	64.76	46.48	257.27																	-14,886.014	8,438.749	14.536
3	12	35X-64	0005	磯片	流紋岩			352	39.67	31.67	27.47	22.94																			
3	12	35X-65	0002	磯片	砂岩			357	41.78	23.48	23.06	18.63																	-14,884.597	8,440.481	14.735
3	12	35X-65	0003	磯片	砂岩			357	34.34	23.43	23.06	18.78																	-14,885.187	8,440.993	14.500
3	12	35X-65	0004	磯片	安山岩				82.69	51.37	52.79	280.93																	-14,886.349	8,440.993	14.581
3	12	35X-65	0005	磯片	砂岩			357	25.09	26.05	23.56	15.73																	-14,885.601	8,442.784	14.530
3	12	35X-65	0006	磯片	砂岩			357	25.30	22.14	19.27	10.74																	-14,885.424	8,443.118	14.580
3	13	35U-65	0002	礫	安山岩	1			118.46	68.58	46.89	398.30																	-14,887.441	8,321.913	16.038
3	13	35U-73	0002A	石核	チャート	5	3		29.14	29.31	25.92	26.00																	-14,891.462	8,312.215	15.688
3	13	35U-73	0002B	剥片	ホルンフェルス	8			18.19	9.99	2.97	0.46	L		○			○	○				○						-14,891.462	8,312.215	15.688
3	13	35U-74	0002	剥片	黒曜石	3			14.22	27.37	8.27	2.18					○								F			B		-14,890.110	8,319.760	16.087
3	13	35U-75	0002	剥片	トロトロ石	1	2		32.65	40.03	6.12	5.77	L				○						○		F					-14,890.181	8,320.792	16.209
3	13	35U-75	0003	使用痕のある剥片	珪質頁岩	1	1		46.57	22.27	8.56	9.90	P										○						-14,891.943	8,321.789	16.150
3	14	34T-50	0006	剥片	頁岩	1			17.23	21.13	7.08	2.71	1	122						○					F					-14,843.940	8,261.654	16.815
3	14	34T-54	0002	剥片	チャート	6	3		39.86	47.50	15.33	30.10	1	107		○	○		○					○	0					-14,843.543	8,276.535	17.858
3	14	34T-54	0003	楔器	黒曜石	4	1		31.90	32.25	15.02	14.38												○		68				-14,843.867	8,276.984	17.705
3	14	34T-62	0005	剥片	黒曜石	4			20.94	16.52	4.31	1.03	1	102		○	○			○					F					-14,846.979	8,268.866	17.098
3	14	34T-62	0007	使用痕のある剥片	チャート	6	2		39.10	51.09	13.89	18.96	2	133		○	○						○	○	F					-14,847.437	8,269.536	16.950
3	14	34T-74	0004	剥片	黒曜石	4			25.08	30.46	13.92	8.31					○						○		0		B			-14,849.550	8,277.210	17.185
3	15	36T-01	0002A	剥片	チャート	17			20.88	21.23	13.39	4.74	2	83			○								F					-14,903.511	8,266.970	14.966
3	15	36T-01	0002B	磯片	流紋岩				19.33	18.40	14.70	6.20																		-14,903.511	8,266.970	14.966
3	15	36T-02	0001	二次加工のある剥片	チャート	7	3		42.07	24.31	11.92	9.21					○	○							0					-14,903.733	8,268.467	14.523
3	15	36T-02	0002	磯片	流紋岩				37.96	17.92	8.19	4.61																		-14,903.955	8,268.079	14.720
3	15	36T-02	0003	磯片	ホルンフェルス				45.10	38.57	13.91	22.77																		-14,903.844	8,268.301	14.700
3	15	36T-02	0004	磯片	流紋岩			368	28.63	20.43	13.22	7.59																		-14,903.899	8,268.357	14.652
3	15	36T-02	0005	磯片	流紋岩			368	35.42	21.12	22.29	13.24																		-14,903.899	8,268.467	14.623
3	15	36T-02	0006	磯片	流紋岩				33.57	19.74	12.79	6.31																		-14,903.456	8,269.077	14.677
3	15	36T-02	0007	磯片	砂岩				36.16	30.26	17.13	18.27																		-14,903.844	8,268.800	14.558
3	15	36T-02	0008	二次加工のある剥片	チャート	7	1		30.35	31.14	10.47	9.88	1	106		○	○								H					-14,903.677	8,268.800	14.645
3	15	36T-02	0009	磯片	砂岩				26.65	19.69	9.86	5.16																		-14,903.622	8,268.800	14.533
3	15	36T-10	0001	剥片	チャート	8			21.96	21.78	13.34	4.74	1	117					○		○	○			0					-14,904.913	8,260.842	14.958
3	15	36T-10	0002	磯片	砂岩				33.72	25.96	18.08	15.94																		-14,905.036	8,261.642	14.824
3	15	36T-10	0003	二次加工のある剥片	チャート	8	2		21.35	16.54	10.39	3.01					○										74	T		-14,904.451	8,261.318	14.926
3	15	36T-10	0004	二次加工のある剥片	チャート	8	4		29.37	22.72	12.70	7.77	1			○				○					F	77				-14,904.728	8,261.995	14.857
3	15	36T-11	0001	磯片	砂岩				19.64	16.65	11.62	3.75																		-14,904.066	8,267.414	14.635
3	15	36T-11	0002	磯片	砂岩				41.50	33.19	28.86	33.02																		-14,904.357	8,267.337	14.819
3	15	36T-11	0003	磯片	ホルンフェルス				19.41	12.03	7.29	1.80																		-14,904.454	8,267.192	14.715
3	15	36T-11	0004	磯片	流紋岩				42.27	22.24	16.85	17.88																		-14,904.842	8,267.248	14.720
3	15	36T-11	0005	磯片	砂岩				27.35	21.08	16.78	10.20																		-14,904.620	8,267.248	14.687
3	15	36T-11	0006	磯片	砂岩				27.81	19.61	9.05	3.29																		-14,904.953	8,267.248	14.638
3	15	36T-11	0007	磯片	流紋岩				19.38	15.37	17.29	4.10																		-14,905.008	8,266.748	14.810
3	15	36T-11	0008	磯片	砂岩				19.03	17.82	12.21	3.29																		-14,905.008	8,267.802	14.653
3	15	36T-11	0009	磯片	砂岩				36.73	26.14	17.70	22.73																		-14,904.953	8,267.802	14.682
3	15	36T-11	0010	磯片	チャート				32.53	23.73	20.03	15.58																		-14,904.786	8,267.857	14.735
3	15	36T-11	0011	磯片	砂岩				29.67	17.08	14.65	9.25																		-14,904.565	8,267.802	14.670
3	15	36T-11	0012	磯片	チャート				30.77	21.24	14.37	7.53																		-14,904.377	8,267.733	14.728
3	15	36T-11	0013	磯片	流紋岩				20.28	13.28	12.94	2.56																		-14,904.308	8,267.338	14.636
3	15	36T-11	0014	磯片	チャート	8			22.29	17.26	11.98	2.80																		-14,904.557	8,267.151	14.628
3	15	36T-12	0001	磯片	流紋岩				26.42	22.58	13.36	6.42																		-14,905.777	8,269.333	14.567
3	15	36T-12	0003	磯片	砂岩				43.68	26.63	17.74	19.47																		-14,906.584	8,268.385	14.491
3	15	36T-12	0004	磯片	砂岩				19.04	17.18	11.36	4.14																		-14,904.087	8,268.633	14.542
3	15	36T-12	0005	磯片	流紋岩				29.43	13.77	13.19	4.40																		-14,904.571	8,269.250	14.595
3	15	36T-12	0006	磯片	流紋岩				17.82	12.24	7.37	1.55																		-14,905.022	8,268.772	14.571
3	15	36T-12	0007	磯片	チャート				42.98	24.14	11.87	15.62																		-14,905.063	8,268.446	14.582
3	15	36T-12	0008	磯片	砂岩				25.27	24.79	8.68	7.40																		-14,905.098	8,268.336	14.478
3	15	36T-12	0009	磯片	流紋岩				21.47	14.09	13.23	3.68																		-14,905.202	8,268.668	14.604
3	15	36T-12	0010	磯片	チャート				28.79	25.18	17.49	10.14																		-14,904.911	8,268.931	14.583
3	15	36T-12	0011	磯片	砂岩				14.74	13.05	10.73	2.06																		-14,904.883	8,268.412	14.515
3	15	36T-12	0012	磯片	砂岩				29.53	18.41	14.66	9.28																		-14,904.329	8,268.820	14.485
3	15	36T-12	0013	磯片	砂岩				32.23	16.76	20.35	11.36																		-14,904.287	8,268.211	14.667
3	15	36T-12	0014	磯片	砂岩				32.86	18.72	17.61	10.18																		-14,904.682	8,268.052	14.602
3	15	36T-12	0015	磯片	砂岩				29.29	18.80	14.46	6.99																		-14,904.052	8,268.211	14.637
3	15	36T-12	0016	磯片	砂岩				18.59	18.33	9.37	3.58																		-14,904.267	8,268.156	14.653
3	15	36T-12	0002A	磯片	砂岩				39.62	27.02	19.44	23.99																		-14,905.742	8,268.966	14.568
3	15	36T-12	0002B	剥片	チャート	7			21.82	18.40	5.39	2.02	1	109			○								0					-14,905.742	8,268.966	14.568
3	16	35S-98	0013	磯片	砂岩				22.83	19.05	11.03	4.92																		-14,899.576	8,255.916	14.899
3	16	35S-99	0002	剥片	黒曜石	5			40.12	28.69	14.68	9.22	L										○		F					-14,899.079	8,257.929	15.279
3	16	35S-99	0016	石核	黒曜石	5	3		20.17	26.36	20.95	8.70																		-14,897.241	8,258.426	15.247
3	16	36S-08	0012	磯片	流紋岩			369	62.20	80.03	43.77	227.56																		-14,900.123	8,255.916	14.998

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	16	36S-08	0014	碗片	砂岩				21.73	20.95	13.37	5.85																		-14,902.086	8,255.519	14.974
3	16	36S-09	0001	剥片	玉髄（メノウ含む）	1			13.65	9.34	3.14	0.39	1	101		○	○								F					-14,900.148	8,258.898	15.389
3	16	36S-09	0003	碗片	砂岩			370	21.31	18.50	11.64	5.14																	-14,901.042	8,257.680	14.972
3	16	36S-09	0004	碗片	砂岩			370	33.98	30.88	16.15	17.28																	-14,900.819	8,256.960	15.018
3	16	36S-09	0005	碗片	砂岩				12.94	12.06	9.45	1.37																	-14,900.868	8,256.935	15.023
3	16	36S-09	0006	二次加工のある剥片	チャート	9	1		35.99	16.44	17.10	6.50																	-14,901.291	8,256.736	14.957
3	16	36S-09	0007	碗片	砂岩				39.13	23.27	17.30	12.95																	-14,901.340	8,256.488	15.013
3	16	36S-09	0008	剥片	玉髄（メノウ含む）	1			13.27	22.11	5.47	1.35	1	120		○	○	○	○					H					-14,901.489	8,256.438	15.014
3	16	36S-09	0009	剥片	珪質頁岩	3			24.24	12.35	9.62	1.68	1	121		○			○		○			F					-14,901.589	8,256.413	14.976
3	16	36S-09	0010	碗片	砂岩				23.29	23.32	18.88	8.43																	-14,901.390	8,256.140	14.950
3	16	36S-09	0011	碗片	流紋岩			369	85.17	59.18	43.33	222.84																	-14,900.197	8,256.041	14.998
3	16	36S-09	0015	二次加工のある剥片	珪質頁岩	2	2		24.68	21.12	11.63	4.86	L					○	○										-14,902.284	8,257.183	14.907
3	16	36S-09	0017	剥片	玉髄（メノウ含む）	1			10.47	8.65	3.81	0.31	1	104		○	○							F					-14,901.912	8,258.451	14.930
3	16	36S-09	0018	碗片	砂岩				30.86	21.38	18.46	12.11																	-14,901.564	8,256.463	14.962
3	16	36S-09	0019	碗片	チャート	10			24.37	14.35	10.16	3.91																	-14,901.415	8,256.364	14.986
3	16	36S-09	0020	碗片	ホルンフェルス				25.10	21.85	21.00	9.66																	-14,901.663	8,256.413	14.910
3	16	36S-09	0021	碗片	ホルンフェルス				17.75	17.85	14.64	3.49																	-14,901.440	8,256.463	14.969
3	17	37T-21	0002	碗片	砂岩				38.73	21.74	9.77	6.95																	-14,950.986	8,265.224	14.825
3	17	37T-21	0003	碗片	砂岩			371	27.51	20.74	22.33	13.52																	-14,951.833	8,264.191	14.886
3	17	37T-30	0002	碗片	流紋岩				28.22	23.11	18.20	10.03																	-14,954.044	8,262.704	14.680
3	17	37T-30	0003	碗片	砂岩				63.48	49.53	23.96	80.58																	-14,954.023	8,263.427	14.680
3	17	37T-30	0004	碗片	玉髄（メノウ含む）			373	29.99	25.68	18.81	13.81																	-14,953.961	8,263.819	14.707
3	17	37T-30	0005	碗片	流紋岩				31.71	20.84	13.44	5.06																	-14,953.754	8,263.448	14.701
3	17	37T-30	0007	碗片	チャート			374	27.64	22.07	13.85	7.87																	-14,953.506	8,263.014	14.715
3	17	37T-30	0008	碗片	チャート				22.49	22.09	6.09	3.11																	-14,953.259	8,262.993	14.538
3	17	37T-30	0009	碗片	チャート			374	24.26	12.91	15.23	4.58																	-14,952.969	8,262.849	14.559
3	17	37T-30	0010	碗片	砂岩			372	44.58	29.52	8.82	16.13																	-14,952.804	8,262.807	14.538
3	17	37T-30	0011	碗片	流紋岩			376	27.36	19.83	12.30	6.18																	-14,952.660	8,262.725	14.552
3	17	37T-30	0012	碗片	砂岩				72.53	38.70	26.98	100.10																	-14,952.701	8,262.890	14.540
3	17	37T-30	0013	碗片	砂岩				20.81	14.93	6.39	2.16																	-14,952.722	8,263.076	14.537
3	17	37T-30	0014	碗片	流紋岩			376	25.98	17.87	16.08	8.48																	-14,952.660	8,263.220	14.557
3	17	37T-30	0015	碗片	流紋岩				43.01	29.04	14.70	15.95																	-14,952.763	8,263.282	14.548
3	17	37T-30	0016	碗片	玉髄（メノウ含む）			373	20.48	13.29	12.60	3.15																	-14,953.093	8,263.551	14.617
3	17	37T-30	0017	碗片	流紋岩				32.82	27.93	13.46	10.66																	-14,953.052	8,263.881	14.751
3	17	37T-30	0018	碗片	流紋岩				22.77	15.58	13.92	4.20																	-14,952.845	8,263.840	14.651
3	17	37T-30	0019	碗片	チャート			375	43.59	27.26	26.46	24.15																	-14,952.763	8,263.634	14.660
3	17	37T-30	0021	碗片	流紋岩				30.35	29.35	14.62	9.33																	-14,952.598	8,263.757	14.658
3	17	37T-30	0022	碗片	流紋岩				34.72	22.38	6.76	7.72																	-14,952.515	8,263.572	14.593
3	17	37T-30	0024	碗片	砂岩				106.87	32.33	29.75	168.54																	-14,952.246	8,263.551	14.555
3	17	37T-30	0025	碗片	流紋岩				27.22	14.33	9.44	3.67																	-14,953.837	8,261.733	14.708
3	17	37T-30	0026	碗片	流紋岩				29.72	23.50	14.18	7.16																	-14,953.548	8,262.869	14.612
3	17	37T-30	0027	碗片	砂岩			372	18.73	12.14	8.90	2.92																	-14,953.734	8,263.324	14.700
3	17	37T-30	0028	碗片	流紋岩				51.50	27.25	26.80	37.82																	-14,952.536	8,263.489	14.600
3	17	37T-30	0029	碗片	砂岩				62.08	28.93	36.98	58.85																	-14,952.804	8,263.819	14.605
3	17	37T-30	0030	碗片	チャート			375	36.21	21.03	12.35	7.44																	-14,952.598	8,263.861	14.652
3	17	37T-30	0031	碗片	流紋岩				40.73	41.56	16.15	35.57																	-14,952.618	8,263.448	14.572
3	17	37T-30	0032	碗片	砂岩			372	36.28	23.12	10.24	8.34																	-14,952.660	8,263.696	14.587
3	17	37T-30	0033	碗片	流紋岩				32.44	19.40	18.79	10.22																	-14,952.660	8,263.757	14.571
3	17	37T-31	0002	碗片	砂岩			371	26.01	22.38	15.87	8.06																	-14,952.164	8,264.377	14.648
3	17	37T-31	0003	碗片	砂岩				21.54	16.25	17.34	8.21																	-14,952.515	8,264.212	14.525
3	17	37T-31	0004	ナイフ形石器	硬質頁岩	1	1		29.00	20.75	4.52	3.30					○							H	81		B	+	-14,952.536	8,264.026	14.567
3	18	31X-34	0001	剥片	黒曜石	7			21.60	10.85	4.07	0.48	L			○	○							F					-14,715.021	8,436.150	16.300
3	18	31X-34	0002	砕片	トロトロ石	2			7.79	13.93	2.07	0.19	L			○	○							F					-14,714.209	8,436.506	16.367
3	18	31X-34	0003	剥片	黒曜石	6	14b	379	23.27	39.69	8.51	6.39	1	124			○					○		F					-14,714.783	8,436.961	16.498
3	18	31X-34	0004	剥片	トロトロ石	2			6.49	9.70	3.77	0.21																	-14,715.041	8,436.783	16.139
3	18	31X-34	0005	剥片	チャート	12		382	33.86	56.13	13.97	31.54										○					B		-14,714.348	8,437.357	16.313
3	18	31X-34	0006	楔器	黒曜石	6	4		41.03	51.56	9.79	14.77	3	85	○		○			○				F					-14,714.249	8,437.832	16.362
3	18	31X-34	0007	剥片	黒曜石	6			17.72	33.66	5.04	2.09	1	96		○						○		H					-14,714.407	8,437.773	16.368
3	18	31X-34	0008	剥片	黒曜石	6	11		16.47	23.48	5.54	1.19	L				○			○	○			F					-14,714.882	8,437.674	16.273
3	18	31X-34	0009	剥片	チャート	12		382	13.98	21.50	10.82	3.42					○						○				VM		-14,715.614	8,436.902	16.173
3	18	31X-34	0010	石核	黒曜石	6	14c	379	37.18	56.34	18.03	23.84																	-14,715.575	8,437.120	16.298
3	18	31X-34	0011	使用痕のある剥片	黒曜石	6	13b	377	19.59	33.20	8.23	3.09	1	95			○							H					-14,715.535	8,437.357	16.210
3	18	31X-34	0012	砕片	黒曜石	7			2.95	9.03	0.65	0.01	L			○	○							F					-14,715.397	8,437.634	16.233
3	18	31X-34	0013	剥片	チャート	12		382	34.47	39.76	18.79	22.74											○				B		-14,715.436	8,437.792	16.335
3	18	31X-34	0014	剥片	黒曜石	6	13a	377	34.46	45.82	11.76	12.65	1	121		○	○					○		H					-14,715.674	8,437.832	16.625
3	18	31X-34	0015	剥片	黒曜石	6			12.99	9.94	1.59	0.16	L			○	○							F					-14,715.713	8,438.505	16.215
3	18	31X-34	0016	剥片	黒曜石	6			18.67	22.85	2.37	0.61	1	99								○					R		-14,715.575	8,438.999	16.197
3	18	31X-34	0017	削器	黒曜石	6	3		34.78	44.84	11.20	11.04	2	126		○	○			○									-14,715.713	8,439.336	16.674
3	18	31X-34	0018	二次加工のある剥片	黒曜石	6	5		8.79	20.57	3.33	0.58					○										B		-14,714.823	8,439.039	16.238
3	18	31X-34	0019	剥片	黒曜石	6			9.57	8.88	2.10	0.16	1	96		○	○							F					-14,714.585	8,439.177	16.397
3	18	31X-34	0020	使用痕のある剥片	黒曜石	6	8		25.87	21.71	5.07	1.98					○										VM		-14,714.427	8,439.078	16.438
3	18	31X-34	0021	剥片	黒曜石	6	10		22.87	24.79	5.66	4.29	1	109													MH		-14,714.506	8,439.395	16.413
3	18	31X-34	0022	石核	黒曜石	6	13c	377	43.49	46.44	21.98	30.85																	-14,714.051	8,439.217	16.292

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	18	31X-34	0023	剥片	黒曜石	6	15b	378	18.92	24.39	5.91	14.53	L			○	○					○		F					-14,713.754	8,439.355	16.092
3	18	31X-34	0024	使用痕のある剥片	黒曜石	6	7		22.99	18.60	6.18	1.79	1	111		○	○		○										-14,713.418	8,439.909	16.114
3	18	31X-34	0025	剥片	トロトロ石	2	18		93.45	101.60	37.15	242.62	C	107								○							-14,715.753	8,438.861	16.214
3	18	31X-34	0026	剥片	チャート	12		382	67.37	38.61	31.19	153.71					○					○					B		-14,715.792	8,437.219	16.228
3	18	31X-34	0027	剥片	黒曜石	6			20.32	22.32	4.50	1.46	1	123		○	○					○		F					-14,715.753	8,437.298	16.217
3	18	31X-34	0028	剥片	黒曜石	6	14a	379	15.38	21.30	12.16	2.53	1	109		○	○					○		0					-14,715.792	8,437.575	16.094
3	18	31X-34	0029	剥片	黒曜石	7			12.04	9.90	2.35	0.35	1	94			○										H		-14,715.713	8,437.693	16.540
3	18	31X-34	0030	石核	黒曜石	6	13d	377	24.39	55.35	18.76	18.16																	-14,715.674	8,437.693	16.200
3	18	31X-34	0031	剥片	黒曜石	7			15.04	12.36	3.44	0.31	1	108		○	○							F					-14,715.614	8,437.634	16.068
3	18	31X-34	0032	剥片	黒曜石	6			16.81	15.81	6.01	1.30	2	99		○	○										H		-14,715.674	8,438.168	16.004
3	18	31X-34	0033	剥片	黒曜石	6	15a	378	45.16	25.15	14.19	14.54	2	110		○	○		○			○		0					-14,715.535	8,438.287	16.008
3	18	31X-35	0002	剥片	黒曜石	6			10.27	10.43	3.93	0.30	1	95		○	○		○					F					-14,715.970	8,440.958	16.155
3	18	31X-44	0001	剥片	黒曜石	7			16.14	5.17	2.77	0.18	P			○	○							H					-14,715.990	8,437.001	16.138
3	18	31X-44	0002	磨石	安山岩	2	19		75.06	50.81	37.23	200.71																	-14,716.010	8,437.120	16.257
3	18	31X-44	0003	ナイフ形石器	硬質頁岩	4	1		73.00	30.50	15.91	26.49	1	110			○			○						91				-14,716.010	8,437.416	16.228
3	18	31X-44	0004	剥片	黒曜石	6			11.41	14.40	4.49	0.74	2	99			○						○	F					-14,716.168	8,437.436	16.099
3	18	31X-44	0005	剥片	黒曜石	7			13.36	24.45	6.81	1.00	1	110					○					F					-14,716.426	8,437.416	16.048
3	18	31X-44	0006	剥片	チャート	12		382	32.30	18.20	18.60	17.06											○				VM		-14,716.050	8,437.872	16.395
3	18	31X-44	0007	剥片	黒曜石	7			20.66	15.50	5.62	1.20					○	○						F					-14,716.386	8,437.832	16.254
3	18	31X-44	0008	ナイフ形石器	黒曜石	6	2		44.46	20.52	7.45	4.70	1	121			○									83		L		-14,716.445	8,438.247	16.100
3	18	31X-44	0009	砕片	黒曜石	7			11.96	9.00	1.89	0.12					○						○	F				B		-14,716.228	8,438.544	16.057
3	18	31X-44	0010	砕片	黒曜石	7			9.12	4.08	0.92	0.04					○							F				B		-14,716.366	8,438.643	16.052
3	18	31X-44	0011	剥片	黒曜石	7	17b	381	15.56	22.73	3.93	0.85	2	98			○						○	F				L		-14,716.267	8,438.683	16.053
3	18	31X-44	0012	剥片	黒曜石	7	17a	381	14.07	15.00	2.56	0.35	1	92	○		○						○	F						-14,716.406	8,438.801	16.070
3	18	31X-44	0013	剥片	黒曜石	6			19.08	36.08	9.43	4.62	L			○	○						○					H		-14,716.307	8,437.753	16.204
3	18	31X-44	0014	剥片	黒曜石	7			20.91	10.62	4.59	0.64	1	104		○	○						○	F						-14,716.346	8,437.970	16.137
3	18	31X-44	0015	剥片	黒曜石	6			8.99	14.41	2.97	0.27	1	109			○		○					H						-14,716.228	8,437.931	16.115
3	18	31X-45	0001	二次加工のある剥片	黒曜石	6	6		54.93	57.14	16.87	44.10												0		70		B		-14,716.406	8,440.879	16.360
3	18	31X-45	0002	剥片	頁岩	2	12		23.93	35.67	6.17	5.01	1	116		○	○							H					-14,716.386	8,441.196	16.377
3	18	31X-45	0003	剥片	黒曜石	6	16a	380	44.11	17.79	14.34	7.59	P				○							H					-14,717.118	8,441.670	16.385
3	18	31X-45	0004	剥片	黒曜石	6			20.63	18.06	5.33	1.52	1	86			○							H					-14,716.980	8,440.879	16.288
3	18	31X-45	0005	剥片	黒曜石	6			16.64	14.62	3.47	0.59	1	105			○							F					-14,716.762	8,440.266	16.568
3	18	31X-45	0006	剥片	黒曜石	6			6.06	10.94	1.44	0.09					○							F				B		-14,717.197	8,440.859	16.179
3	18	31X-45	0007	剥片	黒曜石	6	16b	380	33.96	12.92	9.21	2.46	P				○							F						-14,717.059	8,440.028	16.565
3	18	31X-45	0008	剥片	黒曜石	7			12.98	24.44	4.43	0.99	1	104		○	○							H						-14,717.751	8,441.433	16.232
3	18	31X-45	0009	使用痕のある剥片	チャート	11	9		48.57	46.71	18.27	44.43	1	122		○	○						○	H						-14,718.464	8,441.136	16.339
3	18	31X-45	0010	礫片	安山岩	3			27.24	25.48	25.84	13.61																	-14,716.801	8,440.187	16.303
3	18	31X-45	0011	剥片	黒曜石	6			16.95	17.39	3.85	0.82	1	101			○			○	○			S						-14,716.940	8,440.127	16.287
3	19	30W-69	0001	剥片	黒曜石	8	5d	386	18.90	29.65	6.30	2.41								○				S			B			-14,685.665	8,418.842	16.341
3	19	30W-69	0002	剥片	頁岩	4			17.54	8.41	3.00	0.35					○										M			-14,686.197	8,418.460	16.379
3	19	30W-69	0003	剥片	黒曜石	8	6b	385	21.82	33.05	11.83	7.41	2	104			○		○		○			0						-14,686.282	8,418.353	16.345
3	19	30W-69	0004	二次加工のある剥片	黒曜石	8	1		24.64	32.03	16.42	7.94	1	113			○		○		○		○	H						-14,685.984	8,417.056	16.536
3	19	30W-69	0005	剥片	黒曜石	8	5c	386	6.60	16.11	6.51	0.63					○				○			H			B			-14,686.345	8,419.140	16.367
3	19	30W-69	0007	剥片	黒曜石	8	5b	386	41.21	25.86	10.93	9.07										○	○	S						-14,686.622	8,419.097	16.438
3	19	30W-69	0008	剥片	黒曜石	8			10.11	11.99	2.90	0.14							○					0			B			-14,686.834	8,418.949	16.407
3	19	30W-69	0009	剥片	黒曜石	8			10.64	15.16	2.86	0.18								○				F			B			-14,686.664	8,418.757	16.322
3	19	30W-69	0010	砕片	黒曜石	8			7.78	3.46	0.76	0.01	P				○							F						-14,687.005	8,419.076	16.305
3	19	30W-69	0011	砕片	黒曜石	8			5.85	7.79	1.13	0.04	P							○				F						-14,686.920	8,419.161	16.329
3	19	30W-69	0012	剥片	黒曜石	8			16.39	16.09	5.22	0.60					○				○						VM			-14,686.856	8,419.438	16.327
3	19	30W-69	0013	砕片	黒曜石	8			7.25	4.41	0.87	0.01					○							F			B			-14,686.601	8,419.459	16.398
3	19	30W-69	0014	砕片	黒曜石	8			3.21	3.12	0.31	0.01																		-14,686.834	8,419.608	16.257
3	19	30W-69	0015	剥片	黒曜石	8			8.71	20.69	4.89	0.54	1	98			○							0						-14,687.238	8,419.459	16.247
3	19	30W-69	0016	砕片	黒曜石	8			4.42	2.36	0.27	0.01																		-14,687.005	8,419.884	16.242
3	19	30W-69	0017	砕片	黒曜石	8			3.93	8.04	1.12	0.02																		-14,687.536	8,419.884	16.250
3	19	30W-69	0018	石核	硬質頁岩	2	9b	387	44.19	50.25	22.29	33.72																		-14,687.770	8,419.820	16.282
3	19	30W-69	0019	砕片	黒曜石	8			3.69	4.67	0.61	0.01	L				○							F						-14,687.600	8,419.523	16.310
3	19	30W-69	0020	石核	黒曜石	8	8b	384	39.63	58.37	21.49	43.30																		-14,687.813	8,419.523	16.300
3	19	30W-69	0021	剥片	黒曜石	8			10.61	4.97	2.74	0.11	P				○							F						-14,687.621	8,419.097	16.305
3	19	30W-69	0022	剥片	黒曜石	8	7b	388	30.32	12.91	6.01	1.48					○				○			F			B			-14,687.749	8,419.012	16.179
3	19	30W-69	0023	剥片	黒曜石	8	6a	385	26.17	15.13	13.38	3.65					○					○	○	0			B			-14,687.876	8,418.438	16.290
3	19	30W-69	0024	二次加工のある剥片	黒曜石	8	7a	388	21.25	27.06	5.58	2.60					○							F			RT			-14,686.707	8,419.608	16.196
3	19	30W-69	0025	砕片	ホルンフェルス	10			10.60	0.86	0.35	0.27																		-14,687.728	8,419.672	16.236
3	19	30W-69	0026	剥片	黒曜石	8			8.92	17.29	7.67	0.70					○					○	○	0						-14,687.685	8,419.331	16.235
3	19	30W-69	0027	剥片	黒曜石	8			11.16	11.98	2.55	0.26					○										VM			-14,686.664	8,418.885	16.280
3	19	30W-69	0028	剥片	黒曜石	8	5a	386	11.21	12.86	4.88	0.59					○					○		F			B			-14,687.005	8,419.289	16.262
3	19	30W-69	0029	使用痕のある剥片	黒曜石	8	2		28.13	25.46	8.81	5.74	1	112	○	○	○			○				H						-14,687.813	8,418.821	16.260
3	19	30W-69	0030	砕片	黒曜石	8			6.22	14.33	2.81	0.12					○							F						-14,687.302	8,419.799	16.199
3	19	30W-69	0006A	剥片	黒曜石	8			15.14	12.06	3.75	0.53	L				○							H						-14,686.452	8,419.225	16.372
3	19	30W-69	0006B	砕片	黒曜石	8			7.13	5.67	1.80	0.08	1	97	○		○							F						-14,686.452	8,419.225	16.372
3	19	30W-79	0001	剥片	黒曜石	8			18.07	21.45	7.10	2.15	1	114		○		○		○				H						-14,688.025	8,419.969	16.255
3	19	30W-79	0002	剥片	黒曜石	8	8a	384	17.69	27.70	9.14	2.12	1	99			○			○			○	0						-14,688.025	8,419.523	16.286
3	19	30W-79	0003	剥片	硬質頁岩	2			12.36	8.87	0.97	0.12	L			○	○							F						-14,688.025	8,419.353	16.305
3	19	30W-79	0004	剥片	黒曜石	8			16.34	16.18	3.26	0.79	L			○	○							H						-14,688.344	8,419.353	16.357

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	19	30W-79	0005	剥片	硬質頁岩	2	9a	387	20.30	29.31	12.47	7.12	1	121		○		○		○	○			0					-14,688.323	8,419.097	16.166
3	19	30W-79	0006	使用痕のある剥片	黒曜石	8			26.25	23.41	6.27	2.46	1	106		○	○	○						H					-14,688.004	8,418.779	16.370
3	19	30W-79	0007	剥片	頁岩	3			28.50	43.74	15.28	9.80	L				○					○		H					-14,688.217	8,418.779	16.309
3	19	30W-79	0008	剥片	トロトロ石	3			9.90	16.28	3.51	0.45	1	114		○	○							0					-14,688.004	8,418.523	16.307
3	19	30W-79	0009	剥片	頁岩	3			16.49	16.62	6.46	1.35					○							F					-14,688.110	8,418.651	16.330
3	19	30W-79	0010	砕片	黒曜石	8			5.66	10.34	1.35	0.08	1	98		○	○							F					-14,688.217	8,418.438	16.310
3	19	30W-79	0011	使用痕のある剥片	黒曜石	8			34.69	31.74	8.12	4.64	1	111		○	○					○		H					-14,688.174	8,418.375	16.312
3	19	30W-79	0012	砕片	黒曜石	8			6.85	9.32	3.01	0.08	P				○							0					-14,688.004	8,418.396	16.305
3	19	30W-79	0013	剥片	黒曜石	8			7.80	12.43	4.25	0.29	1	101			○										H		-14,689.131	8,418.481	16.360
3	19	30W-79	0014	剥片	黒曜石	8			9.96	9.97	5.02	0.43					○										VM		-14,688.982	8,418.864	16.322
3	19	30W-79	0015	砕片	黒曜石	8			8.60	9.59	4.33	0.22	P				○												-14,688.940	8,419.034	16.325
3	19	30W-79	0016	剥片	黒曜石	8	4a	383	24.32	23.43	10.56	3.91					○	○	○								RT		-14,689.663	8,419.650	16.447
3	19	30W-79	0017	砕片	黒曜石	8			11.15	7.55	2.54	0.11	1	96		○	○							F					-14,688.025	8,418.906	16.290
3	19	30W-79	0018	石核	黒曜石	8	4b	383	11.23	26.57	23.76	6.11																	-14,688.748	8,419.374	16.081
3	19	30X-50	0002	礫片	チャート				27.89	25.78	14.93	11.63																	-14,683.432	8,421.118	16.546
3	19	30X-60	0001	砕片	黒曜石	8			6.01	3.03	1.01	0.03																	-14,687.876	8,420.139	16.264
3	19	30X-60	0002	砕片	黒曜石	8			6.62	3.99	1.30	0.04	P			○	○							F					-14,687.961	8,420.267	16.378
3	19	30X-60	0003	剥片	黒曜石	8			12.95	8.59	1.94	0.18	L			○	○										H		-14,687.919	8,420.458	16.275
3	19	30X-60	0004	砕片	トロトロ石	3			3.21	5.05	1.71	0.04																	-14,687.217	8,420.033	16.196
3	19	30X-70	0001	使用痕のある剥片	黒曜石	8	3		25.85	17.16	3.18	1.21					○										VM		-14,688.174	8,420.182	16.399
3	19	30X-70	0002	剥片	黒曜石	8			28.67	25.15	8.89	3.15	L			○	○	○	○					F					-14,688.323	8,420.373	16.358
3	19	30X-70	0004	砕片	黒曜石	8			4.88	7.46	1.00	0.02																	-14,688.514	8,420.224	16.163
3	19	30X-70	0003A	剥片	黒曜石	8			14.76	15.13	4.16	0.79	2	105		○	○										MH		-14,688.280	8,420.331	16.290
3	19	30X-70	0003B	砕片	黒曜石	8			4.24	2.31	1.55	0.01																	-14,688.280	8,420.331	16.290
3	20	31X-84	0104	砕片	黒曜石	9			9.45	6.00	0.68	0.03																	-14,735.827	8,439.368	16.133
3	20	31X-84	0105	砕片	黒曜石	9			4.82	7.52	0.92	0.01																	-14,735.827	8,439.473	16.133
3	20	31X-84	0106	使用痕のある剥片	黒曜石	9	6b	396	16.39	11.49	4.19	0.70	1	104		○	○		○			○		F			R		-14,735.827	8,439.790	16.135
3	20	31X-84	0107	剥片	黒曜石	9			10.42	12.79	3.12	0.27	L				○							F					-14,735.458	8,439.842	16.169
3	20	31X-84	0125	剥片	ガラス質黒色安山岩	4			48.41	23.82	7.01	6.04	L									○		F					-14,735.036	8,438.840	16.262
3	20	31X-84	0126	二次加工のある剥片	黒曜石	9	5a	395	34.34	29.67	9.87	5.04	L				○	○			○			0					-14,735.141	8,439.051	16.160
3	20	31X-84	0127	砕片	黒曜石	9			4.07	3.37	0.52	0.01																	-14,735.352	8,439.104	16.156
3	20	31X-84	0128	使用痕のある剥片	黒曜石	9			12.28	5.17	2.49	0.10															LT		-14,735.511	8,438.998	16.157
3	20	31X-84	0130	二次加工のある剥片	黒曜石	9	2		15.18	12.52	3.23	0.49					○	○	○					F					-14,735.774	8,438.682	16.349
3	20	31X-84	0210	剥片	チャート	16			22.85	16.38	4.18	1.22	1	121			○							F			L		-14,735.751	8,437.199	16.145
3	20	31X-84	0001A	剥片	黒曜石	9			20.20	18.87	4.44	0.90	L				○	○	○					F							
3	20	31X-84	0001B	砕片	黒曜石	9			14.25	9.24	2.03	0.18					○							F			B				
3	20	31X-84	0001C	砕片	黒曜石	9			11.05	4.46	1.40	0.05	P				○	○					○	F							
3	20	31X-84	0001D	砕片	黒曜石	9			6.87	9.50	1.60	0.12	1	96		○	○							H							
3	20	31X-84	0001E	砕片	黒曜石	9			7.37	6.11	0.75	0.05					○			○				F			B				
3	20	31X-84	0001F	砕片	黒曜石	9			4.33	7.83	2.66	0.05																			
3	20	31X-84	0001G	砕片	黒曜石	9			6.97	4.20	0.89	0.02	L			○	○							F							
3	20	31X-84	0001H	砕片	黒曜石	9			2.72	7.11	1.28	0.02																			
3	20	31X-84	0001I	砕片	黒曜石	9			5.87	3.36	0.74	0.01																			
3	20	31X-85	0081	剥片	黒曜石	9	9b	397	16.06	20.29	4.35	1.24	L				○				○						H		-14,733.612	8,441.689	16.460
3	20	31X-85	0082	使用痕のある剥片	黒曜石	9	10a	394	19.91	24.08	7.22	2.07	L			○			○		○			F					-14,733.559	8,442.005	16.161
3	20	31X-85	0083	使用痕のある剥片	黒曜石	9	3		23.37	15.52	4.27	1.02					○						○	F			B		-14,734.297	8,441.900	16.267
3	20	31X-85	0084	剥片	黒曜石	9			23.96	21.54	7.03	2.83	1	107		○	○							F					-14,734.614	8,442.111	16.238
3	20	31X-85	0108	剥片	黒曜石	9	6a	396	15.42	7.89	4.19	0.29	1	115		○	○				○	○		F					-14,735.511	8,440.106	16.170
3	20	31X-85	0110	剥片	黒曜石	9			13.83	18.53	5.01	0.74	1	124		○	○	○						0					-14,735.458	8,440.264	16.148
3	20	31X-85	0111	剥片	黒曜石	9			15.69	14.25	9.33	1.07	1	85						○		○	○	0					-14,735.669	8,440.475	16.134
3	20	31X-85	0113	剥片	黒曜石	9			10.24	11.59	2.49	0.21	L			○	○							0					-14,734.403	8,440.898	16.359
3	20	31X-85	0114	使用痕のある剥片	黒曜石	9	7a	393	23.74	20.92	6.32	2.06	1	108		○	○			○				0					-14,734.245	8,441.003	16.369
3	20	31X-85	0116	砕片	黒曜石	9			12.74	6.91	1.24	0.12	P					○		○				F					-14,734.245	8,440.317	16.195
3	20	31X-85	0117	砕片	黒曜石	9			6.11	11.64	5.95	0.39	1	93		○	○					○		F					-14,733.664	8,440.528	16.320
3	20	31X-85	0118	砕片	黒曜石	9			9.20	6.48	0.88	0.05	P																-14,733.928	8,440.264	16.322
3	20	31X-93	0035	二次加工のある剥片	黒曜石	9	5b	395	14.61	23.20	27.41	9.12					○							F					-14,735.928	8,434.543	16.338
3	20	31X-94	0036	剥片	チャート	16	4		38.94	16.64	15.75	8.13							○		○			F					-14,736.282	8,436.137	16.323
3	20	31X-94	0102	剥片	黒曜石	9			16.21	14.50	6.84	1.51	1	112		○	○							0					-14,736.302	8,439.737	16.142
3	20	31X-94	0103	楔器	黒曜石	9	1		30.75	31.69	12.06	12.77	1	124		○	○			○		○			86			-14,736.249	8,439.526	16.227
3	20	31X-94	0132	砕片	黒曜石	9			3.84	11.34	2.37	0.11	1	88		○	○							F					-14,737.040	8,439.209	16.289
3	20	31X-94	0133	使用痕のある剥片	黒曜石	9	8b	392	53.96	28.47	9.98	20.71	1	104		○	○			○	○	○		F					-14,737.515	8,438.682	16.187
3	20	31X-94	0134	剥片	黒曜石	9	8a	392	22.10	11.97	10.54	2.75	1	94			○			○		○		0					-14,737.357	8,438.154	16.345
3	20	31X-94	0136	砕片	黒曜石	9			8.79	6.01	1.20	0.05	L				○							F					-14,737.040	8,437.996	16.317
3	20	31X-95	0089	砕片	黒曜石	9			4.68	3.69	1.21	0.04																	-14,736.053	8,441.140	16.141
3	20	31X-95	0090	砕片	黒曜石	9			7.07	7.06	2.19	0.12																	-14,736.292	8,441.296	16.175
3	20	31X-95	0091	剥片	チャート	16			19.92	19.26	3.54	1.36	1	96		○	○												-14,736.783	8,441.919	16.193
3	20	31X-95	0095	剥片	黒曜石	9	7c	393	9.98	19.63	6.26	0.98	1	93				○	○			○		F			B		-14,737.799	8,440.183	16.162
3	20	31X-95	0096	剥片	黒曜石	9			10.87	9.88	3.69	0.29	L			○	○							F					-14,737.209	8,440.772	16.116
3	20	31X-95	0097	砕片	黒曜石	9			5.75	2.75	0.92	0.01																	-14,737.013	8,440.641	16.213
3	20	31X-95	0098	剥片	黒曜石	9			12.75	12.56	5.91	0.74	L			○	○										H		-14,736.881	8,440.216	16.149
3	20	31X-95	0099	剥片	黒曜石	9			16.09	9.05	1.54	0.27	L			○	○	○			○			F					-14,736.652	8,440.150	16.149
3	20	31X-95	0100	砕片	黒曜石	9			7.65	2.79	1.03	0.04																	-14,736.652	8,440.150	16.149
3	20	31X-95	0101	使用痕のある剥片	黒曜石	9	7b	393	21.27	21.32	7.96	3.57	1	106		○	○										H		-14,736.128	8,440.641	16.253

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
3	20	31X-95	0137	砕片	黒曜石	9			3.23	2.36	0.50	0.01																		-14,736.259	8,440.478	16.138
3	20	31X-95	0139	使用痕のある剥片	黒曜石	9	10b	394	23.12	9.50	3.29	0.59					○					○			F					-14,738.407	8,440.387	16.247
3	20	32X-03	0060	剥片	黒曜石	9	9a	397	26.20	14.75	5.40	1.71	1	98			○			○		○			H					-14,740.533	8,435.782	16.192
3	21	26T-12	0002	砕片	チャート	12			6.99	7.12	2.81	0.18																		-14,506.665	8,270.177	16.603
3	21	26T-12	0003	砕片	頁岩	5			6.23	10.67	1.81	0.11	1	107					○						H					-14,507.489	8,270.086	16.657
3	21	26T-12	0004	使用痕のある剥片	頁岩	5	2		27.63	24.12	12.46	7.08	1	117		○	○						○		O					-14,507.855	8,271.276	16.605
3	21	26T-13	0001	剥片	ガラス質黒色安山岩	3	3		64.22	40.32	21.23	44.77	C	117		○	○						○		F					-14,506.971	8,272.731	16.420
3	21	26T-22	0001	礫	砂岩				31.22	22.68	15.33	7.94																		-14,508.847	8,268.230	16.610
3	21	26T-22	0002	礫片	砂岩				29.65	25.73	23.83	5.90																		-14,508.596	8,269.543	16.577
3	21	26T-23	0002	二次加工のある剥片	頁岩	5	1		26.81	16.46	15.20	3.18					○						○		O					-14,508.284	8,273.419	16.466
3	22	27S-96	0002	剥片	チャート	15			22.01	17.52	4.71	1.41	1	109			○		○						H					-14,578.331	8,246.459	17.420
3	22	27S-96	0001A	剥片	珪質頁岩	5	3a	389	29.89	42.70	11.03	9.60	2	108		○	○		○						O					-14,579.308	8,247.159	17.340
3	22	27S-96	0001B	剥片	珪質頁岩	5	3b	389	20.83	38.59	5.90	0.27					○							○			B			-14,579.308	8,247.159	17.340
3	22	27S-96	0001C	剥片	珪質頁岩	5			29.89	42.70	11.03	9.60	2	108		○	○		○						O					-14,579.308	8,247.159	17.340
3	22	28S-05	0001	剥片	チャート	14			16.64	31.52	6.53	3.66	L			○	○		○				○		O					-14,580.027	8,242.974	17.478
3	22	28S-05	0002	剥片	チャート	13			15.00	31.58	3.62	1.19	1	108		○	○								O					-14,580.783	8,242.771	17.595
3	22	28S-05	0003	剥片	チャート	13	2		21.03	28.23	9.29	5.20	1	126		○	○	○									H			-14,580.894	8,242.642	17.590
3	22	28S-05	0004	剥片	チャート	14			28.28	22.58	5.43	2.79	1	123		○	○		○			○								-14,580.230	8,242.513	17.545
3	22	28S-06	0001	剥片	珪質頁岩	6			9.58	19.46	5.94	1.13											○				B			-14,580.119	8,245.721	17.395
3	22	28S-06	0002	剥片	珪質頁岩	6			10.03	31.36	9.71	2.72					○		○						O					-14,580.119	8,244.984	17.465
3	22	28S-06	0003	剥片	珪質頁岩	5	4b	390	16.81	20.61	6.48	1.56							○			○					B			-14,580.138	8,244.726	17.463
3	22	28S-06	0004	剥片	珪質頁岩	5			28.79	18.02	6.37	1.74					○						○	○	O		B			-14,580.636	8,246.035	17.400
3	22	28S-06	0005	砕片	チャート	15			10.74	9.32	4.89	0.32					○								F		B			-14,580.691	8,245.758	17.407
3	22	28S-06	0006	剥片	珪質頁岩	5			19.10	24.99	8.07	3.89					○					○			O		B			-14,580.728	8,245.592	17.428
3	22	28S-06	0008	剥片	珪質頁岩	5			9.87	12.23	6.75	0.69					○													-14,581.004	8,246.090	17.407
3	22	28S-06	0009	剥片	珪質頁岩	5			11.23	21.98	4.74	0.91	2	90			○								F					-14,580.820	8,245.832	17.385
3	22	28S-06	0010	二次加工のある剥片	珪質頁岩	6	1		18.13	9.92	5.41	0.94								○			○		F		B			-14,581.004	8,245.629	17.417
3	22	28S-06	0011	剥片	珪質頁岩	6			11.93	14.73	6.74	0.95					○						○		F		B			-14,580.949	8,245.242	17.395
3	22	28S-06	0012	砕片	珪質頁岩	6			8.04	5.86	1.36	0.07	L				○													-14,580.691	8,245.905	17.388
3	22	28S-06	0013	砕片	珪質頁岩	6			7.98	9.55	1.74	0.11											○							-14,581.004	8,245.592	17.388
3	22	28S-06	0014	砕片	珪質頁岩	6			5.38	13.48	2.37	0.13					○										VM			-14,580.728	8,245.481	17.348
3	22	28S-06	0015	砕片	珪質頁岩	6			10.55	7.63	2.83	0.27					○		○								H			-14,580.838	8,245.666	17.330
3	22	28S-06	0016	剥片	珪質頁岩	5			14.36	19.34	3.35	0.59	1	119						○					F					-14,580.820	8,245.795	17.342
3	22	28S-06	0017	剥片	珪質頁岩	5	4a	390	20.37	14.38	2.41	0.66	1	118		○	○										R			-14,580.654	8,246.237	17.381
3	22	28S-06	0018	砕片	珪質頁岩	6			7.39	14.29	5.12	0.28	1	106		○	○						○		F					-14,581.281	8,245.684	17.280
3	22	28S-06	0007A	剥片	珪質頁岩	5		391	24.48	20.81	7.24	1.91					○	○	○				○		F					-14,580.654	8,245.223	17.407
3	22	28S-06	0007B	剥片	珪質頁岩	5		391	11.64	23.10	4.70	0.80					○								F		B			-14,580.654	8,245.223	17.407
3	単独	26R-99	0001	礫片	流紋岩				19.54	13.99	10.35	2.51																		-14,537.847	8,219.459	18.063
3	単独	26S-90	0001A	剥片	玉髄（メノウ含む）	2	2		30.50	40.16	7.18	5.15	P				○								F					-14,538.076	8,220.153	18.307
3	単独	26S-90	0001B	砕片	ホルンフェルス	11			9.70	6.19	3.74	0.18																		-14,539.076	8,222.153	18.307
3	単独	27R-09	0002	礫片	流紋岩				43.46	31.79	18.65	21.11																		-14,541.742	8,219.375	18.018
3	単独	38U-03	0001	角錐状石器	頁岩	6	1		49.39	15.32	12.28	8.20					○									93	48					
4	23	35Q-68	0002	二次加工のある剥片	チャート	1	2		28.06	19.87	5.47	2.42	P				○								F					-14,884.669	8,173.248	19.475
4	23	35Q-77	0001	二次加工のある剥片	チャート	1			33.06	37.06	10.48	9.50	1	98		○	○		○		○		○		H					-14,891.840	8,168.846	19.682
4	23	35Q-77	0003	砕片	チャート	1			5.85	14.06	2.04	0.14	1	108			○								O					-14,891.189	8,171.176	19.536
4	23	35Q-78	0003	剥片	チャート	1			19.68	17.71	6.63	1.60	P				○						○		O					-14,891.303	8,172.594	19.840
4	23	35Q-78	0013	使用痕のある剥片	チャート	1	17b	405	29.30	30.48	7.82	6.70	2	122		○	○						○		H					-14,891.840	8,173.507	19.615
4	23	35Q-78	0016	剥片	チャート	1			24.62	43.68	13.08	7.77	1	115								○	○		O					-14,891.740	8,173.707	19.630
4	23	35Q-86	0085	二次加工のある剥片	チャート	1	4		34.21	39.02	11.09	11.58	J	104		○	○								F					-14,893.208	8,166.403	19.640
4	23	35Q-87	0002	二次加工のある剥片	チャート	1	19b	407	32.08	17.09	10.71	3.06	1	112			○								F					-14,893.582	8,169.439	19.582
4	23	35Q-87	0004	砕片	チャート	1			6.87	16.51	2.50	0.30	1	106		○	○								F					-14,893.395	8,171.121	19.705
4	23	35Q-87	0006	剥片	チャート	1	18c	406	20.86	33.54	11.37	5.01	2	125		○	○					○	○		O					-14,894.329	8,171.775	19.600
4	23	35Q-87	0008	剥片	チャート	1			13.62	28.15	3.34	1.36					○								H		B			-14,894.703	8,171.915	19.795
4	23	35Q-87	0042	使用痕のある剥片	チャート	1	9		28.64	49.82	8.16	13.63	1	110		○	○						○				H			-14,894.236	8,171.915	19.566
4	23	35Q-87	0043	使用痕のある剥片	チャート	1			24.69	25.88	3.71	1.75					○								F					-14,894.189	8,171.681	19.496
4	23	35Q-87	0044	剥片	チャート	1			10.62	11.57	3.23	0.40	1	111		○	○								F					-14,894.236	8,171.448	19.431
4	23	35Q-87	0045	剥片	チャート	1			21.39	5.10	2.18	0.15	L						○					○	F					-14,893.909	8,171.775	19.557
4	23	35Q-87	0046	剥片	チャート	1			9.16	15.05	2.59	0.18	1	96		○	○								F					-14,893.348	8,171.541	19.526
4	23	35Q-87	0047	剥片	チャート	1			10.85	10.19	1.62	0.17	1	104		○	○								F					-14,892.227	8,171.308	19.473
4	23	35Q-87	0048	砕片	チャート	1			7.57	9.79	2.42	0.12					○								F		B			-14,892.508	8,171.681	19.506
4	23	35Q-87	0084	剥片	チャート	1			16.76	28.38	2.59	1.08	1	109			○							○			H			-14,892.345	8,171.427	19.397
4	23	35Q-87	0005A	剥片	チャート	1			12.60	9.06	1.32	0.21	1	103			○								H					-14,893.021	8,171.728	19.626
4	23	35Q-87	0005B	ナイフ形石器	チャート	1	1		10.16	8.66	3.33	0.23					○									65	56	H	+	-14,893.021	8,171.728	19.626
4	23	35Q-88	0001	二次加工のある剥片	チャート	1	19a	407	22.29	24.68	10.39	5.11	2	108		○	○						○		O					-14,894.162	8,173.751	19.588
4	23	35Q-88	0002	砕片	チャート	1			3.84	6.38	0.72	0.02	P				○								F					-14,893.574	8,173.651	19.523
4	23	35Q-88	0003	剥片	チャート	1			11.28	16.95	2.82	0.58	1	108		○	○								O					-14,893.749	8,173.351	19.793
4	23	35Q-88	0004	剥片	チャート	1			7.22	15.10	1.81	0.15	1	114		○	○								O					-14,893.937	8,172.988	19.600
4	23	35Q-88	0005	砕片	チャート	1			4.70	7.61	0.88	0.02	1	103			○								O					-14,893.874	8,172.863	19.588
4	23	35Q-88	0006	剥片	チャート	1			8.49	12.73	1.91	0.18	L			○	○								F					-14,893.712	8,173.001	19.496
4	23	35Q-88	0008	剥片	チャート	1			10.08	10.86	1.25	0.15	1	118			○								H					-14,893.762	8,172.675	19.586
4	23	35Q-88	0016	二次加工のある剥片	チャート	1	20b	408	15.65	24.00	4.22	1.30	1	118		○	○								O					-14,893.061	8,172.763	19.672
4	23	35Q-88	0020	使用痕のある剥片	チャート	1	10		27.27	28.59	6.55	4.16																		-14,893.036	8,173.413	19.665
4	23	35Q-88	0021	剥片	チャート	1			15.26	22.43	2.78	0.97	L						○						O					-14,892.898	8,173.689	19.692

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頂部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
4	23	35Q-88	0022	剥片	チャート	1			17.87	18.60	5.82	2.62					○	○						○				VM		-14,892.748	8,173.514	19.674
4	23	35Q-88	0023	使用痕のある剥片	チャート	1	7		10.80	27.93	6.27	1.41	1	92		○	○								F				-14,892.760	8,173.401	19.640
4	23	35Q-88	0024	剥片	チャート	1			24.63	11.84	10.65	3.72	1	108		○	○						○		O				-14,892.923	8,173.201	19.637
4	23	35Q-88	0025	二次加工のある剥片	チャート	1	14d	401	33.29	37.73	10.43	12.11	1	124		○	○						○		H				-14,892.786	8,173.151	19.580
4	23	35Q-88	0026	砕片	チャート	1			8.71	11.74	3.96	0.29																		-14,893.799	8,173.313	19.624
4	23	35Q-88	0027	砕片	チャート	1			6.17	5.36	0.87	0.02																		-14,894.024	8,173.101	19.504
4	23	35Q-88	0028	砕片	チャート	1			4.40	5.85	0.87	0.02																		-14,893.874	8,172.975	19.513
4	23	35Q-88	0029	剥片	チャート	1			18.65	10.92	4.89	1.14	1	90						○				○	H					-14,893.874	8,172.738	19.561
4	23	35Q-88	0030	剥片	チャート	1	20a	408	8.47	10.50	0.77	0.09	L			○	○								F					-14,893.837	8,172.462	19.489
4	23	35Q-88	0032	剥片	チャート	1			15.33	11.85	4.94	0.78	L				○							○	F					-14,893.687	8,172.775	19.497
4	23	35Q-88	0033	剥片	チャート	1			17.64	8.79	2.80	0.32	L							○					O					-14,893.599	8,172.750	19.517
4	23	35Q-88	0034	剥片	チャート	1			11.85	5.81	1.43	0.13					○											L		-14,893.536	8,172.813	19.530
4	23	35Q-88	0035	砕片	チャート	1			8.58	6.59	1.38	0.06																		-14,893.361	8,172.788	19.507
4	23	35Q-88	0036	剥片	チャート	1			11.99	12.94	2.25	0.13	L				○													-14,893.148	8,172.900	19.766
4	23	35Q-88	0037	使用痕のある剥片	チャート	1	6		13.03	20.43	3.55	0.94	1	118		○	○		○						O					-14,892.911	8,172.725	19.572
4	23	35Q-88	0038	砕片	チャート	1			4.33	8.15	0.79	0.02																		-14,892.998	8,173.188	19.639
4	23	35Q-88	0039	剥片	チャート	1			36.11	32.47	5.13	6.33	1	124		○	○								H					-14,892.748	8,173.138	19.572
4	23	35Q-88	0040	剥片	チャート	1			47.39	26.16	13.65	13.94	3	98		○	○								S					-14,892.723	8,173.288	19.587
4	23	35Q-88	0041	使用痕のある剥片	チャート	1	8		21.82	31.59	5.71	2.34	1	118		○	○						○		F					-14,892.986	8,173.376	19.641
4	23	35Q-88	0042	二次加工のある剥片	チャート	1	5		26.71	22.99	10.19	7.02	1	118					○	○		○			F					-14,892.848	8,173.501	19.603
4	23	35Q-88	0043	剥片	チャート	1			16.17	20.92	5.04	1.30					○								F			B		-14,892.735	8,173.589	19.631
4	23	35Q-88	0044	剥片	チャート	1			5.61	8.83	1.33	0.07					○								F			B		-14,893.687	8,172.500	19.430
4	23	35Q-88	0045	剥片	チャート	1			13.93	8.46	2.59	0.28	1	93		○	○						○		F					-14,893.424	8,172.838	19.429
4	23	35Q-88	0046	砕片	チャート	1			5.69	5.56	1.14	0.05																		-14,893.324	8,172.813	19.489
4	23	35Q-88	0047	剥片	チャート	1			22.48	21.78	10.92	3.94	2	115	○		○						○		F					-14,893.111	8,172.863	19.726
4	23	35Q-88	0048	砕片	チャート	1			6.63	8.90	1.09	0.05																		-14,893.098	8,173.076	19.508
4	23	35Q-88	0051	剥片	チャート	1			13.50	21.16	3.82	0.90	L			○				○					F					-14,892.823	8,172.750	19.538
4	23	35Q-88	0052	剥片	チャート	1	16a	404	40.13	35.30	13.01	15.03	2	106		○	○			○			○		O					-14,892.786	8,173.238	19.558
4	23	35Q-88	0053	剥片	チャート	1			16.78	20.45	2.45	0.70	P							○					H					-14,892.798	8,173.401	19.567
4	23	35Q-88	0054	砕片	チャート	1			4.45	8.78	1.47	0.05																		-14,892.685	8,173.476	19.517
4	23	35Q-88	0055	剥片	チャート	1	15b	403	35.68	30.01	16.69	12.90	1	127					○			○		○	H					-14,892.823	8,173.489	19.557
4	23	35Q-88	0056	剥片	チャート	1			14.14	12.68	4.33	0.48	1	106			○								F					-14,892.911	8,173.514	19.589
4	23	35Q-88	0057	剥片	チャート	1	14b	401	25.67	9.81	7.45	2.00					○											HM		-14,892.961	8,173.864	19.444
4	23	35Q-88	0058	剥片	チャート	1			6.00	9.63	1.53	0.06	L				○								F					-14,893.123	8,172.813	19.660
4	23	35Q-88	0059	剥片	チャート	1			59.19	28.78	12.81	22.70	2	132		○	○						○					H		-14,893.198	8,172.913	19.571
4	23	35Q-88	0062	砕片	チャート	1			5.55	10.29	0.69	0.03																		-14,893.324	8,172.750	19.400
4	23	35Q-88	0063	砕片	チャート	1			6.61	9.51	1.20	0.08																		-14,893.324	8,173.051	19.395
4	23	35Q-88	0064	剥片	チャート	1			9.13	12.48	2.18	0.24	1	113		○	○							○						-14,893.586	8,173.076	19.385
4	23	35Q-88	0065	剥片	チャート	1			9.47	13.55	2.31	0.23	L			○	○								O					-14,893.749	8,173.288	19.382
4	23	35Q-88	0066	剥片	チャート	1			16.74	9.89	1.78	0.30	L				○								F					-14,892.635	8,173.476	19.474
4	23	35Q-88	0067	剥片	チャート	1	21a	402	38.54	31.55	15.26	19.22	1	72			○						○		H					-14,892.573	8,173.238	19.590
4	23	35Q-88	0071	剥片	チャート	1	12		34.92	33.00	12.93	11.80	C	132					○				○		F					-14,894.265	8,175.092	19.551
4	23	35Q-88	0072	剥片	チャート	1			17.61	11.12	2.28	0.53													H			B		-14,894.411	8,174.682	19.377
4	23	35Q-88	0073	剥片	チャート	1	14c	401	32.20	28.59	5.94	6.02	1	125		○	○						○		H			L		-14,894.688	8,174.299	19.586
4	23	35Q-88	0076	石核	チャート	1	14e	401	31.86	28.59	22.05	14.77																		-14,893.473	8,174.128	19.435
4	23	35Q-88	0078	剥片	チャート	1			16.63	20.08	3.11	0.82	2	122			○			○					H					-14,892.364	8,174.630	19.505
4	23	35Q-88	0079	剥片	チャート	1	13		13.05	23.19	5.98	1.41	1	108			○		○						O					-14,892.351	8,173.507	19.596
4	23	35Q-88	0081	剥片	チャート	1			14.42	57.13	10.98	6.96												○	O			B		-14,892.324	8,173.005	19.353
4	23	35Q-88	0082	剥片	チャート	1			28.71	28.06	5.51	3.18					○						○		F			B		-14,892.100	8,172.887	19.450
4	23	35Q-88	0083	剥片	チャート	1			10.89	18.74	2.78	0.47	L			○			○						O					-14,892.469	8,172.332	19.356
4	23	35Q-88	0007A	剥片	チャート	1	11		15.28	33.25	3.48	1.42	1	119		○	○								O					-14,893.637	8,173.689	19.590
4	23	35Q-88	0007B	剥片	チャート	1			15.26	15.95	3.85	0.63					○						○					L		-14,894.133	8,172.107	19.610
4	23	35Q-88	0009A	剥片	チャート	1			0.95	7.34	2.97	28.00	L			○	○								F					-14,893.949	8,172.487	19.639
4	23	35Q-88	0009B	剥片	チャート	1	14f	401	14.41	25.15	4.51	1.28					○								O			B		-14,892.443	8,172.107	19.862
4	23	35Q-88	0010A	剥片	チャート	1	14a	401	26.58	26.62	8.10	3.32	1	121		○	○						○		O					-14,894.200	8,172.500	19.566
4	23	35Q-88	0010B	剥片	チャート	1			7.90	17.05	3.87	0.48	1	90			○											H		-14,892.166	8,172.821	19.686
4	23	35Q-88	0011A	剥片	チャート	1			13.77	16.58	5.53	0.75	1	126				○				○	○		O					-14,894.488	8,172.525	19.580
4	23	35Q-88	0011B	剥片	チャート	1			29.23	20.45	8.06	2.66	P				○							○	F					-14,892.443	8,173.005	19.567
4	23	35Q-88	0012A	剥片	チャート	1			11.86	17.42	5.80	0.81					○											VM		-14,893.787	8,172.387	19.615
4	23	35Q-88	0012B	剥片	チャート	1	21b	402	31.17	42.30	15.80	21.55	1	123									○	○	S					-14,892.403	8,173.309	19.633
4	23	35Q-88	0013A	二次加工のある剥片	チャート	1	18b	406	28.80	33.08	7.15	3.90	1	110			○						○		S					-14,893.561	8,172.300	19.508
4	23	35Q-88	0014A	剥片	チャート	1	18a	406	16.94	47.18	13.35	8.95	1	118					○				○		H					-14,892.773	8,172.225	19.522
4	23	35Q-88	0014B	二次加工のある剥片	チャート	1	15a	403	34.50	32.00	7.98	8.69					○								F					-14,895.361	8,174.181	19.660
4	23	35Q-88	0015A	二次加工のある剥片	チャート	1	21c	402	34.30	39.58	16.39	17.50					○								F					-14,892.773	8,172.838	19.731
4	23	35Q-88	0015B	剥片	チャート	1	17a	405	29.21	33.80	8.66	3.85	1	127											H			L		-14,892.483	8,173.547	19.620
4	23	35Q-88	0017A	剥片	チャート	1			23.97	11.94	5.06	1.34	L				○						○		F					-14,893.123	8,172.975	19.790
4	23	35Q-88	0017B	二次加工のある剥片	チャート	1	3		21.09	13.06	7.43	2.86					○											M		-14,892.430	8,173.811	19.595
4	23	35Q-88	0018A	剥片	チャート	1			14.66	12.44	2.33	0.26	1	91		○	○								F					-14,893.411	8,172.738	19.540
4	23	35Q-88	0018B	剥片	チャート	1			17.65	13.95	4.45	0.71	L				○								F					-14,893.374	8,172.788	19.590
4	23	35Q-88	0019A	剥片	チャート	1			28.66	33.46	8.62	6.22	1	122		○			○		○				O					-14,893.249	8,173.326	19.650
4	23	35Q-88	0049A	剥片	チャート	1			32.47	19.78	18.08	8.45	1	110			○					○			O					-14,893.073	8,173.176	19.480
4	23	35Q-88	0049B	剥片	チャート	1			18.62	17.44	2.90	0.68	1	118			○								F					-14,892.219	8,172.702	19.481
4	23	35Q-88	0050A	剥片	チャート	1	16b	404	30.92	24.28	8.05	6.43	1	112			○						○		H					-14,892.973	8,172.788	19.542

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
4	23	35Q-88	0050B	砕片	チャート	1			15.47	9.93	4.04	0.27																		-14,892.087	8,173.428	19.496
4	23	35Q-88	0061A	砕片	チャート	1			5.71	12.88	5.32	0.30																		-14,893.361	8,172.688	19.383
4	23	35Q-88	0061B	砕片	チャート	1			5.22	13.82	2.82	0.19																		-14,893.361	8,172.688	19.383
4	23	35Q-88	0080A	砕片	チャート	1			7.13	8.59	0.76	0.05																		-14,892.483	8,173.283	19.398
4	23	35Q-89	0021	剥片	チャート	1			13.99	15.83	2.79	0.65	1	118		○	○										H			-14,892.337	8,176.320	19.680
4	23	35Q-99	0068	剥片	チャート	1			26.74	34.47	5.27	5.25	2	93			○								H					-14,898.042	8,178.604	19.325
4	24	35Q-79	0023	剥片	チャート	1			16.60	27.57	6.95	2.09	1	116						○	○			○	H					-14,891.189	8,179.971	19.468
4	24	35Q-79	0053	砕片	チャート	1			9.19	16.60	4.60	0.24																		-14,891.189	8,179.871	19.285
4	24	35Q-79	0054	剥片	チャート	1			9.29	10.94	3.15	0.23	2	101		○	○								H					-14,891.063	8,179.796	19.311
4	24	35Q-79	0055	剥片	チャート	1			15.64	18.55	4.68	1.05	1	118		○	○								F					-14,891.089	8,179.921	19.243
4	24	35Q-79	0056	砕片	チャート	1			10.42	4.38	1.83	0.09	1	99			○								F					-14,890.813	8,179.621	19.308
4	24	35R-70	0024	石核	チャート	2	12b	410	27.12	50.60	24.47	31.99																		-14,890.405	8,180.218	19.415
4	24	35R-70	0025	石核	チャート	2	11		42.11	47.37	20.96	29.33													F					-14,890.872	8,180.294	19.509
4	24	35R-70	0026	剥片	チャート	2			14.09	13.41	3.74	0.68	1	113		○	○			○	○				F					-14,891.593	8,180.281	19.518
4	24	35R-70	0027	剥片	チャート	2	12a	410	24.07	17.92	9.74	3.85	1	114			○								H	72				-14,891.593	8,180.408	19.521
4	24	35R-70	0028	ナイフ形石器	チャート	2	1		41.38	27.57	9.42	9.03																		-14,890.898	8,180.446	19.500
4	24	35R-70	0029	使用痕のある剥片	チャート	2	4a	409	26.51	34.08	8.47	5.02	1	90		○	○		○						F					-14,891.491	8,180.926	19.515
4	24	35R-70	0031	剥片	チャート	2			19.56	8.85	5.01	0.72	L				○							○	F					-14,890.316	8,180.660	19.327
4	24	35R-70	0032	使用痕のある剥片	チャート	2	7		16.33	19.07	4.86	1.21	1	103		○	○		○			○			0					-14,889.773	8,180.749	19.419
4	24	35R-70	0033	剥片	チャート	2	10		17.08	24.18	4.15	1.54	1	117		○	○						○		H					-14,890.291	8,181.052	19.547
4	24	35R-70	0034	剥片	チャート	2			11.53	22.04	5.20	0.72	2	96		○	○			○					F					-14,889.508	8,180.130	19.427
4	24	35R-70	0035	剥片	チャート	2			15.24	10.17	2.59	0.38	1	101		○	○				○				0					-14,888.080	8,180.926	19.376
4	24	35R-70	0036	剥片	チャート	2	9		24.21	27.93	4.36	3.23	1	110		○	○			○					H					-14,888.231	8,181.204	19.386
4	24	35R-70	0037	剥片	チャート	2	8		12.99	21.15	3.62	0.76	1	116		○	○		○						F					-14,890.657	8,180.345	19.313
4	24	35R-70	0038	二次加工のある剥片	チャート	2	4b	409	38.17	21.33	10.04	6.48	1	127		○	○								F					-14,890.834	8,180.509	19.365
4	24	35R-70	0039	使用痕のある剥片	チャート	2	6		16.08	22.07	5.26	1.25	1	114		○	○		○						H					-14,891.188	8,181.014	19.348
4	24	35R-70	0040	剥片	チャート	2			26.03	12.66	6.34	2.10	J	90					○		○		○		F					-14,891.896	8,180.926	19.402
4	24	35R-70	0052	剥片	チャート	2	3a	411	37.17	33.51	12.70	13.69	2	119		○	○			○								H		-14,891.454	8,180.370	19.390
4	24	35R-70	0057	二次加工のある剥片	チャート	2	3b	411	33.08	34.77	14.32	17.02	1	101			○			○		○	○		0					-14,891.100	8,180.231	19.285
4	24	35R-70	0058	剥片	チャート	2			10.26	19.54	7.89	0.83					○											B		-14,890.999	8,180.281	19.274
4	24	35R-70	0059	砕片	チャート	2			7.52	13.65	1.87	0.14	1	121			○								F					-14,890.935	8,180.180	19.275
4	24	35R-70	0061	剥片	チャート	2			15.22	11.93	0.89	0.19					○								F			B		-14,890.607	8,180.484	19.259
4	24	35R-70	0062	剥片	チャート	2			10.33	20.94	4.10	0.84	2	103		○				○					F					-14,890.556	8,180.395	19.317
4	24	35R-70	0063	砕片	チャート	2			11.87	8.51	3.13	0.21	1	118					○						F					-14,890.518	8,180.307	19.256
4	24	35R-70	0064	剥片	チャート	2			11.56	12.15	2.28	0.28	1	109		○	○								0					-14,890.860	8,180.926	19.232
4	24	35R-70	0087B	ナイフ形石器	チャート	2	2		34.47	14.63	4.99	2.16	2	83		○	○							○		87	47			-14,891.112	8,180.332	19.261
4	24	35R-80	0001	使用痕のある剥片	チャート	2	5		15.31	36.03	5.68	2.31	2	109		○	○			○					H					-14,893.995	8,180.348	19.520
4	24	35R-80	0002	剥片	チャート	2			8.86	13.53	2.74	0.23	2	103		○	○								F					-14,892.706	8,180.348	19.442
5	25	27V-52	0002	剥片	黒曜石	1			13.11	8.42	6.25	0.52					○						○					VM		-14,563.442	8,348.502	15.950
5	25	27V-60	0001	細石刃石核原型	黒曜石	4	4		28.26	21.85	14.74	8.69																		-14,567.875	8,343.378	16.706
5	25	27V-60	0014	細石刃	黒曜石	9	10		12.48	5.13	1.77	0.08	L				○											H		-14,565.835	8,342.957	16.678
5	25	27V-61	0013	細石刃	黒曜石	9	16		18.70	6.29	1.74	0.15	P				○								F					-14,564.925	8,345.451	16.503
5	25	27V-61	0015	細石刃石核原型	黒曜石	5	5		21.25	29.98	14.50	6.94																		-14,565.330	8,345.400	16.221
5	25	27V-61	0016	細石刃	黒曜石	9	15		12.94	9.48	1.46	0.14	P			○	○											H		-14,567.622	8,345.940	16.573
5	25	27V-61	0019	細石刃	黒曜石	1	1a	501	21.74	11.90	3.93	0.76	L			○	○						○		0					-14,567.420	8,347.356	16.299
5	25	27V-61	0022	使用痕のある剥片	硬質頁岩	1	25		25.38	25.23	10.04	5.62							○				○							-14,564.504	8,347.625	16.210
5	25	27V-61	0029	細石刃石核	黒曜石	2	2		20.72	16.67	15.10	5.55																		-14,564.504	8,347.676	16.210
5	25	27V-61	0014A	剥片	黒曜石	11			7.53	8.53	3.45	0.21					○											VM		-14,565.111	8,345.350	16.479
5	25	27V-61	0014B	細石刃	黒曜石	9	8		8.74	4.58	1.35	0.04	P				○											H		-14,565.111	8,345.350	16.479
5	25	27V-70	0005	細石刃石核原型	黒曜石	6	6		22.96	28.97	18.92	9.77																		-14,568.729	8,342.752	16.838
5	25	27V-70	0006	細石刃	黒曜石	9	19		24.92	14.37	4.36	0.97	P			○	○					○			F					-14,569.005	8,342.596	16.801
5	25	27V-70	0007	二次加工のある剥片	黒曜石	7	22		50.25	13.59	8.39	3.66	1	103		○	○					○	○	○	F					-14,569.385	8,343.908	16.596
5	25	27V-70	0008	剥片	黒曜石	9			13.86	12.49	4.67	0.63	1	108		○		○					○		F					-14,569.937	8,343.356	16.658
5	25	27V-70	0009	剥片	黒曜石	9			14.73	3.92	1.86	0.09																		-14,569.730	8,343.960	16.660
5	25	27V-70	0011	細石刃	黒曜石	10	18		23.06	6.30	2.84	0.34	P				○								F					-14,570.437	8,343.890	16.711
5	25	27V-70	0012	二次加工のある剥片	黒曜石	8	21		34.15	15.55	9.90	4.32	1	108			○					○	○		F					-14,571.559	8,343.821	17.000
5	25	27V-70	0016	剥片	黒曜石	10			15.41	15.51	3.64	0.74	1	106		○	○											H		-14,570.903	8,342.579	16.984
5	25	27V-70	0017	使用痕のある剥片	黒曜石	10	23		26.05	19.79	6.17	2.95	1	115		○	○						○		0					-14,571.145	8,343.200	16.894
5	25	27V-70	0019	剥片	黒曜石	10	24		23.66	30.20	6.06	2.96	2	91					○	○			○		F					-14,571.559	8,343.701	16.872
5	25	27V-71	0004	細石刃	黒曜石	9	17		18.74	4.46	1.77	0.13	P				○								F					-14,568.470	8,344.874	16.706
5	25	27V-71	0006	剥片	黒曜石	9			9.45	3.48	1.04	0.02																		-14,568.125	8,345.495	16.705
5	25	27V-71	0009	二次加工のある剥片	黒曜石	9	20		23.86	15.72	5.12	0.97	1	98		○	○		○				○			76	63			-14,568.850	8,345.409	16.618
5	25	27V-71	0012	剥片	黒曜石	1			14.20	10.54	2.65	0.39	1	103			○	○					○		F					-14,569.229	8,344.201	16.761
5	25	27V-71	0013	剥片	黒曜石	7			15.60	9.95	2.73	0.25	1	103		○	○						○		F					-14,569.644	8,344.149	16.684
5	25	27V-71	0014	細石刃石核	黒曜石	3	3		16.54	18.10	18.26	5.28																		-14,569.661	8,345.012	16.706
5	25	27V-71	0019	剥片	黒曜石	1			14.03	6.79	1.88	0.17					○						○		F			B		-14,569.540	8,345.668	16.609
5	25	27V-71	0020	剥片	黒曜石	1			15.65	18.81	4.06	0.79	1	95		○	○			○			○		F					-14,569.954	8,345.530	16.599
5	25	27V-71	0021	砕片	黒曜石	9			4.71	8.63	1.36	0.04																		-14,570.299	8,344.995	16.594
5	25	27V-71	0022	砕片	黒曜石	9			4.27	3.98	2.28	0.03																		-14,570.040	8,344.339	16.707
5	25	27V-71	0023	細石刃	黒曜石	9	11		7.47	4.18	1.37	0.05	L			○	○											H		-14,570.161	8,344.201	16.723
5	25	27V-71	0024	剥片	黒曜石	11			23.39	17.70	8.44	2.28	P			○	○				○				H					-14,570.972	8,344.546	16.631
5	25	27V-71	0025	細石刃	黒曜石	9	14		14.68	8.45	2.80	0.27	L			○	○			○	○				F					-14,570.817	8,344.684	16.686
5	25	27V-71	0026	剥片	黒曜石	9			9.24	7.67	2.44	0.15	1	96		○	○											H		-14,571.024	8,344.995	16.654

文化層	ブロック	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩番号	挿図番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	打面形状	打角剥離角	打面調整	頭部調整	背面構成H	背面構成T	背面構成R	背面構成L	背面構成D	背面構成V	背面構成C	背面構成J	末端形状	調整角	刃部角	遺存部位	欠損	X座標	Y座標	標高
5	25	27V-71	0030	剥片	黒曜石	10			15.02	22.07	3.67	0.92	1	111		○	○						○		F					-14,571.680	8,344.615	16.806
5	25	27V-71	0033	砕片	黒曜石	9			3.24	5.65	2.46	0.02																				
5	25	27V-71	0036	剥片	黒曜石	1			9.13	10.61	1.35	0.11	L			○							○		F					-14,571.836	8,346.563	16.609
5	25	27V-71	0037	剥片	黒曜石	11			21.35	13.58	6.97	1.30	1	96		○	○			○					0					-14,569.105	8,347.238	16.510
5	25	27V-71	0038	細石刃石核	黒曜石	1	1b	501	20.63	21.63	20.99	8.87	1	99		○	○					○			0					-14,569.071	8,345.973	16.482
5	25	27V-71	0039	使用痕のある剥片	黒曜石	9			14.31	20.39	4.36	1.08	1	98		○	○			○		○			0					-14,568.684	8,346.378	16.526
5	25	27V-71	0041	剥片	黒曜石	7			13.97	10.59	3.09	0.38	L										○		F					-14,569.763	8,346.850	16.428
5	25	27V-71	0042	剥片	黒曜石	11			13.22	7.23	1.66	0.14	p			○	○								H					-14,569.264	8,344.253	16.706
5	25	27V-71	0043	砕片	黒曜石	1			9.55	5.77	3.39	0.14	L				○						○		F					-14,569.592	8,345.012	16.639
5	25	27V-71	0045	細石刃	黒曜石	1	7		14.72	5.52	2.54	0.23	P			○	○						○					H		-14,569.074	8,345.858	16.682
5	25	27V-71	0046	細石刃	黒曜石	9	9		11.66	6.08	0.69	0.05	P			○	○											H		-14,569.454	8,345.478	16.681
5	25	27V-71	0047	細石刃	黒曜石	9	13		12.30	5.80	1.81	0.09					○											VM		-14,569.178	8,344.391	16.689
5	25	27V-71	0050	剥片	黒曜石	9			14.54	17.42	2.44	0.35	L				○								F					-14,569.488	8,344.615	16.560
5	25	27V-71	0051	剥片	黒曜石	9			9.43	8.79	2.29	0.14	1	102		○	○								F					-14,571.559	8,345.254	16.515
5	25	27V-72	0004	細石刃	黒曜石	9	12		16.20	6.30	2.36	0.24					○											VM		-14,569.864	8,348.754	16.260
5	25	27V-72	0005	剥片	黒曜石	1			16.89	18.22	4.13	1.10	1	121		○	○		○						0					-14,569.982	8,348.485	16.415
5	25	27V-81	0001	剥片	黒曜石	5			17.65	20.15	6.48	2.08	1	103		○	○				○		○		0					-14,573.122	8,344.087	17.016
単独	単独	27U-81	0001	ナイフ形石器	珪質頁岩		1		67.97	30.00	8.64	15.63					○			○			○			83	47			-14,575.211	8,304.081	17.582
単独	単独	27U-27	0002	ナイフ形石器	珪質頁岩		2		53.16	23.53	8.20	10.41					○			○						76	77			-14,549.539	8,329.915	16.150
単独	単独	33W-64	0001	ナイフ形石器	黒曜石		3		44.88	19.70	4.69	3.66					○			○					F	34	65			-14,805.084	8,396.080	16.887
単独	単独	30W-71	0001	尖頭器	黒曜石		4		23.58	15.44	6.29	1.97														66		P	+			
単独	単独	(2)-007	0021	尖頭器	珪質頁岩		5		42.64	15.77	5.22	3.87					○									76	38					
単独	単独	36X-63	0002	尖頭器	硬質頁岩		6		41.38	15.73	5.43	3.65	2	96			○									47	43					
単独	単独	表採	E	尖頭器	珪質頁岩		7		38.62	15.17	5.16	3.33					○									67						
単独	単独	37S-40	0001	尖頭器	トロトロ石		8		53.37	13.47	8.76	5.56																		-14,956.087	8,223.532	14.510
単独	単独	35Q-98	0020	尖頭器	硬質頁岩		9		45.37	16.84	6.36	4.91					○													-14,897.963	8,174.115	19.802
単独	単独	36S-10	0001	尖頭器	安山岩		10		25.54	16.90	6.28	3.04														68			+	-14,905.418	8,220.116	14.510
単独	単独	表採	F	尖頭器	ガラス質黒色安山岩		11		51.11	13.89	4.73	4.23														56			+			
単独	単独	表採	D	尖頭器	珪質頁岩		12		67.94	58.86	16.17	41.20														46	58	P				
単独	単独	(8)-004	0012A	削器	珪質頁岩		13		42.17	24.17	11.12	8.85								○			○		0	56		B	+			
単独	単独	(8)-004	0011	二次加工のある剥片	珪質頁岩		14		28.09	15.02	7.44	2.59													F							
単独	単独	(8)-004	0009	二次加工のある剥片	頁岩		15		42.02	13.95	7.95	4.53	1	108		○			○				○		0							
単独	単独	(8)-004	0006	剥片	頁岩		16		26.12	20.80	5.75	2.88	1	108		○	○				○				0							
単独	単独	28U-68	0001	剥片	チャート		17		23.99	25.80	4.32	2.01	2	96		○	○								F							
単独	単独	27V-71	0001	剥片	ホルンフェルス		18		19.58	28.35	6.29	3.77	C				○						○		H					-14,568.298	8,344.029	16.746
単独	単独	(2)-004	0002	削器	チャート		19		33.04	32.95	9.10	7.70																				
単独	単独	(2)-004	0075	使用痕のある剥片	珪質頁岩		20		27.44	26.24	3.55	1.90	L			○	○								H							
単独	単独	(2)-004	0131	二次加工のある剥片	珪質頁岩		21		32.24	22.87	8.07	4.34	1	102		○	○						○		F							
単独	単独	(2)-004	0166	二次加工のある剥片	珪質頁岩		22		26.24	19.22	3.12	1.43	2	118		○	○		○						H							
単独	単独	(2)-007	0134	使用痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）		23		49.68	13.55	10.07	4.31					○								F							
単独	単独	(2)-002	0142	二次加工のある剥片	硬質頁岩		24		52.89	18.38	5.74	5.58	1	101		○	○								O							
単独	単独	38Q-82	0002	二次加工のある剥片	チャート		25		36.30	14.39	5.19	2.89					○	○							H	78				-15,014.554	8,151.777	16.196
単独	単独	38U-21	0001	二次加工のある剥片	安山岩		26		39.82	16.38	6.03	4.20					○								F			R				
単独	単独	表採	A	二次加工のある剥片	チャート		27		29.69	19.35	13.12	6.36											○		F							
単独	単独	表採	C	二次加工のある剥片	黒曜石		28		26.29	22.73	9.35	4.19	1	102		○	○		○									H				
単独	単独	28T-00	0002	剥片	頁岩				16.54	35.18	3.64	1.77	1	121		○	○		○					○	F			H				
単独	単独	28T-88	0001	剥片	チャート				40.84	33.83	3.80	4.40																				
単独	単独	30W-72	0001	剥片	黒曜石				21.59	13.49	3.05	0.63	1	118		○	○			○					O							
単独	単独	35R-62	0001	剥片	黒曜石				13.20	15.95	3.14	0.44	1	89			○		○						H					-14,886.534	8,189.935	18.645
単独	単独	35R-80	0051	剥片	黒曜石				19.92	35.33	8.11	3.17	1	77		○	○						○		F					-14,893.715	8,182.227	19.434
単独	単独	35W-95	0001	剥片	流紋岩				16.93	20.75	9.80	2.19					○								S			B				
単独	単独	36R	0001A	剥片	チャート				44.30	60.54	14.84	35.80	1	96			○								S					-14,900.000	8,180.000	
単独	単独	36R	0001B	剥片	チャート				34.47	67.18	10.31	23.81	1	118		○	○						○		H					-14,900.000	8,180.000	
単独	単独	36S-82	0002	剥片	チャート				39.50	44.11	11.00	12.04	1	114		○	○						○	○	F					-14,933.118	8,229.406	15.372
単独	単独	37P-98	0001	剥片	ホルンフェルス				44.99	64.58	16.72	39.07	1	106		○	○						○							-14,978.769	8,134.310	18.916
単独	単独	38S-09	0001	剥片	珪質頁岩				14.29	25.37	5.92	1.08	1	104		○	○		○						F							
単独	単独	(2)-004	0010	剥片	ガラス質黒色安山岩				22.74	11.37	4.60	1.34					○						○		F							
単独	単独	(2)-004	0017	剥片	チャート				18.49	9.72	3.61	0.58					○								O			B				
単独	単独	(2)-004	0012B	剥片	硬質頁岩				22.72	9.12	2.07	0.43	L				○								F							
単独	単独	表採	B	二次加工のある剥片	黒曜石				24.41	24.01	6.21	3.23	2	106		○	○	○							F							
単独	単独	表採	G	剥片	チャート				23.53	9.61	7.89	1.36	1	92			○				○				O							
単独	単独	表採	H	剥片	黒曜石				14.23	13.57	2.17	0.31	L			○	○			○					O							
単独	単独	表採	I	剥片	珪質頁岩				16.29	16.61	3.95	0.67	1	94			○							○								
単独	単独	表採	J	使用痕のある剥片	黒曜石				13.81	21.07	5.74	1.10	1	112		○	○			○					H							

第３章　縄文時代

概観　縄文時代の遺構・遺物は全体的に散漫な状況である。遺構は竪穴住居跡１軒、陥穴５基、炉跡１基、土坑10基が発見された。台地上を見渡しても集中する遺構はなく概ね台地の外縁部に沿って分布している。竪穴住居跡も南東部の端標高15m付近の緩斜面に１軒が孤立している感がある。

第１節　竪穴住居跡

SI001（第86図、図版５・40・50）

36W－88・89グリッドに位置する。長軸4.5m、短軸3.7mの楕円形を呈し、壁高は最大25cmを測る。床は南側が若干窪んでおり、壁はゆるやかに立ち上がる。覆土はきめの細かい暗褐色土ないしは黒褐色土がレンズ状に堆積している。全体に焼土が混入し、しまりが強い。ピットが１基検出されているが、規模や位置から考えて柱穴の可能性は低い。炉は中央やや北寄りから検出されている。長さ1.2m、幅0.8m、深さ15cmの浅い皿状を呈する。炉床部ははっきりしないが、焼土塊が南側の立ち上がり部からややまとまって出土した。時期は、出土土器から後期堀ノ内１式期に相当する。

遺物は概して量は少ない。１はほぼ全体がそろった鉢形土器である。口縁部がやや強く内側へ屈曲し、底部に向かって直線的にすぼまる。口縁部の屈曲部にLR単節縄文が施される他は無文である。熱を受けており内面は特に剥落が顕著である。２は注口土器である。口縁部側は遺存度がきわめて低く図上で復元した。強く外反する口縁が一端屈曲したあと、隆起線と沈線で区画された頸部を経て胴部で最も膨らみ底部へ向けてすぼまる。文様ははっきりしないが３本一組の沈線は西日本の影響かもしれない。口縁部側は熱を受けており剥落が顕著である。３は深鉢形土器の底部で、輪積み部分から破損した割れ口を研磨して再利用したとみられる。４は深鉢形土器の胴部破片で、LR単節縄文を施文したあと棒状工具による直線および蛇行する沈線を描く。５は打製石斧で装着痕が中央部に観察される。６は磨石類で縁辺に敲打痕が観察される。

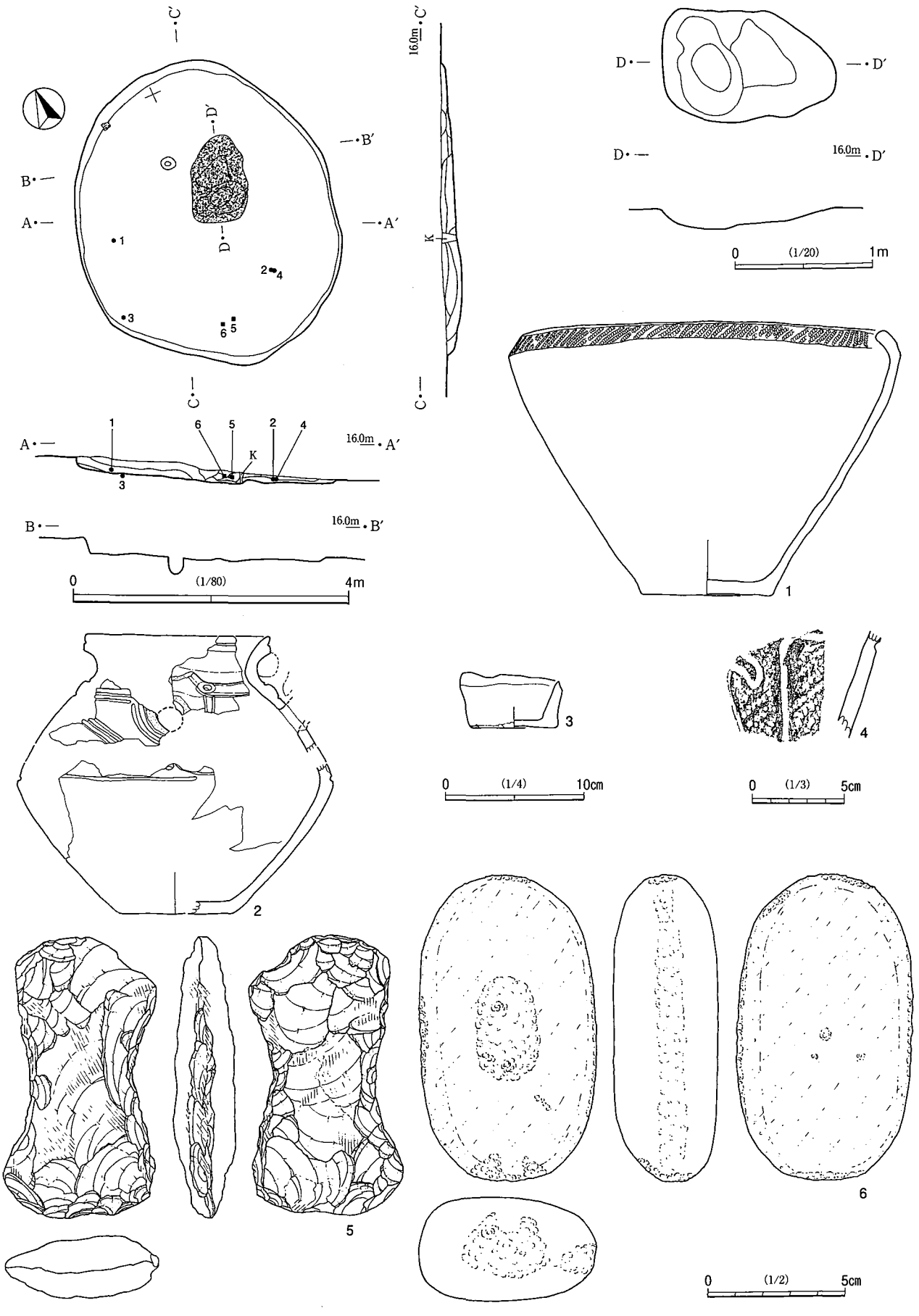
第２節　陥穴

SK001（第87図、図版５）

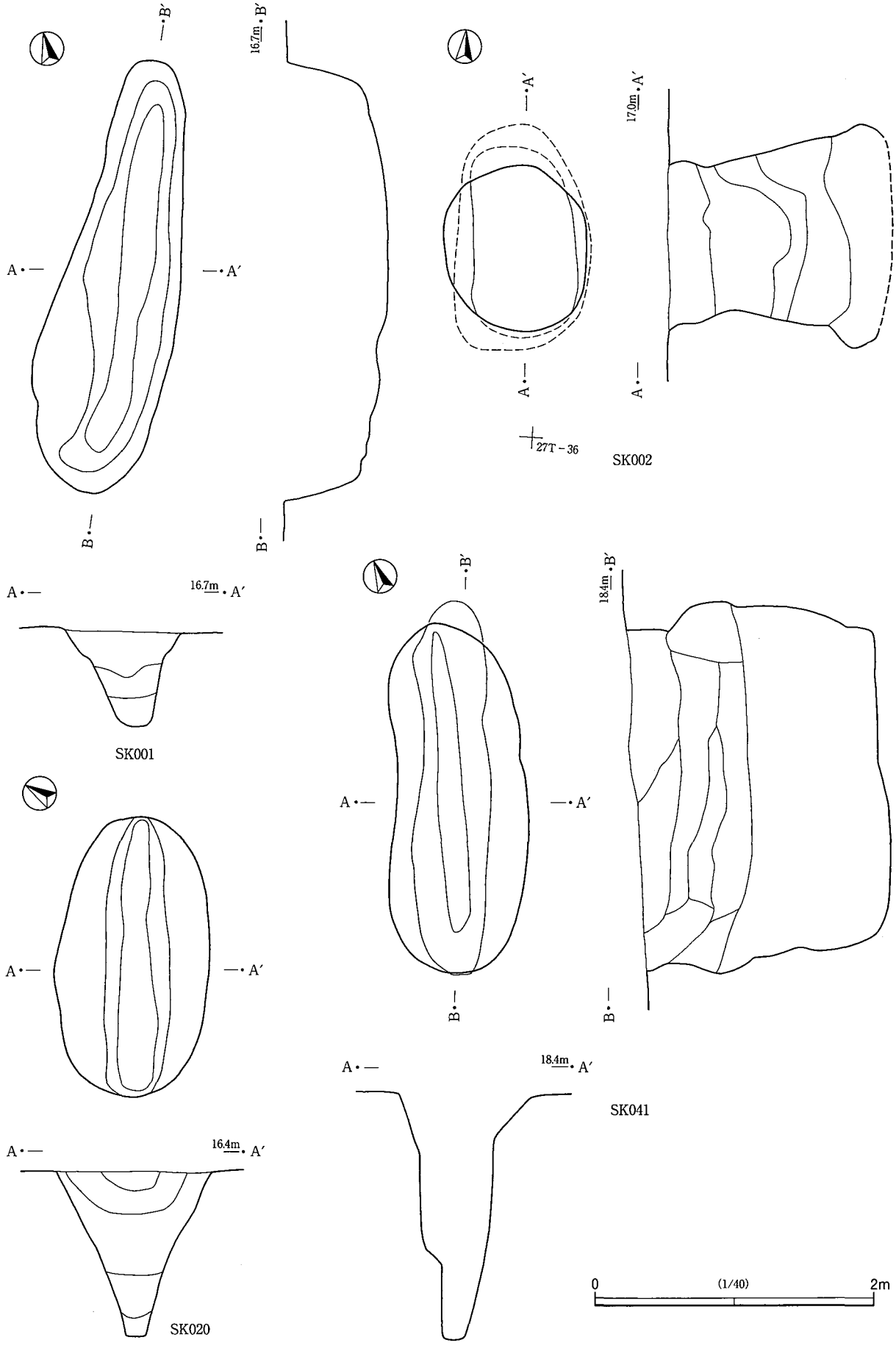
調査区の西側、26T－23グリッド付近に位置し、下層確認調査の際に発見した。平面形は細長い楕円形であるが、幅が一定しない。長軸3.13m、短軸0.50～0.96mを測り、長軸方位はN－19°－Eである。確認面からの深さは65cmである。横断面の形は漏斗状を呈する。底面は中央付近が最も深く、長軸方向の両端に向かって上がっている。覆土は暗褐色土が主体で、下層にはロームブロックが多く混入している。遺物は出土していないが、形態から縄文時代早期の所産と考えられる。

SK002（第87図、図版５）

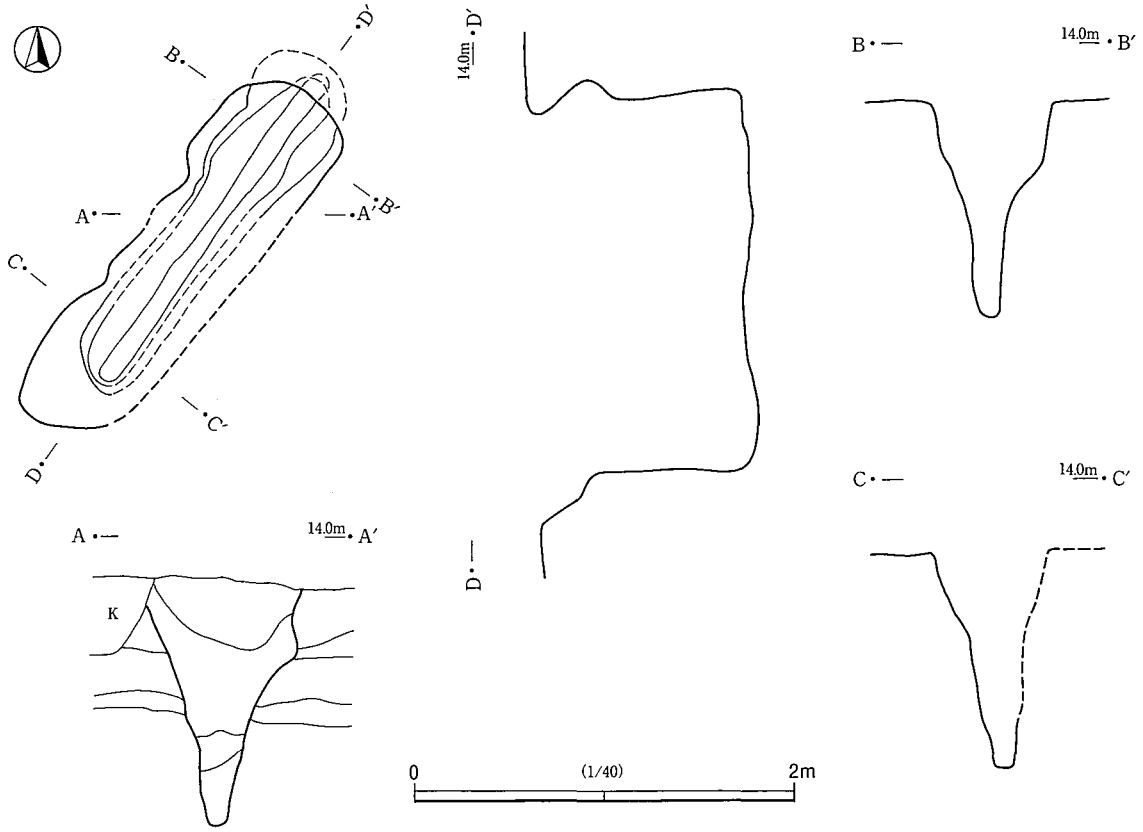
調査区の西側、27T－26グリッド付近に位置する。平面形は楕円形で、長軸1.49m、短軸1.02mを測る。長軸方位はN－7°－Eである。横断面の形は開口部から底面に向かって広がる袋状を呈するが、底面付近の湧水のため完掘を断念した。確認した部分までの深さは1.63mである。覆土は自然堆積で、上層から茶



第86図　SI001



第87図　SK001・002・020・041



第88図　SK044

褐色土、暗褐色土、黒褐色土の順に堆積している。遺物は出土していないが、形態から縄文時代早期の所産と考えられる。

SK020（第87図、図版５）

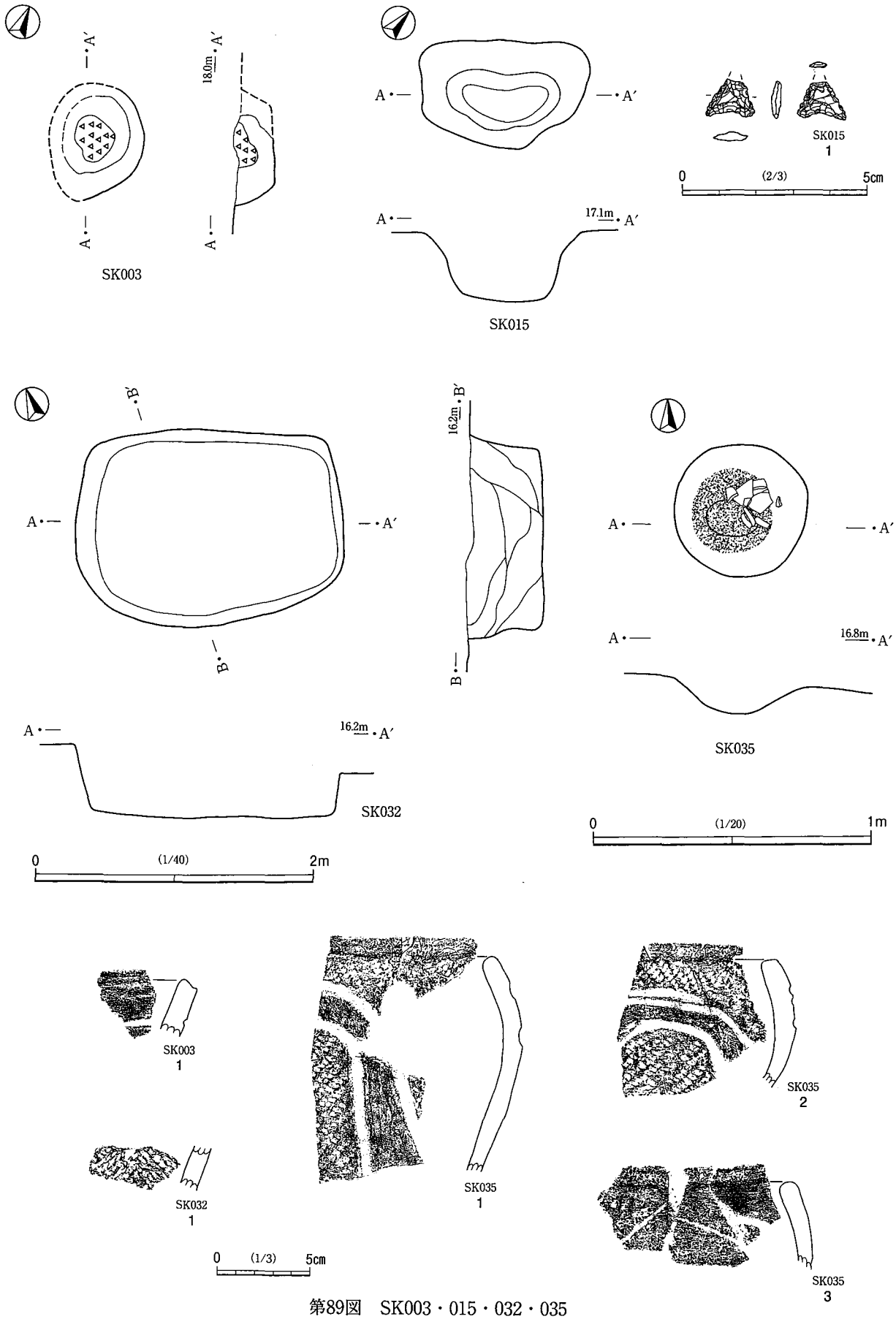
調査区の中央東端、33X－90グリッドに位置する。平面形は細長い楕円形で、長軸2.00m、短軸1.11mを測る。長軸方位はN－63°－Eを指す。確認面からの深さは1.17mで、横断面の形状は漏斗状となる。覆土は暗褐色土、黄褐色土が主体の自然堆積を示す。遺物は出土していないが、形態から縄文時代早期の所産と考えられる。

SK041（第87図、図版６）

調査区の南西隅、39P－05グリッドに位置する。平面形は細長い楕円形で、長軸2.52m、短軸0.94mを測る。長軸方位はN－20°－Eを指す。確認面からの深さは1.64m～1.85mで、底面が中央から南側が一段窪んでいる。横断面の形状は開口部の幅が広い漏斗状を示すが、北端の壁面が崩落して抉れている。覆土は、底面から中層までやや大きめのロームブロックを含む茶褐色土が堆積し、上層に暗黄褐色土、黒褐色土、暗褐色土が堆積する。遺物は出土していないが、形態から縄文時代早期の所産と考えられる。

SK044（第88図、図版６）

調査区の南端、40Q－25グリッドに位置する。下層確認調査の際に発見したため、東側壁面を誤って削平してしまった。平面形は細長い楕円形で、長軸2.24m、短軸0.66mを測る。長軸方位はN－35°－Eを指す。確認面からの深さは1.1mである。横断面の形状は開口部が広い漏斗状を呈し、北端の壁面上部が深く抉れている。覆土は自然堆積で暗褐色土が主体である。遺物は出土していないが、形態から縄文時代早



第89図　SK003・015・032・035

第38表　SK003貝類出土数量

種別	蔓足網	腹足網					二枚貝綱												海産微小貝
	フジツボ	イボキサゴ	ウミニナ属	ツメタガイ	アカニシ	アラムシロ	サルボウガイ		シオフキ		マテガイ		カガミガイ		アサリ		オオノガイ	ナミマガシワ	
							L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	R	L	
SK003	8	1	8	2	70	2	353	382	2	1	2	1	8	9	76	79	1	7	2

期の所産と考えられる。

第3節　土　坑

SK003（第89図、図版6・48）

調査区の北側、28T－00グリッドに位置する貝層を伴う土坑である。旧石器時代の確認調査時に検出したため、遺構の約1/2を欠くがほぼ楕円形の平面形となろう。遺存部分の径は84cmである。底面はほぼ平坦で、深さ27cmを測る。貝層は土坑中央部、上層にまとまって堆積しており、一括で廃棄された状況である。貝類の組成はサルボウガイ・アサリ・アカニシなどで、サルボウガイが多いことが特徴的である（第38表）。他に、鉢形土器の口縁部破片が1点出土している。口縁直下に横方向の沈線が施されており、後期初頭の称名寺式と思われる。

SK015（第89図、図版50）

調査区の中央東寄り、31W－73グリッド付近に位置する。平面形は不整の楕円形で、長軸1.2m、短軸0.77mを測る。確認面からの深さは28cm～34cmで、底面に起伏がある。

遺物は、覆土中から石鏃1点が出土している。チャート製の三角形鏃で先端部が欠損する。

SK032（第89図、図版6・48）

調査区の南東端、36W－48グリッドに位置する。平面形はやや隅の丸い長方形で、長軸1.93m、短軸1.42mを測る。確認面からの深さは54cm、壁は坑底からほぼ垂直に立ちあがる。底面にわずかな起伏がある。

遺物は、土器小片が1点出土している。地文に無節縄文を施し、胎土中に繊維が多く含まれる。前期の黒浜式である。

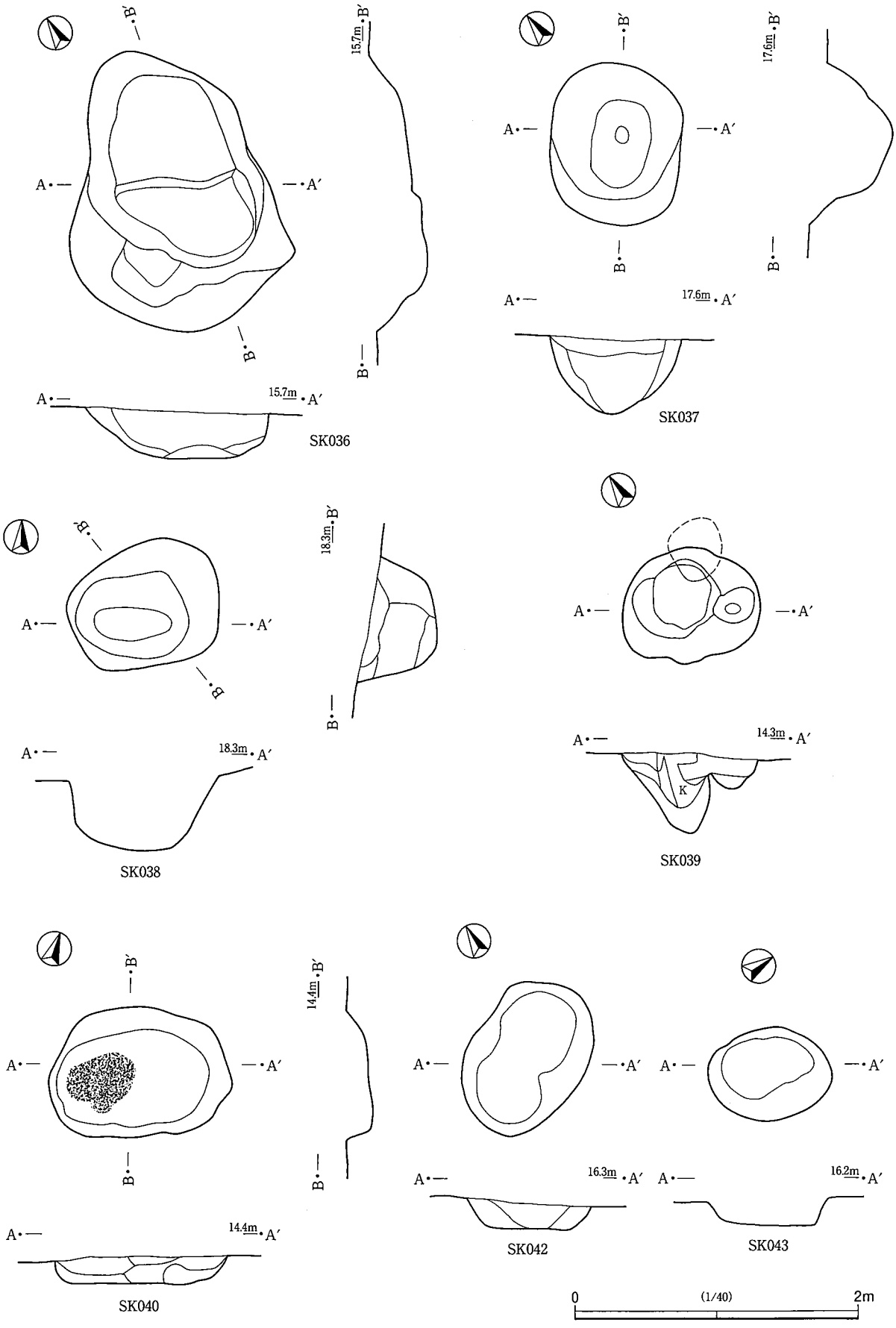
SK035（第89図、図版48）

調査区の南西側、36R－92グリッドに位置する炉跡である。平面形は円形で、長径98cm、深さ9cmを測る。中央部に径30cm、厚さ5cmほど焼土が堆積する。上面に土器片がまとまって出土しているが、炉を囲んだような状況ではない。また、周囲の精査ではピットなど関連施設が確認されていないことから、単独の屋外炉の可能性が高い。

1・2は深鉢形土器の口縁部である。同一個体で、全体としてはキャリパー状の器形となろう。単節RL縄文を地文として、口縁直下から∩字状の平行沈線が施される。沈線間は丁寧に研磨されている。3も鉢形土器の口縁部である。口縁部は無文で下端にわずかな沈線様の窪みが認められる。3点とも中期の加曽利E式後半段階の土器である。

SK036（第90図、図版6）

調査区の南西端、37Q－48グリッドに位置する。平面形は不整の楕円形で、長軸2.04m、短軸1.50mを



第90図　SK036・037・038・039・040・042・043

測る。確認面からの深さは20cm～40cmで底面の起伏が著しい。遺物は出土していない。

SK037（第90図、図版６）

調査区の南西端、37Q－53グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長軸1.13m、短軸0.92mを測る。底面中央が最も深い擂り鉢状の断面を呈し、確認面からの深さは52cmである。遺物は出土していない。

SK038（第90図、図版６）

調査区の南西端、37Q－52グリッドに位置する。平面形は不整の楕円形で、長軸1.10m、短軸0.89mを測る。底面は東側に向かって傾斜しており、深さは一定しない。確認面からの深さは42～54cmである。遺物は出土していない。

SK039（第90図）

調査区の東端、38R－79グリッドに位置する。開口部の平面形は不整の楕円形であるが、中段では大小二つの円形ピットが連結したような形状を示している。開口部の規模は、長軸0.96m、短軸0.81mである。大口径の方は、確認面からの深さが1.7mと深く、調査時の記録では覆土上層から攪乱を受けていることから、木根の可能性が高い。遺物は出土していない。

SK040（第90図、図版６）

調査区の東端、38R－96グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長軸1.31m、短軸0.92mを測る。西側覆土上層に50cm×40cmの範囲で焼土粒を多量に含む黒色土が堆積しているが、壁面、底面に火熱を受けた痕跡は認められていない。底面はわずかな起伏があり、確認面からの深さは14cm～19cmである。遺物は出土していない。

SK042（第90図、図版６）

調査区の南西端、39P－58グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長軸0.88m、短軸0.67mを測る。底面はわずかな起伏があり、確認面からの深さは13cm～20cmである。遺物は出土していない。

SK043（第90図、図版６）

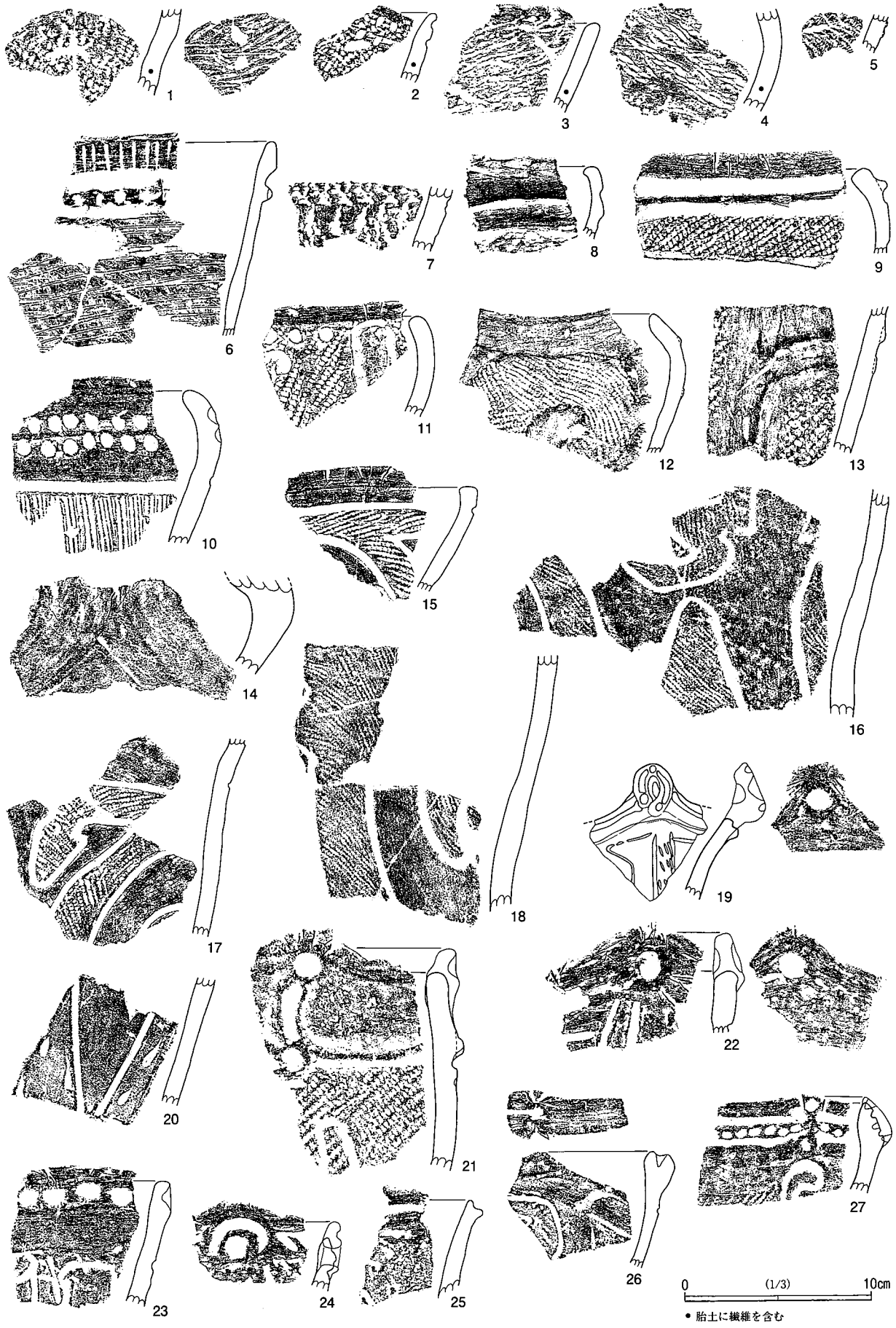
調査区の南西端、39P－58グリッドに位置し、SK042に隣接する。平面形は楕円形で、長軸1.13m、短軸0.79mを測る。底面はほぼ平坦で、確認面からの深さは12cm～15cmである。遺物は出土していない。

第４節　グリッド出土の遺物

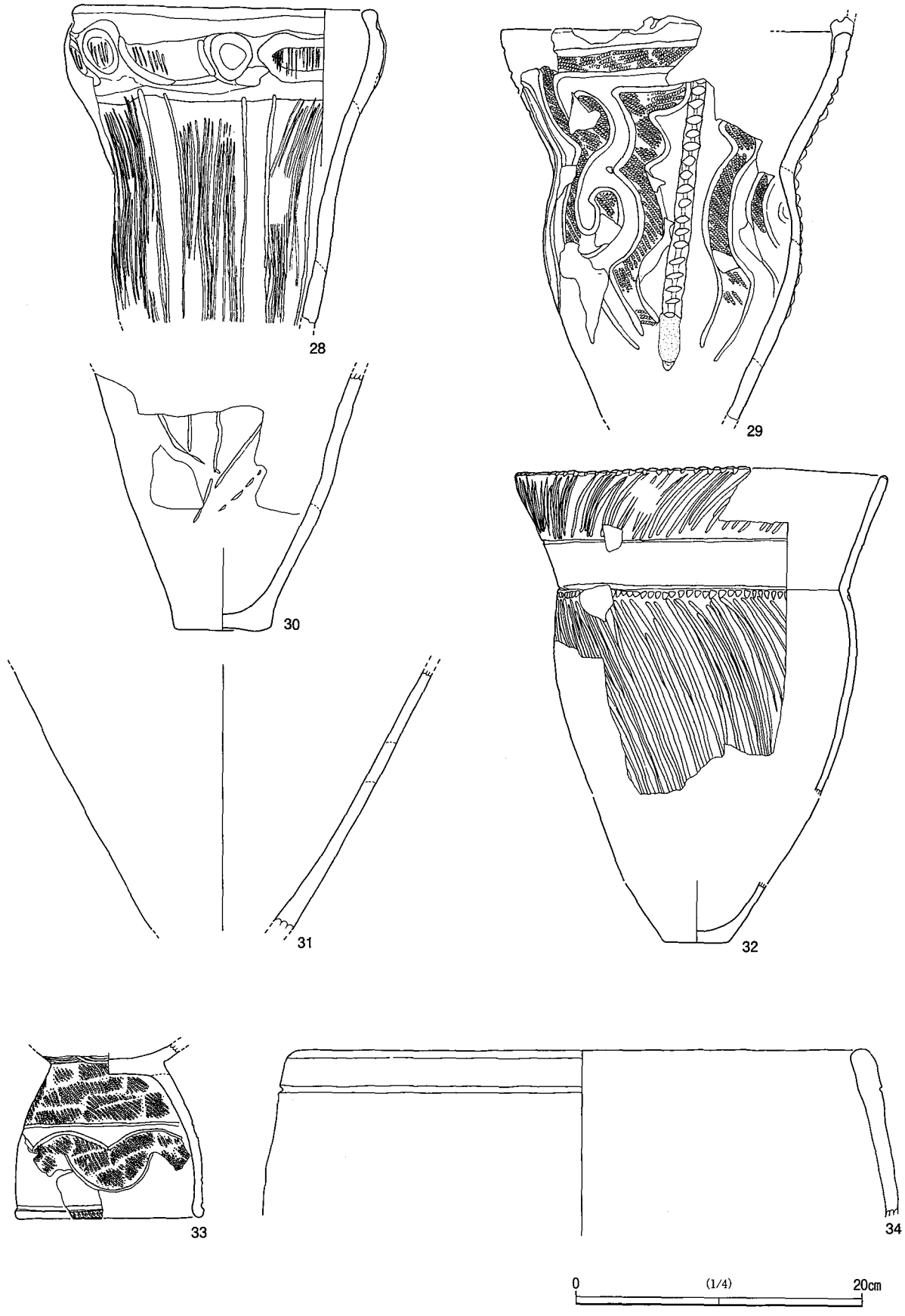
１．グリッド出土縄文土器（第91～94図、図版40・48・49）

調査面積に比して出土量は多いとはいえない。特にまとまった集中区も認められなかった。

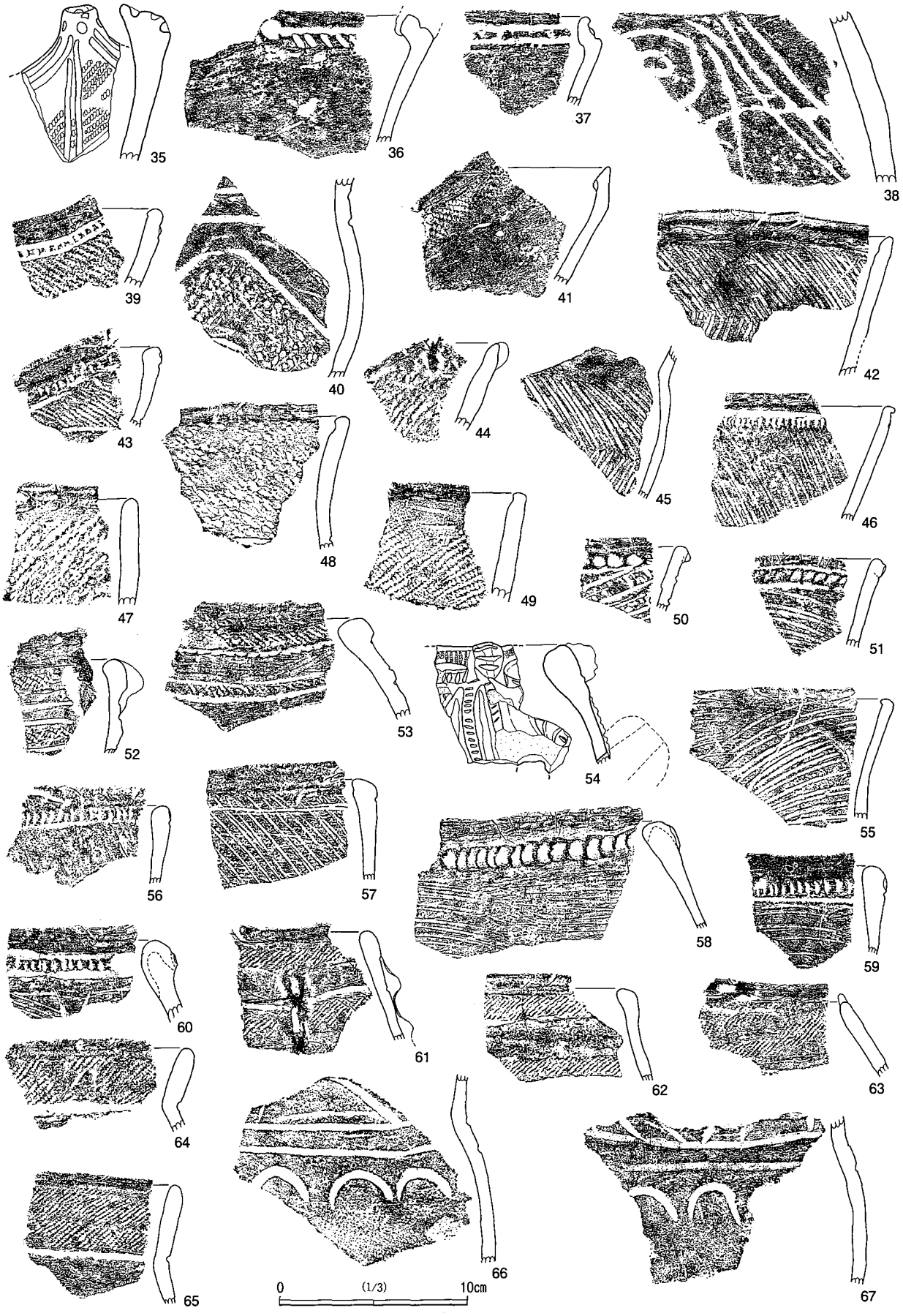
１～７は前期に所属するものである。１は表面に縄文、裏面に貝殻条痕が施されるもので、前期初頭に位置づけられる。２は口縁部で縄文施文に半裁竹管による押し引きが２条施される。３・４は直前段合撚もしくは附加条縄文である。これらは黒浜式に属する。５は地文縄文に細隆起線が貼り付けられるもので諸磯ｂ式である。６は肥厚させた口縁部に縦位短沈線、その下側に指頭押圧による隆起線を巡らせる。７は貝殻による波状腹縁文を施すもので、いずれも浮島式に属する。８～13・28は中期に属するもので、いずれも加曽利Ｅ式である。８・９は口縁部で隆起線による区画文が配されるもので、キャリパー形を呈する深鉢であろう。11は地文縄文に口縁に添って円形刺突が巡り、いわゆる横位連繋弧線文が配される。12・13は微隆起線によって縄文が区画される。12は口縁および微隆起線に把手が付けられていた痕跡が認められる。28はキャリパー形を呈する深鉢形土器で、口縁部は隆起線による円形区画と楕円形区画を交互



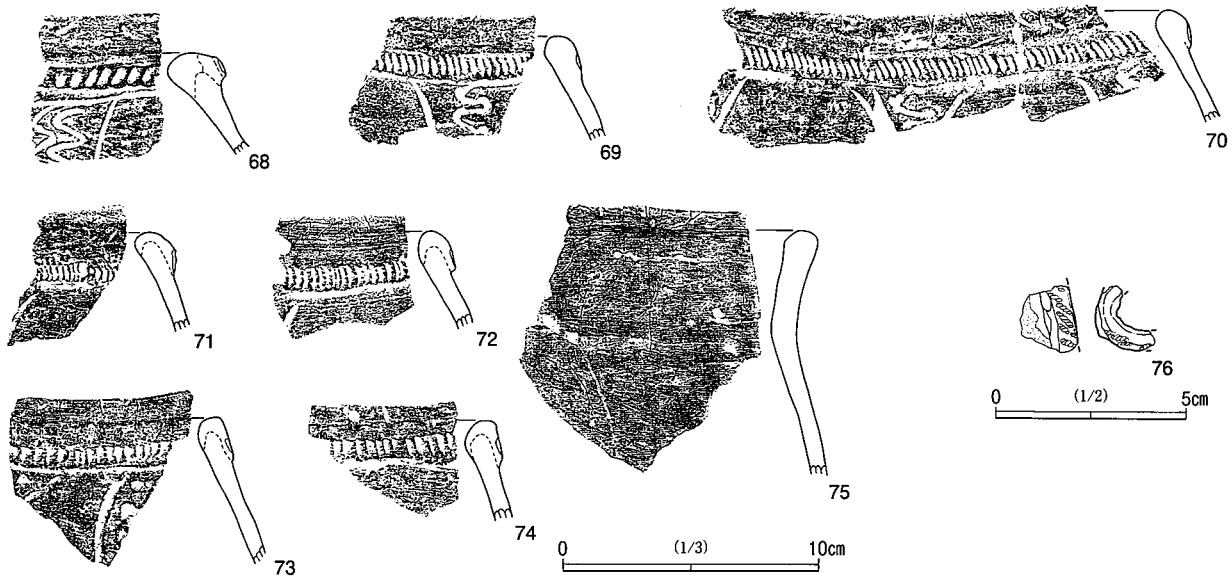
第91図　グリッド出土縄文土器（1）



第92図　グリッド出土縄文土器（2）



第93図　グリッド出土縄文土器（3）



第94図　グリッド出土縄文土器（４）

に６単位配し、中を櫛羽状条線で充填する。胴部は櫛羽状条線の地に磨消懸垂文を配する。全体に熱による剥落が顕著で不鮮明である。14～27・29・30・35～38・47は後期初頭から前葉に属するものである。19は鈎状把手の下側に２本の沈線を垂下させ、間を３本一組の櫛羽状工具による刺突列で充填する。21の胎土は細砂や小礫を極めて多量に含み器表面が浅黄色に発色する。搬入品の可能性が強い。29は外反する口縁から頸部で屈曲し、胴部で一旦膨らんで底部へ向けすぼまる深鉢形土器である。欠損して形状は不明であるが４単位の突起を持ち、そこからキザミを持つ隆起線が底部へ向け垂下される。隆起線の間は弧状ないしはＪ字状に区画された磨消縄文帯が縦位に配される。全体に熱を強く受けており上半分は煤が付着する。30は深鉢形土器の胴部から底部である。垂直ないしは斜行する沈線が観察されるが、全体の文様構成は不明。36は鉢形を呈するもので、破損しているが口縁部には橋状の把手が付けられる。32・39～43・45・48～51・76は後期中葉に属するものである。32は直線的に外反する口縁から頸部で屈曲し、胴部で僅かに膨らんで底部へ向けすぼまる深鉢形土器である。底部は接合しないため図上で復元した。屈曲部に横位の沈線と刺突列が巡る。その上約３cmの部分に平行するように沈線が巡らされ、その間が無文帯となっている。沈線側を起点として上側と下側に斜行条線が施される。42と45は同一個体で、矢羽状の条線を横位に巡らせる。42は口縁部側、45は胴部側であるが向きは同じである。間の屈曲部の無文帯は沈線による区画がなされていないが、口唇内側には浅いがはっきりとした沈線が巡る。48～51は粗製土器である。76は異形台付土器の胴部に付けられるラッパ状の突起である。33・44・52～60は後期後葉に属するものである。33は台付浅鉢の脚部である。帯状の磨消縄文と入組弧線文が段状に巡る。端部は外側に肥厚する。44は波状口縁の鉢形土器で、波頂部に楕円形の瘤が貼り付けられる。53は胴部が大きく膨らむいわゆる瓢形を呈するもの。54は後期末の注口土器で、図右下側に注口が付けられる。55～60は粗製土器である。31・34・61～75は晩期に属するものである。31は無文の深鉢形土器の胴部下半で、条線が消滅している点などから晩期の粗製土器と考えられる。34は深鉢形土器の口縁部で、口縁に平行するように沈線が巡るほかは文様は施されない。61～65は晩期前葉の精製土器である。61は内傾する口縁をもつ深鉢形土器で、後期安行式期の伝統を引き継ぐ瘤が貼り付けられるが、帯縄文の部分はほとんど肥厚しない。62は61と同一個体とみられるが、帯縄文と無文部とを区画する沈線が無い。63は内傾する口縁部にいわゆるＢ突起が貼り付

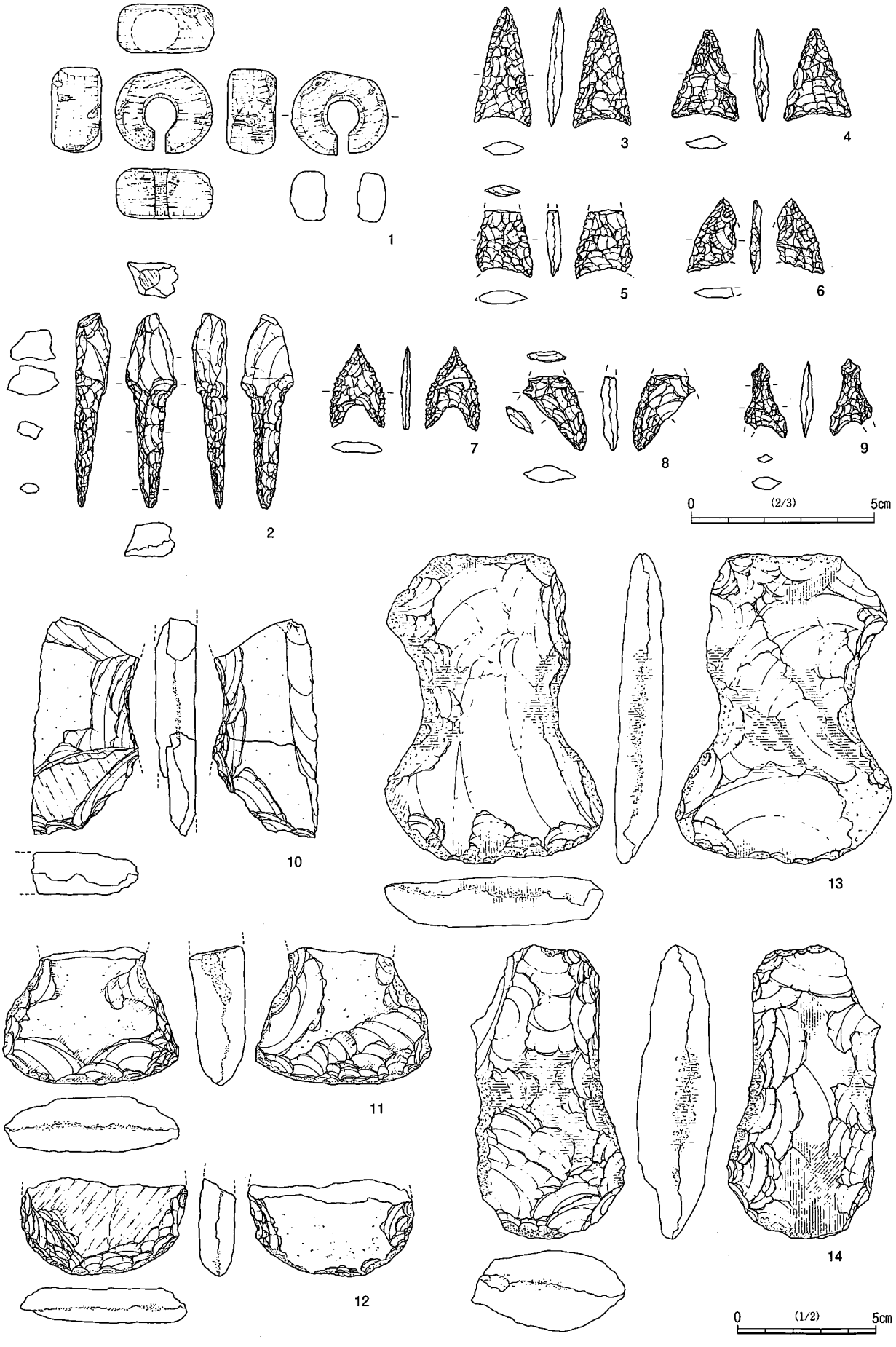
けられる。64・65は口縁部が外側へ屈曲するように外反する。66・67は晩期中葉のもの。胴部くびれに沿って２本の沈線が巡り、その下側に連弧状の沈線が配される。68～74は晩期前葉と考えられる粗製土器である。68は口縁部に紐線文が巡るもので、胴部はまばらな条線を地として弧状及び蛇行する沈線を配する。69～74は口縁部に刺突列が巡るもので、胴部に条線は施されず弧状及び蛇行する沈線のみとなる。73と74は同一個体で沈線間に刺突列を配する。75は無文の深鉢形土器で、頸部の屈曲から晩期前葉と考えられる。

２．グリッド出土石器（第95～98図、図版50・54、第39表）

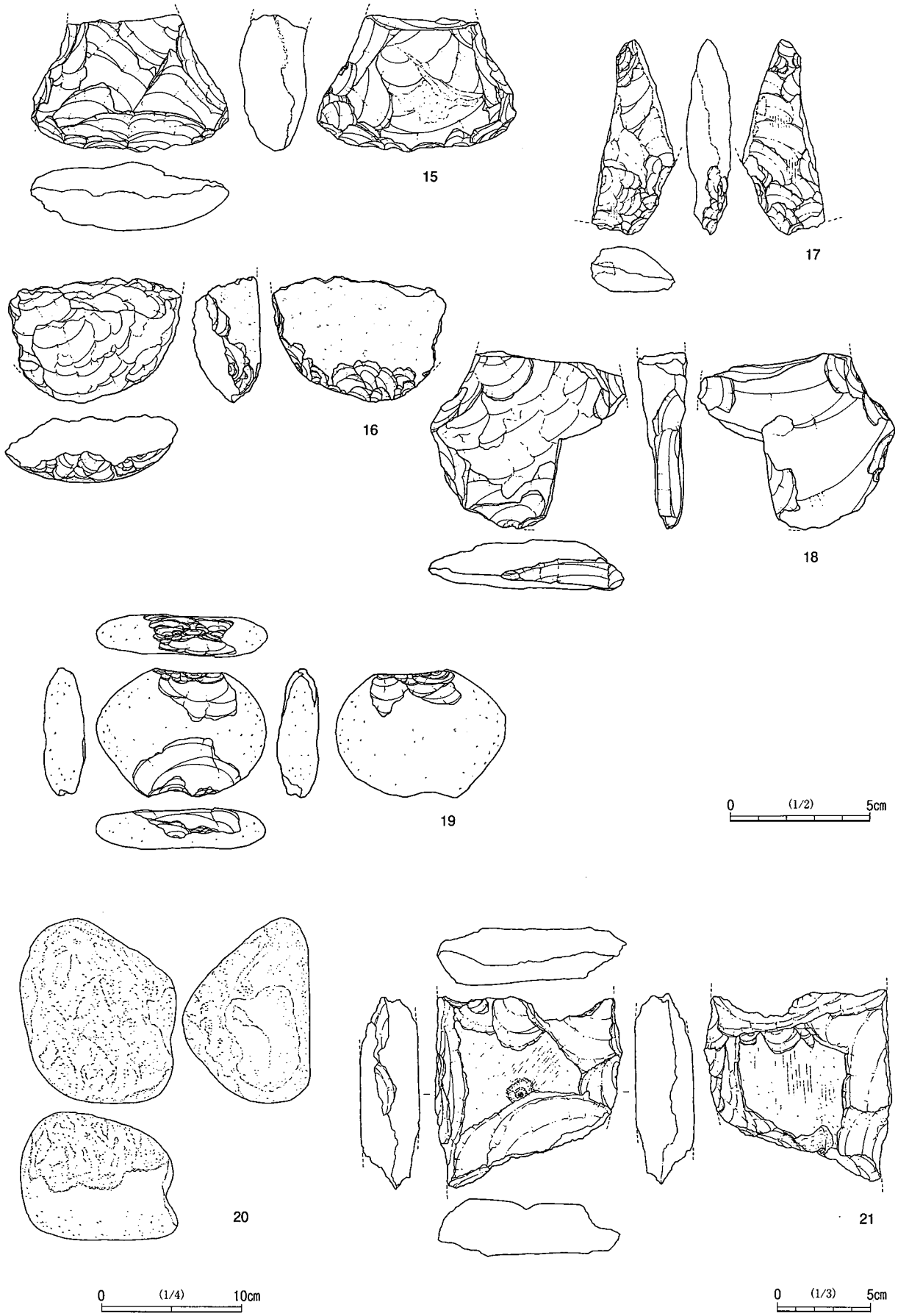
１は玦状耳飾である。上端に新しい欠損が見られる以外はほぼ完存する。端部に細かい線状の傷が多く見られる。２は石錐である。先端側は成形がほぼ終了している状況であるが基部側はほとんど調整が施されておらず、あるいは未製品かもしれない。３～９は石鏃である。９は先端側が長く伸び、三角形に裁ち落とされるように末端が成形される。10～18は打製石斧である。10は節理割れが顕著でごく僅かの使用で破損したものであろう。11・12の自然面はいずれも研磨が著しく使用頻度が高かったとみられる。14は装着痕・使用痕とも顕著である。19は平たい円礫の上下両端から剥離が行われるため楔形石器としたが、形状からは石錘である可能性も指摘できる。20は敲石である。21～24は石皿類である。21の両面にはよく研磨されている平滑面が半分ほど残存する。23は雲母片岩を素材とするもので、凹み以外の部分はほとんど剥落していると思われる。24は12kgを超す大形品で、縁辺部を中心に敲打痕と研磨痕が目立つ。台石としての用途が考えられるが、縄文時代のものかは疑問が残る。25は石核で、節理割れでａとｂに分割されている。自然面ないしは古い剥離面を多く残すがいずれの面も研磨が著しい。黒曜石であることからここではとりあえず縄文時代の所産とみなしたが、古墳時代の石製品の研磨に使われた可能性もある。

第39表　縄文時代石器属性表

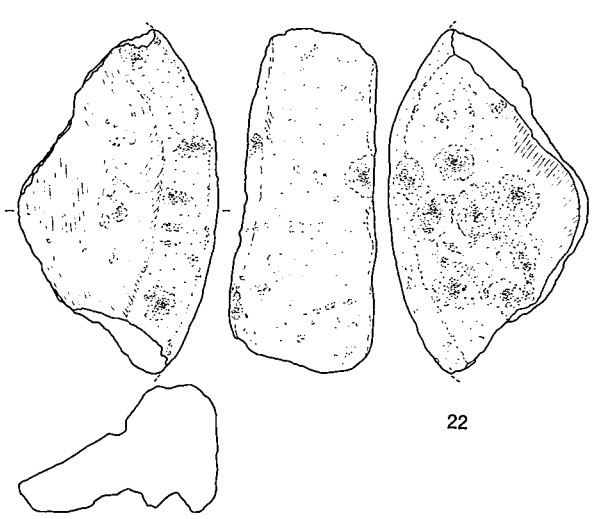
挿図No.	遺構No.	器種	旧遺構No.	遺物No.	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
86－5	SI001	打製石斧	(2)005	5	112.00	56.00	22.50	164.18	緑泥片岩	
86－6	SI001	敲石	(2)005	6	111.50	64.50	37.90	405.64	砂岩	
89－1	SK015	石鏃	31W－63・73	1	10.30	8.40	2.80	0.32	チャート	
95－1	36S－00	玦状耳飾	36S－00	3	23.00	26.00	13.00	12.74	滑石	
95－2	31S－00	石錐	31S－00	2	53.00	14.00	9.20	5.28	チャート	
95－3	SI017	石鏃	(3)019	73	32.70	15.50	4.00	1.74	チャート	
95－4	38R－57	石鏃	38R－57	1	25.00	18.40	4.30	1.43	チャート	
95－5	33S－00	石鏃	33S－00	1	19.50	15.00	4.00	1.20	チャート	
95－6	35X－90	石鏃	35X－90	1	20.50	13.50	3.00	0.68	黒曜石	
95－7	28V－77	石鏃	28V－77	1	22.50	15.00	2.50	0.77	珪質頁岩	
95－8	37R－58	石鏃	37R－58	1	20.40	16.80	4.10	1.17	チャート	
95－9	SI029	石鏃	(2)012	54	21.00	11.30	3.50	0.60	チャート	
95－10	SI031・35W－61	打製石斧	(9)005、35W－61	17、1	78.90	38.50	38.50	15.20	安山岩	接合
95－11	表採	打製石斧		表採	49.50	63.20	20.00	82.03	流紋岩	
95－12	SI011	打製石斧	(7)004	14	35.20	49.80	13.00	38.00	チャート	
95－13	27U－64	打製石斧	27U－64	1	112.20	78.00	17.80	185.24	ホルンフェルス	
95－14	表採	打製石斧		表採	106.30	55.50	28.90	184.78	ホルンフェルス	
96－15	36R	打製石斧	36R	1	49.50	71.00	24.00	94.72	ホルンフェルス	
96－16	40Q－13	打製石斧	40Q－13	1	45.00	62.00	25.50	74.62	流紋岩	
96－17	35T－00	打製石斧	35T－00	1	64.00	70.00	17.20	71.19	ホルンフェルス	
96－18	表採	打製石斧		表(1)	70.00	30.02	16.00	31.55	安山岩	
96－19	表採	楔形石器		表採	62.20	46.40	15.00	56.69	ホルンフェルス	
96－20	36R－01	敲石	36R－01	1	131.70	111.40	91.20	1,795.00	安山岩	
96－21	36V－74	凹石	36V－74	1	99.80	102.00	31.20	398.72	緑泥片岩	
97－22	36R	石皿(凹石)	36R	1	181.00	105.50	77.00	1,155.00	安山岩	
97－23	37T－41	凹石	37T－41	1	276.00	153.90	35.50	2,065.00	雲母片岩	
97－24	36R－01	台石	36R－01	1	322.70	172.60	195.20	12,600.00	流紋岩	
98－25a	SI035	石核	(2)010	9A	54.50	50.00	63.00	211.97	黒曜石	接合
98－25b	SI035	石核	(2)010	9B	39.50	36.00	51.50	52.73	黒曜石	接合

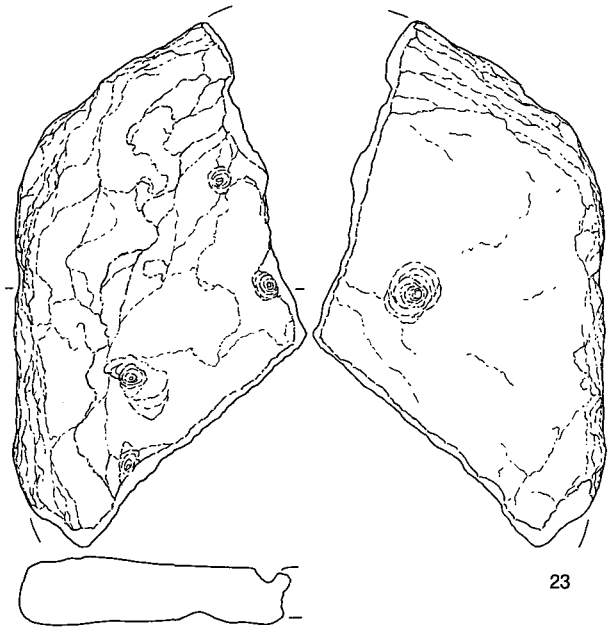


第95図　グリッド出土縄文時代石器（1）

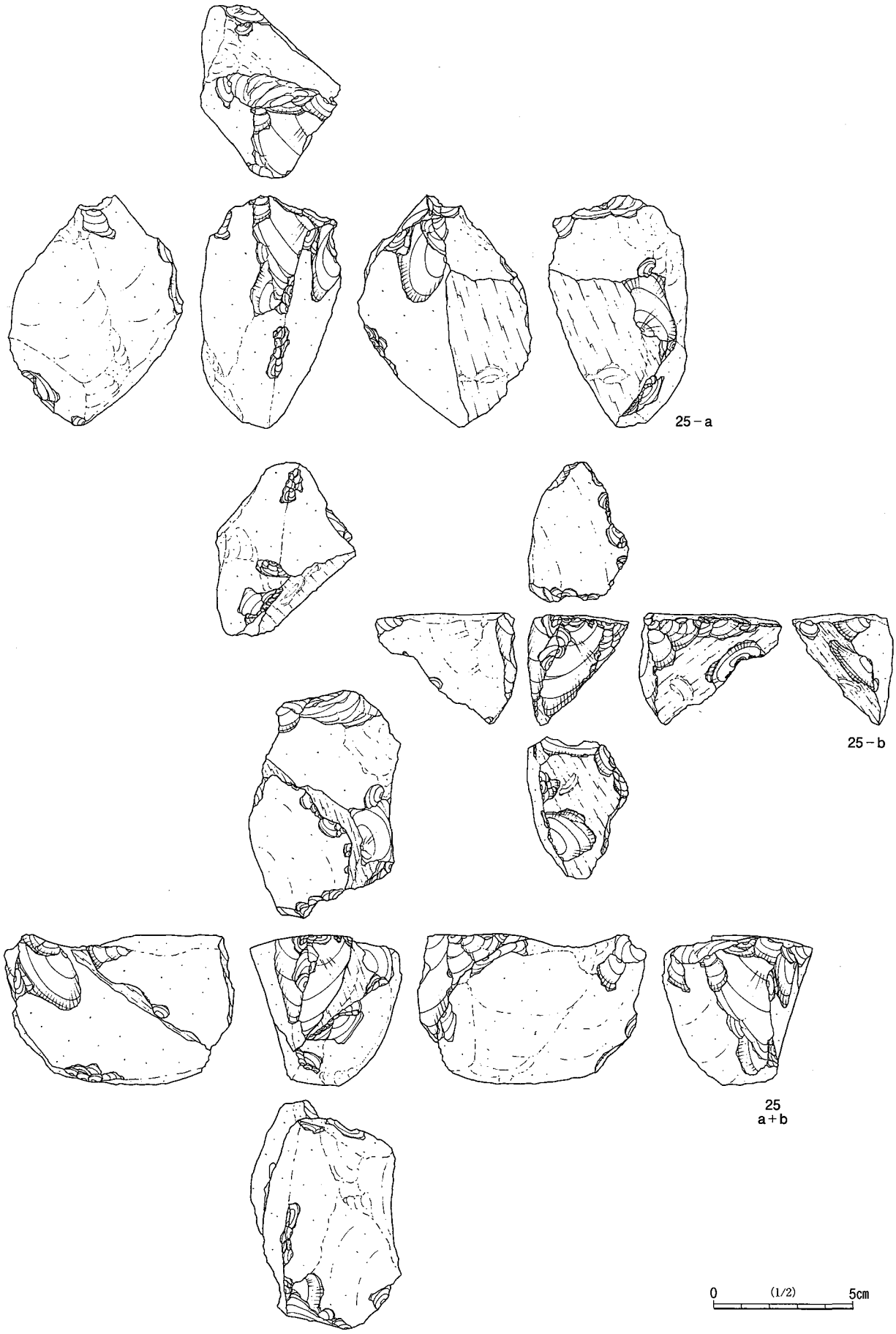


第96図　グリッド出土縄文時代石器（2）





第97図　グリッド出土縄文時代石器（3）



第98図　グリッド出土縄文時代石器（4）

第４章　古墳時代

概要　古墳時代の遺構は竪穴住居跡35軒、土坑15基が発見されている。竪穴住居跡の時期は前期から中期にわたっており、西に隣接する前期の集落跡・市野谷宮尻遺跡、西初石五丁目遺跡の住居跡群と同じ集落を構成する一群が調査区北側に、これに後続する中期の一群が台地の東縁に沿って北から南に分布している。土坑は中期の竪穴住居跡群とほぼ同じような分布を示しており、幾つかは竪穴住居跡と重複するものも存在している。

第１節　竪穴住居跡

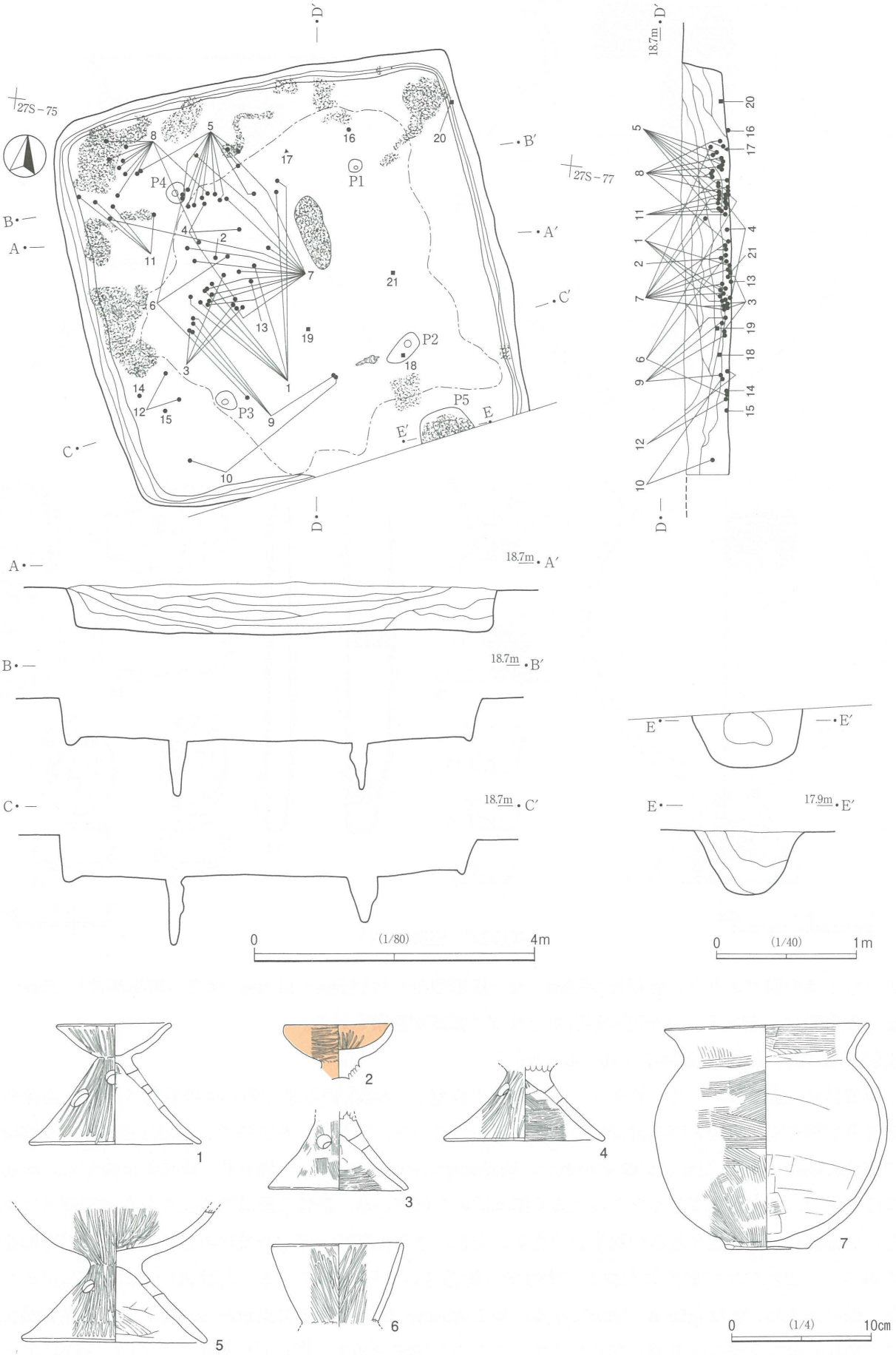
SI002（第99・100図、図版７・40・54・55）

調査区の北側、27S－64グリッド～27S－84グリッドに跨って位置する。南側の一部は農道に接しているため調査できなかったが平面形は方形となろう。規模は、住居跡の中軸線上で東西が6.14m、南北方向は西辺で5.89mである。確認面からの深さは49cm～63cmである。床面はほぼ平坦で、主柱穴の間を中心に良く踏み固められている。炉は住居跡の中央寄りに位置し、５cm前後と浅い掘り込みの地床炉である。壁溝は、ほぼ全周すると思われる。主柱穴P1～P4は住居の対角線上に規則的に配置される。径22cm～44cm、深さ66cm～96cmと個々に差がみられる。貯蔵穴は南東隅付近に位置するＰ５である。これも完全には検出していないが平面形は方形になると思われ、幅80cm、深さ26cmである。

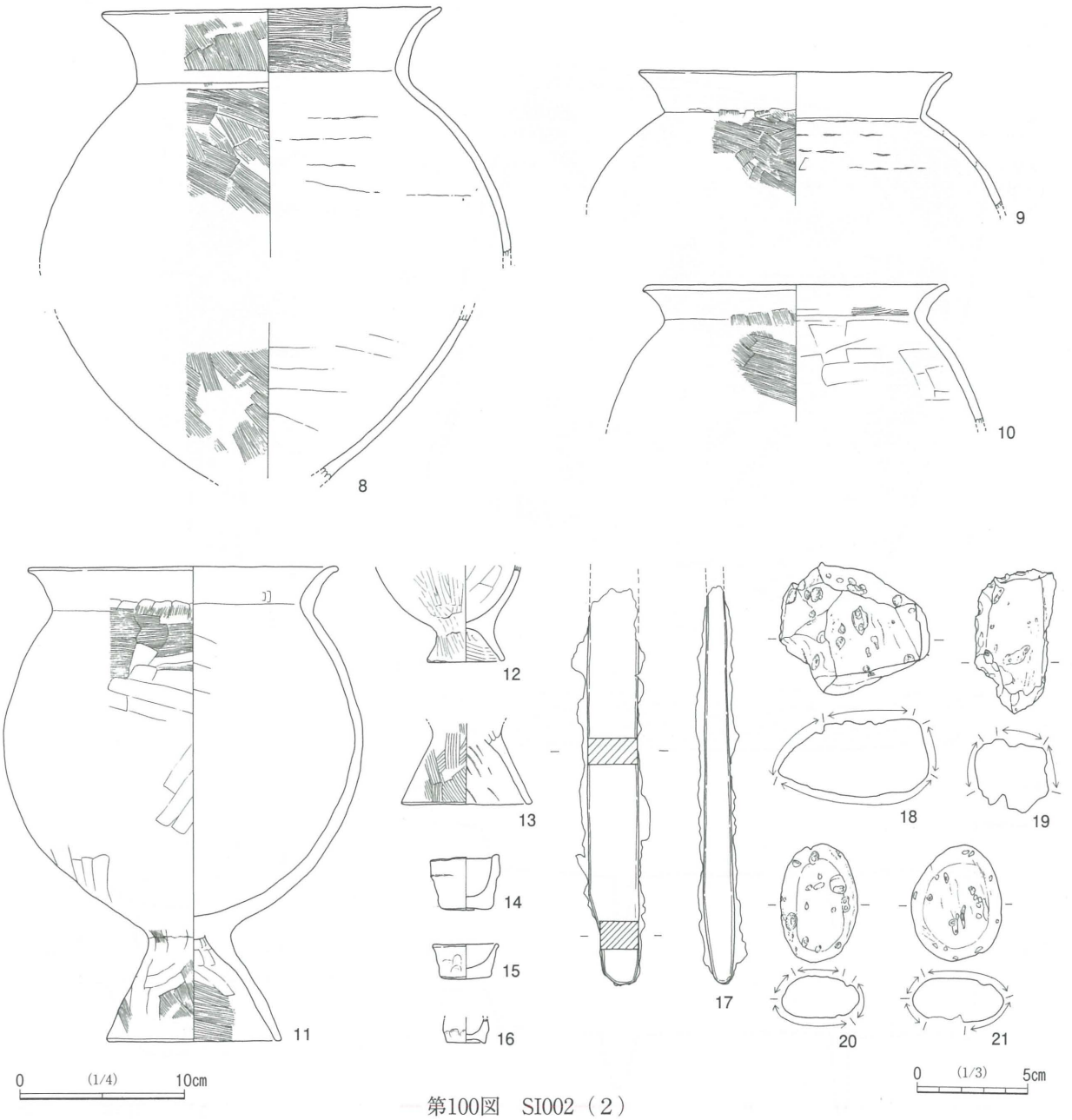
遺物は、土器を中心に比較的多く出土している。接合の結果個体としてまとまった土器が多く、平面的な分布では住居中央付近から北西隅にかけて散在し、レベルも床面直上から覆土中層に及んでいる。西壁から北壁を中心に壁に沿って焼土や少量の炭化材が堆積し、焼土中から出土した遺物もあることから、住居焼失後に廃棄されたものと考えられる。

出土遺物

１から４は器台。１はほぼ完形で、ハ字状に開く脚に小ぶりの受け部が付く。脚部に上下３ヵ所ずつ合計６ヵ所の円形の透かし孔を穿たれる。外面は丁寧なミガキが施される。２は口縁部が内湾気味に立ち上がる器受け部で、内外面が赤彩されている。３、４は器台の脚。３の外面にハケ、４の外面はミガキが施される。透かし孔はそれぞれ３ヵ所である。５は高杯で杯部の大半を欠く。脚がハの字状に直線的に開き、３ヵ所に透かし孔を穿たれる。杯部下端の陵は無く、椀状になると思われる。６は小型壷の口縁部。直線的に開き、内外面ともミガキ調整される。７は小型の甕。球形の胴部から口縁部がくの字状に外反する。胴部外面の調整は全体的に目の粗いハケ調整である。８～10は甕。８は直接接合しないが同一個体である。口縁部は口唇部付近で大きく外反する。外面の調整は全体的にハケによるが、胴部下端は軽くナデ調整されている。９・10の口縁部は、くの字状に外反する形態で、胴部にハケが施される。11は台付き甕で、最大径をもつ胴部はやや長胴化している。外面の調整は胴部上位及び脚部に細かいハケを部分的に残すが、多くはやや粗いヘラナデによっている。13は台付き甕の脚部。12は小型の台付き甕となろう。脚部と胴部がバランスを欠く。14、15はミニチュア土器。17は分厚い板状の鉄製品。断面が方形に近い方が基部であろう。端は刀子の片関を想起させるような形態で、幅・厚さとも基部から徐々に薄くなる。鑿或いは鏨の


27S－75
27S－77
D′
B′
A′
C′
P1
P2
P3
P4
P5
E
E′
18.7m
17.9m
0
(1/80)
4m
(1/40)
1m
(1/4)
10cm

第99図　SI002（1）

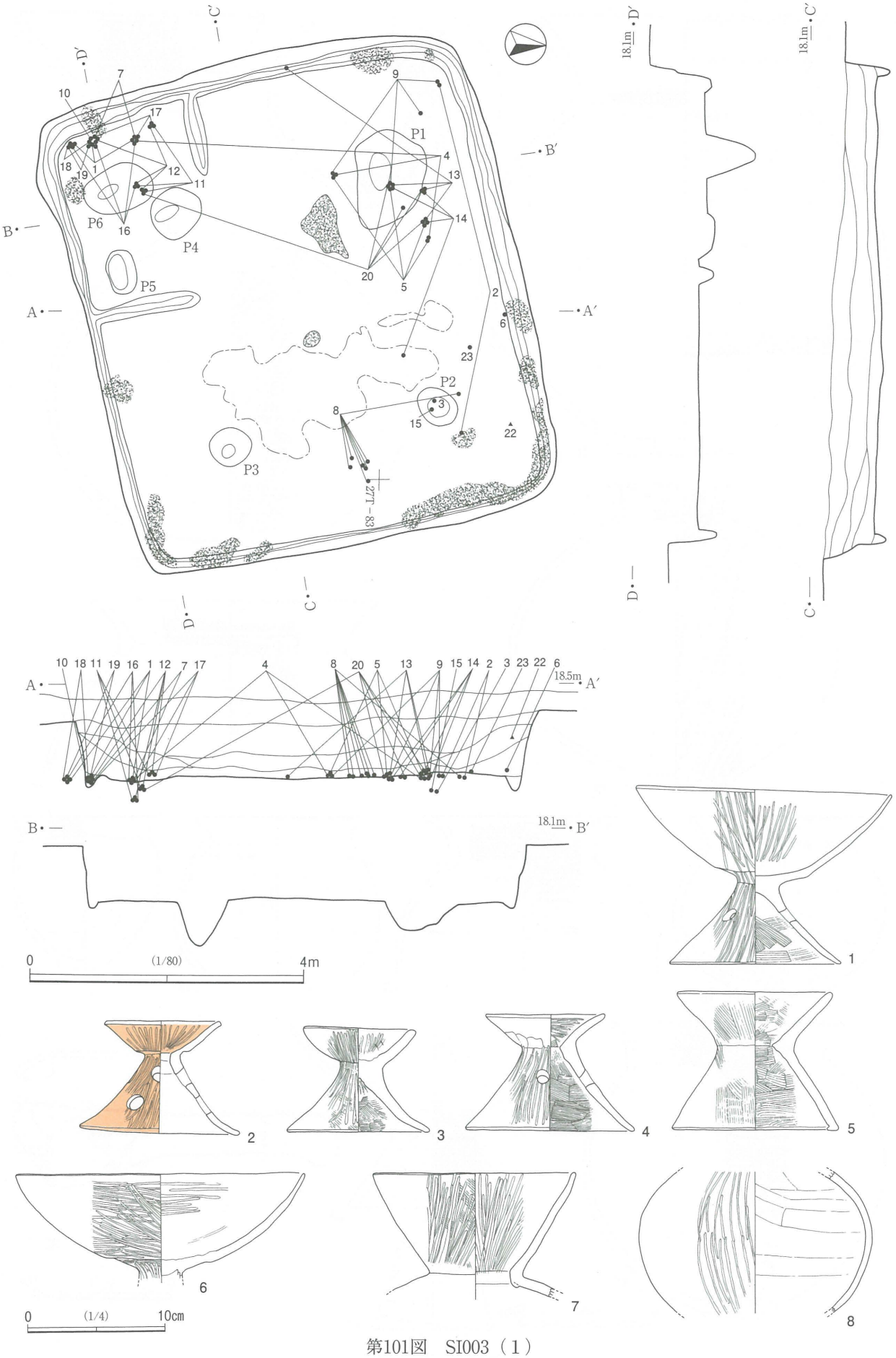


第100図　SI002（２）

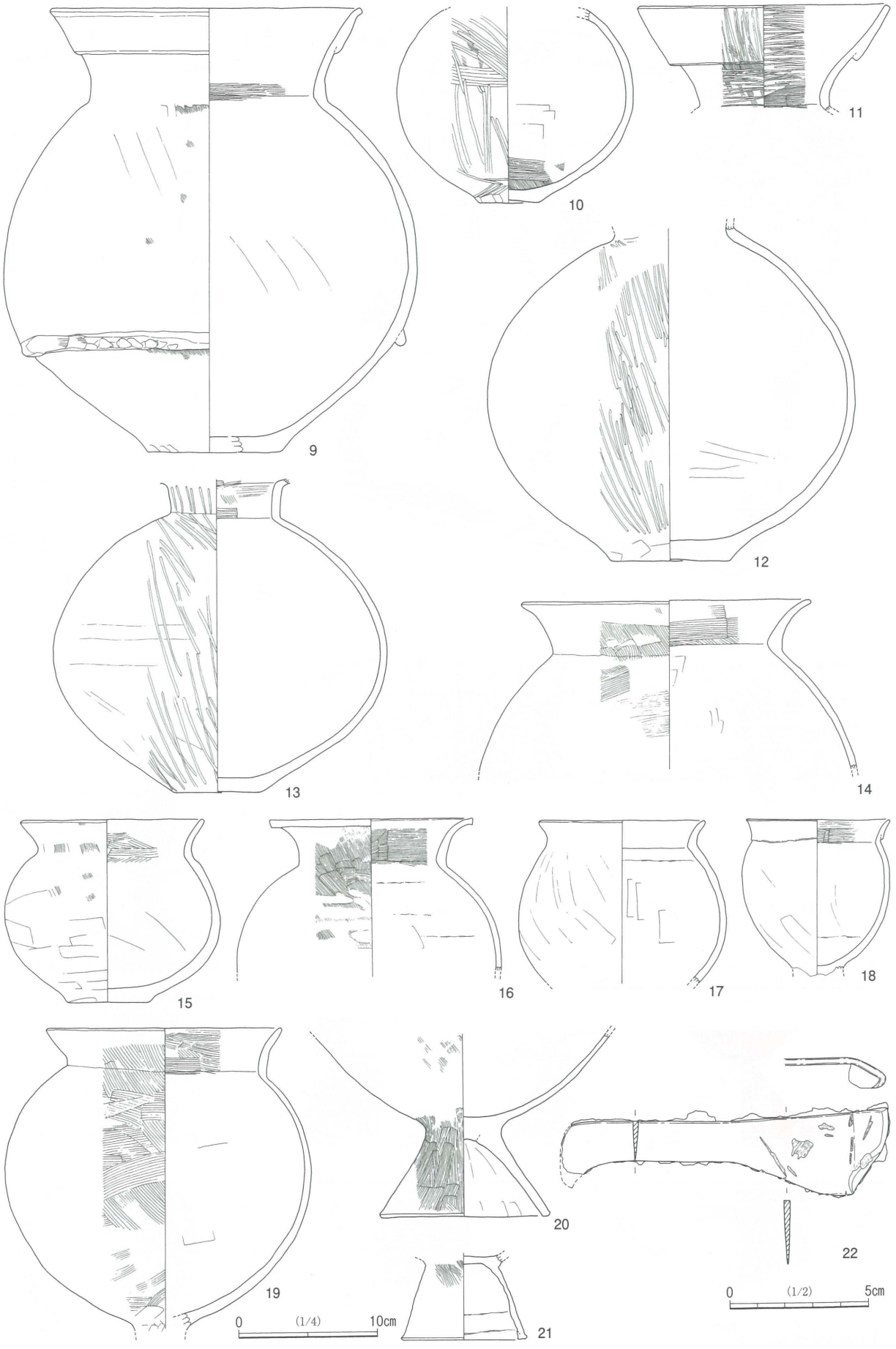
ような工具の類であろう。現存長120.0㎜、幅（断面部位）は11.5㎜～15.1㎜、厚さ（断面部位）7.9㎜～8.5㎜、重量50.98ｇである。18～21は軽石でそれぞれ擦痕が観察される。

SI003（第101・102図、図版７・40・41・55）

調査区の北側、27T－71～91グリッドに跨って位置し、SI002から東に約13ｍの距離にある。遺構の西側を８次調査で、東側を23次調査でそれぞれ調査している。平面形は長方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北6.38ｍ、東西7.33ｍと東西辺が長い。確認面からの深さは44㎝～80㎝で、壁溝が全周する。床面はほぼ平坦で、中央から東寄りを中心に良く踏み固められている。炉は住居跡の中央からやや西寄りに位置し、８㎝前後と浅い掘り込みの地床炉である。なお、中央に径30㎝ほどの焼けた窪みがある。補助的な炉であろう。主柱穴は住居の対角線上に規則的に配置されるP1～P4である。北西側のP1が長径1.47ｍと大きく掘り込まれ、他は径58㎝～62㎝である。深さは34㎝～56㎝と個々に差がみられる。また、南西隅付近に壁溝から延びる間仕切り溝に画されて大小二つの貯蔵穴がある。隅に近い楕円形のP6は、長径1.02ｍ、



第101図　SI003（1）



第102図　SI003（2）

深さ74cm。小形のP5は底面が平坦で、深さ22cmである。

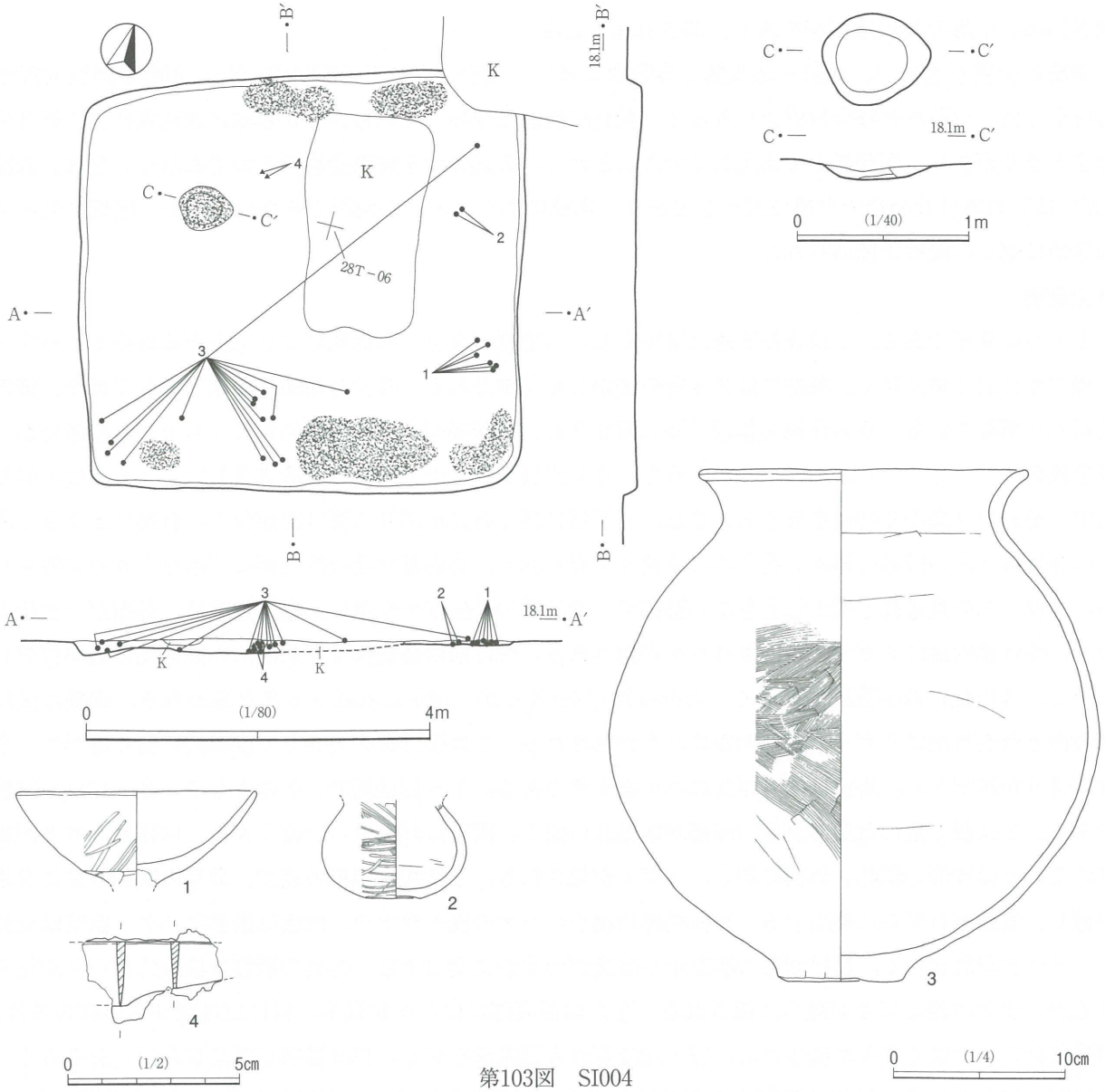
遺物は土器が主体で、北西～北東隅と南西隅に多い。器台（３）と小型の甕（15）が北東側柱穴P2から出土した。土器片の接合状況からみると、割合広範囲に分散しているが、北西側と南西隅付近に部分的なまとまりがあり、床面直上で出土していることから、大部分は本跡廃絶時のものであろう。なお、鉄鎌（22）は北東壁付近の覆土中層で出土しており、本跡に伴うかどうか判断できない。また、壁溝に沿って部分的に焼土の堆積が認められた。

出土遺物

１・６は高杯である。１は体部下端に陵を有し、口縁部が大きく内湾気味に立ち上がる高杯で、ハ字状の緩やかに開く脚が付く。脚部には３ヵ所の透かし孔が穿たれる。外面と体部内面は丁寧なミガキ、脚内面はハケ調整である。６の杯部も体部下端に陵を有し、口縁部が大きく内湾気味に立ち上がる器形だが、陵を鋭角に作出している。内外面とも丁寧なミガキが施されるが、内面の剥落が著しい。２～５は小形器台で、それぞれ異なる特徴を有する。２は、ハ字状に開く台に小ぶりの受け部が付く。台部に上下３ヵ所ずつ合計６ヵ所の円形の透かし孔と芯に貫通孔を穿たれる。外面及び受け部内面に丁寧なミガキが施される。３は、芯の貫通孔も透かし孔もない器種で、受け部の器壁がやや厚い。器面調整は、外面がハケ後ミガキ、受け部内面にミガキ、台内面はハケが施される。受け部内面底部は二次的に火熱を受け煤が付着している。４は受け部が直線的に開く。台部は約1/2を欠くが、透かし孔は３ヵ所と思われる。調整は受け部内面と台部外面にミガキ、台部内面にハケが施される。５は受け部が大振りで直線的に開く器形で、全体に造りが雑である。調整は内外面共にハケ後ナデである。７～13は壷で、そのうち７・８・10は小型壷である。７は細く括れた頸部から口縁部が直線的に開く。調整は外面がハケ後ミガキ、内面はミガキが施される。８は球形の胴部。外面に疎らにミガキが施される。９は複合口縁の壷で、球形の胴部下位に突帯が巡り、底部がわずかに突出する。外面胴部は細かいハケの後ヘラナデ、内面は頸部にハケ、胴部は全体にヘラナデが施される。10は球形の胴部から底部がわずかに突出する。外面の調整は部分的にハケが見られるが、ナデの後ミガキが疎らに施される。また内面底部にはハケが残る。11は口縁部から頸部の破片。内外面共にハケ後ミガキが施される。12・13は何れも口縁部を欠く。13は頸部が直立ぎみで、おそらく二重口縁の壷となろう。外面は頸部から胴部にミガキ、頸部内面にはハケが施される。14～17は甕である。14は口縁部がく字状に外反し、口唇部でさらに開く。外面は細かいハケ調整の後ヘラナデ、内面口縁部はハケが施される。15はほぼ完形の小形甕で、球形の胴部から口縁部がく字状に短く外反する。調整は外面口縁部から胴部中位までハケ後ナデ、胴部下位はヘラナデ、内面は口縁部にハケ、胴部はヘラナデとなる。外面胴部下位に煤が付着する。16は口縁部が大きく開き、口唇部端がわずかだが摘み上げられる。外面と口縁部内面は、ハケの後ナデが施される。17は口縁部の外反がやや緩やかだが、内面に陵を有する。調整は全体的にヘラナデによっている。18～21は台付甕と台である。18は折り返し口縁、胴部の張りが弱い。19は球形の張りのある胴部をもつ。外面全体にハケ後ナデが施される。20は台の開きが大きい。胴部はハケ後ナデ、台はハケ調整のままである。21は台部で、外面にハケがわずかに残る。22は背部が直線的な直刃鎌である。先端部の一部を欠く。基部は幅が広く、端が折り返され、一部に植物繊維が付着している。全長117㎜、最大幅30㎜、厚さ2.5㎜、重量25.2ｇである。

SI004（第103図、図版8・41・55）

調査区の北側、28T－05・06グリッドに跨って位置し、SI003から南東に約10ｍの距離にある。北東隅



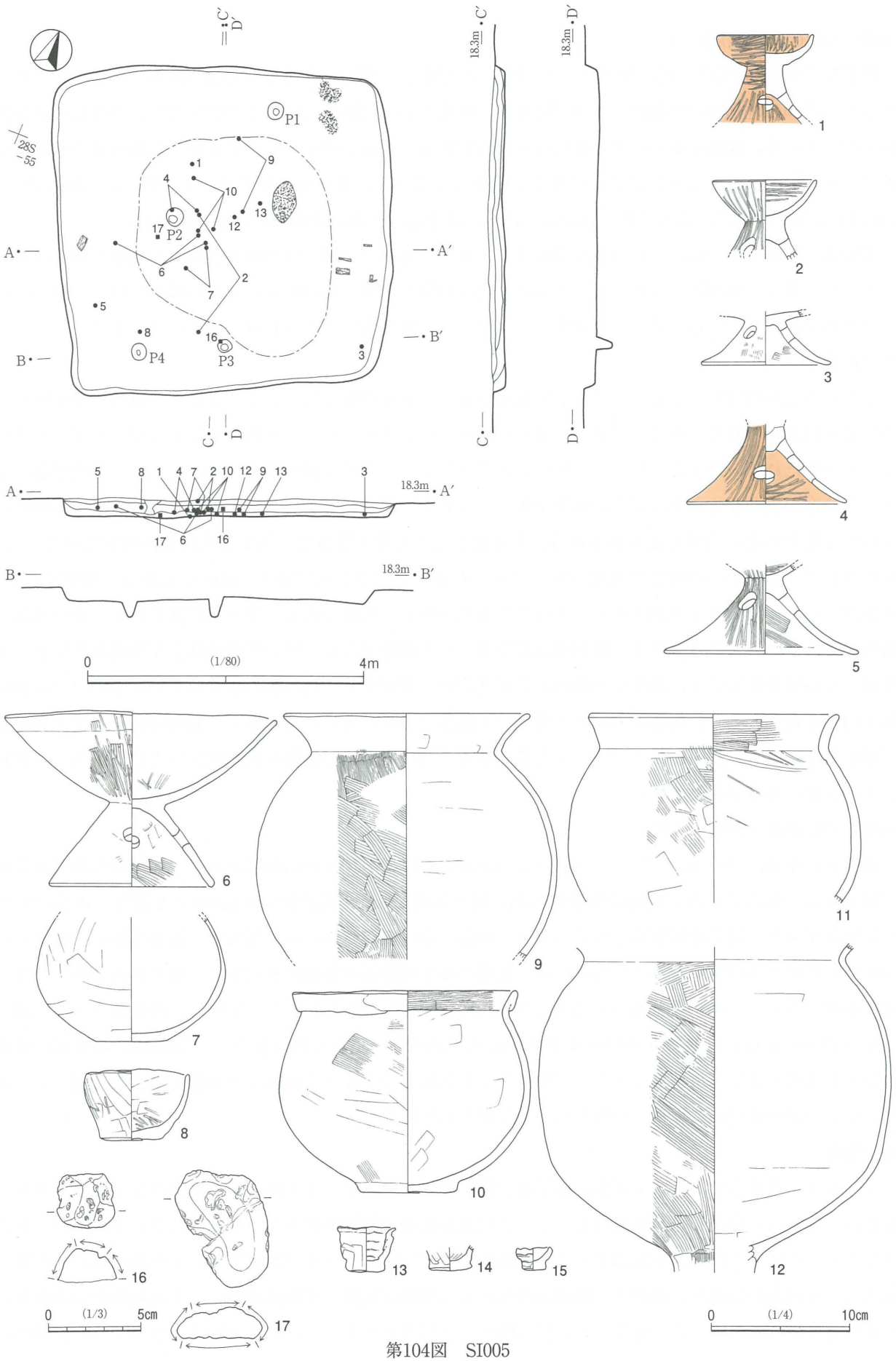
第103図　SI004

と中央部に攪乱を受けている。平面形は方形で、規模は住居跡の中軸線上で東西5.17m、南北4.85mを測る。床面は西側から東側に向かって徐々に高さを増している。踏み固められた痕跡は無く、確認面からの深さは13cm～17cmである。住居跡の中央からやや北西寄りに地床炉が設けられている。炉は長軸65cm、短軸53cmの楕円形で、床面からの深さは12cmである。全体に軟質な焼土が堆積する。柱穴、壁溝等の施設は検出されていない。

遺物は土器を主体に住居跡の南側と東側に比較的集中するが、多くは破片で床面から浮いている。刀子（4）は炉の北東側、床面直上で出土している。また、北側と南側の壁に沿って焼土が堆積している。

出土遺物

1は高杯の杯部で、体部下端に陵を有する。2は小形丸底壷で口縁部を欠く。外面は丁寧なミガキが施される。3は甕で、口縁の屈曲が緩やかである。球形で張りのある胴部から底部が突出する。胴部中位に細かいハケ調整がみられる。4は刀子で茎を中心に残存する。現存長40.0㎜、刃部幅18.1㎜、背幅2.5㎜、重さ5.7ｇである。



第104図　SI005

SI005（第104図、図版8・41）

調査区の北西隅、28S－45・56グリッドに跨って位置し、SI002から南に約25mの距離にある。平面形は方形で、規模は住居跡の中軸線上で東西4.85m、南北4.71mを測る。床面はほぼ平坦で、中央部に硬質面が広がっている。確認面からの深さは17cm～25cmである。炉は、中央からやや東寄りに楕円形の地床炉が設けられており、掘り込みは浅い。柱穴は4基検出している。規則的な配置ではないが住居の隅に近いP1とP4の2基が主柱穴であろうか。径20cm～26cm、深さ22cm～26cmと規模に大きな差は無い。

遺物は土器が主体である。その多くは破片で、覆土中層から上層、住居中央付近から西側を中心に散在していた。特に、小型器台は図示した以外にも住居西側で台部と受け部合わせて10個体分ほどが細かく砕けた状態で出土している。また、東壁寄りでカヤ・ヨシ類と思われる炭化材が出土している。

出土遺物

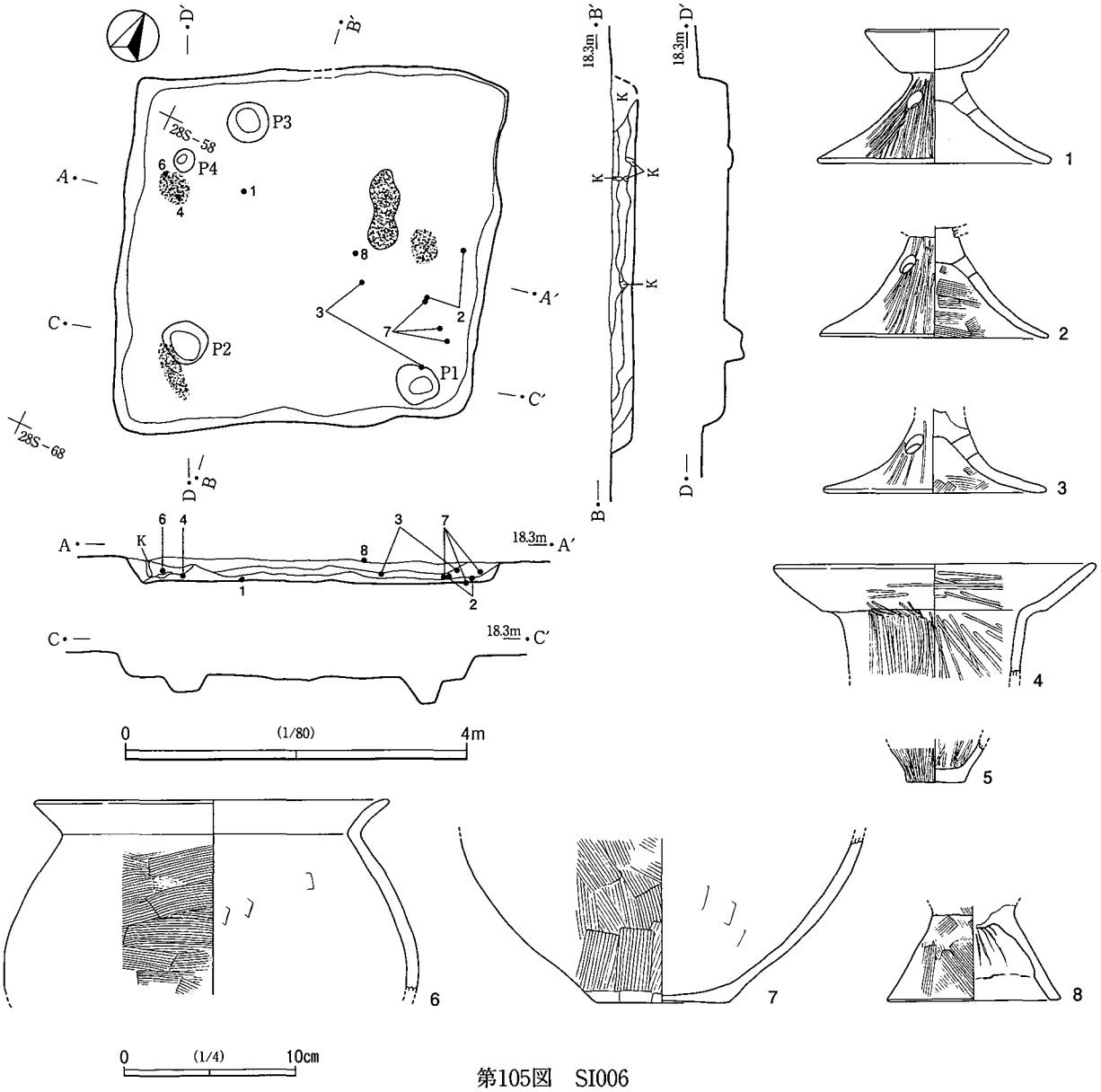
1から5は小型器台である。いずれも完形品は無く、破片が接合している。1は台上部の器壁が厚く、受け部が内湾して立ち上がる。現状では透かし孔が上に2か所、下に1か所確認できるが、上下1対ずつ計4ヵ所穿たれていたと思われる。内外面を赤彩される。2は受け部が深く、透かし孔は3ヵ所確認できる。3は台の丈が低く、受け部との器壁が薄い。4も1と同様に透かし孔が上下1対ずつ計4ヵ所穿たれていたと思われる。内外面を赤彩される。5は裾が大きく開く器種で、透かし孔は3ヵ所穿たれている。6は高杯で、体部から口縁まで内湾気味に立ち上がる。脚はハ字状に開き、透かし孔が3ヵ所穿たれる。杯部内面は丁寧にミガキが施される。7は小型壷の胴部から底部である。9～11は甕である。9は球形の胴部から口縁が大きく外反する。胴部外面は全体にハケ調整である。10は帯状の粘土を輪積み状に短く折り返して口縁を作出する。胴部は下膨れ状で底部が短く突出する。11は胴の張りがやや小さい。12は台付甕で口縁と台部を欠く。胴部外面はやや粗いハケ調整である。8は小型の鉢で、底部内面にミガキを施し丁寧な造りである。13～15はミニチュア土器である。13の内面には輪積み痕が残されている。16・17は軽石で、全体に擦痕が観察される。

SI006（第105図・図版8・41）

調査区の北側、28S－58グリッドに位置し、SI005から東に約10mの距離にある。平面形は方形であるが、西辺と東辺が歪んでいる。規模は住居跡の北辺側で東西4.36m、西辺側で南北4.20mを測る。床面はわずかに起伏があり、硬化面は観察されていない。確認面からの深さは21cm～36cmで、壁溝は無い。炉は中央からやや東寄りに地床炉が設けられている。長軸の長さが96cmの細長い楕円形で、掘り込みは浅い。柱穴は4基検出されている。住居各辺の方向とずれているがP1～P3が主柱穴となろう。径48cm～54cm、深さ14cm～39cmを測る。西壁に近いP4は補助的な柱穴であろう。遺物の量は少なく、北西側と南東側に分布の偏りが認められる。小型器台（1）が中央やや北西寄りの床面上に横倒しの状態で出土し、壷（4）と甕（6）が北西壁沿いに堆積した焼土の下から出土している。

出土遺物

1～3は小型器台である。1は受け部下端に稜を有し、台裾が大きく開く。台部外面は丁寧なミガキが施され、3ヵ所に透かし孔が穿たれる。2・3の台部も裾の開きが大きく、それぞれ3ヵ所に透かし孔が穿たれる。4は壷の口縁から頸部である。有段口縁で内外面にミガキが施される。5の底部は小型の壷であろう。6は甕の口縁から胴部で、器面は内外とも二次的に被熱して剥落が多い。7は胴部から底部で、外面には煤が付着している。両者とも胴部外面がハケ調整されている。8は台付甕の台部で外面に細かい

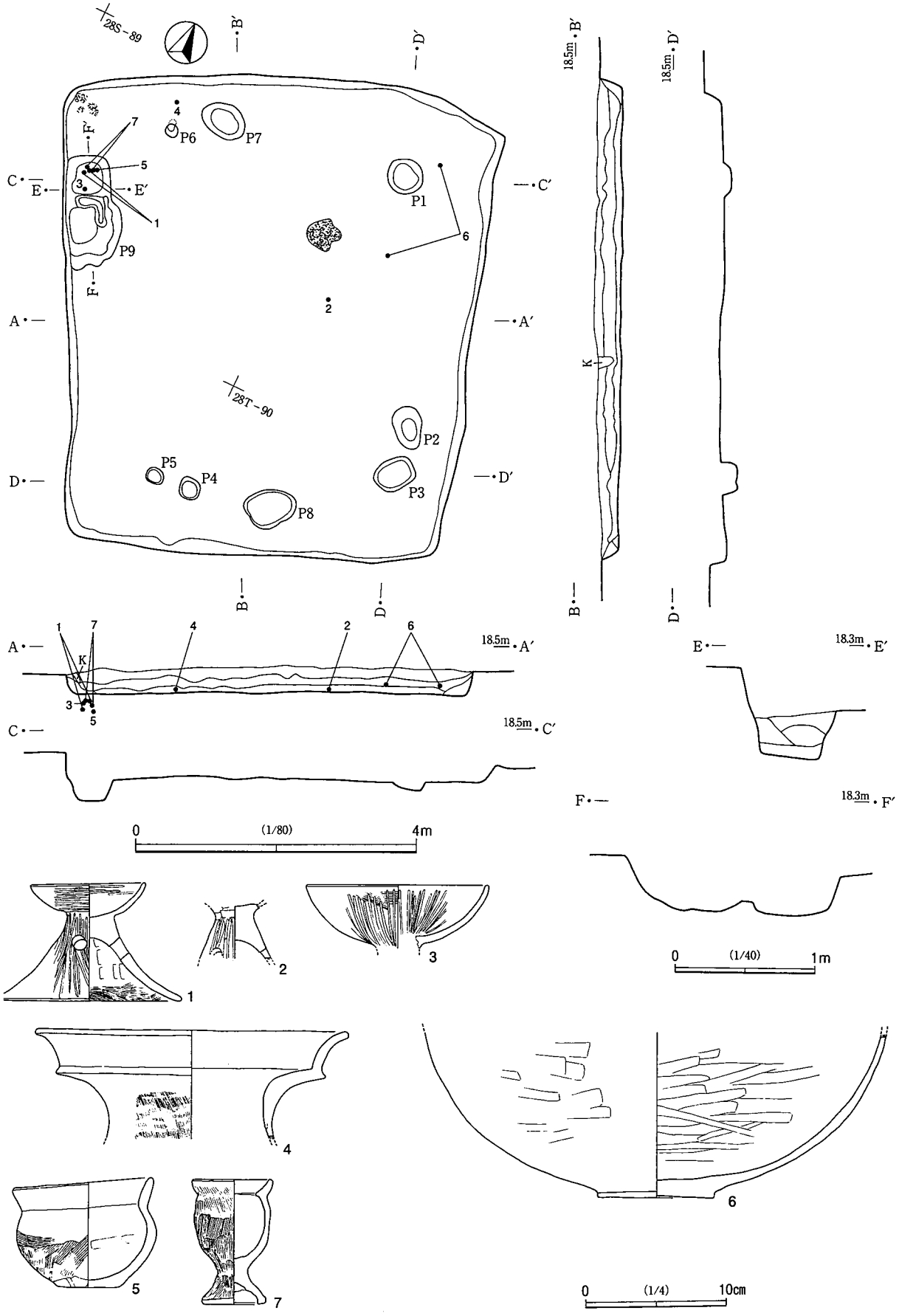


第105図　SI006

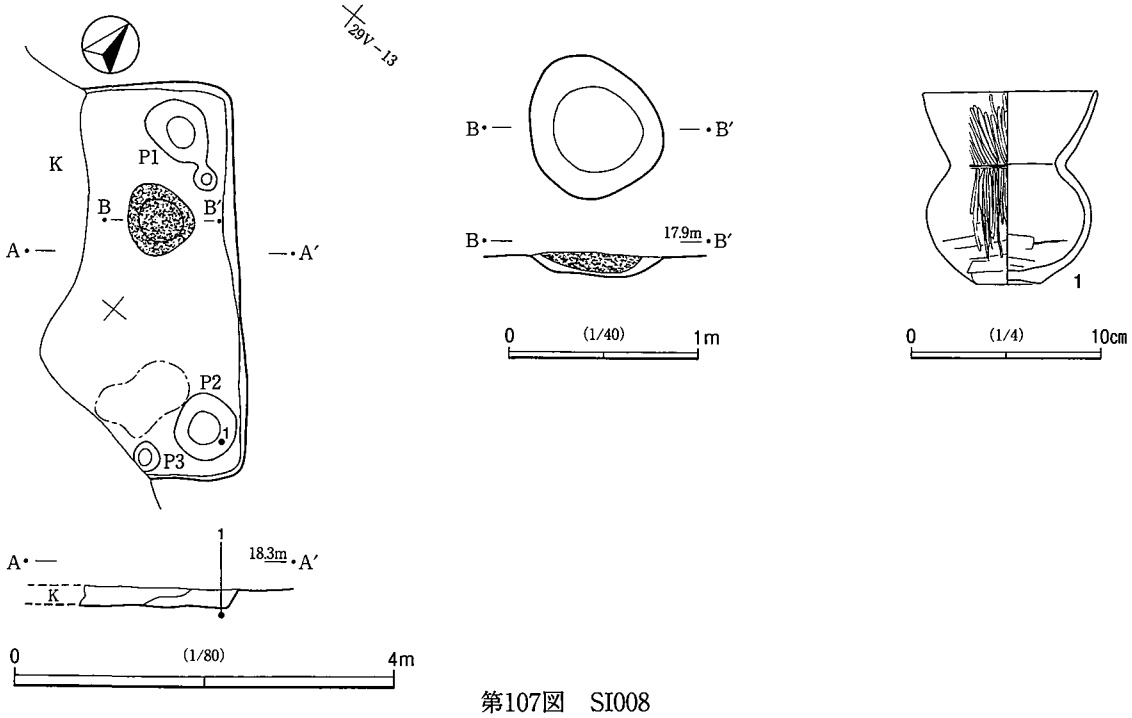
ハケ調整が見られる。器面は二次的に被熱して剥落が多い。

SI007（第106図、図版９・41）

調査区の北側、28S－89・28T－90グリッドに跨って位置し、SI006から南東に約20mの距離にある。平面形は長方形で、東壁側が南北方向に振れて歪んでいる。規模は住居跡の中軸線上で南北6.89m、東西5.78mを測る。床面はわずかな起伏があるが、概ね平坦である。特に硬化している箇所は認められていない。確認面からの深さは８cm～35cm、壁溝は無い。炉は、住居跡中央からやや北に地床炉が設けられる。不整形で浅い掘り込みである。柱穴は８基検出されている。北東隅に近いP1と南東、南西、北西側にそれぞれ２基ずつ掘り込まれるP2～P7が主柱穴となろう。規模にばらつきがあり径20cm～63cm、深さ11cm～21cmである。南壁中央寄りのP8は浅く皿状に掘り込まれている。炉の対面に位置することから入り口施設の可能性が高い。北東壁に接するP9は貯蔵穴である。 長方形に掘り込まれるが、底面中央に低い土手を設け南北に区画している。規模は、長さ1.65m、幅76cm、深さ40cmである。なお、柱穴が北東側を除いた３箇所で２基ずつあることや西壁・東壁の振れ、特に東壁の振れ方とP4・P7を結んだ線の振れ方が


28S-89
28T-90
P1
P2
P3
P4
P5
P6
P7
P8
P9
A
B
C
D
E
F
K
18.5m
18.3m
0 (1/80) 4m
0 (1/40) 1m
0 (1/4) 10cm

第106図　SI007



第107図　SI008

同じ方向になる点に注目すると、住居の建て替えを行っている可能性も考えられる。

遺物は少ない。貯蔵穴北側の区画から小型器台（1）、高杯（3）、鉢（5）、ミニチュア土器（7）が出土したほか、北壁西寄りの床面で壷口縁（4）が口縁部を伏せた状態で出土している。

出土遺物

1・2は小型器台である。1はほぼ完形で、台部に透かし孔が3ヵ所穿たれる。受け部内面と外面全体に丁寧なミガキが施されるが、受け部内底は被熱のため剥落している。2は台部のみで、透かし孔が3ヵ所に穿たれる。3は高杯の杯部で、内湾気味に立ち上がる。調整は外面にハケ後ミガキ、内面はミガキが施される。4は壷の有段口縁で、口縁下の段が突出する形態である。頸部に細かいハケ調整が施される。内外面の剥落が著しく、頸部破断面が摩滅していることや口縁部を伏せた状態で出土したことなどを考えると、器などを載せる台として二次利用された可能性がある。5は小型の鉢で口縁部が小さく開く。口径と体部径がほぼ同じで、平底。体部下半はハケ調整である。6は壷の下半部で、底部が突出する。7のミニチュア土器は台付甕を模したものである。外面全体にハケ調整を施され、丁寧な造りである。

SI008（第107図、図版9・42）

調査区の北側、29U－12・23グリッドに跨って位置し、SI002からSI007の一群とは南東に約50mほど距離を置いている。住居跡の西側約2/3は攪乱のために失われており、北西～南東を向く東辺が4.18mを測る。各辺4m前後の方形になると思われる。床面はほぼ平坦で、南端付近に硬化した面を観察できた。確認面からの深さは15cm～20cmで、壁溝は無い。東壁に寄った所に楕円形に掘り込まれた地床炉があり、中央部に厚さ10cm前後の焼土が堆積していた。炉の北側のP1及び南東隅のP2は主柱穴で、径60cm～68cm、深さ15cm前後である。P1に付随する小径のピット及びP3は補助的な柱穴と思われる。遺物はP1の覆土内から小型壷が出土している。攪乱を受けたこともあり、これ以外は土師器小破片が少量出土しているに過ぎない。

出土遺物

1は完形の小型壷で、球形の胴部から口頸部が内湾気味に立ち上がる。口径と胴部の径がほぼ等しく、

底部が上げ底となる。外面の口縁部から胴部中位まで丁寧なミガキが施される。

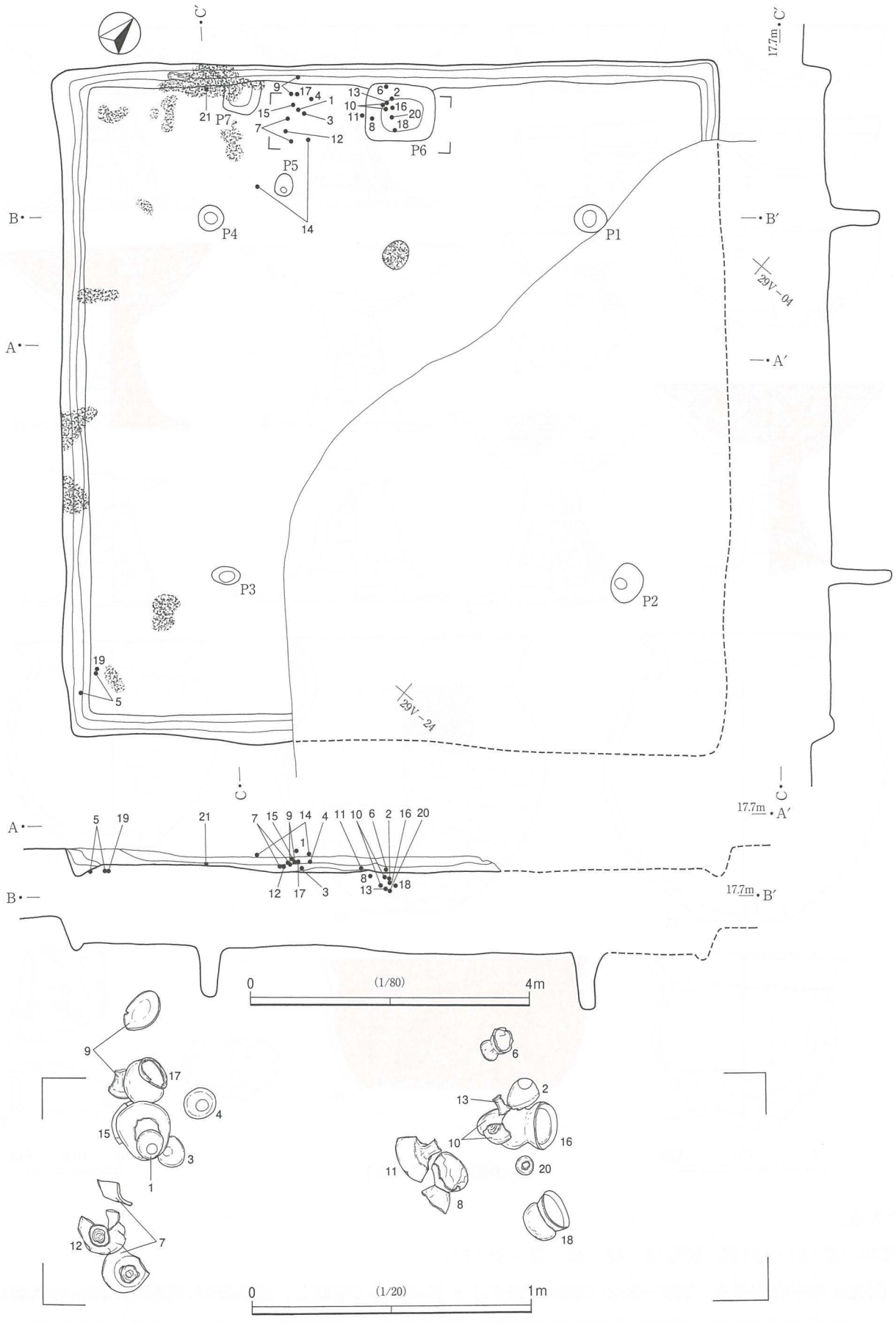
SI009（第108・109図、図版10・42・54）

調査区の北側、28V－92から29V－24グリッドに跨って位置し、SI008の東約40mの距離にある。住居中央から南東側の大部分に攪乱を受け、遺存状態が悪いが、方形の平面形となろう。住居の規模は南西～北東を向く北壁で9.50m、北西～南東を向く西壁で9.70mを測る、大型住居である。遺存する部分での床面は、西壁側がほぼ平坦なのに対し、北壁側中央付近から東に向かって一段低くなっている。床面上で踏み締めによる硬質面は観察されていない。確認面からの深さは13cm～35cmで、特に北壁東側が攪乱の影響を受け、壁の遺存が悪い。壁溝は遺存する壁直下に巡っていることから、本来は各壁に沿って全周していたものと思われる。炉は中央からやや北壁寄りに地床炉が設けられているが、床面が火熱で赤く変色している程度で、掘り込みは認められない。主柱穴は床面が失われた南東側でも検出され、対角線上の４か所にP1～P4が整然と位置している。径38cm～56cm、深さ72cm～89cmである。これとは別に、北西側の主柱穴と炉の間に径34cm、深さ44cmの補助的な柱穴P5がある。貯蔵穴は北壁に沿って、大小２つが設けられている。平面形は共に方形を呈し、炉と対面する大型のP6は1.0m×0.8m、深さ51cm、小型のP7は51cm×45cm、深さ17cmである。

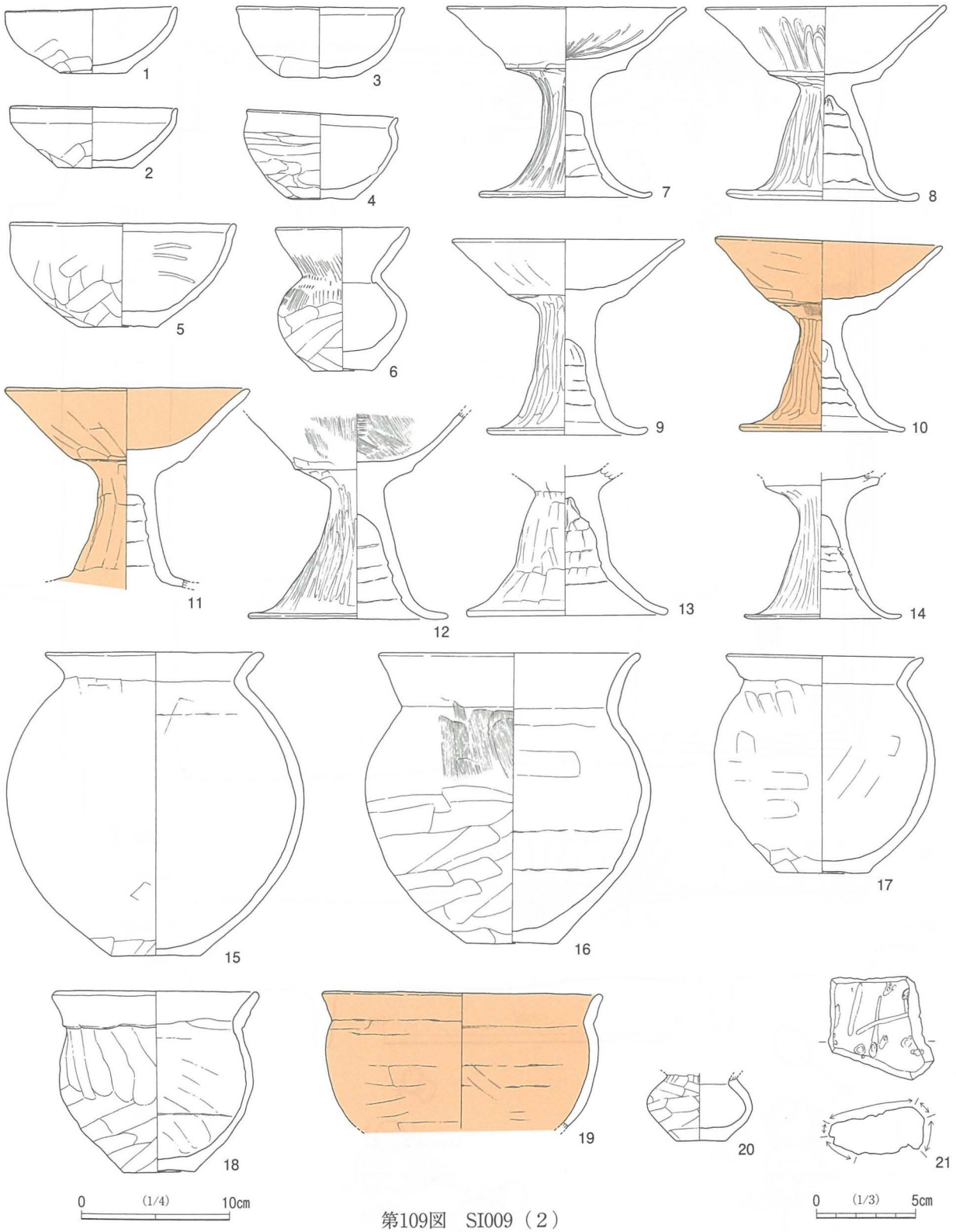
遺物は貯蔵穴P6とその西側に集中している。大型の貯蔵穴P6から出土した遺物は、杯１個、甕２個の完形個体や破損した高杯など合計10個体ある。完形個体は底面から20cmほど浮いた位置で、傾いて横倒しの状態のものや逆さまの状態のものがあり、埋没過程での廃棄を示している。一方西側の貯蔵穴脇では、椀・鉢類３個体、高杯３個体、甕２個など計８個体が出土している。床面状に伏せ置かれたような、いわば遺棄された状態のものや床面から浮いて壁際に接するように傾いた状態のものがある。これらの土器類には部分的に二次的な被熱の痕跡があり、土器の下に焼土が堆積する状況や壁に沿って炭化材や焼土が検出されていることから、住居廃絶に際して不要材の焼却や埋め戻し、土器類の廃棄を行った可能性が考えられる。

出土遺物

１～５は杯である。１・２は口径に対して器高が浅く、底面が平らに造られている。１の内面は二次的な被熱による器面の剥落が著しい。３・４は口径に対して器高が高く、口唇部が小さく摘み出されて外反する。やはり被熱痕があり、器面が剥落している。５は大振りで、体部の調整が粗い。内面の剥落が著しい。６・20は小型壷である。６は全体に器壁が厚い造りで、口縁部下半から胴部上半にハケ後ナデ調整が施されている。20は口縁部を欠く。６に比べ小型でそろばん玉状の胴部である。内外面とも器面が剥落している。７～14は高杯である。杯部は概ね口縁部が直線的に大きく開き、下端に稜を有する形態であるが、脚柱部の形態は様々である。脚と杯との接合部が厚く、脚柱部上部が直立気味で裾に向かってラッパ状に徐々に開く形態のもの（７・９～12・14）、杯との接合部が臍になり、脚柱部が膨らみながら裾が開く形態のもの（８・13）がある。15～18は甕で、15・18が西側の貯蔵穴脇で出土し、完形の16・17が大型の貯蔵穴内から出土した。15は口縁部が短く外反し、胴部中位に最大径をもつ。胴径に比して口径が小さい。16は胴部上位に最大径を持ち、口縁の屈曲がやや緩やかである。胴部上位の調整はハケ後ヘラナデによる。外面胴部全体に煤が付着している。17は小型で、球形の胴部中位に最大径を持つ。18は折り返し口縁の小型の甕で、口縁部に最大径を持つ。19は鉢とした。口縁部に最大径を持つ器種で、胴部から口縁部への外反が弱い。全体に造りが丁寧で内外面共に赤彩を施されている。21は軽石で、表裏・側面とも擦痕が観察



第108図　SI009（1）



第109図　SI009（２）

できる。

SI010（第110・111図、図版10・42・43・51・53・54）

調査区の中央北寄り、29V－84から29V－96グリッドに跨って位置し、SI009から南東に約20mの距離にある。平面形は方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北5.41m、東西5.36mである。床面はほぼ平坦で、

確認面からの深さは24cm～45cmである。踏み締めなどによる硬化面は特に観察されていない。炉は中央やや北寄りに地床炉が設けられている。長さ1.0m、幅45cmの細長い楕円形状で、床面への掘り込みは浅い。柱穴は９基検出したが、規則的な配置ではなく、北東側と南西側に偏り、しかも北西側が欠落していてバランスが悪い。北東隅のP1が34cm、東辺のP3が45cm、南西のP5が43cm、P9が31cmであり床面からの深さ、位置を考慮するとこの辺りが主柱穴であろうか。他の柱穴は深さ14cm～19cmで補助的な柱穴であろう。貯蔵穴は南東隅に位置するP10である。規模は長径72cm、深さ39cmである。覆土中層から小型壷・杯・高杯脚が出土している。

遺物は杯・高杯・小型壷など土器、石製模造品、土玉などの他滑石剥片が数点出土している。土器類は貯蔵穴内と南辺側及び北辺側に分布の偏りがあるが、土玉は分散した出土傾向を示している。なお、住居内の壁際を中心に炭化材や焼土が検出され、焼土が間層を挟んで覆土中層から上層にも堆積していることや貯蔵穴内及び住居跡内の遺物出土状況から、住居の廃絶に際して焼却や埋め戻し、遺物の廃棄が行われた可能性が考えられる。

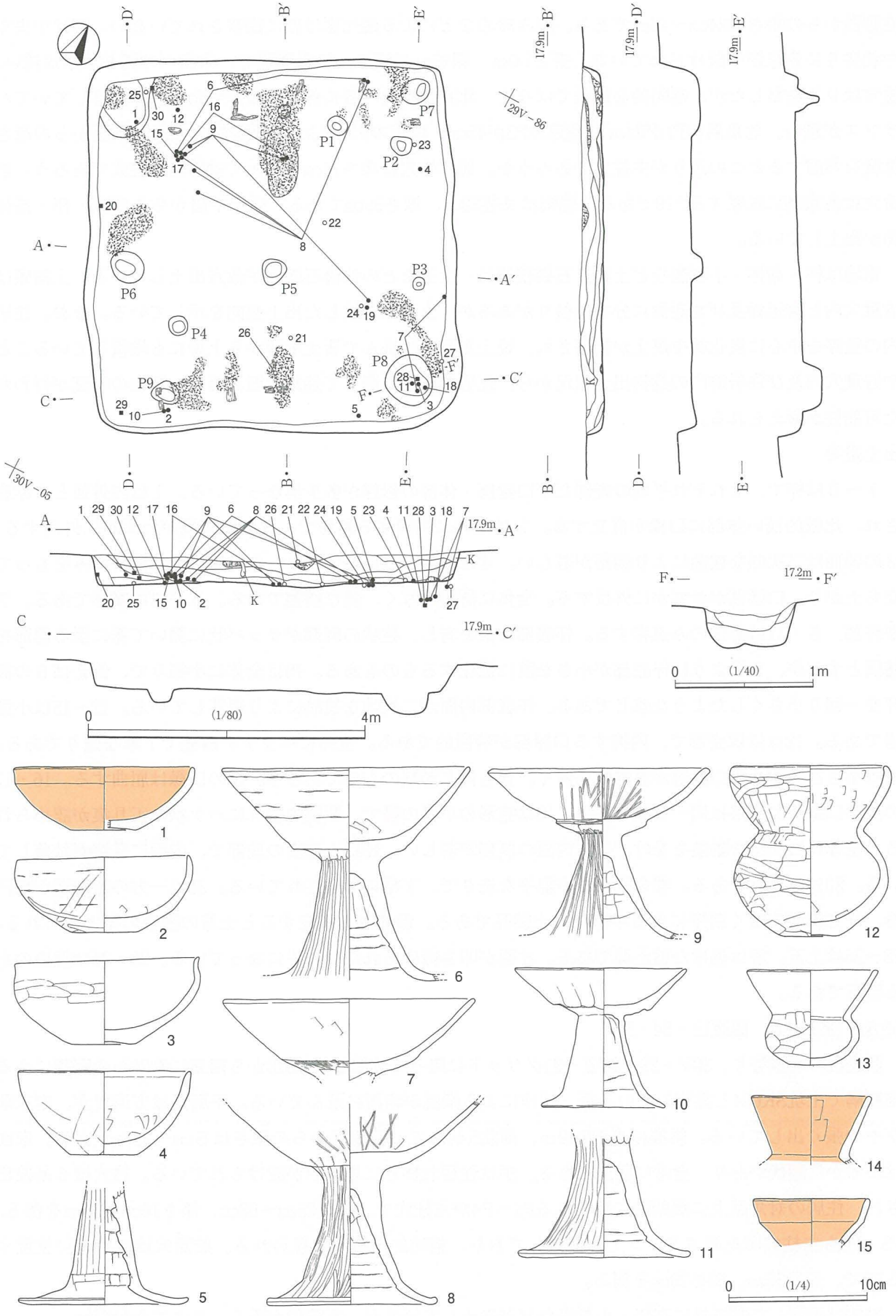
出土遺物

１～３は杯で、それぞれ平底の底部だが口縁部・体部の形態が多少異なっている。１は内外面とも赤彩され、比較的浅い体部に口縁が直立する。２は全体に内湾する器形で、３は口縁端がわずかに外反する。２の器面は二次的な被熱により剥落が著しい。４は体部が深い器で椀とした。平底で体部が丸みをもって立ち上がり、口唇部がわずかに外反する。全体に器壁が厚く、雑な調整である。５～11は高杯である。７が杯部、５・11は脚部のみ遺存する。杯底部に稜を有し、柱状の脚部がラッパ状に開いて裾に至る器形を基調とするが、９のように杯底部が小さな段に変化するものもある。10は全体に小振りで、例えば６の高杯を一回り小さくしたような感じである。杯底部内面が二次的な被熱により剥落している。12～15は小型壷である。12はほぼ完形で、内湾する口縁部が特徴的である。全体にヘラナデ調整で丁寧な造りである。13は小さな胴部から口縁部が直線的に開く。14も同じ形態のものであろう。15の口縁は屈曲する。16・17の甕の口縁部と底部は同一個体である。18は完形の小型の壷で、頸部の括れにハケ状の工具痕が認められる。全体に二次的な被熱を受け、特に内面の剥落が著しい。19は小型壷の底部で、内面に黒漆が付着している。20は剣形品である。稜を持たない扁平な造りで、丁寧に研磨されている。21は一方の端断面が楕円形、片方端が幅広く扁平になる半環状の土製品である。形状から推定すると土器の把手の類と思われる。22～26は土玉。27は焼けた粘土塊である。片面が叩き締められた様に平になっている。28～30は擦痕のある軽石である。

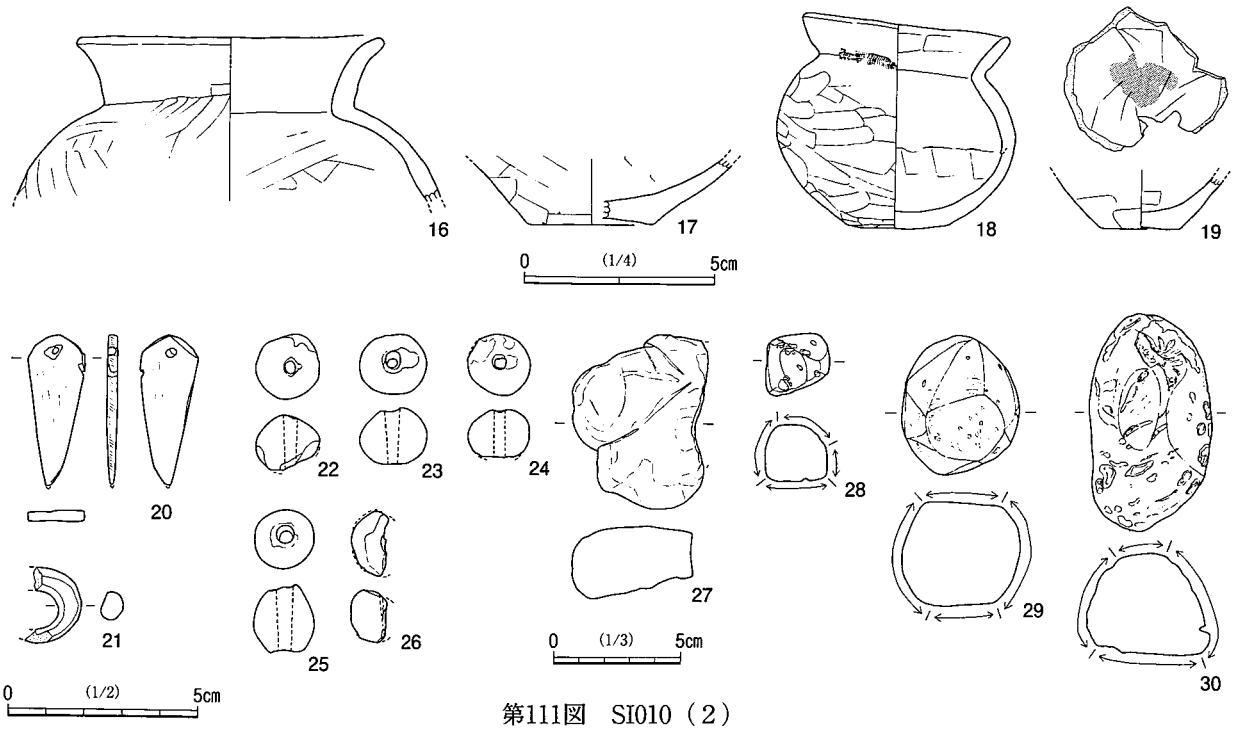
SI011（第112図、図版11・54・55）

調査区の北東寄り、30V－29～30W－31グリッドに跨って位置し、SI010から南東に約20mの距離にある。南西隅で土坑SK004と重複している他、耕作による攪乱が床面に及んでいる。平面形は方形だが、南東隅がやや張り出している。規模は東西5.99m、南北5.44mで、確認面からの深さは５cm～28cmである。床面はわずかに起伏があり、全体に軟質である。炉は住居北寄りに地床炉が設けられている。柱穴は６基検出され、住居の対角線上に規則的に配されるP1～P4が主柱穴で、長径25cm～58cm、深さ16cm～33cmを測る。P5・P6も主柱穴間を結ぶライン上に位置しており、補助的な柱穴と思われる。貯蔵穴は北西隅に位置するP7で、長径60cm、深さ20cmを測る。

遺物は図示した甕以外に高杯・小型壷などが出土しているが、小破片が多く、まとまりはない。



第110図　SI010（1）



第111図　SI010（2）

出土遺物

1～3は甕で、口縁部形態に多少差はあるが、基本的に球形の胴部をヘラケズリ後ヘラナデによって仕上げている。1は口縁部から胴部が約1/2残る。口縁部には弱いハケ調整がされる。2は上半部の約1/2残る。4は腸抉三角形式の鉄鏃である。鏃身と篦被は直接接合しないが概ね図の様な長さであろう。5は軽石で、周縁に擦痕が観察できる。

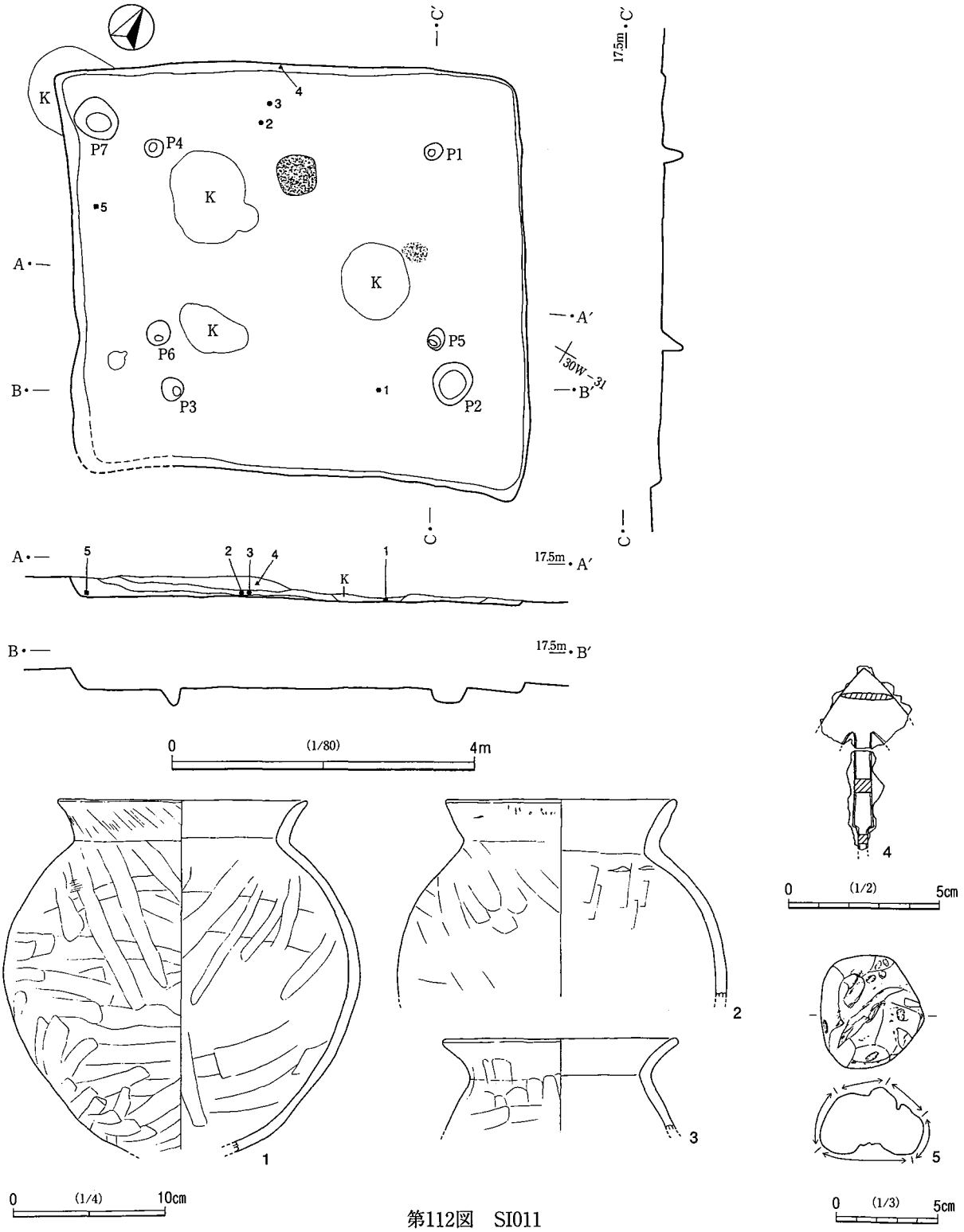
SI012（第113・114図、図版11・43・51・54）

調査区の北東寄り、30W－92～31W－14グリッドに跨って位置し、SI011の南約30mの距離にある。平面形は長軸をほぼ南北方向にとる隅丸長方形で、東辺がやや歪む。規模は南北8.63m、東西6.94m、確認面からの深さは20cm～32cmである。床面はやや起伏があり、踏み締めなどによる硬化面は観察されていない。住居中央と北辺側の二か所に地床炉が設けられており、北辺側は一部攪乱を受けている。いずれも10cm前後の浅い掘り込みである。主柱穴は中央部に正方形に配置されるP1～P4で、長径32cm～37cm、深さ57cm～72cmである。P6～P12は補助柱穴であろう。北東隅のP5は貯蔵穴で、径62cm、深さ26cmである。また、南辺中央に接するP13・14は、位置的に見て入り口施設に関連する柱穴と思われる。その他、東辺側と南辺側に幅10cm～20cm内外の細く浅い溝が存在する。間仕切り施設であろうか。

北辺～西辺の壁に沿って炭化材や焼土が検出され、覆土下層にロームを多く含む層と焼土を含む層、上層に砂混じりの層が堆積している。遺物の多くは下層の上面ぐらいの高さで出土しているものが多く、中でも南西隅では、甕（7）～（9）が床面から15cm～20cmの高さで壁に沿って列状に出土している。遺物の出土状況や覆土の状況から、住居廃絶に際し焼却や埋め戻し、土器の廃棄等を行った可能性が考えられる。

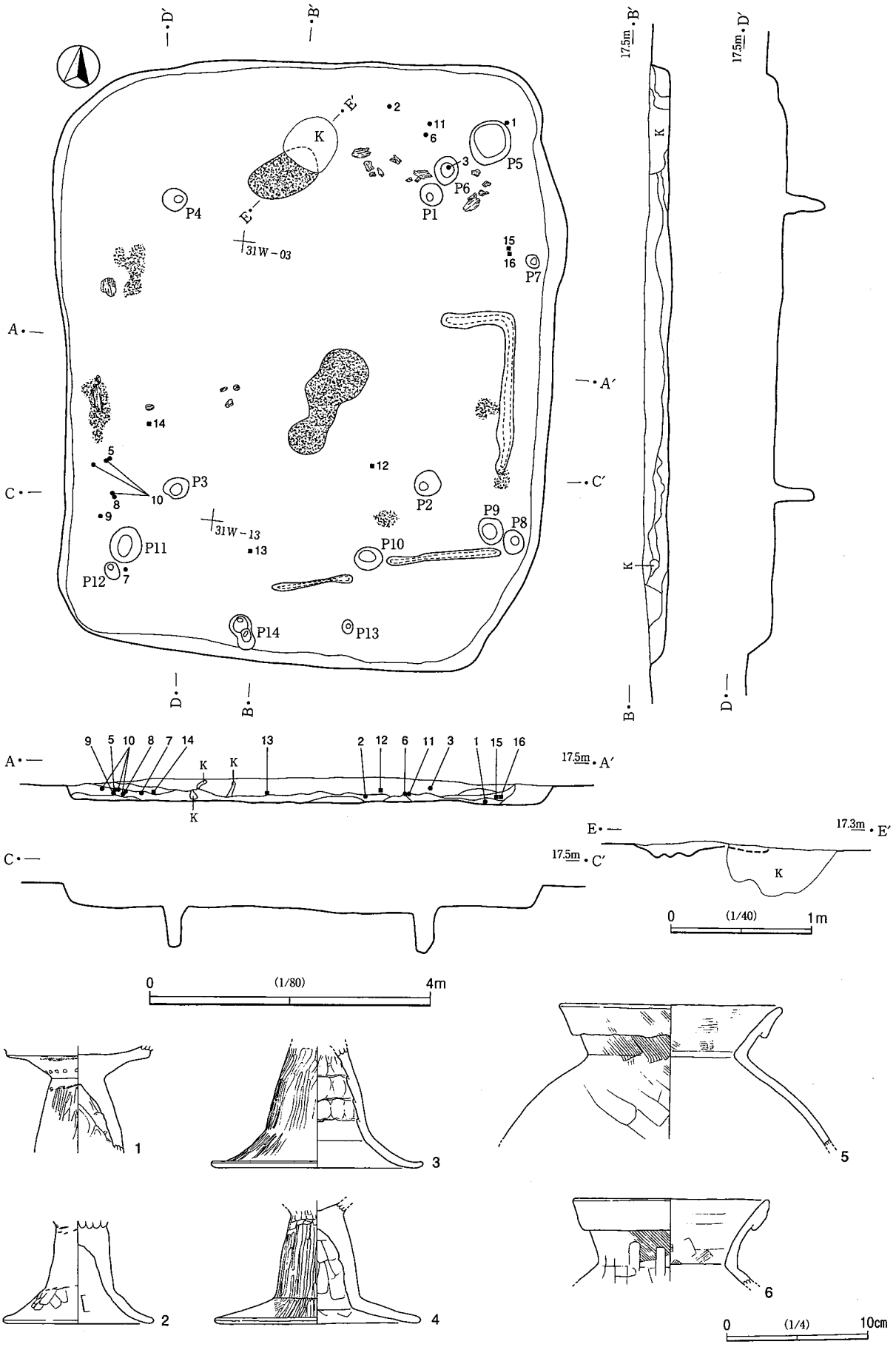
出土遺物

1～4は高杯の脚部である。1は杯底が有段となる形態で、脚柱部がやや膨む。杯底外面にハケ調整、脚柱部はミガキが施される。2は円筒状の脚柱部から八字状に裾が開く。3は膨らみのある円錐状の脚で、

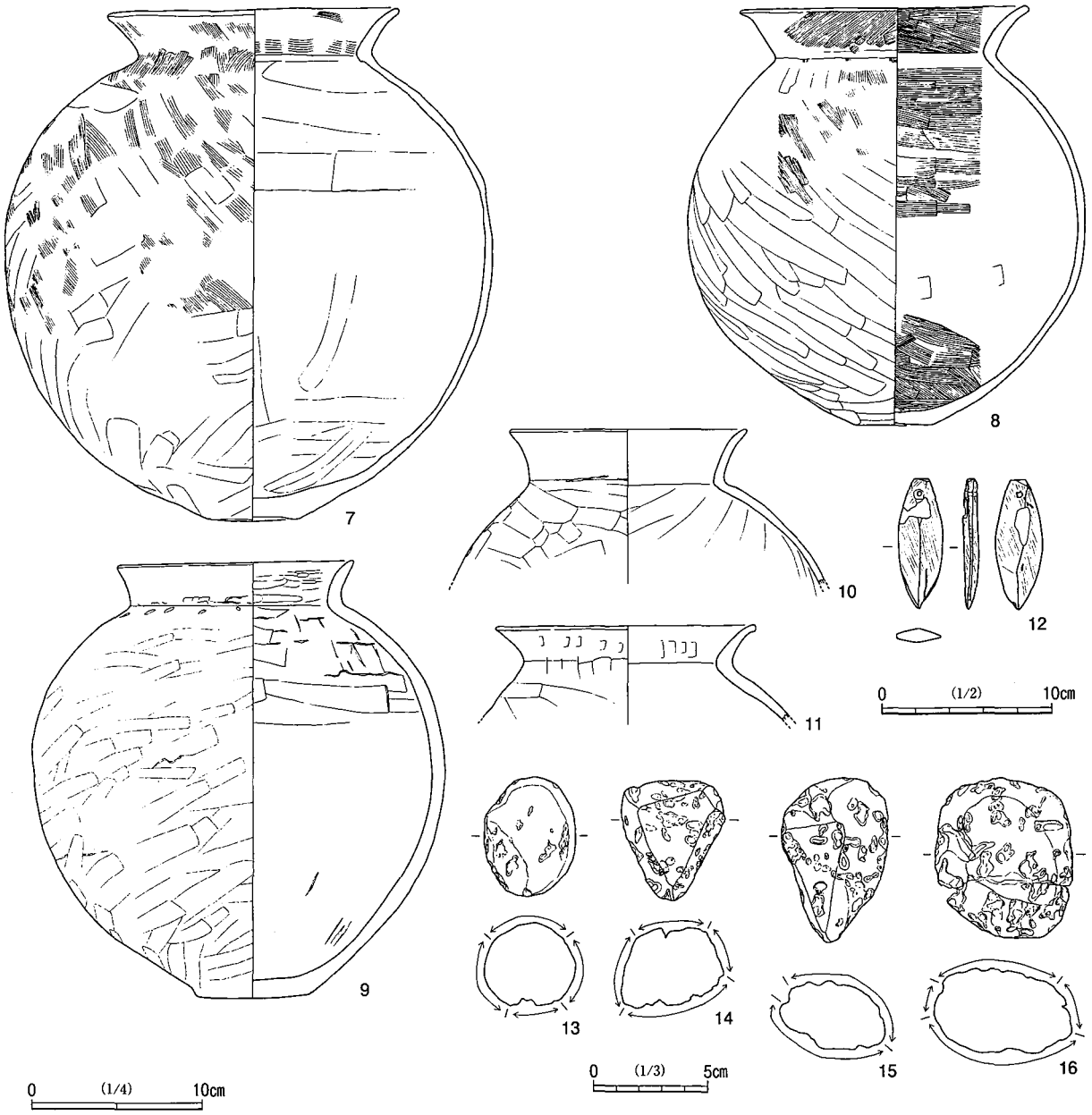


第112図　SI011

外面はミガキが施される。４はやや膨らみのある円筒状で、裾部が屈折して扁平化している。外面にミガキが施される。５・６は複合口縁の壷で、両方とも胴部の大半を欠く。５は口縁下部から頸部にハケ調整を残すが、６ではハケ後ナデ調整である。７～11は甕である。このうち７～９は口縁部や胴部の一部を欠くが大型の甕である。それぞれ口縁の形が細かな部分で異なるが、基本的には球形の胴部に頸部から口縁部がく字状に外反する形態である。器面の調整は様々で、外面をハケ後ヘラナデする７・８と全体を丁寧にヘラナデする９がある。なお、７・８の胴部外面の下位から中位にかけて煤が多量に付着している。



第113図　SI012（1）

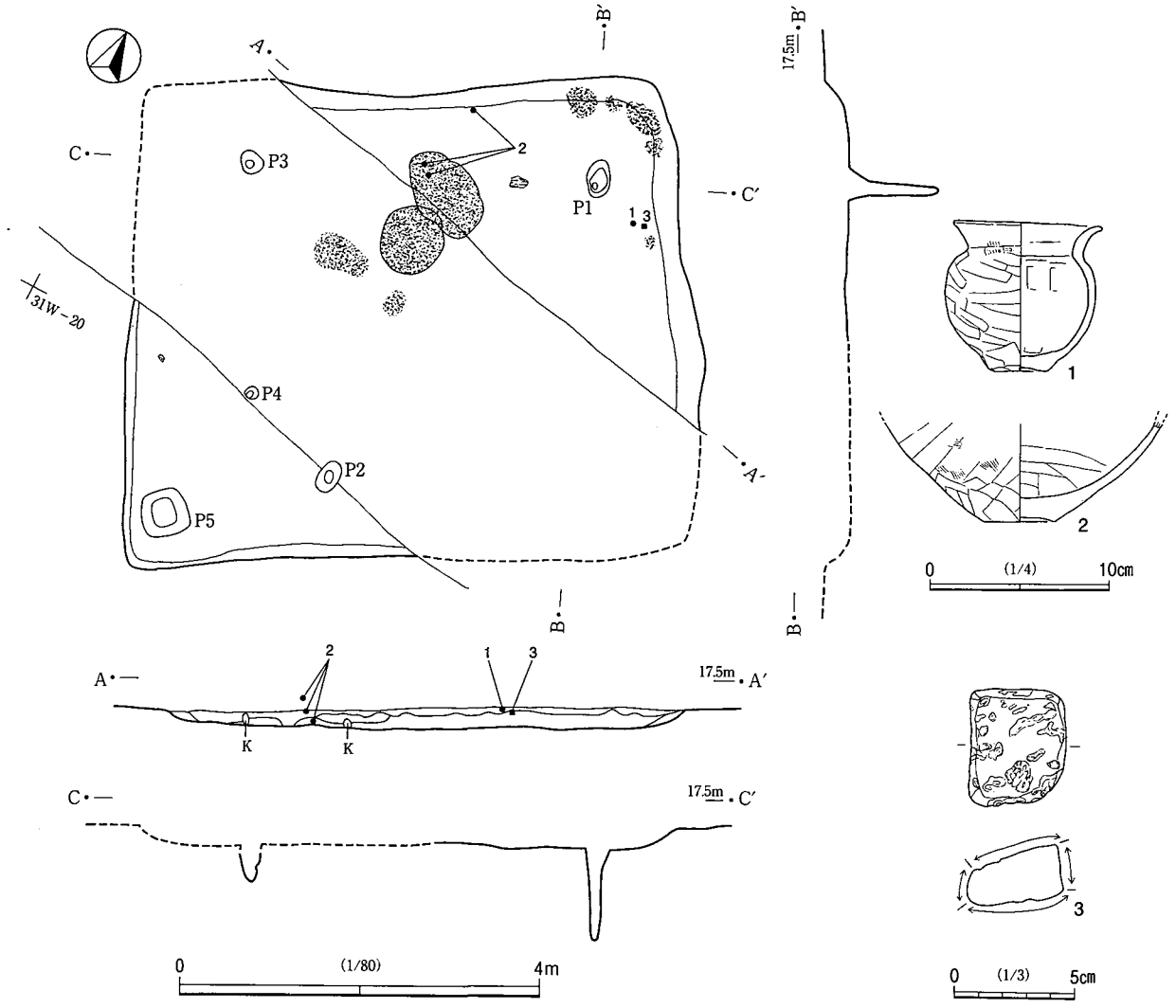


第114図　SI012（２）

10・11は胴部以下の大半を欠く。調整はヘラナデのみとなる。12は滑石製の剣形品。鏑を表す稜が明瞭に造り出され、良く研磨されている。13～16は軽石。周縁全体に擦痕が認められる。

SI013（第115図、図版11・43・54）

調査区の中央東寄り、31W－00～31W－21グリッドに跨って位置し、SI012から西約３ｍの距離にある。住居跡の上に北西から南東方向に斜めに横切る古道があったため、これにかかる部分が削られて遺存が悪い。残存部分から計測した住居の規模及び平面形は、東西5.98m、南北4.38mの長方形になる。確認面から床面までの深さは５cm～19cmで、特に硬化した面は観察されていない。炉は中央から北寄りに円形の地床炉が設けられている。古道下で検出したため、焼けて赤化した部分が遺存していたに過ぎない。柱穴は４か所で検出されているがかろうじて残存したものもあり、規模に大きな差が出ている。位置からみてP1～P3が主柱穴であろう。P1は長径41cmで斜めに掘り込まれ、最深部での深さが１ｍと他の住居に比べ



第115図　SI013

ても深い柱穴である。南西隅のP5は位置から見て貯蔵穴と思われる。52cm×50cmの方形で、深さは11cmである。この他、床面上では炉の北側、北東隅及び南西隅に焼土・炭化材の塊が検出されている。

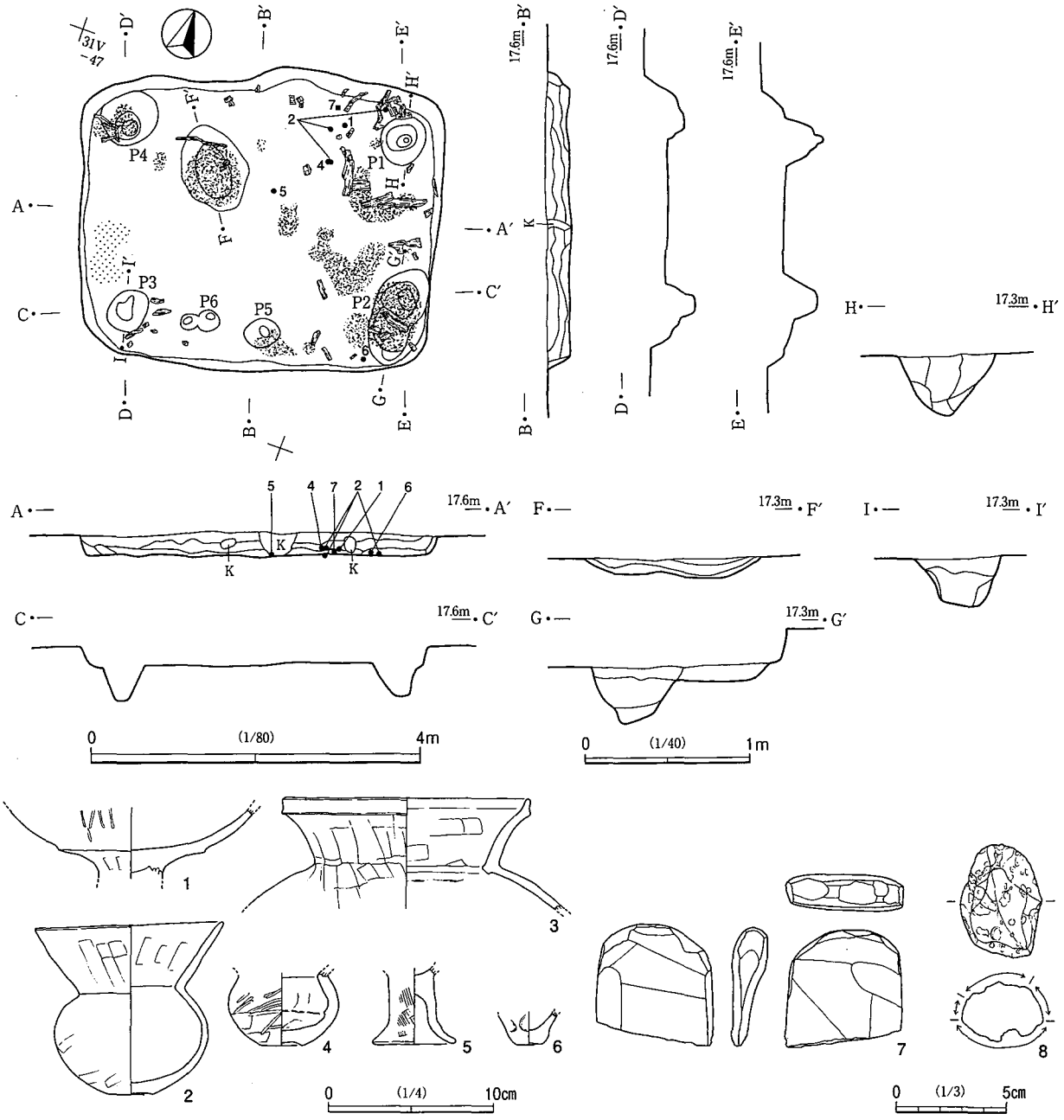
遺物は炉から北側、焼土が堆積する付近にまとまりがあるが、量的には少ない。

出土遺物

1はほぼ完形の小型壷で、口縁部が緩やかに反る。胴部外面はヘラナデ調整である。内面が二次的な被熱により剥落している。2は甕の胴部下半で、底面は小径で上げ底になっている。内外面共にヘラナデ調整である。3は軽石で、周縁全体に擦痕が観察できる。

SI014（第116図、図版12・43・55）

調査区の中央東寄り、31V－47・48グリッドに位置し、SI013から南西に約12mの距離にある。平面形は東西辺が長い隅丸長方形で、規模は住居跡の中軸線上で東西4.37m、南北3.54mで、古墳時代の住居群の中では最も小型である。確認面からの深さは21cm～27cmで、床面全面に約5cmほどの貼床が認められた。炉は中央から少し北西に偏って、楕円形の地床炉が設けられている。長軸長1.09m、深さ10cmである。主柱穴は住居の四隅に位置するP1～P4で、径54cm～70cm、深さ18cm～50cmである。このうちP2、P3の覆土上層には焼土が混入している。炉の反対側、南壁付近のP5、P6は入り口施設に伴う柱穴と思われる。二

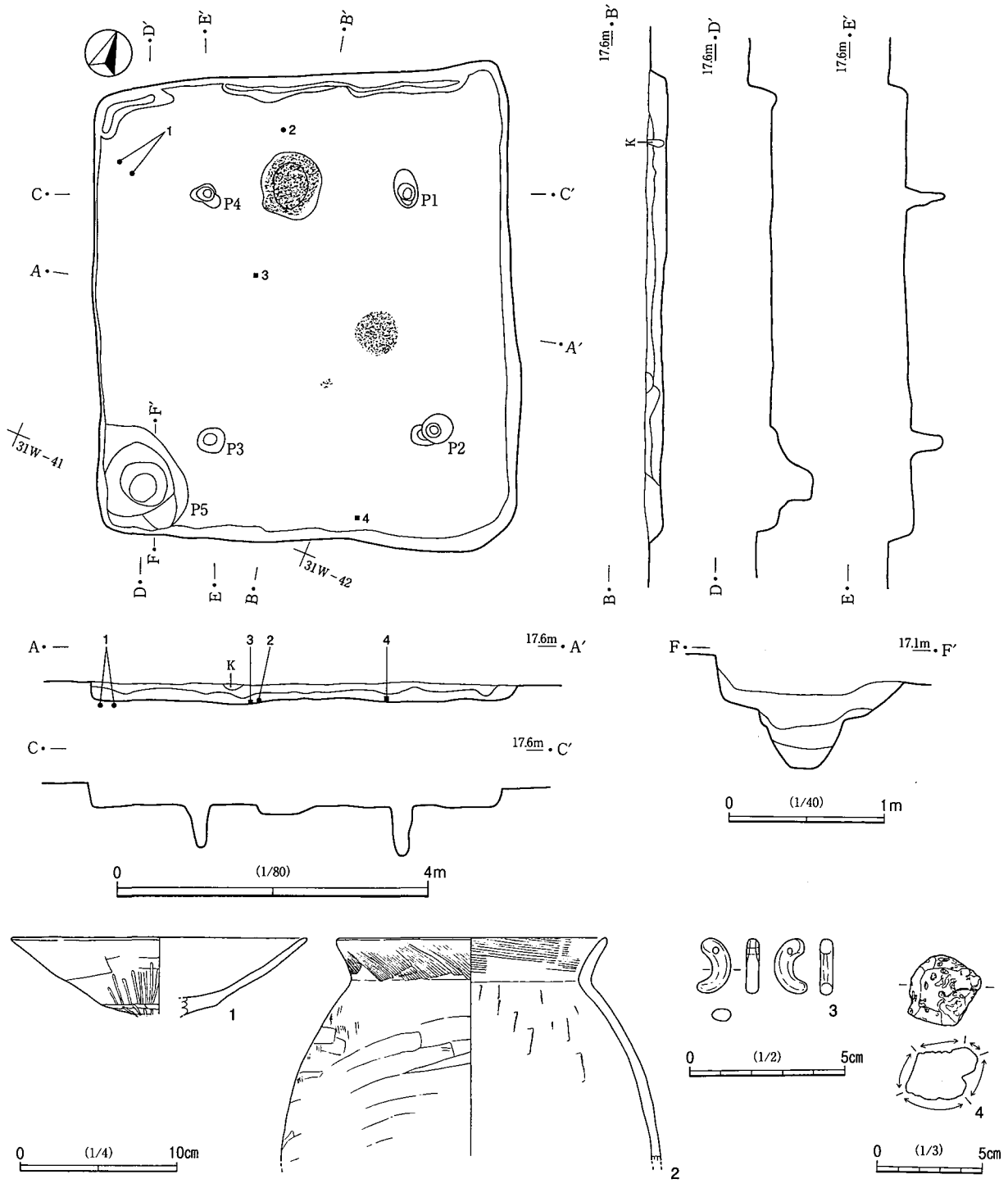


第116図　SI014

連に掘り込まれたP6は貼床下で検出されていることから、住居構築当初にP6が設けられ、その後新たにP5が設けられたと思われる。P3に近い西壁寄りの床面には、灰白色粘土とハードローム塊が約10cmの厚さで堆積していた。付近から採取されたものであろうが用途はわからない。また、壁際、特に中央から東壁側には炭化材と焼土塊が多く出土している他、覆土下層全体にわたって焼土粒や炭化粒が多く混入している。焼失住居ではあるが、住居廃絶に際して焼却や埋め戻しなど一連の作業が行われたと思われる。遺物は土器が主体で、量は少ない。

出土遺物

1は高杯の杯底部で、下端に稜を有し、体部が内湾気味である。脚との接合部には膨がある。2・4は小型壷である。2は口縁の一部を欠く球形の胴部から口縁部が直線的に開く。二次的な被熱を受けており、



第117図　SI015

特に内面の剥落が著しい。４は底部から胴部の破片で、やや扁平な球形となる。外面の胴部上位にミガキが施される。底部は上げ底である。３は壷の口縁から頸部である。口唇部内面が上方に摘み上げられて、複合口縁状となる。内面が二次的な被熱により剥落する。５はミニチュアの高杯脚部。６は手捏ね土器の底部である。７は凝灰岩製の砥石で、良く使い込まれて扁平になっている。

SI015（第117図、図版12・52）

調査区の中央東寄り、31W－20～41グリッドに跨って位置し、SI013から南東に約２ｍの至近距離にあ

る。平面形は南北に長く、やや隅が丸みを帯びる長方形である。規模は住居跡の中軸線上で南北6.0m、東西5.37mで、確認面からの深さは18cm～35cmである。床面はほぼ平坦で、踏み締めなどによる硬化面は特に観察されていない。炉は中央から北に偏った位置に、長径86cmの楕円形の地床炉が設けられている。深さは10cm前後の皿状に掘り込まれ、全面に焼土が堆積していた。主柱穴は住居の対角線上に位置するP1～P4で、径34cm～51cm、深さ44cm～66cmである。貯蔵穴は南西隅に接するP5で、開口部の長径が1.85m、中央部の径が65cmと広く二段階に掘り込まれている。底面は平で、深さ59cmである。その他、壁溝が北辺側だけに認められる。

遺物は少なく、床面上では炉と北壁の間で甕（2）が細かく砕けた状態で出土し、中央付近からは勾玉、北西隅付近で高杯（1）がそれぞれ出土した。

出土遺物

1は高杯の杯部。底部下端に稜を有し、口縁部が直線的に開く。内面は剥落が著しい。2は甕の胴部から口縁部で、胴部の張りは小さく、頸部から口縁部へ緩やかに反る。口縁部はハケ後ナデ調整である。3は滑石製の勾玉で、全体が丁寧に磨かれている。

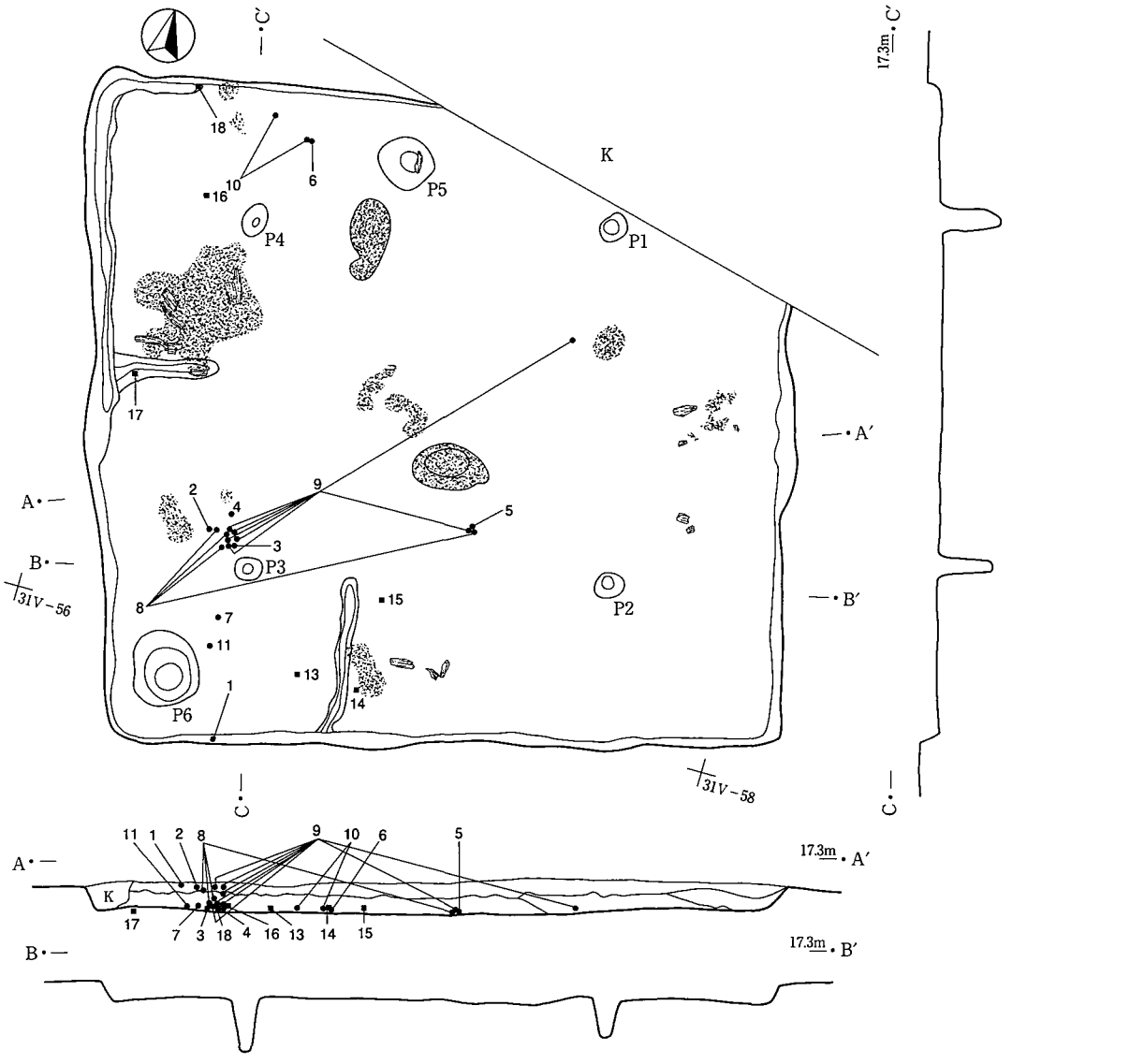
SI016（第118・119図、図版13・43・51・54）

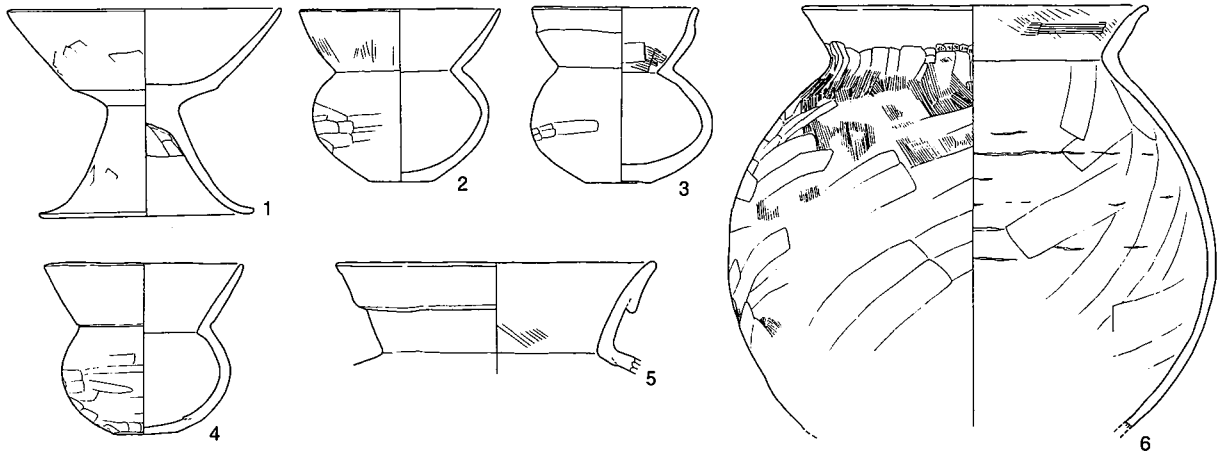
調査区の中央東寄り、31V－35～57グリッドに跨って位置し、SI015から東に約12mの距離にある。平面形は、北東側を斜めに延びる古道によって削平されるが、隅が丸みを帯びる方形となろう。規模は住居跡の中軸線上で南北7.28m、東西7.98m、東西辺がやや長い。確認面からの深さは14cm～23cmである。床面はほぼ平坦で、踏み締めなどによる硬化面は特に観察されていない。炉は住居中央と北辺寄りの2か所に地床炉が設けられている。深さ10cm前後の皿状に掘り窪められ、底面が良く焼けて赤化していた。主柱穴は住居の対角線上に位置するP1～P4で、径30cm～40cm、深さ43cm～74cmである。貯蔵穴は北辺寄りのP5と南西隅のP6の2か所に設けられている。P5の規模は61cm×55cm、深さ38cmで覆土中から甕の胴部片が出土している。また覆土上層には焼土塊が堆積する。P6の規模は86cm×78cm、深さ55cmである。壁溝は西壁中央付近から北西隅に沿う。西壁と南壁から幅20cm前後の間仕切り溝が1条ずつ住居中央に向かって延びている。床面上には焼土や炭化材が出土しているが、特に西壁から延びる間仕切り溝付近及び東壁側、南壁側にまとまりがある。

遺物は土器の他、滑石製の剣形品未成品・臼玉未成品・蛇紋岩の石核など石製模造品関連の遺物が出土している。P3脇の床面で出土した甕（8）・（9）は覆土上層出土の破片とも接合し、その範囲も広いことから、住居の埋没過程で廃棄している状況を示している。

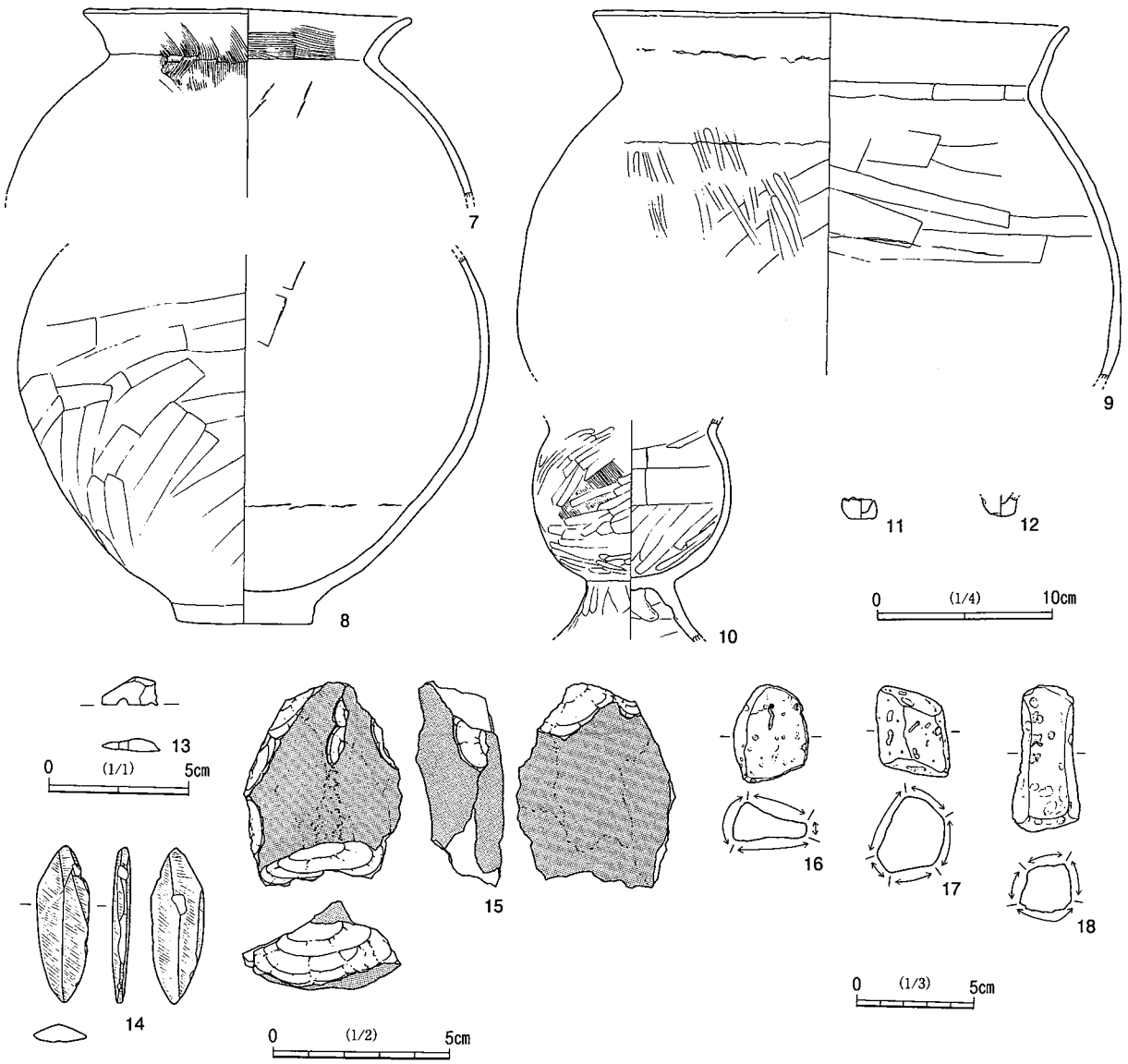
出土遺物

1は高杯で杯底部に稜を有し、接合部が太く低い脚柱部から裾部がラッパ状に緩やかに開く。杯部と脚裾に細かいハケ後ナデ調整が施される。2～4は小型壷である。2は胴部が横に張り口縁が内湾気味に開く。口縁部のハケ調整はナデ消されている。3は横に張る胴部に最大径を持ち、口縁部が屈折して開く。4は球形の胴部から口縁が直線的に開く。頸部の括れにわずかに段を付けて稜を造り出している。5は壷の口縁部。幅広の複合口縁で内面にわずかにハケ目を残す。6～9は甕。6は胴が大きく球形に張る。外面頸部付近は顕著なハケ調整だが、胴部はハケ後ヘラナデ調整となる。7は胴部上半から頸部付近にハケ目が残る。8は胴部から底部が残る。球形の胴部から底部が突出する。全体にヘラナデ調整である。9は大型の甕で、胴部外面はヘラナデ調整及び部分的にミガキが施される。内面に輪積み痕が数段認められる。





第118図　SI016（1）



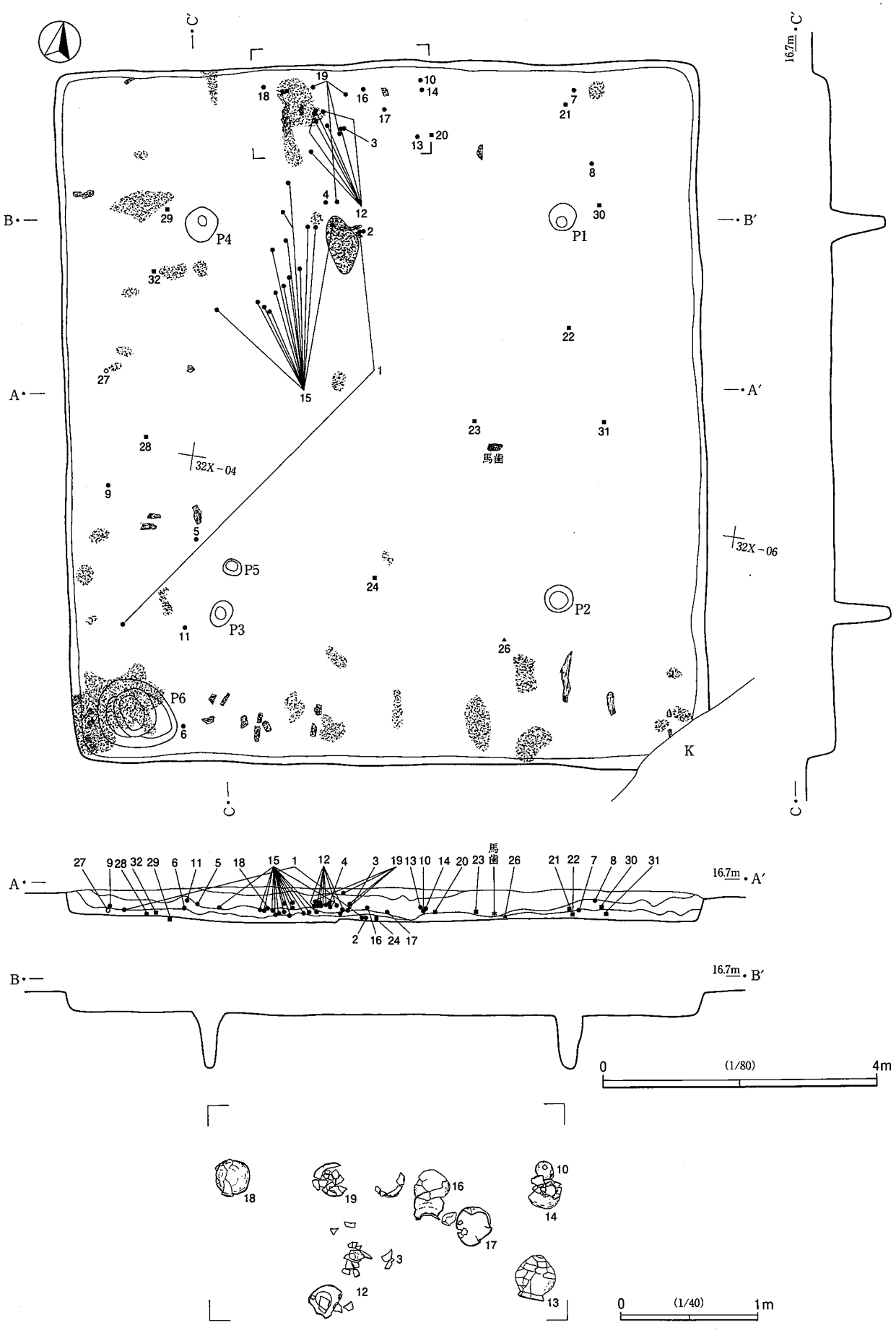
第119図　SI016（2）

10は小型の台付甕で、内外面とも丁寧にナデ調整されている。11・12はミニチュア土器。13は臼玉の欠損品で、穿孔途中に剥離したものである。14は滑石製の剣形品の未成品。図では裏面になるが、穿孔途中で孔の周囲が剥離している。穿孔前に表裏とも粗い研磨をして、鏑まで研ぎ出しており、加工工程の一部が理解できる。15は蛇紋岩の石核。表裏が被熱のため珪化し、油脂様の光沢を帯びている。側縁の剥離面は珪化が進んでいないため、素材の剥離に際して熱を加えた可能性がある。16～18は軽石で、周縁全体に擦った痕が認められる。研磨の度合いにより方柱状や賽子状に変化している。

SI017（第120～122図、図版13・43・44・51～55）

調査区の中央東寄り、31X－84～32X－15グリッドに跨って位置する大型の住居跡である。SI016から南東に約25mの距離にある。南東隅が調査区境にかかったため全体を調査できなかった。

平面形は長軸をほぼ南北方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北10.25m、東西9.45m。確認面からの深さは28cm～46cmである。床面はやや起伏があり、踏み締めなどによる硬化面は観察されていない。炉は住居中央から北辺側に偏って楕円形の地床炉が設けられているが、掘り込みはほとんど無く焼けて赤



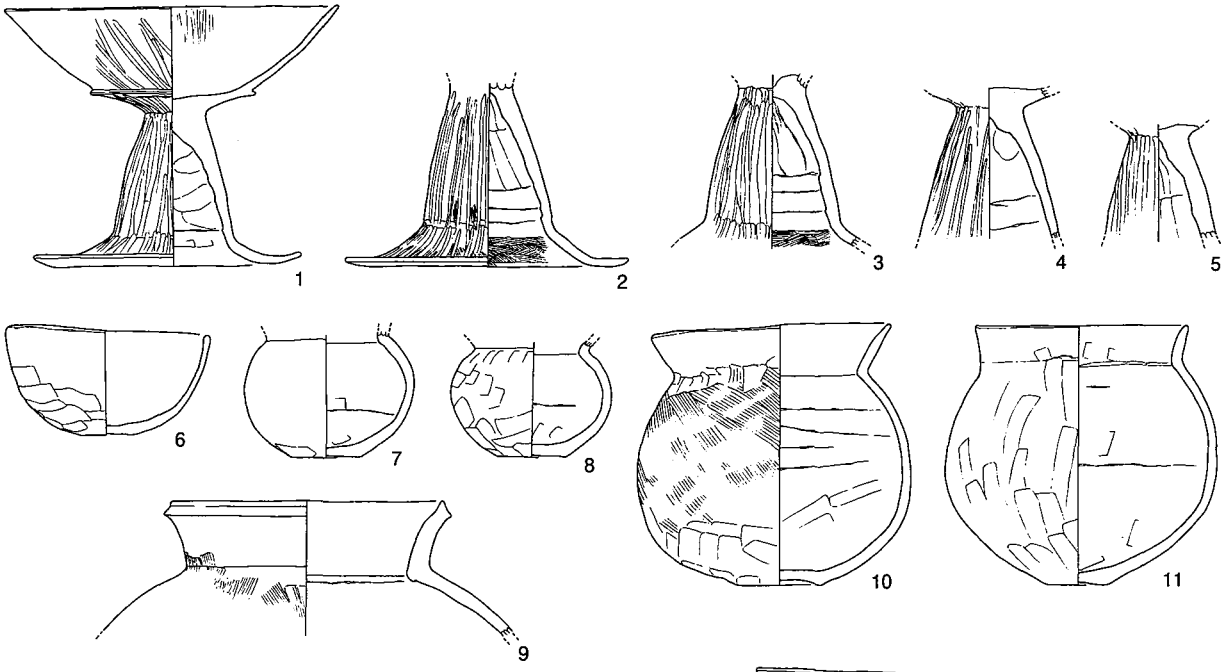
第120図　SI017（1）

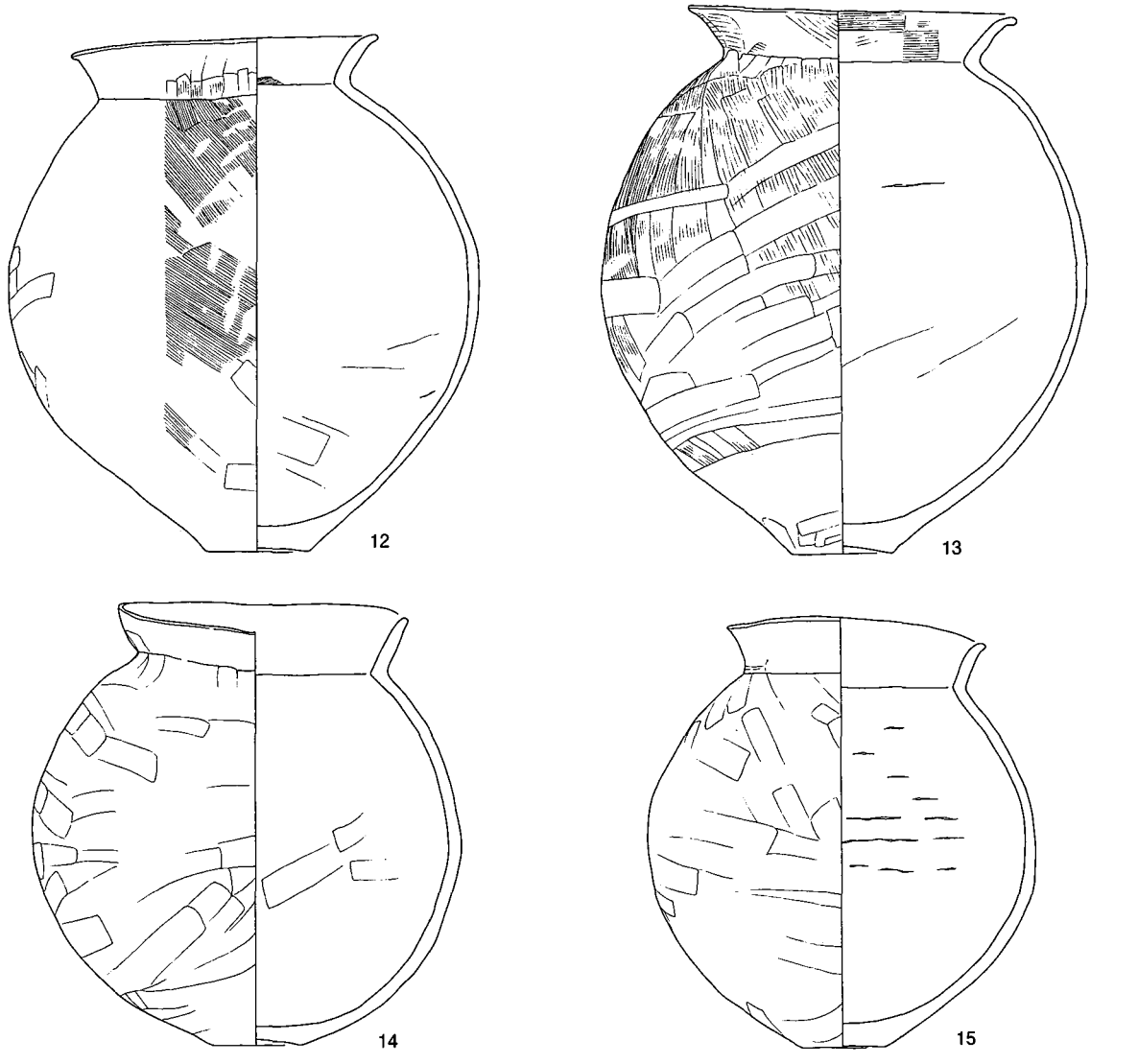
化した床面が窪んでいる程度である。主柱穴は中央部に正方形に配置されるP1～P4で、長径38cm～48cm、深さ69cm～86cmである。P3の北に隣接するP5は補助柱穴であろう。南西隅のP6は貯蔵穴で、長径1.22m、深さ35cmである。

遺物は高杯・甕などの土器類、滑石製勾玉・臼玉など石製模造品や滑石剥片・砕片が出土している。また、中央やや東寄りからはウマの歯が出土している。住居内出土遺物としては特異な例である。土器類は炉の西側と北側に多く、特に炉の北側からは甕類８個体が集中している。石製模造品・剥片類は、住居全体に分散する傾向にあるが、中央から東側、P1とP2の間に比較的まとまり、ここから30点の剥片が出土している。これらの遺物の出土レベルは床面から10cm～30cm上の覆土中層に多く、中には上層から出土した遺物もある。共に検出された炭化材や焼土塊の堆積状況も同じ様相を示し、土器も高杯の杯部内面などに焼けた痕を残すものがある。また、北東側では臼玉や軽石などと共に覆土上層から下層、床面上にかけて旧石器時代第20ブロックとして掲載した石器・剥片類が出土している。住居を建てる際に貼り床として利用したローム層中にあるいは周辺のローム層中に存在したのか判断が難しいが、いずれにしても石器群に接合資料があり、まとまりを有することからこの付近に石器群が存在し、人為的に住居内に混入した可能性が高い。これら遺物の出土状況や焼土、炭化材の堆積状況は、住居廃絶に際して不要材の焼却、埋め戻しや廃棄行為を示唆する現象だと考えられる。なお、住居内に工作用ピットのような施設はないが、滑石製品や剥片類が出土していることから石製模造品の製作に関わる住居と考えられる。

出土遺物

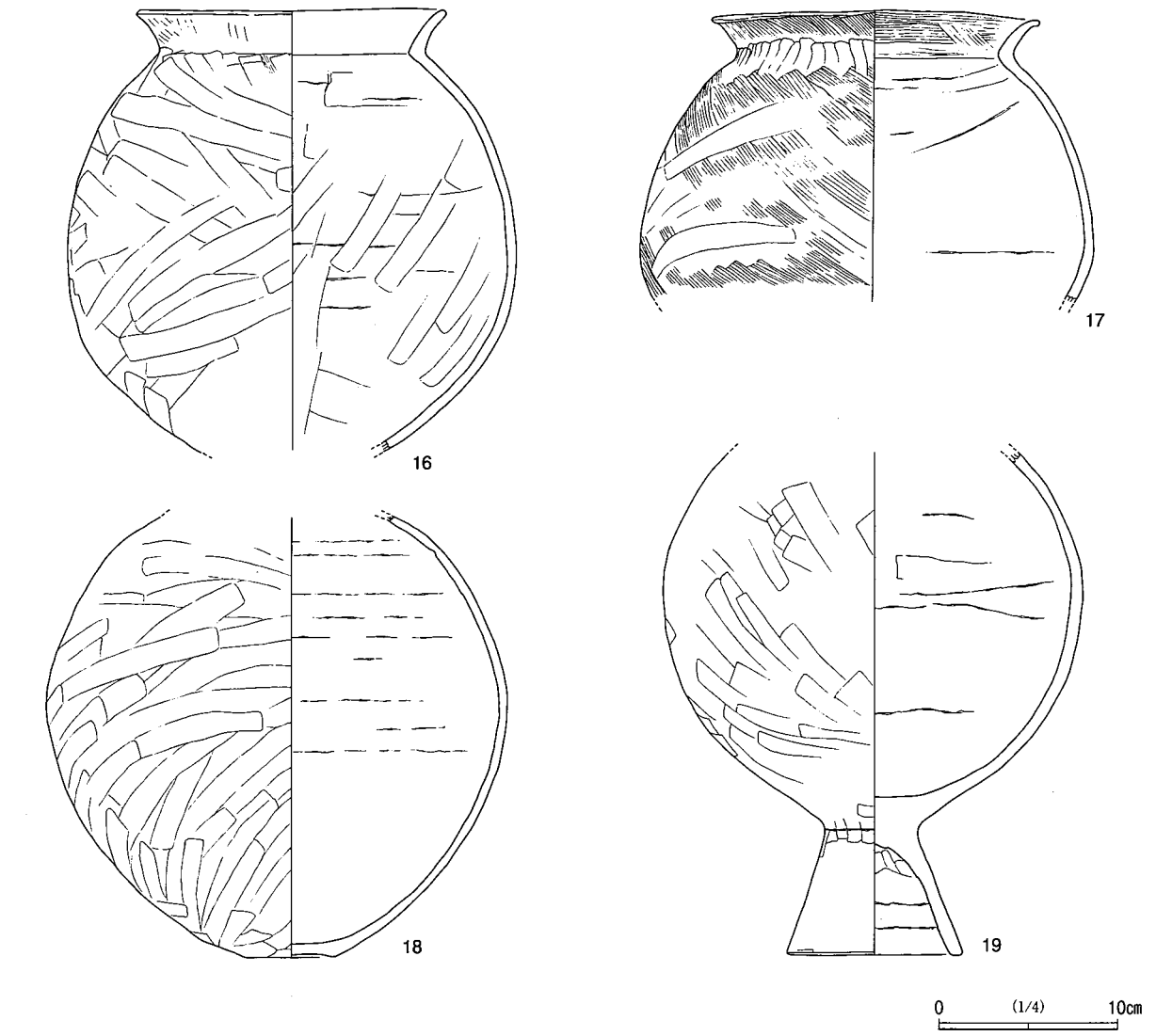
１は高杯で、杯口縁部の一部と裾部の大部分が欠損している。杯部は下端に突帯状の段を有し、口縁部が大きく開く。杯部と脚部の接合部が細く、円錐状で膨らみをもつ脚柱部から裾が低い位置で強く屈折して開き、端が反る。調整は外面にミガキが施される。杯内面は焼けて剥落が著しい。２～５は高杯の脚部で、形態的には１と同様である。器面調整はヘラナデを基本にハケやミガキを加えるなど多少の差が認められる。なお２・３・５に焼けた痕跡が観察できる。６は完形の椀、上げ底の小さな底部から体部が内湾気味に立ち上がる。外面はヘラナデ調整、全体に焼けて器面が剥落しており特に内面が著しい。７・８は小型壷の胴部で共に口縁部を欠く。球形の胴部をヘラナデ調整で仕上げている。底部は上げ底である。９は壷の口縁から胴部の破片で、口唇部が上方に摘み上げられている。内外面とも焼けて器面の剥落が著しい。10～18は甕である。10は小型で、胴がやや歪み、下膨れ状の器形である。外面調整は胴部上半に粗いハケ後ナデ、下半にナデ調整を施される。また、全体の半分ほどに黒斑が広がっている。11も小型で、口頸部が緩く外傾する。胴部外面の調整は全体に縦方向のヘラナデ（ケズリ）である。底面は小さく、縁がきっちりとしている。12・13はほぼ同じ大きさの甕で、胴部調整もハケ後ナデ・ヘラナデという共通した調整を施している。13の内面は、底部から胴下半部にかけて器面の剥落が著しい。胴部下半を欠く17も基本的に同じ調整を施し、口縁端が強く反る。これに対して14～18は全体にヘラケズリ・ヘラナデ調整を基本とする一群で、14・15の口縁部に歪みがあるものの前者に比べ口頸部の外反が緩やかである。胴部の形状は14・15が球形、16・17が胴部径に比べ器高が高い分、胴長になっている。19は口頸部を欠く台付甕で、これも比較的胴長である。胴部外面をヘラケズリ・ナデで仕上げている。20・21は滑石製の臼玉で、大きさ・断面形に違いがある。22はメノウ製の臼玉。摩滅して形状がはっきりしていないが他の臼玉に比べ、断面の形状や石材が異なる点で小玉と呼ぶべきかもしれない。23は穿孔の痕が残る滑石剥片。大きさと形状から有孔円板の未成品とした。24は滑石製の勾玉で、周縁が丁寧に磨かれている。両面から穿孔されて



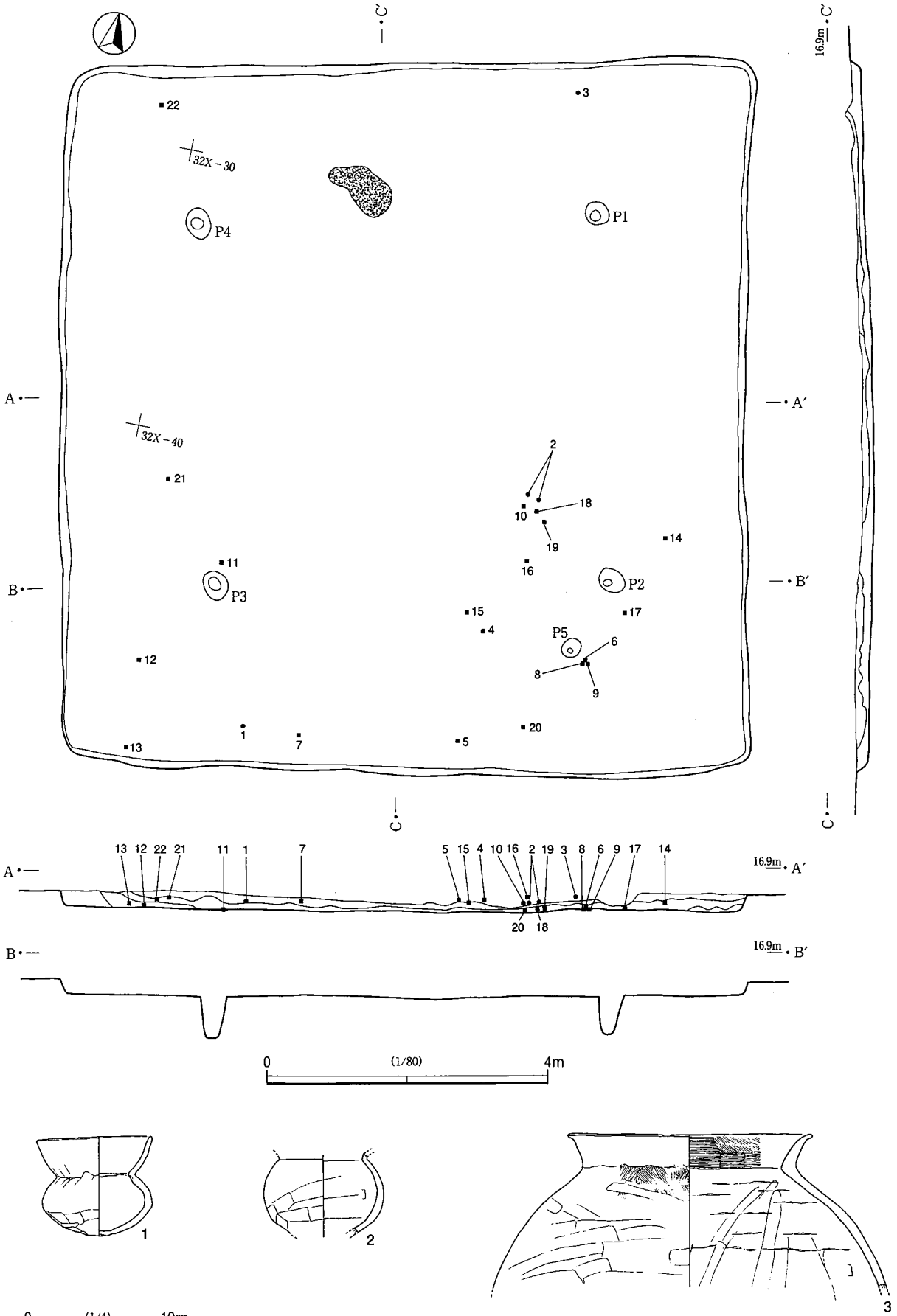


第121図　SI017（2）

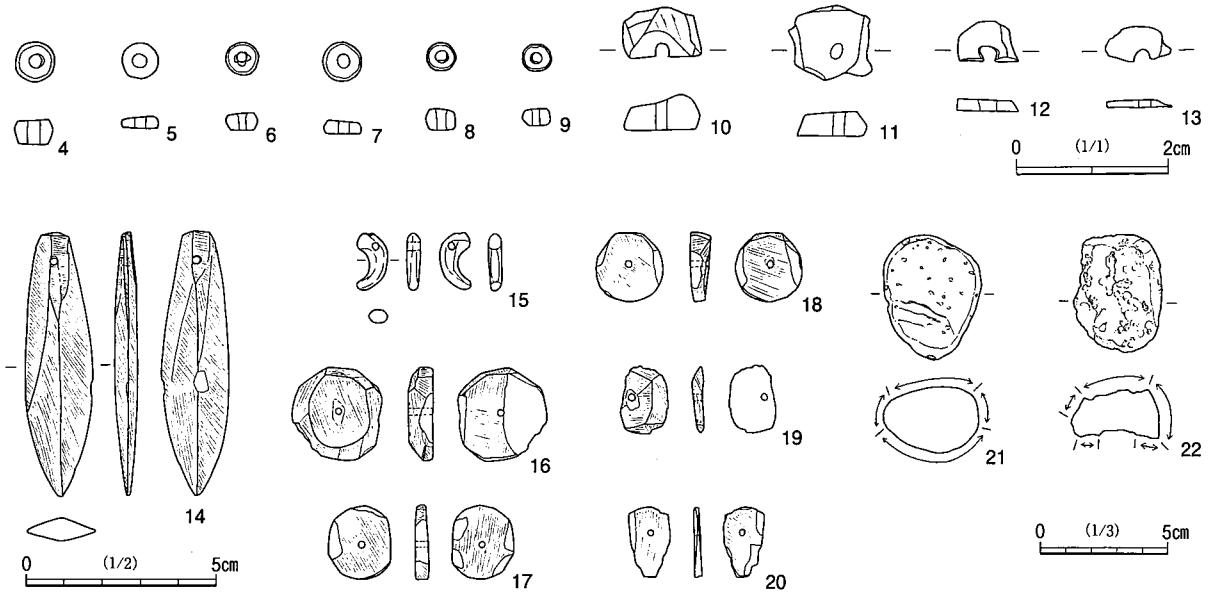
0　(1/4)　10cm



第122図　SI017（3）



第123図　SI018（1）



第124図　SI018（２）

いる。滑石の剥片類は49点出土しており、うち１点は板状の両面に研磨痕が認められる。25は用途不明の鉄製品で、扁平な板状で端部が丸く収まっている。鉄鎌の様な刃部は認められない。現存長33.5㎜・断面部位での幅は27.0㎜・厚さ1.2㎜である。26は鉄製の直刃鎌の刃部である。現存長は73㎜・最大幅24.6㎜・背幅2.5㎜である。27は土玉。28は砥石。扁平な板状で、両面と側面の一部まで砥面として利用している。29～32は軽石で、擦痕が全面に及んでいる。

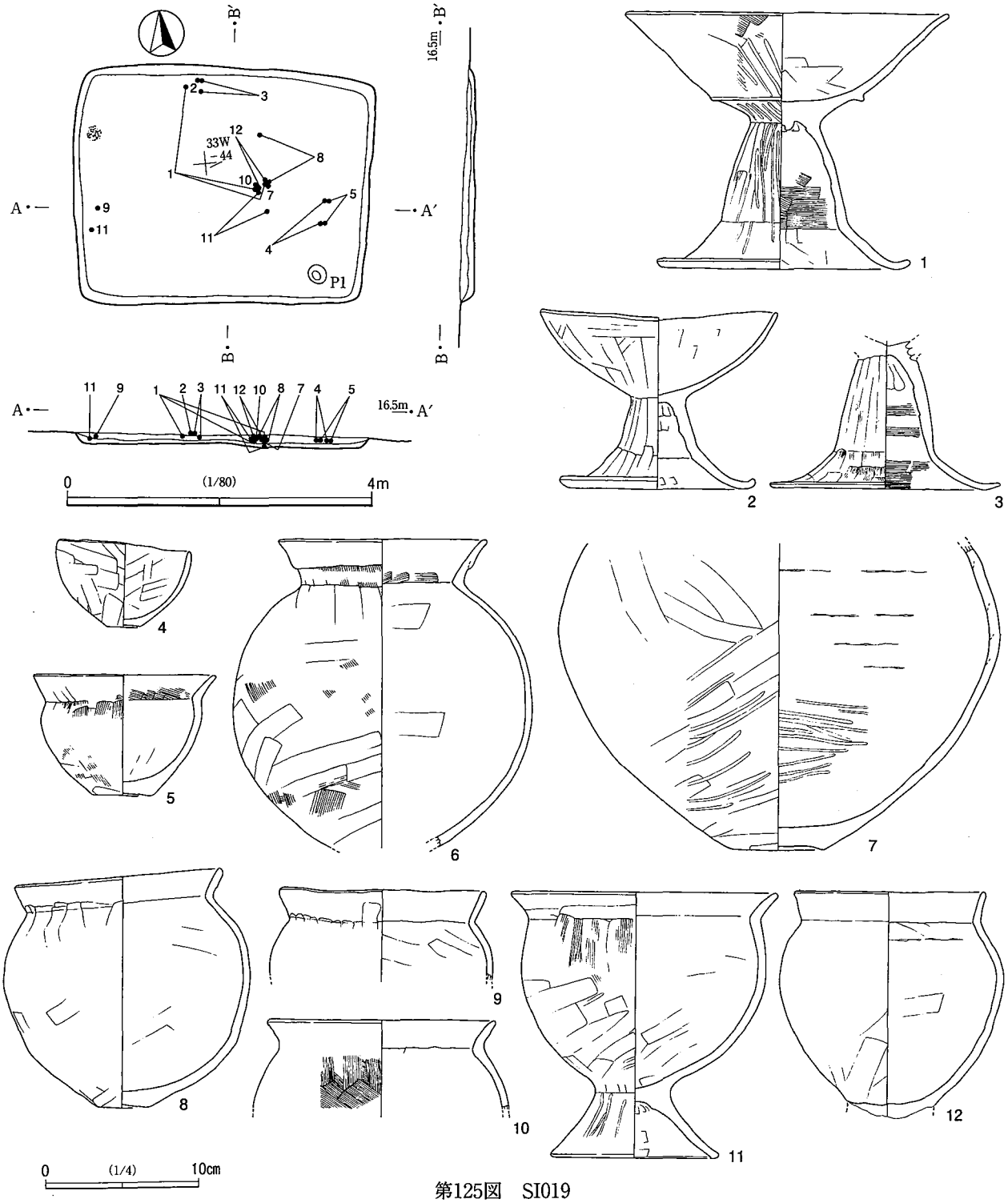
SI018（第123・124図、図版14・44・51・52・54）

調査区の中央東寄り、32W－29～32X－50グリッドに跨って位置する大型の住居跡である。SI017から南西に約７ｍの距離にある。平面形は長軸を南北方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北10.14m、東西9.72m。確認面からの深さは12cm～27cmである。床面はほぼ平坦で、踏み締めなどによる硬化面は観察されていない。炉は住居中央から北辺側に偏って不整形の地床炉が設けられているが、掘り込みは無く、焼けて赤化している程度である。主柱穴は中央部に正方形に配置されるP1～P4で、長径32cm～52cm、深さ58cm～75cmである。P2の南にあるP5は補助柱穴であろう。長径39cm・深さ25cmである。貯蔵穴、壁溝は無い。

遺物は甕・小型壷の他、滑石製勾玉・剣形品・臼玉など石製模造品や滑石剥片が出土している。その分布をみると、住居の北西側に土器破片が多く、石製模造品類は南側、特に南東側のP2・P5周辺に比較的多く、滑石の剥片が38点出土している。石製模造品の製作に関わる住居と考えられる。

出土遺物

１・２は小型壷である。１は胴部が扁平に屈折し、口頸部が内湾気味である。底部は中央が小さく僅かに窪む。２は球形の胴部だけ残る。共にヘラナデ調整である。３は甕の口頸部から胴部上半。これも残っている部位が少ない。頸部外面にハケ、胴部はヘラナデ調整である。４～20は石製模造品及びその未成品である。４～９は臼玉で、扁平な成品と側面に稜のある成品がある。10～13は臼玉未成品だが、素材の両面は研磨されており、研磨→穿孔→整形（仕上げ）という工程が理解できる。10・12・13は穿孔中、11は穿孔後の整形中に欠損したものである。14は剣形品で、両面に鎬が研ぎ出され精緻な仕上がりである。15



第125図　SI019

は勾玉。小型で丁寧な造りである。16、19は紡錘車形の未成品である。16は側面が面取りされて台形を呈している。孔は片面から穿たれている。19は約1/2を欠くが、表面に面取りされた弱い稜が残る。裏面が剥離している。17・18は有孔円板、20はその未成品である。21・22は軽石で、擦痕が全面に及んでいる。

SI019（第125図、図版14・44）

調査区の中央東寄り、33W－33～33W－44グリッドに跨って位置し、SI018から東に約５ｍの距離にある。平面形は長軸を東西方向にとる長方形で、規模は中軸線上で南北3.12m、東西3.90mである。古墳時

代の住居群の中で最も小型である。確認面からの深さは７cm～22cmである。床面は起伏があり、中央から南東側がやや深くなっている。踏み締めなどによる硬化面は観察されていない。柱穴は南東隅に１か所だけ検出した。径24cm・深さ13cmである。炉や壁溝などの施設は無い。

遺物は高杯・鉢・壷・甕・台付甕があり、器種がそろっている。西壁際で１個体が出土した台付甕を除くと、北壁際及び中央から東側に分散する傾向にあり、床面から10cmほど上で出土しているものが多い。

出土遺物

１～３は高杯である。１は杯部の約1/2を欠く。杯部下端の稜は強調されて僅かに突出し、体部から口縁部が直線的に開く。脚柱部は太く膨らみのある円錐状で、高い位置から裾部が開いて端部が反る。外面に疎らなミガキが施される。２の杯部は体部から内湾気味に立ち上がり、脚は１に比べ脚高が低く、接合部から徐々に開いて裾部が反る。３の脚部は細身だが、ほぼ１と同じ形態である。裾部内外面にハケ目が残る。４は小型の鉢で、口唇部が平たく面取りされる。口径に比べ器高が高く（深い）、小さな平底をもつ。５は口縁が短く屈折する鉢。口頸部内外面と体部外面がハケ後ナデ仕上げである。６は複合口縁の壷で、底部と胴部～口縁部の約1／2を欠く。外面頸部及び胴部はハケ後ヘラナデ調整である。７は底部から胴部の破片で、器形と調整から壷と判断した。内外面共にミガキが施されるが、内面上半が剥落して調整が不明瞭である。８～10は甕で、共に小型の部類である。８は全体にやや歪な造りで、口縁部下端をヘラで刮げ取る様にして頸部を整形している。底部は極めて小さい。９は口縁部から胴部の破片である。小さく外傾する口縁の端は指頭によって整形され歪んでいるが、全体に器壁が薄く堅緻な造りである。10も口縁部付近の破片で、胴部にハケ調整が施される。11・12は台付甕である。11は胴部から口縁部の大半を欠く。張りのある胴部から口縁が緩やかに傾く。調整はヘラナデを基調とするが胴部上位にハケ、中位から脚にかけて疎らだがミガキを施している。12は台部が接合部で剥がれ落ちている。胴部は張りの少ないイチジク形で、口頸部が直立気味に弱く傾く。調整は内外面共にヘラナデで仕上げている。

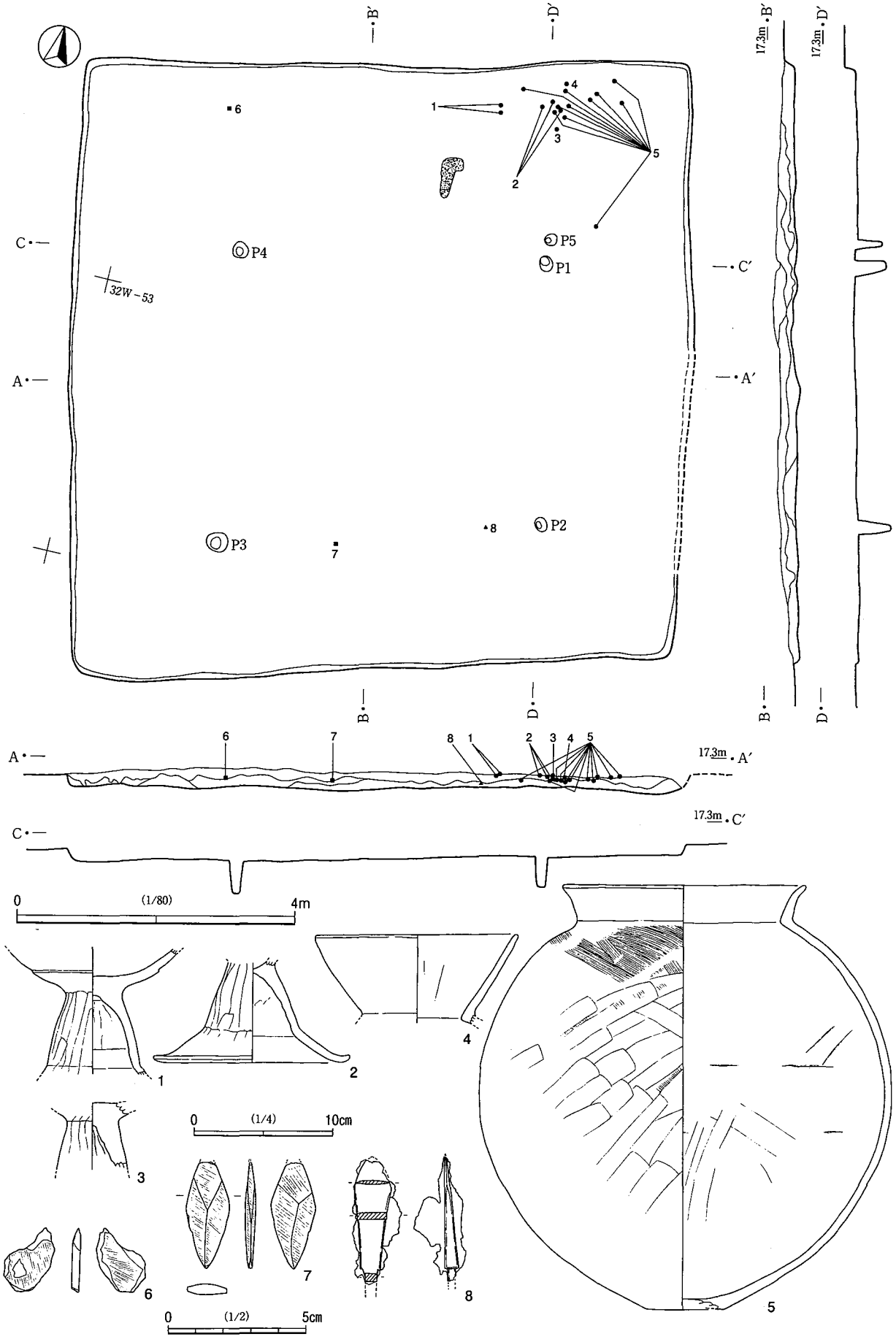
SI020（第126図、図版14・44・51・52・55）

調査区の中央東寄り、32W－42～32W－64グリッドに跨って位置する大型の住居跡で、SI018から西に約20mの距離にある。平面形は長軸を東西方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北8.72m、東西9.06mである。東壁の一部で遺りが悪く、壁面全体を検出できなかった。確認面からの深さは12cm～25cmである。床面は起伏があり、柱穴間の内側に比べ、外側から壁寄りが低くなっている。特に硬化した部分は無いが、住居内の利用の度合いが床面の高低差に現れているのであろうか。炉は北壁側に偏って不整形の地床炉が設けられているが、掘り込みは無く、焼けて赤化している程度である。主柱穴は中央部に正方形に配置されるP1～P4で、長径22cm～31cm、深さ42cm～66cmである。P1の北にあるP5は補助柱穴であろう。長径18cm・深さ36cmである。貯蔵穴、壁溝は無い。

遺物は北東隅で甕５や高杯１～３などが集中して出土するものの、全体的には分散しており、床面から浮いたものが多い。覆土は上層から順に黒褐色土・暗褐色土・ローム主体の黄褐色土が堆積するが、場所によって上層と下層の境界が著しく波状になったり、下層が盛り上がって不均一な堆積になるなど単なる自然堆積とは思えない、整合性を欠いた状況である。上層は耕作の影響もあるが、遺物の多くが下層より上で出土していることから、住居廃絶時にロームで埋め戻しを行い、遺物を廃棄した可能性が高い。

出土遺物

１～３は高杯で、杯部が完存しているものは無い。１は杯底部に稜をもち、円錐形の脚柱部は短く、僅


B'
D'
17.3m B'
17.3m D'
C
P4
P5
P1
C'
32W-53
A
A'
P3
P2
B
D
17.3m A'
17.3m C'
0 (1/80) 4m
0 (1/4) 10cm
0 (1/2) 5cm

第126図　SI020

かに膨らみがある。杯底部内面は焼けて剥落している。２は裾部が残る。脚は１より開きが大きく、裾が高い位置から屈曲して広がり、端が反る。外面調整は共通してヘラナデが施されるが、１・３の内面がいわゆる絞り目があるのに対して、２は丁寧なナデ調整で仕上げている点で異なっている。４は小型壷の口頸部で、口縁が内湾気味に大きく開く。内外面共にヘラナデ調整である。５の甕は、胴部の約1／2を欠く。胴部は丸く大きく張るが底径が小さく器高が高い分、胴長に見える。胴部上半に細かいハケ調整をした後、大半をヘラナデしている。６は滑石の板状品で、両面が良く研磨されている。大きさから有孔円板の未成品と思われる。７は剣形品の未成品。穿孔前だが鏑が綺麗に研ぎ出されている。８は鉄鏃で、鏃身は圭頭斧箭式である。現存長45.0㎜・鏃身幅12.5㎜、茎幅4.5㎜・厚さ2.8㎜である。

SI021（第127・128図、図版14・44・51～54）

調査区の中央東寄り、32W－70～33V－09グリッドに跨って位置する住居跡で、SI020から南西に約15ｍの距離にある。平面形は長軸を南北方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北8.53m、東西8.12mである。確認面からの深さは27cm～48cmで、各辺に沿って壁溝が巡る。床面はほぼ平坦で、中央からやや北側に不整形の地床炉が２か所設けられている。両方とも明瞭な掘り込みは無いが、焼けて赤化している部分に５cm前後の凹凸が認められる。主柱穴は中央部に配置されるP1～P4で、長径21cm～28cm、深さ32cm～99cmである。P1に隣り合うP5・P6及び北西隅のP8・P9は補助柱穴であろう。長径22cm～29cm、深さ24cm～34cmである。貯蔵穴は、南西隅のP10で、径63cm×72cm、深さ64cmである。底面付近から高杯１が出土している。なお、これと反対側、北東隅に接するP7も同じような規模だが、壁に接していることからP8・P9に対応する補助的な柱穴と考えたい。

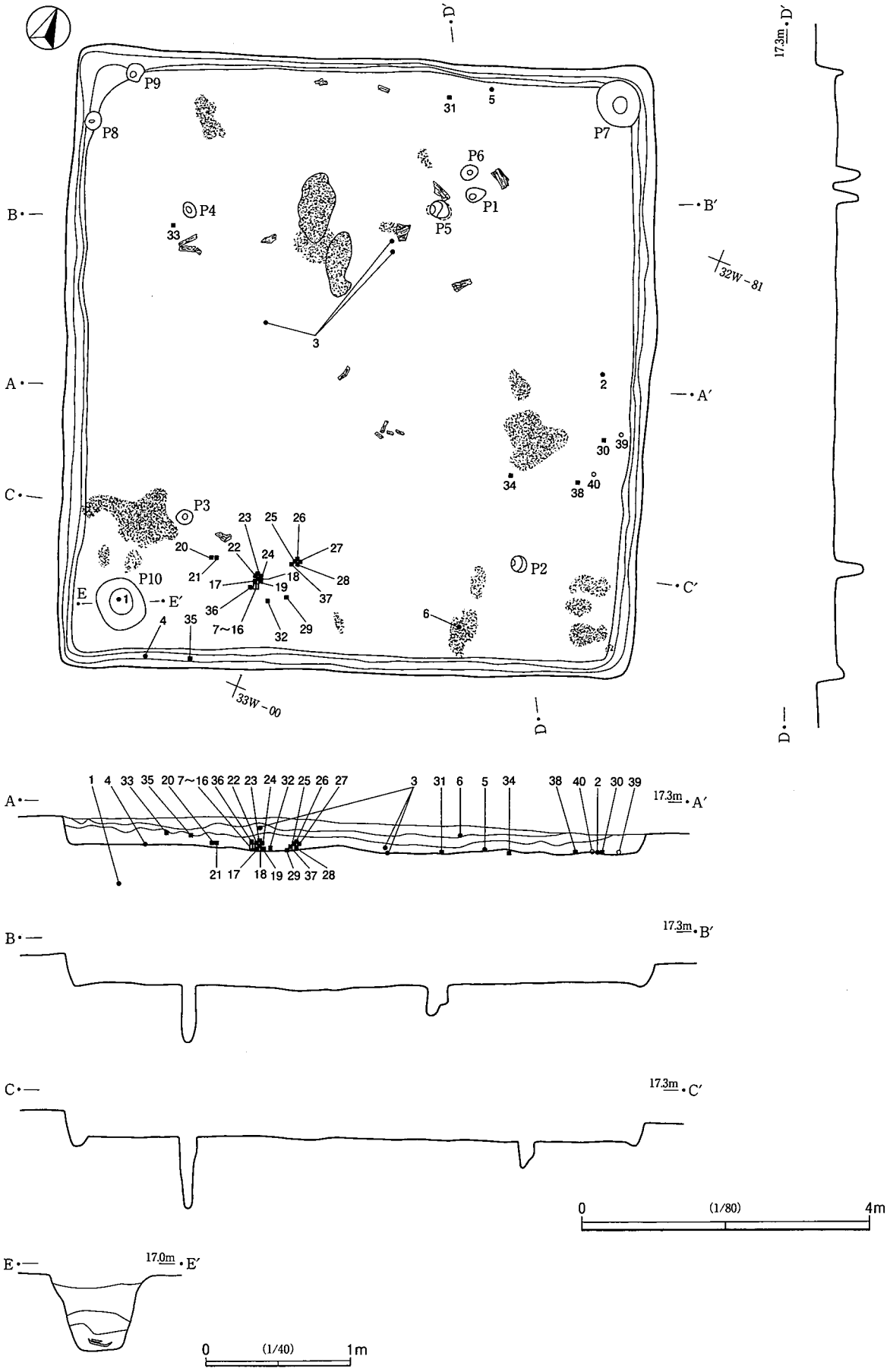
遺物は土器と臼玉・勾玉など滑石製模造品及びその未成品・剥片が出土している。特に臼玉の未成品及び剥片類はP3のやや東、南壁寄りの床面に合わせて521点が出土している。臼玉類の出土量は決して多くないが、未成品や板状で両面が研磨された剥片類がある。これらの遺物から製作工程の一部が復元可能であり、石製模造品工房跡と考えられる。

出土遺物

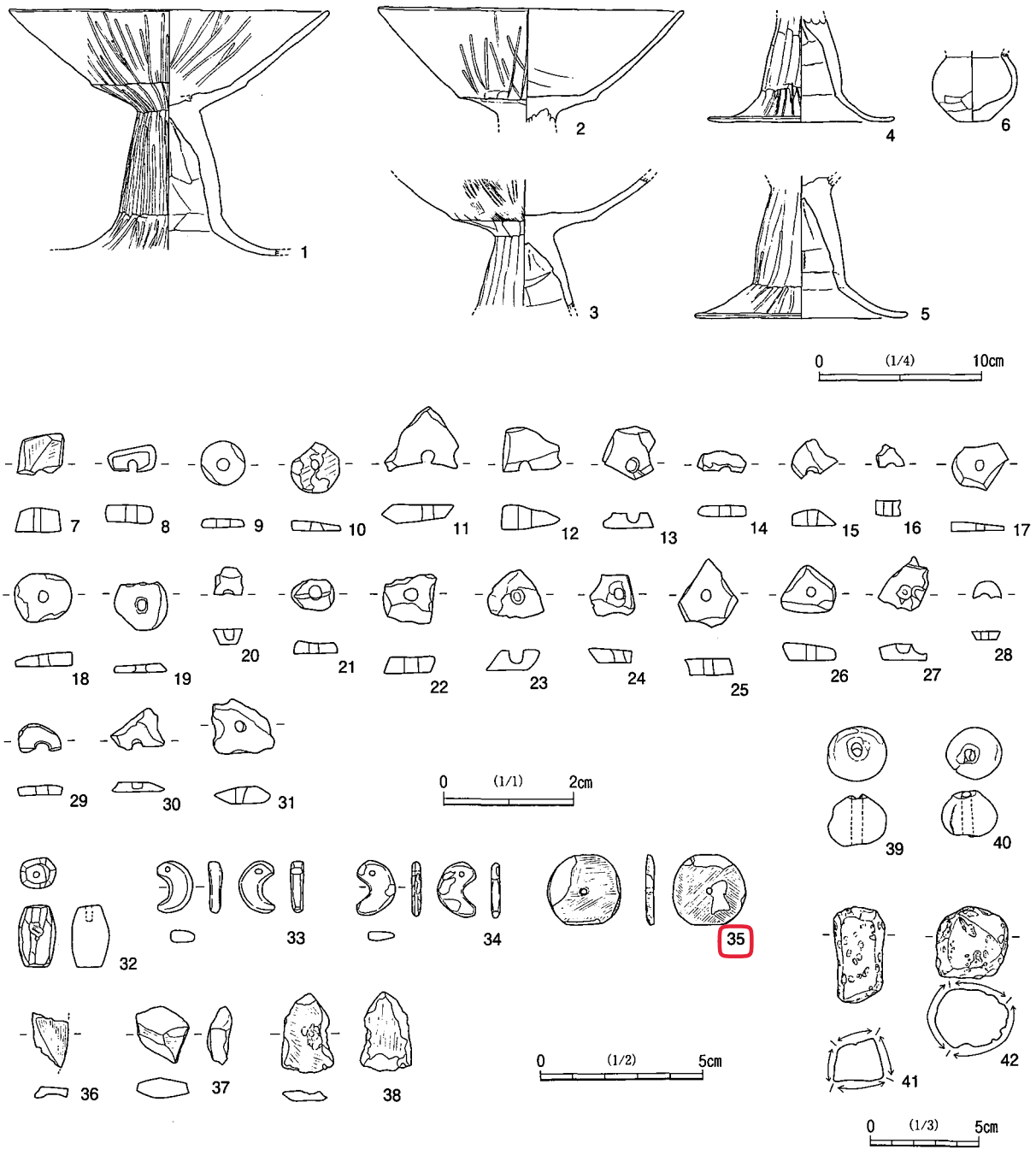
１～５は高杯である。１は杯底部に稜を有し、脚部は中膨らみで柱状に近い。外面と杯内面にミガキが施される。２は杯部、３は杯下部～脚部で形態は１と共通する。１～３の杯底部内面は二次的な被熱により剥落している。４は１と５に比べ脚高がやや低く、裾部の屈折が強い。６は口縁を欠くが小型壷のミニチュアである。８は穿孔完了後の仕上げ段階で割れた製品で、孔側を除いて側面まで丁寧に研磨されている。形に難があるが臼玉として扱った。９は臼玉の成品だが、一部欠けている。10～31は臼玉の欠損品及び未成品で、10・18・19・21は整形途上のもの。13・20・23・27・30は穿孔中に欠けたもの。不定形の13や17・24～26などは穿孔後、仕上げ直前の段階のものである。穿孔はすべて片面から行われており、穿孔途上のものは先端が丸くＵ字状になっている。32は棗玉の未成品で、片面上部に穿孔中の孔が観察できる。33・34は勾玉で丁寧に研磨されている。35は有孔円板。7・36・37は剣形品の欠損品と思われる。７には鏑の一部と穿孔の痕跡が認められる。38は両面が研磨された板状の剥片で穿孔の痕が認められる。有孔円板であろう。39・40は土玉。41・42は軽石で、全体に擦痕が顕著である。

SI022（第129図、図版15・45・52～55）

調査区の中央東寄り、33W－22～33W－43グリッドに跨って位置する住居跡で、SI021から南に約15mの距離にある。平面形は長軸を南東～北西方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北6.00m、東

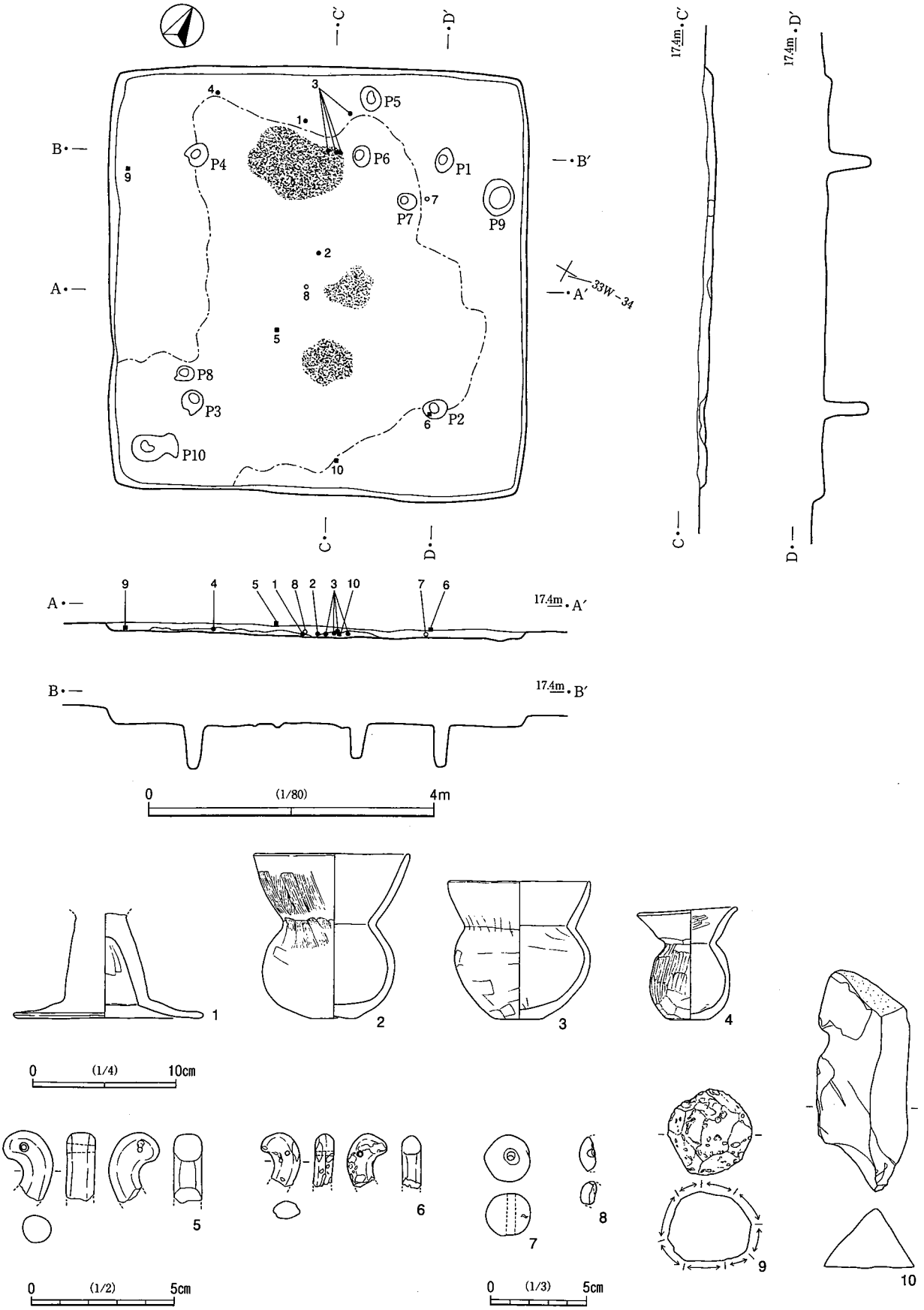


第127図　SI021（1）



第128図　SI021（２）

西5.94ｍである。確認面からの深さは10cm～22cmで、壁溝は無い。床面は僅かに起伏があり、主柱穴周辺から南西隅にかけて硬化面を認めた。炉は中央からやや北側に地床炉が設けられている。明瞭な掘り込みは無く、焼けて赤化している程度であるが周囲に焼土が広く堆積している。主柱穴は中央部に配置されるP1～P4で、長径33cm～35cm、深さ61cm～64cmと同程度の規模である。P1と炉の中間にあるP5～P7及び南西側のP8は補助柱穴であろう。長径22cm～29cm、深さ24cm～34cmである。貯蔵穴は、北東壁際P9と南西隅P10の２か所に設けられている。P9は開口部が楕円形に掘り込まれ、径44cm×51cm・深さ41cm、P10は開口部の片方が広く掘り込まれた不整形で、長さ65cm・幅37cm・深さ59cmである。どちらの穴からも遺物



C′
D′
17.4m C′
17.4m D′
B
B′
A
A′
33W-34
P1
P2
P3
P4
P5
P6
P7
P8
P9
P10
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
17.4m A′
17.4m B′
0
(1/80)
4m
0
(1/4)
10cm
0
(1/2)
5cm
0
(1/3)
5cm

第129図　SI022

は出土していない。

遺物は高杯・小型壷・甕など土器類と勾玉・土玉・砥石などが出土しているが、量的にはわずかで、散在している。甕は胴部の破片で図示できるほど遺存していない。また、中央部の床面には焼土が堆積していた。

出土遺物

1は高杯の脚で、裾が屈折して水平に近く開く。2～4は小型壷である。2は口頸部と胴部の高さが拮抗し、口縁に最大径をもつ。口頸部は細かいハケ目が残る。胴部周囲と頸部の一部は煤が付着し、全体に剥落が目立つ。3は口頸部が短く内湾気味に開き、胴部は上位に張りがある。4は小振りで手捏ね土器風の特異な形態だが小型壷として扱った。外面と口縁内面に丁寧なミガキが施されている。5・6は勾玉でどちらも焼けて破損し、色や石質が劣化している。石質は5がメノウ、6は蛇紋岩で、表面が劣化して細かく剥落している。7・8は土玉である。9は軽石で、周縁が擦れて多面体になっている。10は粘板岩の砥石で、三角形の礫の側面の一つを砥面として利用しており（図では右側面）、表面に細かな縦方向の擦痕が観察できる。他の側面は風化面で加工痕や破損面も無く、砥面を下にして持つと良く手に馴染む形状である。

SI023（第130図、図版15・45・51～53）

調査区の中央東寄り、33V－47～33V－69グリッドに跨って位置する住居跡で、SI022から南西に約16mの距離にある。平面形は主軸を南北方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北7.02m、東西7.52mである。確認面からの深さは19cm～29cmで、壁溝は無い。床面は僅かに起伏があり、西辺側に偏って硬化面を認めた。炉は中央及びその北側に2か所地床炉が設けられている。両方とも楕円形にごく浅く掘り込まれ、焼土が良く残っている。主柱穴は中央部に配置されるP1～P4で、長径33cm～42cm、深さ68cm～79cmである。貯蔵穴は南西隅に位置するP5で、二段に掘り込まれる。径64cm×72cm・深さ39cmである。底面から壷底部片が、北側開口部付近から小型壷2が横転した状態で出土している。

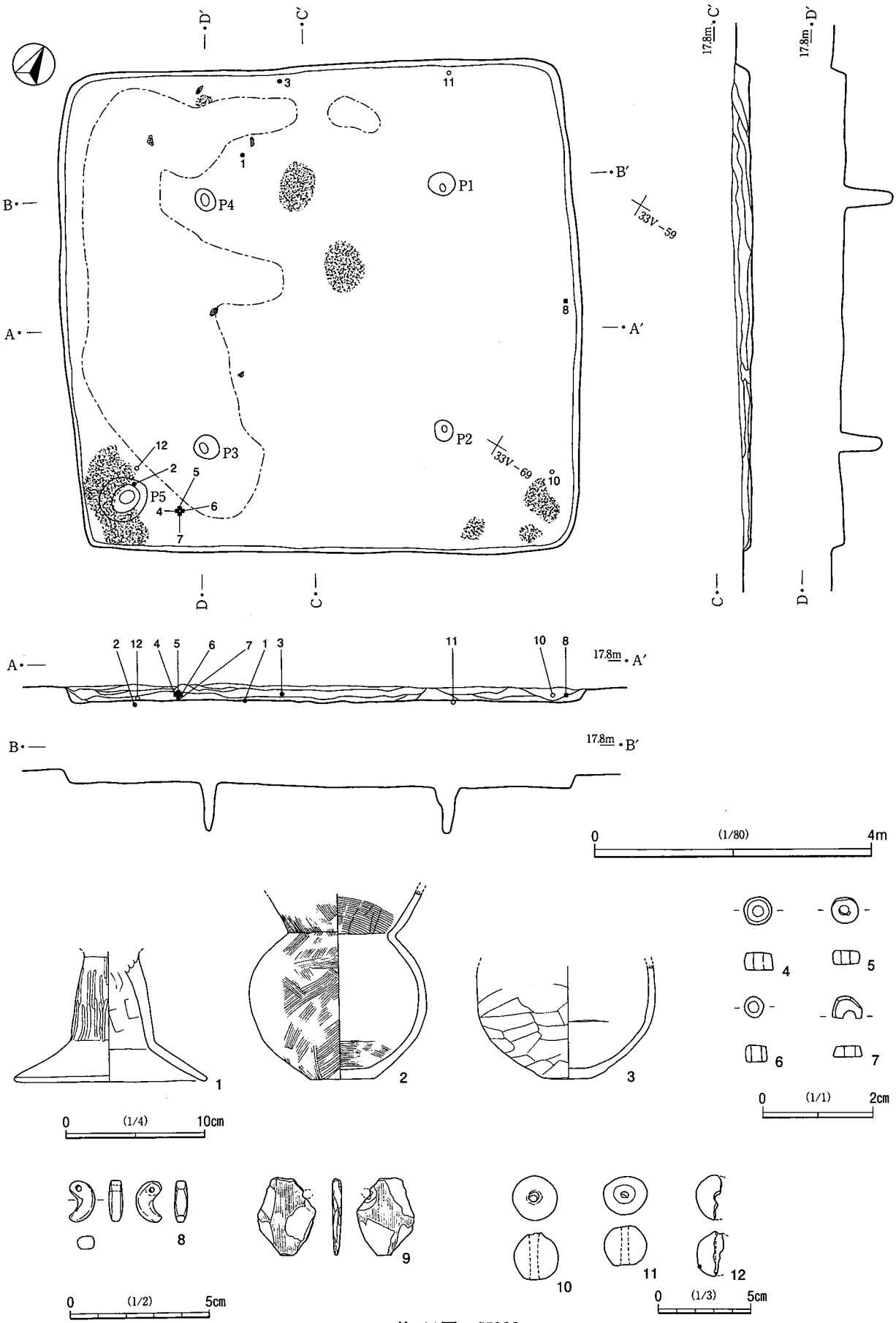
遺物は土器類と勾玉・臼玉・滑石剥片が出土している。土器の多くは破片で、図示できたものは少なく散在した状況であるが、臼玉類は貯蔵穴のやや東にまとまっている。また、南西隅と南東隅に焼土が堆積している。

出土遺物

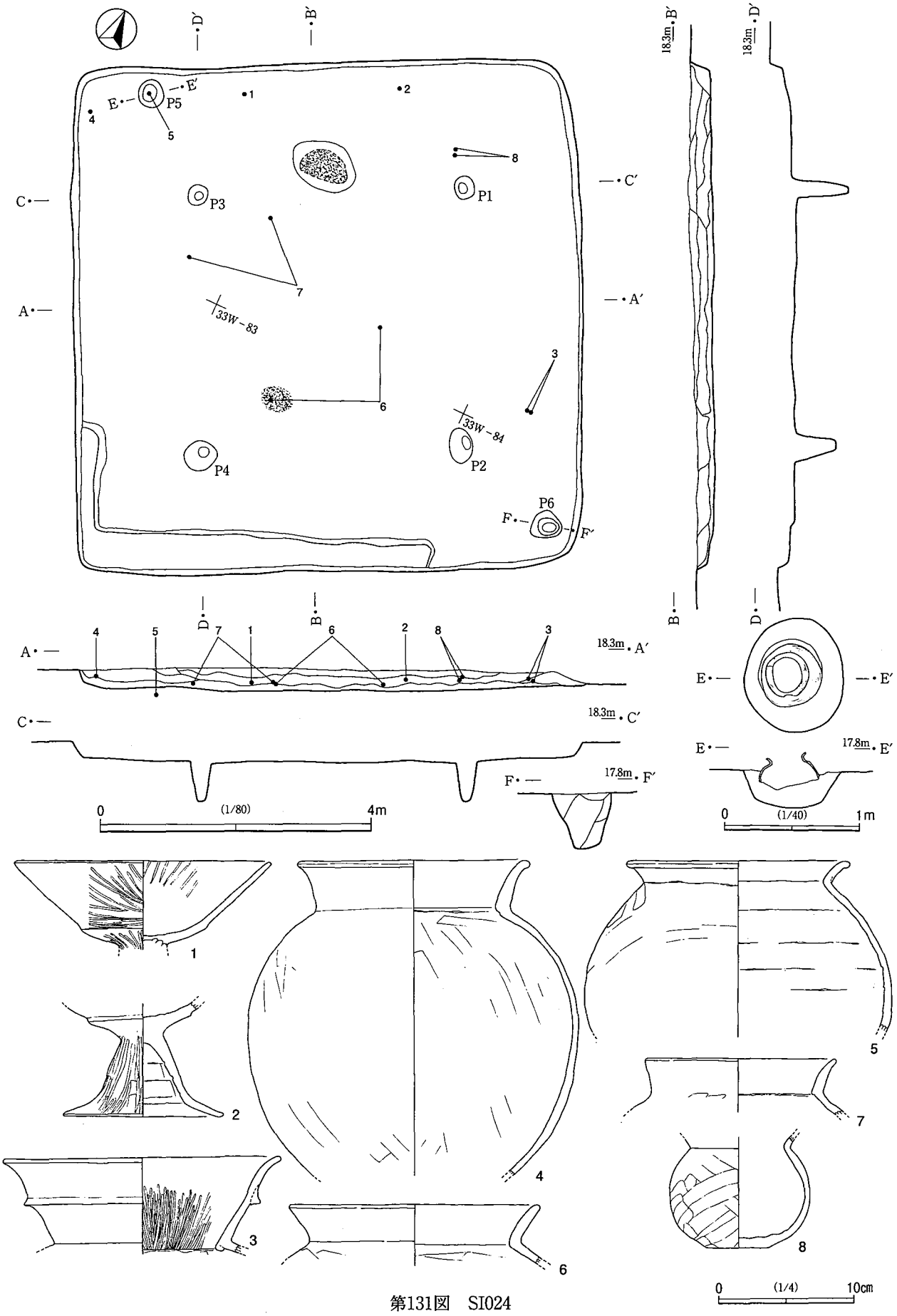
1は高杯の脚部。やや膨らみのある円柱状で、裾部が屈折して八字状に開き裾端の接地面が少ない。柱状部にミガキが施されている。2・3は小型壷である。2は球形の胴部から口頸部が直線的に開く。外面及び内面にやや粗いハケ調整を施している。3は胴部でヘラナデ調整を施している。4～6は滑石製の臼玉で、比較的厚く整形し、側面に弱い稜を研ぎ出している。7はその未成品。側面に調整が加えられるが角が取れていないので、仕上げ段階で破損したものであろう。8は滑石製の勾玉で、小品ながら丁寧に仕上げている。9は板状の滑石片で、両面と側面の一部に研磨が及び、穿孔痕が残る。平らな面で研磨の方向を変え、角度を持たせる様な工夫がされているので、剣形品の未成品と思われる。10～12は土玉である。

SI024（第131図、図版15・45）

調査区の中央東寄り、33V－63～33V－84グリッドに跨って位置する住居跡で、SI023から南西に約12mの距離にある。平面形は主軸を南北方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北7.52m、東西7.54mである。確認面からの深さは21cm～34cmで、壁溝は無い。床面はほぼ平坦だが、南から南西隅の壁に沿


P1
P2
P3
P4
P5
33V-59
33V-69
17.8m
0 (1/80) 4m
0 (1/4) 10cm
0 (1/1) 2cm
0 (1/2) 5cm
0 (1/3) 5cm

第130図　SI023


D′
B′
E
P5
E′
1
2
4
5
8
C
P3
P1
C′
7
A
A′
33W-83
3
6
33W-84
P4
P2
P6
F
F′
18.3m
B
D
4
5
7
1
6
2
8
3
A
A′
C
C′
F
F′
17.8m
0
(1/80)
4m
(1/40)
1m
(1/4)
10cm

第131図　SI024

った幅40cm程の部分が周囲より10cm～12cm高くなっている。炉は中央から北側に偏った位置に地床炉が設けられている。平面形は楕円形で、周囲より８cm程低い皿状に掘り込まれている。主柱穴は中央部に配置されるP1～P4で、長径33cm～54cm、深さ50cm～62cmである。北西壁際のP5は径42cm・深さ13cmで、ほぼ中央に甕の上半分（５）が口縁を上に向け、やや傾いた状態で出土した。調査段階では意図的に埋められたという所見があったが、覆土は単層で締まりが無く、特に甕を納めるために固めたような様子は窺えない。貯蔵穴は南東隅のP6で、長径46cm・深さ37cmである。覆土中から土器片２点が出土している。

遺物は土器が主体である。住居跡の中央から東側、炉の付近から東壁寄りと南東隅に広く分散している。破片が多く図示できたものは少ない。

出土遺物

１は高杯の杯部で、稜のある底部から口縁部が大きく開く。外面と内面の一部にミガキが認められる。内面の大部分は剥落している。２も杯底部に稜のある高杯で、脚高が低く裾に向かってラッパ状に開く。裾内面の稜は明瞭である。３は有段口縁壷の口頸部で、内面にミガキが施される。４～７は甕である。４は胴部の大部分を欠き、図上復元である。口頸部が立ち気味に外傾し、口縁端は丸く反る。胴部は長胴化している。５は球形の胴部から短い口頸部がく字状に反る。胴部内面に輪積み痕が顕著に残る。８は小型の壷で、胴部に張りがある。頸部は残りがわずかだが屈折が強い。外面はヘラナデ調整、内面は剥落が著しい。

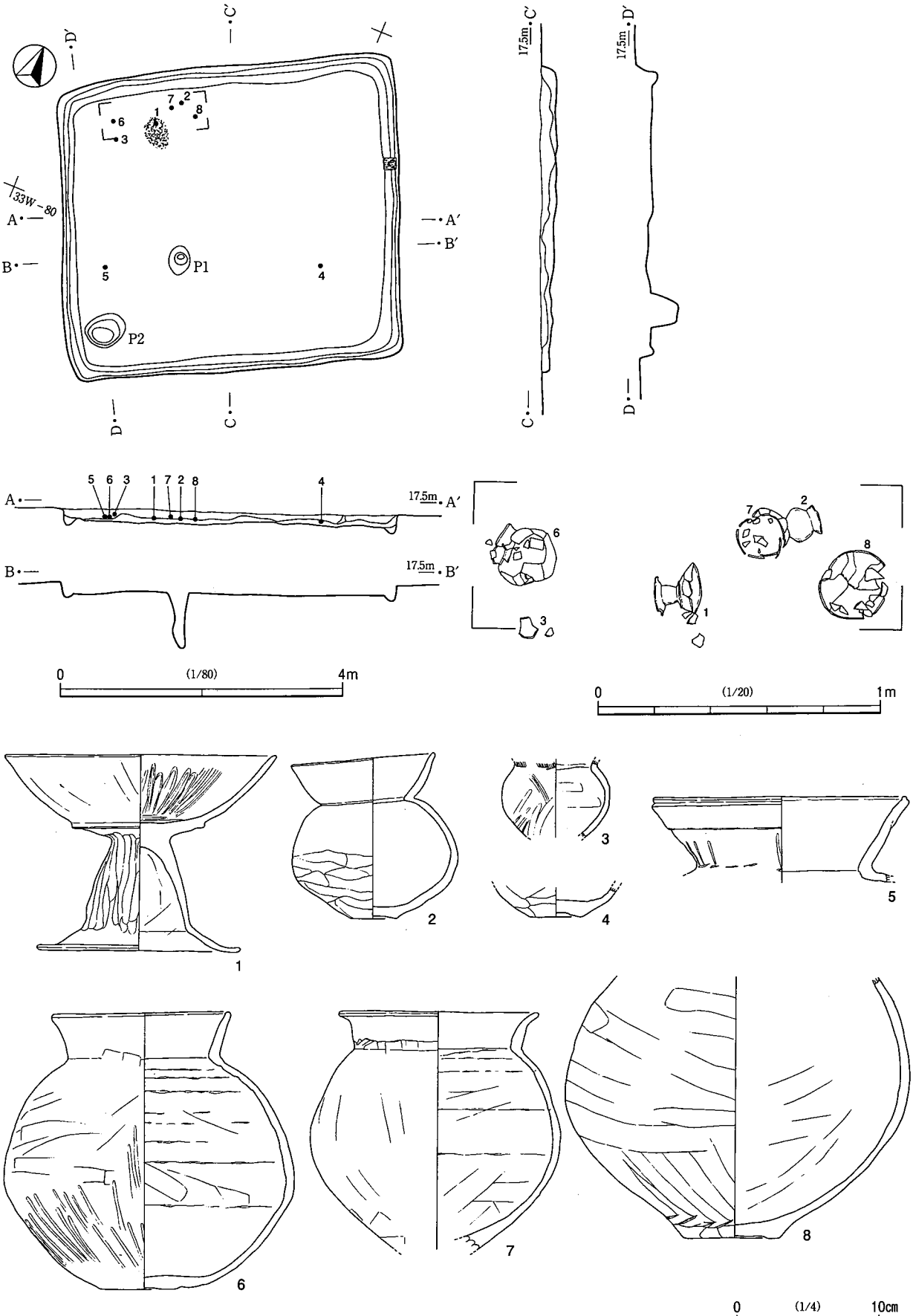
SI025（第132図、図版16・45）

調査区の中央東寄り、33W－70～33W－81グリッドに跨って位置する住居跡で、SI023から南東に約６mの距離にある。平面形は東西辺がやや長い長方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北4.34m、東西4.78mである。確認面からの深さは14cm～23cmで、壁に沿って幅15cm～22cmの壁溝が巡っている。床面は所々凹凸が認められるが概ね平坦で、中央付近から南西側に硬化面が広がっている。炉は設けられていない。ただ、中央からやや北西に偏った床面で、楕円形に広がる焼土を検出している。炉のように焼けた形跡は観察されていないが、検出された箇所が限られており、一時的に火の使用をしたのかもしれない。柱穴は中央からやや南西に１基だけP1が掘り込まれている。長径42cm・深さ76cmである。南西隅に位置するP2は貯蔵穴と思われ、長径56cmの楕円形で、深さ40cmである。底面は平坦で、壁面の一方が緩い角度で斜めに掘り込まれている。

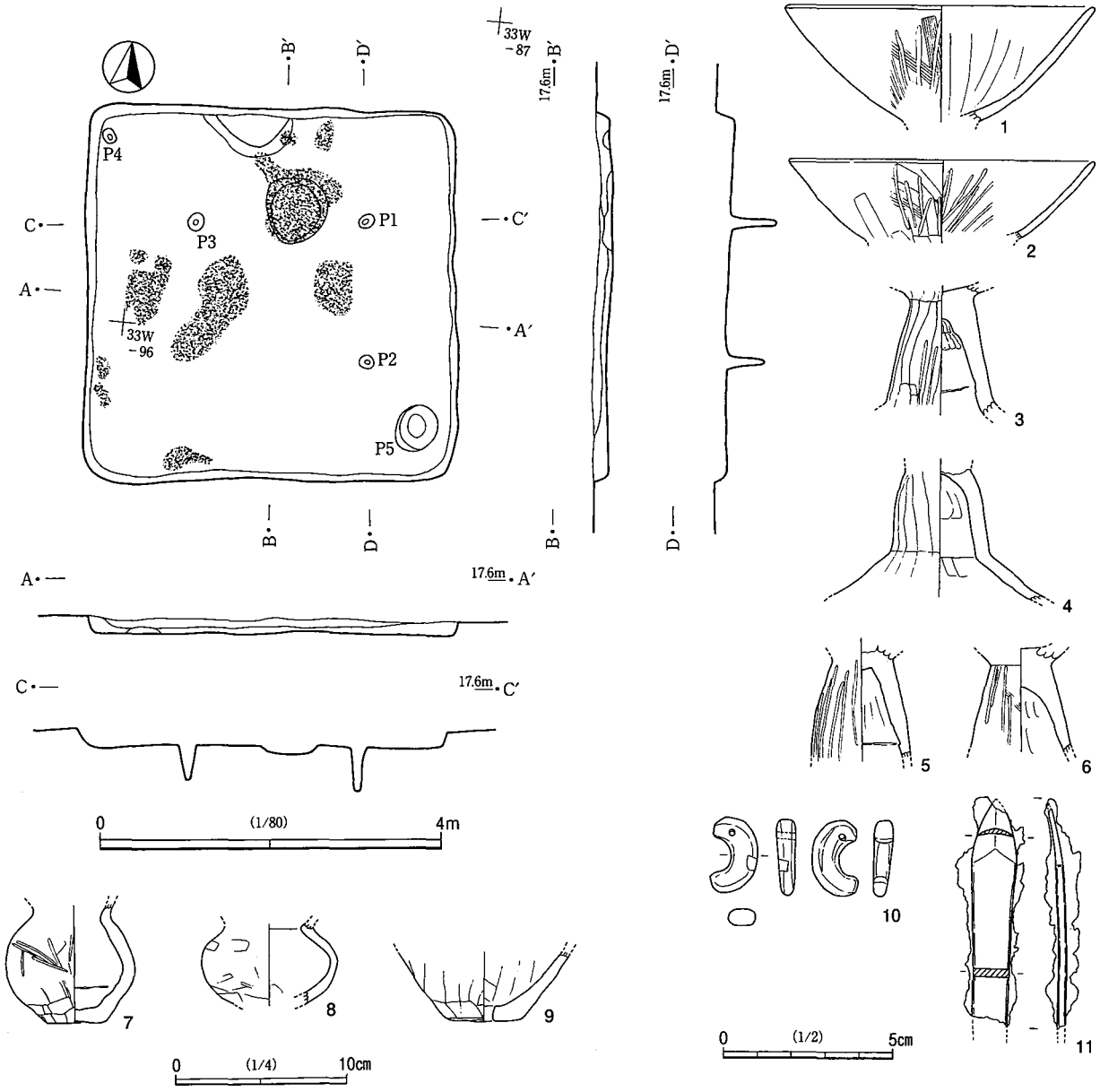
遺物は北壁際で高杯・小型壷・甕がまとまっている。このうち小型壷の破片（３）以外は床面直上で横に倒れたり、口縁を下向きにした状態で出土している。

出土遺物

１は高杯で、扁平で浅い杯部下端に稜を持ち、脚は太く膨らみのある円錐形で裾が強く屈折する。杯内面にミガキが施される。２～３は小型壷である。２は口縁の一部をわずかに欠く。頸部が強くしまり口縁は内湾気味に開く。３は頸部にわずかにハケ調整が残る。４は底部である。５・６は壷である。５は口頚部で、折り返しの複合口縁となる。６は胴部が屈折する様に張る特異な形態である。胴部外面は上半がヘラナデ、下半にミガキが施され、内面には輪積み痕が顕著に残る。７・８は甕である。７は胴部の中ほどに張りを持つ。頸部は直立気味で口縁上端で水平に反り、口唇部が面取りされている。胴部外面はヘラナデ調整だが全体に雑な調整である。８は大型で、胴部が球形に張る。内外面ともにヘラナデ調整を基本とする。



第132図　SI025

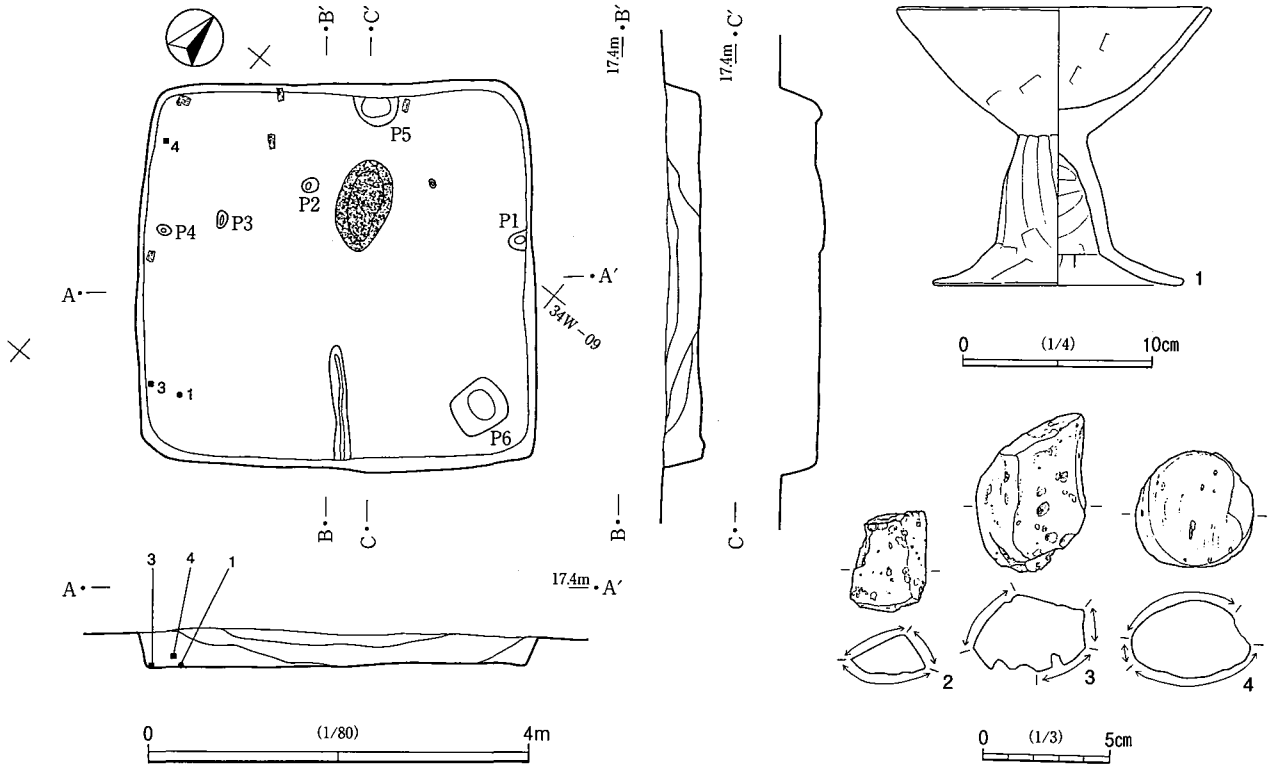


第133図　SI026

SI026（第133図、図版16・52・55）

調査区の中央東寄り、33W－85～33W－96グリッドに跨って位置する住居跡で、SI025から東に約18mの距離にある。平面形は主軸を南北方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北4.37m、東西4.35mである。確認面からの深さは17cm～21cmである。床面は概ね平坦で、中央部が硬く良く締まっている。炉は中央からやや北に寄って地床炉が設けられている。長径0.81m・深さ11cmと楕円形に大きく掘り込まれ、焼土が周囲にも広がっている。主柱穴は中央寄りに位置するP1～P3の３基で、本来あるべき南西側の一つが欠けている。長径14cm～20cm・深さ42cm～63cmである。北西隅のP4は補助的な柱穴であろう。径18cm・深さ41cmである。貯蔵穴は南東隅のP5で、径53cm・深さ39cmである。北壁中央付近には床面から５cmほど高い半月状の土壇が設けられているが、どの様に利用されたのか不明である。

遺物の量は少なく、図示できたものも遺存状態が良くない。高杯・小型壷など土器の他滑石製勾玉・ヤ



第134図　SI027

リガンナがあるが、すべて覆土中一括として取り上げており残念ながら正確な位置を明示できない。調査時の所見と整理段階の状況では、住居南西側と南東側で取り上げた土器片に接合したものが多いので、概ね住居南側に分布の偏りがあったと思われる。なお、高杯脚（3）・（4）と小型の小型壷（7）は貯蔵穴P5内から出土している。また、住居中央付近と壁周辺に焼土が堆積している。

出土遺物

1～6は高杯の杯部あるいは脚部の破片である。1は体部が深く、わずかに湾曲しながら口縁が開く器形で、外面はハケ後ミガキ調整である。2は底部を欠くが、わずかに稜の括れが認められる。外面はハケ及びヘラナデの後ミガキを加えられる。3・6は直線的に開く円錐状の脚部で、外面はヘラナデの後ミガキが加えられる。4は膨らみのある円錐状の脚部で、裾の屈折は緩やかである。5も膨らみのある円錐状で、上端には接合面の臍受けが残る。外面の調整はヘラナデの後ミガキを加えられる。7は口縁部を欠く小型の壷で、手捏土器風の造りである。8は小型壷の胴部で、屈折した張りを持つ。9は甑の底部である。胴部へ立ち上がる角度が深く、SI032出土の鉢形（4）と似ている。孔は焼成前に穿たれ、外面から内面に向かって拡がり、丁寧に整形されている。外面はヘラケズリ調整である。10は滑石製の勾玉で、周縁が良く研磨され丁寧に仕上げてある。孔は片面から穿たれている。11は鉄製のヤリガンナである。刃部は短く、先端部に向かって反っている。現存長66㎜・重さ9.99ｇ、刃部現存長18㎜・最大幅13㎜・厚さ1.5㎜、棒状部は幅10.5㎜・厚さ2.5㎜である。

SI027（第134図、図版17・45・54）

調査区の中央東寄り、33W－98～34W－09グリッドに跨って位置する住居跡で、SI026から南東に約5ｍの距離にある。平面形は主軸を北西～南東方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北4.08m、東西4.21ｍである。確認面からの深さは32㎝～41㎝である。床面は概ね平坦で、中央部が硬く良く締まっ

ている。壁溝は無いが、東壁から中央に向かって間仕切り溝が延びている。長さ1.2m・幅15cm～18cm・深さ３cm前後である。炉は中央からやや北に寄って地床炉が設けられている。長径97cmの楕円形で、深さ７cmである。柱穴は小径のP1～P4が検出されている。径は15cm～20cm、深さ８cm～20cmで規模に出入りがあり、配置も不規則である。北壁中央に接するP5は、深さ３cmと浅く、位置的に見ればP1やP4と共通するが、一般的な柱穴とは考え難い。東隅のP6は貯蔵穴であろう。一辺が50cm～55cmの方形で、底面は平坦に掘られている。深さ40cmである。

遺物は西隅付近の床面上で高杯、軽石が出土しているが総量は少なく、土器小破片が散在して出土した程度である。壁際には小さな炭化材が散っている。

出土遺物

１は高杯である。杯部は底径が小さくて深く造られ、膨らみのある円錐状の脚柱部から裾が屈折して開く。外面はヘラナデ調整、内面は剥落が著しい。２～４は軽石で、周縁に擦った痕が認められる。

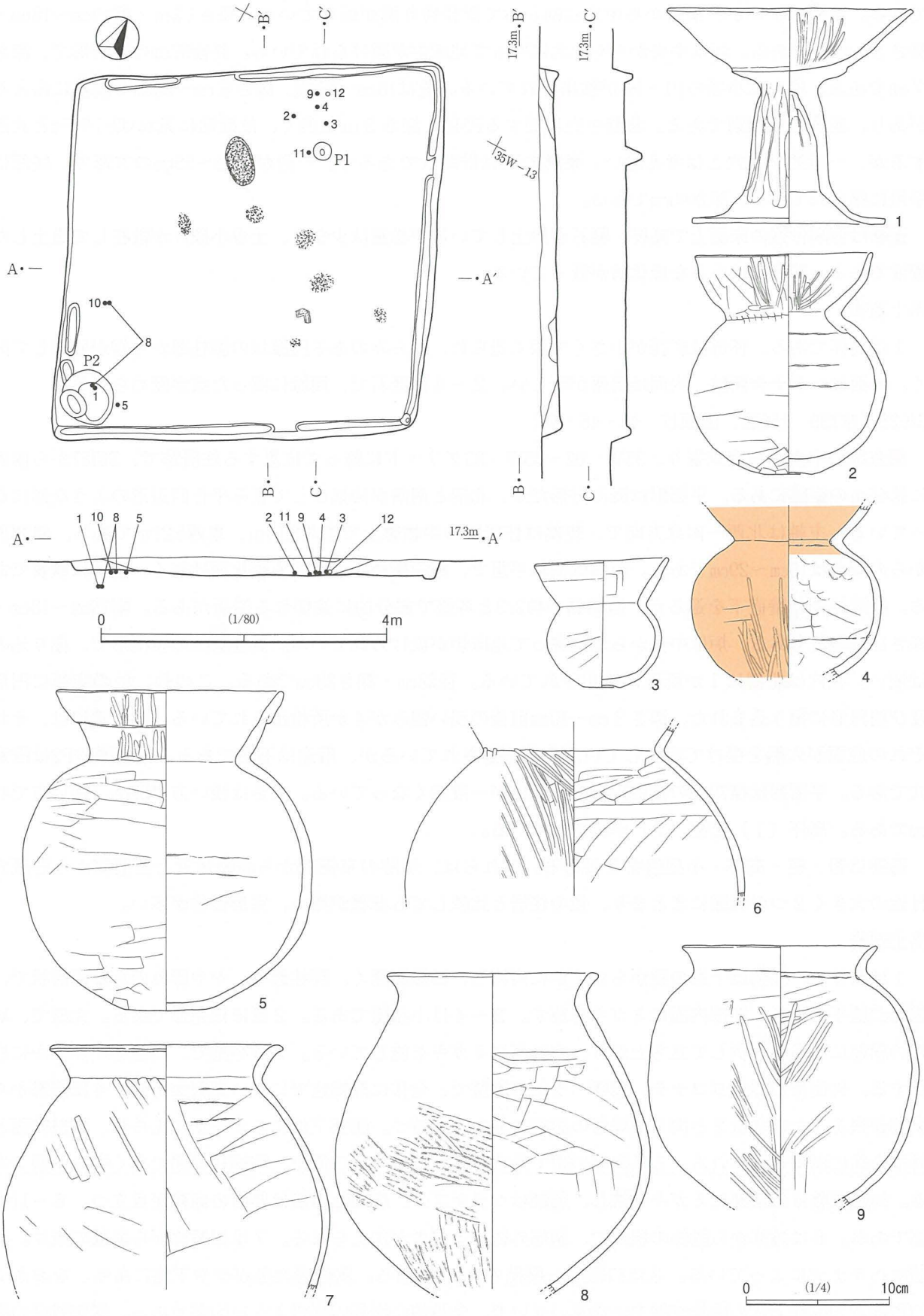
SI028（第135・136図、図版17・45・46・53）

調査区の中央から南東寄り、35W－02～35W－23グリッドに跨って位置する住居跡で、SI027から南西に約46mの距離にある。平面形は概ね方形だが、北隅と南隅が間延びして歪み平行四辺形のような形になっている。主軸は北西～南東方向で、規模は住居跡の中軸線上で南北5.13m、東西5.21mである。確認面からの深さは15cm～29cmである。床面は概ね平坦で、踏み締めなどによる硬化面は無く、全体に軟質である。壁溝は概ね壁直下を巡るが、西壁側の約2/3と各壁で部分的に途切れる箇所がある。幅15cm～18cm・深さ10cm前後である。炉は中央から北に寄って地床炉が設けられている。長径68cmの楕円形で、掘り込みは浅い。柱穴は北側に１か所P1が検出されている。径28cm・深さ23cmである。この他、炉の南側に円形及び楕円形に掘り込まれた、深さ３cm～10cm前後の浅い窪みが４か所検出されている。調査時には、それぞれの底面が火熱を受けて赤化しているのが観察されているが、用途は不明である。南西隅のP2は貯蔵穴である。平面形は径78cmのほぼ円形で、壁側が一段深くなっている。深さは浅い方で28cm、深い方で42cmである。高杯（１）と甕（７）が出土している。

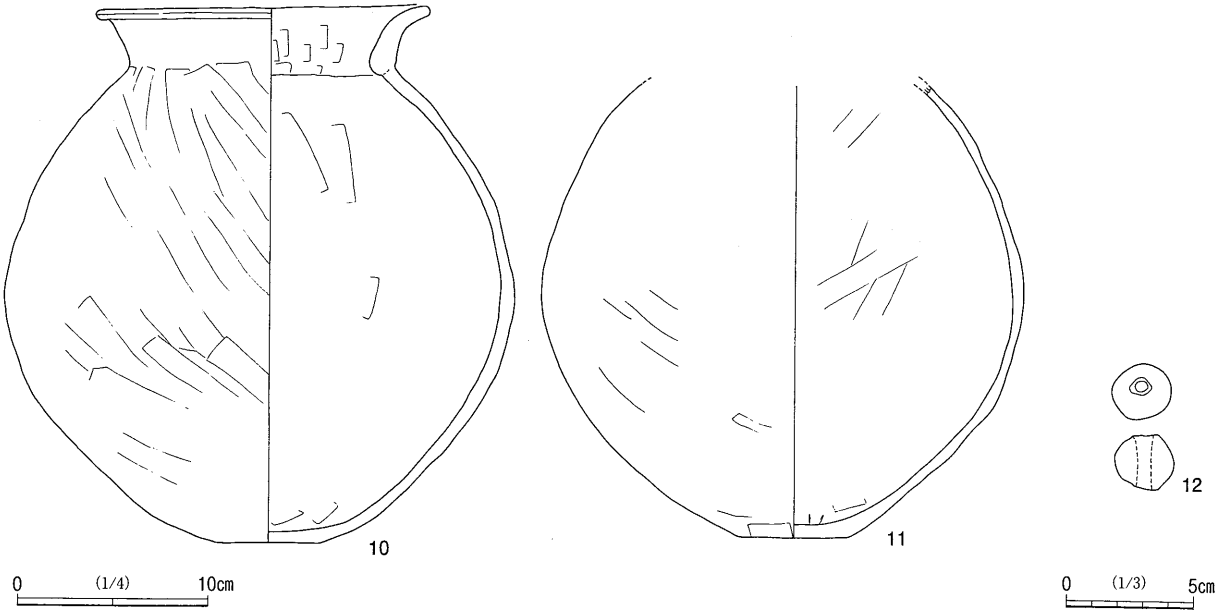
遺物は壷・甕・高杯・小型壷などがある。これらは、炉跡の東側P1から北壁付近と西壁側から貯蔵穴付近の大きく２つの範囲にまとまり、他の住居と比較しても器種が揃い、完形個体が多い。

出土遺物

１は高杯で、杯部は下端の稜からわずかに内湾し、口縁が開く。脚柱部は、やや膨みのある円筒状で、裾端が扁平となる。杯部内面にミガキを施す。２～４は小型壷である。２はほぼ完形である。大型で、球形の胴部に口縁が屈折して立ち上がり、内外面にミガキを施している。３は小型で、口頸部がわずかに屈折する。外面は口縁部ヨコナデ、胴部ヘラナデ調整で、全体に黒褐色でにぶい光沢がある。４は頸部から胴部が残る。大きさは２と同じで球形の胴部に最大径を持つ。胴部下位にミガキが加えられ、頸部内面と外面全体に赤彩が施される。５は完形の壷である。口縁部は複合口縁で、胴部は球形で丸く張る形態である。外面調整は口頸部にミガキを施し、胴部はヘラケズリ。底部と内面は器面の剥落が目立つ。６～11は甕である。６は頸部から胴部の破片で、胴部外面にミガキが加えられる。７は口縁部から胴部の破片。調整はヘラナデによっている。８は口縁から胴部の約1/3が残る。胴部最大径がやや下位にあり、なおかつ口頸部から胴部上位の曲線が緩やかな形のせいで、全体的に洋梨の形のような印象である。胴部外面の調整は上位にヘラナデ、中位～下位に方向の異なる一見タタキ調整のような目の粗いヘラナデ調整を施して



第135図　SI028（1）



第136図　SI028（２）

いる。内面はヘラナデ調整である。なお、後述するSI029ではこれと似たような調整痕を残す甕がある。９は口頸部が短く反り、胴部は肩の張った球形となる。胴部内外面の調整はヘラケズリの後ミガキが加えられている。10はほぼ完形で、胴部中位が大きく張り、口縁端が強く反る。最大径が胴部中位にあるが、肩がなだらかで全体的には胴長の傾向にある。外面はヘラナデ調整である。11は口縁部を欠く。器形は10と同じ形態で、やや雑なヘラナデ調整である。12は土玉である。

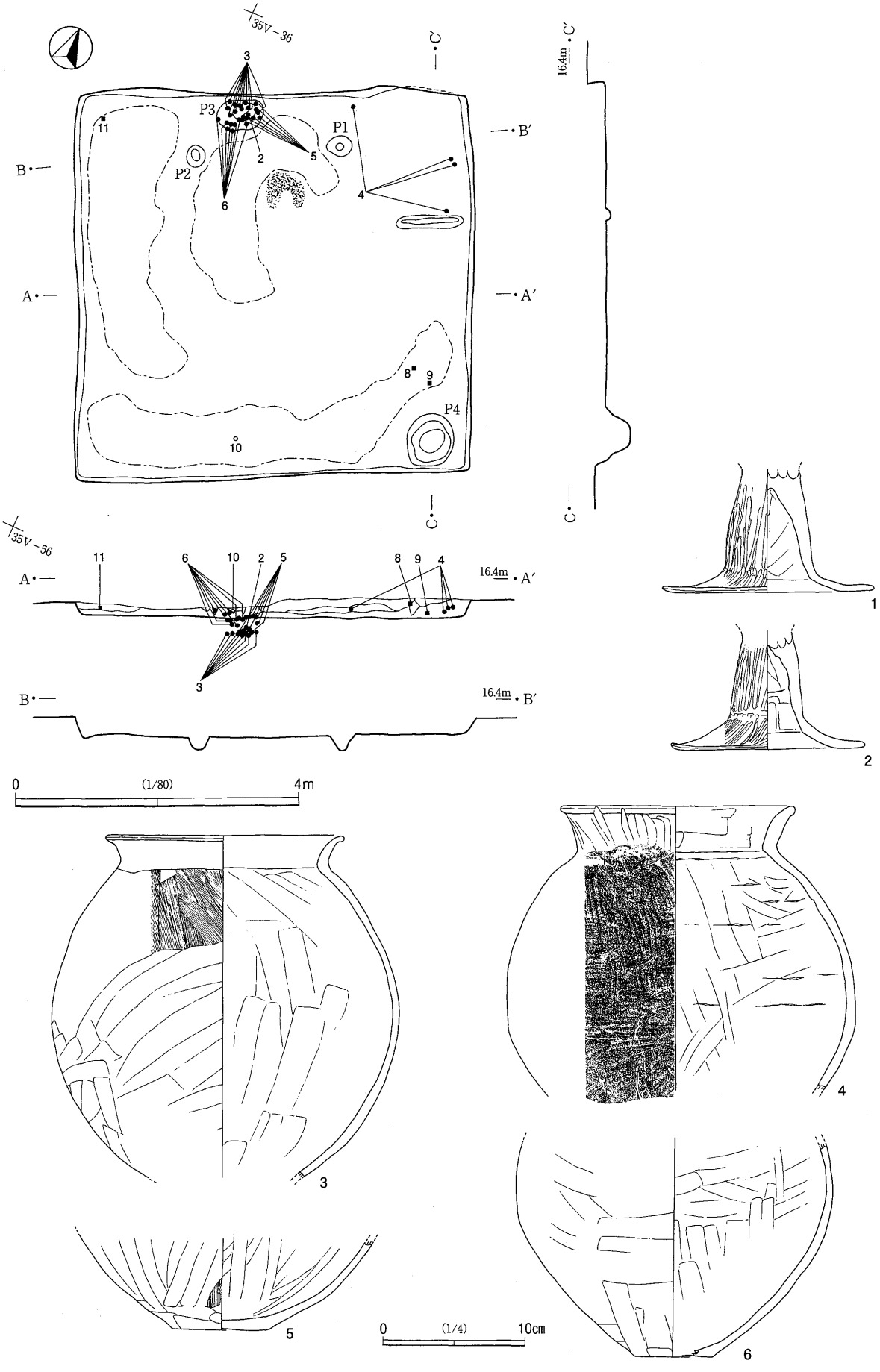
SI029（第137・138図、図版17・46・51～53）

調査区の中央から南東寄り、35V－35～35V－47グリッドに跨って位置する住居跡で、SI028から西に約24mの距離にある。平面形は主軸を北西～南東方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北5.40m、東西5.59mである。確認面からの深さは16cm～25cmである。床面は概ね平坦で、西側と南側で硬化面が残っている。壁溝は無く、東壁側で長さ１m・幅18cm・深さ11cmの間仕切り溝を検出した。炉は中央から北に寄って設けられている。床面を掘り込む地床炉ではなく、逆にごく低い土手を∩字状に盛り上げていて、焼土はこの土手を覆う様に堆積している。柱穴は北側に２か所P1・P2が検出され、径31cm～35cm・深さ16cm～25cmである。これとは別に北壁側と南東隅に二つの貯蔵穴が設けられている。北壁側のP3は壁に沿って掘り込まれており、長軸64cm・深さ27cmの規模である。覆土下層から上層まで土器片が集中的に出土し、接合の結果、甕３個体分（３・５・６）が復元できた。南東隅のP4は、平面形が径74cmのほぼ円形で、深さ38cmである。こちらから出土した遺物はない。

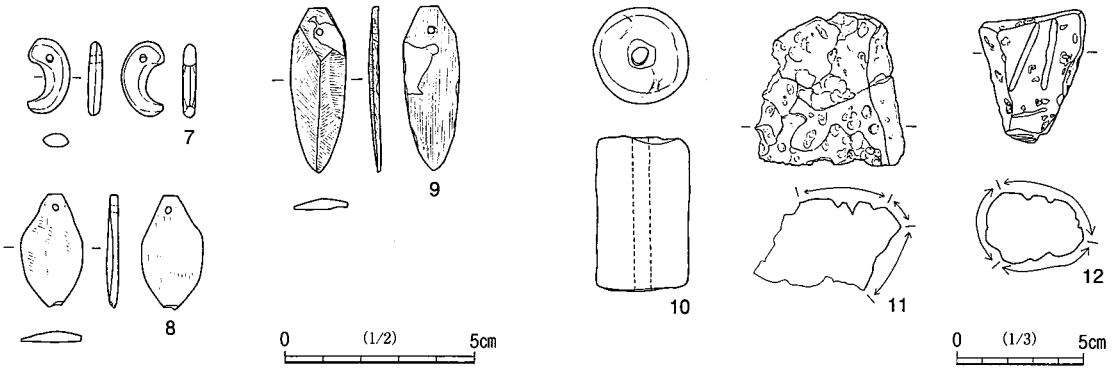
遺物は甕・高杯の他、剣形品・勾玉、土錘、軽石がある。甕は前述した様に貯蔵穴P3の他北東隅に１個体分が散在していた。また、剣形品は貯蔵穴P4のやや北側、勾玉と土錘が南側壁寄りで出土している。これらの遺物は、出土した層位から見て住居が埋没する段階で廃棄されたと考えられるが、下層にロームを主体とした層が堆積することから、埋め戻している可能性がある。

出土遺物

１・２は高杯の脚部である。いずれも脚柱部が膨らみをもつ円柱状で、裾端が扁平に開く形態である。外面にミガキが施されている。３～６は甕である。３は胴部の張りが弱く口頸部の屈曲も緩やかである。



第137図　SI029（1）



第138図　SI029（２）

胴部外面の調整は上位にハケ、中位から下位をヘラナデしている。４は球形の胴部から口頸部が立ち気味に反る。口縁部に縦方向の幅の狭いヘラナデ、胴部全体にタタキ調整を施している。タタキ目は上位から下位に縦→横→縦を基本にするが、部分的に重なっている箇所がある。前述したSI028出土の甕（８）の調整と似ているが単位が短く、凹凸があるためタタキ技法と判断した。内面はヘラナデ調整である。５は胴部下位から底部で、ヘラナデ調整を基調とするが、一部にハケ目が残る。６は胴中位から底部で、３と同様に胴部の張りが弱い。調整は内外面ともヘラナデによる。７は勾玉である。石質は滑石で、周縁を良く研磨して丁寧な仕上げがされている。８・９は剣形品である。８は扁平な製品で、片面に丸みがあり研磨の方向を変えているが、明瞭な稜は無い。わずかに先端部を欠く。９は片面に鎬を表す明瞭な稜が造り出されている。10は円筒形の土錘である。11・12は軽石である。12は周縁を擦り、片面に溝状の削痕が見られる。

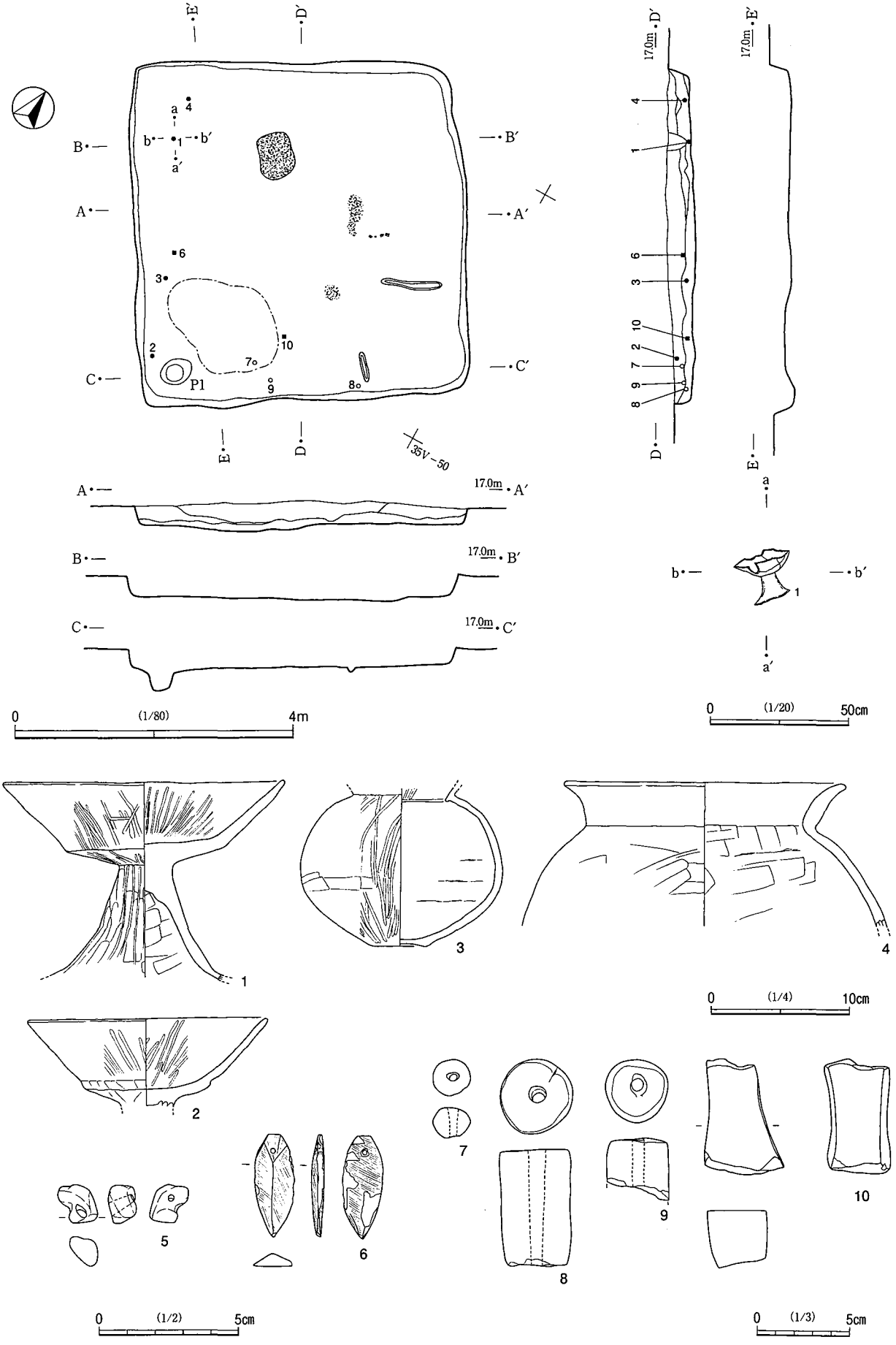
SI030（第139図、図版18・46・51～53・55）

調査区の中央から南東寄り、35V－38～35W－50グリッドに跨って位置する住居跡で、SI029から南東に約10mの距離にある。平面形は主軸を北西～南東方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北4.70m、東西4.81mである。床面は確認面からの深さが20cm～39cmと起伏があり、特に北東側が低く窪む。これとは逆の南西側には周囲より10cm前後高い位置に硬化面があり、台状となっている。柱穴や壁溝は無く、東壁側に長さ90cm、南壁側に長さ45cmの溝が、ちょうど南東隅を区画するかの様に掘り込まれている。炉は中央から北西に寄って地床炉が設けられるが、掘り込みが無く、床面が焼けて赤化している程度である。南西隅にあるP1は貯蔵穴であろう。径47cmの円形で、底面は平坦に掘られており、深さ28cmである。

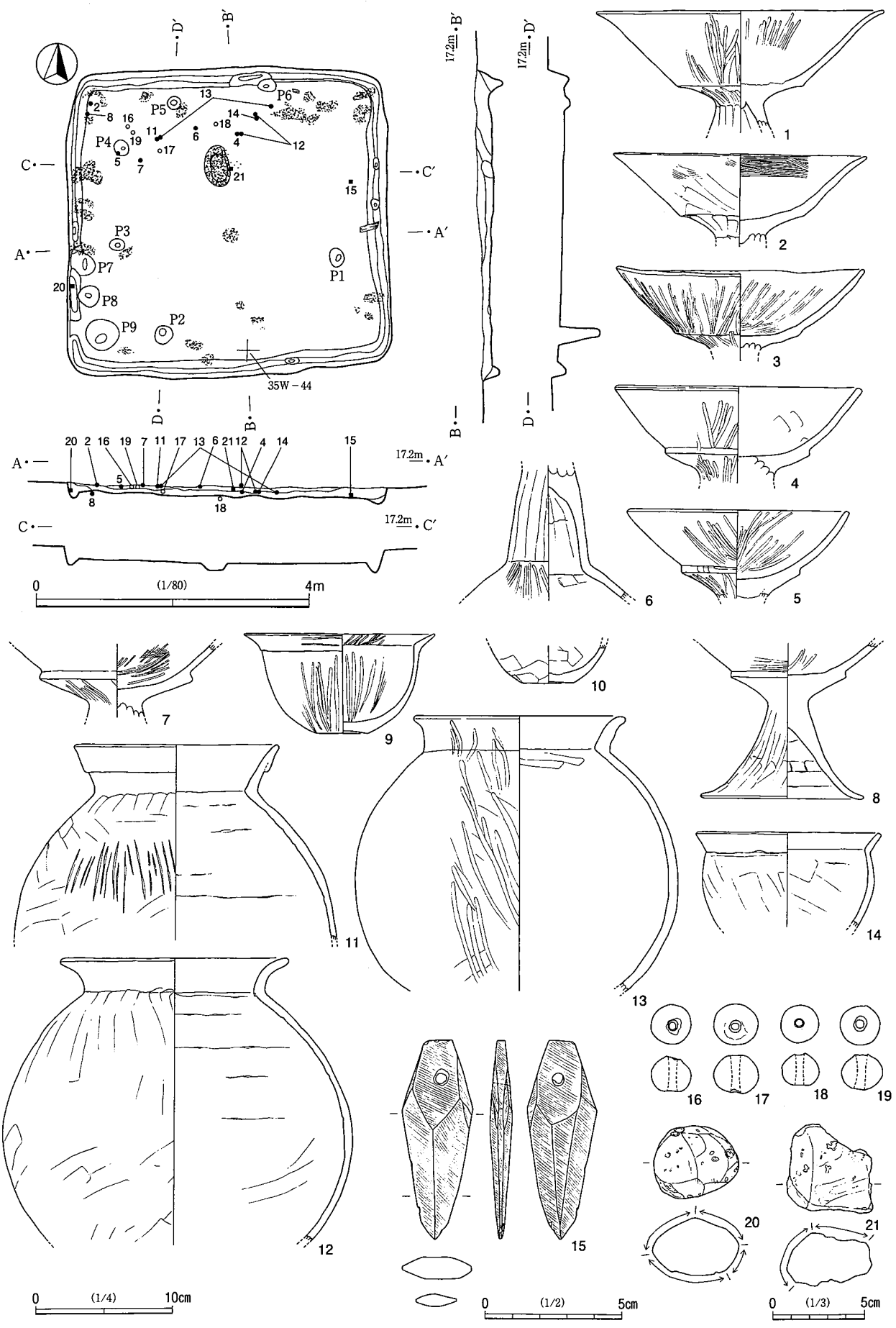
遺物は甕・高杯など土器の他、剣形品・土玉・土錘・砥石などがあるが、総量は少なく散在した分布状況であり、高杯（1）以外は覆土中の出土である。

出土遺物

１・２は高杯である。１は口径が大きくやや扁平で稜のある杯部にラッパ状に長く開く脚が付く。杯部と脚部との接合部が厚い。杯部内外面と脚外面にミガキが施されている。２の杯部下端の稜は段がついている。３は小型壷の胴部で、最大径が下位にあって下膨れ状である。外面にミガキが施されている。４は甕の胴部上半で、口縁部は端で強く反る。胴部の調整はヘラナデによる。５はおそらく勾玉であろう。白色で軟質の凝灰質砂岩が用いられ、片方が欠けて不定形で、孔の大きさも極端に異なっている。６は滑石製の剣形品である。中央部の断面形は三角形で、片面に鎬の稜が造り出され、丁寧な仕上げである。７は土玉。８・９は円筒形の土錘である。10は角柱状の砥石で、磨り減って湾曲している。


E′
D′
B
B′
A
A′
C
C′
a
4
b
1
b′
a′
6
3
2
10
7
P1
9
8
E
D
35V-50
17.0m
A
A′
B
B′
C
C′
0
(1/80)
4m
17.0m
D′
E′
4
1
6
3
10
2
7
9
8
D
E
a
b
b′
1
a′
0
(1/20)
50cm
1
2
3
4
0
(1/4)
10cm
5
6
7
8
9
10
0
(1/2)
5cm
0
(1/3)
5cm

第139図　SI030


P1
P2
P3
P4
P5
P6
P7
P8
P9
35W－44
17.2m
0 (1/80) 4m
0 (1/4) 10cm
0 (1/2) 5cm
0 (1/3) 5cm

第140図　SI031

SI031（第140図、図版18・46・53・54）

調査区の中央から南東寄り、35W－33～35W－44グリッドに跨って位置する住居跡で、SI028から南に約４ｍの距離にある。平面形は主軸を北～南方向にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北4.54m、東西4.68mである。床面は全体に軟質で、やや起伏があり、中央から南側で低く窪む。確認面からの深さは15cm～25cmである。炉は中央から北西に寄って長径60cmの楕円形の地床炉が設けられている。上面に粘土塊が出土している。壁溝は西壁側で一部途切れるが、ほぼ壁直下を巡っている。幅20cm前後、深さ５cm～18cmである。また、溝内に浅く小さな窪みが掘り込まれているが、位置や規模に規則性がない。柱穴は壁から離れた位置にP1～P5があり、これとは別に壁に接してP6～P8がある。P1～P4が径22cm～28cm、深さ32cm～59cmに対してP5は径22cm、深さ7cmと浅い。P6～P8は径23cm～30cm、深さ29cm～42cmで特にP7とP8が深く掘られている。一般的な住居の例と比べると不規則な配置で、壁に接した柱穴が中央寄りにある柱穴の補完的な役割を担っている可能性があるが、西壁側に偏って位置する点でどういう機能を持っていたのか判断できない。南西隅にあるP9は貯蔵穴であろう。径48cmの円形で、底面の径が小さい。深さ49cmである。

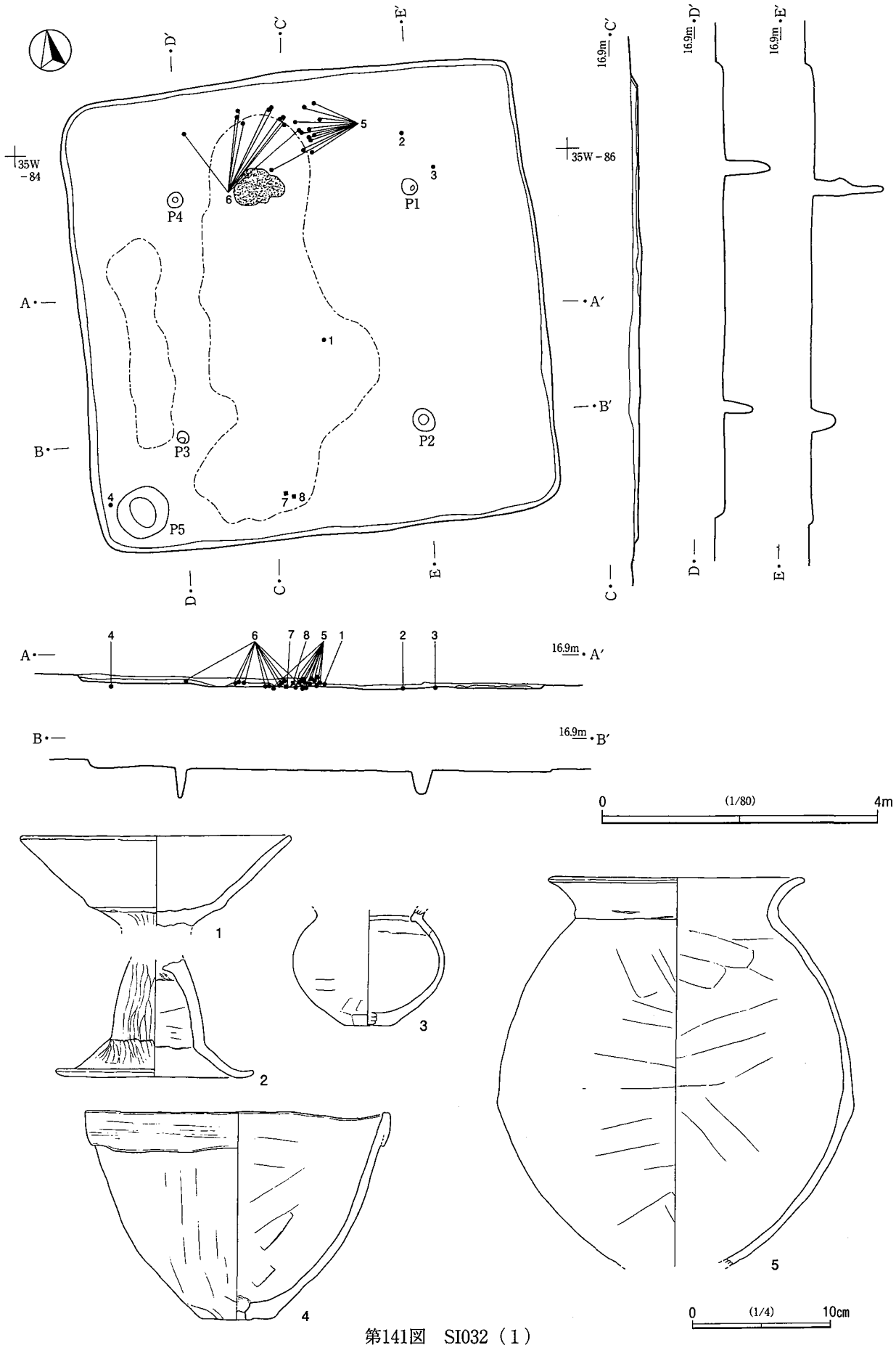
遺物は壷・甕・高杯など土器の他、剣形品・土玉・軽石などであり、他の住居跡に比べ図示できた量が多い。炉から北側の覆土上層に多く、高杯（８）及び土玉（17・18）が床面直上の出土である。また、焼土や炭化材が各壁際に堆積し、覆土中にも焼土粒が混入するため、火災住居と考えられる。

出土遺物

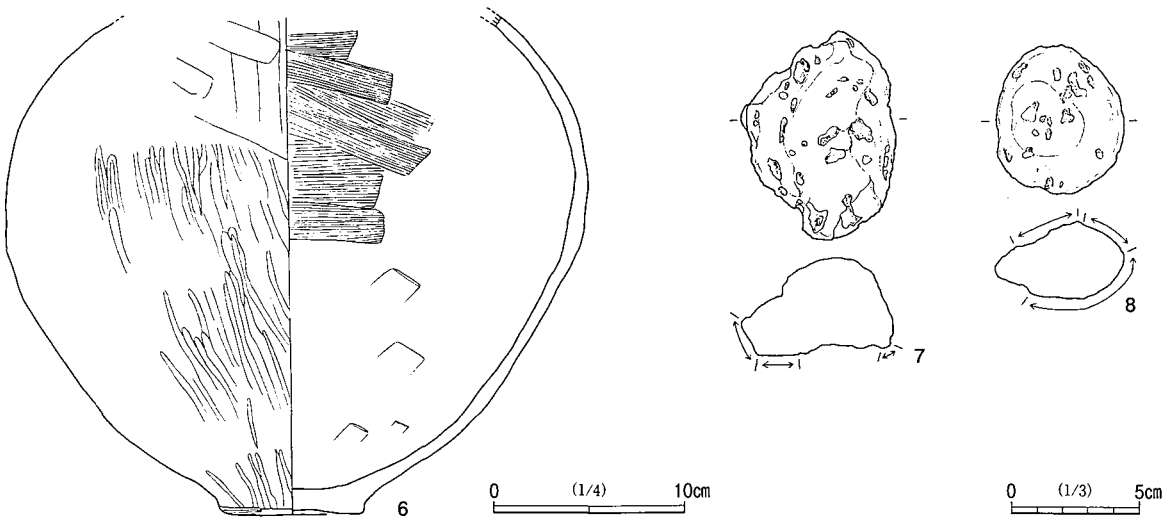
１～８は高杯で、杯・脚共に完形のものはない。１・２は杯部下端から口縁部が外反気味に大きく開く形態で、脚部内面に接合の際の臍が確認できる。１の体部はミガキ、２の口縁部はハケ調整である。３～５は杯部下端の稜が段状になり口縁部が内湾気味に開く形態で、特に５は杯内底が小さく、深い。調整はミガキが施される。７の杯底部は稜が強調され、突帯状に出ている。６の脚部は円錐形だが膨らみが少ない。８は杯底部から脚部で、脚柱部から裾部までラッパ状に広がる形態である。９・14は鉢である。９は口縁部が強く屈曲し、体部との境は折り返し口縁状になる。内外面共にミガキが施されている。14は体部がわずかに張り、口縁部は９に比べ直線的に反る。体部の調整はヘラナデによって仕上げられる。10は小型壷の底部である。11は複合口縁の壷で、胴部はヘラナデ調整である。胴部の一部には鋭角の条線が複数認められ、おそらく金属利器の研磨に利用されたと思われる。12・13は甕である。12の胴部は球形で、外面は口頸部から胴部全体にミガキが施されている。13は12に比べ胴部上半のカーブが緩く、口縁端が強く反る。胴部外面の調整はヘラナデによっている。15は滑石製の剣形品。大型で、両面に鎬の稜が丁寧に造り出されている。16～19は土玉。20・21は軽石で、20の周縁は面を替えて擦り、多角形になっている。

SI032（第141・142図、図版19・46・54）

調査区の南東側、35W－74～35W－95グリッドに跨って位置する住居跡で、SI031から南に約15ｍの距離にある。平面形は主軸を北～南にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北6.78m、東西6.74mである。確認面からの深さは5cm～14cmで、全体的に壁面の遺存状態が悪い。床面は概ね平坦で、硬化面が中央付近から西側、炉の周辺から主柱穴間と西壁寄りに認められている。炉は中央からやや北西に偏って長さ73cm、深さ10cm前後の不整形の地床炉が設けられ、底面が良く焼けて脆くなっている。壁溝は無い。主柱穴は方形の対角線上にP1～P4が整然と所配置され、規模は径19cm～36cm、深さ34cm～1.1ｍと出入りがある。貯蔵穴は南西隅にあるP5で、径76cm・深さ40cmの楕円形に掘り込まれ、底面は平坦である。



第141図　SI032（1）



第142図　SI032（２）

遺物は甕・甑・高杯など土器が主体である。北西隅と炉の北側、中央からやや南側に分布密度が高い箇所があるが、土器それぞれの遺存度が低く、復元できたものは少ない。

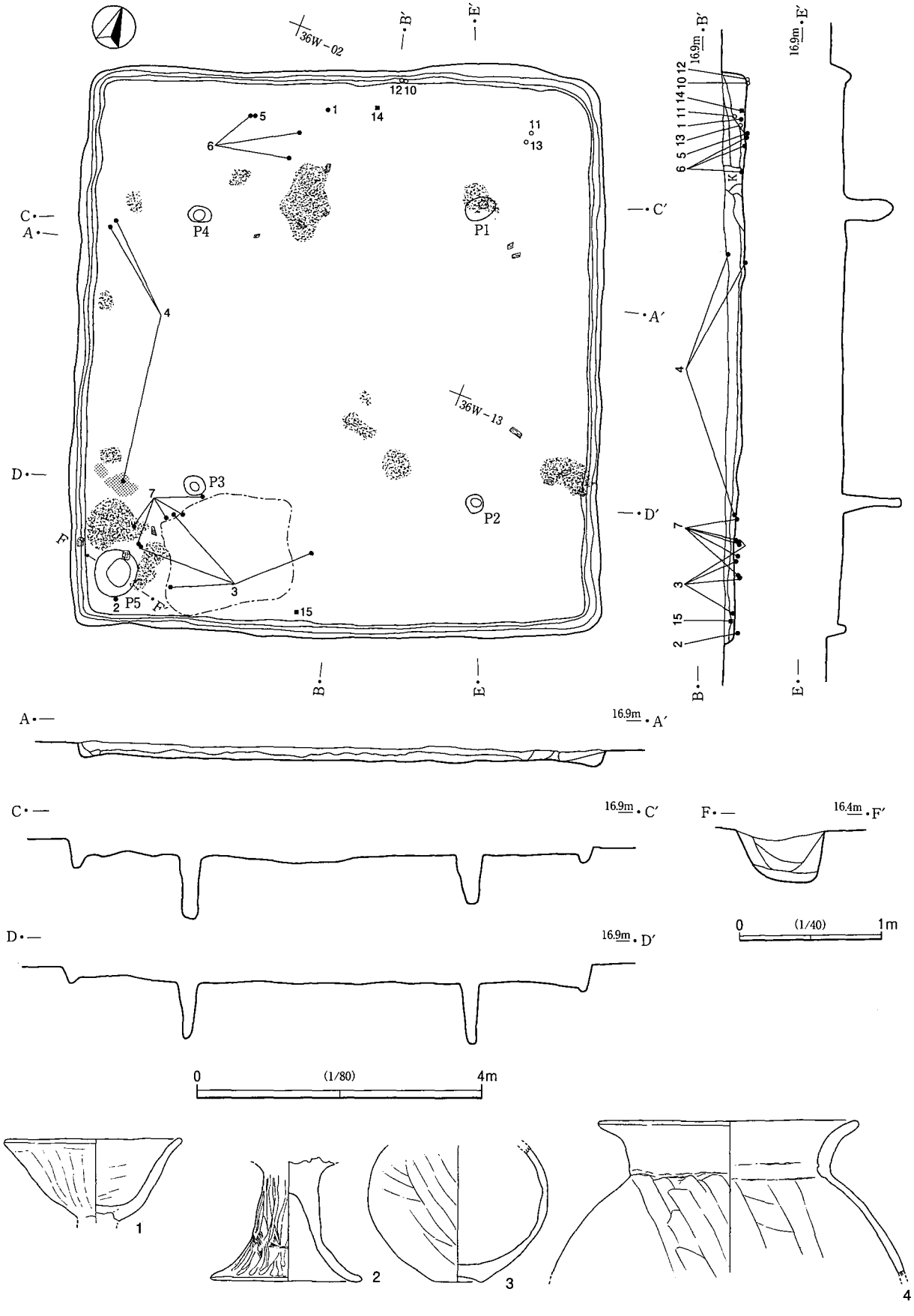
出土遺物

１・２は高杯である。１の杯部は約2/3が残る。下端の稜から口縁部が直線的に開く形態で、底部内面の剥落が著しい。２は脚部で約1/2が残る。脚柱部は膨らみのある円錐形で、裾端が上方に反っている。外面の調整はミガキが施される。３は小型壷の胴部で約1/2が残る。外面はヘラナデ、内面は器面の剥落が著しい。４は甑で約2/3が残る。口縁部は複合口縁で、体部が鉢形の形態である。底部の穿孔は焼成前に行っている。調整は口縁部ヨコナデ、体部はヘラナデによるが、目の粗い工具を使用している。５・６は甕である。５は肩の張りが少なく長胴化の傾向にある形態で、口縁部から胴部の約1/3が残る。胴部中位の最も径が大きい部分は、節のようになっていて、上部と下部を継いで成形した際の名残と思われる。外面の調整がやや粗い割に内面は丁寧にヘラナデされて平滑に仕上げられている。６は肩の張った球形に近い形態で、胴部の約1/3が残る。調整はヘラナデを基本とするが、外面中位から下位にミガキが加えられ、内面上位には木口の粗い工具を使用したハケ状の痕跡が認められる。７・８は軽石である。７は風化面が多く残るが、８は周縁が擦られて丸くなっている。

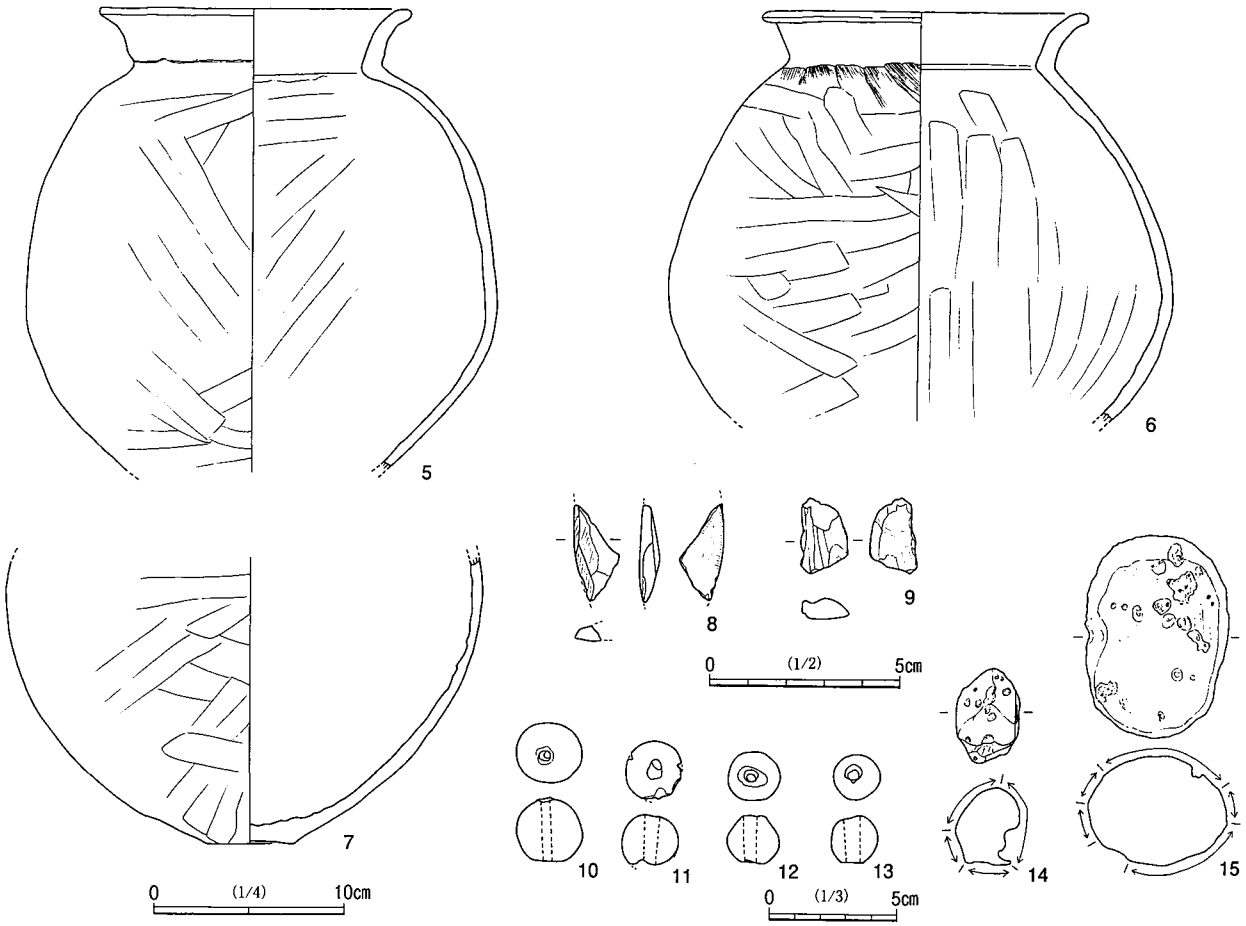
SI033（第143・144図、図版19・46・51・53・54）

調査区の南東側、35W－92～36W－22グリッドに跨って位置する住居跡で、SI032から南西に約５ｍの距離にある。平面形は主軸を北北西～南南東にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北7.98m、東西7.34mである。確認面からの深さは11cm～32cmで、全体的に壁面の遺りが良い。壁に沿って幅10cm～20cm、深さ５cm～12cmの壁溝が巡っている。床面は概ね平坦で、硬化面を南西隅で確認している。炉は中央からやや北西に偏って設けられている。ただ、明瞭に掘り込まれたものではなく、周囲の床面より深さ10cm前後低い不整形の窪みが残る程度である。主柱穴はP1～P4が概ね対角線上に整然と配置される。径は27cm～44cm、深さは70cm～89cmである。貯蔵穴は南西隅に位置するP5である。径67cm、深さ42cmの円形に掘り込まれ、底面は平坦である。

遺物は甕・高杯など土器のほか滑石製品、土玉、軽石がある。土器の大部分は破片で、全体に分散した



第143図　SI033（1）

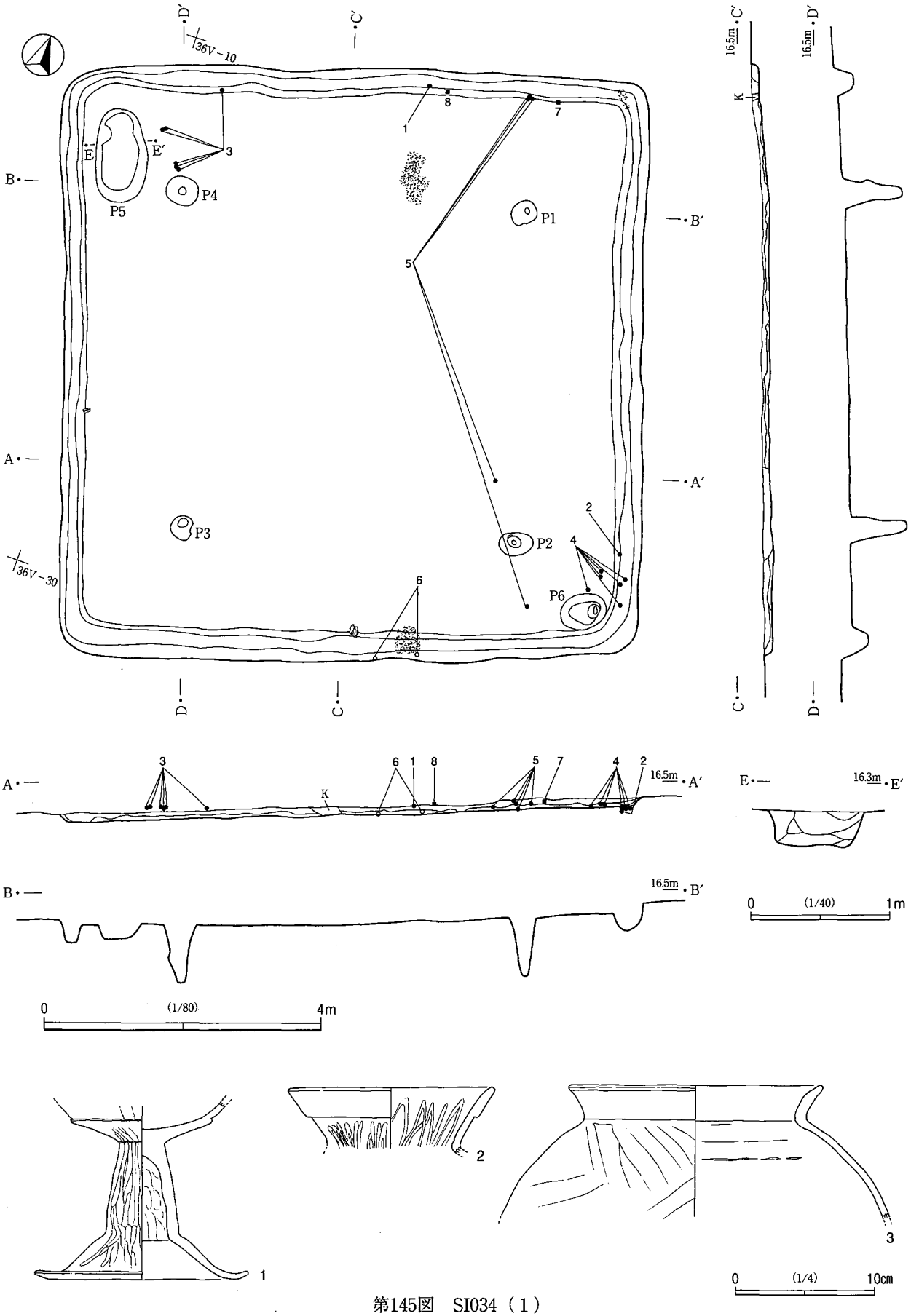


第144図　SI033（2）

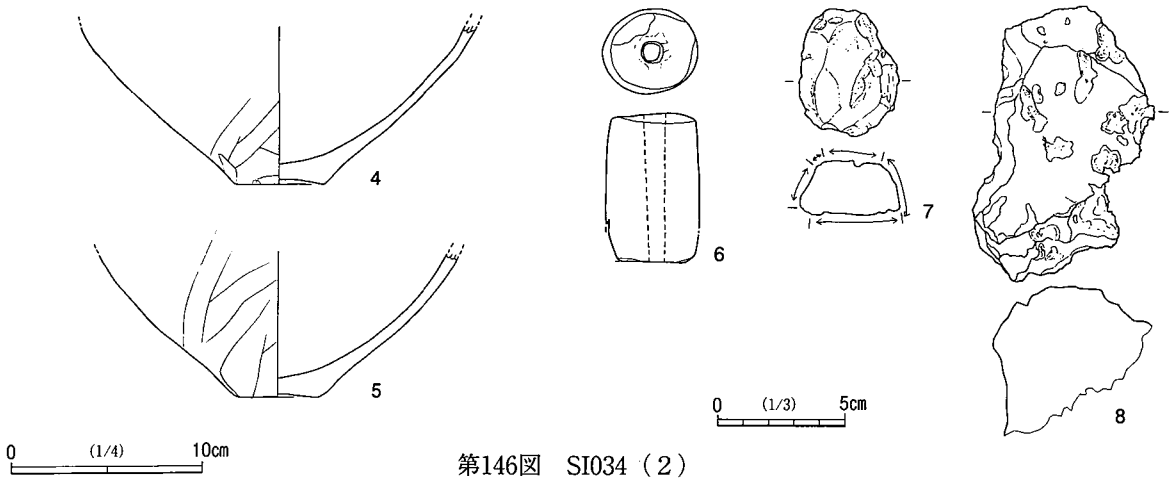
状況で特に集中する箇所はない。また西壁や東壁沿いでは炭化材や焼土塊が床面上に散在し、南西隅では投棄された白色粘土の塊が出土している。

出土遺物

1・2は高杯である。1は杯部と思われる。口径に比べ体高が高い（深い）椀形の形態で、口唇部や体部が歪んいる。外面の調整は粗いヘラナデを残す面とミガキに似たナデを加えている面がある。また内面も体部が丁寧な割には底面は粗いヘラナデ調整で仕上げてあり、全体に造りが粗い印象を受ける。底部外面の接合部は脚を嵌め込む様に凹面が造り出され、中央部がわずかに丸く突出している。2は小振りの円筒形の脚部である。裾の屈折度が弱く開きが少ない。外面にミガキが施されている。また内面には煤が付着している。3は小型壷の胴部で約1/3が遺る。胴部外面は丁寧なヘラナデ調整である。4～7は甕である。4は口縁部に胴部上位の約1/3が遺る。5は底部を欠く。胴部上位、肩の部分がわずかに張るがいわゆる下膨れの胴部形態で、ヘラナデ調整である。外面には煤が付着している。6の胴部も下位が張る形態で、肩の張りは5に比べて緩やかである。上位にハケ調整、下位はヘラナデの後ミガキ状のナデが加えられる。7は胴下半部。内面の剥落が著しく、遺りは良くない。8・9は滑石製の模造品。8は剣形品の一部で、側面の稜が丁寧に造られている。9は研磨面が一部に遺る破片。片面が平らで、上面の端は樋状に窪んで研磨された部分があり、砥石として利用された可能性もある。10～13は土玉である。10の下孔の周りには布目が認められる。この面が平らになっていることから、布の上に丸く成形した玉を載せ、穿孔時の加圧で布目模様がついたと思われる。一部を欠く11以外も一方の孔の面が平らになっている。また、12



第145図　SI034（1）



第146図　SI034（２）

を除く３点は黒く光沢を帯びる。14・15は軽石で、周縁が擦られている。

SI034（第145・146図、図版19・20・46・53）

調査区の南東側、36V－01～36V－30グリッドに跨って位置する住居跡で、SI033から西に約40mの距離にある。平面形は主軸を北北西～南南東にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北8.59m、東西8.37mの大型住居である。確認面からの深さは５cm～22cmで、全体的に壁面の遺りが悪い。壁に沿って幅27cm～38cm、深さ16cm～28cmの壁溝が巡っている。床面は北から南、東から西に向かって傾斜しており、その高低差は20cm前後ある。硬化面は確認していない。炉は中央からやや北に偏って地床炉が設けられ、中央部が良く焼けている。ただ、掘り込みはなく、周囲の床面より10cm前後高く焼土が堆積し、その下面に凹凸が残る程度である。主柱穴はP1～P4で、概ね対角線上に整然と配置されている。径は36cm～52cm、深さは81cm～89cmである。貯蔵穴は北西隅のP5と南東隅のP6である。P5は長さ1.38m・幅76cm・深さ27cmの楕円形で、底面は平坦である。P6は壁溝に接する。長さ66cm・幅52cm・深さ42cmの楕円形で、用途は定かでないが、底面の端に径20cm前後、深さ12cmの小ピットが掘り込まれている。

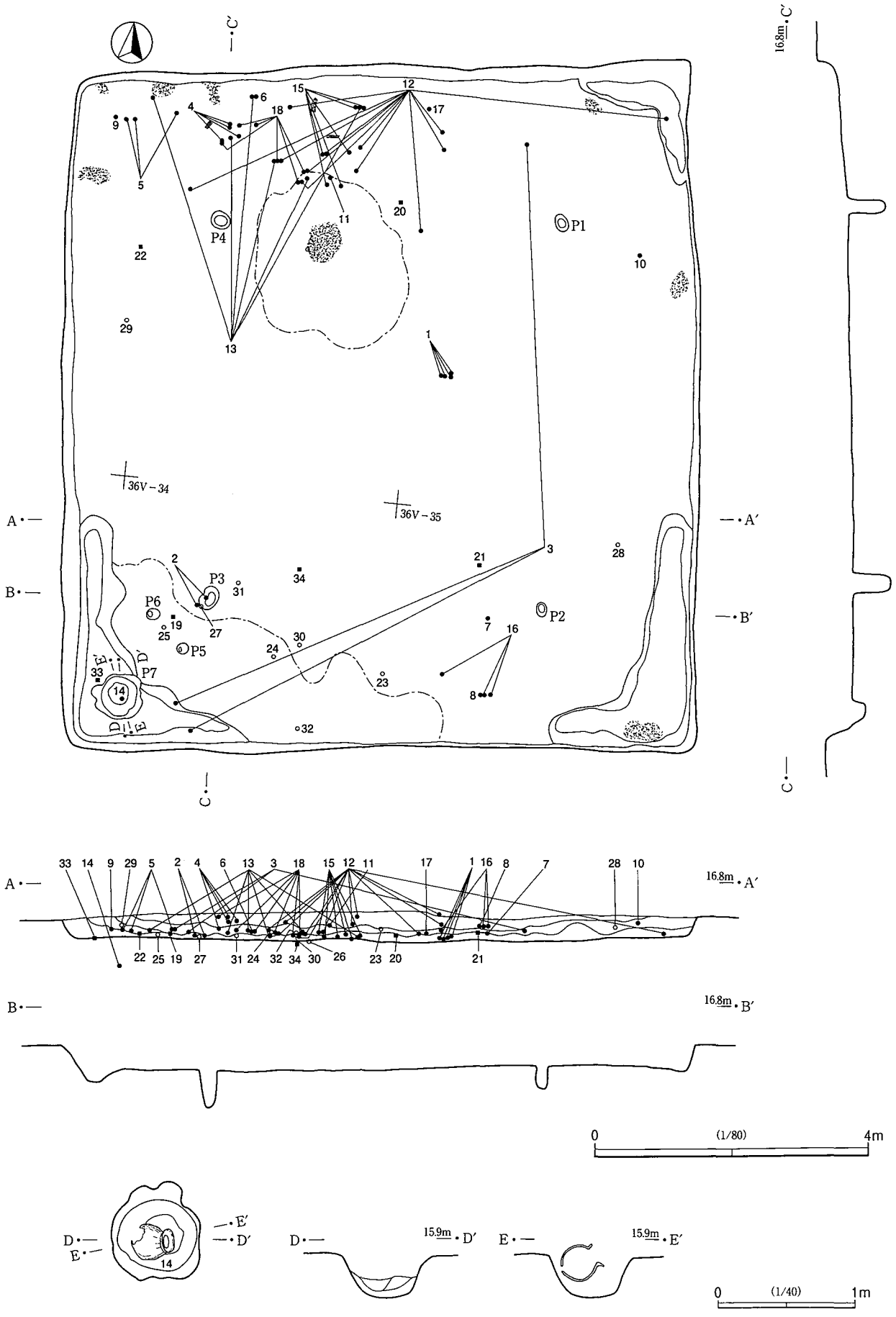
遺物は壷・甕・高杯など土器の他、土錘、軽石が出土している。土器はすべて破片で分散した状況だが全体的には壁際、炉の北側や北西、南東側に分布の偏りが認められる。

出土遺物

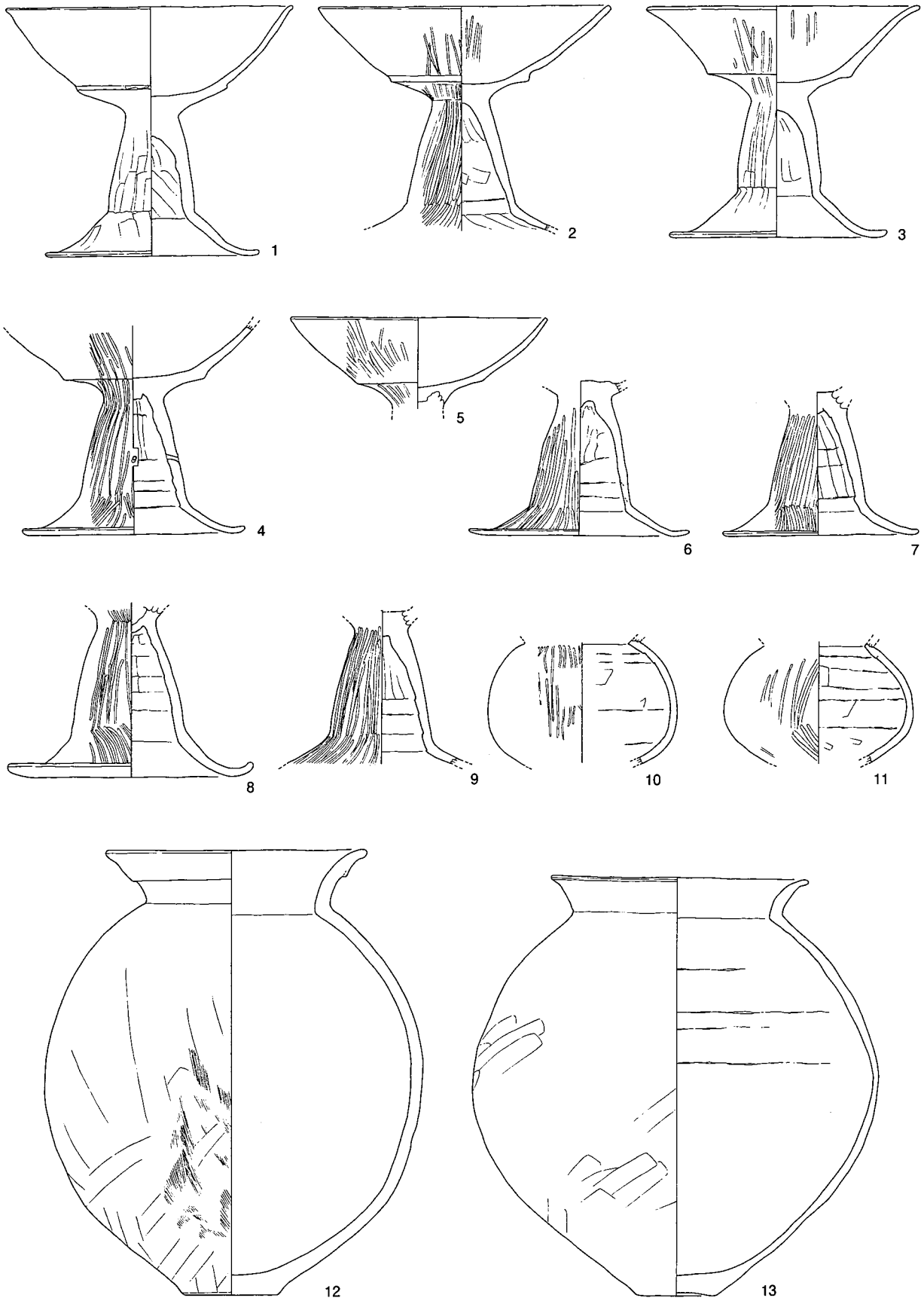
１は高杯である。口縁部と脚裾部の約1/2を欠く。底部下端に明瞭な稜をもち、膨らみのある円錐形の脚柱部から裾が屈折して開き、裾端はわずかに反っている。外面にミガキが施される。なお、図示できなかったがこれと同じ形態の脚部がもう１点出土している。２は複合口縁の壷の口頸部で、内外面にミガキが施される。３～５は甕である。３は口縁から胴部上位の約1/3が遺る。肩の張った形態で、胴部はヘラナデ調整である。４・５は共に胴部下位から底部である。両者ともよく似た形態で、ヘラナデ調整を基本としている。６は円筒形の土錘である。７・８は軽石である。７は周縁に擦痕が認められるが、８の礫片は特に擦った痕跡は観察されない。

SI035（第147～149図、図版20・47・52・53）

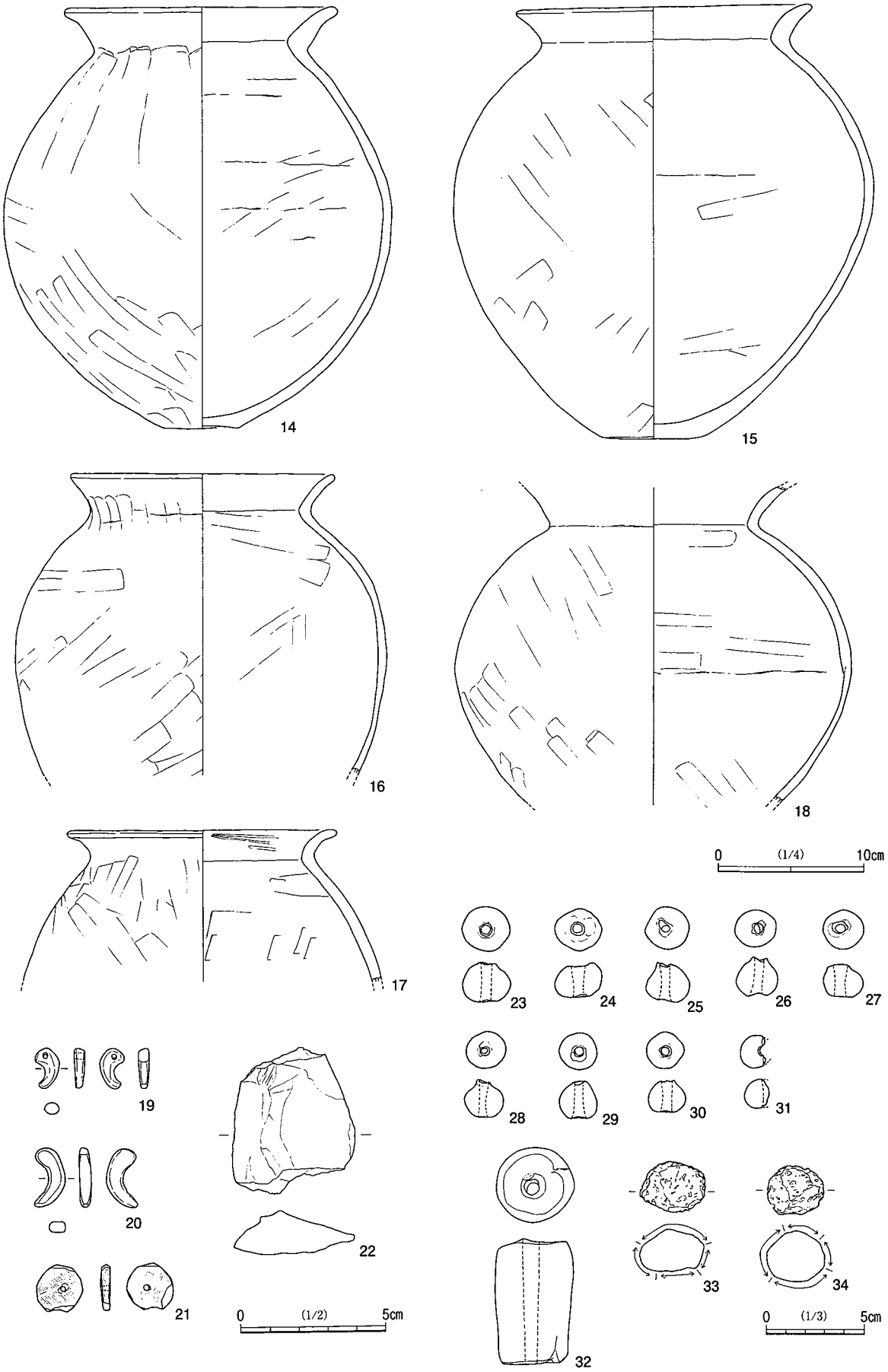
調査区の南東側、36V－13～36V－36グリッドに跨って位置する住居跡で、SI034から東に約６mの距離にある。平面形は主軸を北～南にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北10.0m、東西9.35mの大型住居である。確認面からの深さは29cm～37cmで、壁の遺りは比較的良い。北西隅を除いた３か所の隅付近



第147図　SI035（1）



第148図　SI035（2）



第149図　SI035（3）

は壁に沿って溝状に掘り込まれているが、壁溝の様に一定の幅ではなく隅付近で幅広になっている。床面は概ね平坦で炉跡周辺と南西側で硬化面を確認している。炉は中央からやや北西に寄った位置にあるが、明瞭な掘り込みが無く、焼けて赤く変色した痕跡が残っているに過ぎない。主柱穴はP1～P4で、対角線上に整然と配置されている。柱穴の径は22cm～35cm、深さは40cm～60cmである。貯蔵穴は南西隅のP7で、前述した角付近に巡る溝の中に収まっている。規模は径70cm、深さ30cmで、底面はほぼ平である。穴の中から甕（14）が横倒しの状態で出土している。

遺物は壷・高杯・甕など土器が多く、他に勾玉・有孔円板の滑石製模造品、滑石剥片、土玉・土錘、軽石などが出土している。これらの遺物は住居跡の北西側と南西側に集中するが、土器片が広範囲に接合することや高杯の杯・脚が分離して完形品に乏しいこと、出土した層位も下層から上層に及んでいることから大半の遺物が住居廃絶後の埋没過程で投棄されたものと思われる。

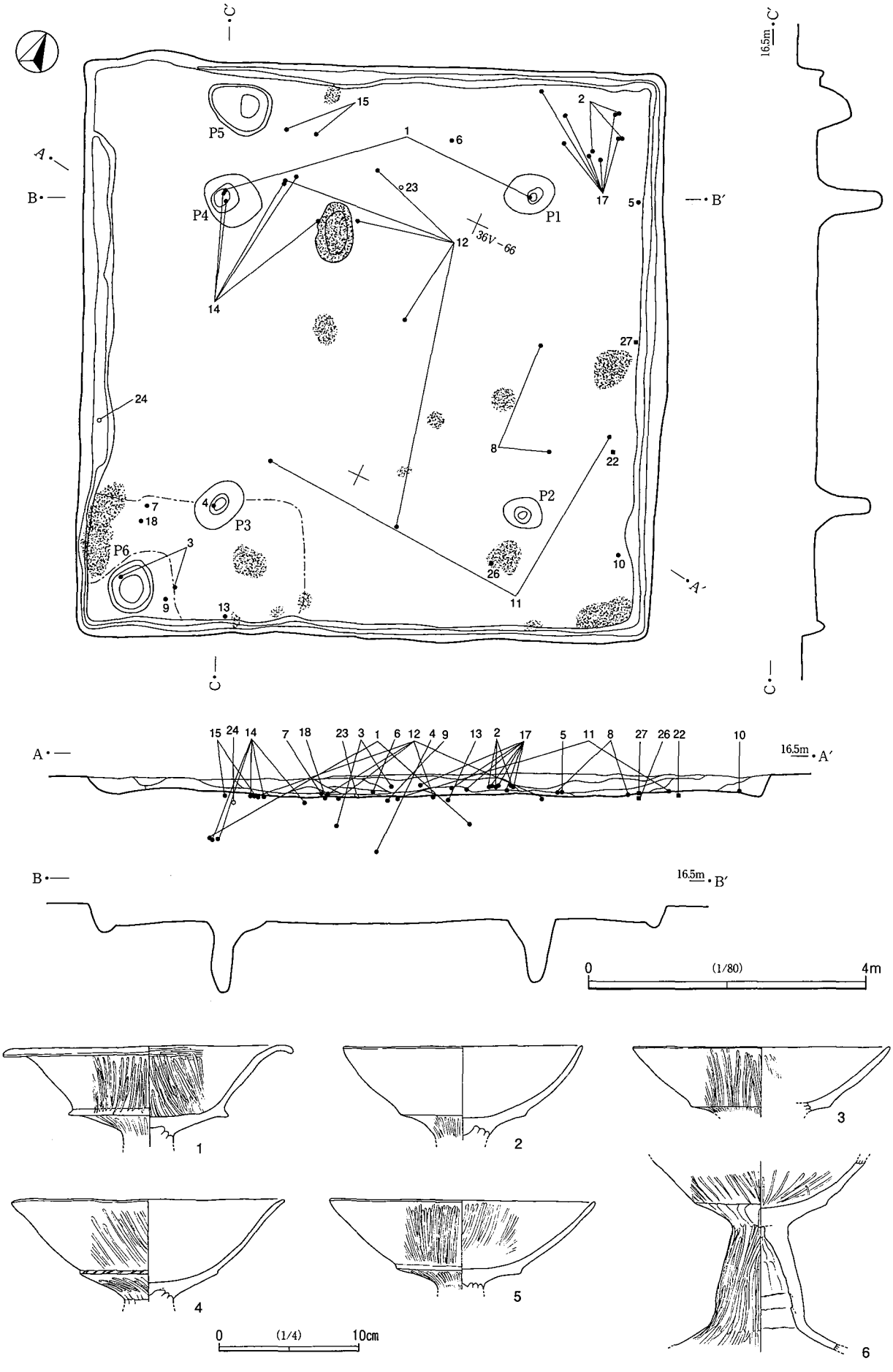
出土遺物

１～９は高杯である。杯口縁部や脚部形態に多少の個体差はあるが、基本的には口径が大きく杯底部に明瞭な稜或いは段を有する杯部、膨らみのある円錐形の屈折脚という共通する形態である。杯部と脚部との接合部は１・３のように厚く仕上げるもの、４～８のように臍継ぎ状になるもの、２のように薄いものと多様である。外面の調整は１がヘラナデ、それ以外はミガキが施されている。また、４の脚柱部には焼成前に小さな孔が１か所穿たれている。10・11は小型壷の胴部で、10が球形に近く、11は下膨れの形態である。調整は外面に縦方向のミガキを疎らに施し、内面に輪積み痕を残す点で共通している。12は大型の複合口縁壷で、約4/5が遺る。口縁部が強く外反し、胴部中位で最大径をもち、底部が突出する。調整は口縁部から胴部上位の器面が荒れて不明瞭だが、中位から下位をハケ調整後、丁寧なヘラナデ調整によって仕上げている。13～18は甕で、調整はヘラナデ調整を基本とする。13は胴部が強く張り、底部に向かって絞り込まれるような形態で、14は胴部の一部を欠く。胴部上半の張りが弱く下半が強い、下膨れ形態である。底部内面と外面胴部上半に煤が付着している。15は最大径がやや上位にあるが、13に近い形である。外面及び底部内面に煤が付着している。19・20は滑石製の勾玉である。19の孔は片面穿孔で、内面には加工痕と見られるリング状のスジが認められる。20は穿孔される前の未成品である。21は滑石製の有孔円板で、側面の加工はやや雑である。22は滑石の剥片である。片面上部に工具痕と思われる平滑に削られた部位が認められる。なお、図示していないが他に２点の滑石剥片が出土している。23～31は土玉、32は円筒形の土錘である。33・34は軽石で、周縁が良く擦られて多面体になっている。

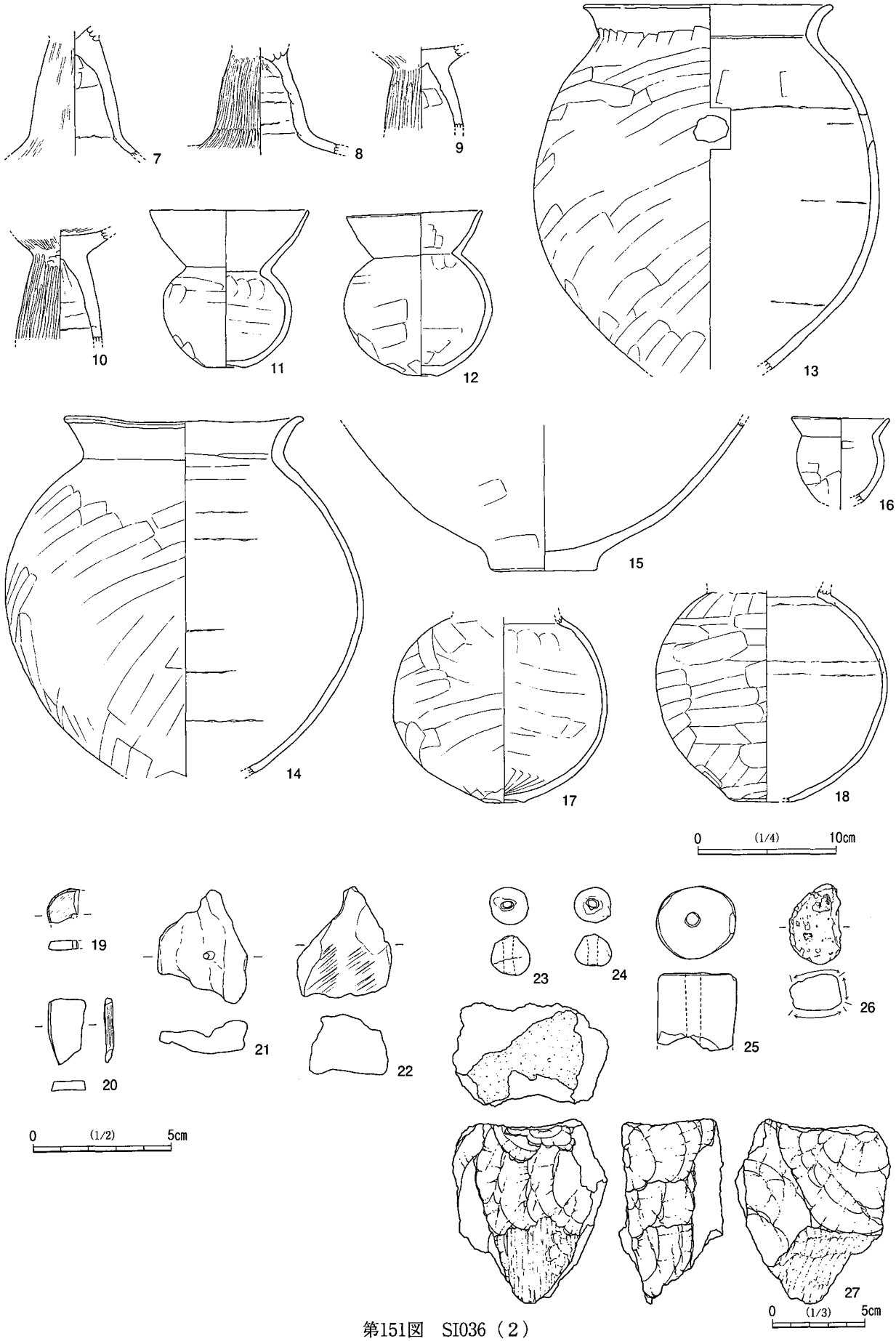
SI036（第150・151図、図版20・47・52・53）

調査区の南東側、36V－54～36V－77グリッドに跨って位置する住居跡で、SI035から南に約６mの距離にある。平面形は主軸を北西～南東にとる方形で、規模は住居跡の中軸線上で南北8.22m、東西8.49mの大型住居である。確認面からの深さは25cm～36cmで、壁の遺りは比較的良い。北西隅を除き壁溝が巡る。床面は概ね平坦で、南西隅の貯蔵穴Ｐ６周辺で硬化面を確認している。炉は中央からやや北西に寄った位置に設けられ、長径90cmの楕円形に掘り込まれている。主柱穴はP1～P4で、対角線上に整然と配置されている。柱穴の径は57cm～88cm、深さは85cm～1.2mである。貯蔵穴は北西側にP5、南西隅にP6の２基が設けられている。P5は楕円形に近い平面形で、底面中央付近が窪む。規模は長径が95cm、深さが57cmである。P6はほぼ円形に掘り込まれ、底面はほぼ平である。規模は径80cm、深さ56cmである。

遺物は甕・小型壷・高杯等土器が主体で、他に滑石製模造品・滑石剥片・石核、土玉・土錘、軽石等が



第150図　SI036（1）

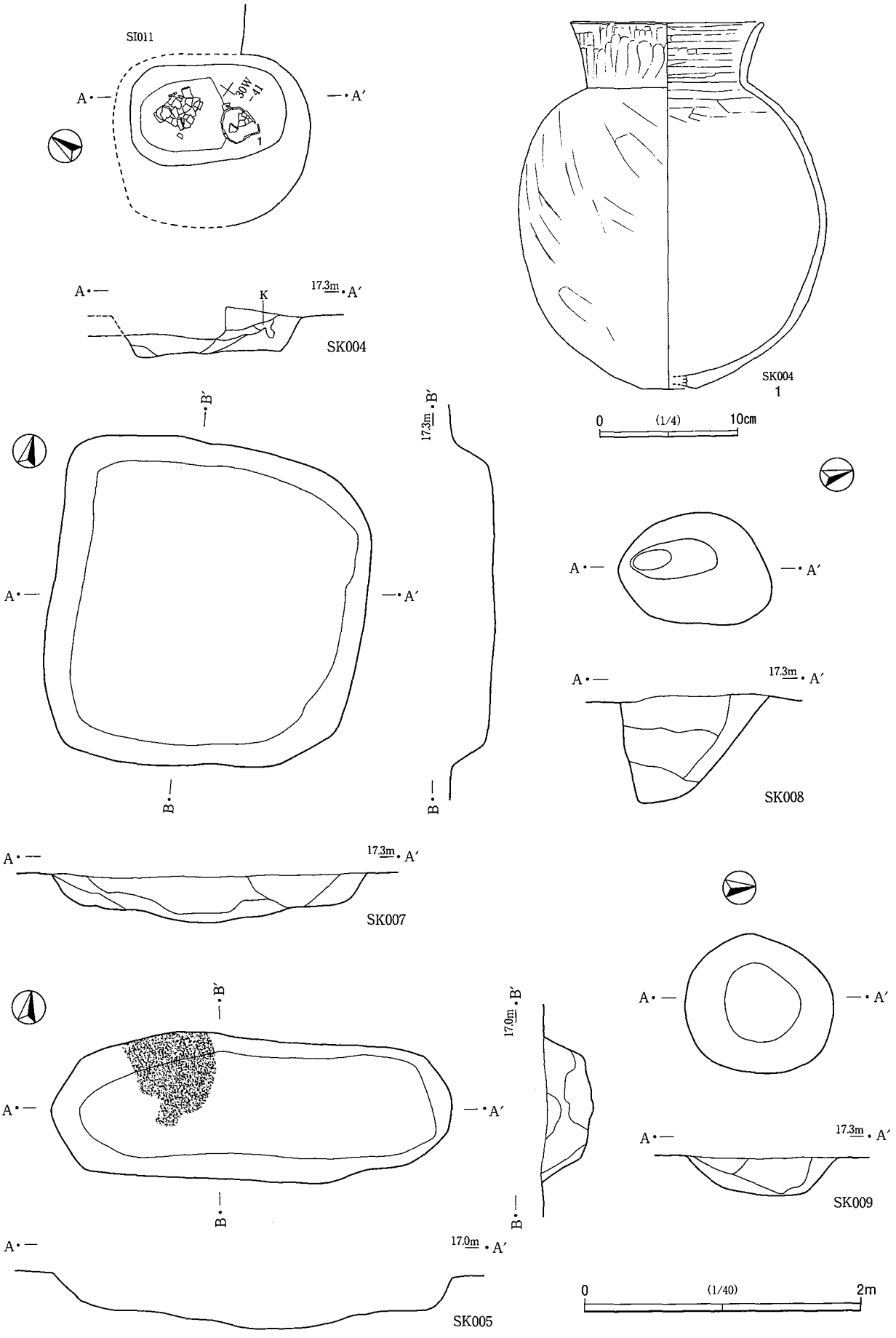


第151図　SI036（2）

ある。土器類は特に集中する箇所は無いが、住居中央付近に比べ壁寄りの床面上及び柱穴内等で出土し、P1・P4の二つの柱穴内で出土した高杯（1）が接合した例や小型壷（11・12）のように広範囲に接合した例がある。甕（13）はＰ６に近い南壁際に口縁部を上にした状態で出土している。滑石製模造品・剥片・石核は東壁寄り～南壁寄りで出土している。滑石の石核や剥片類の存在から石製模造品の製作に関わる住居と考えられる。

出土遺物

１～10は高杯で、そのほとんどが杯と脚に分離している。杯部は個々に形態の差があるが、基本的には有稜・有段高杯の部類に入り、１のように口縁部が折り返されるほど大きく反り、底部端の段が突出する有段杯や２・３・６のように稜付近が屈曲するもの、４・５のように稜が強調され段に変化するものがある。調整は概ねヘラナデに加えてミガキを施し、４のように段側面に刻み目が加えられるものもある。また、脚部との接合部を臍状に造り出す手法も共通している。なお、１にはおそらく有段脚型の脚が付くと思われる。脚部７～10は膨らみのある円錐形で、６の脚部も含めて共通した形態である。11・12は小型壷である。どちらも球形の胴部に口縁部が中位でわずかに屈曲して開く共通した要素があるが、それぞれ口縁部に最大径を持つ11と胴部に最大径を持つ12という特徴的な違いが見られる。胴部外面の調整はヘラナデを基本とするが、12では底部付近がヘラケズリ様になっている。13～15は甕である。13は胴部の張りが弱く、口頸部が緩やかに外反する。胴部上位には外側から径2.5cmほどの孔が穿たれている。胴部外面の調整はヘラナデ調整で、上半は丁寧に仕上げている。14は胴部下半の約1/2を欠き、図上では張りのある球形に近い胴部だが、全体にやや歪んでいる。外面調整は13と同じである。内面に幅の狭い粘土輪積み痕が顕著に残っている。15は胴部下位だけ遺っている。底部が突出し、13・14に比べ大型である。調整は外面がヘラナデ、内面は剥落が酷く不明である。16は甕形のミニチュア。17・18は壷で、どちらも口縁部を欠いている。17は18よりやや小型で、球形の胴部に上げ底の小さな底部となる。外面調整はヘラナデだが粗く、ケズリ様の仕上げである。18は胴部の張りがやや上位にあり、下位はやや括れるように底部に続いている。外面調整は17同様粗いヘラナデ調整である。19は滑石製の有孔円板の破片である。20～22・27は加工痕のある滑石の剥片類と石核である。20は板状に加工された後さらに切断されている。右側面に直線的な切断面が認められる。大きさや厚さから見て臼玉の加工途上品と考えられる。21は中央部に径３㎜ほどの穿孔痕が残る。穿孔途上に割れたものであるが、研磨痕が無く、不定形である。おそらく有孔円板の類を製作していたと思われる。22はそれぞれの先端が尖った、いわば三角四面体とでも言える形をした滑石片で、一つの側面（図の正面）に筋状の擦痕が認められる。擦痕のある面とその右側面には工具で削られたような平滑な面があることから、石製模造品製作工程の上では原石を荒割りした後の段階のものと思われる。27は滑石の石核で、節理に対して直角方向に剥片剥離を繰り返している。正面上辺部に幅１cm前後の工具痕が、下部には研磨され平滑になった面が認められる。なお、これと接合しないが幅２～３cm前後、長さ３～５cm前後の扁平な横長剥片が５点出土しており、うち１点にも同様の工具痕が観察されている。23・24は土玉である。どちらも完全な球体ではなく、片方の孔の部分を摘み上げてイチジクのような形である。25は円筒形の土錘の破片である。26は軽石で、周縁が良く擦られている。



第152図　SK004・005・007・008・009

第２節　土　坑

SK004（第152図、図版21・47）

調査区の北東側、30V－39グリッドに位置する土坑である。住居跡SI011の南西隅と土坑の北側が重複するため、調査当初は住居跡の一部として捉えていたが、遺構の状況や出土した土器の検討から、SI011より新しい土坑であることが判明した。平面形は遺存する壁面と底面の状況を勘案して、土坑底面が東に寄り、西側の壁面が大きく開口する恰好の隅の丸い方形になると思われる。上面での短軸長は1.25mで長軸長1.4m程度と推定したい。底面はSI011の床面より深い位置に達し、長方形を呈する。この部分での計測値は長さ1.13m、幅71cm、深さ26cm～31cmである。

遺物は土坑の南側上層部と北側底面から甕２個体分が分かれて出土している。南側上層部の甕（１）は概ね形を留めたままの状態であったが、北側底面の甕は細片が重なり合い、遺存が悪く復元が困難であった。

出土遺物

甕１は胴部の約1/3を欠く。口頸部が直立気味に反り、胴部は張りの少ない卵形に近い形態となる。口頸部は外面に縦方向、内面に横方向の幅の狭いミガキ様のヘラナデ調整を施し、胴部は内外面共に斜め方向に幅広のヘラナデ調整を施している。

SK005（第152図）

調査区の北東側、30W－56グリッドに位置する。平面形は幅の狭い長楕円形で、長さ2.90m、幅1.02m、確認面からの深さは24cm～41cmである。底面中央部が低く窪み、横断面は「U」字形を呈する。北壁側西寄りに焼土が堆積するが、周囲に焼けた痕跡は観察されていないので、性格は不明である。遺物は出土していない。

SK007（第152図、図版21）

調査区の北東側、30W－81グリッドに位置する。平面形はやや隅の丸い方形で、長軸2.36m、短軸2.24mを測る。確認面からの深さは21cm～35cm、壁は坑底から緩やかにに立ちあがる。底面にわずかな起伏があり、中央付近が周囲より低い。覆土中から土師器の破片が３点出土したが、器種の特定はできなかった。

SK008（第152図、図版21）

本土坑及び後述するSK009～SK013の６基の土坑は、調査区の北東側、31V－18グリッド～31V－38グリッド付近の竪穴住居跡SI013とSI014との間に位置する一群である。本跡とSK009、SK010～SK013がそれぞれ南西～北東方向に近接して並んでいるが、規模や形状、土層の状況など相互の関連性に乏しく、掘立柱建物跡のような企画性も無い。

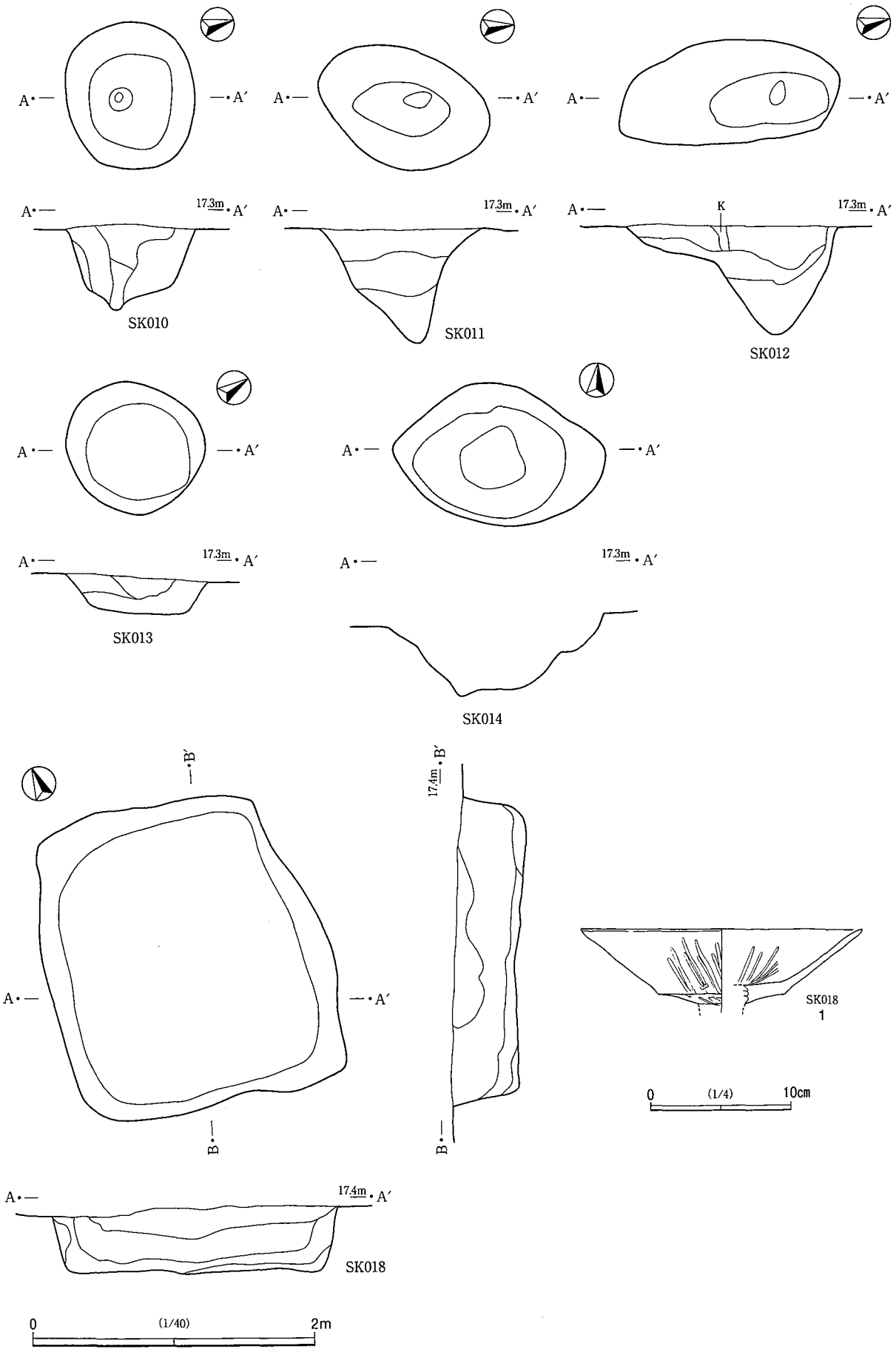
平面形は長軸方向をほぼ南北にとる楕円形である。規模は長軸1.13m、短軸81cm、深さ70cmである。底面は尖底状で平坦部が狭く、長軸方向の一端に寄って掘り込まれるため、壁面の傾斜角が大きく異なっている。遺物は出土していない。

SK009（第152図、図版21）

31V－18グリッドに位置し、SK008とは60cmの間隔である。平面形はほぼ円形で、長径1.08m、短径97cmである。底面は平坦で、壁面が緩やかに立ち上がり底面との境が不明瞭である。確認面からの深さは70cmである。遺物は出土していない。

SK010（第153図）

31V－29グリッドに位置し、SK008から南東に約２mの間隔である。平面形はほぼ円形で長径1.04m、



第153図　SK010・011・012・013・014・018

短径93cmである。底面は壁際から中央部に向かって低くなっており、その一部分が小さく窪んでいる。断面の観察では、上層からこの窪みに向かって締まりのない層が入っているので、木根の攪乱を受けているかもしれない。遺物は出土していない。

SK011（第153図、図版21）

31V－29グリッドに位置し、SK010とは南西に約１mの間隔である。平面形は長軸を南北にとる楕円形で、長軸長1.26m、短軸長84cmである。底面は尖底状でやや北に偏り、壁面が斜めに立ち上がる。確認面からの深さは85cmである。遺物は出土していない。

SK012（第153図、図版21）

31V－29グリッドに位置し、SK011の南に隣接する。平面形は長軸を南西方向にとる楕円形で、長軸長1.62m、短軸長73cmである。底面は北側に寄って尖底状となるが、南側が段状に掘り込まれ、確認面からの深さは南側で21cm、最深部で85cmである。遺物は出土していない。

SK013（第153図）

31V－38グリッドに位置し、SK012とは南に約１mの間隔である。平面形はほぼ円形で長径96cm、短径89cmである。底面は平坦で、壁面が斜めに立ち上がる。確認面からの深さは20cm～27cmである。遺物は出土していない。

SK014（第153図）

31W－11グリッドに位置し、SI013の床面を切って掘り込まれている。北西から南東方向に斜めに横切る古道があったため、重複するSI013と同様に上面を攪乱されている。平面形は長軸をほぼ東西方向にとる不整な楕円形で、長軸長1.53m、短軸長1.0mである。壁面や底面は窪みや瘤状の起伏が多く、整った掘り方ではない。確認面からの深さは、底面中央で53cmである。遺物は出土していない。

SK018（第153図、図版21）

調査区の中央からやや東、32V－09グリッドに位置する。平面形はやや歪みのある方形で、長軸長2.15m、短軸長1.98mである。底面はほぼ平坦で、壁面がしっかりと立ち上がる。確認面からの深さは40cm～45cmである。覆土中から高杯等土器片がわずかに出土している。

出土遺物

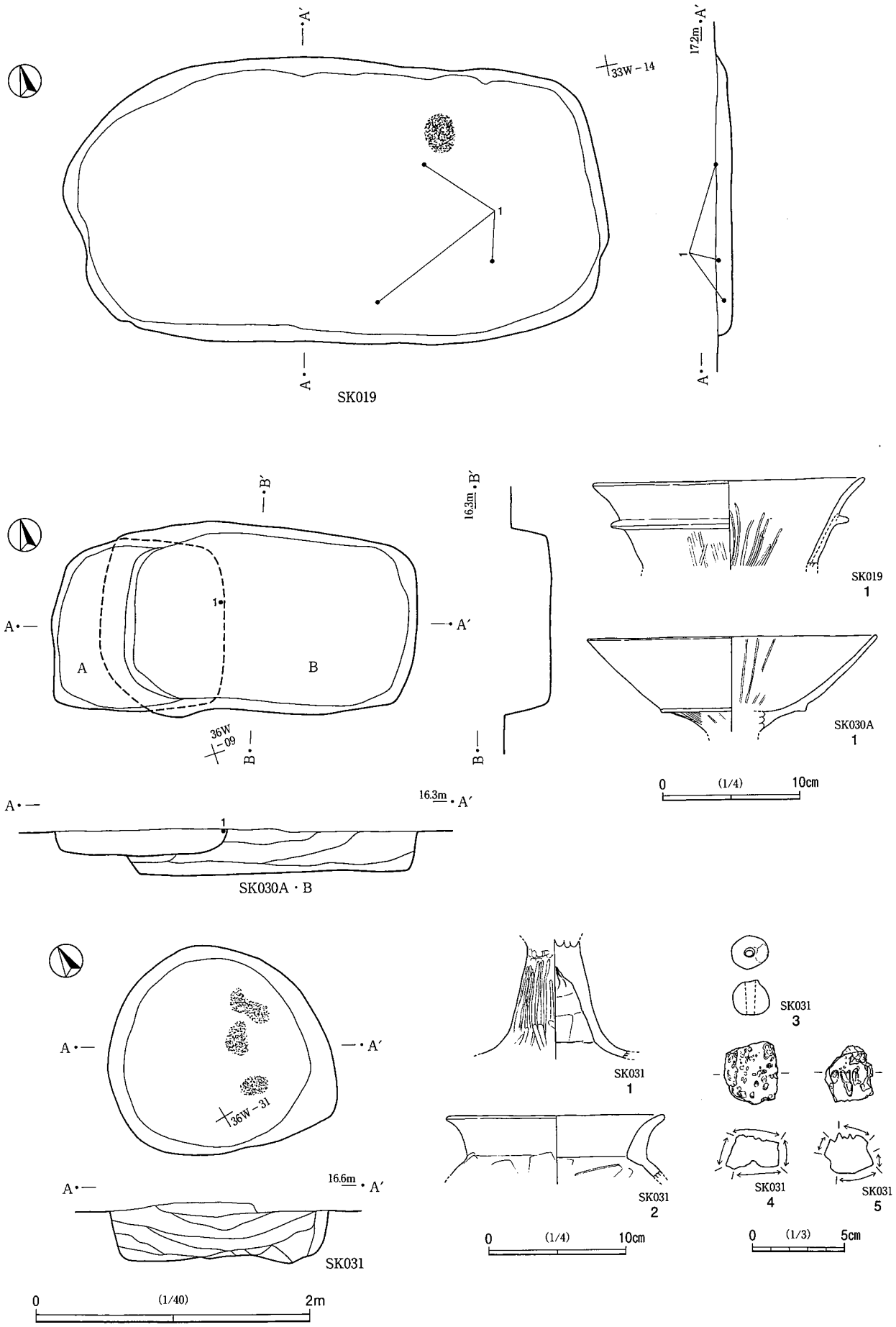
１は高杯で、杯部の約1/4が残存する。底部下端に稜を有し、口縁部が直線的に開く。内底面の輪郭が明瞭で、浅い形態となる。調整は内外面ヘラナデの後、軽くミガキを加えている。

SK019（第154図）

33W－13グリッドに位置し、SI022の北約５mの距離にある。平面形は長軸を東西方向にとる隅の丸い長方形で、長軸長3.97m、短軸長2.08mである。底面はほぼ平坦で、確認面からの深さは浅く、10cm前後である。遺物は土器片が40点ほど出土しているが、図示できたのは壷の口縁部（１）だけである。中央付近から東寄りを中心に散っていて、確認面に近いレベルで出土したものが多い。また、北壁寄りで径20cmほどの範囲に焼土が堆積している。

出土遺物

１は壷の口縁部で、約1/2が残存する。外反する口縁部の中間に一段の突出する縁が巡る。調整はヨコナデの後、疎らにミガキが加えられている。

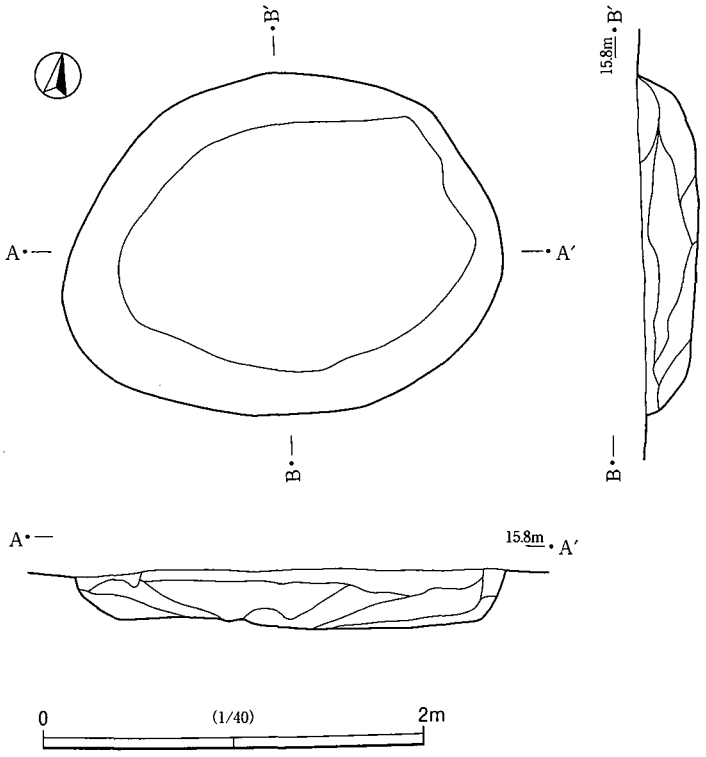


第154図　SK019・030A・B・031

SK030A・B（第154図、図版21）

調査区の南東側、36W－08グリッドに位置し、SI032の東約13mの距離にある。東西方向に二つの土坑が重複しており、西側のAが東側のBを切っている。Aは残存部の一辺が1.3m、断面図からの推定値が1.25m程の方形と推定される。確認面から12cm～19cmの深さで、底面はほぼ平坦である。

Bは長方形で、残存部での長軸長が2.17m、短軸長1.36mである。底面は平坦で、壁はしっかりと立ち上がっている。確認面からの深さは25cm～35cmである。遺物は土器片が10点程度出土し、平面的な分布では主に土坑Bの範囲に散布している方が多い。ただ、図示した高杯（1）のように、確認面付近で出土しているため、その帰属は断定できない。



第155図　SK033

出土遺物

1は高杯で、杯部の1/3が残存する。底部下端に段状の稜を有し、口縁部が直線的に開く。調整は内外面ヘラナデの後、一部にミガキを加えている。

SK031（第154図、図版21）

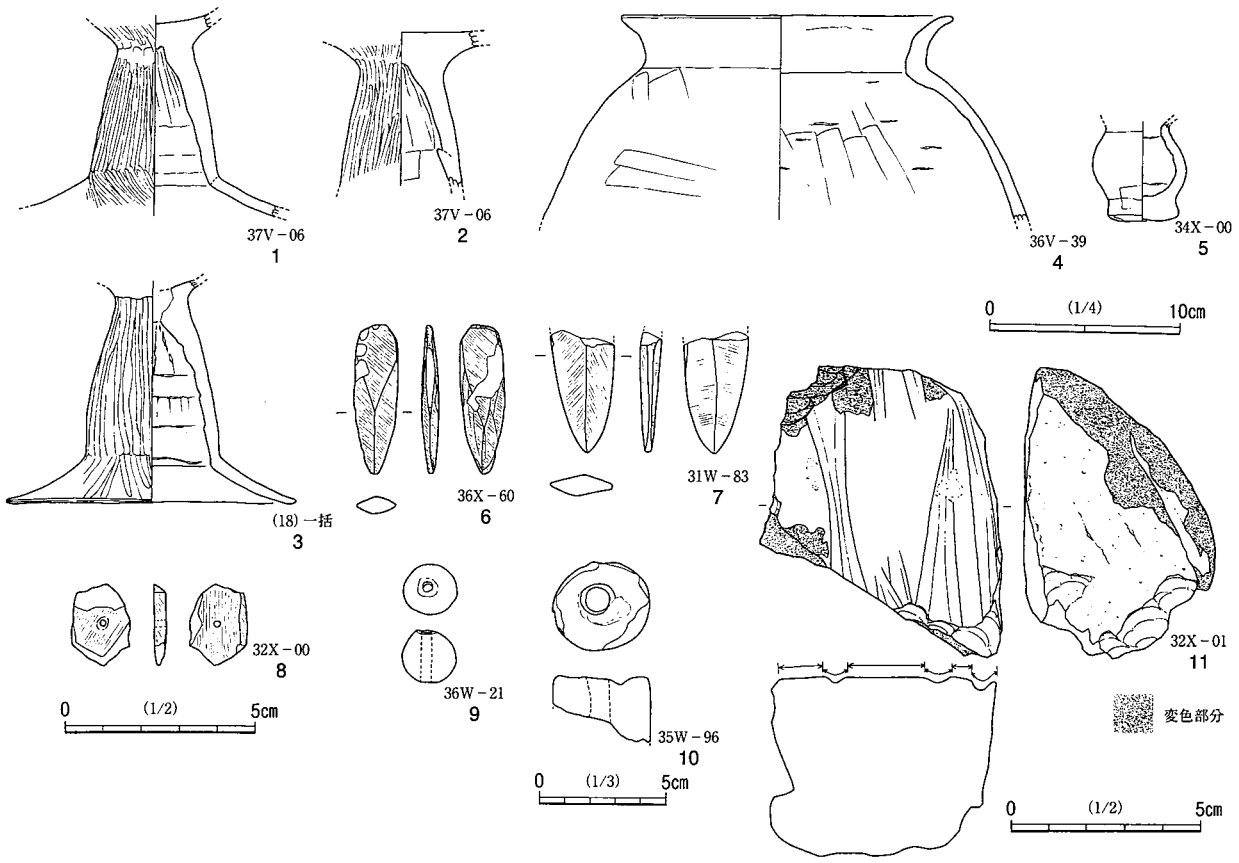
36W－20グリッドに位置し、SI033の西約5mの距離にある。平面形はやや歪んだ円形で、径は1.6mである。底面は中央部が周縁の壁際に比べ、やや高くなる。壁はほぼ垂直に立ち上がり、しっかりした掘り方である。遺物は土器片の他、軽石、土玉が出土している。土器片は覆土上層から中層に多い。また、東に偏って焼土ブロックが堆積している。

出土遺物

1は高杯の脚部である。円錐形の脚柱部から裾が屈折して開くが、開き方が緩やかで脚高が比較的低い。外面にミガキが施される。2は甕の口縁部である。外面の調整は口縁部をヨコナデ、頸部はヘラナデである。3は土玉。4・5は軽石で、周縁に擦痕が認められる。

SK033（第155図、図版21）

調査区の南側、37V－14グリッドに位置する。古墳時代の遺構群の南端にあたり、SI036とは南に約13mの距離にある。平面形は長軸をほぼ東西方向にとる楕円形で、長軸長2.3m、短軸長1.84mである。底面はわずかながら起伏があり、全体に南側から北側に緩く傾斜している。壁面の立ち上がる角度は一定しない。遺物は土器片がわずかに出土したが、図示できるものは無い。



第156図　グリッド出土遺物

第３節　グリッド出土の遺物（第156図、図版51～53・55）

１～３は高杯の脚部である。膨らみのある円錐形の脚柱部が共通した特徴で、裾部を欠く２も１や３と同じ形態であろう。外面の調整は仕上げにミガキを施す点でも共通している。内面は１がヘラナデ、２・３は輪積み痕を残している。４は甕の口縁部から胴部である。口縁端が強く外反し、胴部はやや肩の張る形態である。調整は外面、内面ともヘラナデを基調とする。５は壺形の手捏ね土器である。厚く突出する底部をヘラナデするが、全体に指頭で整形し粗雑な造りである。６・７は滑石製の剣形模造品である。６は両面に鏑が研ぎ出されている。穿孔されない剣形品の例もあるが、部位によって研磨の度合いが異なっており、特に基部は粗い研磨痕を残しているので、穿孔前の未製品と思われる。７は基部を欠損している。両面に鏑が丁寧に研ぎ出されている。８は有孔円板の未製品である。両面が研磨された板状品の片面から穿孔している。９は土玉、10は円筒状の土錘である。11は砥石である。砥面の右側に２条、左側に１条の樋状の溝がある。溝は幅５㎜～10㎜、深さ1.5㎜～2.1㎜である。砥面は溝内も含めて全体に平滑であり、勾玉等の石製模造品を精製する際に使用された可能性が高い。石質は凝灰岩である。なお、砥面の一部と背面は濃茶色に変色した部分があるが、原因は不明である。現存長76.50㎜・幅64.00㎜・厚さ51.00㎜・重さ215.15ｇ。

第５章　奈良時代

概観　奈良時代の遺構は竪穴住居跡４軒である。このうちSI037～039の３軒は調査区南東側の一角にまとまるが、もう１軒のSI040はこの一群から距離を置いた調査区南西隅に位置している。いずれも一辺３ｍ前後の小規模な竪穴住居跡で、柱穴も完備していない。出土遺物は土師器及び須恵器があり、須恵器では東海地域や常陸（茨城県）産と見られるものがある。

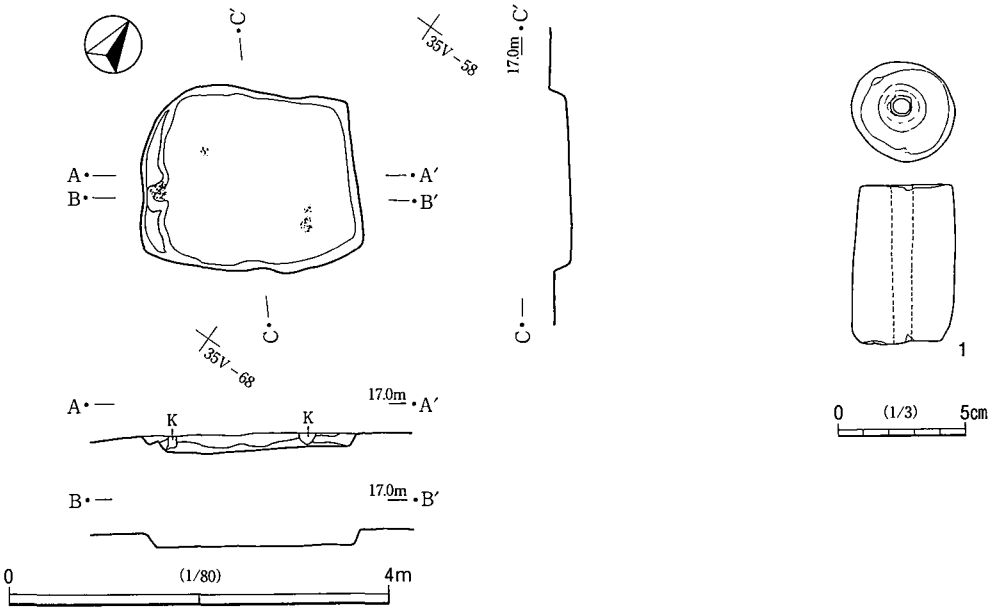
第１節　竪穴住居跡

SI037（第157図、図版22・53）

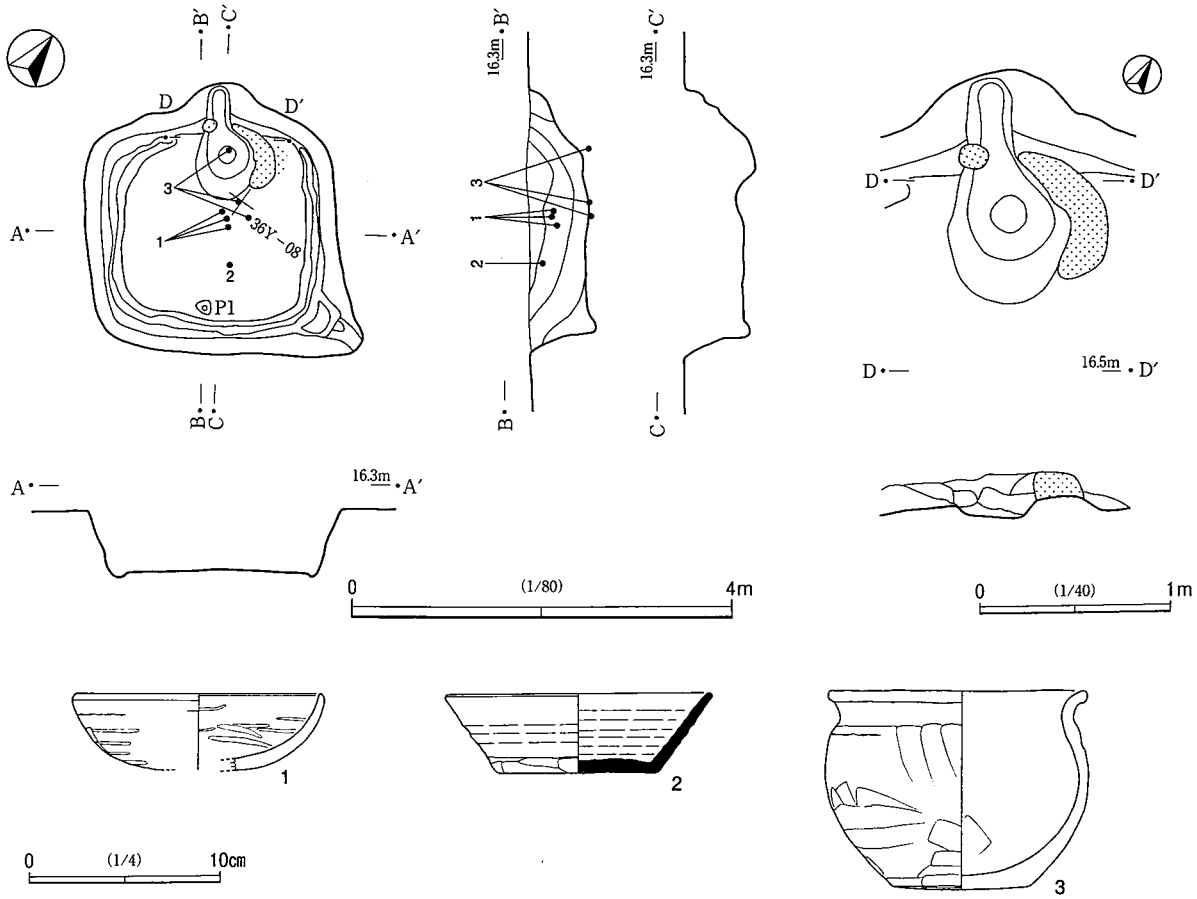
調査区の南東側、35V－57グリッドから35V－38グリッドに跨って位置し、SI030から南西約５ｍの距離にある。平面形は主軸を南西～北東方向にとる長方形で、規模は長軸長2.20m、短軸長1.87ｍの小型である。西壁が二段のテラス状に張り出す構造で、その中央付近が横幅28cm、奥行き20cm程窪んでいる。窪みの上部に焼土が堆積することから、火床と考えられる。ただ、砂質粘土のようなカマドの部材が残されていないため、カマド構造は不明である。床面は平坦で、確認面からの深さは16cm～18cmである。また床面上の３か所に焼土が堆積していたが、周囲に焼けた痕跡はないため、埋没過程で流入したものだろう。柱穴や貯蔵穴等の施設は無い。遺物は土師器・須恵器の破片が少量と土錘（１）が１点出土したが、土器類は遺存が悪く図示できなかった。

SI038（第158図、図版22・47）

調査区の南東側、35V－97グリッド～36V－08グリッドに跨って位置し、SI037から南に約15mの距離にある。平面形は主軸を北西～南東方向にとる四隅がやや丸い方形で、南東隅が張り出している。規模は住居の中軸線上で東西2.64m、南北2.56ｍで、確認面からの深さは61cm～67cmである。壁は遺存が良く、カ



第157図　SI037



第158図　SI038

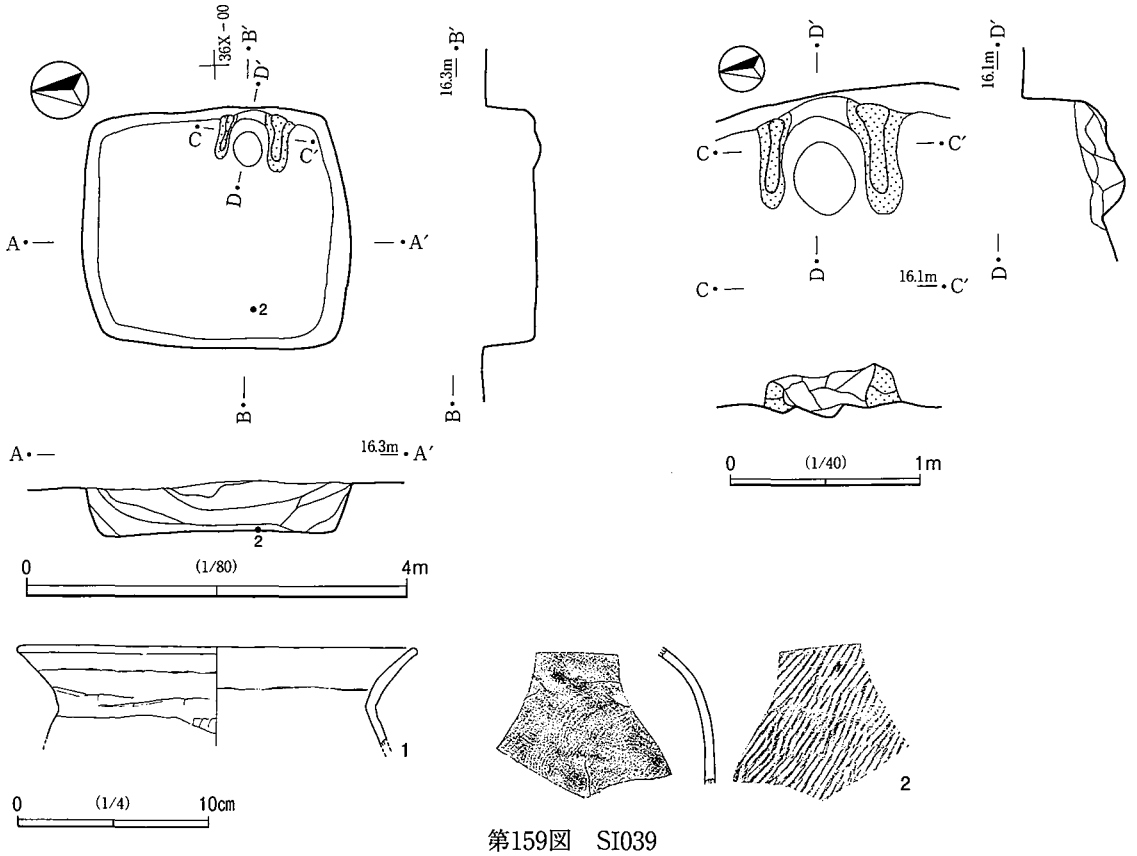
マド付近を除いて壁溝が巡っている。床面は平坦で、全体に硬化し、南壁中央寄りに径18cm、深さ８cmの浅い柱穴が掘り込まれている。南東隅の張り出し部は階段状になっており、出入り口に伴う施設かもしれない。カマドは北壁中央付近に設けられている。全体に遺存が悪く、天井部は崩落している。火床部の掘り方は円形で、先細りの煙道が続く。遺物は土師器の杯・甕、須恵器杯が出土した。甕（３）の一部はカマド火床部で、他は覆土中層で出土した。

出土遺物

１は土師器の杯である。丸底の底部から体部が内湾気味に立ち上がる形態で、調整は口縁部ヨコナデ、体部内面はナデ後ミガキ、外面はヘラケズリ後ミガキを加えている。２は須恵器の杯で約1/3が残存する。体部から口縁が斜めに直線的に立ち上がる。底部とその周縁は手持ちヘラケズリである。胎土に雲母が多量に混入している。常陸産と見られる。３は土師器の甕である。小振りで口縁部と胴部の境にわずかに稜がある。調整は口縁部ヨコナデ、胴部外面に縦及び横方向のヘラケズリ、内面はヘラナデである。

SI039（第159図、図版22）

調査区の南東側、35W－99グリッド～36W－09グリッドに跨って位置し、SI032から東に約13mの距離にある。平面形は主軸を東西方向にとる方形で、南北の辺がわずかに張っている。東壁にカマドが設けられている。規模は南北2.77m、東西2.53mで、確認面からの深さは43cm～58cmである。床面は概ね平坦で、柱穴や壁溝は無い。カマドは東壁のやや南に偏った位置に設けられている。天井部は崩落して形を留めていないが、左右の袖が残っている。火床部は床面を10cm前後掘り込んでいるが、煙道の掘り込みは無く壁



第159図　SI039

面に沿って立ち上がっている。遺物は土師器・須恵器が少量出土した。

出土遺物

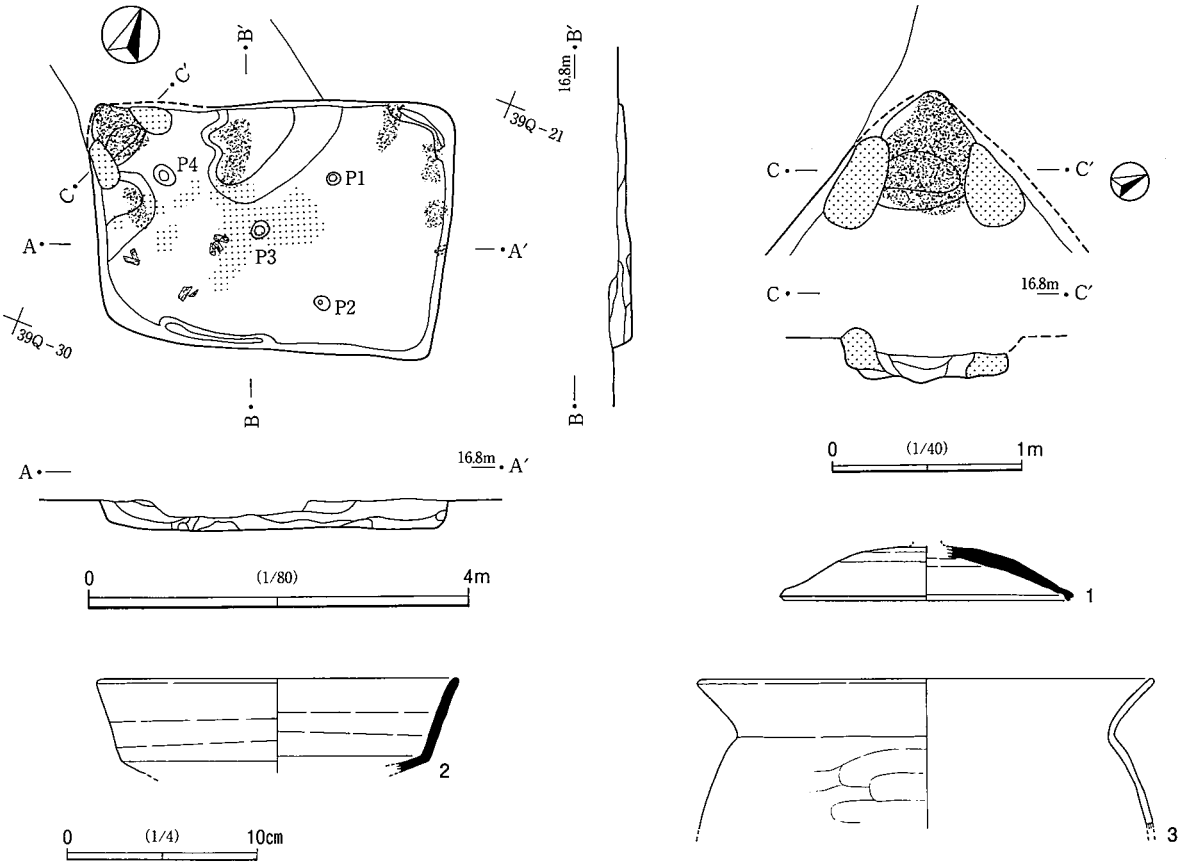
１は土師器甕の口縁部で約1/4程残存している。全体に薄手で武蔵型の特徴を備えている。２は須恵器甕の胴部破片である。外面に平行タタキ、内面に同心円の当て具痕が認められる。胎土は緻密で、色調は明るい褐灰色である。東海産と見られる。

SI040（第160図、図版23・47）

調査区の南西隅、39Q－20グリッドに位置し、他の住居跡群からは孤立している。平面形は長軸を東西方向にとる長方形で、西から南の辺が歪んでいる。規模は東西3.82m、南北2.70mで、確認面からの深さは25cm～30cmだが、北壁側は確認調査時に上面の一部を削り過ぎてしまい、壁の残りが悪い。カマドは北西隅に設けられ、その前面の左右が周囲より５cm前後土手状に高くなっている。住居内の区画を意図したものであろうか。ここ以外の床面は概ね平坦で、全体に硬く良く締まっている。また、南西側と北東側の壁直下には幅12cm～18cmの壁溝が存在する。柱穴は中央付近１基、その東側に２基存在する。径12cm～23cm、深さ15cm～36cmでP1が最も小さい。カマド前面にあるP4は深さ５cmほどの浅い窪みで、用途はわからない。カマドは住居の隅を利用して燃焼部から煙道まで掘り込み、両袖を壁に沿って構築している。天井部は崩落して、その前面の床面上に部材が焼土と共に散在していた。燃焼部には炭化材が混じった焼土が厚さ５cm程堆積していた。遺物は土師器・須恵器が少量出土した。なお、覆土中や床面上に炭化材や焼土が堆積することから焼失住居と考えられる。

出土遺物

１は須恵器杯蓋で約1/4が残存する。口縁端が小さく内側に折り返され、天井部周縁の調整は回転ヘラ



第160図　SI040

ケズリである。胎土に多量の雲母末及び少量の白色粒子が混入している。焼成はあまい。２は須恵器高台付杯である。高台及び底部の大部分は欠落しているが、この種の器の中では口径が19cmと大きい部類である。胎土に雲母片・雲母末、白色粒子が混入し、焼成は堅緻である。１・２とも常陸産と見られる。３は土師器甕の口縁部から胴部の一部である。口縁部ヨコナデ、胴部外面はヘラケズリ調整される。器壁が薄く武蔵型甕の特徴を備えている。

第６章　中世その他

概観　中世の遺構は土坑１基、竪穴建物８基、溝状遺構３条が検出されている。これらは調査区の東側、古墳時代の集落の東縁に位置し、南北方向に断続的に延びる溝状遺構１条（SD001）とこれに平行して調査区外に延びる１条（SD003）さらにこれに直交する様に東西方向に延びる１条（SD002）が存在する。土坑と竪穴建物はこの３条の溝状遺構の内側に存在し、溝状遺構が区画溝の様相を呈している。「竪穴建物」は底面に複数の柱穴をもち上屋構造が想定される竪穴遺構で、一般的な「土坑」とは分けて呼称した。溝状遺構に添う一群（５基）とこれとやや距離を置く一群（２基）がある。なお、時期の位置づけが困難な土坑をその他の土坑として本章にまとめた。

第１節　土坑と竪穴建物

１．土坑

SK021（第161図、図版23）

34X－50グリットに位置し、SD001の東約３ｍの距離にある。平面形は長軸をSD001に沿った南北方向にとる長方形で、規模は長軸長1.84m、短軸長96cmで、深さは51cm～52cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾気味に立ち上がる。覆土は下層から順に黄褐色土、暗褐色土、黒色土がいわゆるレンズ状堆積を示すが、何れもローム粒やロームブロックを多く含み、人為的に埋め戻されていると思われる。出土遺物はない。

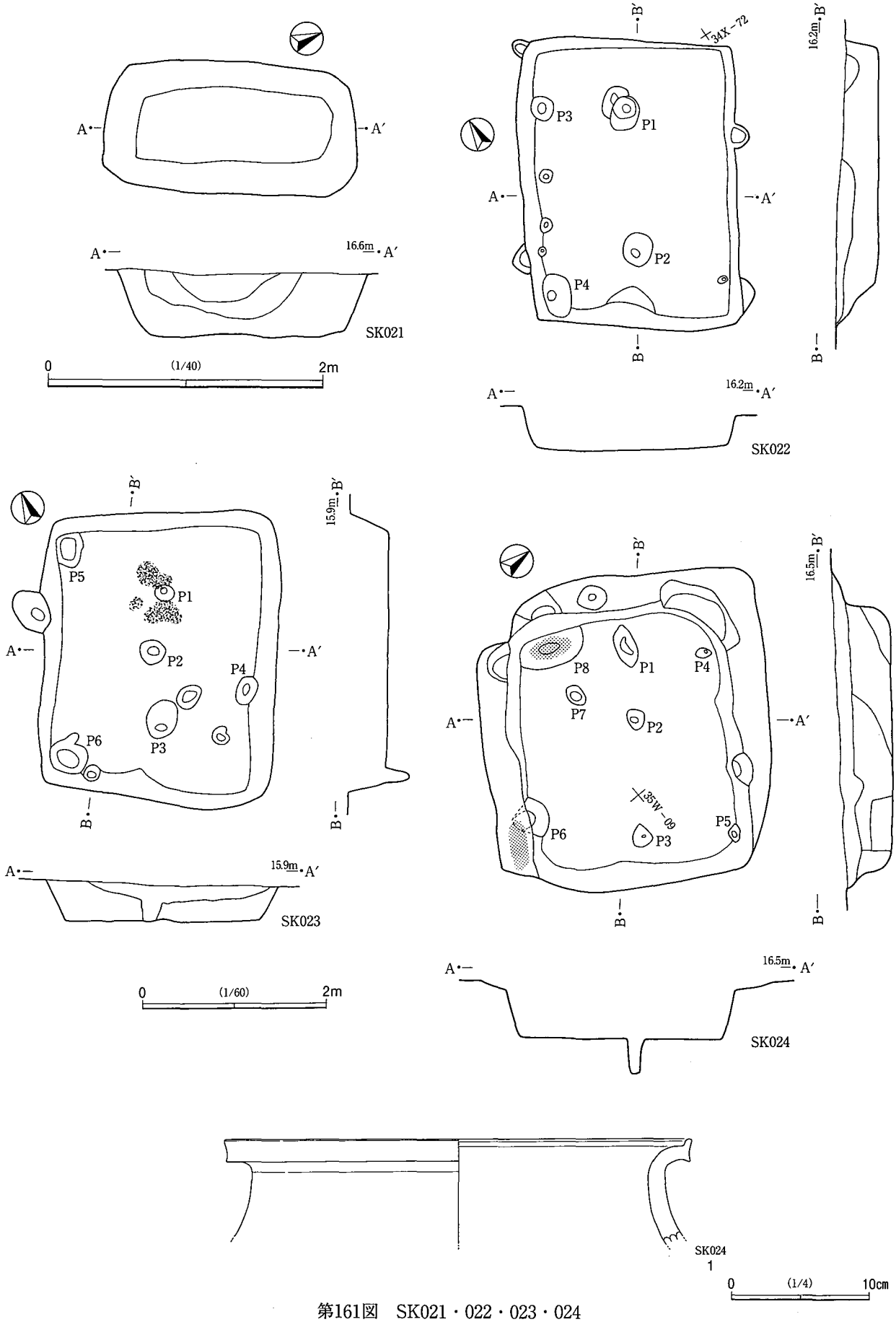
２．竪穴建物

SK022（第161図、図版23）

34X－91グリッド、SD001南区とSD002の中間に位置する。平面形は長方形で、長軸を南東～北西方向にとる。規模は長軸長3.35m、短軸長2.54m、深さ41cm～48cmである。底面はほぼ平坦で、壁が外傾気味に立ち上がるが、南壁中央部が内側に張り出している。底面と壁に接して大小の柱穴が掘り込まれている。底面の柱穴は、中央に長軸方向と同じ方向で２基、西壁際に沿って大小５基、東壁際は南寄りに小型のものが１基ある。柱穴の規模は中央のP1・P2が径40cm～42cm、深さ55cm～60cm、西壁際のP3・P4が径29cm～53cm、深さ15cm～20cm、他は小規模で径12cm～17cm、深さ6cm～15cmである。また、これとは別に東壁と西壁の上部は、２か所ずつ柱穴状に刳り貫かれている。基本的には長軸方向に並んだ中央の柱穴を主柱、壁際の大小の穴が支柱穴となり上屋の存在が想定される。南壁中央の張り出した部分は、竪穴内への出入り口と考えられる。覆土はローム粒を多く含む黒色土、暗褐色土が主体で、埋め戻されたと思われる。出土遺物はない。

SK023（第161図、図版23）

34W－99グリッド、SK022の西に位置する。平面形は長方形で、長軸を南東～北西方向にとる。規模は長軸長3.11m、短軸長2.52m、深さ45cm～52cmである。底面はほぼ平坦で、壁が外傾気味に立ち上がる。柱穴は底面中央に３基が一列に並ぶ他、北西角から南西角、東壁際に大小の柱穴が掘り込まれている。また、西壁北寄りの１か所が刳り貫かれている。柱穴の規模はP1・P3が径21cm～44cm、深さ35cm、P2が径



第161図　SK021・022・023・024

28cm、深さ15cm、P4～P6は径32cm～44cm、深さ12cm～17cmである。底面P1の周囲には焼土が堆積するが、焼けた痕跡は観察されていない。覆土は黒色土とローム粒を多く含む暗褐色土が主体である。P2の土層断面に柱痕跡が認められ、柱の一部を残したまま埋め戻されたと思われる。出土遺物はない。

SK024（第161図、図版23）

34W－98グリッド、SK023の西に位置する。平面形は長方形で、長軸を東西方向にとる。規模は長軸長3.41m、短軸長3.14m、深さ61cm～70cmである。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に近く立ち上がり、南壁と西壁～北壁では、開口部の縁が浅くテラス状に広がる。柱穴は底面中央に３基が一列に並び、更に壁際や開口部のテラス状の面に大小のピットが掘り込まれている。また、北隅には階段状の掘り込みがある。底面中央のP1～P3は径22cm～48cm、深さ27cm～38cmで主柱穴となろう。P4～P7は径17cm～45cm、深さ５cm～19cmと出入りがあり、南壁際のP6が壁面に斜めに掘り込まれ、やや大きい。西隅のP8は長径70cmの楕円形で、底面に炭化粒が堆積する。柱穴以外の用途か。炭化粒は南開口部付近にも散布しているが、周囲や底面に焼けた痕跡はない。覆土はローム粒やロームブロックを含む黄褐色土が主体で、埋め戻されたと思われる。遺物は覆土中から常滑の甕破片（１）が出土している。口縁部の縁帯の断面形が受け口状で、端下部がわずかに突出する。常滑編年６a型式に相当しよう。

SK025（第162図、図版23）

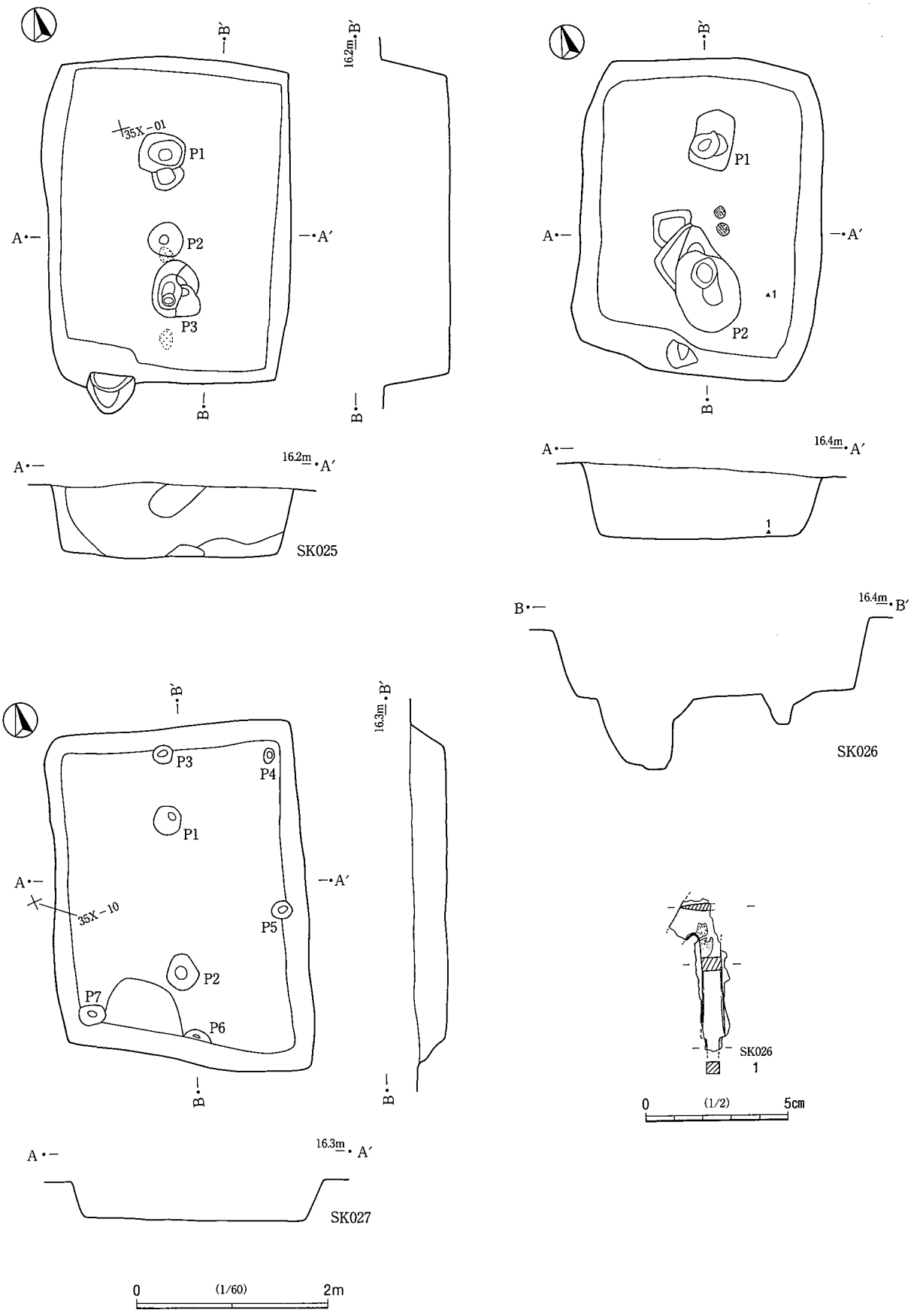
35X－00グリッド、SK022の南に位置する。平面形は長方形で、長軸をほぼ南北方向にとる。規模は長軸長3.4m、短軸長2.52m、深さ68cm～81cmである。底面は平坦で、壁は垂直に近く立ち上がる。南壁西寄りには階段状の出入り口とみられる施設があり、中段の底面が硬く締まっている。柱穴は底面中央に長軸に沿って３基が一列に並ぶ。このうち両端の２基は複数が重複し、繰り返し掘り替えされたことが窺える。規模はP1・P3が径47cm～61cm、深さ55cm～56cm、P2が径37cm、深さ13cmで両端の柱穴が中央に比べ深く大きい。P2とP3の周囲には粘土塊が少量検出されたが、用途は不明である。覆土はロームブロックを多く含む暗褐色土が主体であり、埋め戻されたと思われる。出土遺物はない。

SK026（第162図、図版23・55）

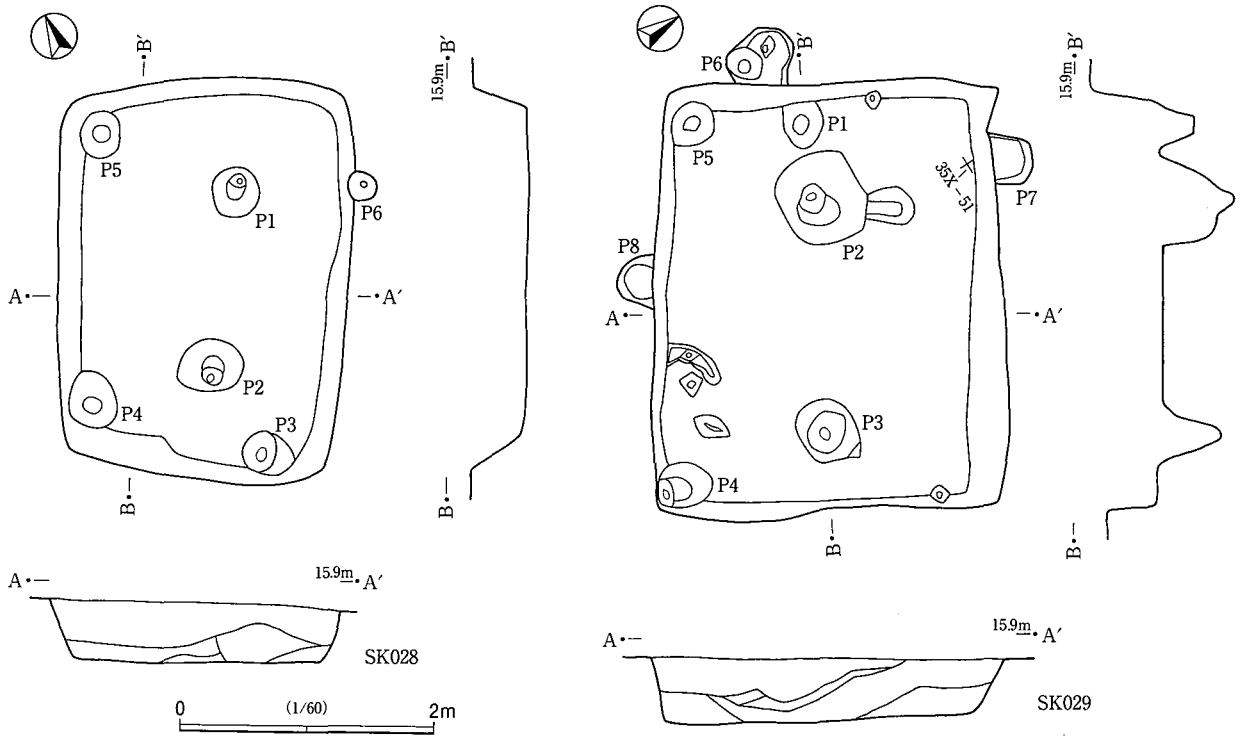
35W－09グリッド、SK024の南東に位置する。平面形は長方形で、長軸をほぼ南北方向にとる。規模は長軸長3.29m、短軸長2.53m、深さ76cm～84cmである。底面は平坦で、壁は外傾気味に立ち上がる。南壁の一部は傾斜がやや緩やかで、壁面が刳り貫かれて足掛けのようになっており、入り口施設の可能性がある。柱穴は底面中央に長軸方向に２基が並ぶ。北側のP1は開口部が長方形、底面付近が円形の掘り方で、長さ61cm×幅43cm、深さ33cm。南側のP2は長径87cm、深さ77cmで２～３回の掘り替えしがされ、脇には不定形の浅い窪みが付随する。また、P2北側には炭化材が散布している。覆土はロームブロックを含む暗褐色土の単一層で、埋め戻されたと思われる。遺物は常滑産陶器片及び鉄鏃、土器片が少量出土している。鉄鏃１は腸抉三角形鏃で、鏃身の一部～茎の一部が残存する。現存長53.5mm、鏃身厚3.0mm、篦被長36.0mm、幅7.0mm、現存重さ8.77ｇである。陶器片は図示するに足りない。

SK027（第162図、図版24）

35X－05グリッド、SK026の東に位置する。平面形は長方形で、長軸をほぼ南北方向にとる。規模は長軸長3.47m、短軸長2.62m、深さ40cm～46cmである。南壁西側がやや歪み、この部分の壁が内側に緩やかな傾斜で張り出している。床面は平坦で、中央に長軸方向に沿って大小の柱穴が並ぶ。このうち主柱穴は中央のP1、P2で、径31cm～38cm、深さ46cm～56cmである。壁際に接するP3～P7は補助的なものであろう。



第162図　SK025・026・027



第163図　SK028・029

径16cm～25cm、深さ7cm～14cmである。覆土はロームブロックやローム粒を含む暗褐色土の単一層で、埋め戻されたと思われる。出土遺物はない。

SK028（第163図、図版24）

35X－41グリッドに位置し、SK022～027の一群から南東に約11mの距離にある。平面形は長方形で、長軸を北東～南西方向にとる。規模は長軸長3.38m、短軸長2.45m、深さ50cm～56cmである。床面は平坦で、特に硬い面はない。壁は外傾気味に立ち上がる。柱穴は底面中央に長軸方向に沿って２基が並び、東隅を除く各隅の壁際と東壁外にそれぞれ１基ずつ掘り込まれる。中央のP1・P2は径44cm～55cm、深さ42cm～48cm、P3が径45cm、深さ50cm、P4～P5が径41cm～50cm、深さ８cm～18cmである。壁外のP6は径27cm、深さ61cmで、これを含めた４基が補助的な柱穴であろう。覆土はローム粒やロームブロックを含む黄褐色土、暗褐色土が主体で、埋め戻されたと思われる。出土遺物はない。

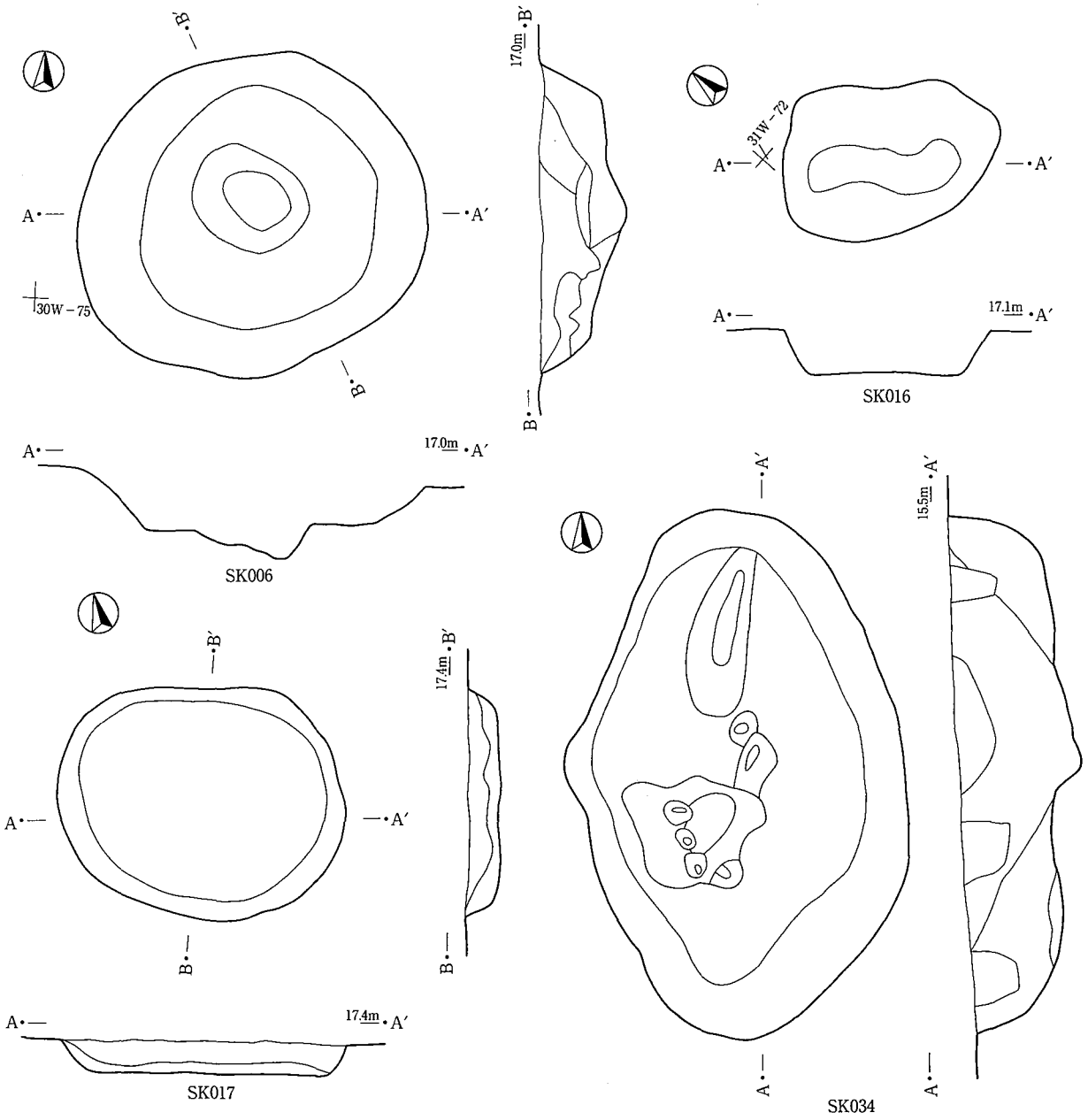
SK029（第163図、図版24）

35X－51グリッド、SK028の東に位置する。平面形は長方形で、長軸を北西～南東方向にとる。規模は長軸長3.32m、短軸長2.75m、深さ53cm～58cmである。床面は平坦で、特に硬い面はない。壁は外傾気味に立ち上がる。底面の柱穴は、中央に長軸方向に沿って３基並ぶ他、、西辺側の隅や壁際に大小のピットが掘り込まれている。P1～P3は径36cm～76cm、深さ47cm～58cmである。また壁面は３か所刳り貫かれ、特に北壁西寄りのP6は深さ54cmに達している。覆土はローム粒やロームブロックを含む黒色土、暗褐色土が主体で、埋め戻されたと思われる。遺物は陶磁器片や土器片が少量出土している。

第２節　その他の土坑

SK006（第164図）

調査区の北東側、30W－65グリッドに位置する。平面形は円形で、規模は径1.87m～2.10m、深さ40cm



第164図　SK006・016・017・034

～46cmである。底面中央が尖底状で、その周囲は一段高くなり、壁が緩やかに立ち上がっている。覆土はロームブロックを多く含む暗褐色土、黒褐色土が主体で埋め戻されたと思われる。出土遺物はなく、時期や性格は不明である。

SK016（第164図）

調査区の東側、31W－72グリッドに位置する。東へ約５mの距離にSK015がある。平面形は不整形で、規模は長軸長1.41m、短軸長93cmである。底面は一部に攪乱を受け凹凸が有り、正確な深さは計測していない。断面から30cm前後と推定される。壁面は緩やかな傾斜である。覆土はローム粒を含む暗褐色土の単層である。出土遺物はなく、時期や性格は不明である。

SK017（第164図）

調査区の東側、31V－77グリッドに位置する。SK016から西に約15mの距離にある。平面形は楕円形で、

長軸をほぼ東西方向にとる。規模は長軸長1.73m、短軸長1.37m、深さ13cm～20cmである。底面はほぼ平坦で、壁がやや外傾して立ち上がっている。覆土は黄褐色ロームを含む暗褐色土及び茶褐色土が主体である。出土遺物はなく、時期や性格は不明である。

SK034（第164図）

調査区の南側、37U－62グリッドに位置する。周囲に他の遺構はない。平面形は楕円形で、長軸をほぼ南北方向にとる。規模は長軸長3.15m、短軸長2.02m、深さ47cm～72cmと出入りがある。底面は中央部が周囲より深く窪む尖底状で、ピット状の不定形の凹凸がある。壁面は緩やかな傾斜で立ち上がる。覆土は褐色土、暗褐色土が主体である。出土遺物はなく、時期や性格は不明である。

第３節　溝状遺構

SD001（第165図、図版24）

調査区の東側、古墳時代の集落の東縁を北北東～南南西方向に断続的に延びる溝状遺構である。北側の第３次調査区と南側の第９次調査区で別々に調査し、なおかつ遺存状況の善し悪しにより、部分的に途切れるているが、延長方向や規模が同じになることから、断続的に続く１条の溝状遺構として捉えた。

32X－84グリッド付近から北側の延長約70mを北部、33X－91グリッド付近から南側の延長約70mを南部とする。北部の溝幅は40cm～1.3m、深さ10cm～30cm前後で、北端は調査区外に延びている。南部の溝幅は40cm～1.5m、深さ10cm～30cm前後で、土坑SK021や竪穴遺構付近では幅、深さとも増している。溝内や壁に沿ってピットが掘り込まれるが、断片的であり機能はわからない。遺物は土器片及び陶器片が少量出土しているが、図示できるものはない。

SD002（第165図、図版24）

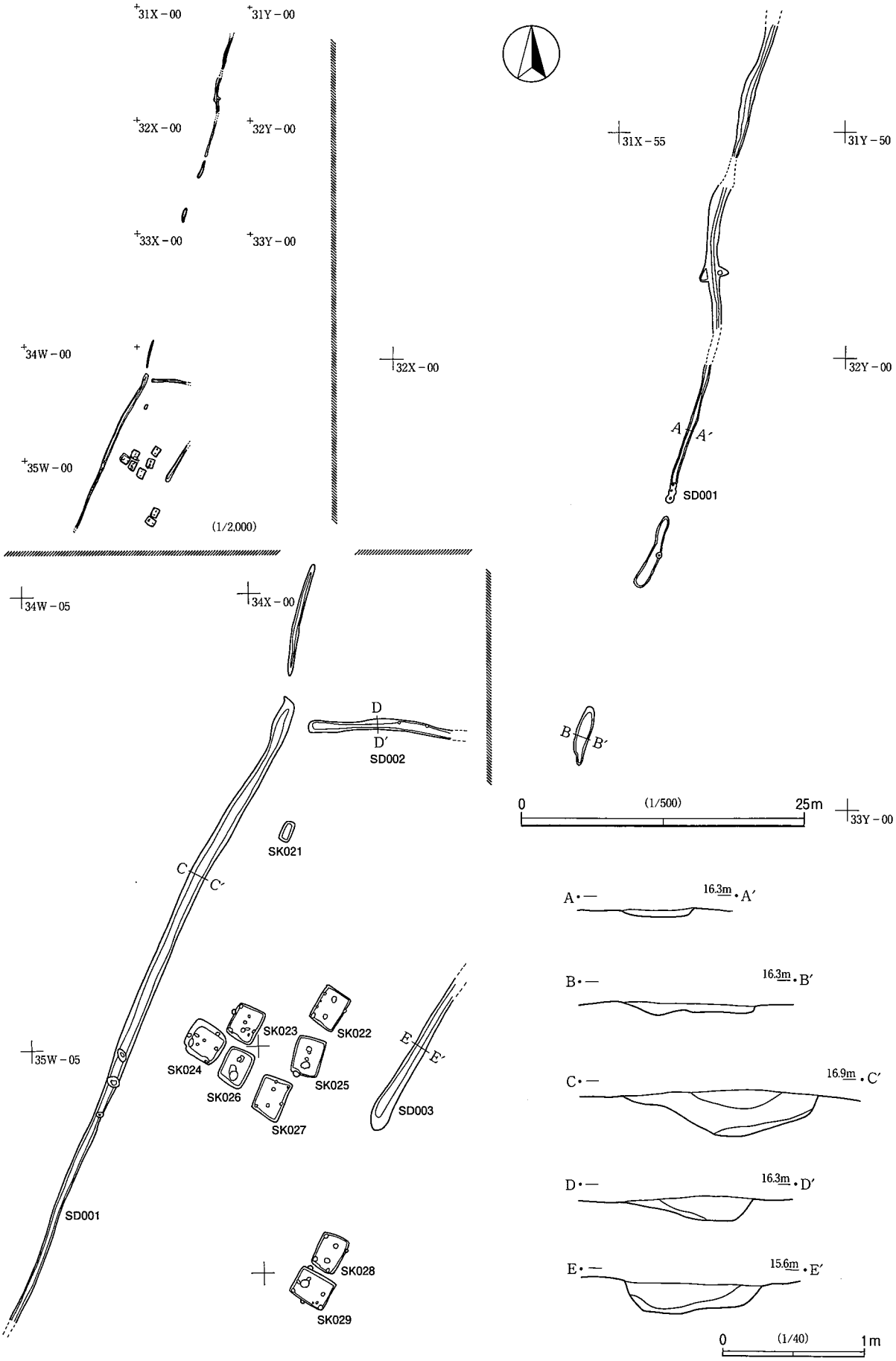
34X－31グリッド～34X－34グリッドにかけて東西方向に延びる溝状遺構である。SD001の南部とは西端で約２mの距離にあり、これに直交する様な位置関係である。延長は12.7mで、幅72cm～1.1m、深さ14cm～32cmである。概ね溝の北壁側が浅く、南側が深い断面形状となる。出土遺物はない。

SD003（第165・166図、図版24）

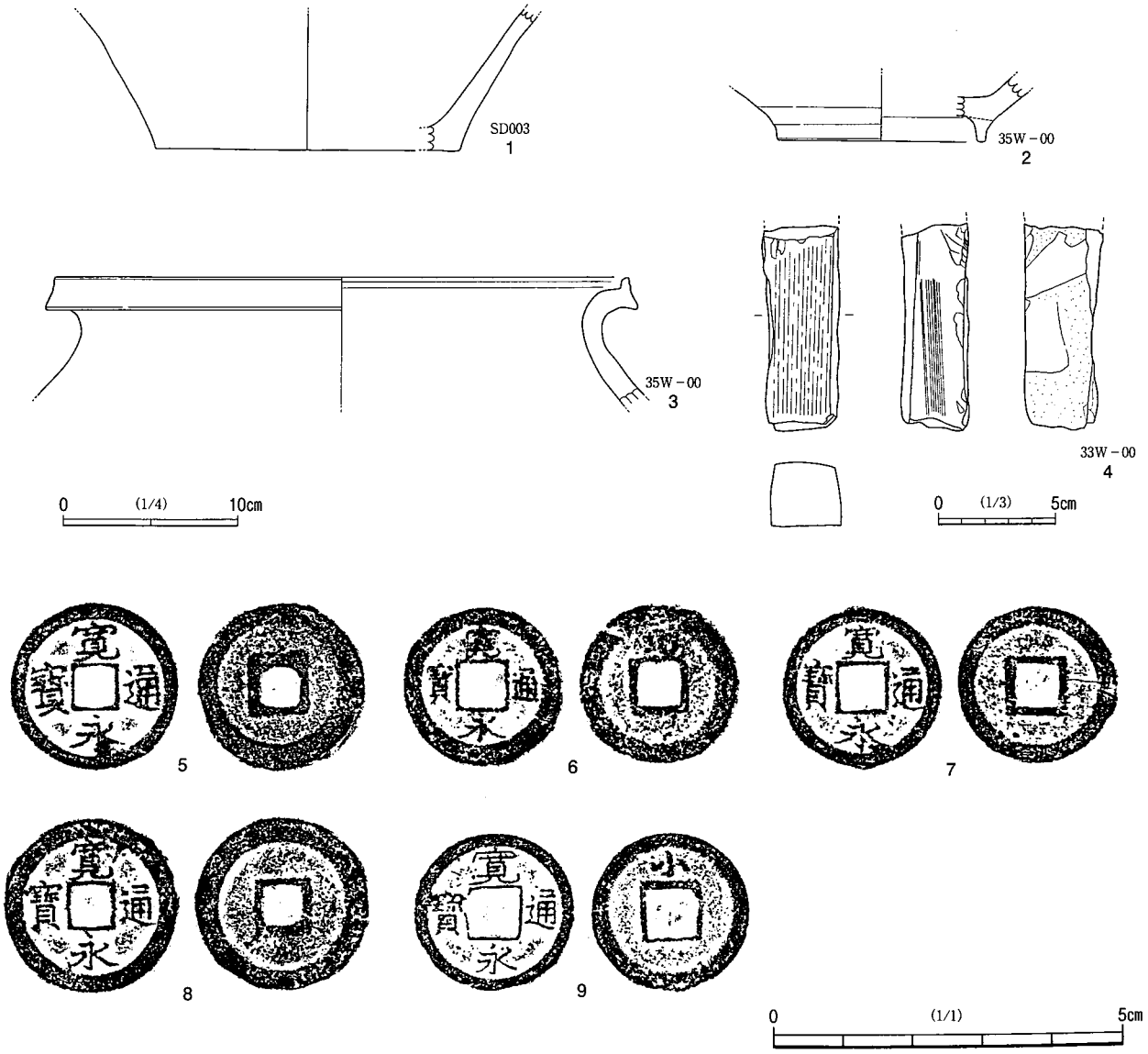
34X－84グリッド～35X－12グリッドにかけて北東～南西方向に直線的に延びる溝状遺構で、SD001の南部と約22m距離を隔てて、これと平行している。北東端は調査区外に延び、SD002と直交すると思われる。延長は15.4m、幅92cm～1.7m、深さ24～36cmである。底面の幅が比較的広く、東壁が緩やかな傾斜となっている。遺物は常滑の片口鉢底部（第166図１）のほか、土器片が少量出土した。

第４節　溝状遺構及びグリッド出土の遺物（第166図、図版55）

１はSD003出土の常滑産の片口鉢底部である。外面は縦方向のナデ調整、内面底部は擦れて平滑になっている。色調は濃緑色で、よく焼き締まっている。常滑編年片口鉢Ⅱ類、6a型式に相当する。２は高台付片口鉢の底部である。高台部は細長く先端がやや丸くなる。高台との境、底部端の外面は横方向にヘラ削り調整が認められる。色調は内外面とも明るい灰色で、胎土に石英粒を多く含んでいる。常滑編年6a型式、片口鉢Ⅰ類に相当する。３は常滑の甕の口縁部である。口縁部の縁帯の断面形が受け口状で、端下部がわずかに突出する。常滑編年6a型式に相当する。４は方柱状の砥石で、全体に風化して茶色に変色している。表面は良く研磨され滑らかである。右側面には整形の際の工具痕が残存し、左側面及び裏面は剥がれてい



第165図　SD001・002・003



第166図　SD003及びグリッド出土遺物

第40表　出土銭貨一覧表

番号	出土地	銭貨名	種類	鋳造年	直径(㎜)	内縁内径(㎜)		重量(g)	備　考
						縦	横		
5	表採	寛永通寶	古寛永	1636～1667	24.1	6.7	6.0	2.70	
6	37S－05	寛永通寶	新寛永	1697以降	22.9	7.2	7.1	2.20	
7	37S－05	寛永通寶	新寛永	1697以降	25.0	6.7	6.5	3.42	
8	27S－00	寛永通寶	新寛永	1697以降	23.1	6.5	6.4	2.02	
9	表採	寛永通寶	新寛永	1736以降	22.9	7.4	7.4	2.08	背文「小」

る。石質は凝灰岩。現存長88.5㎜、重量146.5ｇである。５～９は「寛永通寶」銅銭である。このうち、５がいわゆる「古寛永」の「ス貝寶」。６～９は「新寛永」で、９は背文字「小」のある元文江戸小梅所鋳銭である。

銭貨の分類は下記を参考にした。[1)]

註１　永井久美男編　1998『近世の出土銭Ⅱ－分類図版篇－』兵庫県埋蔵銭調査会

第7章　まとめ

市野谷入台遺跡では旧石器時代から近世までの遺構や遺物が発見され、多くの成果が得られた。

旧石器時代では25か所の石器集中地点で総数1,670点が出土し、第１文化層～第５文化層に分離された。

縄文時代は、遺構、遺物共に散漫な分布状況である。遺構は早期の陥穴４基や前期や中期の土坑、後期初頭の竪穴住居跡１軒を検出した。前期から晩期初頭にかけての土器が遺跡全体から散漫に出土している。

古墳時代は、竪穴住居跡35軒、土坑15基が発見されている。竪穴住居跡の時期は前期から中期にわたっており、西に隣接する前期の集落跡・市野谷宮尻遺跡、西初石五丁目遺跡と同じ集落を構成する一群が調査区北側に、これに後続する中期の一群が台地の東縁に沿って北から南に分布している。土坑は中期の竪穴住居跡群とほぼ同じような分布を示している。中期の竪穴住居跡からは滑石製模造品やその未成品が出土しており、工房跡の存在が明らかになった。

奈良時代の遺構は竪穴住居跡４軒である。このうち３軒は調査区南東側の一角にまとまるが、もう１軒はこの一群から距離を置いた調査区南西隅に位置している。いずれも一辺３ｍ前後の小規模な竪穴住居跡で、東海地域や常陸産と見られる８世紀中葉の須恵器を伴出している。

中世では土坑１基、竪穴建物８基、溝状遺構３条が検出されている。これらは調査区の東側、古墳時代の集落の東縁に位置し、溝状遺構に沿うかたちで土坑と竪穴建物が一群を形成している。竪穴建物と溝状遺構の一角からは13世紀後半代の常滑産の甕などが出土しており、遺構もこの時期のものと推定される。

以上が本遺跡の調査成果の概観である。旧石器時代、古墳時代、中世の三つの時代に絞っていくつかの問題点を抽出し、まとめとしたい。

第１節　旧石器時代

文化層の概要については、第８図の文化層別ブロック位置図、第４・５表の文化層ブロック別器種・石材組成表、第167・168図の旧石器時代文化層別主要石器（１）・（２）を参照していただきたい。

本節においては、文化層別主要石器を掲載した第167・168図を中心にして、文化層別の概要を記載し、まとめとしたい。第167・168図には文化層別に主要器種を並べ、ブロック群として捉えられるものをまとめた。各文化層ごとに設定した母岩番号を実測図の右下に母岩名と母岩番号と出土ブロックを記載した。第２章第９節において黒曜石産地推定[1]結果を記載したが、その結果も併せて触れることにする。

（１）第１文化層（第８・10・167図）

Ⅶ層に生活面を持つと考えられる石器群である。総計101点である。第１・２ブロックから91点出土しており大半を占める（90％）。ブロックは第１～４ブロックの４か所で構成される。第１～３ブロックが35Q・Rグリッドにまとまって出土し、第４ブロックは32Sグリッドに単独で出土している。１～３はナイフ形石器である。縦長剥片を素材として、一側縁と反対側の側縁は下半部にブランティング加工が施されている。４～７は二次加工のある剥片である。いずれも石刃を素材としている。５・６の石材は頁岩として分類したが、風化面が灰褐色で細粒な石材である。ガジリ面を観察すると内部が黒色であったことから、群馬県内で産出する黒色頁岩を用いたことが推察される。７・８はチョコレート色をした良質な硬質頁岩

（おそらく磐越高地産と思われる）を用いた掻器である。いずれも、第３ブロック出土である。７は大型石刃から樋状の剥離を行った剥片を素材として、剥片末端部に急角度の調整加工が施されている。資料数が少ないが、「下総型石刃再生技法」[2]によるものと推察される。黒曜石産地推定結果は、第１ブロック出土の２・４が長野県蓼科エリアの冷山群、第２ブロック出土の第14図5aが長野県蓼科エリアの双子山群、第４ブロック出土の第18図２が神奈川県箱根エリア畑宿群が用いられていた。このように、第１文化層の石材産地推定地は、頁岩が群馬県内の黒色頁岩、硬質頁岩が磐越高地、黒曜石が長野県蓼科エリア・神奈川県箱根エリア畑宿群の広域で多地域から石材が搬入されていることが特徴と言えよう。周辺遺跡では、流山市市野谷二反田遺跡・市野谷向山遺跡[3]において同段階の石器群が出土している。下総台地では、八千代市北海道遺跡第３文化層[4]、袖ケ浦市台山遺跡第Ⅰ文化層[5]が類似する。群馬県では後田遺跡[6]、武蔵野台地では菅原神社台地上遺跡第Ⅶ・Ⅵ文化層[7]が類似する。編年的には、下総台地田村・橋本編年[8]Ⅱa期中段階、印旛酒井・宇井編年[9]印旛Ⅳ期、相模野台地諏訪間編年[10]段階Ⅲに位置づけられる。

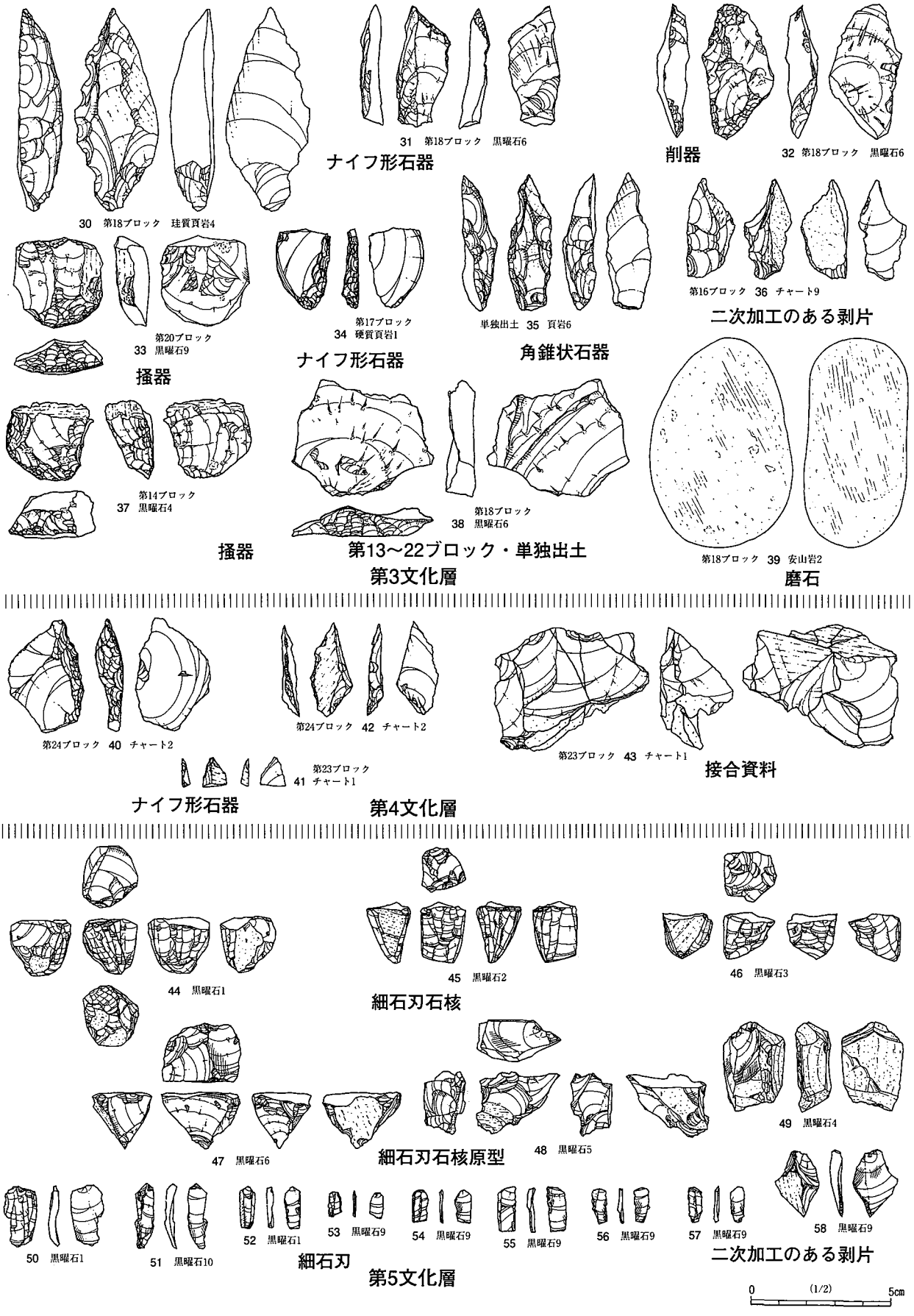
（２）第２文化層（第８・20・167図）

Ⅵ層に生活面を持つと考えられる石器群である。総計510点であり、２番目に出土点数の多い文化層である。ブロックは第５～８ブロックの４か所で構成される。第５ブロックから493点出土しており大半を占める（97%）。黒曜石は491点で石材組成において大半を占める（96%）。黒曜石の産地推定結果はすべて長野県の産地と推定され、第５・６ブロックが和田エリア、第７ブロックが蓼科エリア[3]であった。10～24はナイフ形石器である。ナイフ形石器は、小型の石刃を素材として、一側縁と反対側の側縁の下半部にブランティング加工が施されている。下総台地では、八千代市権現後遺跡第４文化層[11]、印西市馬込遺跡第５地点・第６－２地点[12]の石器群が類似する。他の台地においては、武蔵野台地では鈴木遺跡Ⅵ層文化[13]、相模野台地では寺尾遺跡第Ⅵ文化層[14]が類似する。編年的には、下総台地田村・橋本編年Ⅱa期新段階、印旛酒井・宇井編年印旛Ⅴ期、相模野台地諏訪間編年段階Ⅳに位置づけられる。

（３）第３文化層（第８・31・167・168図）

Ⅴ層～Ⅳ層下部に生活面を持つと考えられる石器群である。総計818点である。第９～22ブロックの14か所のブロックで構成される。出土点数とブロック数が最も多い文化層である。ブロック群としては４か所識別された。調査区南東側の第９～12ブロック群、調査区南側の第13～17ブロック群、調査区東側中央の第18～20ブロック群、調査区北側の第21・22ブロック群である。他の文化層に比べて、最も低位な標高に位置し、遺跡の東側から南側に流れる牛飼沢に近接していることが特徴としてあげられる。第９～12ブロック群は、角錐状石器（25）・ナイフ形石器（26）を主体とし、礫群を伴っていた。また、剥片石器や礫片はブロック間接合資料（28・29など）が多数検出された。おそらく、牛飼沢によって浸食され露出した砂礫を入手し、搬入するのに最も適していた場所であることが推察される。第18～20ブロック群は、ナイフ形石器（30・31）・掻器（33・38）を主体とし、削器（32）・磨石（39）を伴うが、礫群は伴っていない。黒曜石の産地推定結果は、分析対象資料のすべてが栃木県高原山エリアの甘湯沢群であった。周辺遺跡では、流山市市野谷二反田遺跡・市野谷向山遺跡・大久保遺跡・東初石六丁目第Ⅱ遺跡[3]において同段階の石器群が出土している。下総台地では、柏市溜井台遺跡第４文化層[15]、市原市今富新山遺跡[16]が類似する。他の台地においては、武蔵野台地では下戸塚遺跡第１文化層[17]、東早淵遺跡第４地点第１文化層[18]、相模野台地では柏ヶ谷長ヲサ遺跡第Ⅸ文化層[19]が類似する。編年的には、下総台地田村・橋本編年Ⅱｂ期、印旛酒井・宇井編年印旛Ⅵ期、相模野台地諏訪間編年段階Ⅴに位置づけられる。

第167図　旧石器時代文化層別主要石器（1）



第168図　旧石器時代文化層別主要石器（2）

（4）第4文化層（第8・70・168図）

Ⅴ～Ⅳ層下部に生活面を持つと考えられる石器群である。総計142点である。第23・24ブロックの2か所のブロックで構成される。石材はすべて良質で緑色のチャートが用いられ、母岩はチャート1・2の2母岩で構成されていた。一側縁加工のナイフ形石器が3点（40～42）と接合資料（43）が検出された。下総台地では、隣接する流山市市野谷二反田遺跡[3]と柏市元割遺跡第2地点（20）が類似する。第3文化層と石器群の様相が異なるため文化層を区分けした。ただし、編年的には第3文化層と同様に、下総台地田村・橋本編年Ⅱb期、印旛酒井・宇井編年印旛Ⅵ期、相模野台地諏訪間編年段階Ⅴに位置づけておく。

（5）第5文化層（第8・168図）

Ⅲ層上面に生活面を持つと考えられる石器群である。総計52点である。第25ブロックの1か所のブロックで構成される。野岳・休場型の細石刃石核を有する石器群である。細石刃石核（44～46）から剥離された細石刃は、母岩が黒曜石1の50・52の2点のみである。また、細石刃石核原型（47～49）は単独母岩で搬入されている。細石刃は大半が黒曜石9（53～57）の母岩から剥離されたもので、この母岩の細石刃石核は本遺跡から出土していない。黒曜石産地推定結果は長野県和田エリア・蓼科エリア、栃木県高原山エリアの3つの広域の黒曜石が用いられていた。下総台地では、成田市十余三稲荷峰遺跡（空港№67遺跡）[21]が類似する。相模野台地では柏ヶ谷長ヲサ遺跡第Ⅳ文化層[19]が類似する。編年的には、下総台地田村・橋本編年Ⅲa期、印旛酒井・宇井編年印旛Ⅹ期1群、相模野台地諏訪間編年段階Ⅸに位置づけられる。

引用・参考文献（第1節）

注1　大屋道則ほか　2006「石器材料および石器の理化学的分析値（1）－XRFによる黒曜石岩分析値（2005年度）－」『研究紀要』第21号（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団

2　新田浩三　1995「下総型石刃再生技法の提唱」『研究紀要16』（財）千葉県文化財センター

3　「市野谷向山遺跡・市野谷二反田遺跡・大久保遺跡・東初石六丁目第Ⅱ遺跡」1998～2006『千葉県文化財センター年報№23～31』（財）千葉県文化財センター

4　橋本勝雄　1985『八千代市北海道遺跡』（財）千葉県文化財センター

5　新田浩三　2002『袖ケ浦市台山遺跡』（財）千葉県文化財センター

6　麻生敏隆　1987『後田遺跡（旧石器編）』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団

7　伊藤　健　1997『菅原神社台地上遺跡』（財）東京都埋蔵文化財センター

8　田村　隆・橋本勝雄　1987『房総考古学ライブラリー1　先土器時代』（財）千葉県文化財センター

9　酒井弘志・宇井義典　2004『印旛の原始・古代　－旧石器時代編－』（財）印旛郡市文化財センター

10　諏訪間　順　1989「相模野台地における石器群の変遷について」『神奈川考古』第24号

11　橋本勝雄　1984『八千代市権現後遺跡』（財）千葉県文化財センター

12　古内　茂　2004『印西市馬込遺跡』（財）千葉県文化財センター

13　織笠　昭　1978『鈴木遺跡Ⅰ』鈴木遺跡刊行会

14　鈴木次郎　1980「第Ⅵ文化層」『寺尾遺跡』神奈川県教育委員会

15　山岡磨由子・新田浩三ほか　2007『柏市溜井台遺跡』（財）千葉県教育振興財団

16　新田浩三　1999『市原市今富新山遺跡』（財）千葉県文化財センター

17　早稲田大学校地埋蔵文化財調査室　1996『下戸塚遺跡の調査 第1部 旧石器時代から縄文時代』

18　長崎潤一・木村有紀ほか　1986『東京都練馬区東早淵遺跡』練馬区遺跡調査会・練馬区教育委員会

19　堤　隆ほか　1997『柏ケ谷長ヲサ遺跡』柏ケ谷長ヲサ遺跡調査団

20　田村　隆　1986『元割・聖人塚・中山新田Ⅰ』（財）千葉県文化財センター

21　永塚俊司　2004『十余三稲荷峰遺跡（空港№67遺跡）［旧石器時代編］』（財）千葉県文化財センター

第２節　古墳時代の集落と出土土器

（１）出土土器の分類

出土した土器のうち主体となる古墳時代前期～中期の土師器について分類した。分類は器種ごとに大別した後、各器種内で細分を行った。これらのうち量的に多いのは高杯、甕、小型壺があり壷、器台、杯・椀・鉢類、甑は量的に少なく、出土した遺構に偏りがある。

高杯　本遺跡の土師器のうち最も出土量の多い器種である。杯部や脚部の形状に多様性があるが基本的に脚部の形態によって分類した。

高杯Ａ　短い脚が杯部との接合部から裾端に向かってラッパ状に開くもので、杯部下端に稜をもち、脚が緩やかに開くSI003（１）と杯部に稜が無く、脚が直線的に開くSI005（６）がある。共に透し孔を有する。杯部は比較的深い椀状で、口縁部が大きく開く。またこれとは別に、浅く小さな杯部をもつ小型高杯SI007（３）がある。本類のものは全体に少ないため、杯部の細分はしていない。

高杯Ｂ　脚が柱状でやや膨らみのある円筒形を呈し、裾部が高い位置で屈折して開くもの。裾端はわずかに反るものや水平に収まるものがある。杯部は１類、２類がある。SI028（１）・SI035（３）

高杯Ｃ　脚が柱状で膨らみのある円錐形を呈し、裾部が屈折して開くもの。裾端はわずかに反るものや水平に収まるものがある。杯部は１類、２類、３類がある。SI019（１）・SI027（１）・SI035（４）

高杯Ｄ　脚が柱状で膨らみのある円錐形を呈し、裾部が屈折して開くもの。Ｃ類に比して脚高が低く全体にずんぐりした形態である。杯部は２類、３類がある。SI009（８）・SI017（１）・SI025（１）

高杯Ｅ　脚が柱状で緩やかに開く円錐形を呈し、裾部が低い位置で開くもので、裾部内面の稜は弱く、裾端は水平に収まるものが多い。杯部は１類、２類があり、１類が多い。また脚部との接合部が厚いものが多い。SI009（７）・（９）・SI010（６）

高杯Ｆ　脚高がＢ～Ｅに比べ低く、裾に向かって徐々に開くもの。裾部内面の稜が弱いものと稜が無いものがある。杯部は１類、２類、３類がある。SI016（１）・SI019（２）

高杯Ｇ　脚部のみで全体の形状が不明のものを一括した。

ⅰ脚が柱状で直線的に開く円錐形を呈し、裾部が屈折して、裾端が水平に収まる。SI010（５）・SI022（１）

ⅱ細身の脚が円筒形に近く、裾部が緩やかに小さく開くもの。SI012（２）・SI033（２）

杯部形態は次のように細分した。

１　杯部下端に稜を有するもの。口縁部が大きく直線的に開くもの、やや外反ぎみに開くものがある。

２　杯部下端に稜を有し、稜が段を形成するか小さく突出するもの。これも口縁部が大きく直線的に開くものとやや外反ぎみに開くもの、内湾ぎみのものがある。

３　杯部下端の稜が無く、径の小さな底部から口縁部が内湾気味に開くもの。

４　杯部下端に突帯が巡り、口縁部が大きく外反して開くもの。本類はSI036（１）の１点だけがあるが脚部の形態は不明である。

５　小型で鉢状の杯部で、口縁部がわずかに外反する。脚部の形態は不明だが、Ｇⅱ類の脚がつくと思われる。SI033（１）

高杯の分類結果（第41表）

脚と杯部の形態を中心に分類を行った結果、各住居跡ごとの伴出頻度をまとめたのが第41表である。こ

第41表　高杯の分類と遺構別伴出数量

時期と遺構＼分類		A	B	B1	B2	C	C1	C2	C3	D	D2	E	E1	E2	F1	F3	G i	G ii	計
Ⅰ期	SI002	1																	1
	SI003	2																	2
	SI004	1																	1
	SI005	2																	2
	SI007	1																	1
Ⅱ期	SI012					1												2	3
	SI017					3					1								4
	SI019					1		1								1			3
	SI020									1	1								2
	SI021					2	1	1											4
	SI022																	1	1
	SI023					1													1
	SI025										1								1
	SI026									1							1		2
	SI027								1										1
	SI028				1														1
	SI029																2		2
	SI032					1													1
	SI033																	1	1
	SI034				1														1
	SI035			1	1	4	1	1											8
	SI036					2	1												3
Ⅲ期	SI009									1	1		4	2					8
	SI010											1	3	1			1		6
	SI016														1				1
	SI024										1								1
	SI030												1						1
	SI031		1											1					2
計		7	1	1	3	15	3	3	1	3	5	1	8	4	1	1	4	4	65

のうち、A類が前期に、B～G類が中期にという大まかな時期差による区分を反映していることは言うまでもない。中期のB類～G類では、C類、D類、E類が数の上で多く出土しており、この3つを基準としてグループ化が可能である。このうちC類とE類、C類・D類・E類の組み合わせによる伴出例が無く、E類に後述する杯・椀類が伴い新しい要素を示すことから、C類が古相を示しE類が新相を示す結果となった。また、D類はC類またはE類の一方に伴うことからこの両者の中間とみることができよう。B類、F類、G類は上記3つの組合せでグループ化が可能である。

甕　高杯に次いで出土量が多い器種である。基本的に底部の形態によって平底甕をA類、台付甕をB類、平底の小型甕をC類として分類し、胴部形態や調整手法によってさらに細分した。大分類の対象としたものは完形個体、図上復元でおおよその器形がわかる個体、器種が明瞭な個体である。従って本文中や土器観察表中で単に甕と表記したものの内、平底甕と台付甕の区分が不明なものについては、この分類から省いてある。ただし、調整手法についてはこの限りではない。

なお、口頸部の形態についても微細に見れば個体差があり、編年を前提とした分類の対象とすべきであったが、基本的には「く」の字状に外反するものが多数を占めているため細分はしていない。

胴部の特徴による分類

1　胴部の最大径が中位にあり、球形を呈する器形で、全体に張りを保ったまま底部に至るもの。
SI012（7）・（8）、SI020（5）

2　胴部の最大径が中位にあり、球形に近い器形で、下半部が底部に向かって収縮するもの。
SI017（12）・(13)、SI035（13）

3　胴部の最大径が中位にあり、卵形を呈する器形のもの。胴部が長い傾向を示す。

SI009（15）、SI011（1）

4　胴部の最大径が下位にあり、下膨れの器形のもの。SI017（16）、SI028（10）

5　最大径が口縁にあり、胴部の張りが弱い器形のもの。B類SI019（11）とC類SI009（18）に若干見られる。

器面の調整

i　口頸部、胴部の調整がハケを基調とするもの。

ii　口頸部、胴部にハケ調整を施した後ナデ或いはヘラナデ調整を加え、ハケが一部残るもの

iii　口縁部をヨコナデ、胴部をヘラナデあるいはヘラケズリを基調とするもの

iv　胴部にタタキ調整を施すもの

甕の分類結果（第42表）

大分類それぞれの個体数は、分類可能な個体数66個のうちA類平底甕が41個、B類台付甕が13個、C類小型甕が12個である。これを大きな時期区分の前期と中期で分けると、前期ではA類2個、B類9個、C類3個、中期ではA類39個、B類4個、C類9個となり、前期での台付甕優位から中期の平底甕優位という器種組成の上での大まかな流れを本遺跡でも裏付ける結果となった。胴部の形態は、前期の比較数量が少ないため中期A類に限ってみると、1類が13個、2類が6個、3類11個、4類5個となり、全体的には球形の胴部の1・2類が多数を占めている。ただ、前期から中期への器形変化の目安となる長胴化という現象に注目して、先の高杯分類結果との関係をみると、漸移的ではあるが1・2類から3類への変化が認められる。器面調整の結果については、次項で詳述する。

壷　出土量は少なく且つ全体の形状がわかるものが少ないため、口頸部の形態により分類した。

A　口縁が折り返し口縁で、頸部から直線的に外傾するもの。口縁部の幅、口頸部の高さにより二分できる。

第42表　甕の分類と遺構別伴出数量

時期と遺構＼分類		甕					台付甕				小型甕				計
		A	A1	A2	A3	A4	B	B1	B3	B5	C	C1	C3	C4	
Ⅰ期	SI002						2		1			1			4
	SI003						2	1	1			1			5
	SI004		1												1
	SI005						1							1	2
	SI006	1					1								2
Ⅱ期	SI012		3												3
	SI013	1											1		2
	SI017	1	3	2		1	1							2	10
	SI019								1	1	2	1			5
	SI020		1												1
	SI025		1												1
	SI028				2	2									4
	SI029		1		1										2
	SI032				1										1
	SI033					2									2
	SI034		1												1
	SI035			2	2										4
	SI036			1	1										2
Ⅲ期	SI009				2								1	1	4
	SI010	1										1			2
	SI011				1										1
	SI016	1	1				1								3
	SI024			1	1										2
	SI031		2												2
計		5	14	6	11	5	8	1	3	1	2	4	2	4	66

1　口縁部の幅が広く、口頸部が比較的高いもの。SI003（9）は球形に張る胴部下位に突帯が巡る。

2　1類に比べ口縁部の幅が狭く、口頸部が低いもの。壷の中で最も多い形態である。口頸部は直線的に外傾するものと口縁上端が外反するもの。SI035（12）、SI028（5）

B　口縁部が有段口縁（二重口縁）で頸部が直立するもの。SI006（4）、SI007（4）

C　口縁部に鍔状の突帯を持つもの。本遺跡では2例出土している。SI024（3）、SK019（1）

D　口頸部全体が外反し、口唇部が小さく変化するもの。SI014（3）、SI017（9）

小型壷　いわゆる坩の類である。大型と小型があるが、大型品は全体の形状がわかるものがごく僅かなので、基本的に口径や胴部の径、高さによってA～Dに分類し、これに胴部の形態を加味した。また口頸部の形状はa直線的に外傾するもの、bわずかに湾曲するもの、c屈曲するものに分類した。なお、底部はわずかに上げ底状のものがあるが平底とした。実測した量は高杯、甕に次いで多く、42個体である。

A　大型で胴部に最大径をもつもの。全体の形状がわかるものはSI028（2）の1点であるが、口頸部の形態で直線的に開くSI002（6）、SI003（7）とは明らかに異なっている。

B　小型で口縁部に最大径をもち、口縁部の高さが比較的高く、口縁部が大きく開くもの。胴部の形態は球形に張るSI014（2）等、胴部が屈曲するSI010（13）がある。

C　小型で口縁部に最大径をもつか胴部の径と拮抗するもので、口縁部の高さがBに比べ低いもの。これも胴部が球形のSI008（1）と胴部が屈曲するSI016（4）がある。

D　小型で最大径が胴部にあり、口縁部の高さCと同様のもの。胴部が球形のSI036（12）と屈曲するSI016（3）がある。

小型器台　この器種も出土遺構に偏りがあり、出土量も少ない。受け部の径と器高がほぼ同じ値を示し全体に器高が低いもので占められている。受け部の形態は丸く収められるもの、口縁部が僅かに外反するもの、逆台形状のもの、脚部との境から直線的に開くものがある。脚部は裾に向かって緩やかに開くものがほとんどであるが、受け部と台部が直線的に開く鼓型の器台がSI003で1点出土している。

杯・椀・鉢類　前述したように総体的に数が少なく、出土する遺構に偏りがあるため一括して分類した。

A　平底で、体部が内湾気味に立ち上がり、口縁部が直立或いはわずかに外傾するもの。体部と口縁部の境に弱い稜があるものと無いものがある。SI009（1）・(2)、SI010（1）

B　平底で、A類に比べ深く、体部から口縁部が全体に内湾ぎみに立ち上がるもの。SI010（2）

C　平底で、体部と口縁部の境が弱く括れ、口縁部がわずかに外反するもの。口径の差はあるが口径に比して器高が高い（深い）ことも特徴である。SI009（3）、SI010（3）

D　全体に小振りで、口径に比して器高が高く（深く）、底部から口縁部が内湾気味に立ち上がるもので椀といえる形態である。底径は小さく平底である。SI017（6）、SI019（4）

E　平底で、体部と口縁部の境に明瞭な稜を持ち、口縁部が屈折して外に開くもので、鉢といえる形態である。SI019（5）、SI031（9）

（2）編年的位置づけ

出土土器の分類結果と器種の組合せ及び他の遺跡の成果から本遺跡の土器群をまとめると、Ⅰ期～Ⅲ期に分類することが可能である（第169・170図）。大枠の土器型式は第Ⅰ期が五領式、第Ⅱ、Ⅲ期が和泉式に該当する。

第Ⅰ期　SI003出土土器を指標とする。出土土器では高杯、小型高杯、小型器台、甕、壷、小型壷（いわ

ゆる坩）がある。高杯は杯部下端に稜がある東海地方の元屋敷系で、脚は八の字状に広がりをみせる新しい様相を示している。小型器台は受け部形状が多様であるが、全体に器高が低く、椀状の受け部と台部の裾が広がる傾向にある。

甕は、平底のＡ類と台付甕のＢ類、小型甕のＣ類が揃っている。前述したとおり台付甕の出土頻度が高く、房総地域の中でも平底甕優位の上総地域と台付甕優位の下総地域という地域的な特色を反映している。甕類の調整はｉ類ハケ主体のもの、ii類ハケ後ナデ調整を加えるもの、iii類ヘラナデ・ヘラケズリ主体のものがあり、本期に該当する23個体のうちｉ類10個体（43％）、ii類12個体（52％）、iii類１個体であった。なお、ｉ類のものは本期に限られる。壷は折り返し口縁のＡ１類と口縁形状が不明だが頸部が直立するものがある。SI003（９）は球形に張る胴部下位に突帯が巡る。

小型壷は全体の形状が不明だが、直口縁で直線的に外傾する大きめの口頸部がある。胴部は大型のもので占められている。調整にミガキが多用される特徴があげられる。

本期は土器群の様相から市野谷宮尻遺跡Ⅲ期（宮尻Ⅲ期）に相当する。

第Ⅱ期　SI017、019、021、035、036出土土器を指標とする。出土土器は高杯、甕、台付甕、小型甕、壷、小型壷、椀・鉢、甑がある。

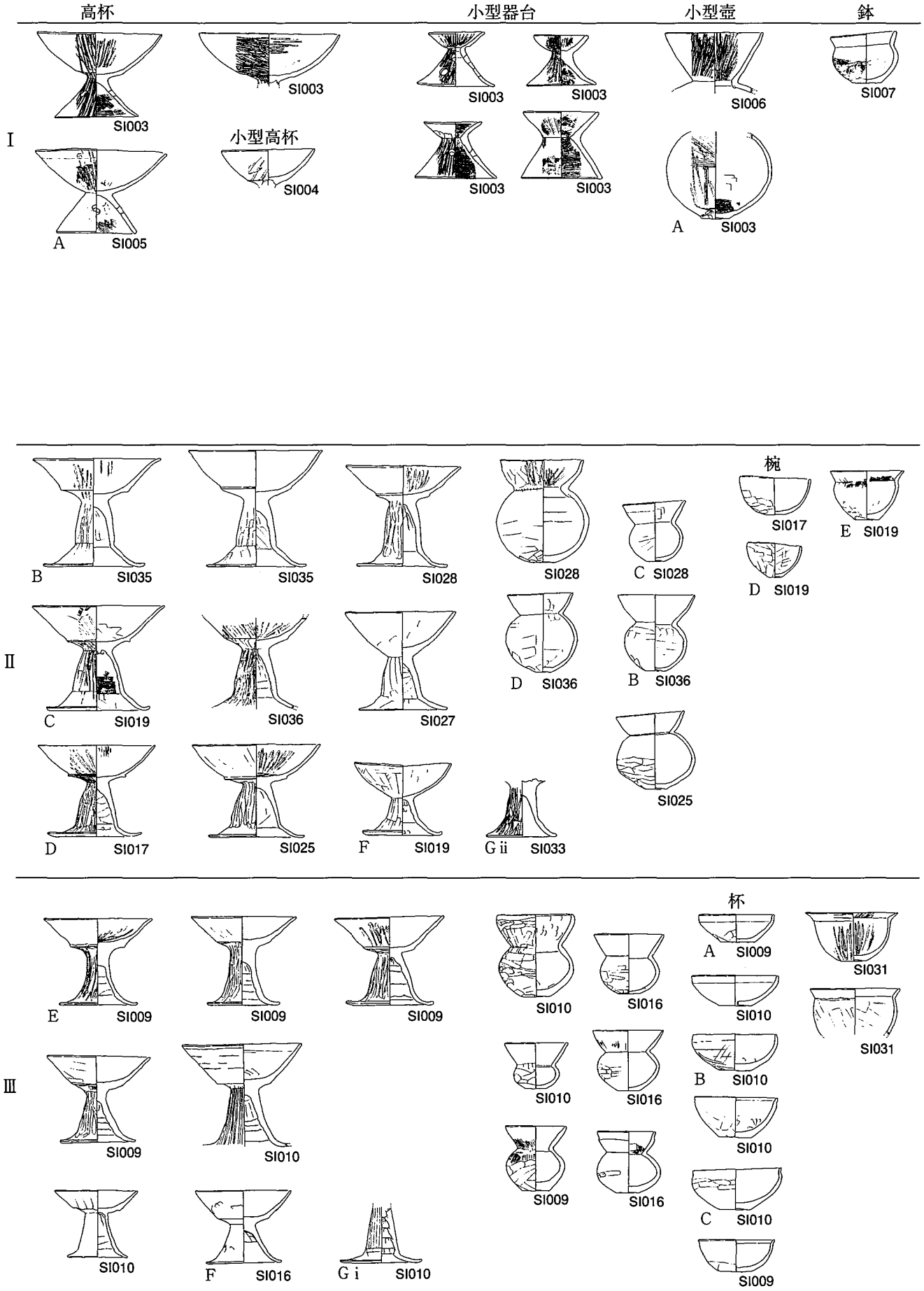
高杯はＢ類、Ｃ類、Ｄ類、Ｆ類、Ｇ類がある。中でもＣ類の裾部が脚の高い位置から屈折して開くものが主体を占めており、これにＢ類の円筒形の脚部もつ高杯とＤ類の円錐形で低い脚をもつ高杯が加わっている。高杯Ｂ類は柏市石揚遺跡021住居や同市殿塚遺跡第５号住居の例に類似し、やや古い要素が認められる。Ｇ類は円筒形のＢ類に近い要素があり、SI33（１）のような椀形の杯部が古相を示すかもしれない。

甕は平底のＡ類が主体となり、Ｂ類の台付甕は僅かに残る。器形は胴部が球形を呈する１類、２類と卵形を呈する３類が並存している。ただ球形の胴でも前代に比べて肩の張りが弱くなる傾向を示している。調整は、ｉ類ハケ主体のものが無くなり、ii類ハケ後ナデを加えるものとiii類ヘラナデ、ヘラケズリ主体のものが並存するが、SI035、036のように住居によってはヘラナデ、ヘラケズリ主体が占めている遺構が見受けられ、本期で集計した58個体の調整手法の割合をみてもii類19個体（33％）、iii類38個体（66％）で、調整手法の変化が認められる。また、調整技法として特異なものにSI029（４）のタタキを施す甕がある。近隣では柏市戸張一番割遺跡にタタキ調整の甕があるが、時期・手法・器形ともにかけ離れており、その系統を同列に扱うことはできない。むしろこの段階における韓式系の土器の影響を考慮すべきであろうが推論の域を出ない。SI028（８）の甕も一見タタキ様の目の粗いヘラナデが施されており、その系譜はともかく類似した技法をとる点で興味深い。

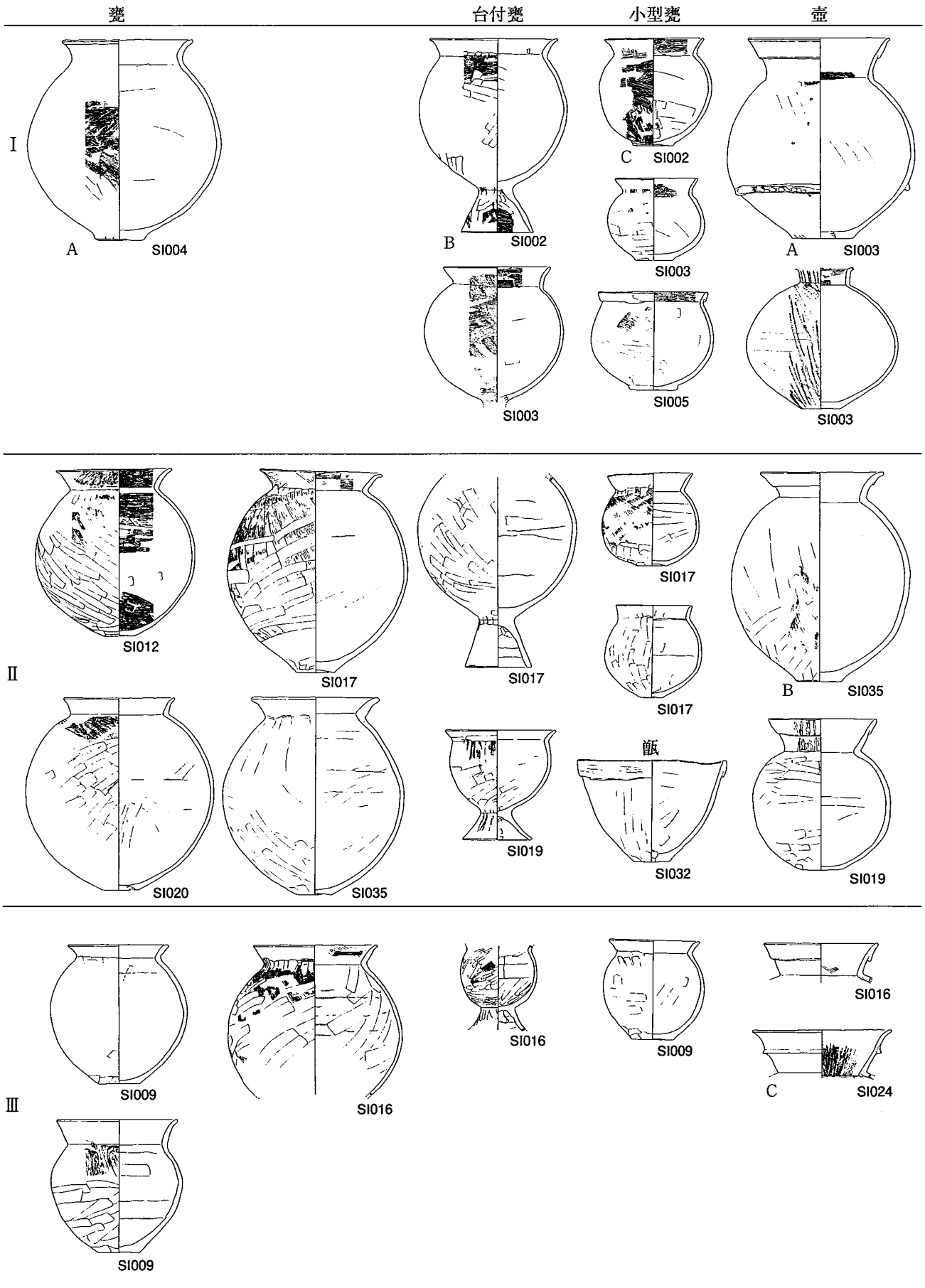
壷は全体の器形がわかる資料が少ないが、口縁部が折り返しで幅の狭いＡ２類が主体となる。胴部形態はSI35（12）のように長胴化の傾向にある。ほかに口唇部が摘み上げられるＤ類がある。小型壷の形態は多様である。大型で球形の胴部をもつSI028（２）はⅠ期に比べ小振りになり、口頸部がわずかに屈曲している。小型のSI036（11）、（12）も口頸部が同じような変化がみられる。

椀・鉢類はSI017、019から計３点が出土している。Ｄ類とした椀状の２点は、口径に比して深めで、平底の底部が小さい。また、Ｅ類の鉢１点は胴部に張りがあり、口頸部の内外面にハケ調整が施されている点で、古い要素を示している。

本期は再三触れているように高杯の形態からみた場合、前出の柏市石揚遺跡や同市殿塚遺跡など古い様相にあるＢ類と外原第８号址にみる新しい様相Ｄ類があり、その点を考慮すると前半、後半に区分できる



第169図　古墳時代出土土器変遷図（1）



第170図　古墳時代出土土器変遷図（2）

余地も残している。他の器種の要素、例えば甕にみる調整手法や器形の変化があまり認められないため、第Ⅱ期としてまとめて扱った。

第Ⅲ期　SI009、010、016、030、031出土土器を指標とする。高杯、杯・椀・鉢、甕、小型壷がある。器種構成に杯・椀類のうち平底の杯が新たに加わることや高杯の形態に変化が認められる。

高杯はE類の裾部がラッパ状に緩やかに開く柱状脚が主体となり、これにD類、F類、G類が加わる。杯部は第Ⅱ期に比べ浅くなり、外面下端の稜が段状になるものが減少する傾向が認められる。このラッパ状を呈する脚部をもつ高杯は、本遺跡の所在する江戸川中流域、同じ流山市内の桐ヶ谷新田遺跡や柏市尾井戸遺跡など東葛地域に特徴的にみられる形態だが、SI009を例にすると器高が桐ヶ谷新田18.3～16.5cmに対し16.7～15.1cmと総体的に器高が低く、口径も小さくなる傾向にある。

杯はA類～C類の３種に分けられる。総じて底面の広い平底で、口縁部が括れるもの、直立気味のもの、内湾するものと多様なあり方をこの段階から示し、船橋市外原遺跡第10号址出土土器や佐倉市大篠塚遺跡45号住居跡に類似している。ただし、この段階ではまだ本期に含めた住居すべてにみられるものではない。鉢は第Ⅱ期に比べ体部と口縁部の稜が明瞭となり、体部の張りが弱くなる傾向にある。

甕は第Ⅱ期からの傾向を引継ぎ器形の変化に乏しいが、胴部の器形では卵形の３類が球形胴１・２類に比べ若干多くなる傾向が認められる。台付甕はSI016に１点あるが、小型で脚部が太い点でやや様相を異にしている。甕類の調整手法はⅱ類ハケ後ナデを加えるもの、ⅲ類ヘラナデ・ヘラケズリが並存する。本期の21個体のうちⅱ類６個体（29％）、ⅲ類15個体（71％）で、割合的には変化が少ないが、ハケ調整は口頸部に残存する傾向にある。壷は数が減少するが、折り返し口縁にみられる形態は第Ⅱ期と差がない。二重口縁壷は口頸部に鍔状の突出部をもつものに変化している。小型壷は大型に比べ小型の占める割合が多く、SI016（３）のように口縁部が屈折するものが現れる。

古墳時代の出土土器を第Ⅰ期～Ⅲ期に分類した。Ⅱ期～Ⅲ期を高杯でみると、第Ⅱ期の中膨らみの柱状脚主体から第Ⅲ期のラッパ状脚主体へと変化する。本遺跡の所在する東葛地域は桐ヶ谷新田遺跡や尾井戸遺跡のように第Ⅱ期段階でラッパ状の脚が主体となる遺跡が多い地域であり、この点を比較するとその出現が本遺跡より早い段階にある。反面、本遺跡の第Ⅱ期の段階は、総体的には外原遺跡や権現後遺跡のように東葛地域よりむしろ東京湾側の様相にあることを注意しておきたい。

房総における古墳時代前期末～中期の土器編年については、小沢洋氏等の論考が提示されている。特に小沢氏が詳細に検討しており、この編年に対比すると、本遺跡第Ⅱ期は時間幅をもたせて小沢編年2a期～2b期に、第Ⅲ期は杯・椀類を指標として小沢編年３期に位置づけられると思われる。本遺跡では年代の指標の一つとなる須恵器が出土していないが、SI009出土例に類似する平底坏と須恵器が伴出している佐倉市大篠塚遺跡45号住居址を例にすると、陶邑TK216型式期に並行する頃を第Ⅲ期の目安と考えたい。従って第Ⅲ期を５世紀前葉（第２四半期）に、第Ⅱ期をその前、５世紀初頭～前葉とみておきたい。

市野谷宮尻遺跡、西初石五丁目遺跡を含めた古墳時代の土器群は、第43表のような対応関係となる。本遺跡第Ⅰ期と第Ⅱ期の間は宮尻Ⅳ期が埋め、この段階を前期末段階に比定する。土器編年上ではこの段階に中実柱状脚の高杯の出現をみるが、本遺跡群では市野谷宮尻遺跡のグリッド出土土器に脚部１点が散見されるだけで（市野谷宮尻遺跡第128図14）断片的な感を拭えない。周辺地域では我孫子市我孫子中学校校庭遺跡で僅かに確認されるが、房総地域でもこの段階の遺跡や資料が希薄であり、地域や遺跡によって出現の過程、度合いが異なっているように思われる。何れにしても宮尻Ⅳ期と本遺跡第Ⅱ期の間に若干の

第43表　編年対応表

時期/型式	市野谷入台	市野谷宮尻	西初石五丁目	草刈編年	小沢編年
前期/五領式	Ⅰ期	Ⅰ期 Ⅱ期 Ⅲ期 Ⅳ期	前半 後半	Ⅰ期前半 Ⅰ期後半 Ⅱ期前半 Ⅱ期後半 Ⅲ期	0期
中期/和泉式	Ⅱ期 Ⅲ期			和泉式	1期 2a期 2b期 3期

空白期間が生じることになるが、この期間－編年上の－がかなり小幅な時間であると思われる。

ここで集落、住居跡群の分布に目を転ずれば、各住居間に重複するものが僅かで、整然と展開していることがわかる。西に隣接する市野谷芋久保遺跡や一連の発掘調査を実施している本地区の遺跡では、今のところ当該期の住居跡等は発見されていない。宮尻Ⅳ期まで居住した住人達が一端この台地上から離れ、入台Ⅱ期に再びここに居を構えたのか。それとも新来の人々が新たに開村したのか。むしろ、時期を追って北西から南東方向に移動していく住居跡群の動態は、前代から営々と続けられた居住地の経営の証左ではないだろうか。少なくとも台地上に展開する住居群の状況からは、継続的に集落が営み続けられたと考えたい。

（3）集落の変遷と竪穴住居跡

古墳時代の集落の変遷と竪穴住居跡の構造等についていくつかの項目を設け時期ごとに追う。

竪穴住居跡の分布と規模　（第171・172図）

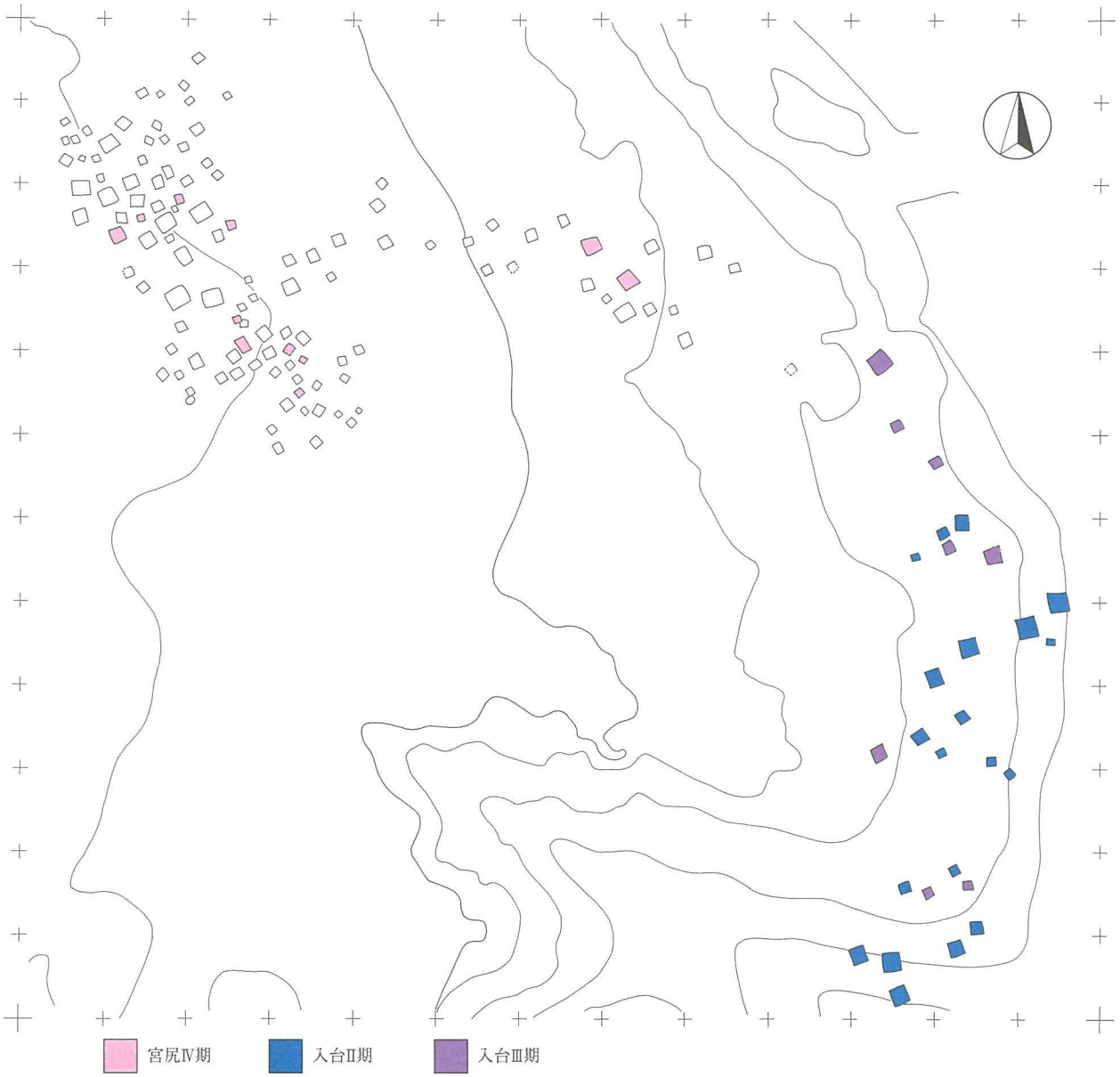
第Ⅰ期に該当する竪穴住居跡はSI002・003・004・005・006・007の6軒である。この時期の竪穴住居跡群は調査区北側に集中し、市野谷宮尻遺跡の竪穴住居跡群と一体となる。市野谷宮尻遺跡を含めた全体で見ると宮尻Ⅲ期D群の住居跡群（市野谷宮尻092・093・094）と同じグループであり、SI002・003・004と005・006・007の3軒1単位が北西から南東方向に並んで群を構成するような分布状況である。住居跡の主軸方向（炉の位置とその反対側を出入口と仮定した場合の住居跡の中軸線の方向）は、北北西に向く建物と東北東に向く建物の二つのグループに分かれるが、分布との相関関係は見られない（第173図）。住居跡の規模は、SI003と007が大型で1辺6m台後半～7m前半、面積が35㎡以上あり、最小はSI006で1辺4m台前半、面積が15.8㎡である。

第Ⅱ期の竪穴住居跡はSI008・012、013、014、017、018、019、020、021、022、023、025、026、027、028、029、032、033、034、035、036の21軒である。この段階で石製模造品の製作と祭祀が開始される。竪穴住居跡は台地東側の縁辺部の北から南に偏在しているが、視覚的に見ると、北側の012～014、中央部の017～023、025～027、南側の028、029、032～036が空閑地を挟んで概ね3つのグループに分かれて立地している。主軸方向は大きく西に振れるSI013と019以外は北～北北西に向く。住居の規模は1辺10mを超えるSI017、018が本集落の中でも最大級の2軒である。また021、036も一辺が8mを超える比較的大型の住居跡で、この4軒はいずれも石製模造品の工房跡である。一方小型の住居跡では一辺3～4m台が4軒存在し、019が最小である。019は出土遺物が比較的豊富にもかかわらず、炉が無く柱穴も貧弱である。

第171図　集落変遷図（１）

第Ⅲ期の竪穴住居跡はSI009・010・011・015・016・024・030・031の８軒である。分布域は第Ⅱ期のグループ域を踏襲し、北、中央、南の３地域に少数ずつが存在する。規模はSI009が飛び抜けて大きく一辺９ｍ台で面積約80㎡、一辺７ｍ台は２軒、他は４ｍ後半～６ｍ弱が５軒であり、大型が目立つⅡ期に比較するとやや小振りになっている。主軸方位はⅡ期と同じ傾向を示している。

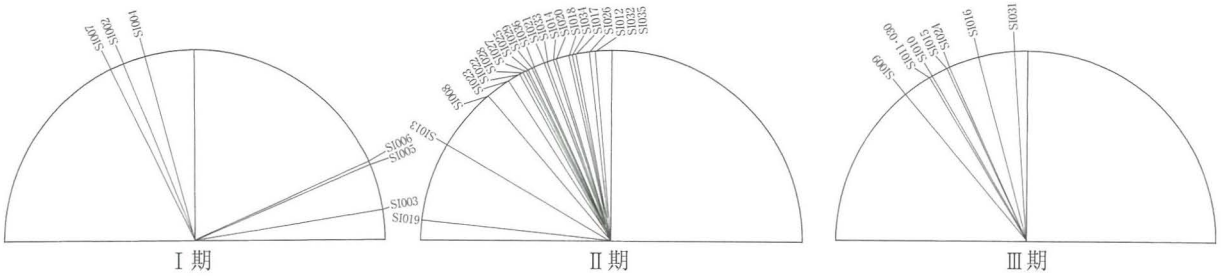
竪穴住居跡の構造　竪穴住居跡の平面形は、全期間を通じて基本的に方形が採用されている。竪穴内は個々の差はあるが、炉が住居奥に設けられ、方形の対角線上の４か所に主柱穴を設ける。その他付属施設に貯蔵穴、テラス状遺構が設けられる。貯蔵穴を中心にみていくとⅠ期では３軒に貯蔵穴があり、うち２軒には２か所ずつが設けられる。SI003では間仕切り溝で区切られ、007では長方形に大きく掘り込み、底面を低い土手で仕切っている。炉の位置を基準にした貯蔵穴の位置は、炉の左側奥のコーナーが２軒、炉の対辺右側コーナーが１軒である。Ⅱ期では18軒で、その内４軒は２か所に貯蔵穴が設けられる。住居内



第172図　集落変遷図（２）

での位置は、炉の対辺左側が11軒、右側が４軒、炉の右側が２軒、左側が２軒、炉の奥の壁に沿うものが１軒あり、炉の対辺の左側が５割を超えている。Ⅲ期では８軒すべてに設けられている。大型の009では炉の奥、壁に沿って大小２基があり、他は炉の左奥１軒、炉の対辺左側４軒、右側２軒となり、依然として炉の対辺の左側に設ける住居が多く、住居内の空間利用に変化は認められない。ここで重要となるのは住居の出入口施設の有無であるが、残念ながら出入口位置を想定できるような施設は検出されていない。この時期の一般的な住居構造として、出入口を炉の対面側にあると仮定して竪穴住居跡内での貯蔵穴の位置関係をみると、炉の対面側、つまり出入り口の左右のコーナーに貯蔵穴が配置される住居が７割近くあり、圧倒的に出入口側に設ける住居が多い。出入り口の左右別ではⅠ期が右１、Ⅱ期が右４、左11、Ⅲ期が右２、左４である。

市野谷宮尻遺跡、西初石五丁目遺跡の両遺跡では、合計110軒の竪穴住居跡のうち貯蔵穴のあるものが



第173図　時期別主軸方向分布図

43軒である。このうち、出入口右側26軒、出入口左側５軒、炉右側９軒、炉左側１軒、炉の奥が１軒となり、31軒の住居が出入口側の左右のコーナーに設置し、特に出入口右側に多いことが分かる。前期から中期の時間軸の変化でみると、出入口側に設置された貯蔵穴は、前期では出入口の右に多く、中期（入台Ⅱ期以降）では逆に左側に設置するものが多くなるという結果が得られた。貯蔵穴の機能、用途については未だ有効な結論が得られていないし、本遺跡でもその機能を積極的に論証する成果は挙がっていない。ただ、貯蔵穴の設置割合は前期116軒中46軒で約４割、中期29軒中24軒で約８割を超え、時期を追って貯蔵穴の設置割合が増している。住居内の空間利用という視点に立てばカマド導入の前段階における住居内の空間利用において一定の役割が確立していると考えられる。

竪穴住居跡の廃絶　第Ⅰ期～第Ⅲ期を通じて19軒の竪穴住居跡から焼土や炭化材が検出されている。焼土や炭化材の量、分布状況は個々に差があるが、多くの場合住居跡の壁際に残存している。これらのすべてが一概に焼失したとは言えないが、焼土や炭化材が多く散布しているSI002、006、009、010，012、014、017、026、031、033は焼失住居と考えて良いだろう。それぞれの住居の覆土の状況や出土遺物の状況をみるとSI009、014では遺物の下に焼土層が堆積する状況や覆土中に間層を挟んで焼土が堆積するSI010や012があり、火災と住居跡の埋没が関連しているように考えられる。また、SI017のように焼失住居内に旧石器がまとまって混入していた例は、住居若しくは周辺のローム層が偶然に崩落、流入したものではなく、掘削土を住居貼床層として利用したり、住居外に周堤として積まれていたものが埋め戻されたと考えたい。この他、埋め戻しに関してみると覆土下層、第１次堆積土がロームを主体としている例がSI020、029でも確認されている。このような状況は、住居の廃絶に際した行為、焼失とはいっても単に偶発的な失火や放火ではなく、柏市大井東山遺跡や千葉市荒久遺跡で論じられたような家屋の解体、不要材の焼却、埋め戻しという行為が行われたことを示すものであろう。

第３節　石製模造品について

本遺跡では古墳時代の竪穴住居跡18軒から石製模造品類、勾玉・剣形品・有孔円板・紡錘車・臼玉の成品や未成品、滑石の剥片などが出土している。その内容は第44表に示すとおりである。このうち出土点数が比較的多いSI017、SI018、SI021、SI036の４軒の竪穴住居跡が工房跡に関連する遺構と思われる。中でもSI021からは合計525点の成品、未成品、剥片類が出土しており、製作工程の一端が窺える。

石製模造品の製作は、原石を採取した後、荒割→形割→側面調整→研磨工程→穿孔→仕上げという工程をたどる。もちろん成品の種類によって工程別の大きさや形状が異なるわけだが、当遺跡の場合各成品ごとの工程を復元するに足る資料が乏しいため、出土量の多い臼玉とその未成品等を中心に製作工程の一端

第44表　石製模造品類集計表

種別 / 遺構	SI010	SI012	SI015	SI016	SI017	SI018	SI020	SI021	SI022	SI023	SI026	SI029	SI030	SI031	SI032	SI033	SI035	SI036	グリッド	総計
臼玉					3	6		1		3										13
臼玉未成品				1	1	4		23		1										30
剣形品	1	1				1						2	1	1						7
剣形品未成品				1			1	3		1						1			2	9
勾玉			1		1	1		1	2	1	1	1	1				1			11
勾玉未成品					1			1									1			3
有孔円板						3		1									1			5
有孔円板未成品							1	1										2	1	5
紡錘車未成品						2														2
棗玉未成品								1												1
剥片	1				49	38	3	442	2						1	1	3	13		553
剥片（研磨）								10												10
板状剥片(研磨)							2	41												43
板状剥片(未研磨)	1																	1		2
不明品																1				1
母岩				1														1		2
総計	3	1	1	3	55	55	7	525	4	6	1	3	2	1	1	3	6	17	3	697

をみてみたい。

（1）竪穴住居跡の特徴

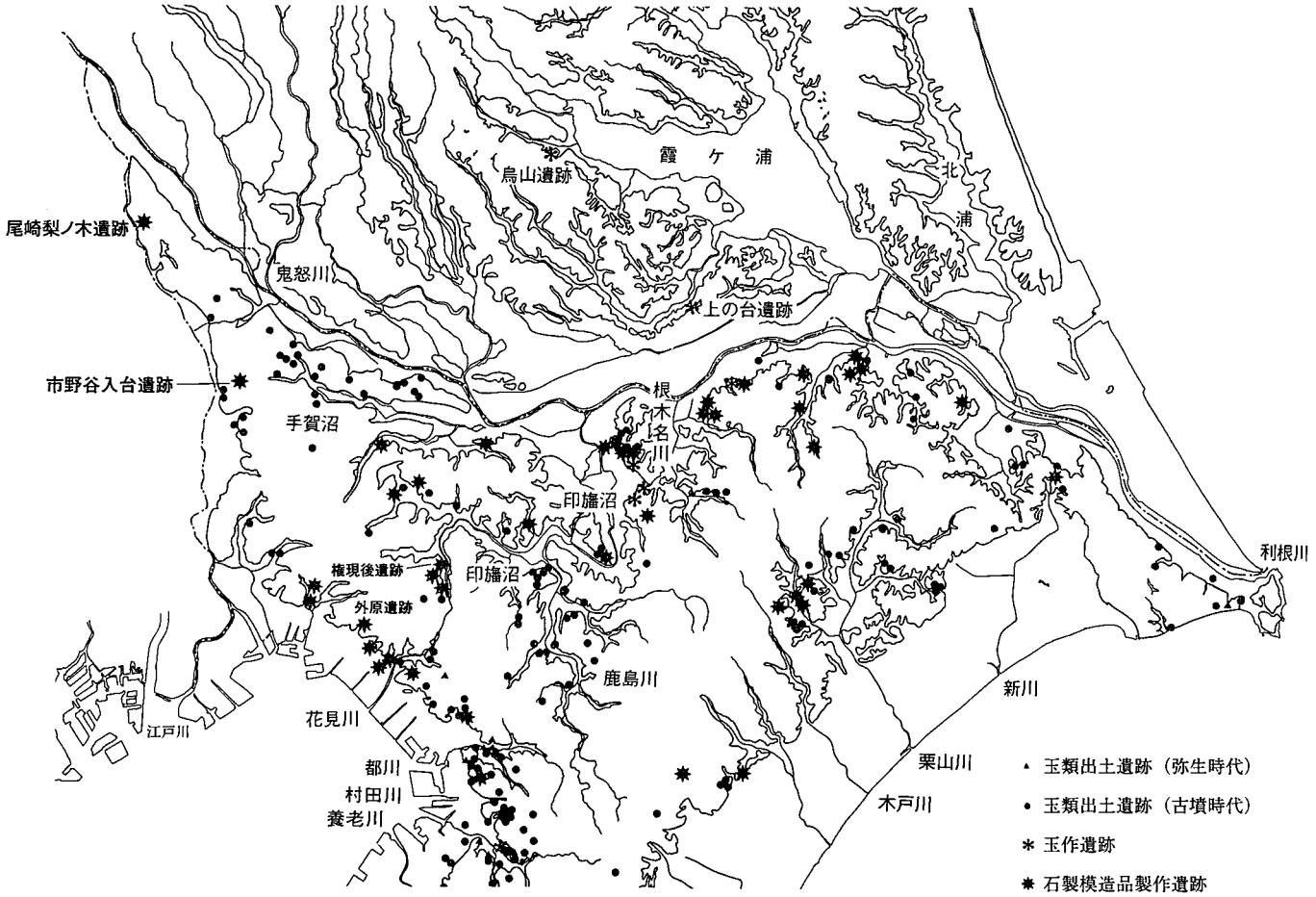
竪穴住居跡はSI017、SI018は共に1辺10mを超え、本集落の中でも最大級の2軒である。またSI021、SI036も一辺が8mを超える比較的大型の竪穴住居跡である。どの竪穴住居跡も、この時期の一般的な構造を示している。SI017、SI021、SI036の3軒は、いずれも住居の南西隅に貯蔵穴を設けているが工作用ピットと考えられるような構造や付属物は無く、遺物もピット内やその周辺には集中していない。SI021では剥片類が貯蔵穴よりむしろ南西側の主柱穴付近に集中箇所が認められ、他の3軒も概ね住居の南側で出土する傾向にある。この点は、出入口付近の採光を考慮して作業場所を選定したとする他の工房跡の分析結果に矛盾しないと思われる[1)]。

（2）石材と母岩

石材は大部分が滑石で、メノウや緑色凝灰岩、蛇文岩は極めて少ない。メノウは成品に限られている。母岩としたものは大きな塊ではなく、拳大程度の石核である。SI016で蛇紋岩が1点、SI036で滑石が1点出土している。蛇紋岩は被熱して変色しているが、加工の際に加熱した可能性がある。滑石は面を替えながら節理に沿って剥離を行い、扁平な素材を得ていたと思われる。側面の一部に金属製の工具痕とおぼしき幅約1cm前後の痕跡が観察されるが、同じSI036で出土したこれよりやや小さめの荒割後の素材と考えられる石塊や剥片にも同様の痕跡が観察されることから、荒割から形割工程の段階で金属製の工具を利用していたことが推定される。

次の形割工程では、臼玉や有孔円板の場合は、荒割品から扁平な板状品を得た後、これを整形・調整する段階である。板状の素材は、SI021、SI036で1点ずつ出土している。研磨を施す前の段階の石片で、SI021のものが最大長35㎜、SI036のものが最大長24㎜でそれ程大きくはない。SI036の素材は側面に金属製の工具で切断されたのか、平滑な面が残っている。穿孔された臼玉の未成品は三角形や四角形、あるいは多角形のものがあり、形・大きさは不揃いで一見規格化されていない印象を受ける。

剥片の中には扁平な板状のものがあり、これを分類の段階で板状剥片として区別した。45点の板状剥片の内43点に研磨が施されている。片面に直線状の切削痕が観察される素材もあり、基本的には形割段階で板状品を生成し、これに研磨を加えた後裁断し、適当な素材を取得していたことが看取される。この工程



第174図　弥生時代・古墳時代以降玉類出土遺跡分布図（千葉北部地域）
「千葉県文化財センター研究紀要13」から改図転載

は八千代市権現後遺跡、成田市石塚遺跡等で同様の工程が確認されている。板状剥片の大きさは長さ15㎜～５㎜前後で、形や大きさにかなりバラツキがあることから、研磨の段階や穿孔後の仕上げの段階で生じた剥片と考えられる。成品と未成品及び研磨された板状剥片の厚さの平均は、成品3.2㎜、未成品3.3㎜、板状剥片3.5㎜という数値であり、作業工程を裏付けている。

穿孔は研磨後におこなっている。臼玉の場合、成品と未成品双方の孔径は平均約1.6㎜であり、ほぼ同じ太さの錐を利用していることが分かる。孔の先端は丸くU字形に窪んでいるため、おそらく棒錐を使用していたものと推定される[2)]。棗玉や勾玉、有孔円板の穿孔途中の例でも、同様の痕跡が認められる。また、孔の内面に螺旋状の痕跡を残すものがある。

穿孔後は最終的な仕上げの段階にあたり、研磨を施すことになる。竪穴住居跡内からは擦痕のある軽石が数多く出土している。千葉市箕輪遺跡ではこの軽石に注目して滑石類の研磨に使用した可能性を指摘しており、本遺跡でも充分その可能性が高いと思われる。また、グリッド出土遺物の中に凝灰岩製の筋砥石が１点あり、勾玉等の研磨に使用されたと思われる。

（３）石製模造品からみた市野谷入台遺跡の位置づけ

千葉県内の石製模造品製作跡の分布を概観すると、成田市域を中心とした下総東部の利根川南岸から印旛沼東岸と下総西部の印旛沼西岸から東京湾岸の地域の二つの地域が他の地域に比べ突出した分布を示し

ている（第174図）。このうち下総東部地域は、八代玉作遺跡など前期からの玉作工房の系譜を引継ぐ地域であり、下総西部地域では中期になってから製作跡が出現するという地域的な特色が認められている。本遺跡の位置する江戸川流域は製作跡等[3]が希薄な地域であり、野田市尾崎梨ノ木遺跡、松戸市殿平賀向山遺跡、市川市杉ノ木台遺跡の３遺跡を数えるに過ぎない。その製作規模も全体像が不明ではあるが、東京湾岸の船橋市夏見台遺跡群や花見川流域の権現後遺跡・北海道遺跡に比べて、いずれも小規模なものである。

江戸川流域と花見川流域、印旛沼西岸地域の遺跡に限って製作跡の出現時期を見ると、中期前半で外原遺跡、権現後遺跡、後半で船橋市屋敷１丁目遺跡、杉ノ木台遺跡、尾崎梨ノ木遺跡、夏見台遺跡と続く。本遺跡の場合、出土土器の対比からみると外原遺跡、権現後遺跡とほぼ同じ頃かやや早い段階に製作が開始されており、江戸川流域では今のところ最も早い段階の遺跡と見ることができよう。剥片類の出土量は権現後遺跡や成田市石塚遺跡などから比べるとかなり少量であり、その点から見ると他の集落への供給を目指したものではなく、自給自足的な、自集団での祭祀に足る範囲での製作に終始したと考えられる。古墳時代の集落が終息に向かう第Ⅲ期の竪穴住居跡では、未成品の数は激減し、勾玉と剣形品を僅かに保有するだけとなる。石製模造品の製作は第Ⅱ期で途絶し、祭祀も短期間で終息に向かったと思われる。

東国における石製模造品製作と祭祀の出現過程の背景には、ヤマト王権の東国経営と在地首長層の関与があったとされ、石材の流通や配布が在地首長層の管理のもとに極めて強い政治色を反映した中で進められたと言われている。仮にそうであれば、市野谷宮尻遺跡、西初石五丁目遺跡を含めたこの集落が、前期には移植集団として開発を担い、中期には政治色を色濃く反映した新しい祭祀を執り行う前衛基地のような役割を担っていたと位置づけられよう。

注１　山口典子・小林清隆ほか 1992『千葉県文化財センター研究紀要』13（財）千葉県文化財センター　石製模造品の分類、特に剥片類の分類は本紀要に拠った他、小林清隆氏の御協力を得た。

２　寺村光晴「玉作とその流通」『ものづくりの考古学－原始・古代の人々の知恵と工夫－』大田区立郷土博物館　2001

３　製作遺跡の認定は工房遺構の検出が重要であるが、工作ピットなど明瞭な遺構の判断が困難であり、石材や未成品、工具等製作関連遺物の出土状況によって判断する場合が多い。製作関連遺跡も含めている。

第４節　中世竪穴建物の類例とその用途

竪穴建物とした遺構は、第５章で説明したSK022～SK029の８基である。建物はいずれも長方形を基調とした竪穴構造で、底面に長軸に沿って２基ないし３基の柱穴をもつことや022、025、026のように竪穴内への出入口と考えられる張り出し部や足掛け状に刳り貫かれた穴、スロープ状の施設が付随することも特徴の一つである。竪穴の規模は長辺が3.11m～3.41m、短辺が2.45m～3.14m、深さ40cm～84cmで、周囲の古墳時代の竪穴住居跡よりも比較的深く掘り込まれている。長軸線上に並ぶ柱穴は概ね円形で、深さ40cmを超えるものが多く、上屋の存在を十分想定できるものである。

このような構造を持つ遺構は東国の中世遺跡から類例が増しつつあるが、「竪穴状遺構」「方形竪穴遺構」「室状遺構」「方形竪穴」等々、その名称が定まってはいないのが現状である。基本的には上屋構造を想定して「竪穴建物」と呼称しておきたい[1]。

竪穴建物が遺跡の主体をなす例として、栃木県下古館遺跡がある。この遺跡は、12世紀代～15世紀代に栄えた、街道を軸にした「市」あるいは「宿」と想定される遺跡で、「竪穴遺構」や井戸、土坑、溝で構

成されている。発見された竪穴遺構は128基にのぼり、平面形や柱穴、出入口の位置などからA類からJ類に分類している。基本的には方形や本遺跡のような長方形の平面形の遺構が多く、中には炉状遺構を伴うものや火を使った形跡が認められる。一部に葬送に関連した可能性のある竪穴遺構があるものの、多くは「常住したかどうかは別として、ある意味で居住可能な施設であり、その機能属性は汎用性がある」としている。

一方、県内では本遺跡の例に近い例として野田市岩名第14遺跡がある。ここでは鍵の手に曲がる溝状遺構に沿って4基の「竪穴遺構」が存在する。そのうち3基は長軸方向に柱穴が並び、中には炉跡と考えられる焼土を伴う遺構がある。規模や遺構の状況が本遺跡と共通している[2)]。

千葉市伯父名台遺跡は12世紀末から15世紀後半まで存続した村落であるが、台地の一角を大きく整形した「台地整形区画」と呼ばれる区画内に掘立柱建物跡、井戸、地下式壙と共に「方形竪穴遺構」が複数存在する。区画毎の遺構の構成に多少の違いがあるが、これらは屋敷地を構成する遺構群として存在し、貯蔵施設あるいは作業施設としての機能が考えられている。また、区画から離れた場所には、柱穴のほかに壁溝を設けた大型の方形竪穴遺構が独立して存在する。また、袖ヶ浦市荒久遺跡は旧鎌倉街道と推定される街道に面した「門前に開かれた宿」と目される遺跡で、掘立柱建物跡に付随する様に1基の方形の竪穴状遺構があり、屋外の収納用施設あるいは作業小屋を想定している。同じく13世紀後半～14世紀前半と15世紀代に二つの画期を求められる袖ヶ浦市山谷遺跡は、旧鎌倉街道を中心として村落が営まれる遺跡で、その前半期にあたる整形区画A内に掘立柱建物跡と方形竪穴が設けられる。

このように見てくるとこの種の遺構は、多くの場合掘立柱建物跡や井戸、地下式土坑、土坑とともに屋敷地など生活空間の中に存在する事例が多い[3)]。本遺跡の場合、当該期の遺構は溝状遺構以外に無く、類例としてあげた岩名第14遺跡でも近世の掘立柱建物跡がやや距離を置いた地点にあるものの両者の関連性は極めて薄いと判断される。このように竪穴建物だけが数基で群在する例は少数事例であり、その違いについては用途を含めて更に検討を要するが、房総においては、今のところ本遺跡や伯父名台遺跡、山谷遺跡のように13世紀代にはこうした竪穴建物が出現するものと思われる。

本遺跡の建物群は大きく北と南の2群に分かれて存在し、長軸方向が南北方向を指すものが6基、東西方向を指すものが2基である。また、建物の間隔は、北の一群でSK023、024、026の3基と022、025、あるいは025と027の2基や028、029の2基が近接していることがわかる。出入口施設の位置や上屋の軒の出を想定した場合、当然のごとく各建物間にはある程度の間隔が必要となり、これらの建物が同時に存在したとは想定し難い。おそらく、一時期に2～3棟ずつが存在したと思われる。ただ、建物内やその周囲から出土した常滑の陶器類から推定される時期が13世紀後半に限られていることを考慮すると、その期間は長くても半世紀程度であったと思われる。

一時期に複数棟の建物群が存在したとはいえ、8基の建物が一定の範囲に止まっているのか。建物の位置はその用途や利便性に基づいているのではないだろうか。他の遺跡の例にあるように掘立柱建物跡のような主屋に付随していない。出入口施設の位置や建物の方向からみた場合、溝状遺構SD001～003が西・北・東側を区切り、南側の開かれた空閑地を意識した位置取りをしている。それは当然、使用する際の利便性を考慮したものである。飯村の言う恒常的な居住以外の用途、例えばこの空閑地を耕作地或いは林地と見れば、そこに隣接する物置小屋或いは作業小屋という用途を考えておきたい。

遺跡と近傍の村落の位置関係を明治13年測量の陸軍第1軍管地方迅速側図でみると、遺跡の南側に谷津

「牛飼沢」を隔てて旧市野谷村、旧野々下村が所在し、この方面から谷津を経由して遺跡の外郭に沿って北上する間道が延びている。この位置関係や主要幹線道、間道も現況（第１図）と大きな変化が無く、建物群は、例えばこのような道を意識した、利便性を指向した位置に建てられたのではないだろうか。こうしたルートが中世の時期に成立していたかどうか裏付ける史料はないが、天正19年（1591）の天正検地帳に「八木庄」の一つとして旧野々下村の記録が見え、近世初頭には旧野々下村、旧市野谷村が「八木郷」七か村の中に見えることから、この一帯も村々の開墾地であったと推定される。中世村落の成立過程は定かではないが、記録によればこの地域が鎌倉時代初期に千葉氏所領の八木郷として成立していたことが明らかであり、このような遺構も村落成立期の資料の一つとなることを期待したい。

注１　飯村　均は東国の中世集落を概観した中で１辺２～４ｍの方形を基調とした竪穴の遺構を「竪穴建物」として扱い「住居」「倉庫」「工房」などの可能性を考え、基本的に「倉庫」と考えて良いと結論している。
小野正敏編『図解・日本の中世遺跡』　東京大学出版会　2001

２　野田市岩名第14遺跡では覆土が埋め戻されている状況から「墓壙」と推定している。
岡田光広・落合章雄『野田市岩名第14遺跡－住宅宅地関連公共施設等整備促進事業に伴う埋蔵文化財調査報告書－』（財）千葉県文化財センター　1994

３　他に同種の遺跡として四街道市権現堂遺跡がある。遺構についての詳細な検討はしていないが15世紀～16世紀代の整形区画の中に20基の竪穴建物が存在する。ここでは柱穴のない方形の竪穴とともに「室状遺構」として扱っている。

引用・参考文献（第２節）

小沢洋　1999「房総の古墳中期土器とその周辺」『東国土器研究』第５号　東国土器研究会
太田文男・安井健一　1994『石揚遺跡－手賀の丘少年の家建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』（財）千葉県文化財センター
大村　直　1994「戸張一番割遺跡の甕形」『史館』第25号　史館同人
大村　直　2006『市原市南岩崎遺跡』市原市教育委員会
大阪府立近つ飛鳥博物館編　2006『年代のものさし－陶邑の須恵器－』大阪府立近つ飛鳥博物館
上守秀明・出口雅人　1993『千葉東南部ニュータウン18－鎌取遺跡－』（財）千葉県文化財センター
桐生直彦　1987「遺物出土状態の分析に関する覚書」『貝塚』38　物質文化研究会
桐生直彦　1987「竪穴住居を中心とした遺物出土状態の分類について」『東国史論』第２号　群馬県考古学研究会
栗田則久　2006『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書１－流山市市野谷宮尻遺跡－』（財）千葉県教育振興財団
栗田則久・木島桂子　2008『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書２－流山市西初石五丁目遺跡－』（財）千葉県教育振興財団
栗本佳弘他　1970『東関東自動車道（千葉－成田線）関係埋蔵文化財発掘調査報告書』千葉県文化財保護協会
古宮隆信他　1981『殿内遺跡調査報告書』（財）柏市都市開発公社・殿内遺跡調査団
後藤信祐　1992「宇都宮市花の木町遺跡出土土器の再検討－栃木県における古墳時代前期末の土器様相－」『研究紀要』第１号　（財）栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
坂口　一　1987「群馬県における古墳時代中期の土器の編年」『研究紀要－４－』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団
下津谷達男他　1985『千葉県野田市二ツ塚古墳群』野田市遺跡調査会
白井久美子　2003「佐倉市大篠塚遺跡」『千葉県の歴史　資料編　考古２（弥生・古墳時代）』千葉県
（財）千葉県文化財センター編　2000『千葉県文化財センター研究紀要』21（財）千葉県文化財センター
中山吉秀他　1979『流山市桐ヶ谷新田遺跡』流山市桐ヶ谷新田遺跡調査会

中山吉秀・岡田光広　2001 「第４章　古墳時代」『流山市史　通史編Ⅰ』流山市教育委員会
長谷川厚　1991 「土師器の編年　関東」『古墳時代の研究６　土師器と須恵器』雄山閣出版
坂野和信　1991 「和泉式土器の成立について－序論－」『土曜考古』第16号　土曜考古学研究会
坂野和信　2005 「東国の古墳時代中期土器と韓半島系土器」『研究紀要』第20号 （財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団
比田井克仁　1988 「南関東五世紀土器考」『史館』第20号　史館同人
比田井克仁　1995 「下総地域の主体性」『法政考古学』第21集　法政考古学会
比田井克仁　2001 『関東における古墳出現期の変革』雄山閣出版
平岡和夫　1958 『戸張一番割遺跡－千葉県柏市戸張一番割遺跡調査報告書－』柏市教育委員会
古内茂・伊藤智樹他　1983 『千葉東南部ニュータウン12－南二重堀遺跡－』（財）千葉県文化財センター
松本茂他　1980 『尾井戸遺跡』尾井戸遺跡調査団
道澤明他　1984 『佐倉市鏑木諏訪尾余遺跡』鏑木諏訪尾余遺跡調査会
村山好文　1983 「房総における和泉式土器編年試案」『日本考古学研究所集報』５　日本考古学研究所
山口典子他　1989 『千葉市荒久遺跡（1）』（財）千葉県文化財センター
八幡一郎・岡崎文喜・松浦宥一郎他　1972 『外原』船橋市教育委員会
渡辺修一　1985 「古墳時代竪穴住居の構造的変遷と居住空間」『研究連絡誌』11（財）千葉県文化財センター
渡辺修一　1992 『千葉市地蔵山遺跡（１）』（財）千葉県文化財センター
（第３節）
天野　努他　1981 『公津原Ⅱ』（財）千葉県文化財センター
稲葉千絵　2003 「房総地域における石製模造品製作に関する一考察」『法政考古学』第30集　法政大学
加藤正信　1985 『千葉市箕輪遺跡』（財）千葉県文化財センター
阪田正一他　1984 『八千代市権現後遺跡』（財）千葉県文化財センター
笹生衛・小林清隆・神野信　1993 「千葉県における祭祀遺跡の状況」『第２回東日本埋蔵文化財研究会　古墳時代の祭祀－祭祀関係の遺跡と遺物－』《第Ⅱ分冊－東日本編Ⅱ－》東日本埋蔵文化財研究会
篠原祐一　2005 「滑石の生産と使用をつなぐ視点」『古墳時代の滑石製品－その生産と消費－』第54回埋蔵文化財研究集会発表要旨・資料集　埋蔵文化財研究会
篠原祐一　2006 「石製模造品と祭祀の玉」『季刊考古学』第94号 （株）雄山閣
（財）千葉県史料研究財団編　2007 『千葉県の歴史　通史編　原始・古代１』千葉県
椙山林継　1975 「住居址発見祭祀遺物の研究－時期検討を中心に－」『國學院大學日本文化研究所紀要』第35輯 國學院大學
寺沢知子　1990 「石製模造品の出現」『古代』第90号　早稲田大学考古学会
寺村光晴編　1974 『下総国の玉作遺跡』雄山閣
寺村光晴編　2004 『日本玉作大観』吉川弘文館
宮崎美和子他　1990 『鹿島湖岸北部条里遺跡Ⅷ－宮中条里遺跡大船津地区－』鹿島町教育委員会
（第４節）
天野　努　2006 『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財発掘調査報告書１－流山市思井堀ノ内遺跡（中世編）－』（財）千葉県教育振興財団
井上哲朗　2001 『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書９－袖ヶ浦市山谷遺跡－』（財）千葉県文化財センター
小野正敏編　2001 『図解・日本の中世遺跡』東京大学出版会
岡田誠造・渡邊高弘他　2006 『松崎地区内陸工業用地造成整備事業埋蔵文化財発掘調査報告書４－印西市松崎Ⅲ遺跡－』（財）千葉県教育振興財団
岡田光広・落合章雄　1994 『野田市岩名第14遺跡－住宅宅地関連公共施設等整備促進事業に伴う埋蔵文化財調査報告書－』（財）千葉県文化財センター
小林清隆　1998 『袖ヶ浦市荒久（2）遺跡－主要地方道千葉鴨川線埋蔵文化財調査報告書２－』（財）千葉県文化財センター
関口達彦・西野雅人　2004 『千葉東南部ニュータウン30－千葉市伯父名台遺跡－』（財）千葉県文化財センター

田代　隆・鈴木泰浩・山口耕一　1995『下古館遺跡』（財）栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
高橋　誠　2004『権現堂遺跡－四街道市成台中土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査（Ⅱ）』（財）印旛郡市文化財センター
中野晴久　1995「常滑・渥美」『概説　中世の土器・陶磁器』中世土器研究会編　真陽社
中野晴久　2005「常滑・渥美」『全国シンポジウム中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～発表要旨集』全国シンポジウム「中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～」実行委員会
常滑産の陶器については参考文献の他、当財団上席研究員井上哲朗氏から多くの御協力を得た。

第45表　竪穴住居跡一覧表

遺構No.	旧遺構No.	規模(m) 長軸×短軸	主軸方位	面積(㎡)	壁高(cm) 最大～最小	柱穴深さ(cm) 本数	柱穴深さ(cm) 最大～最小	貯蔵穴	壁溝(cm) 幅×深さ	炉	時期区分
SI001	(2)005	4.50×3.70	—	12.2	25～8	—	—	—	—	1	縄文
SI002	(3)024	6.14×5.89	N－22°－W	30.3	63～49	4	96～66	1	25×7	1	古墳Ⅰ
SI003	(8)－4	7.33×6.38	N－76°－E	39.6	80～44	4	56～34	2	22×21	2	古墳Ⅰ
SI004	(23)001	5.17×4.85	N－15°－W	23.7	17～13	—	—	—	—	1	古墳Ⅰ
SI005	(8)－1	4.85×4.71	N－67°－E	21.6	25～17	2	24～22	—	—	1	古墳Ⅰ
SI006	(8)－2	4.36×4.20	N－66°－E	15.8	36～21	3	31～14	—	—	1	古墳Ⅰ
SI007	(8)－3	6.89×5.78	N－26°－W	37.3	35～8	4	20～11	2	—	1	古墳Ⅰ
SI008	(18)001	4.18×－	N－41°－W	—	20～15	—	—	1	—	1	古墳Ⅱ
SI009	(7)－8	9.70×9.50	N－40°－W	(80.7)	35～13	4	89～72	1	30×7	1	古墳Ⅲ
SI010	(7)－7	5.41×5.36	N－30°－W	25.7	45～24	3	42～14	1	—	1	古墳Ⅲ
SI011	(7)－4	5.99×5.44	N－31°－W	30.3	28～5	4	33～28	1	—	1	古墳Ⅲ
SI012	(7)－2	8.63×6.94	N－5°－W	55.8	32～20	4	72～57	1	—	2	古墳Ⅱ
SI013	(5)－3	6.40×5.17	N－60°－W	26.2	19～5	3	100～28	1	—	1	古墳Ⅱ
SI014	(5)－4	4.37×3.54	N－18°－W	13.9	27～21	4	50～18	1	—	1	古墳Ⅱ
SI015	(5)－2	6.00×5.37	N－25°－W	29.9	35～18	4	66～44	1	27×13	2	古墳Ⅲ
SI016	(5)－1	7.98×7.28	N－15°－W	53.5	23～14	4	74～43	1	14×12	2	古墳Ⅲ
SI017	(3)019	10.25×9.45	N－11°－W	92.5	46～28	4	82～69	1	—	1	古墳Ⅱ
SI018	(3)020	10.14×9.72	N－13°－W	95.7	27～12	5	75～43	—	—	1	古墳Ⅱ
SI019	(9)010	3.90×3.12	N－84°－W	10.9	22～7	1	13	—	—	—	古墳Ⅱ
SI020	(3)023	9.06×8.72	N－17°－W	77.1	25～12	5	66～36	—	—	1	古墳Ⅱ
SI021	(3)022	8.53×8.12	N－21°－W	61.5	48～27	4	99～38	1	25×12	2	古墳Ⅱ
SI022	(3)021	6.00×5.94	N－29°－W	32.5	22～10	8	64～37	2	—	1	古墳Ⅱ
SI023	(2)013	7.52×7.02	N－33°－W	50.5	29～19	4	79～69	1	—	2	古墳Ⅱ
SI024	(3)027	7.54×7.52	N－24°－W	54.0	34～21	4	62～50	2	—	1	古墳Ⅲ
SI025	(2)008	4.78×4.34	N－26°－W	17.1	23～14	1	76	1	22×8	1	古墳Ⅱ
SI026	(9)004	4.37×4.35	N－7°－W	17.6	21～17	3	63～42	1	—	1	古墳Ⅱ
SI027	(9)008	4.21×4.08	N－40°－W	15.5	41～32	3	20～7	1	—	1	古墳Ⅱ
SI028	(9)019	5.21×5.13	N－28°－W	24.0	29～15	1	23	1	18×11	1	古墳Ⅱ
SI029	(2)012	5.59×5.40	N－25°－W	28.9	31～12	2	25～16	2	—	1	古墳Ⅱ
SI030	(2)011	4.87×4.81	N－31°－W	22.0	39～20	—	—	1	—	1	古墳Ⅲ
SI031	(9)005	4.68×4.54	N－4°－W	17.3	25～15	3	59～32	1	20×12	1	古墳Ⅲ
SI032	(2)002	6.78×6.74	N－5°－W	42.8	14～5	4	101～34	1	－	1	古墳Ⅱ
SI033	(2)004	7.98×7.34	N－20°－W	52.7	32～11	4	89～70	1	20×12	1	古墳Ⅱ
SI034	(2)007	8.59×8.37	N－12°－W	59.4	22～5	4	89～81	2	38×28	1	古墳Ⅱ
SI035	(2)010	10.00×9.35	N－5°－W	88.8	37～29	4	60～40	1	－	1	古墳Ⅱ
SI036	(2)009	8.49×8.22	N－24°－W	59.3	34～25	4	102～85	2	36×9	1	古墳Ⅱ
SI037	(2)017	2.20×1.87	N－57°－E	3.3	18～15	—	—	—	—	カマド	奈良
SI038	(2)016	2.64×2.56	N－35°－W	3.6	67～61	1	8	—	27×7	カマド	奈良
SI039	(2)015	2.77×2.53	N－90°－E	5.8	58～43	—	—	—	58～43	カマド	奈良
SI040	(1)001	3.82×2.70	N－22°－W	9.3	30～8	3	36～15	—	18×6	カマド	奈良

第46表　石製模造品類属性表

挿図No.	遺構No.	遺物名	旧遺構No.	遺物No.	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	孔径(mm)	重量(g)	石　質	備　考
111－20	SI010	剣形品	(7)007	17	39.80	27.00	15.00	3.00	3.10	滑石片岩	
114－12	SI012	剣形品	(7)002	6	38.20	13.30	4.50	1.30	2.80	滑石片岩	
117－3	SI015	勾玉	(5)002	33	17.75	10.50	4.30	1.70	1.10	滑石片岩	
119－13	SI016	臼玉未成品	(5)001	83	3.70	7.80	1.40	—	0.05	滑石片岩	
119－14	SI016	剣形品未成品	(5)001	82	44.80	15.00	5.00	—	4.50	滑石片岩	
119－15	SI016	母岩	(5)001	73	58.33	44.63	24.82	—	61.98	蛇紋岩	
122－20	SI017	臼玉	(3)019	124	7.85	7.80	3.75	1.85	0.40	滑石片岩	
122－21	SI017	臼玉	(3)019	115	4.45	4.50	3.10	1.90	0.10	滑石片岩	側面稜有り
122－22	SI017	臼玉	(3)019	92	6.05	6.30	4.50	1.35	0.30	メノウ	
122－23	SI017	臼玉未成品	(3)019	138	11.05	9.65	3.80	—	0.34	滑石片岩	
122－24	SI017	勾玉	(3)019	75	24.30	15.50	7.45	1.80	3.80	滑石片岩	
124－4	SI018	臼玉	(3)020	22	5.10	5.00	3.45	1.65	0.10	滑石片岩	側面稜有り
124－5	SI018	臼玉	(3)020	18	4.45	4.45	1.70	1.85	0.05	滑石片岩	
124－6	SI018	臼玉	(3)020	13－2	4.30	4.20	2.20	1.40	0.06	滑石片岩	側面稜有り
124－7	SI018	臼玉	(3)020	44	5.00	5.00	2.00	1.70	0.09	滑石片岩	
124－8	SI018	臼玉	(3)020	13－3	3.40	3.60	1.90	1.50	0.03	滑石片岩	
124－9	SI018	臼玉	(3)020	13－2	3.75	3.70	2.40	1.50	0.05	滑石片岩	側面稜有り
124－10	SI018	臼玉未成品	(3)020	32	6.70	10.00	4.60	—	0.51	滑石片岩	
124－11	SI018	臼玉未成品	(3)020	58	10.01	11.00	3.50	1.70	0.61	滑石片岩	
124－12	SI018	臼玉未成品	(3)020	52	5.50	7.70	1.90	—	0.13	滑石片岩	
124－13	SI018	臼玉未成品	(3)020	91	4.40	8.50	1.15	—	0.07	滑石片岩	
124－14	SI018	剣形品	(3)020	6	69.30	17.80	6.00	2.00	7.80	滑石片岩	
124－15	SI018	勾玉	(3)020	24	14.50	8.30	3.80	1.90	0.60	滑石片岩	
124－16	SI018	紡錘車未成品	(3)020	68	24.50	23.70	6.80	1.80	6.40	滑石片岩	
124－17	SI018	有孔円板	(3)020	9	19.40	16.50	3.70	1.80	2.30	滑石片岩	
124－18	SI018	有孔円板	(3)020	37	18.20	17.50	4.30	1.70	3.30	滑石片岩	
124－19	SI018	紡錘車未成品	(3)020	34	17.60	12.50	3.00	1.50	0.80	滑石片岩	
124－20	SI018	有孔円板未成品	(3)020	16	18.20	10.80	2.00	1.50	0.60	滑石片岩	
126－6	SI020	有孔円板未成品	(3)023	11	23.30	18.00	2.70	—	1.14	滑石片岩	
126－7	SI020	剣形品未成品	(3)023	53	38.20	15.80	3.70	—	2.90	滑石片岩	
128－7	SI021	剣形品未成品	(3)022	128－5	6.00	7.20	4.00	—	0.33	粘板岩	
128－8	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－7	3.50	6.90	2.40	—	0.09	滑石片岩	
128－9	SI021	臼玉	(3)022	128－14	6.40	6.30	1.35	1.60	0.10	滑石片岩	
128－10	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－15	7.40	7.65	1.50	1.50	0.12	滑石片岩	
128－11	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－1	9.50	11.30	2.00	—	0.25	滑石片岩	
128－12	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－3	7.00	8.60	2.90	—	0.23	滑石片岩	
128－13	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－6	7.65	7.90	2.40	—	0.19	滑石片岩	
128－14	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－8	3.30	7.60	1.90	—	0.06	滑石片岩	
128－15	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－9	5.10	6.60	2.20	—	0.08	滑石片岩	
128－16	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－10	3.50	4.20	2.80	—	0.05	滑石片岩	
128－17	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－11	7.75	8.40	1.70	1.45	0.12	滑石片岩	
128－18	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－12	7.50	8.50	2.05	1.60	0.20	滑石片岩	
128－19	SI021	臼玉未成品	(3)022	128－13	7.40	8.00	1.60	1.60	0.10	滑石片岩	
128－20	SI021	臼玉未成品	(3)022	144－1	4.10	4.55	2.25	—	0.06	滑石片岩	
128－21	SI021	臼玉未成品	(3)022	144－2	4.70	6.45	2.20	1.80	0.09	滑石片岩	
128－22	SI021	臼玉未成品	(3)022	151－1	7.65	7.80	2.90	1.70	0.22	滑石片岩	

挿図No.	遺構No.	遺物名	旧遺構No.	遺物No.	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	孔径(mm)	重量(g)	石　質	備　考
128－23	SI021	臼玉未成品	(3)022	151－2	7.20	8.50	3.30	—	0.22	滑石片岩	
128－24	SI021	臼玉未成品	(3)022	151－3	6.40	6.90	2.20	1.80	0.16	滑石片岩	
128－25	SI021	臼玉未成品	(3)022	342－1	12.00	8.00	3.50	1.70	0.26	滑石片岩	
128－26	SI021	臼玉未成品	(3)022	342－2	7.00	8.40	2.50	1.30	0.20	滑石片岩	
128－27	SI021	臼玉未成品	(3)022	342－3	8.00	7.50	2.65	—	0.17	滑石片岩	
128－28	SI021	臼玉未成品	(3)022	342－4	2.55	4.55	1.90	—	0.04	滑石片岩	
128－29	SI021	臼玉未成品	(3)022	310	4.20	6.40	1.30	—	0.07	滑石片岩	
128－30	SI021	臼玉未成品	(3)022	123	6.20	8.30	1.70	—	0.08	滑石片岩	
128－31	SI021	臼玉未成品	(3)022	270	8.30	9.10	2.50	1.65	0.25	滑石片岩	
128－32	SI021	管玉未成品	(3)022	127	19.00	11.30	9.90	(1.60)	3.80	滑石片岩	
128－33	SI021	勾玉	(3)022	200	15.60	10.65	4.05	—	1.00	滑石片岩	穿孔途中
128－34	SI021	勾玉	(3)022	124	16.80	11.35	2.80	15.50	0.80	滑石片岩	
128－35	SI021	有孔円板	(3)022	147	21.00	22.70	2.80	—	2.76	滑石片岩	
128－36	SI021	剣形品未成品	(3)022	80	16.80	11.00	3.40	—	0.55	滑石片岩	
128－37	SI021	剣形品未成品	(3)022	125	17.30	16.10	7.10	—	1.91	滑石片岩	
128－38	SI021	有孔円板未成品	(3)022	40	24.10	15.80	3.30	—	1.71	滑石片岩	穿孔途中
129－5	SI022	勾玉	(3)021	37	(25.10)	(14.80)	10.30	2.20	5.40	メノウ	(残存部)
129－6	SI022	勾玉	(3)021	88	(19.00)	(11.75)	6.85	1.70	1.90	蛇紋岩	(残存部)
130－4	SI023	臼玉	(2)013	71－2	5.25	5.25	3.20	1.85	0.20	滑石片岩	
130－5	SI023	臼玉	(2)013	71－3	4.60	4.80	2.40	1.70	0.09	滑石片岩	
130－6	SI023	臼玉	(2)013	71－1	3.75	3.75	3.15	1.75	0.06	滑石片岩	
130－7	SI023	臼玉未成品	(2)013	71	3.70	5.00	2.05	—	0.06	滑石片岩	
130－8	SI023	勾玉	(2)013	6	14.50	9.10	5.00	1.80	0.90	滑石片岩	
130－9	SI023	剣形品未成品	(2)013	1	27.80	21.00	3.20	—	2.50	滑石片岩	
133－10	SI026	勾玉	(9)004	1	22.10	13.00	6.00	1.60	2.60	滑石片岩	
138－7	SI029	勾玉	(2)012	50	19.45	10.75	3.50	1.80	1.00	滑石片岩	
138－8	SI029	剣形品	(2)012	48	30.00	16.50	3.20	1.50	2.40	滑石片岩	
138－9	SI029	剣形品	(2)012	49	43.50	14.70	3.00	1.80	3.00	滑石片岩	
139－5	SI030	勾玉	(2)011	4	13.30	14.00	10.50	2.30～4.60	0.90	凝灰質砂岩	
139－6	SI030	剣形品	(2)011	9	37.20	14.50	4.70	1.80	2.90	滑石片岩	
140－15	SI031	剣形品	(9)005	1	73.00	25.80	8.00	4.00	16.80	滑石片岩	
144－8	SI033	剣形品未成品	(2)004	4－1	26.00	11.50	5.50	—	1.24	滑石片岩	
144－9	SI033	不明品	(2)004	4－2	20.00	12.50	5.50	—	1.73	滑石片岩	
149－19	SI035	勾玉	(2)010	73	13.65	7.90	3.85	1.80	0.50	滑石片岩	穿孔内に螺旋状痕
149－20	SI035	勾玉未成品	(2)010	18	20.50	10.40	4.00	—	1.10	滑石片岩	
149－21	SI035	有孔円板	(2)010	53	16.00	16.40	3.40	1.80	1.60	滑石片岩	
149－22	SI035	剥片	(2)010	39	50.50	42.60	15.00	—	37.17	滑石片岩	工具痕有り
151－19	SI036	有孔円板未成品	(2)009	3	12.30	12.00	3.20	—	0.84	滑石片岩	
151－20	SI036	板状剥片	(2)009	2－1	24.00	13.80	3.60	—	2.00	滑石片岩	切断痕有り
151－21	SI036	有孔円板未成品	(2)009	1－2	41.00	32.80	11.00	—	12.98	滑石片岩	穿孔痕有り
151－22	SI036	剥片	(2)009	36	40.00	34.00	29.00	—	33.83	滑石片岩	工具痕、削痕有り
151－27	SI036	母岩	(2)009	30	100.00	83.52	56.10	—	534.88	滑石片岩	工具痕有り
156－6	36X－60	剣形品未成品	36X－60	2	39.50	11.20	4.30	—	2.90	滑石片岩	
156－7	31W－83	剣形品未成品	31W－83	1	31.80	16.30	5.20	—	3.20	滑石片岩	
156－8	32X－00	有孔円板未成品	32X－00	1	21.50	15.20	3.30	1.90	1.80	滑石片岩	

第47表　土製品（土玉・土錘）計測表　　〔 〕は現存値

土玉

挿図No.	遺構No.	旧遺構No.	遺物No.	最大長(mm)	最大径(mm)	孔径(mm)	重量(g)	備　考
111－22	SI010	(7)007	24	〔21.5〕	〔25.0〕	7.5×6.0	10.4	欠損
111－23	SI010	(7)007	37	22.0	26.0	6.4×5.8	12.5	
111－24	SI010	(7)007	27	〔18.2〕	24.0	4.8×4.0	10.0	欠損
111－25	SI010	(7)007	60	26.2	23.5	8.2×7.0	13.1	
111－26	SI010	(7)007	20	〔20.5〕	〔13.7〕	—	6.4	欠損
122－27	SI017	(3)019	37	20.0	21.0	6.0×4.5	8.4	
128－39	SI021	(3)022	46	24.0	27.2	6.5×5.0	14.6	
128－40	SI021	(3)022	41	21.0	25.5	5.3×4.8	11.2	
129－7	SI022	(3)021	74	22.3	24.0	4.5×4.2	12.1	
129－8	SI022	(3)021	39	〔12.0〕	〔8.5〕	—	1.9	欠損
130－10	SI023	(2)013	14	25.0	24.0	6.0×5.0	13.2	
130－11	SI023	(2)013	36	21.0	23.0	4.0×3.0	9.9	欠損
130－12	SI023	(2)013	100	24.0	〔13.5〕	—	5.8	欠損
136－12	SI028	(9)019	5	21.5	23.0	9.0×7.0	10.3	
139－7	SI030	(2)011	11	〔16.0〕	20.0	6.5×5.0	5.7	欠損
140－16	SI031	(9)005	9	19.0	22.0	6.0×5.0	8.7	欠損、一部摩滅
140－17	SI031	(9)005	7	21.0	24.5	6.5×6.5	10.7	
140－18	SI031	(9)005	20	17.5	20.5	5.5×5.0	7.1	一部摩滅
140－19	SI031	(9)005	8	20.0	22.0	8.0×7.0	7.9	
144－10	SI033	(2)004	141－1	25.0	26.0	4.5×3.0	15.5	布目痕
144－11	SI033	(2)004	135	〔19.5〕	〔23.5〕	8.0×6.0	8.9	欠損
144－12	SI033	(2)004	141－2	18.5	20.5	6.0×4.5	6.6	
144－13	SI033	(2)004	137	18.0	18.5	7.0×6.0	6.2	
149－23	SI035	(2)010	57	20.5	25.0	6.0×6.0	10.5	
149－24	SI035	(2)010	63	27.5	24.0	7.5×7.0	7.5	
149－25	SI035	(2)010	74	21.0	23.0	7.0×4.0	8.6	
149－26	SI035	(2)010	132	19.5	21.0	5.5×4.5	6.6	
149－27	SI035	(2)010	70	17.0	20.5	8.5×6.5	5.6	
149－28	SI035	(2)010	51	19.0	20.0	5.0×5.0	6.5	
149－29	SI035	(2)010	44	19.0	19.5	5.0×5.0	7.0	欠損
149－30	SI035	(2)010	58	16.0	19.5	6.5×5.5	5.3	
149－31	SI035	(2)010	66	15.0	〔13.5〕	—	3.3	欠損
151－23	SI036	(2)009	15	21.5	21.0	6.5×4.0	8.1	
151－24	SI036	(2)009	54	17.0	20.0	7.0×6.0	5.2	
154－3	SK031	(2)018	2	19.0	20.0	5.5×5.0	6.2	
156－9	36W－21	36W－21	1	20.5	21.0	6.5×4.0	7.9	

土錘

挿図No.	遺構No.	旧遺構No.	遺物No.	長さ(mm)	最大径(mm)	孔径(mm)	重量(g)	備　考
138－10	SI029	(2)012	18	61.5	37.5	6.8	98.8	
139－8	SI030	(2)011	7	62.0	38.5	9.5	113.0	
139－9	SI030	(2)011	12	〔33.5〕	34.0	9.0	37.9	欠損
146－6	SI034	(2)007	137、138	59.0	36.5	8.5	67.4	欠損
149－32	SI035	(2)010	60	65.0	40.0	8.0	110.7	
151－25	SI036	(2)009	4	〔47.0〕	43.0	8.0	74.9	欠損
157－1	SI037	(2)017	1	62.0	40.5	8.5	111.0	欠損
156－10	35W－96	35W－96	1	〔26.0〕	38.0	9.0	35.0	欠損

第48表　軽石計測表

挿図No.	遺構No.	旧遺構No.	遺物No.	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)
100－18	SI002	(3)024	054	60.02	68.03	39.51	27.60
100－19	SI002	(3)024	124	66.00	37.55	37.24	27.20
100－20	SI002	(3)024	087	53.69	35.35	18.53	10.31
100－21	SI002	(3)024	040	52.86	41.05	20.12	10.69
104－16	SI005	(8)001	047	29.67	31.26	19.35	5.68
104－17	SI005	(8)001	041	64.26	50.72	18.08	10.98
109－21	SI009	(7)008	017	52.31	52.89	28.57	27.51
111－28	SI010	(7)007	054	25.15	24.56	22.80	4.09
111－29	SI010	(7)007	014	54.77	46.70	45.17	47.57
111－30	SI010	(7)007	036	85.66	48.18	40.21	28.86
112－5	SI011	(7)004	005	56.11	51.24	34.13	15.24
114－13	SI012	(7)002	010	52.50	40.18	36.67	28.13
114－14	SI012	(7)002	019	53.14	45.89	36.14	22.82
114－15	SI012	(7)002	024	72.18	46.99	33.52	25.62
114－16	SI012	(7)002	026	70.28	60.45	35.82	40.03
115－3	SI013	(5)003	011	49.81	41.10	26.36	15.02
116－8	SI014	(5)004	一括	51.80	37.39	31.73	14.51
117－4	SI015	(5)002	016	34.16	34.58	25.13	7.34
119－16	SI016	(5)001	077	41.81	31.93	16.79	5.65
119－17	SI016	(5)001	075	38.40	32.03	29.71	8.36
119－18	SI016	(5)001	076	62.99	29.12	25.46	11.85
122－29	SI017	(3)019	211	42.33	31.10	18.35	4.92
122－30	SI017	(3)019	086	43.69	32.68	23.97	9.91
122－31	SI017	(3)019	146	55.52	43.99	35.27	18.03
122－32	SI017	(3)019	206	84.46	61.66	48.57	70.39
124－21	SI018	(3)020	062	44.73	40.33	26.25	11.16
124－22	SI018	(3)020	087	46.88	34.16	21.71	9.42
128－41	SI021	(3)022	350	44.74	23.72	19.79	6.02
128－42	SI021	(3)022	344	44.57	44.56	36.38	23.80
129－9	SI022	(3)021	041	45.33	44.39	39.09	19.21
134－2	SI027	(9)008	一括	39.69	29.25	23.49	5.92
134－3	SI027	(9)008	003	62.88	43.64	30.93	26.12
134－4	SI027	(9)008	004	46.01	47.22	30.15	27.31
138－11	SI029	(2)012	053	61.43	59.13	40.75	41.08
140－20	SI031	(9)005	014	40.48	47.27	32.10	27.34
140－21	SI031	(9)005	021	49.77	47.26	27.96	20.95
142－7	SI032	(2)002	253	82.06	61.10	43.50	46.11
142－8	SI032	(2)002	254	59.14	50.35	30.19	19.96
144－14	SI033	(2)004	142	37.43	25.63	29.46	5.75
144－15	SI033	(2)004	028	79.97	56.45	44.61	49.65
146－7	SI034	(2)007	019	50.22	39.08	21.04	10.82
146－8	SI034	(2)007	028	108.09	70.65	63.21	73.79
149－33	SI035	(2)010	160	26.28	33.92	21.69	4.28
149－34	SI035	(2)010	052	25.89	29.09	26.73	6.21
151－26	SI036	(2)009	039	43.54	27.48	19.33	6.80
154－4	SK031	(2)018	001	34.14	29.29	20.10	5.42
154－5	SK031	(2)018	002	30.69	26.40	26.83	5.69

第49表　出土土器観察表

挿図番号	遺構番号	種別	器種	遺物番号	口径	底径	器高	遺存度	色　調	胎　土	調整　内面	調整　外面	備　考
86－1	SI001	縄文土器	鉢	4	25.6	9.5	19.9	90%	明褐色	砂粒多、密	ミガキ	縄文、ミガキ	
86－2	SI001	縄文土器	注口	3	—	(8.3)	(21.6)	40%	明褐色	砂粒	ナデ、ミガキ	ナデ、ミガキ	
86－3	SI001	縄文土器	深鉢	8	—	6.1	(3.9)	底部のみ	橙色	砂粒多	ナデ	ケズリ→ミガキ	端部疑似口縁風に調整
99－1	SI002	土師器	器台	1、11、12、13、20、63、139、146	8.2	12.2	8.6	95%	橙色	砂粒、密	ナデ	ケズリ→ナデ→ミガキ、ナデ	透孔6
99－2	SI002	土師器	器台	132	7.7	—	(4.0)	40%	明赤褐色	砂粒、粗	ナデ、ミガキ	ヘラナデ、工具痕、ミガキ	赤彩(内外面)
99－3	SI002	土師器	器台	15、24、88、126	—	10.0	(5.6)	40%	橙色	砂粒、スコリア、密	ハケ→ヘラナデ、ヘラナデ	ハケ→ヘラナデ、ヘラナデ	透孔3
99－4	SI002	土師器	器台	1、4、66、67、76、77、83、93、94、99、114、116、148	—	13.2	(9.4)	40%	にぶい黄橙色、黒褐色	砂粒、密	ミガキ、ナデ、ハケ→ヘラケズリ	ミガキ、ナデ	透孔3か
99－5	SI002	土師器	高杯	1、22、74、97	—	11.5	(5.2)	40%	橙色	砂粒、スコリア、密	ハケ→ナデ、ナデ	ミガキ、ナデ	透孔3
99－6	SI002	土師器	小型壺	1、28、101、131	(9.4)	—	(5.2)	40%	橙色	砂粒、混入物、密	ナデ→ミガキ	ナデ→ケズリ→ミガキ	
99－7	SI002	土師器	甕	1、17、18、19、23、68、69、71、80、89、129、130、134、135	14.6	5.9	15.9	85%	にぶい橙色	砂粒	ハケ、ヘラケズリ、ハケ	ハケ→ナデ、ハケ、ヘラケズリ	
100－8	SI002	土師器	甕	1、82、83、84、86、108、110、113、120、122、141	(20.5)	—	15.3	45%	橙色	砂粒、密	ヘラナデ	ハケ	2個同一個体
100－9	SI002	土師器	甕	14、15、16、31	(19.0)	—	(8.0)	15%	灰黄褐色	砂粒多、密	ナデ、ハケ	ナデ、ハケ	
100－10	SI002	土師器	甕	2、31	(18.5)	—	(8.3)	15%	にぶい黄橙色	砂粒、密	ハケ、ヘラケズリ	ハケ	
100－11	SI002	土師器	台付甕	1、24、81、103、111、112	18.75	10.6	28.6	85%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ハケ	ハケ、ヘラケズリ、ヘラナデ、ナデ	
100－12	SI002	土師器	台付甕	8、9	—	4.8	(5.3)	30%	橙色	密	ヘラケズリ、ヘラナデ、ハケ、ナデ	ハケ	
100－13	SI002	土師器	台付甕	123	—	(7.5)	(4.8)	10%	明黄褐色	砂粒多、密	ヘラナデ	ハケ、ヘラナデ	
100－14	SI002	土師器	手捏土器	6	4.2	3.0	3.3	100%	にぶい黄橙色	砂粒、密	ナデ	ナデ	
100－15	SI002	土師器	手捏土器	7	(4.0)	3.1	(2.0)	70%	にぶい黄橙色	砂粒、スコリア、密	ナデ、ユビオサエ	ナデ、ユビオサエ	
100－16	SI002	土師器	手捏土器	51	(2.6)	2.3	(2.5)	70%	にぶい黄橙色	砂粒、スコリア、密	ナデ、ユビオサエ	ナデ、ユビオサエ	
101－1	SI003	土師器	高杯	3、4、32、33、34、38	18.7	12.5	13.0	90%	明赤褐色、橙色	密	ミガキ、ナデ、ハケ、	ミガキ、ナデ	透孔3
101－2	SI003	土師器	器台	8、36、98	8.6	11.6	8.6	90%	明赤褐色	砂粒	ミガキ、ヘラケズリ、ナデ	ナデ、ミガキ	赤彩(外面、受部内面) 透孔6
101－3	SI003	土師器	器台	97	8.2	10.4	7.7	85%	橙色	砂粒	ナデ、ミガキ、ハケ	ヘラナデ、ハケ→ミガキ、ナデ	被熱(内外面に煤付着)
101－4	SI003	土師器	器台	7、8、14、18、32	8.8	12.4	7.5	70%	橙色	砂粒、スコリア、石英	ミガキ、ハケ、ナデ	ヘラケズリ、ミガキ、ナデ	透孔3か
101－5	SI003	土師器	器台	6、7、14、15、18、22	11.3	12.2	10.1	85%	橙色	砂粒	ハケ→ヨコナデ、ハケ→ナデ	ハケ、ナデ	
101－6	SI003	土師器	高杯	95	21.0	—	(7.7)	45%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ミガキ	ミガキ	
101－7	SI003	土師器	小型壺	32、33、38	14.8	—	(9.1)	20%	橙色	砂粒	ミガキ→ナデ	ハケ→ミガキ、ナデ	
101－8	SI003	土師器	小型壺	66、77、78、80、81、82、83、102	—	—	(10.3)	30%	橙色	砂粒、密	ヘラナデ	ミガキ	
102－9	SI003	土師器	壺	7、8、10、14、15、20、30、36、39	22.5	9.5	32.0	80%	橙色、褐色灰色	砂粒	ハケ、ヘラナデ	ハケ→ヘラナデ、ヘラケズリ	
102－10	SI003	土師器	小型壺	3、4、33、38、100	—	4.4	(13.9)	45%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ハケ→ナデ	ナデ→ミガキ、ハケ、ヘラケズリ	
102－11	SI003	土師器	壺	4、28、29、31	18.1	—	(7.6)	15%	にぶい橙色	砂粒	ナデ、ハケ、ミガキ	ハケ→ミガキ	
102－12	SI003	土師器	壺	3、4、28、29、31、32、33、38、100	—	8.6	(24.1)	80%	橙色	砂粒、スコリア、密	不明	ミガキ、ヘラケズリ	
102－13	SI003	土師器	壺	7、8、15、19、22、35、39	—	6.1	(22.5)	85%	橙色、黒褐色	砂粒、スコリア、密	ハケ	ナデ、ヘラケズリ→ミガキ	
102－14	SI003	土師器	甕	7、10、15、19、22、69	20.9	—	(12.2)	30%	黒褐色	砂粒、スコリア	ハケ、ヘラナデ	ハケ→ナデ	
102－15	SI003	土師器	甕	96	13.2	6.0	13.0	95%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ハケ、ヘラナデ	ハケ、ヘラケズリ→ナデ	
102－16	SI003	土師器	甕	3、4、29、32、33、34、38	14.4	—	(11.0)	40%	橙色	砂粒、スコリア、密	ハケ、ヘラナデ	ハケ→ナデ	内面に粘土紐接合痕
102－17	SI003	土師器	甕	3、4、6、7、31、32、33、37、100	12.0	—	(11.6)	50%	にぶい橙色、黒	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラナデ、ナデ	
102－18	SI003	土師器	台付甕	33、34、100	10.3	—	(11.3)	70%	橙色、黒褐色	砂粒	ハケ、ヘラケズリ→ナデ	ヘラケズリ→ナデ	被熱(内面)
102－19	SI003	土師器	台付甕	2、33、34、38	16.9	—	(21.5)	85%	橙色、黒褐色		ハケ、ヘラケズリ、ヘラナデ	ハケ→ナデ	
102－20	SI003	土師器	台付甕	7、15、16、19、22、28、38	—	12.2	(13.3)	20%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ、ヘラナデ	ハケ→ナデ(ミガキ残)、ナデ	
102－21	SI003	土師器	台付甕	65	—	9.0	(6.1)	10%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ハケ、ナデ	台部
103－1	SI004	土師器	高杯	17、18、19、20、78、79	14.0	—	(5.3)	40%	明褐色	砂粒、スコリア	ヨコナデ	ミガキ、ケズリ→ミガキ	
103－2	SI004	土師器	小型壺	6、26	—	2.8	(5.5)	40%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ミガキ	ハケ→ケズリ→ミガキ	
103－3	SI004	土師器	甕	23、38、39、47、55、57、63、64、65、72、73、74、75、91、98	19.0	7.2	29.7	70%	にぶい黄橙色、褐灰色	砂粒	ヘラナデ	ハケ→ヘラケズリ、ヘラケズリ	
104－1	SI005	土師器	器台	6、24	(7.0)	—	(6.2)	30%	橙色	砂粒	ミガキ	ミガキ	赤彩(内外)
104－2	SI005	土師器	器台	1、6、23、28	7.5	—	(5.1)	55%	橙色	砂粒	ミガキ、ヘラナデ	ミガキ	透孔3
104－3	SI005	土師器	器台	32	—	9.4	(3.9)	45%	にぶい橙色	砂粒	ナデ、ハケ→ナデ	ナデ、ハケ→ナデ	透孔3
104－4	SI005	土師器	器台	6、17、28	—	11.6	(5.6)	40%	にぶい赤褐色	砂粒	ナデ、ミガキ	ミガキ	赤彩(内外) 透孔4
104－5	SI005	土師器	高杯	1、2、5、14	—	14.2	(6.5)	65%	橙色	砂粒、スコリア	ミガキ、ナデ、ハケ	ミガキ、ナデ	透孔3
104－6	SI005	土師器	高杯	5、6、15、18、21	19.8	12.0	12.7	55%	浅黄橙色	砂粒	ナデ、ハケ、ヘラナデ	ハケ→ミガキ、ナデ	透孔4か
104－7	SI005	土師器	壺	18、22	—	5.1	(8.9)	30%	にぶい橙色	砂粒、スコリア、石英	不明	ヘラケズリ	
104－8	SI005	土師器	鉢	1、2、13	7.5	4.6	5.1	80%	黄橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ→ミガキ	ヘラナデ→ミガキ	
104－9	SI005	土師器	甕	1、2、3、8、11、25、35	17.8	—	(17.7)	35%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ハケ	
104－10	SI005	土師器	甕	2、5、6、21、24、36	(16.3)	7.0	14.5	70%	橙色	砂粒、スコリア	ハケ、ヘラナデ	ハケ→ヘラナデ	

挿図番号	遺構番号	種別	器種	遺物番号	口径	底径	器高	遺存度	色　調	胎　土	調整　内面	調整　外面	備　考
104－11	SI005	土師器	甕	1、5	(18.2)	—	〔13.5〕	15%	明黄褐色、灰黄褐色	砂粒	ハケ、ヘラケズリ	ハケ、ハケ→ヘラナデ	
104－12	SI005	土師器	台付甕	1、4、5、8、11、25	—	—	〔23.7〕	60%	にぶい黄橙色	砂粒、スコリア	ナデ、ハケ	ナデ、ハケ	
104－13	SI005	土師器	手捏土器	34	(4.2)	2.6	3.3	6%	灰黄褐色	砂粒	ナデ	ヘラナデ	
104－14	SI005	土師器	手捏土器	12	—	3.1	〔1.8〕	70%	灰黄褐色	砂粒、スコリア	ナデ	ヘラナデ、ナデ	
104－15	SI005	土師器	手捏土器	6	1.2	1.2	1.6	90%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ	ナデ	
105－1	SI006	土師器	器台	2、15	(8.4)	13.8	7.9	80%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ	ナデ、ミガキ	透孔3
105－2	SI006	土師器	器台	19、21	—	13.5	〔6.4〕	80%	橙色	砂粒	ミガキ、ハケ、ナデ	ミガキ、ナデ	透孔3
105－3	SI006	土師器	器台	13、16	—	13.2	〔4.9〕	50%	橙色	砂粒	ナデ、ハケ	ミガキ、ナデ	透孔3
105－4	SI006	土師器	壺	3、4、26	(18.9)	—	〔6.6〕	15%	灰赤色	砂粒、スコリア	ミガキ	ミガキ	
105－5	SI006	土師器	ミニチュア	4	—	3.4	〔2.5〕	15%	明赤褐色、褐灰色	砂粒	ミガキ	ミガキ、ナデ	
105－6	SI006	土師器	甕	23	(20.6)	—	〔11.3〕	15%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ハケ	
105－7	SI006	土師器	甕	17、18、19	—	7.6	〔9.7〕	30%	にぶい黄橙色	砂粒	ヘラナデ	ハケ、ヘラナデ	
105－8	SI006	土師器	台付甕	14	—	(10.2)	〔5.5〕	20%	橙色	砂粒	ナデ	ハケ、ナデ	台部
106－1	SI007	土師器	器台	1、43、45	8.1	13.0	8.4	95%	にぶい橙色	砂粒	ミガキ	ミガキ、ナデ	受部内面被熱 透孔3
106－2	SI007	土師器	器台	28	—	—	〔3.9〕	10%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ヘラナデ、ミガキ	透孔3
106－3	SI007	土師器	高杯	42	13.0	—	〔4.5〕	45%	橙色	砂粒、スコリア	ミガキ	ハケ→ミガキ	
106－4	SI007	土師器	壺	25	22.2	—	〔7.9〕	20%	橙色	砂粒、スコリア、石英	ナデ	ハケ	内面煤付着
106－5	SI007	土師器	鉢	47	10.0	4.4	7.9	60%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ナデ、ハケ	
106－6	SI007	土師器	壺	1、7、30、41	—	8.3	〔11.7〕	20%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ヘラケズリ→ナデ	ヘラケズリ→ナデ	
106－7	SI007	土師器	ミニチュア	1、44	(5.8)	4.4	8.9	90%	にぶい橙色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ハケ、ナデ	
107－1	SI008	土師器	小型壺	2	9.2	3.3	10.2	100%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ナデ→ミガキ、ヘラケズリ	
109－1	SI009	土師器	杯	41	11.7	4.6	4.4	90%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ、ヘラケズリ	
109－2	SI009	土師器	杯	20	11.0	4.1	5.1	100%	にぶい橙色	砂粒	ミガキ	ナデ、ヘラケズリ	
109－3	SI009	土師器	杯	40	11.1	4.8	5.0	95%	明赤褐色	砂粒、石英	ナデ	ナデ、ヘラケズリ	
109－4	SI009	土師器	杯	38	10.3	6.1	4.6	95%	橙色	砂粒	不明	ヘラケズリ→ヘラナデ、ヘラケズリ	
109－5	SI009	土師器	杯	49、50	15.0	7.2	5.2	95%	にぶい橙色	砂粒	ナデ、ミガキ	ナデ、ヘラケズリ	
109－6	SI009	土師器	小型壺	29	(9.0)	9.7	4.0	90%	にぶい橙色	砂粒、礫	ナデ	ナデ、ハケ→ナデ	
109－7	SI009	土師器	高杯	42、43、44、(2)－1	16.2	(11.9)	12.9	80%	橙色、黒褐色	砂粒	ミガキ、ナデ	ナデ、ヘラナデ、ミガキ	
109－8	SI009	土師器	高杯	30	15.1	14.4	12.8	70%	明赤褐色	砂粒	ヘラケズリ→ミガキ	ヘラケズリ→ミガキ、ヘラナデ、ナデ	
109－9	SI009	土師器	高杯	35、37	15.5	13.3	10.4	70%	にぶい橙色	砂粒	不明	ヘラケズリ→ナデ、ヘラナデ、ナデ	
109－10	SI009	土師器	高杯	25、26	15.2	13.2	10.9	60%	橙色	砂粒	不明	ヘラケズリ→ナデ、ハケ、ヘラケズリ、ナデ	赤彩(外面、杯内)
109－11	SI009	土師器	高杯	31	16.7	—	〔13.0〕	80%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ→ナデ、ヘラケズリ	赤彩(外面、杯内)
109－12	SI009	土師器	高杯	4、42、43	—	(13.6)	〔13.8〕	60%	橙色	砂粒	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ、ヘラナデ、ミガキ	
109－13	SI009	土師器	高杯	21	—	(13.7)	〔9.9〕	40%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ、ナデ	黒色処理
109－14	SI009	土師器	高杯	7、12、(2)－1	—	(10.7)	〔9.7〕	25%	橙色、黒褐色	砂粒	ナデ	ヘラナデ→ナデ	
109－15	SI009	土師器	甕	39	14.8	6.0	25.0	90%	にぶい橙色、黒褐色	砂粒、スコリア	ナデ	ヘラケズリ→ナデ	黒斑有り
109－16	SI009	土師器	甕	19	17.5	19.7	6.0	100%	黒色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ハケ、ヘラナデ、ナデ	煤付着
109－17	SI009	土師器	甕	36	13.0	14.8	6.5	95%	橙色、黒褐色	砂粒、石英	ヘラナデ、ヘラケズリ	ナデ、ヘラケズリ→ナデ、ヘラケズリ	
109－18	SI009	土師器	甕	18	14.0	4.8	12.5	100%	黒褐色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ナデ、ヘラケズリ	
109－19	SI009	土師器	鉢	49	(19.4)	—	〔9.2〕	15%	明赤褐色、赤黒色	砂粒	ヘラケズリ→ナデ	ヘラケズリ→ナデ	赤彩(内外)
109－20	SI009	土師器	小型壺	51	—	3.5	〔4.4〕	70%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ、ナデ	
110－1	SI010	土師器	杯	4、6、35	13.0	(4.7)	4.6	50%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	赤彩(内外)
110－2	SI010	土師器	杯	30	13.0	4.8	5.5	30%	橙色	砂粒、石英	ナデ	ナデ→ヘラケズリ	
110－3	SI010	土師器	杯	56	13.3	4.6	6.3	95%	橙色	砂粒	不明	ヘラケズリ	
110－4	SI010	土師器	椀	38	(12.4)	4.8	6.0	95%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ→ナデ	
110－5	SI010	土師器	高杯	7、11、12、50	—	12.3	〔8.3〕	40%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラナデ	
110－6	SI010	土師器	高杯	34、39	17.9	—	〔15.4〕	80%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ヘラナデ、ミガキ	
110－7	SI010	土師器	高杯	12、52、57、61	18.2	—	〔6.6〕	40%	橙色	砂粒	不明	ヘラナデ、ハケ→ヘラナデ	
110－8	SI010	土師器	高杯	6、18、32、34、39	—	(12.3)	〔14.6〕	60%	灰黄褐色	砂粒	ヘラナデ→ミガキ、ナデ	ヘラナデ→ミガキ	
110－9	SI010	土師器	高杯	6、33、34、43、51	16.2	—	〔12.3〕	90%	橙色、黒色	砂粒	ナデ、ミガキ、ヘラケズリ	ナデ、ヘラケズリ、ミガキ	
110－10	SI010	土師器	高杯	10、33	12.4	(9.0)	10.0	85%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ	
110－11	SI010	土師器	高杯	55	—	(12.5)	〔8.6〕	35%	橙色	砂粒	ナデ	ミガキ、ヘラナデ、ナデ	
110－12	SI010	土師器	小型壺	28	11.2	3.8	12.3	95%	浅黄橙色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ナデ、ヘラケズリ	
110－13	SI010	土師器	小型壺	6、34	(9.5)	3.1	6.8	60%	にぶい橙色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ヘラナデ、ヘラケズリ	
110－14	SI010	土師器	小型壺	12	8.8	—	〔4.9〕	30%	にぶい赤褐色	砂粒	ヘラナデ	ナデ	赤彩(内外)
110－15	SI010	土師器	小型壺	4、5	(8.4)	—	〔3.3〕	25%	にぶい赤褐色	砂粒	ナデ	ナデ	赤彩(内外)
111－16	SI010	土師器	甕	6、34、43	16.2	—	〔8.3〕	20%	黒褐色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	17と同一か
111－17	SI010	土師器	甕	6、34	—	6.7	〔3.3〕	10%	黒褐色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ	16と同一か
111－18	SI010	土師器	甕	29	11.0	4.8	11.2	95%	橙色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ナデ、ハケ、ヘラナデ	

挿図番号	遺構番号	種別	器種	遺物番号	口径	底径	器高	遺存度	色　調	胎　土	調整　内面	調整　外面	備　考
111－19	SI010	土師器	小型壺	7、10、51	—	4.2	(2.7)	10%	赤灰色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラナデ	漆付着(内面)
112－1	SI011	土師器	甕	13	(16.4)	(23.2)	—	40%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ハケ→ナデ、ハケ→ヘラケズリ、ヘラナデ	
112－2	SI011	土師器	甕	6	15.3	—	(13.0)	45%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ→ヘラナデ	
112－3	SI011	土師器	甕	2、3	(15.6)	—	(6.0)	5%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ→ヘラナデ	
113－1	SI012	土師器	高杯	29	—	—	(7.6)	40%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ	ハケ→ナデ、ミガキ	
113－2	SI012	土師器	高杯	21	—	10.7	(7.9)	35%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ→ナデ	
113－3	SI012	土師器	高杯	1、23	—	(15.0)	(9.5)	40%	にぶい橙色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ヘラケズリ→ミガキ、ナデ	
113－4	SI012	土師器	高杯	1、12	—	(14.6)	(8.6)	40%	橙色	砂粒	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヘラナデ、ミガキ、ナデ	
113－5	SI012	土師器	壺	17	15.8	—	(9.7)	20%	橙色	砂粒、スコリア	ハケ→ナデ、ヘラナデ	ハケ→ナデ、ハケ→ヘラナデ	
113－6	SI012	土師器	壺	28	14.0	—	(6.0)	20%	にぶい橙色	砂粒	ハケ→ヘラナデ、ナデ	ナデ、ハケ→ナデ	
114－7	SI012	土師器	甕	1、13	17.2	5.4	30.0	85%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ハケ、ヘラナデ	ハケ→ヘラナデ	
114－8	SI012	土師器	甕	15	17.0	4.6	24.6	90%	橙色、黒褐色	砂粒	ナデ→ハケ、ヘラナデ、ハケ	ハケ→ヘラナデ	
114－9	SI012	土師器	甕	14	(13.9)	25.4	6.9	80%	浅黄橙色	砂粒、スコリア、雲母、小石	ヘラミガキ、ヘラナデ	ヘラナデ	煤付着
114－10	SI012	土師器	甕	1、16、17	14.4	—	(9.1)	35%	黄橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラナデ	被熱痕
114－11	SI012	土師器	甕	22	15.3	—	(5.4)	15%	にぶい橙色	砂粒	ナデ	ヘラナデ	
115－1	SI013	土師器	甕	6－1、10	8.3	2.8	8.4	95%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ハケ、ヘラケズリ	
115－2	SI013	土師器	甕	7、8、9	—	4.0	(5.4)	10%	にぶい赤褐色	砂粒	ヘラナデ	ハケ→ヘラケズリ	
116－1	SI014	土師器	高杯	10、93	—	—	(5.0)	20%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ、ミガキ	
116－2	SI014	土師器	小型壺	89、92、94	11.4	2.2	10.4	95%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	煤付着(外)
116－3	SI014	土師器	壺	6	15.0	—	(6.7)	15%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ→ナデ	
116－4	SI014	土師器	小型壺	89	—	2.5	(4.5)	40%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ナデ、ヘラケズリ	ヘラナデ、ヘラナデ→ミガキ	
116－5	SI014	土師器	ミニチュア	88	—	5.0	(4.6)	40%	橙色	砂粒	ナデ	ハケ、ナデ	
116－6	SI014	土師器	手捏土器	43	—	1.5	(2.0)	50%	黒褐色	砂粒	ナデ	ナデ	
117－1	SI015	土師器	高杯	21、22	19.0	—	(4.9)	40%	橙色	砂粒	不明	ナデ→ヘラケズリ、ミガキ	
117－2	SI015	土師器	甕	23	(17.3)	—	(14.3)	20%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ	ハケ→ナデ、ハケ→ヘラケズリ→ナデ	
118－1	SI016	土師器	高杯	64、65、96、98	14.8	10.8	11.3	80%	浅黄橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ヘラナデ、ナデ	
118－2	SI016	土師器	小型壺	51	10.5	3.4	9.0	95%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ハケ→ナデ、ヘラケズリ→ナデ	
118－3	SI016	土師器	小型壺	7	(8.4)	3.8	9.2	90%	橙色	砂粒	ハケ→ヘラナデ	ナデ、ヘラケズリ→ナデ	
118－4	SI016	土師器	小型壺	6	10.5	3.7	9.0	95%	浅黄橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ→ナデ	
118－5	SI016	土師器	壺	74	15.9	—	(6.0)	10%	橙色	砂粒、スコリア	ハケ→ヨコナデ、ナデ、ヘラナデ	ナデ	
118－6	SI016	土師器	甕	78、95、31W－59－1	18.6	—	(22.2)	65%	浅黄橙色	砂粒、スコリア	ハケ→ヨコナデ、ナデ、ヘラナデ	ハケ→ヘラケズリ、ナデ	煤付着(外)
119－7	SI016	土師器	甕	34、89、93、95、107	19.3	—	(10.6)	20%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ハケ→ナデ、ヘラケズリ	
119－8	SI016	土師器	甕	9、26、61、74、93、96	—	7.6	(21.0)	45%	橙色、黒色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ→ナデ、ヘラミガキ	
119－9	SI016	土師器	甕	31、32、35、56、57、63、74、90、91、96、100、104	27.3	—	(20.7)	50%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ナデ、ミガキ、ヘラケズリ→ナデ	
119－10	SI016	土師器	台付甕	78、79、98	—	—	(12.6)	70%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ、ナデ、ヘラケズリ	ハケ→ヘラケズリ、ナデ、ミガキ、ヘラケズリ	
119－11	SI016	土師器	ミニチュア	36	1.9	1.6	1.0	60%	黄褐色	砂粒	ナデ	ナデ	
119－12	SI016	土師器	ミニチュア	91	—	0.9	(1.2)	90%	黄褐色	砂粒	ナデ	ナデ、ユビオサエ	
121－1	SI017	土師器	高杯	3、188	17.6	(13.1)	13.5	80%	明黄褐色、黒褐色	砂粒	ミガキ	ヘラナデ→ミガキ、ナデ→ミガキ	
121－2	SI017	土師器	高杯	4、185	—	(14.9)	(9.5)	40%	明赤褐色	砂粒	ナデ、ハケ	ヘラナデ→ミガキ、ハケ→ミガキ	
121－3	SI017	土師器	高杯	177	—	—	(8.5)	20%	明褐色	砂粒	ナデ、ハケ	ヘラナデ→ミガキ	
121－4	SI017	土師器	高杯	25	—	—	(7.9)	15%	明赤褐色	砂粒	ナデ	ミガキ、ヘラナデ→ミガキ	
121－5	SI017	土師器	高杯	76	—	—	(6.0)	15%	にぶい赤褐色	砂粒	ナデ	ミガキ	
121－6	SI017	土師器	椀	190	10.6	2.6	5.8	100%	にぶい黄褐色	砂粒	不明	ヘラケズリ→ナデ、ヘラケズリ	
121－7	SI017	土師器	小型壺	121	—	3.7	6.5	80%	にぶい黄褐色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ヘラケズリ	
121－8	SI017	土師器	小型壺	120	—	3.6	(6.1)	90%	にぶい黄褐色	砂粒、雲母	ナデ、ヘラナデ	ヘラナデ、ヘラケズリ	
121－9	SI017	土師器	甕	80	(14.2)	—	(7.1)	10%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ→ハケ	
121－10	SI017	土師器	甕	192	12.6	4.3	13.8	95%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ヘラナデ、ハケ、ナデ	
121－11	SI017	土師器	甕	189	11.2	3.1	13.6	95%	明赤褐色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ	
121－12	SI017	土師器	甕	4、32、33、177、178、179、180、183	16.8	5.6	28.0	97%	橙色、褐灰色	砂粒	ハケ、ヘラナデ、ナデ	ハケ→ヘラケズリ、ヘラケズリ	
121－13	SI017	土師器	甕	170	18.0	5.6	30.0	98%	橙色	砂粒	ハケ→ナデ、ヘラナデ	ハケ→ナデ、ハケ→ヘラケズリ、ヘラナデ	
121－14	SI017	土師器	甕	1、171	14.0	4.5	23.5	90%	にぶい黄橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラケズリ	
121－15	SI017	土師器	甕	4、5、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、19、20、21、23、24、39	15.8	4.8	24.1	80%	にぶい黄橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	
122－16	SI017	土師器	甕	3、175	(17.4)	—	(24.8)	40%	明赤褐色、黒褐色	砂粒	ヘラナデ	ハケ→ナデ、ヘラケズリ	
122－17	SI017	土師器	甕	173	18.3	—	(16.3)	45%	橙色	砂粒	ハケ、ナデ	ミガキ、ヘラケズリ、ハケ→ヘラケズリ、ナデ	
122－18	SI017	土師器	甕	4、182	—	5.1	(24.5)	45%	にぶい赤褐色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ	
122－19	SI017	土師器	台付甕	4、29、176、181、184、213	—	9.8	(23.0)	60%	にぶい黄橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ヘラケズリ、ヘラナデ	
123－1	SI018	土師器	小型壺	97	8.2	1.2	7.0	95%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ヘラケズリ	
123－2	SI018	土師器	小型壺	1、36、39	—	—	(5.8)	25%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ	ナデ、ヘラケズリ	

挿図番号	遺構番号	種別	器種	遺物番号	口径	底径	器高	遺存度	色　調	胎　土	調整　内面	調整　外面	備　考
123－3	SI018	土師器	甕	94	(17.4)	—	(11.0)	15%	橙色	砂粒	ハケ、ナデ、ヘラケズリ	ハケ、ヘラケズリ、ナデ	
125－1	SI019	土師器	高杯	4、5、9、15	(21.2)	16.6	16.8	65%	にぶい橙色	砂粒	ハケ、ヘラケズリ、ヘラナデ、ナデ	ハケ→ミガキ、ハケ、ミガキ	
125－2	SI019	土師器	高杯	8、13、14	15.6	(12.9)	11.6	80%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ヘラケズリ、ナデ	
125－3	SI019	土師器	高杯	7、8	—	15.2	(9.7)	45%	にぶい橙色	砂粒	ハケ	ハケ→ナデ、ナデ	
125－4	SI019	土師器	椀	1、2、14、15	(8.8)	2.2	(5.7)	65%	にぶい橙色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	
125－5	SI019	土師器	鉢	1、2、14	12.0	4.0	7.9	70%	橙色	砂粒	ハケ、ヘラナデ	ハケ→ヘラナデ、ヘラナデ	
125－6	SI019	土師器	壺	11、12	(13.7)	—	(20.2)	55%	にぶい橙色	砂粒	ハケ、ヘラナデ	ハケ→ナデ、ヘラケズリ	
125－7	SI019	土師器	壺	5、15	—	5.9	(20.0)	35%	にぶい褐色	砂粒	ヘラナデ→ミガキ	ヘラケズリ→ミガキ、ヘラケズリ	
125－8	SI019	土師器	甕	6	13.7	3.2	15.7	95%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ	
125－9	SI019	土師器	甕	10、12	13.5	—	(5.7)	20%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	
125－10	SI019	土師器	甕	4、14、15	(15.0)	—	(5.8)	10%	にぶい黄橙色	砂粒	ヘラナデ	ナデ、ハケ	
125－11	SI019	土師器	台付甕	3、4、12、14、15	(17.6)	11.0	17.4	40%	にぶい橙色	砂粒	ヘラケズリ、ヘラナデ、ナデ	ハケ、ヘラケズリ→ミガキ、ナデ	
125－12	SI019	土師器	台付甕	4、5、14、15	12.6	—	(14.8)	80%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	
126－1	SI020	土師器	高杯	22、23	—	—	(9.0)	40%	にぶい赤褐色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ナデ、ヘラナデ	
126－2	SI020	土師器	高杯	26、32、71	—	14.2	(7.2)	45%	にぶい黄褐色	砂粒、スコリア	ナデ、ヘラナデ	ナデ、ヘラナデ	
126－3	SI020	土師器	高杯	25	—	—	(4.8)	15%	にぶい褐色	砂粒	ナデ	ヘラナデ	
126－4	SI020	土師器	小型壺	36、38	14.6	—	(6.4)	35%	橙色	砂粒、スコリア、小石	ナデ	ナデ	
126－5	SI020	土師器	甕	2、28、29、30、31、32、37、39、42、43、67、72	17.4	—	(31.5)	60%	にぶい橙色、黒褐色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ハケ→ヘラナデ	
128－1	SI021	土師器	高杯	169、340、341	(19.8)	—	(14.7)	70%	橙色	砂粒	ナデ→ミガキ、ヘラケズリ	ナデ→ミガキ、ヘラナデ→ミガキ	
128－2	SI021	土師器	高杯	325	(18.9)	—	(7.0)	40%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ→ミガキ、ヘラケズリ、ナデ	
128－3	SI021	土師器	高杯	1、220、263、265	—	—	(7.9)	30%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ナデ→ミガキ、ヘラケズリ	ハケ→ミガキ、ナデ、ヘラナデ	
128－4	SI021	土師器	高杯	168	—	(11.6)	(6.4)	30%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラナデ、ヘラナデ→ミガキ、ナデ	
128－5	SI021	土師器	高杯	287	—	(13.0)	(8.6)	35%	橙色	砂粒	ナデ	ミガキ、ナデ→ミガキ	
128－6	SI021	土師器	ミニチュア	6	—	2.0	(4.2)	75%	褐灰色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ナデ、ヘラケズリ	
129－1	SI022	土師器	高杯	58	—	(13.1)	(7.2)	35%	にぶい褐色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ナデ	
129－2	SI022	土師器	小型壺	54	10.9	3.0	11.5	95%	にぶい黄橙色	砂粒	不明	ヘラケズリ	
129－3	SI022	土師器	小型壺	66、97、117、164	10.0	3.4	9.6	60%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ	
129－4	SI022	土師器	小型壺	46	7.0	3.0	7.9	95%	橙色	砂粒	ミガキ、ヘラナデ	ヘラケズリ→ミガキ	
130－1	SI023	土師器	高杯	89	—	13.8	(9.3)	40%	明褐色	砂粒、スコリア	ナデ、ヘラナデ	ナデ、ミガキ	
130－2	SI023	土師器	小型壺	91	—	4.2	(13.4)	85%	にぶい橙色	砂粒	ハケ、ナデ	ハケ、ナデ	
130－3	SI023	土師器	小型壺	88	—	3.4	(8.1)	50%	にぶい赤褐色	砂粒	不明	ヘラケズリ	
131－1	SI024	土師器	高杯	108	(19.0)	—	(6.4)	20%	橙色	砂粒、スコリア	ミガキ	ナデ→ミガキ	
131－2	SI024	土師器	高杯	1、8	—	(11.8)	(8.3)	60%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ナデ、ヘラケズリ→ミガキ、ヘラナデ	
131－3	SI024	土師器	壺	2、41、68	(20.6)	—	(7.2)	10%	橙色	砂粒	ミガキ、ナデ	ナデ	
131－4	SI024	土師器	甕	4、109	(17.0)	—	(23.2)	20%	にぶい黄橙色、黒褐色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ→ナデ	
131－5	SI024	土師器	甕	110	16.5	—	(12.6)	40%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ→ナデ	
131－6	SI024	土師器	甕	2、40、91	(18.4)	—	(4.3)	25%	橙色	砂粒、雲母	ヘラケズリ	ヘラケズリ	
131－7	SI024	土師器	甕	3、4、88、107	14.1	—	(3.7)	10%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラナデ→ナデ	
131－8	SI024	土師器	小型壺	10、66	—	4.7	(8.3)	60%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	不明	ヘラケズリ	黒色処理？
132－1	SI025	土師器	高杯	9	20.0	14.4	13.8	65%	橙色	砂粒	ミガキ、ヘラケズリ	ヘラケズリ、ヘラナデ、ナデ	
132－2	SI025	土師器	小型壺	11、12	10.2	11.8	3.1	95%	にぶい橙色	砂粒、石英	不明	ナデ、ヘラケズリ	
132－3	SI025	土師器	小型壺	6	—	—	(5.3)	65%	にぶい黄橙色	砂粒	ケズリ	ハケ、ケズリ	
132－4	SI025	土師器	小型壺	21	—	3.5	(3.3)	10%	黒褐色	砂粒	不明	ヘラケズリ	
132－5	SI025	土師器	壺	13	17.6	—	(6.2)	75%	にぶい橙色	砂粒	ナデ	ナデ→ミガキ	
132－6	SI025	土師器	壺	4、5、6	12.7	5.8	19.6	80%	明赤褐色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ、ミガキ	
132－7	SI025	土師器	甕	10	14.2	—	(16.8)	80%	にぶい橙色、黒褐色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	
132－8	SI025	土師器	甕	4、12	—	6.7	(18.5)	45%	黒褐色	砂粒	ケズリ	ヘラケズリ	
133－1	SI026	土師器	高杯	5	18.3	—	(6.8)	40%	灰黄褐色	砂粒	ヘラケズリ	ハケ→ミガキ	
133－2	SI026	土師器	高杯	6	18.1	—	(4.6)	45%	橙色	砂粒	ミガキ	ハケ→ミガキ、ハケ→ヘラケズリ	
133－3	SI026	土師器	高杯	2	—	—	(7.6)	20%	浅黄橙色	砂粒	ナデ、ヘラケズリ	ヘラナデ、ミガキ	
133－4	SI026	土師器	高杯	2	—	—	(7.5)	25%	にぶい黄褐色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ヘラケズリ	
133－5	SI026	土師器	高杯	5、6	—	—	(7.0)	15%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ナデ、ヘラナデ	ミガキ	
133－6	SI026	土師器	高杯	5、6	—	—	(6.1)	10%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ、ハケ→ミガキ	
133－7	SI026	土師器	小型壺	2	—	3.4	(6.8)	90%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ヘラケズリ→ミガキ	
133－8	SI026	土師器	小型壺	6	—	—	(4.0)	25%	にぶい橙色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ヘラナデ	
133－9	SI026	土師器	甑	6	—	4.4	(3.4)	15%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ	
134－1	SI027	土師器	高杯	2	16.6	13.2	14.5	90%	橙色、にぶい黄橙色	砂粒	ヘラナデ、ヘラケズリ→ヘラナデ、ナデ	ヘラナデ、ヘラケズリ→ヘラナデ、ナデ	
135－1	SI028	土師器	高杯	8、14	17.2	(13.4)	15.1	65%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ、ミガキ	ナデ、ヘラナデ	
135－2	SI028	土師器	小型壺	6	12.5	3.2	15.5	95%	橙色	砂粒	ヘラナデ→ミガキ、ナデ	ヘラケズリ→ミガキ、ナデ	煤付着

挿図番号	遺構番号	種別	器種	遺物番号	口径	底径	器高	遺存度	色　調	胎　土	調整　内面	調整　外面	備　考
135－3	SI028	土師器	小型壺	2	9.4	2.6	9.1	95%	黒褐色	砂粒、スコリア	ヘラナデ、ナデ	ナデ	
135－4	SI028	土師器	小型壺	3	—	—	(12.1)	60%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ、ユビオサエ	ヘラケズリ→ミガキ	赤彩(内口縁、外)
135－5	SI028	土師器	壺	9	15.9	6.0	22.4	85%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ、ヘラケズリ	ミガキ、ナデ、ヘラケズリ	煤付着
135－6	SI028	土師器	甕	11	—	—	(12.0)	15%	にぶい橙色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ→ミガキ	
135－7	SI028	土師器	甕	10	(16.3)	—	(17.0)	20%	にぶい橙色、黒褐色	砂粒、スコリア	ヘラケズリ	ヘラナデ、ヘラケズリ	
135－8	SI028	土師器	甕	7、8、11、12、14	(14.7)	—	(22.3)	35%	にぶい黄橙色、黒褐色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ヘラナデ	木口の粗い工具によるヘラナデ
135－9	SI028	土師器	甕	4	13.7	—	(18.1)	90%	にぶい黄橙色、褐灰色	砂粒、スコリア	ケズリ→ミガキ	ケズリ→ナデ→ミガキ	煤付着
136－10	SI028	土師器	甕	7、14	17.5	5.4	28.2	95%	褐灰色、にぶい黄褐色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラケズリ	
136－11	SI028	土師器	甕	1、11、13	—	5.5	(23.7)	80%	褐灰色、にぶい黄褐色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラナデ、ヘラケズリ	
137－1	SI029	土師器	高杯	78	—	14.8	(8.7)	35%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ミガキ、ナデ→ミガキ	
137－2	SI029	土師器	高杯	78	—	13.6	(8.4)	40%	明黄褐色	砂粒、スコリア	ヘラナデ、ヘラケズリ、ナデ	ナデ→ヘラケズリ→ミガキ	
137－3	SI029	土師器	甕	32、33、40、46、58、63、65、66、68、69、70、71、72、73、74、77、79	16.9	—	(24.2)	80%	橙色	砂粒	ヘラナデ→ヘラケズリ	ハケ、ヘラケズリ	煤付着
137－4	SI029	土師器	甕	41、43、47、59	(16.6)	—	(20.1)	30%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ヘラケズリ	ヘラナデ、ナデ、ﾀﾀｷ	煤付着
137－5	SI029	土師器	甕	29、31、79、80、81、83、84、85	—	6.8	(6.5)	10%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラケズリ	ヘラケズリ、ハケ、ナデ	
137－6	SI029	土師器	甕	3、4、28、35、36、37、38、39、56、57	—	5.6	(15.2)	15%	明赤褐色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラナデ、ヘラケズリ	
139－1	SI030	土師器	高杯	6	20.0	—	(14.3)	85%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ミガキ、ヘラナデ	ミガキ、ヘラケズリ→ミガキ	
139－2	SI030	土師器	高杯	15、18	17.2	—	(6.4)	40%	橙色	砂粒	ナデ、ミガキ	ミガキ、ヘラナデ	
139－3	SI030	土師器	小型壺	19	—	3.9	(11.3)	85%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ→ミガキ、ナデ	ヘラケズリ→ミガキ、ヘラケズリ	
139－4	SI030	土師器	甕	20	20.3	—	(10.4)	15%	にぶい黄橙色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	煤付着
140－1	SI031	土師器	高杯	17	(21.0)	—	(8.7)	35%	橙色	砂粒	ミガキ、ナデ	ミガキ、ヘラケズリ	被熱痕
140－2	SI031	土師器	高杯	12	18.7	—	(6.5)	55%	橙色	砂粒	ハケ	ハケ→ナデ、ヘラナデ	
140－3	SI031	土師器	高杯	35W－33－2	18.2	—	(6.0)	50%	にぶい赤褐色	砂粒	ミガキ	ミガキ	
140－4	SI031	土師器	高杯	4、16	(16.3)	—	(6.9)	25%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヨコナデ→ミガキ	
140－5	SI031	土師器	高杯	11	16.3	—	(6.4)	30%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ→ミガキ	ミガキ、ヘラナデ	
140－6	SI031	土師器	高杯	5	—	—	(9.6)	35%	にぶい黄橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ヘラケズリ、ミガキ	
140－7	SI031	土師器	高杯	10	—	—	(5.0)	30%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ハケ→ミガキ	ミガキ、ナデ、ヘラナデ	
140－8	SI031	土師器	高杯	13、16	—	12.0	(11.3)	65%	橙色	砂粒	ミガキ、ヘラナデ→ナデ	ミガキ、ナデ、ヘラナデ	
140－9	SI031	土師器	鉢	17	13.9	3.8	7.3	70%	にぶい橙色	砂粒	ミガキ、ナデ	ナデ→ミガキ、ヘラケズリ→ナデ	
140－10	SI031	土師器	小型壺	16	—	3.8	(2.8)	15%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ、ハケ、ナデ	
140－11	SI031	土師器	壺	6、16	(15.0)	—	(14.2)	15%	明黄褐色	砂粒	ナデ	ナデ、ヘラケズリ	
140－12	SI031	土師器	甕	3、4、17、19	16.7	—	(20.7)	75%	明赤褐色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ、ヘラナデ	
140－13	SI031	土師器	甕	2、6	15.5	—	(20.1)	65%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ミガキ、ヘラケズリ→ミガキ	
140－14	SI031	土師器	鉢	3、6、17	(13.6)	—	(7.0)	40%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ	
141－1	SI032	土師器	高杯	2、101	19.3	—	(6.6)	40%	橙色	砂粒	不明	ヘラミガキ	
141－2	SI032	土師器	高杯	25	—	(14.4)	(8.5)	40%	橙色	砂粒	ヘラケズリ、ナデ	ミガキ、ナデ	
141－3	SI032	土師器	小型壺	24	—	(3.6)	(8.5)	40%	にぶい橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ→ナデ	
141－4	SI032	土師器	甑	4、250	22.2	5.3	15.1	70%	にぶい黄橙色	スコリア	ヘラケズリ、ナデ	ヘラケズリ	
141－5	SI032	土師器	甕	48、188、189、190、196、202、209、275、281、283、284	16.2	—	(28.1)	40%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	
142－6	SI032	土師器	甕	1、47、62、63、64、71、72、75、76、77、172	—	7.1	(26.2)	35%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラケズリ、ヘラナデ、ミガキ	
143－1	SI033	土師器	高杯	150	12.7	—	(5.7)	50%	にぶい黄橙色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	
143－2	SI033	土師器	高杯	44	—	10.8	(8.8)	50%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ	ハケ→ヘラミガキ	
143－3	SI033	土師器	小型壺	3、4、16、29、40、168、173	—	3.5	(9.6)	25%	明赤褐色	砂粒	不明	ヘラナデ、ヘラケズリ	
143－4	SI033	土師器	甕	58、111、112	18.0	—	(10.9)	20%	橙色、浅黄橙色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	
144－5	SI033	土師器	甕	155	16.1	—	(24.3)	85%	にぶい橙色、黒褐色	砂粒	ケズリ	ヘラケズリ	
144－6	SI033	土師器	甕	6、151、152、155	16.6	—	(22.4)	80%	にぶい黄橙色、黒褐色	砂粒	ヘラケズリ、ハケ	ハケ、ケズリ	
144－7	SI033	土師器	甕	4、50、53、168、173	—	5.0	(30.0)	30%	にぶい橙色	砂粒	不明	ヘラケズリ	
145－1	SI034	土師器	高杯	10	—	(15.4)	(7.6)	45%	橙色		ヘラケズリ→ミガキ、ナデ	ヘラケズリ→ミガキ、ナデ	
145－2	SI034	土師器	壺	8	14.5	—	(4.8)	20%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ→ヘラミガキ	ヘラケズリ→ヘラミガキ	
145－3	SI034	土師器	甕	6、7、147、149、157、159、162	(28.0)	—	(9.4)	10%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	
146－4	SI034	土師器	甕	114、115、116、117、118、130、135	—	4.7	(8.3)	15%	明褐色、黒色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	
146－5	SI034	土師器	甕	73、81、107、108、120、121、166	—	4.3	(7.5)	10%	暗褐色、黒色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ	
148－1	SI035	土師器	高杯	2、22、47、76、111、136、137	20.0	14.9	17.3	80%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ヘラナデ、ナデ	
148－2	SI035	土師器	高杯	4、5、72、78	20.3	—	(15.7)	80%	明赤褐色	砂粒	ミガキ、ヘラナデ	ナデ→ミガキ	
148－3	SI035	土師器	高杯	4、75、77	(19.1)	15.2	16.1	70%	橙色	砂粒、スコリア	ミガキ、ヘラナデ、ナデ	ミガキ、ヘラナデ、ナデ	
148－4	SI035	土師器	高杯	103、104、106、124	—	(15.5)	(14.4)	50%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ、ナデ	ミガキ、ナデ	穿孔1
148－5	SI035	土師器	高杯	6、26、35、36	17.9	—	(6.4)	45%	橙色	砂粒、スコリア	不明	ミガキ	
148－6	SI035	土師器	高杯	100	—	15.4	(10.8)	45%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ナデ、ミガキ	

挿図番号	遺構番号	種別	器種	遺物番号	口径	底径	器高	遺存度	色調	胎土	調整 内面	調整 外面	備考
148－7	SI035	土師器	高杯	3,54	—	(13.7)	(10.0)	30%	橙色	砂粒	ナデ、ヘラナデ	ヘラナデ→ミガキ、ヨコナデ	
148－8	SI035	土師器	高杯	3,4,55	—	17.1	(12.1)	50%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ、ナデ	ミガキ、ナデ	
148－9	SI035	土師器	高杯	37	—	—	(10.7)	35%	橙色	砂粒	ヘラナデ、ナデ	ミガキ	
148－10	SI035	土師器	小型壺	6,10	—	—	(8.6)	15%	明赤褐色	砂粒	ヘラナデ	ナデ→ミガキ	
148－11	SI035	土師器	小型壺	6,92	—	—	(8.4)	25%	にぶい橙色	スコリア、その他	ヘラナデ	ミガキ	
148－12	SI035	土師器	壺	1,6,8,12,14,19,22,32,45,82,94,95,97,98,99,114	18.2	6.4	29.9	80%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ハケ→ヘラケズリ→ナデ	煤付着
148－13	SI035	土師器	甕	6,27,81,99,108,130	16.7	5.4	28.9	85%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ、ヘラケズリ	煤付着
149－14	SI035	土師器	甕	179	18.8	(5.2)	29.0	85%	にぶい黄橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ヘラケズリ、ナデ	煤付着
149－15	SI035	土師器	甕	4,6,81,83,84,90,93,94	20.5	7.1	30.0	85%	黒褐色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ→ナデ	煤付着(内外)
149－16	SI035	土師器	甕	3,55,56,62	18.2	—	(20.8)	30%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラケズリ	
149－17	SI035	土師器	甕	88	(18.5)	—	(10.5)	15%	にぶい橙色	砂粒	ミガキ、ヘラケズリ→ナデ	ヘラケズリ	
149－18	SI035	土師器	甕	6,21,97,98,99,102,104,108,121	—	—	(21.8)	40%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラケズリ	
150－1	SI036	土師器	高杯	68,70	20.8	—	(7.0)	45%	浅黄橙色	砂粒、スコリア	ミガキ	ミガキ	
150－2	SI036	土師器	高杯	3,23,24,25	17.4	—	(6.7)	50%	橙色	砂粒、スコリア	不明	ミガキ	
150－3	SI036	土師器	高杯	45,85	(18.6)	—	(4.7)	20%	橙色	砂粒、スコリア	ミガキ	ミガキ	
150－4	SI036	土師器	高杯	73	19.6	—	(7.5)	50%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ナデ→ミガキ	
150－5	SI036	土師器	高杯	1,28	19.2	—	(6.4)	50%	橙色	砂粒、スコリア	ナデ→ミガキ	ナデ→ミガキ、ナデ	
150－6	SI036	土師器	高杯	16	—	—	(13.7)	70%	橙色	砂粒	ミガキ、ナデ	ミガキ、ヘラケズリ	
151－7	SI036	土師器	高杯	52	—	—	(9.2)	30%	橙色	砂粒	ナデ	ミガキ	
151－8	SI036	土師器	高杯	3,4,32,34	—	—	(7.1)	30%	橙色	砂粒	ナデ、ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	
151－9	SI036	土師器	高杯	46	—	—	(5.9)	20%	橙色	砂粒	ナデ	ミガキ	
151－10	SI036	土師器	高杯	37	—	—	(8.0)	30%	橙色	砂粒	ミガキ、ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	
151－11	SI036	土師器	小型壺	1,35,61	(11.5)	(3.0)	(11.4)	50%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ、ナデ	
151－12	SI036	土師器	小型壺	1,2,3,4,9,12,13,14,15,41,65	9.9	2.2	11.9	80%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ、ナデ	ヘラナデ、ヘラケズリ	
151－13	SI036	土師器	甕	5	18.1	—	(26.5)	85%	にぶい橙色	砂粒	ヘラナデ、ヘラケズリ	ヘラナデ	穿孔1
151－14	SI036	土師器	甕	8,9,10,67,68	17.3	—	(26.0)	70%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラナデ	
151－15	SI036	土師器	甕	2,6,7	—	7.7	(10.7)	20%	橙色	砂粒、スコリア	不明	ヘラケズリ	
151－16	SI036	土師器	ミニチュア	2,3	(7.1)	—	(6.1)	30%	橙色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	
151－17	SI036	土師器	壺	3,19,20,21,23,24,25,26	—	2.8	(13.4)	70%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラケズリ、ナデ	
151－18	SI036	土師器	壺	50	—	5.4	(15.4)	70%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	不明	ヘラケズリ、ナデ	
152－1	SK004	土師器	壺	1,2	14.0	(3.9)	26.6	70%	橙色、褐灰色	砂粒	ヘラナデ	ヘラナデ、ヘラケズリ	
153－1	SK018	土師器	高杯	1,2	(20.0)	—	(5.3)	20%	橙色	砂粒、スコリア	ミガキ	ヘラナデ→ミガキ	
154－1	SK019	土師器	壺	13,14,21	(20.3)	—	(6.3)	5%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ、ヨコナデ	
154－1	SK030	土師器	高杯	1,3	(21.2)	—	(7.0)	10%	にぶい黄橙色	砂粒	ヘラナデ→ミガキ	ヘラナデ→ミガキ	
154－1	SK031	土師器	高杯	1	—	—	(8.7)	20%	橙色	砂粒、スコリア	ヘラナデ、ナデ	ヘラケズリ、ミガキ	
154－2	SK031	土師器	甕	1	(16.0)	—	(4.7)	5%	灰黄褐色	砂粒、スコリア	ヘラナデ	ヘラケズリ	
156－1	37V－06	土師器	高杯	4	—	—	(10.7)	35%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラナデ→ミガキ	
156－2	37V－06	土師器	高杯	9	—	—	(7.5)	25%	浅黄橙色	砂粒、スコリア	ミガキ、ナデ	ミガキ	
156－3	18次	土師器	高杯	(18)一括	—	15.2	(11.7)	40%	橙色	砂粒	ナデ	ナデ、ヘラナデ	
156－4	36V－39	土師器	甕	1	(17.4)	—	(18.0)	20%	褐灰色	砂粒	ヘラケズリ	ヘラケズリ	
156－5	34X－00	土師器	ミニチュア	1	—	3.6	(5.2)	90%	にぶい橙色	砂粒、スコリア	ナデ	ナデ、ヘラケズリ	
158－1	SI038	土師器	杯	4,5,7	13.2	—	(4.1)	85%	にぶい橙色	砂粒	ミガキ	ヘラケズリ→ミガキ	煤付着(内)
158－2	SI038	須恵器	杯	3	(14.0)	8.2	4.2	40%	灰赤色	雲母	ロクロ整形	ロクロ整形、手持ちヘラケズリ	常陸産
158－3	SI038	土師器	甕	1,6,8,10	13.6	7.3	10.4	95%	橙色	砂粒	ヘラナデ	ヨコナデ、ヘラケズリ	
159－1	SI039	土師器	甕	2	(20.9)	—	(5.2)	5%	にぶい黄橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ	
159－2	SI039	須恵器	甕	3	—	—	—	—	褐灰色	緻密	当て具痕	ﾀﾀｷ	自然釉、東海産
160－1	SI040	須恵器	蓋	5	(15.4)	—	(2.8)	30%	にぶい橙色	石英、雲母	ロクロ整形	ロクロ整形、回転ヘラケズリ	常陸産
160－2	SI040	須恵器	高台付椀	1,5	19.0	—	(5.0)	30%	灰赤色	石英、雲母	ロクロ整形	ロクロ整形	常陸産
160－3	SI040	土師器	甕	2,3,6	(23.9)	—	(7.9)	10%	橙色	砂粒	ナデ	ヘラケズリ	
161－1	SK024	常滑	甕	1	(34.0)	—	(7.7)	5%	灰黄褐色	砂粒	ロクロ整形	ロクロ整形	自然釉
166－1	SD003	常滑	片口鉢	1	—	(17.6)	(7.7)	5%	にぶい黄褐色	砂粒	ロクロ整形	ロクロ整形、砂目	
166－2	35W－00	常滑	片口鉢	1	(33.0)	—	(7.3)	5%	灰オリーブ色	砂粒	ロクロ整形	ロクロ整形	自然釉
166－3	35W－00	常滑	甕	1	—	(12.0)	(3.8)	5%	明赤灰色	砂粒、石英	ロクロ整形	ロクロ整形	

写　真　図　版

遺跡周辺航空写真（1/10,000）

図版2

2区調査前風景

4区調査前風景

5区調査前風景

2区航空写真

2区航空写真
北側

2区航空写真
南側

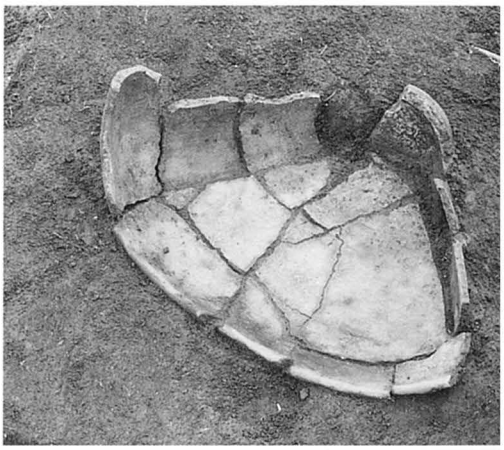
図版4

旧石器第15ブロック遺物出土状況

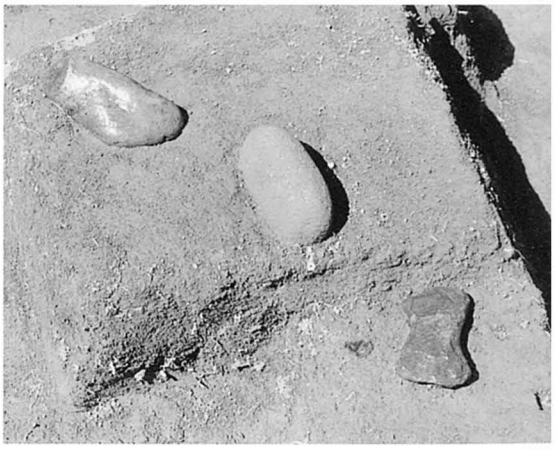
旧石器第17ブロック遺物出土状況

旧石器第18ブロック遺物出土状況

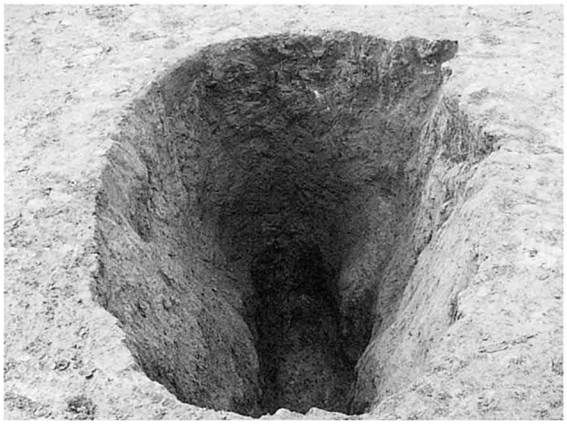
SI001



SI001遺物出土状況

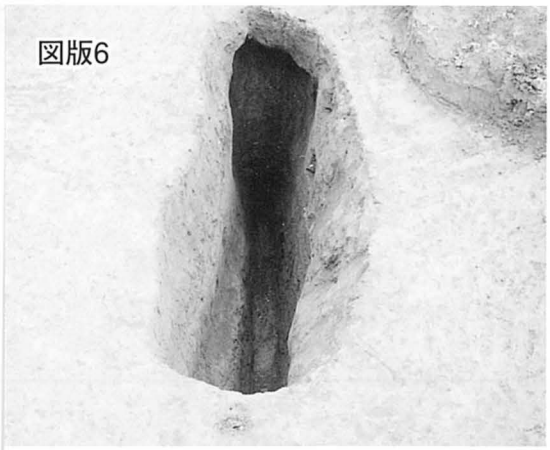


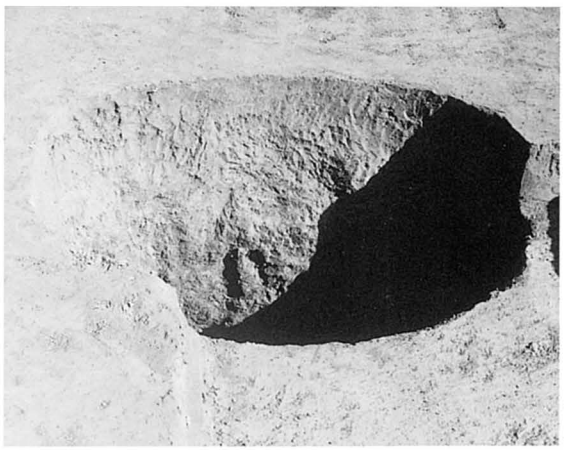
SI001遺物出土状況



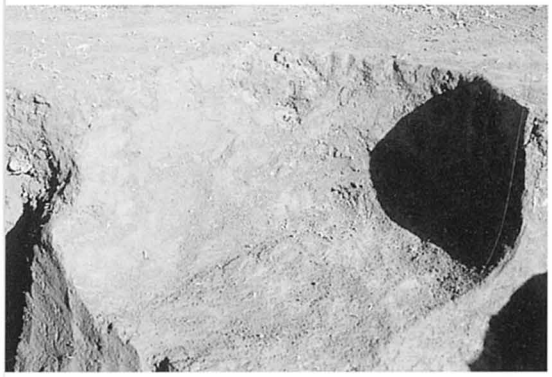
SK020（左）
SK044（右）

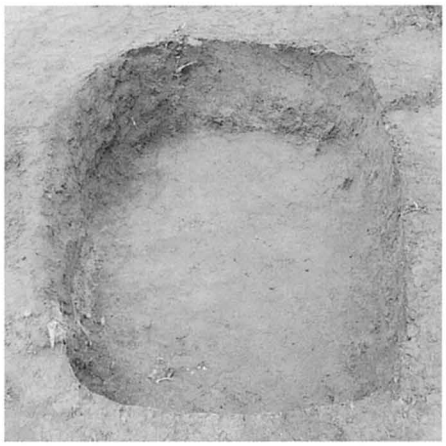
図版6



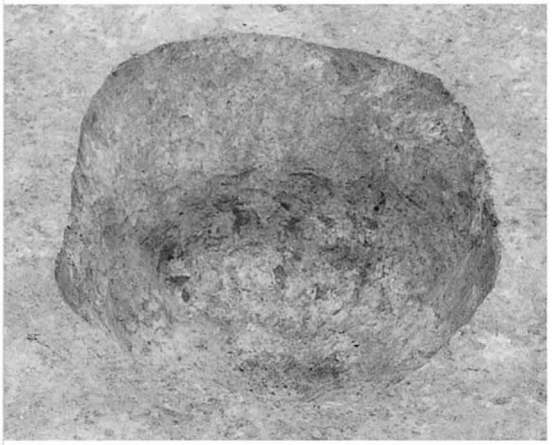


SK041（左）
SK002（右）

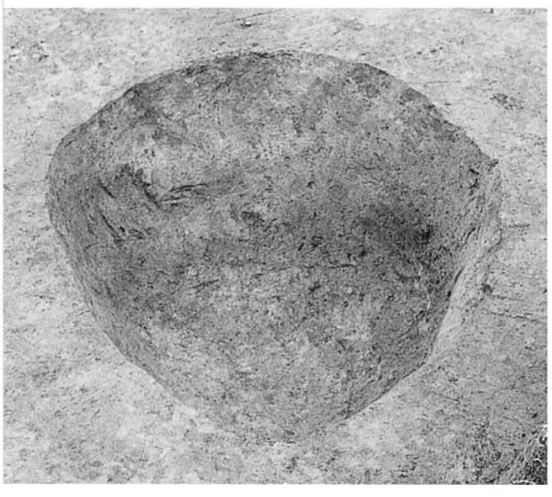




SK003（左上）
SK032（左下）
SK036（右）



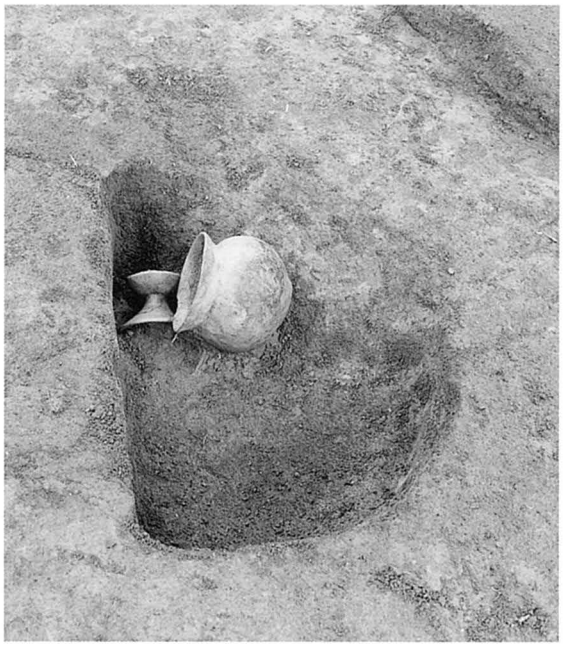
SK037（左）
SK040（右）

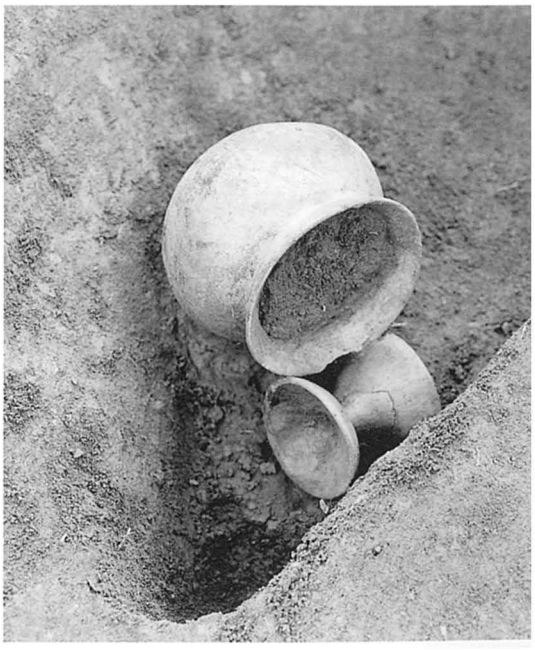


SK038（左）
SK042、SK043（右）

SI002

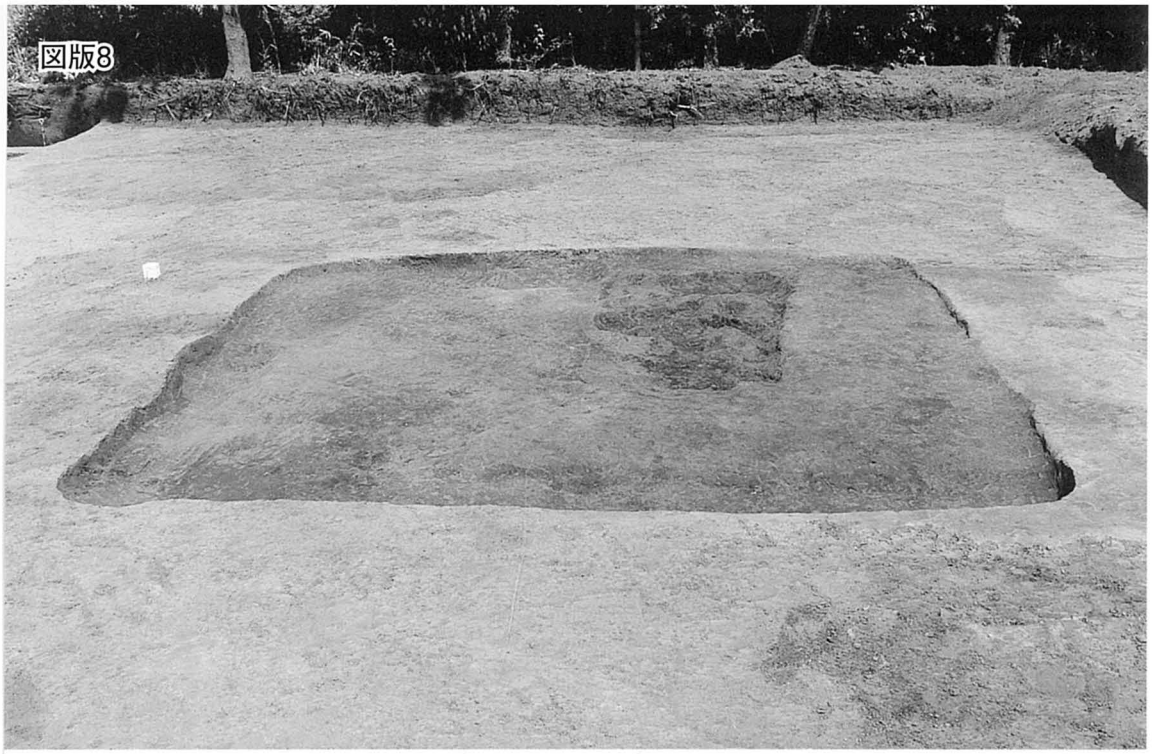
SI003



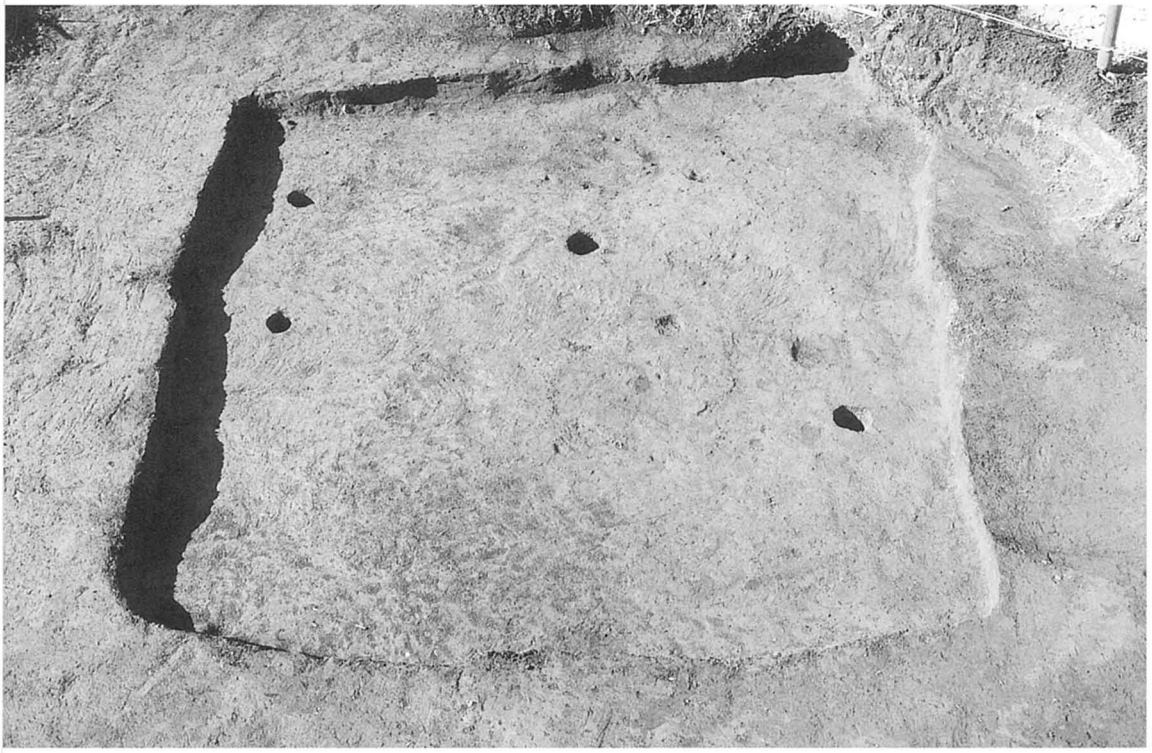


SI003物出土状況

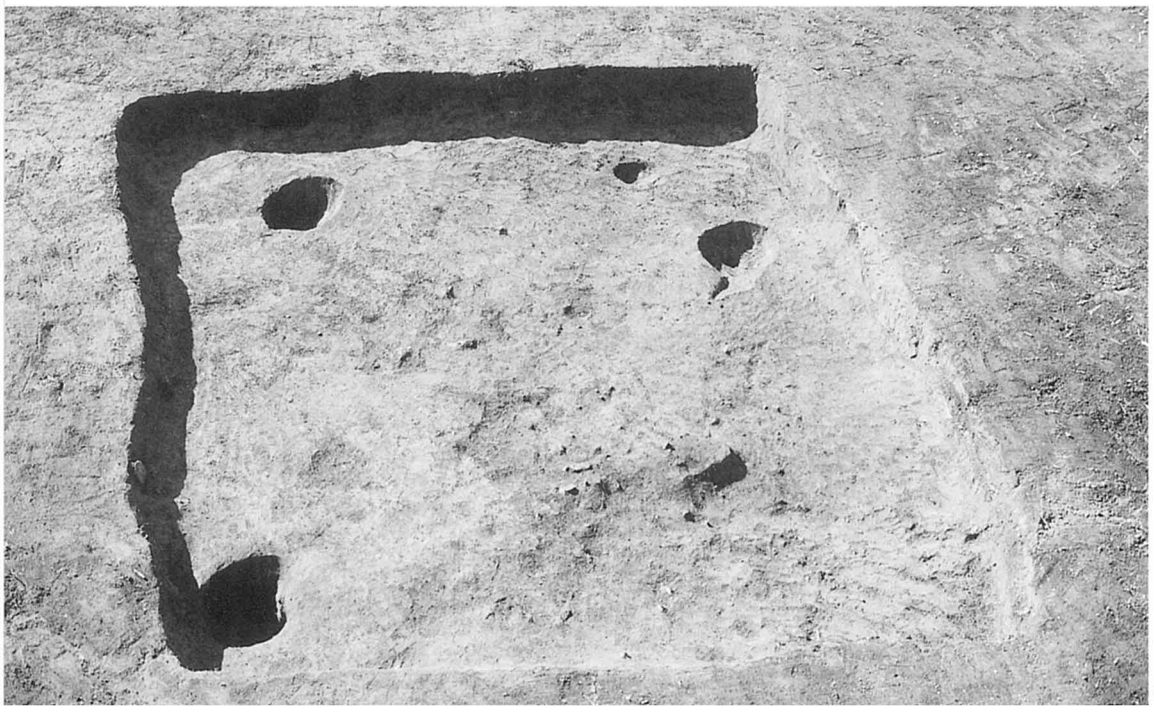
図版8



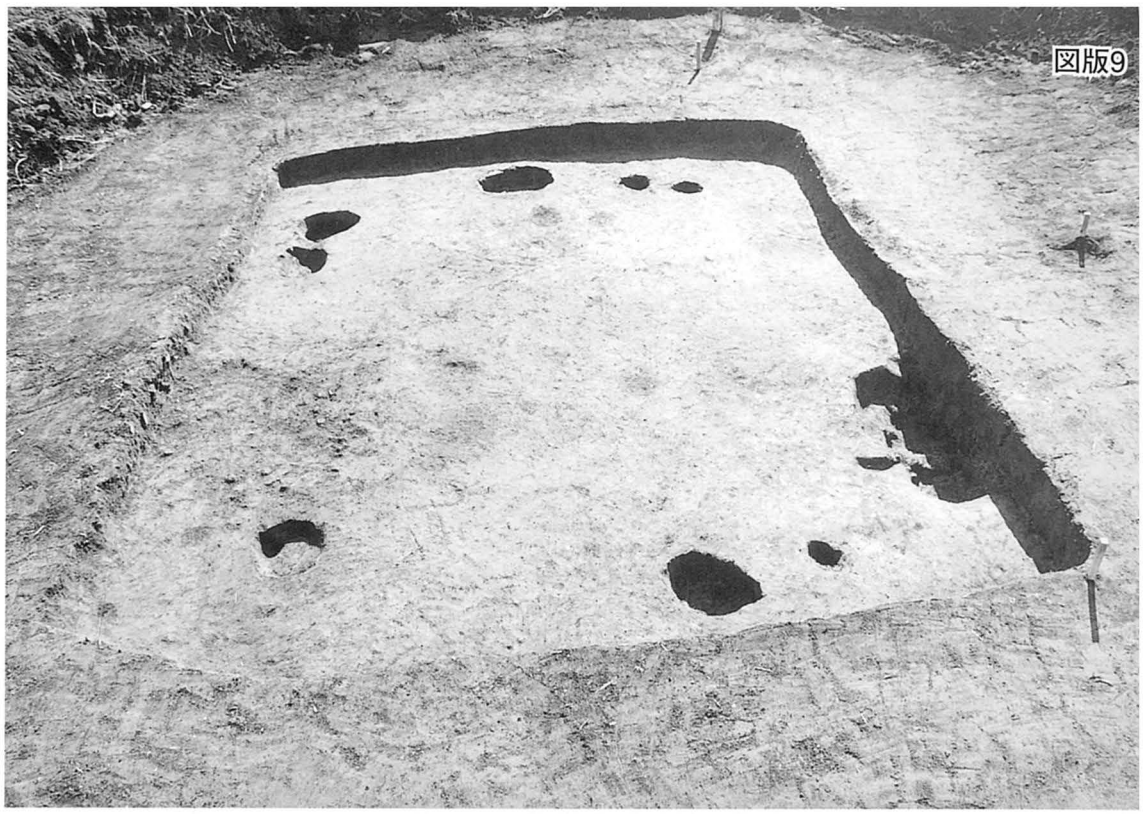
SI004



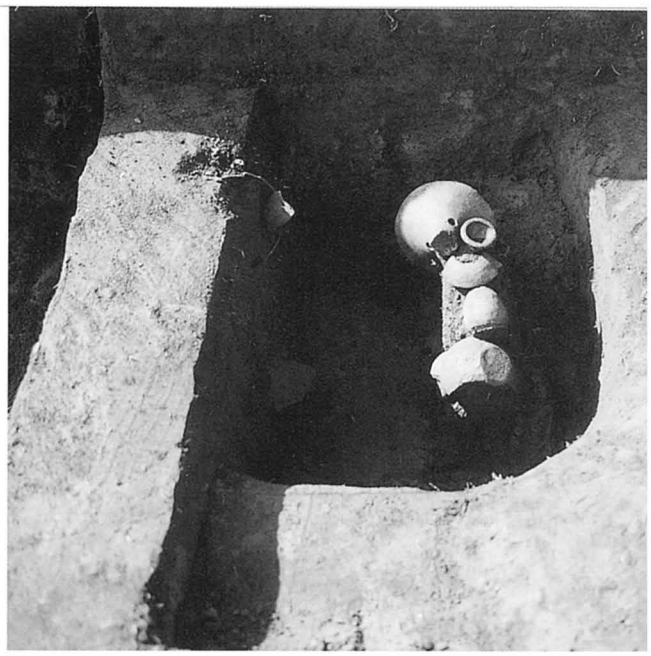
SI005



SI006



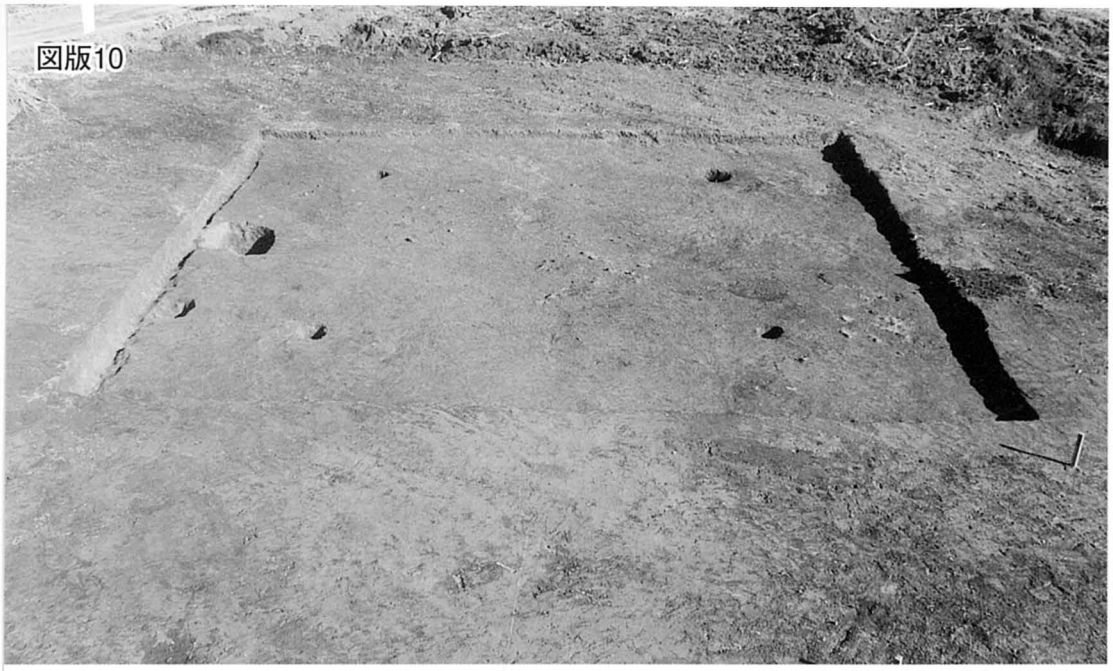
SI007



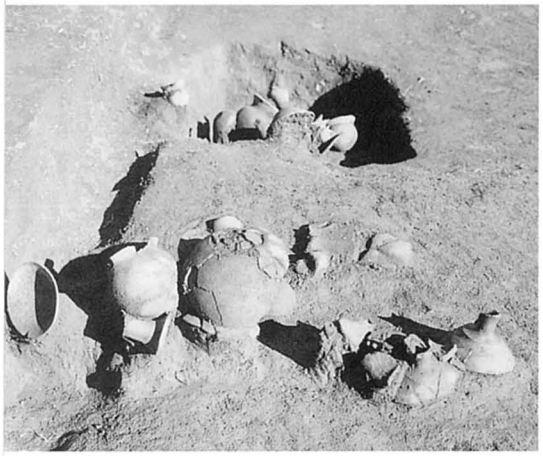
SI007遺物出土状況

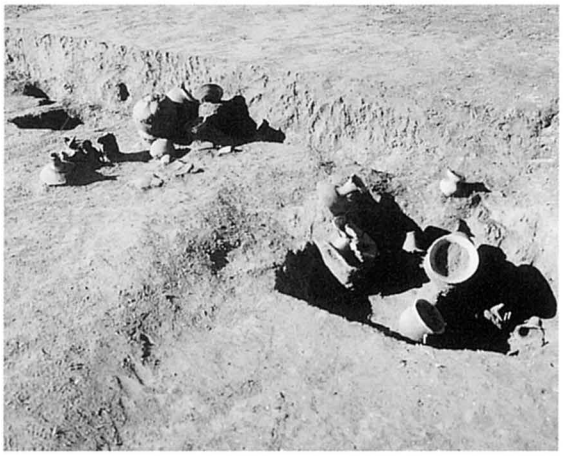
SI008

図版10



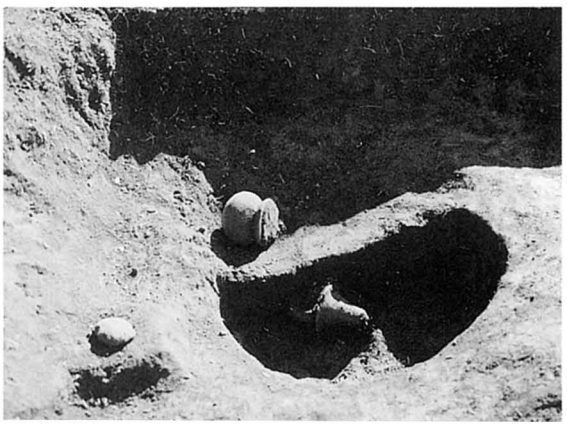
SI009





SI009遺物出土状況

SI010



SI010遺物出土状況

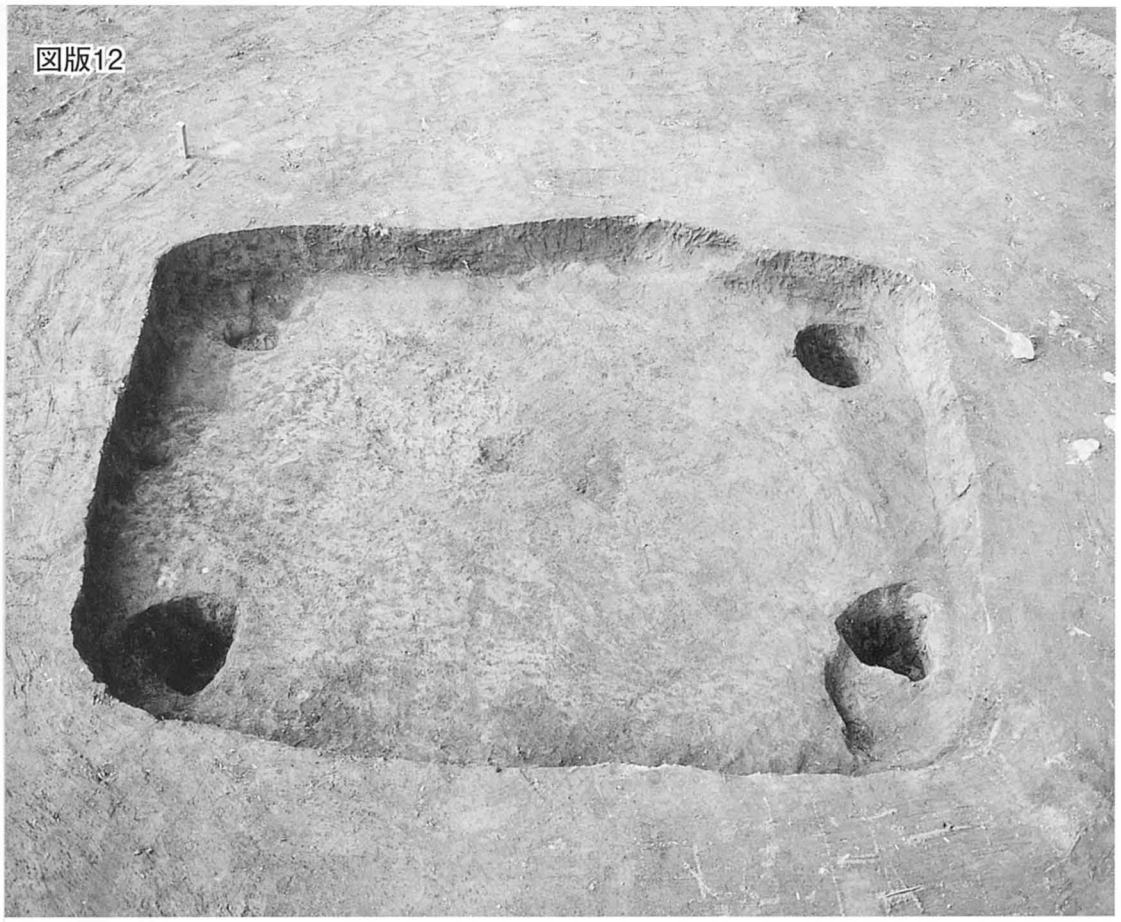
SI011

SI012

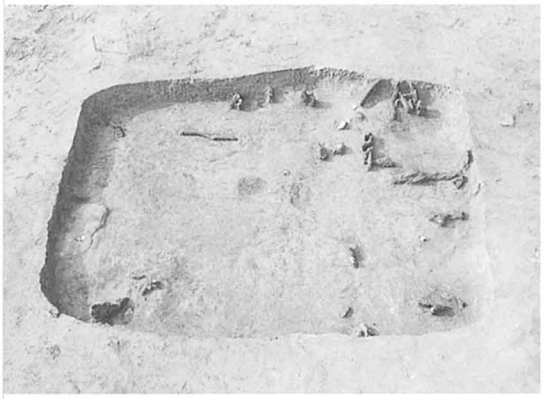
SI012遺物出土状況

SI013

図版12



SI014

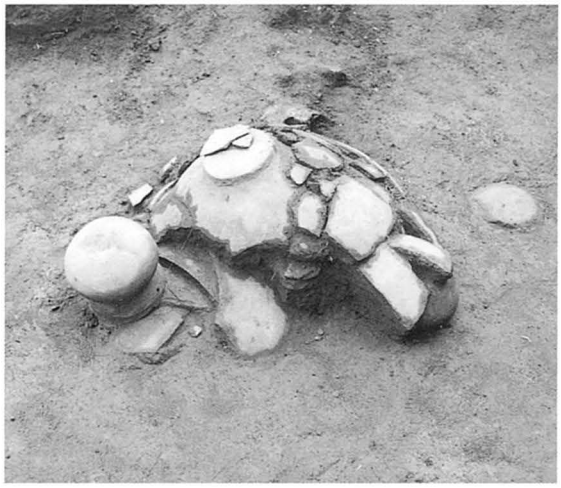


SI014遺物出土状況

SI015

SI016

SI016遺物出土状況



SI017

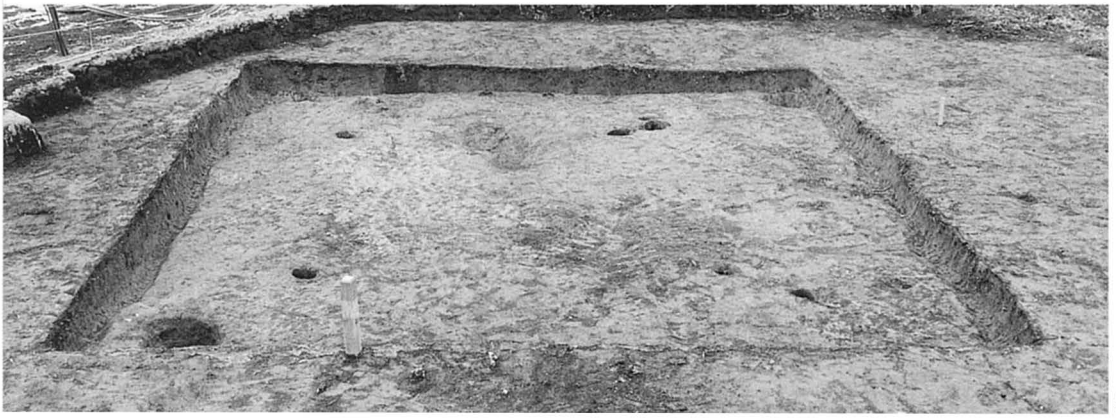
SI017遺物出土状況

図版14

SI018

SI019

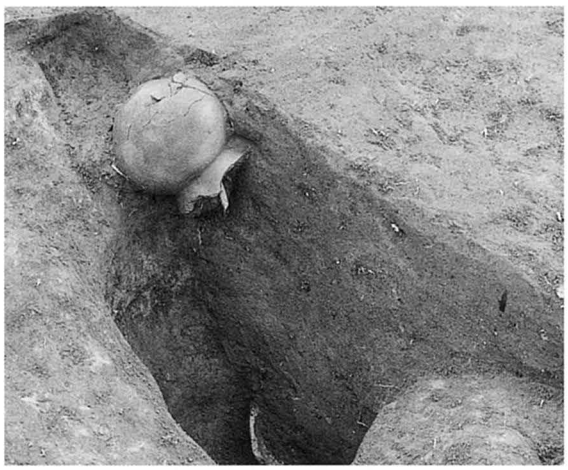
SI020

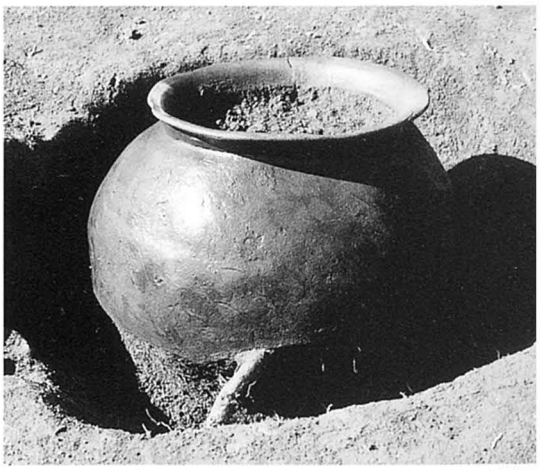


SI021

SI022

SI023

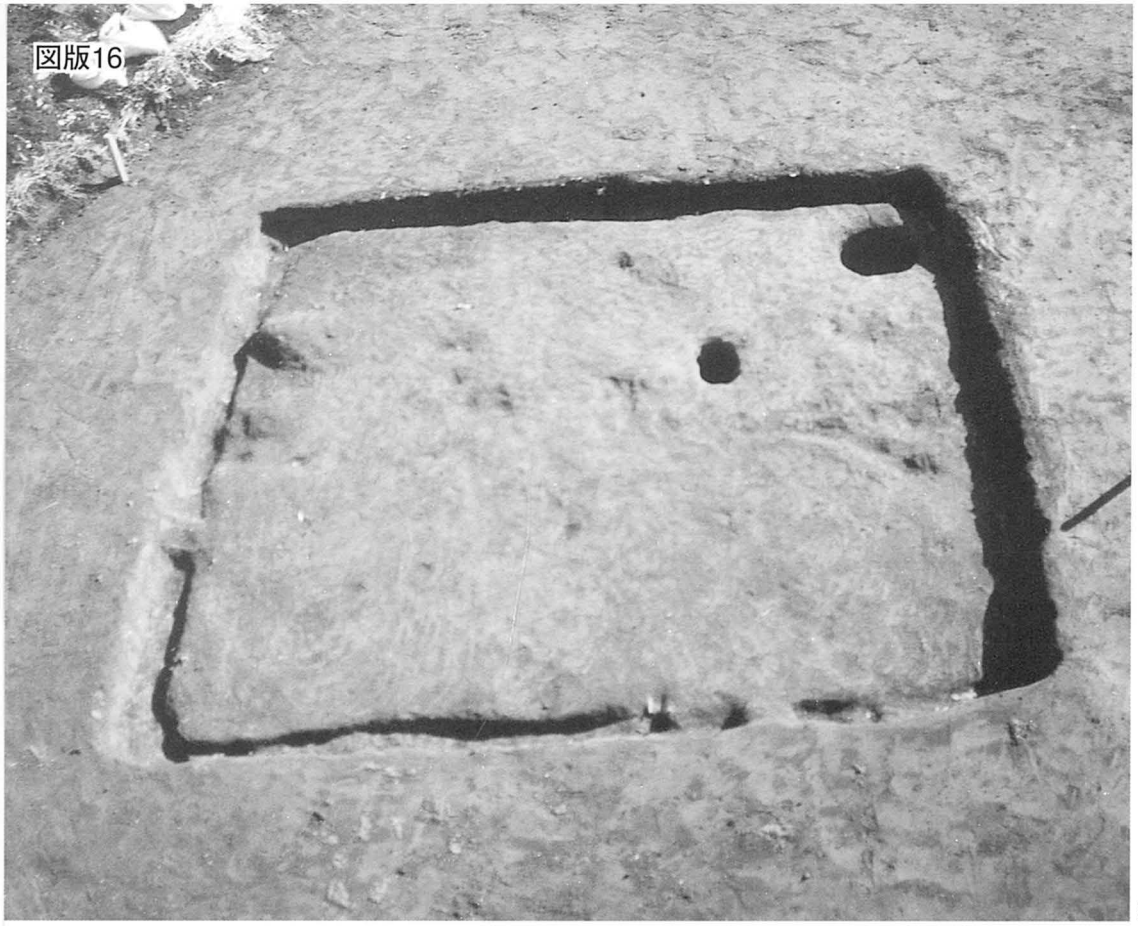




SI023遺物出土状況（左）
SI024遺物出土状況（右）

SI024

図版16



SI025

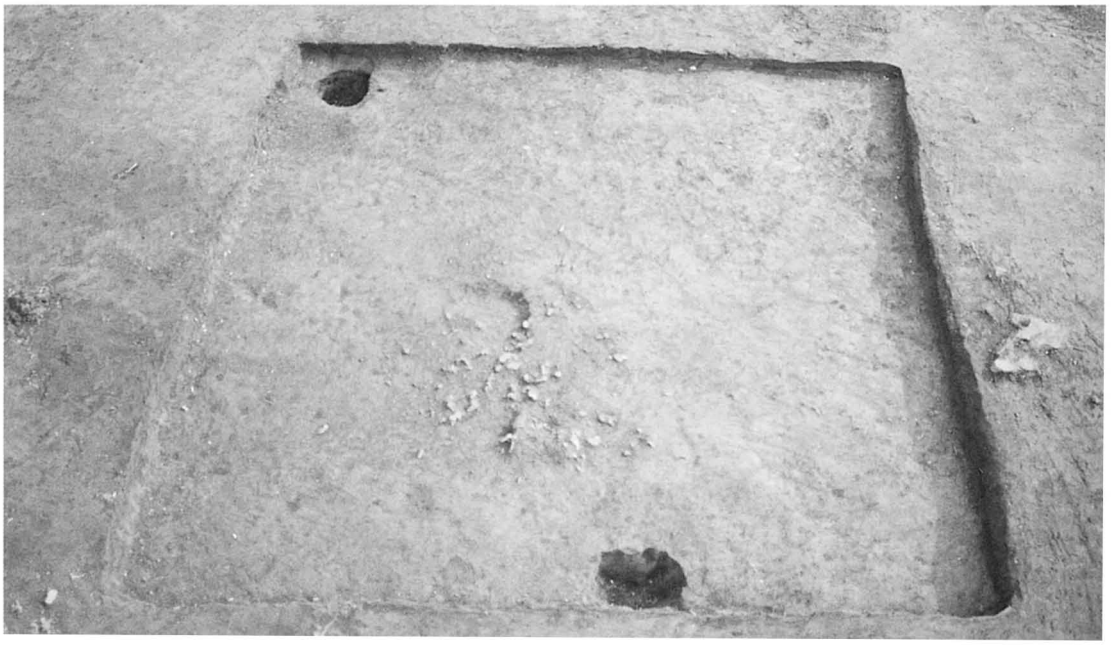
SI025遺物出土状況（左）
SI026遺物出土状況（右）

SI026

SI027

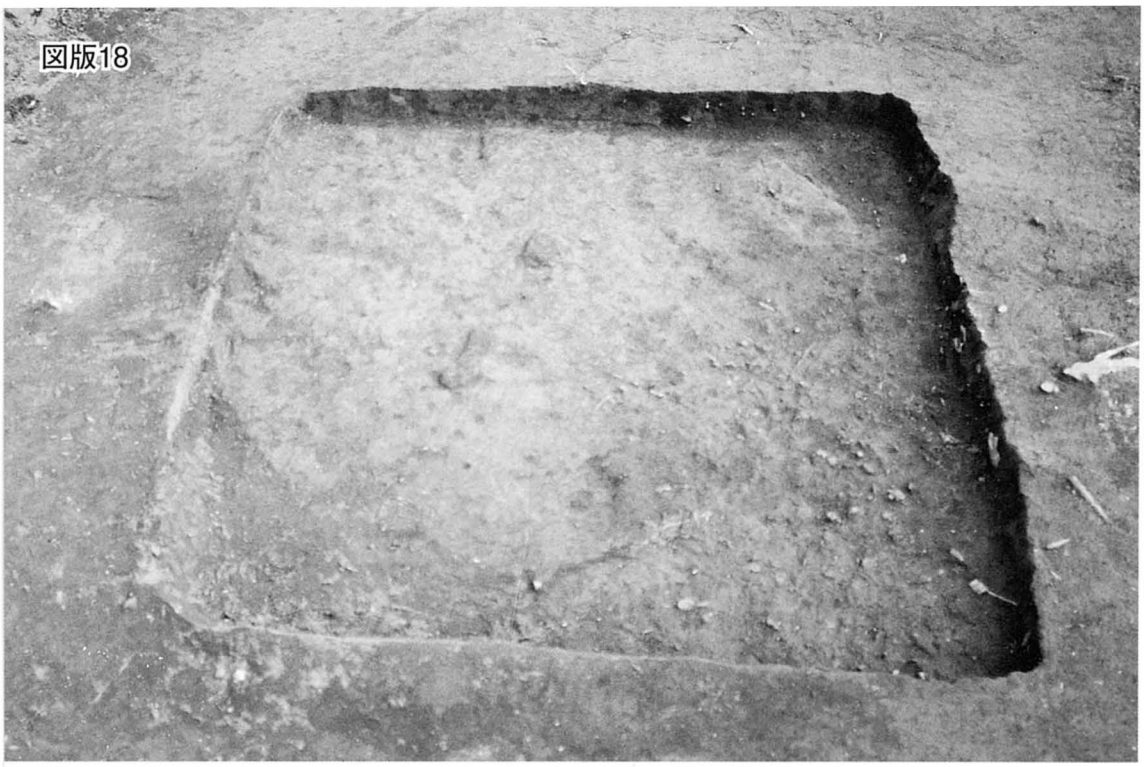
SI028

SI028遺物出土状況

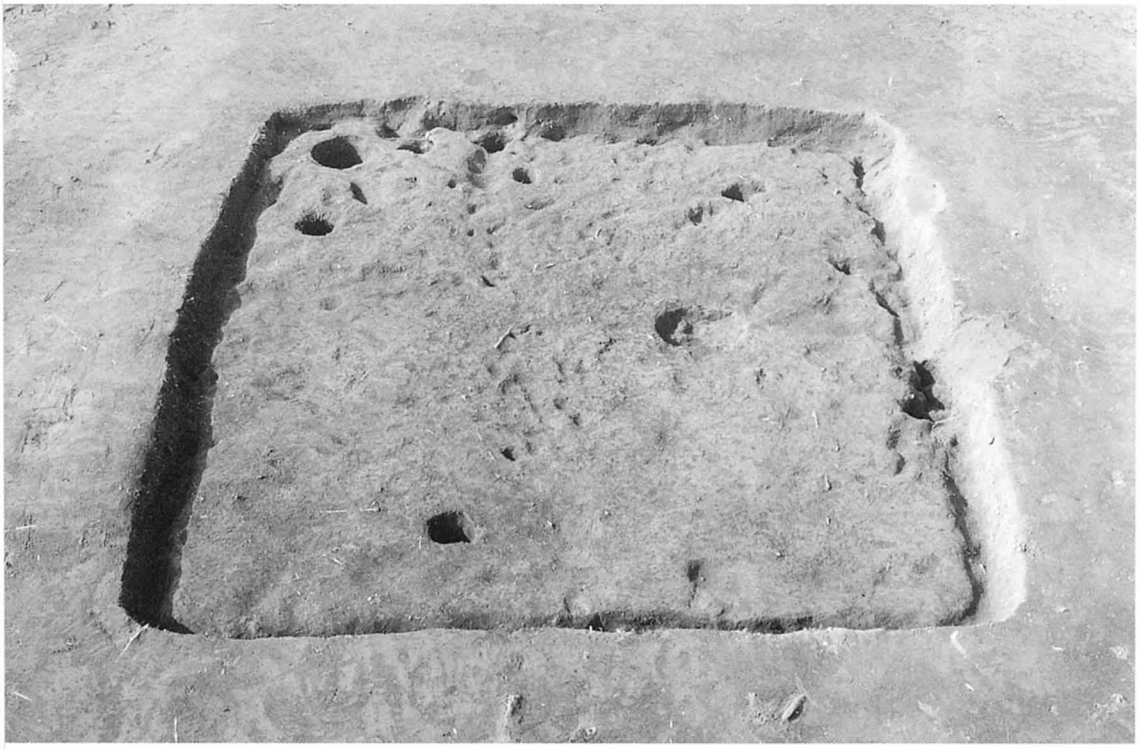


SI029

図版18

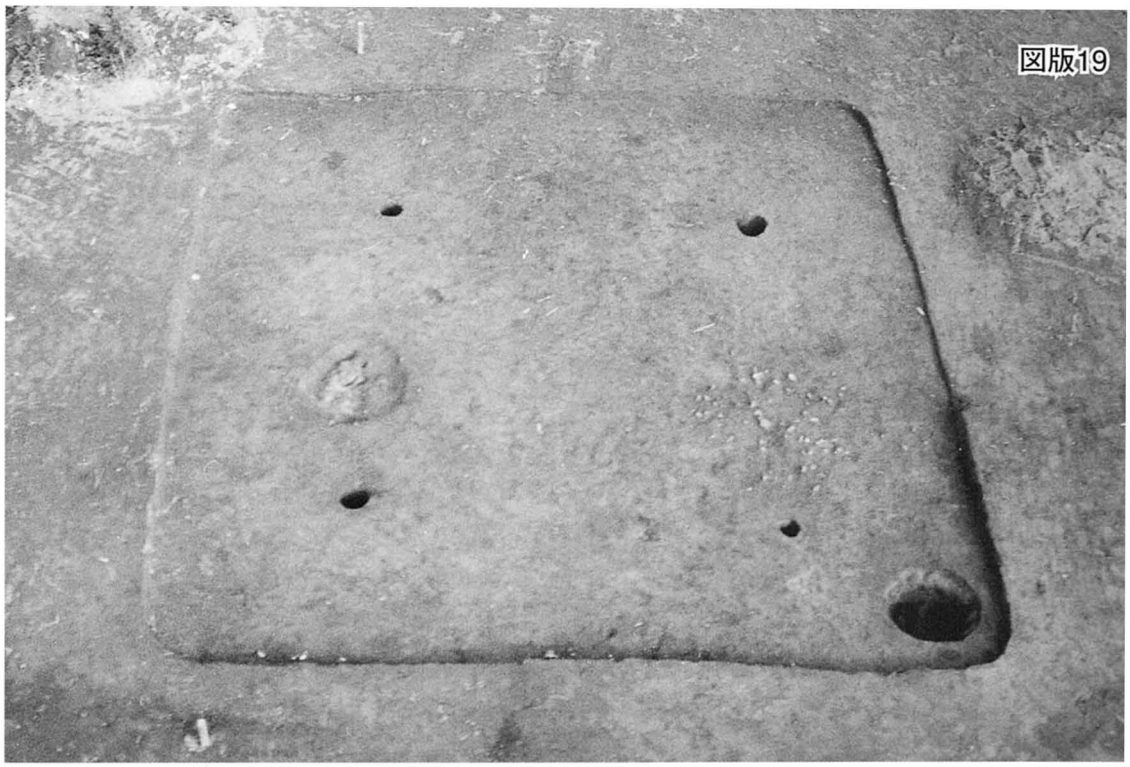


SI030

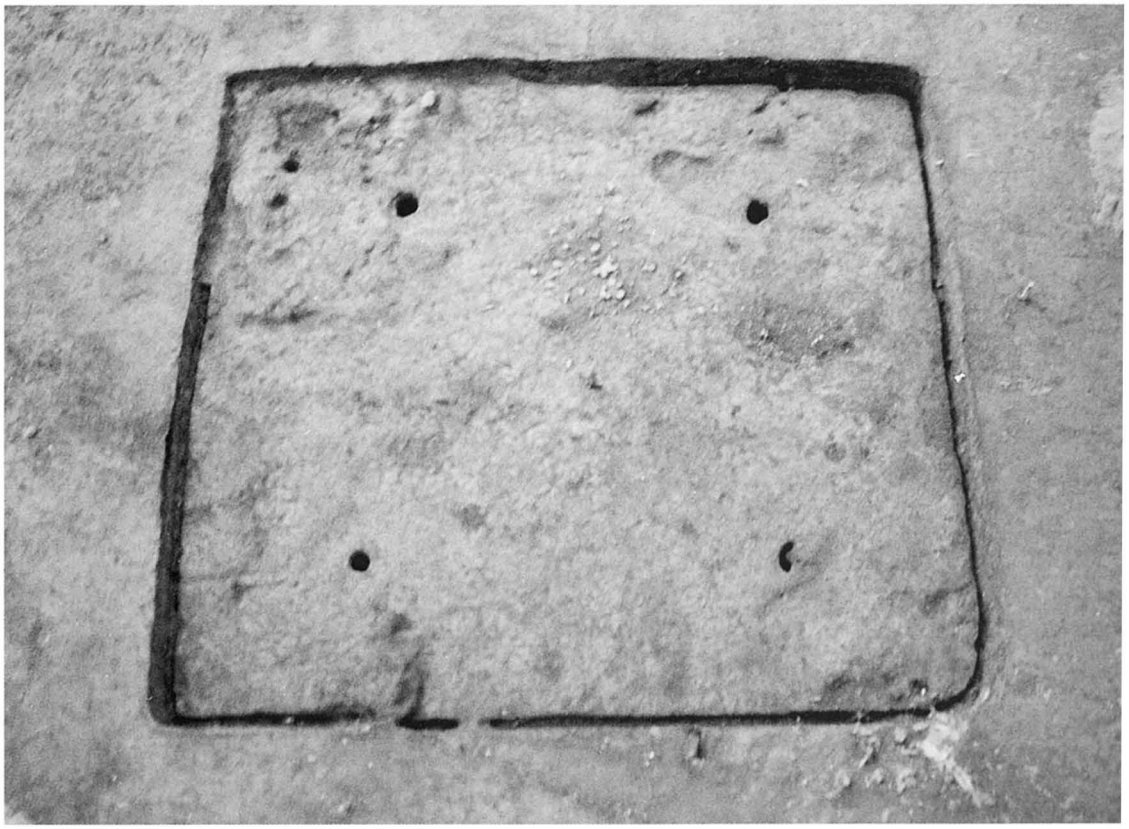


SI031

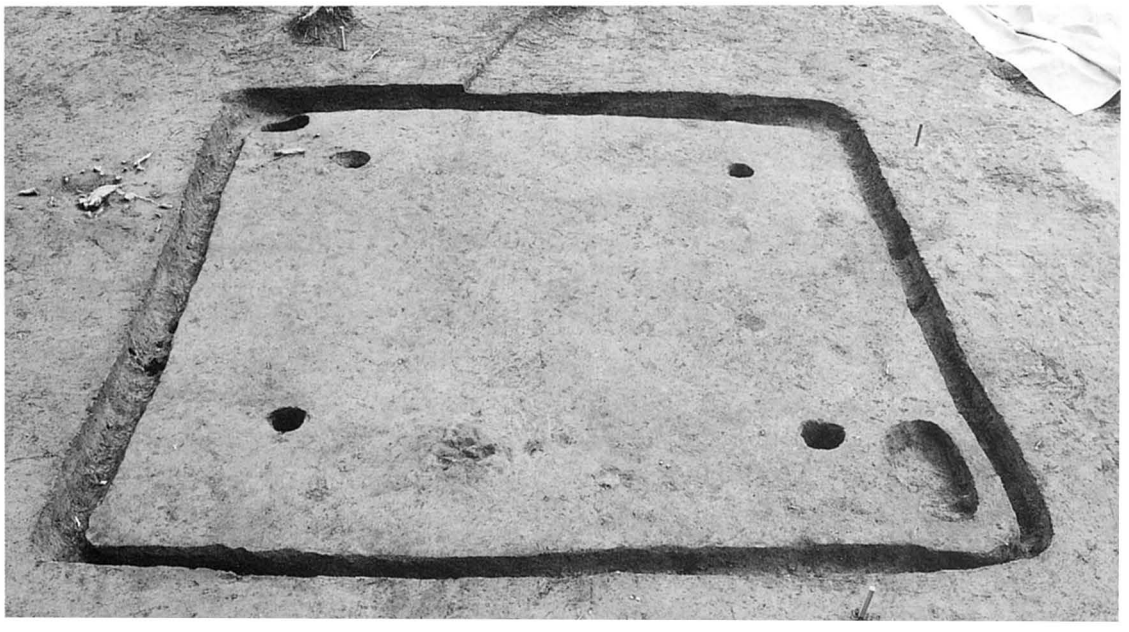
SI031遺物出土状況



SI032

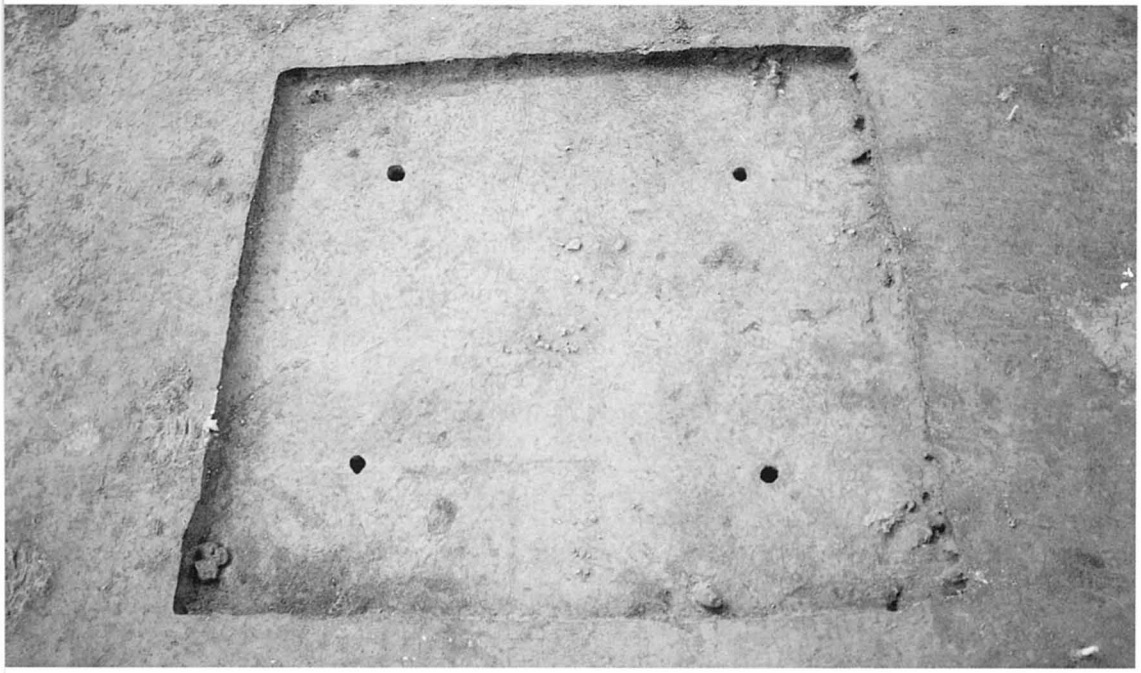


SI033



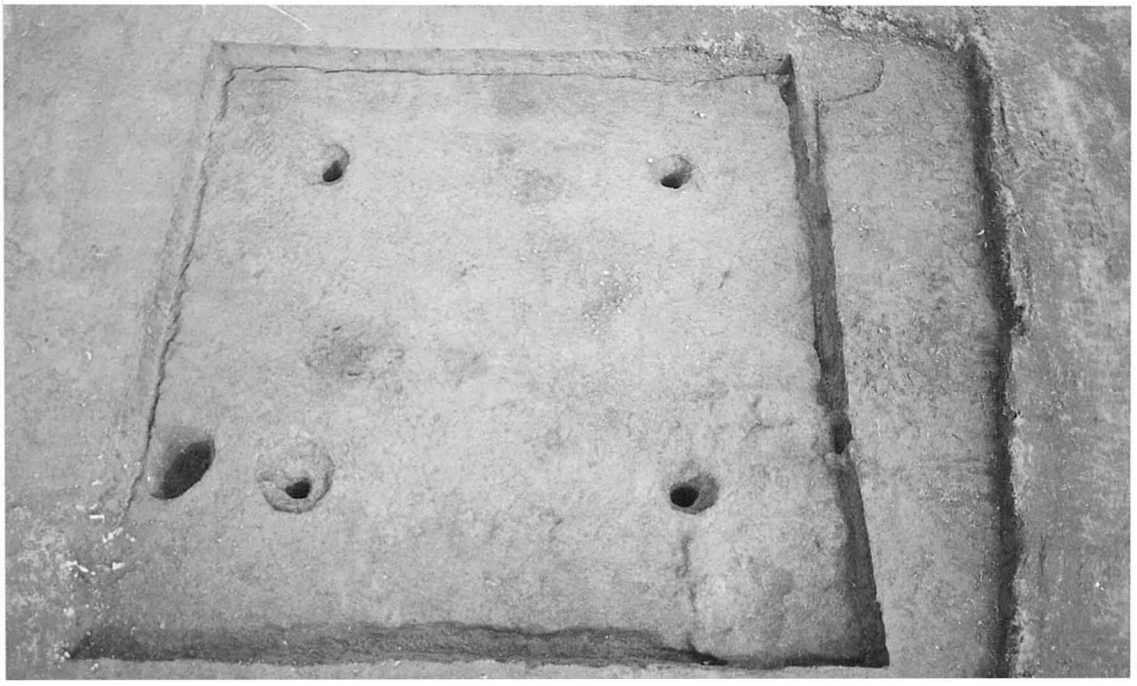
SI034

SI034遺物出土状況

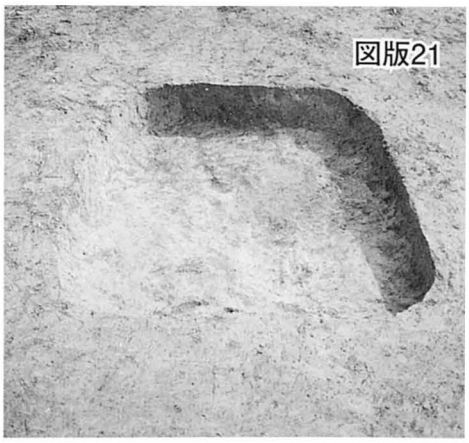


SI035

SI035遺物出土状況（左）
SI036遺物出土状況（右）



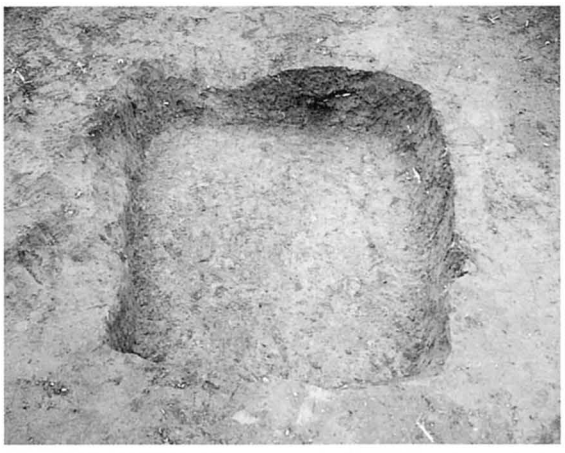
SI036



SK004（左）
SK007（右）

SK008（左）
SK009（右）

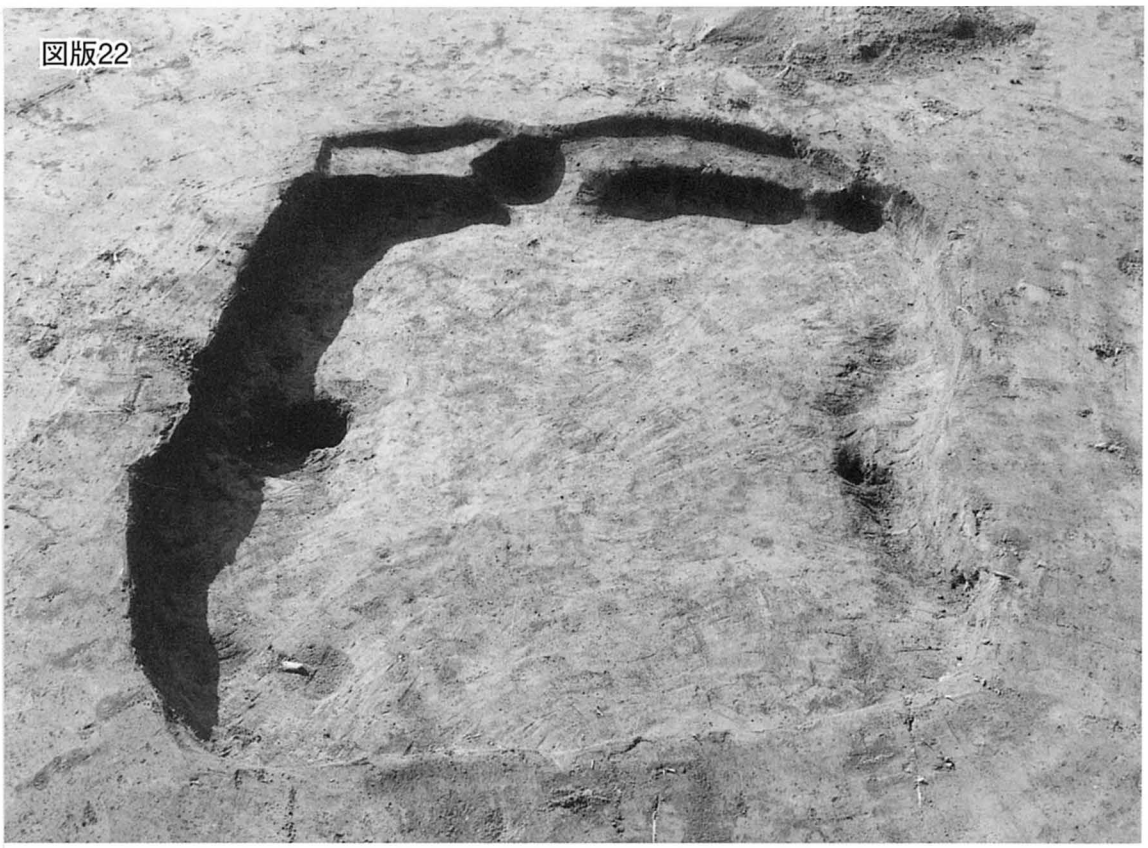
SK011（左）
SK012（右）



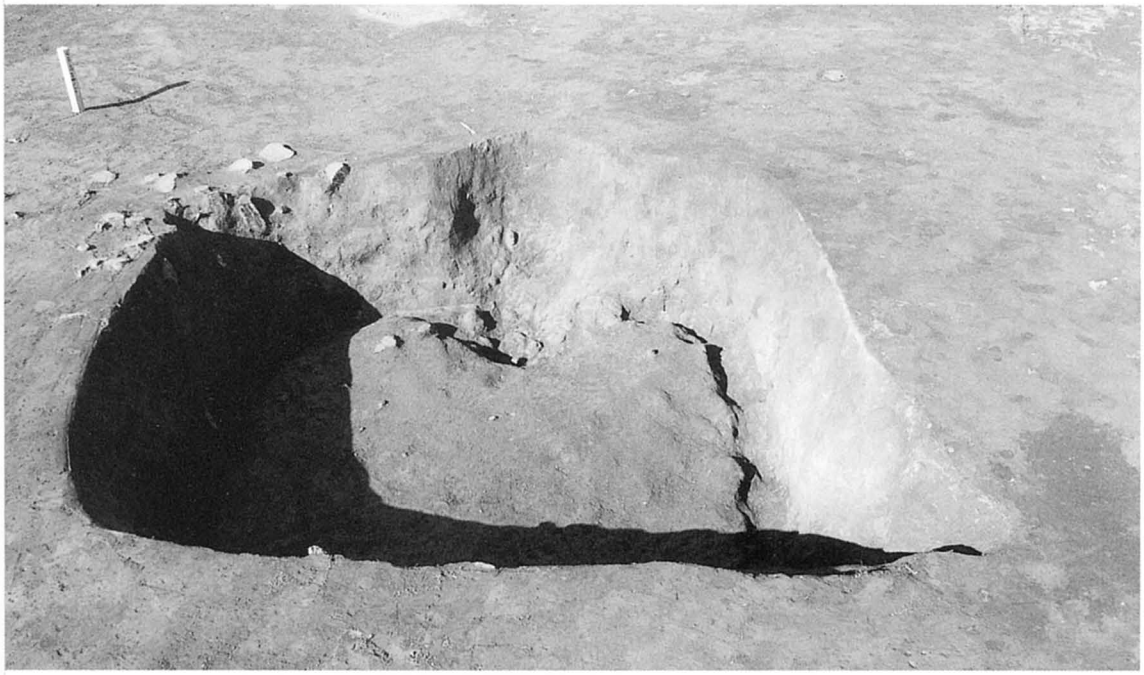
SK018（左）
SK030（右）

SK031（左）
SK033（右）

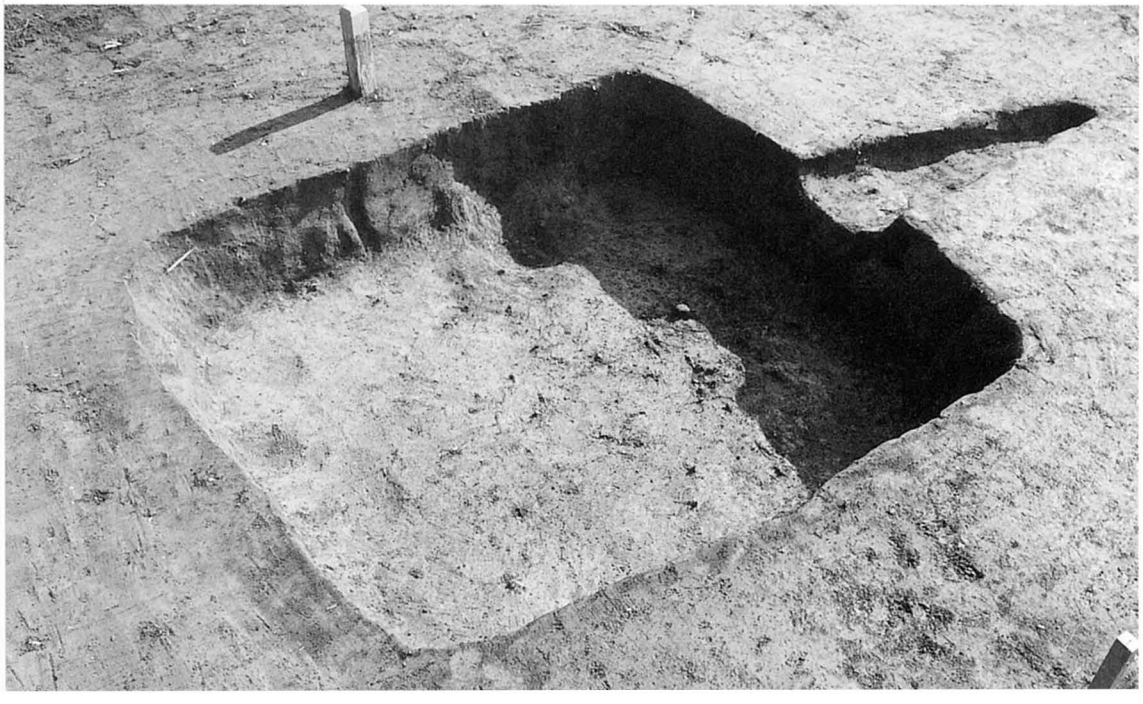
図版22



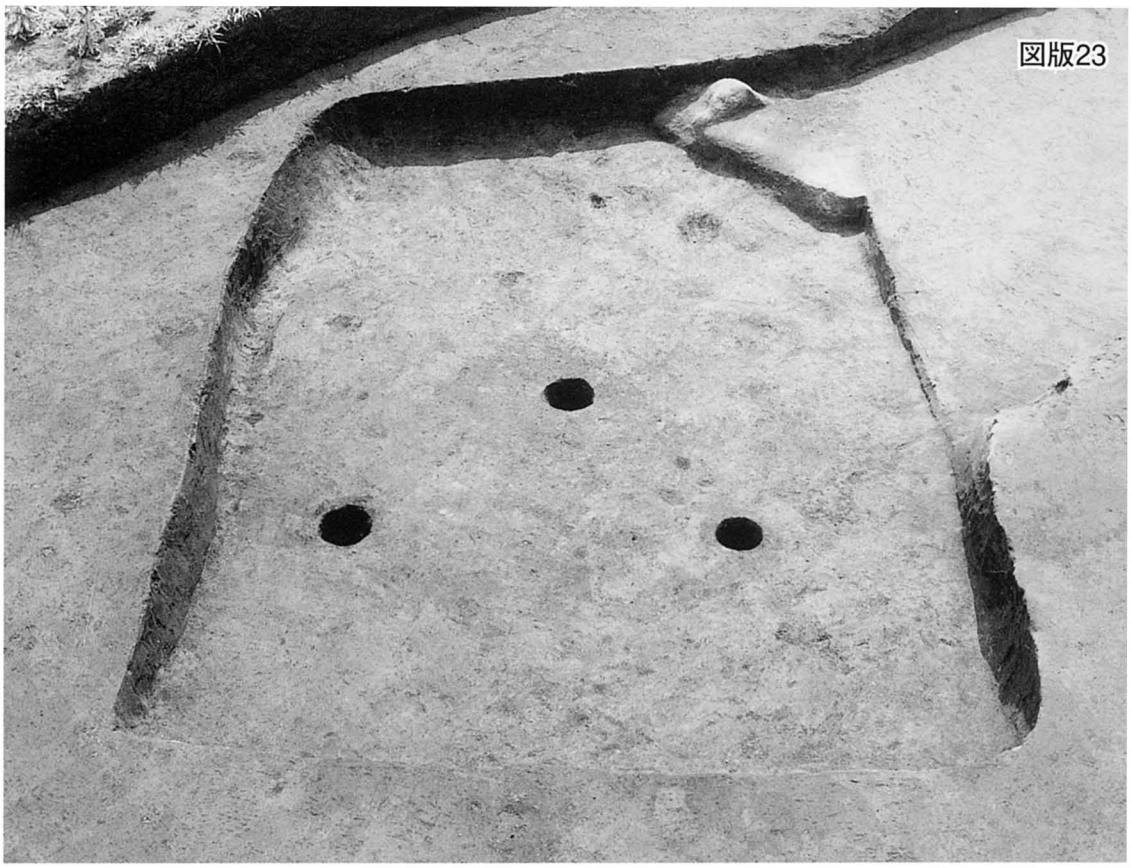
SI037



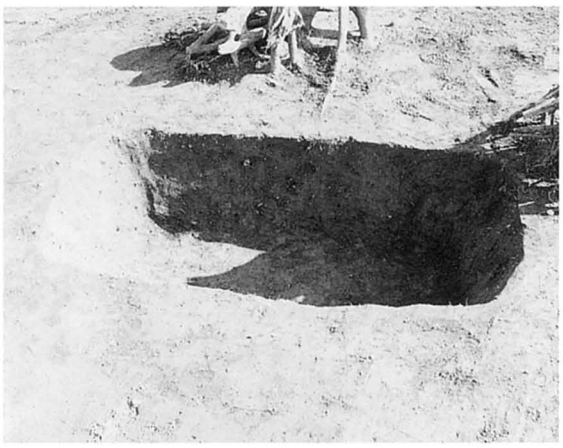
SI038

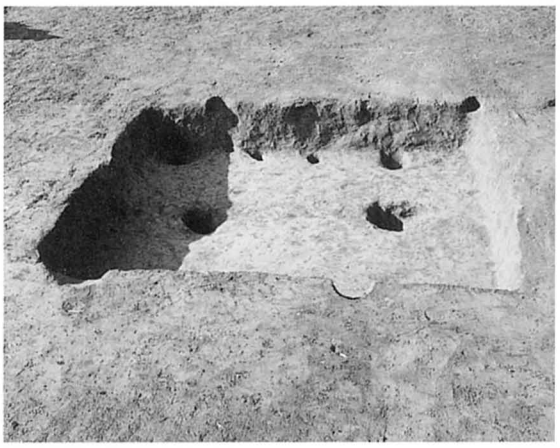


SI039

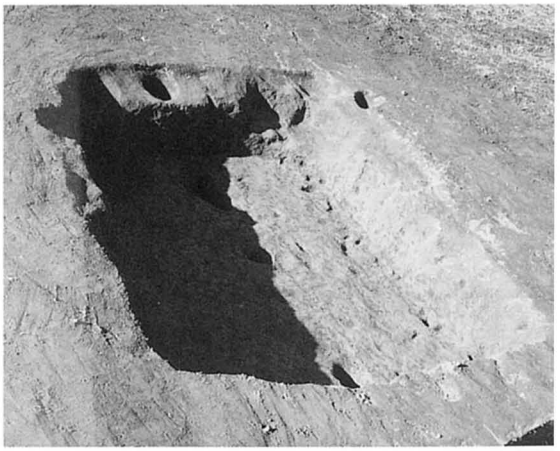


SI040





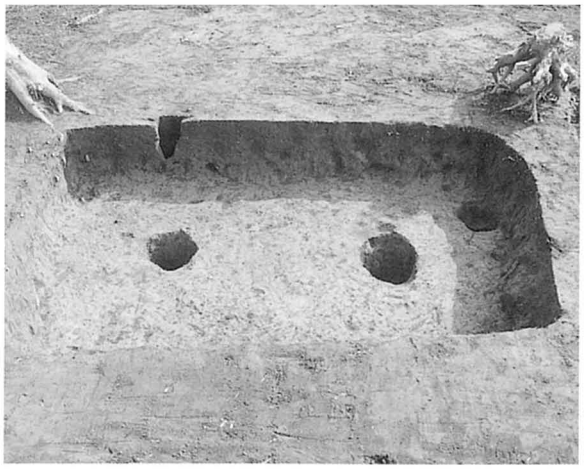
SK021（左）
SK022（右）



SK023（左）
SK024（右）

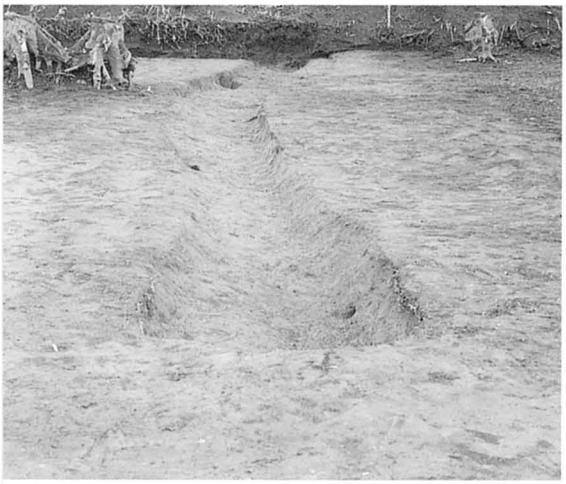
SK025（左）
SK026（右）

図版24



SK027（左）
SK028（右）

SK029（左）
SD001北側（右）

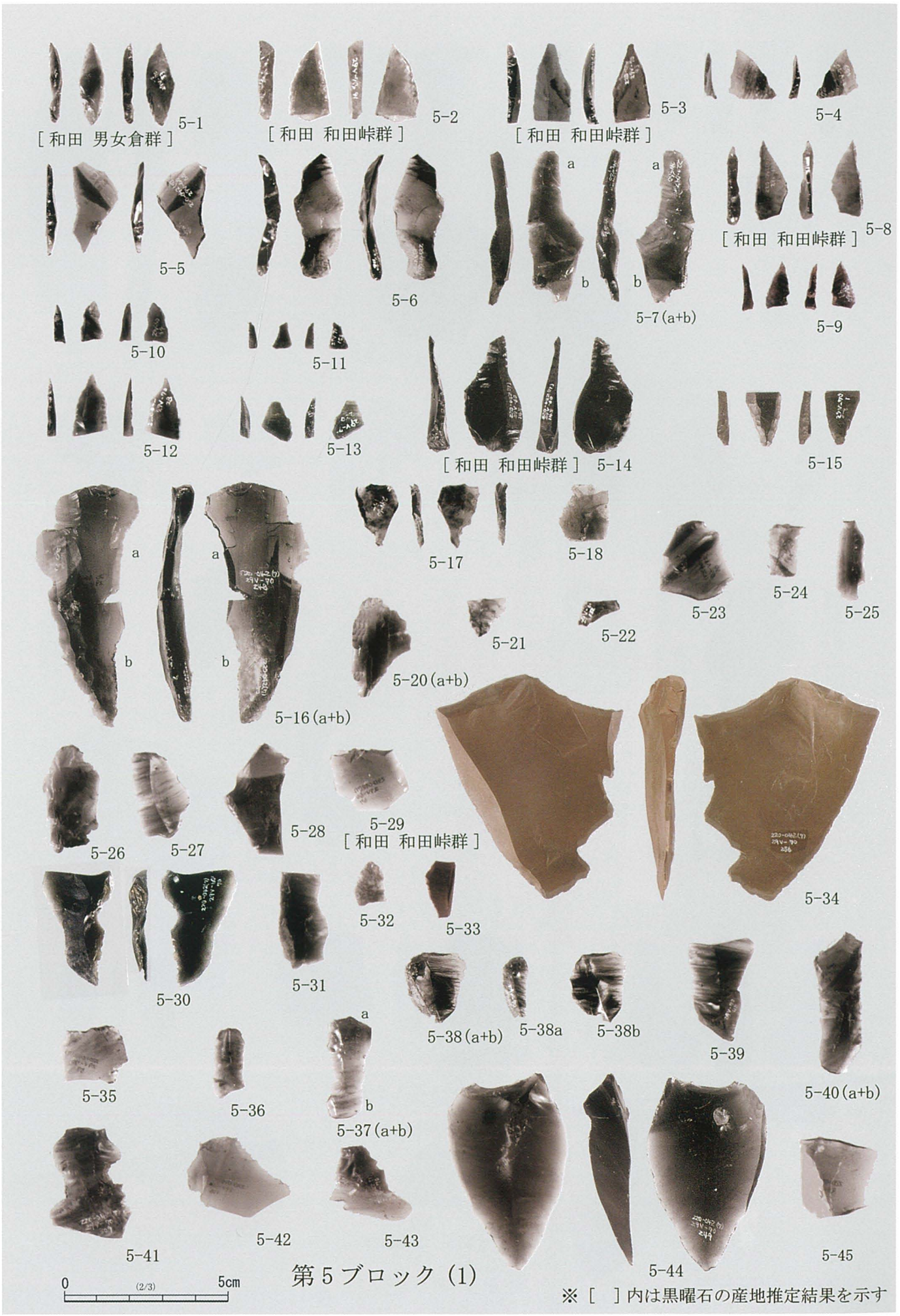


SD002（左）
SD003（右）

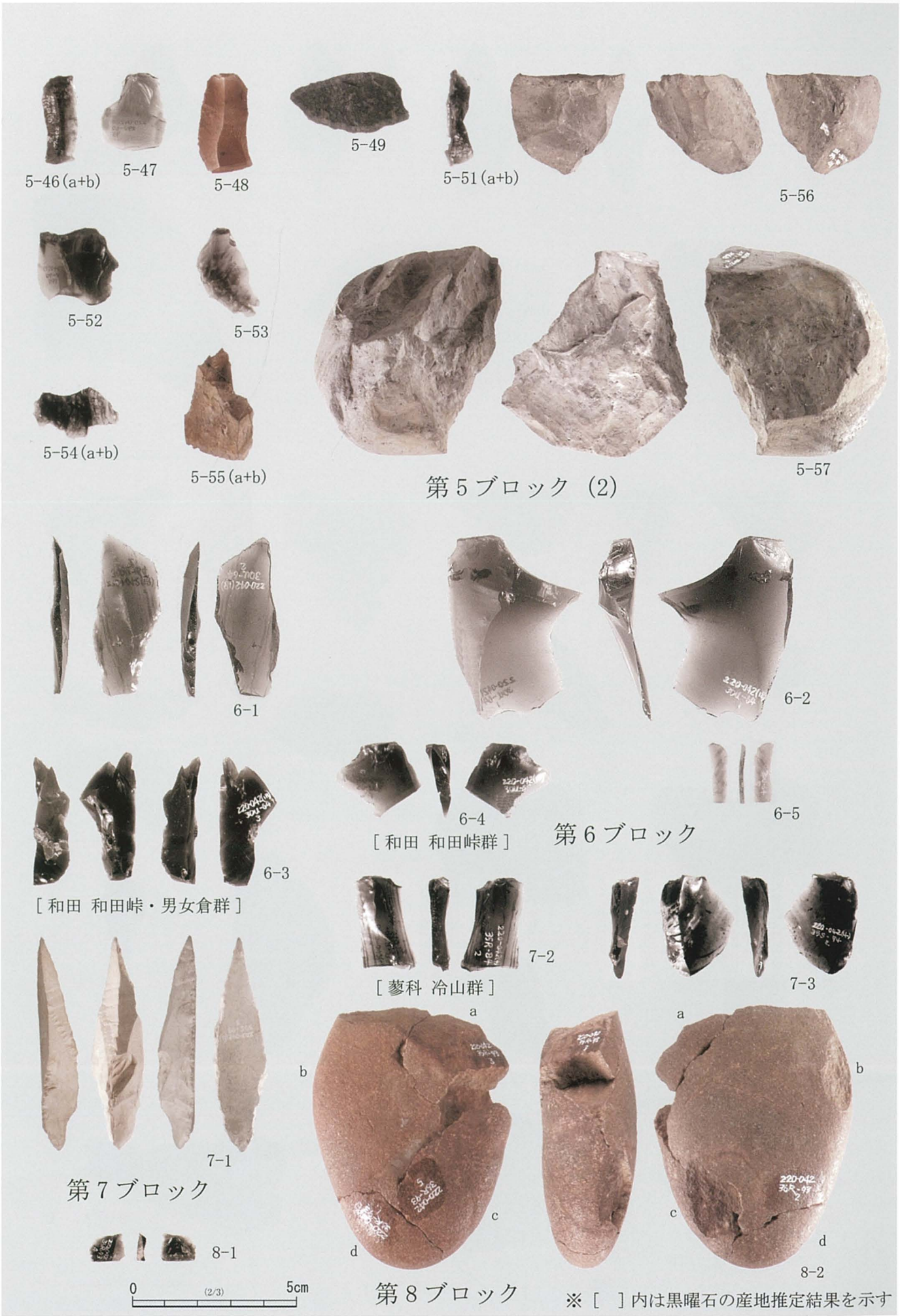
SD001南側

第１文化層　第１～４ブロック・単独出土石器

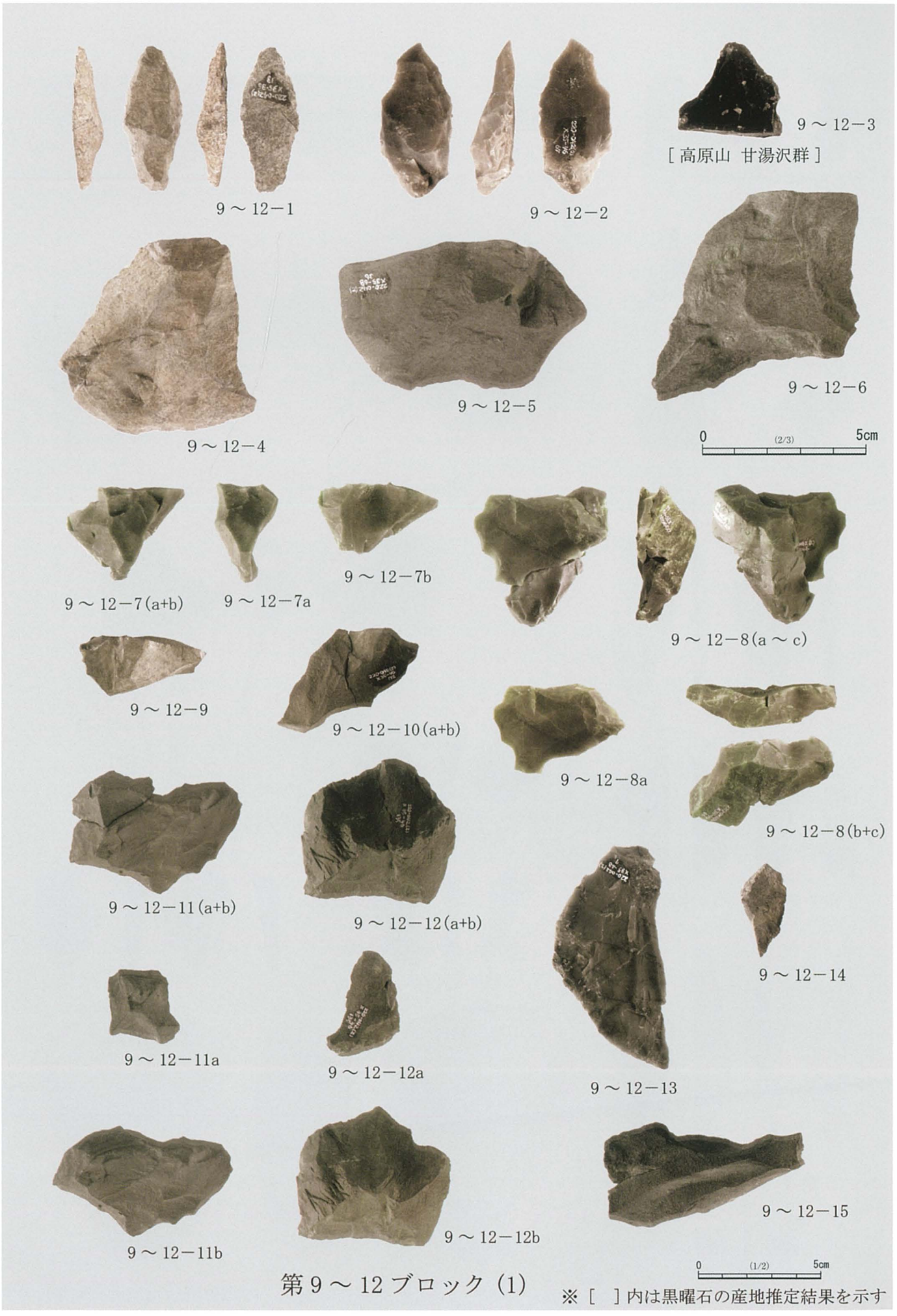
図版26



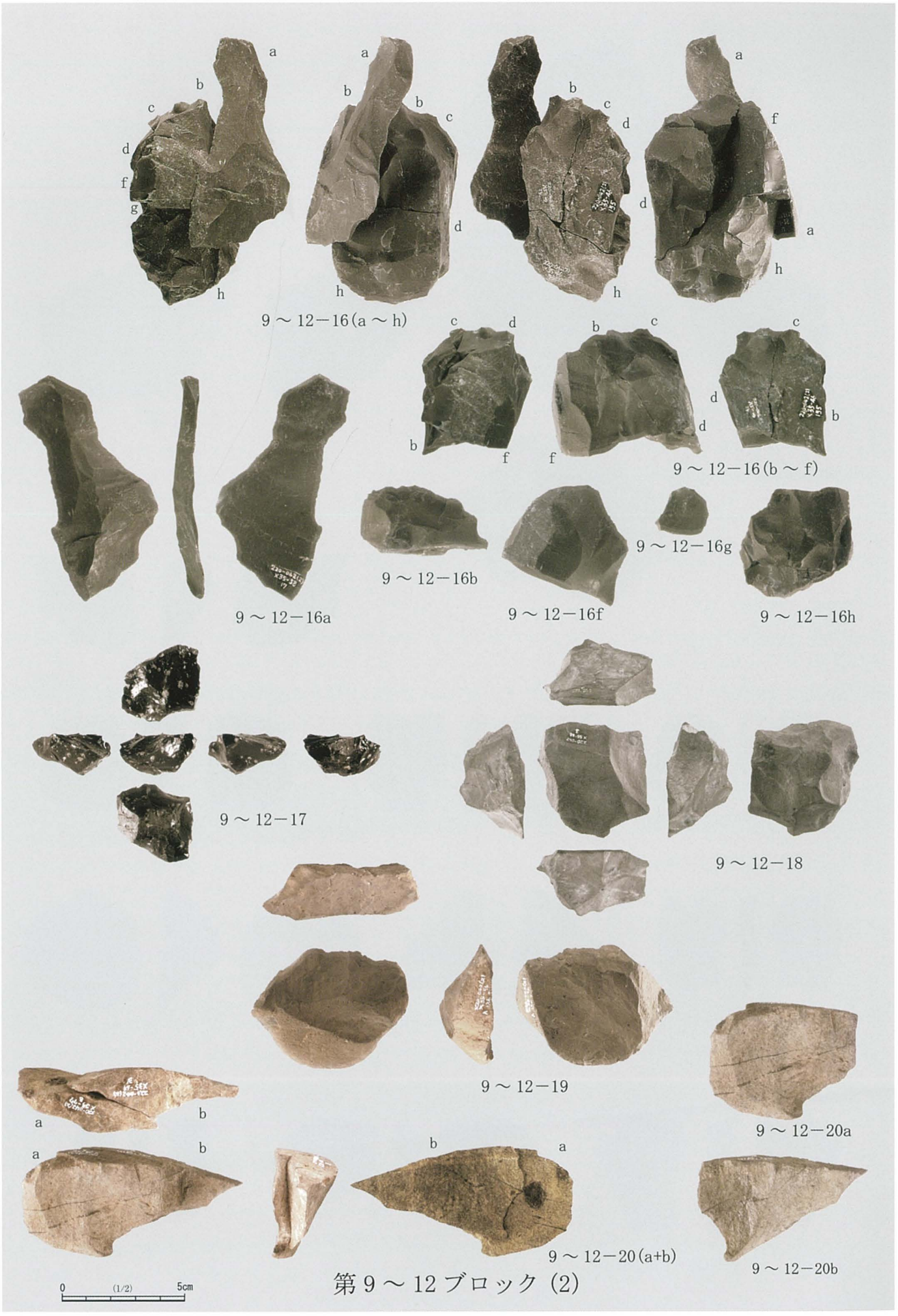
第２文化層　第５ブロック出土石器（１）



第2文化層　第5（2）・6～8ブロック出土石器

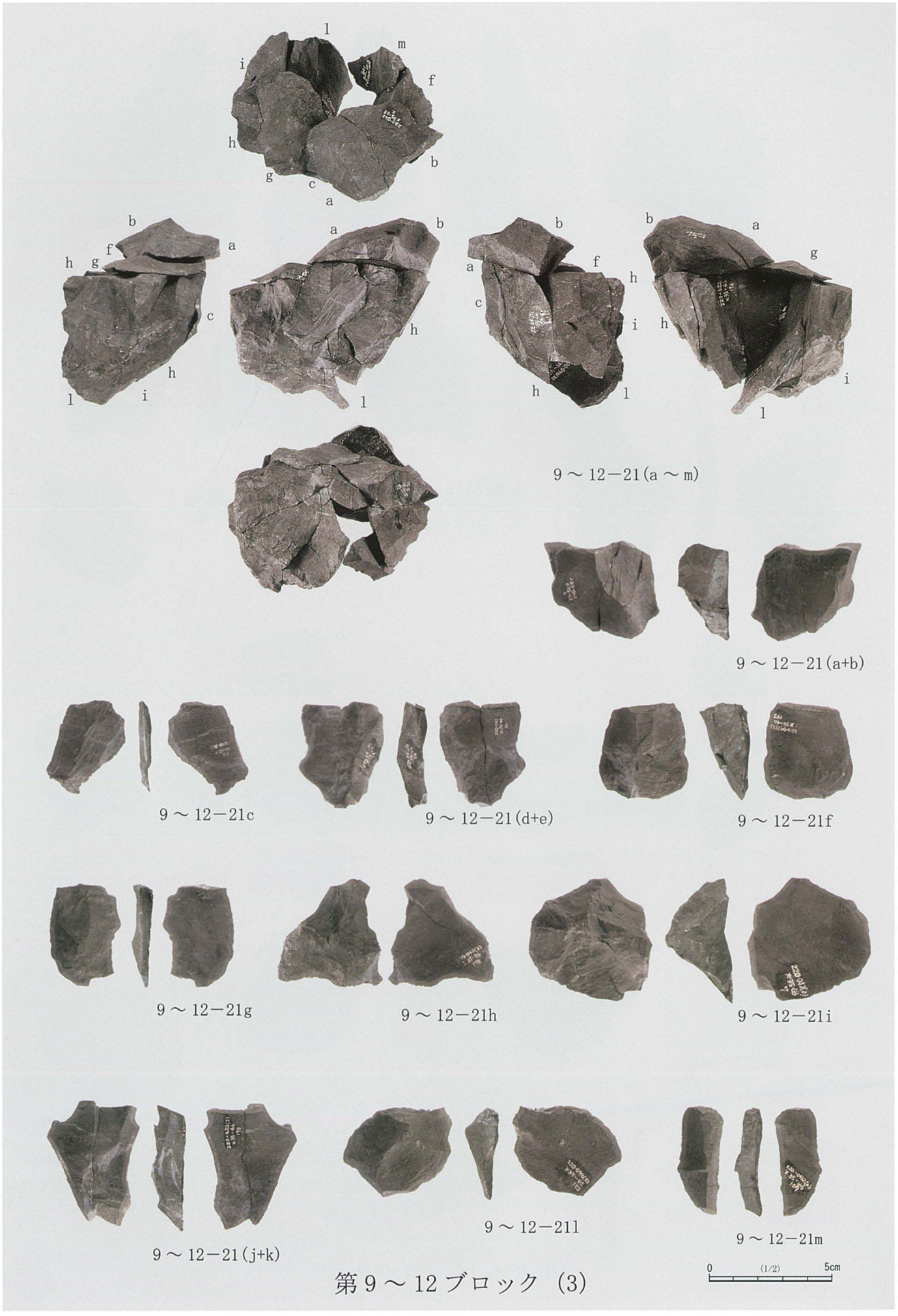


第3文化層　第9～12ブロック出土石器（1）



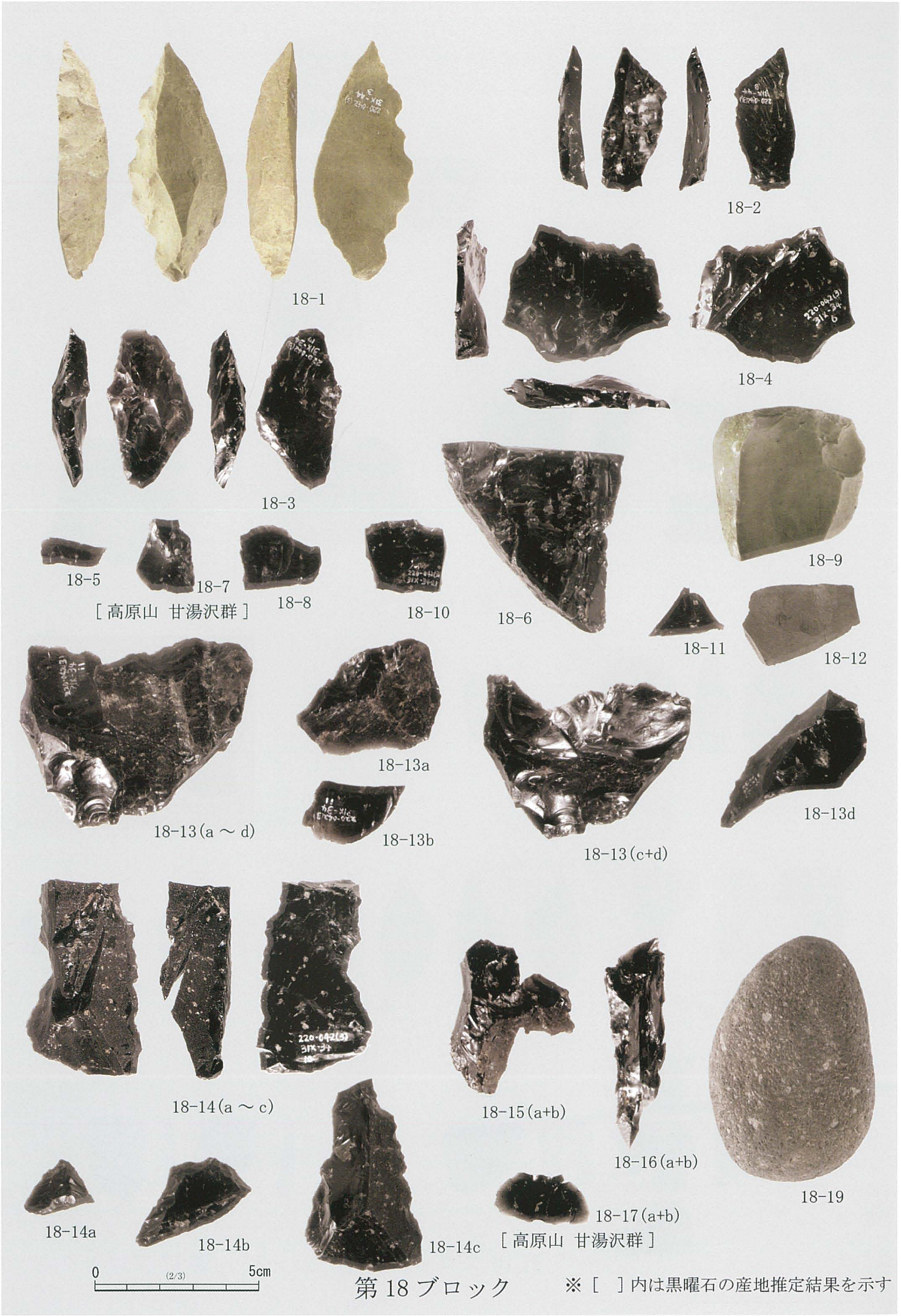
第3文化層　第9～12ブロック出土石器（2）

図版30

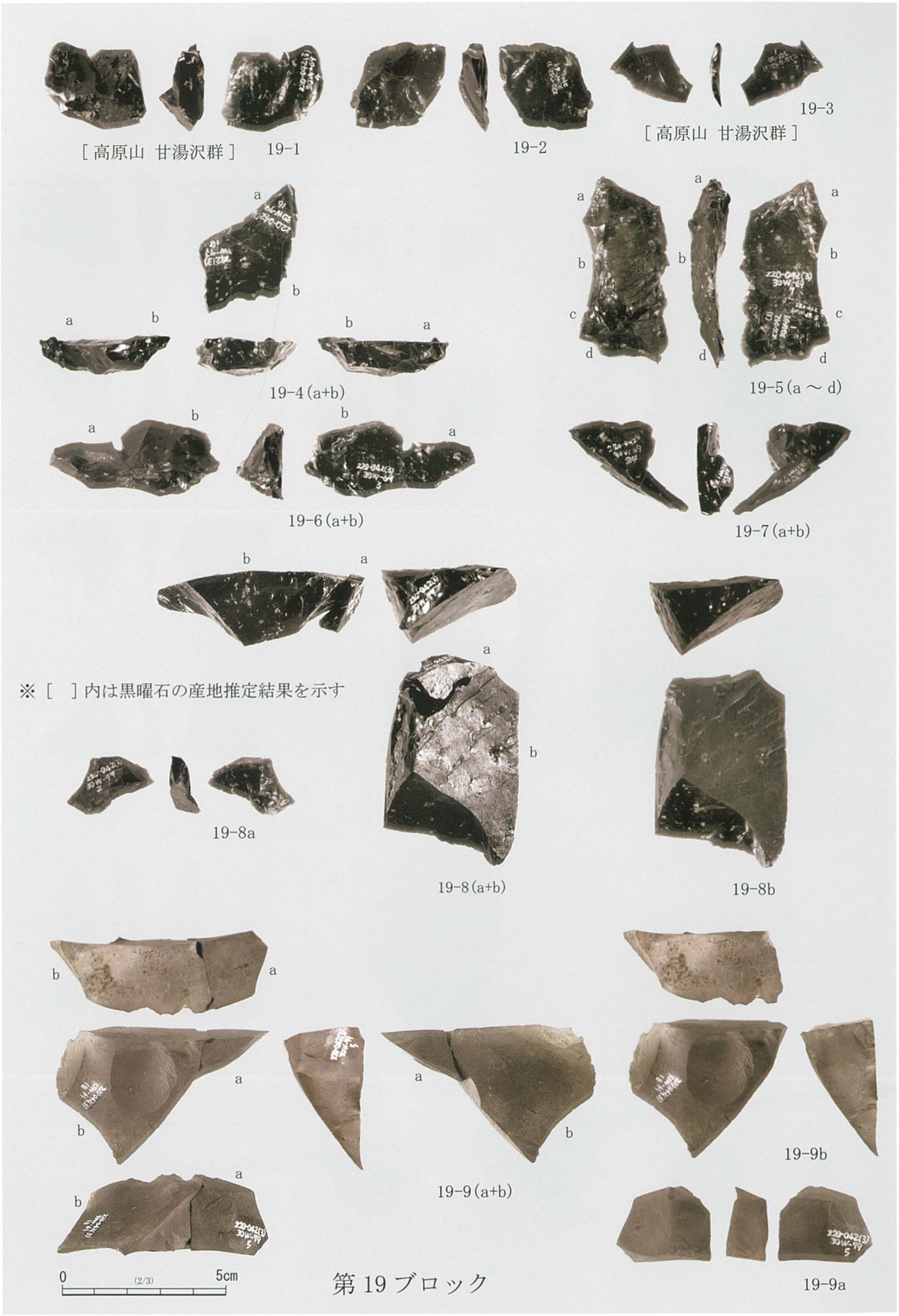


第3文化層　第9～12ブロック出土石器（3）

第３文化層　第13～17ブロック出土石器

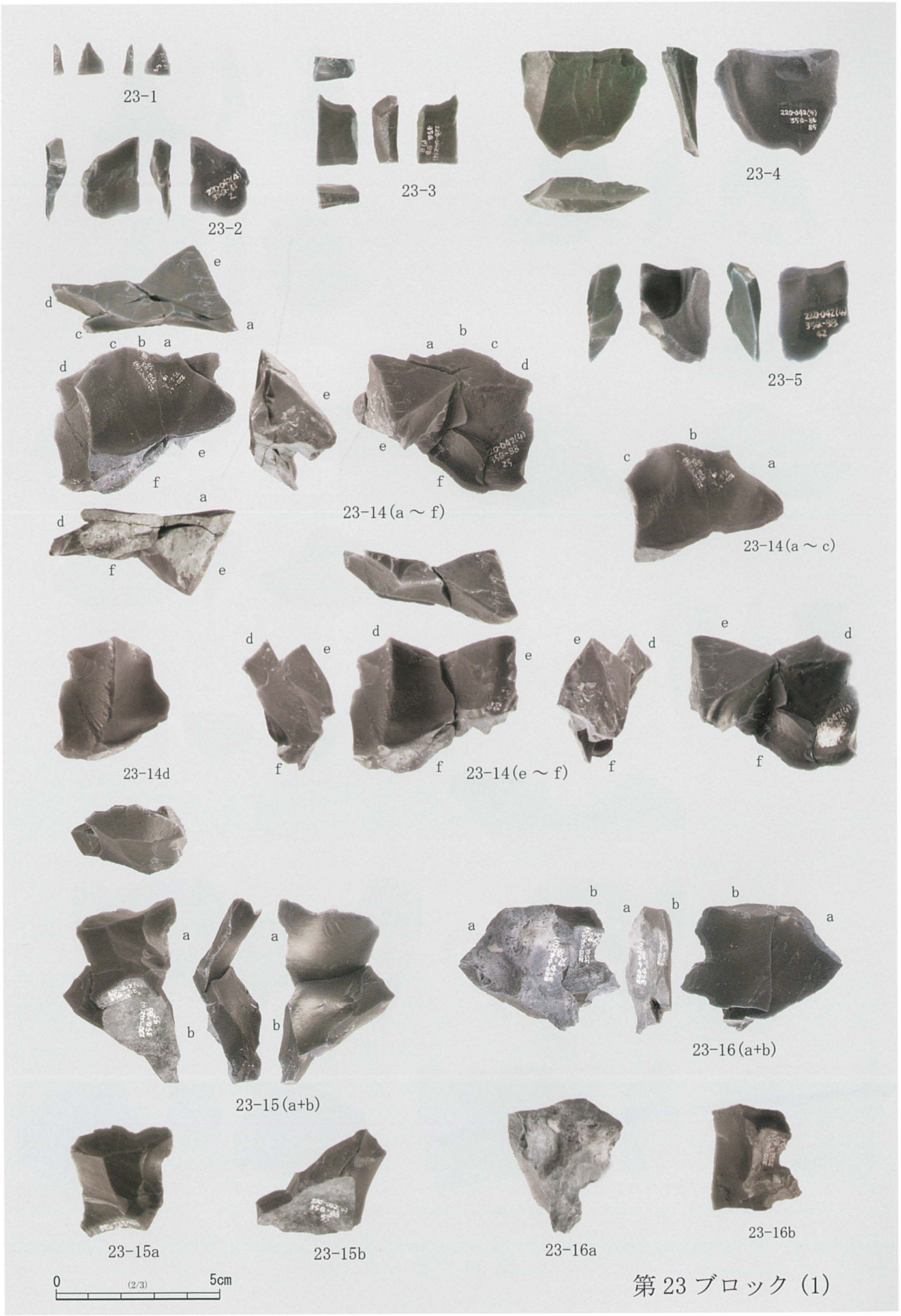


第3文化層　第18ブロック出土石器

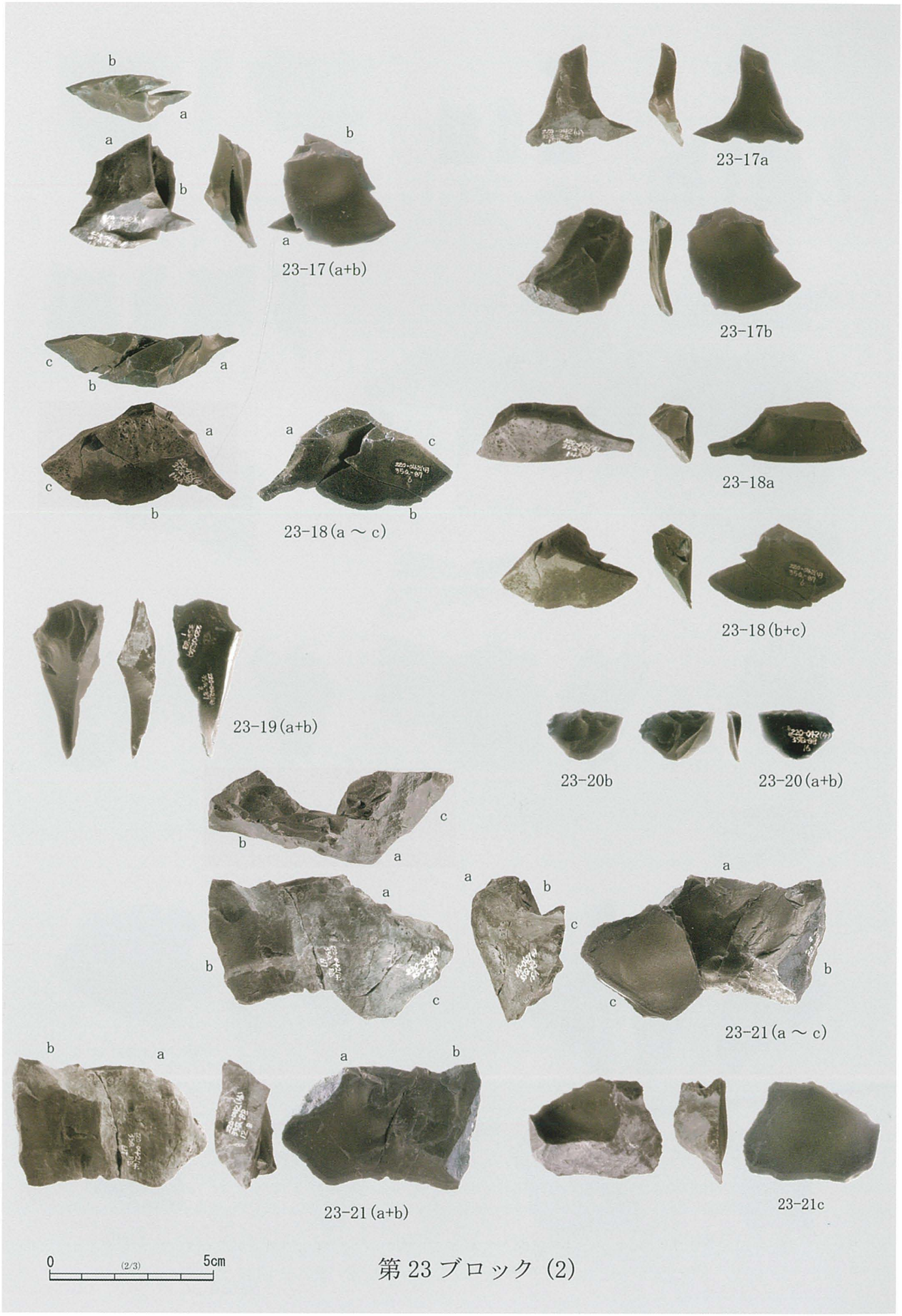


第３文化層　第19ブロック出土石器

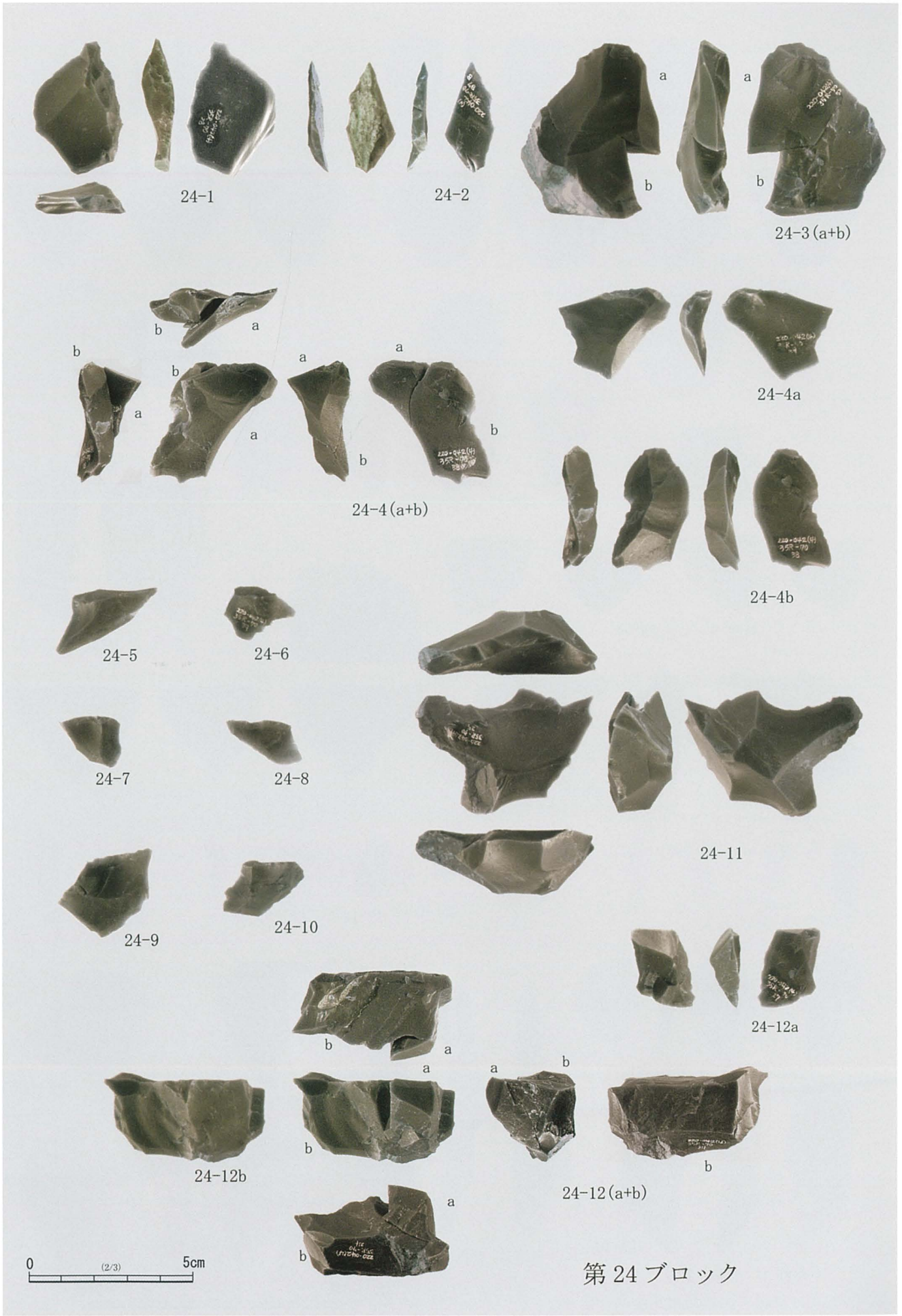
第3文化層　第20～22ブロック・単独出土石器



第４文化層　第23ブロック出土石器（１）

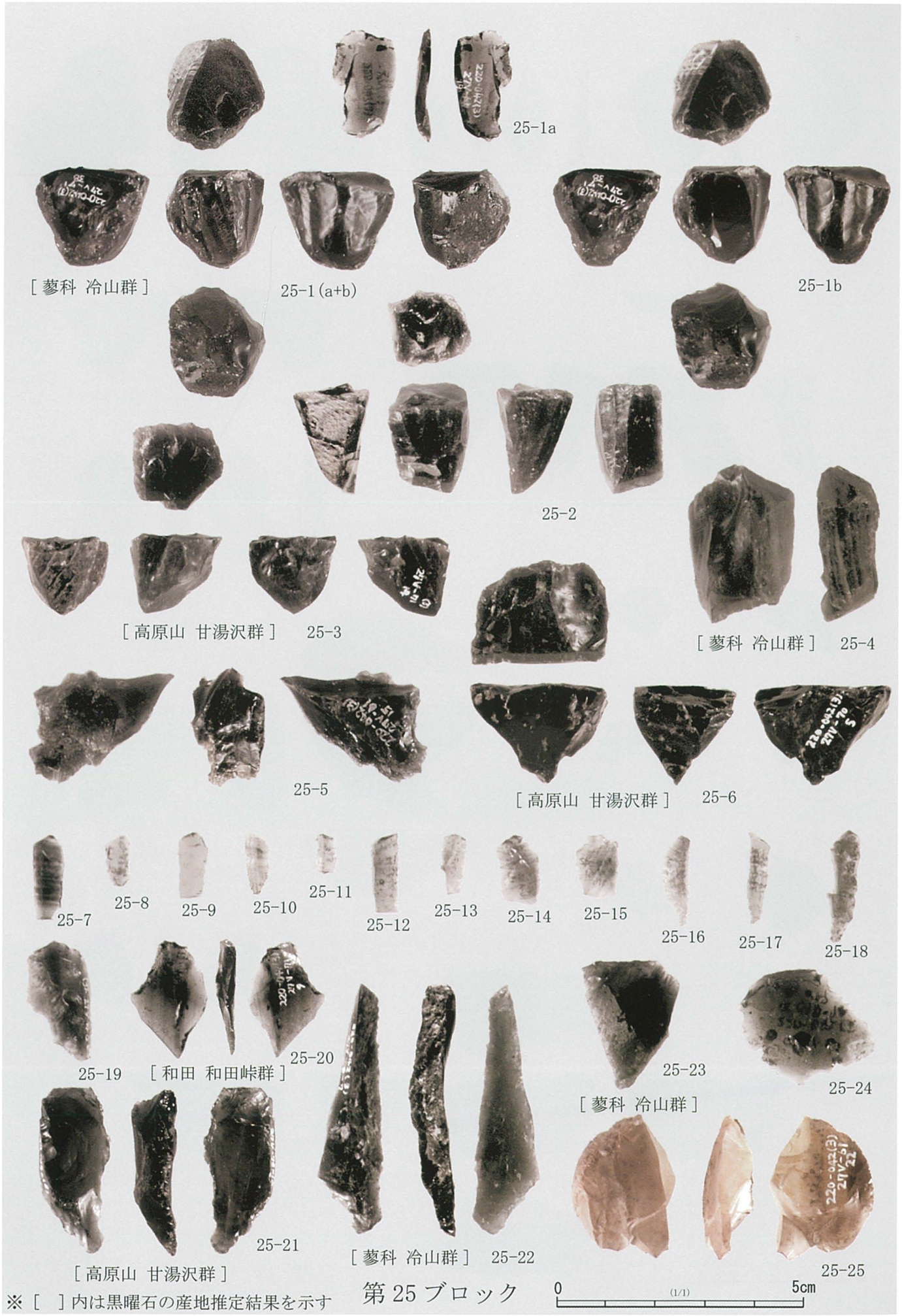


第４文化層　第23ブロック出土石器（２）



第４文化層　第24ブロック出土石器

図版38



第５文化層　第25ブロック出土石器

単独 -1
単独 -2
単独 -3
単独 -4
単独 -5
単独 -6
単独 -7
単独 -8
単独 -9
単独 -10
単独 -11
単独 -12
単独 -13
単独 -14
単独 -15
単独 -16
単独 -17
単独 -18
単独 -19
単独 -20
単独 -21
単独 -22
単独 -23
単独 -24
単独 -25
単独 -26
単独 -27
単独 -28
0
(2/3)
5cm
単独出土石器

単独出土石器

SI001
1

SI001
2

SI001
3

SI001
2

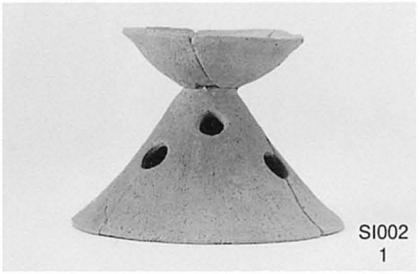
グリッド
28

グリッド
29

グリッド
30

グリッド
32

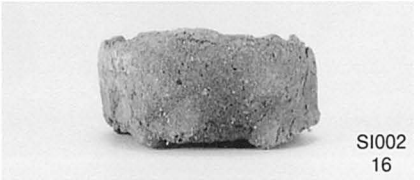
グリッド
33


SI002
1

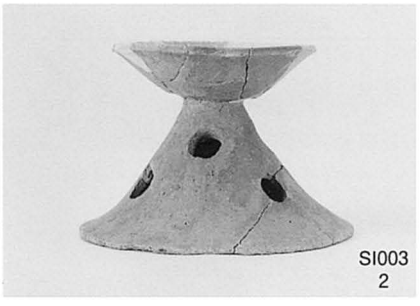
SI002
7

SI002
11

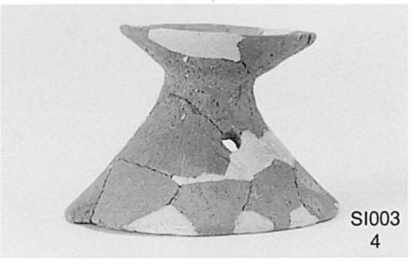
SI002
14


SI002
16

SI003
1

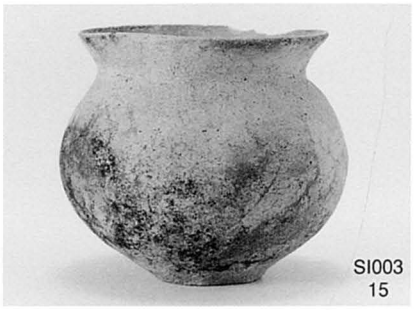

SI003
2

SI003
3


SI003
4

グリッド・竪穴住居跡出土土器（1）

SI003
5


SI003
15

SI004
3

SI005
8

SI006
1

SI007
7

SI003
9

SI003
18

SI005
2

SI005
10

SI006
2

SI007
5

SI003
13

SI003
19

SI005
6

SI005
13

SI007
1

SI007
4

竪穴住居跡出土土器（2）

SI008
1

SI009
1

SI009
2

SI009
3

SI009
4

SI009
6

SI009
5

SI009
8

SI009
9

SI009
10

SI009
15

SI009
16

SI009
17

SI009
18

SI009
20

SI010
1

SI010
2

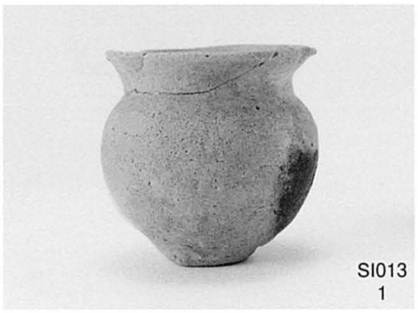
SI009
3

竪穴住居跡出土土器（3）

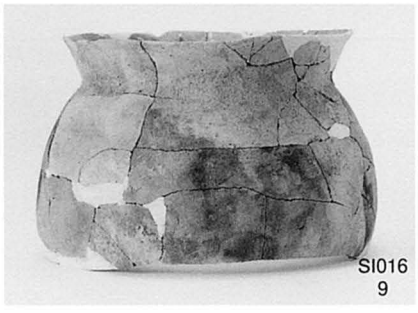
SI010 4

SI010 10

SI012 7


SI013 1

SI016 2


SI016 9

SI010 6

SI010 12

SI012 8

SI014 2

SI016 3

SI017 1

SI010 9

SI010 18

SI012 9

SI016 1

SI016 4

SI017 6

竪穴住居跡出土土器（4）

SI017 7

SI017 8

SI017 10

SI017 11

SI017 12

SI017 13

SI017 14

SI017 15

SI017 19

SI018 1

SI019 1

SI019 2

SI019 8

SI019 5

SI021 1

SI020 2

SI021 6

竪穴住居跡出土土器（5）

SI022
2

SI022
3

SI022
4

SI023
2

SI024
5

SI025
1

SI025
2

SI025
6

SI025
7

SI027
1

SI028
1

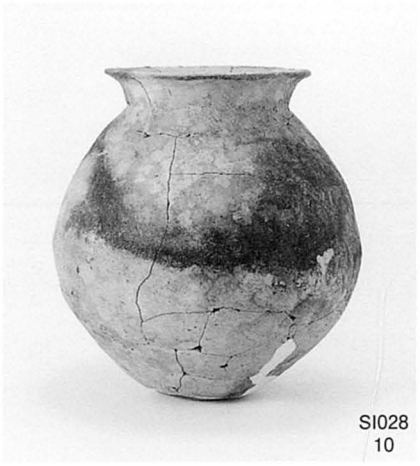
SI028
2

SI028
3

SI028
9

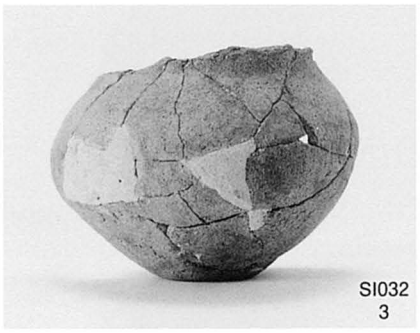
SI028
5

竪穴住居跡出土土器（6）


SI028
10

SI030
3

SI031
12


SI032
3

SI033
2

SI029
3

SI031
8

SI031
13

SI032
4

SI033
5

SI030
1

SI031
9

SI032
1

SI032
5

SI033
6

SI034
2

竪穴住居跡出土土器（7）

SI035
1

SI035
3

SI035
12

SI035
13

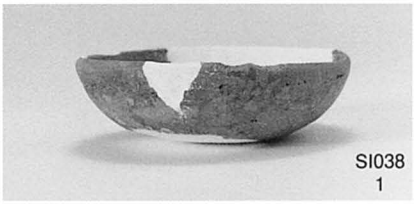
SI035
14

SI035
15

SI035
18

SI036
1

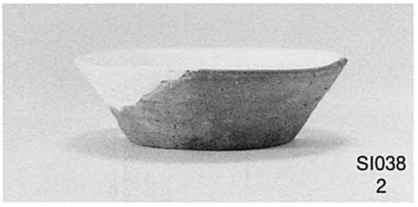
SI036
4


SI038
1

SI036
12

SI036
13

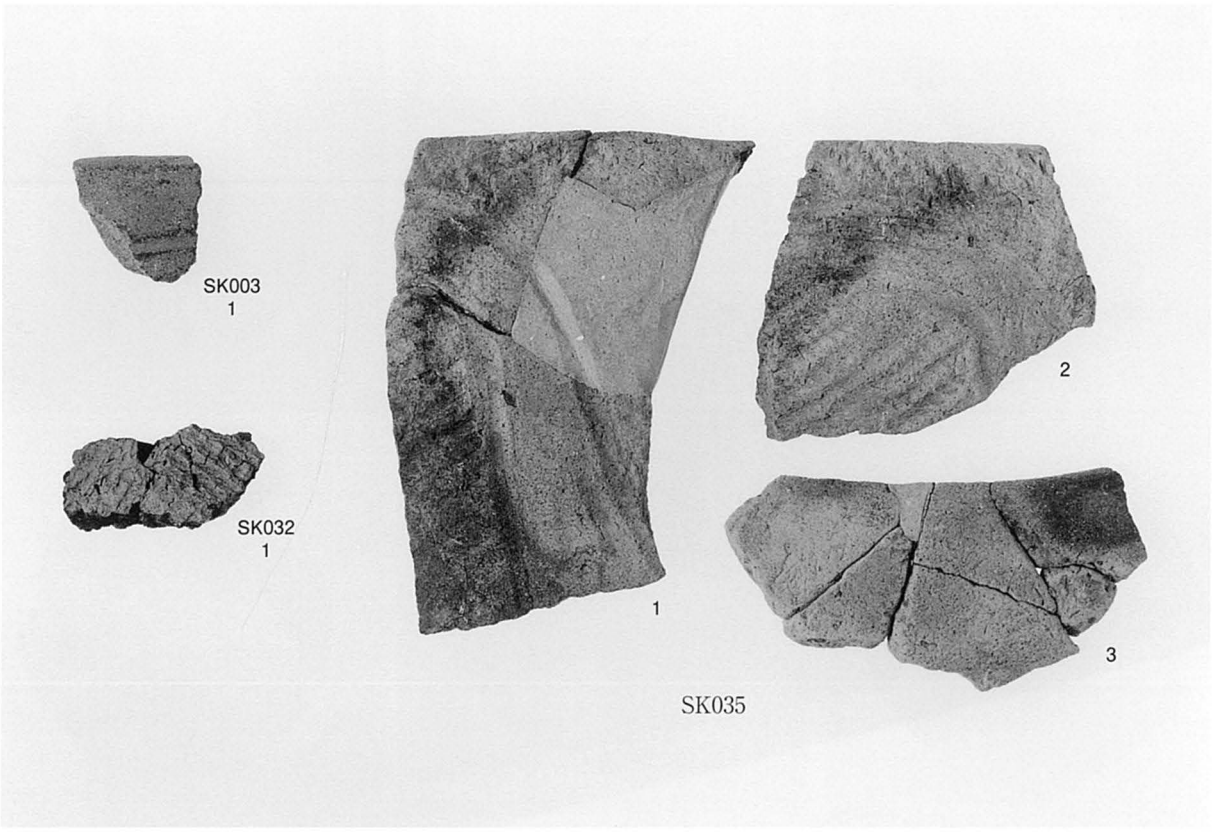
SI040
2

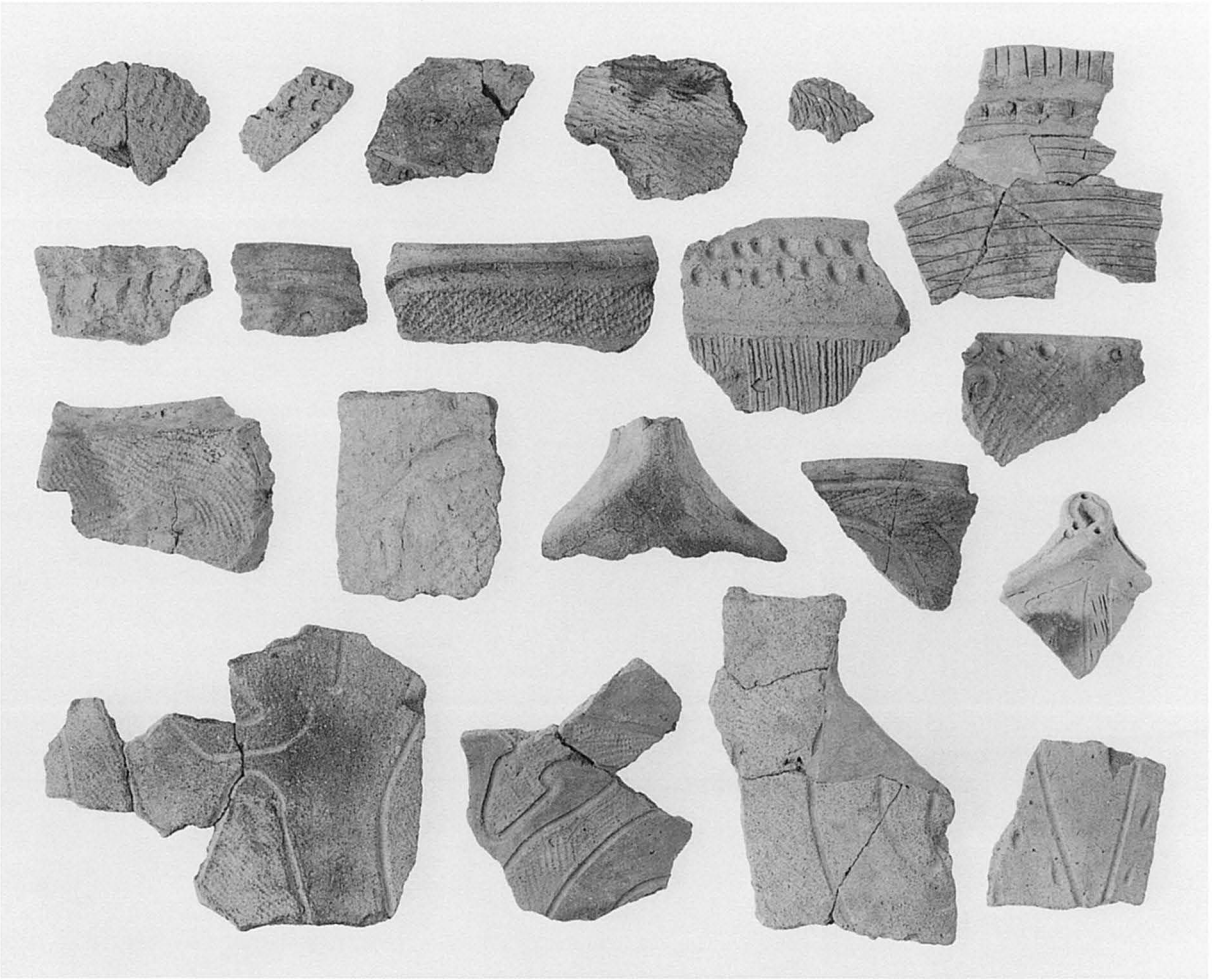

SI038
2

SI038
3

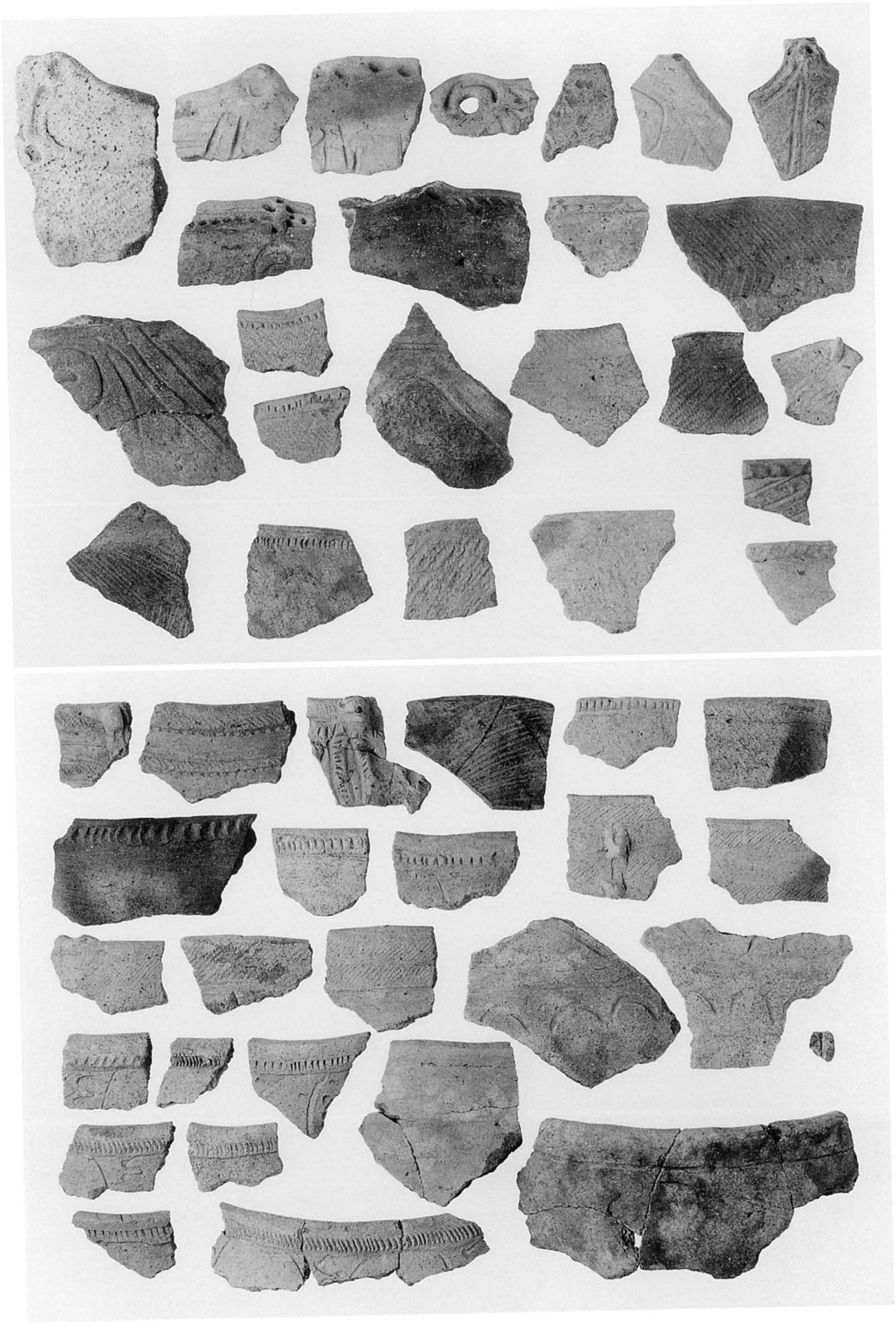
SK004
1

竪穴住居跡・土坑出土土器（8）



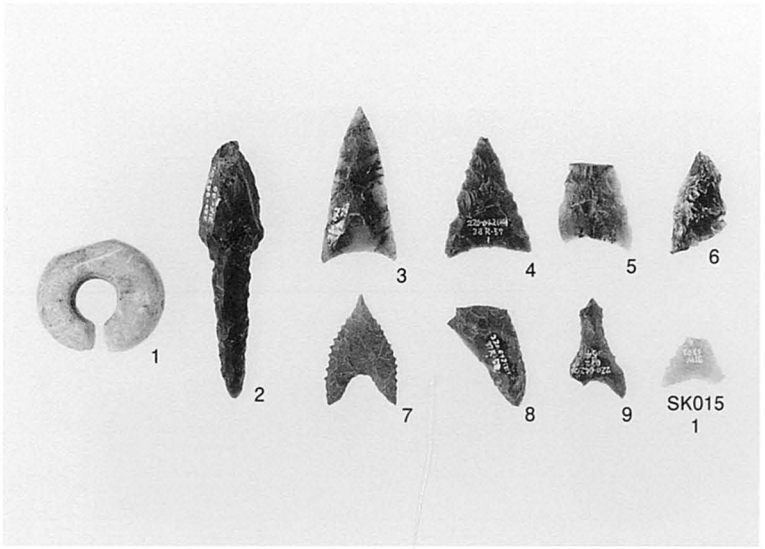


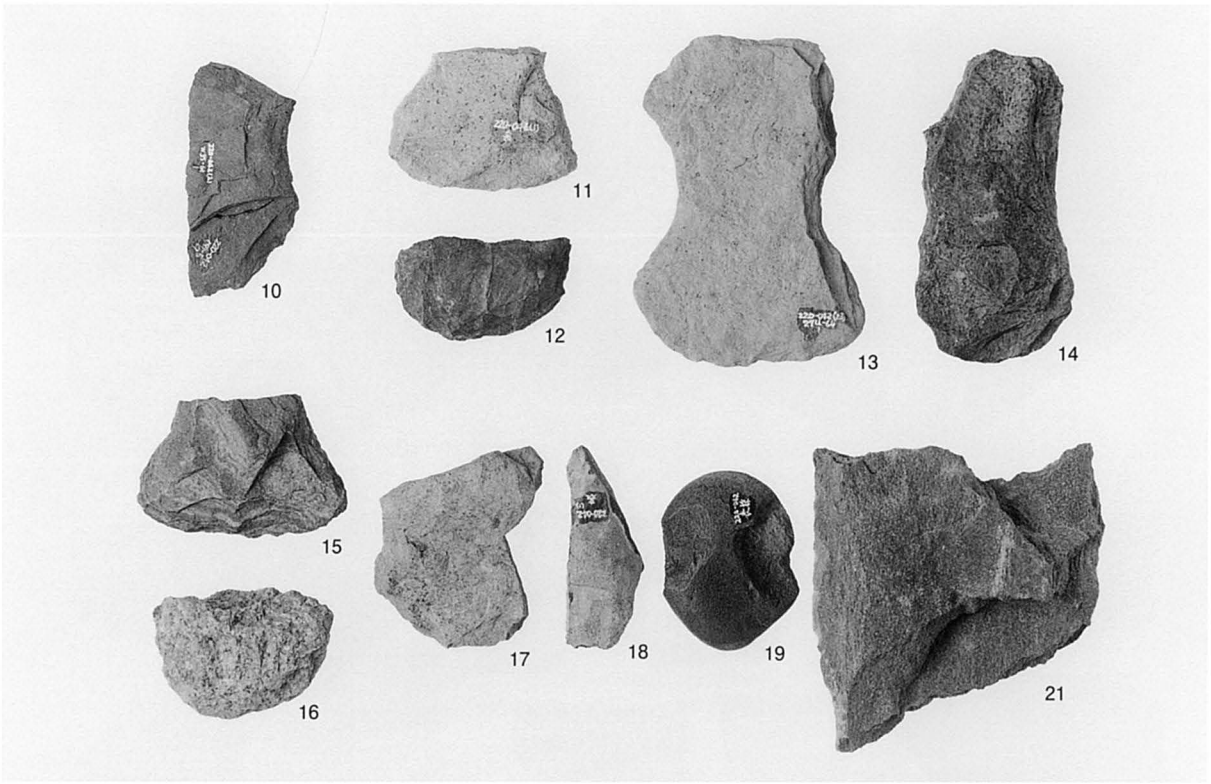
遺構・グリッド出土縄文土器

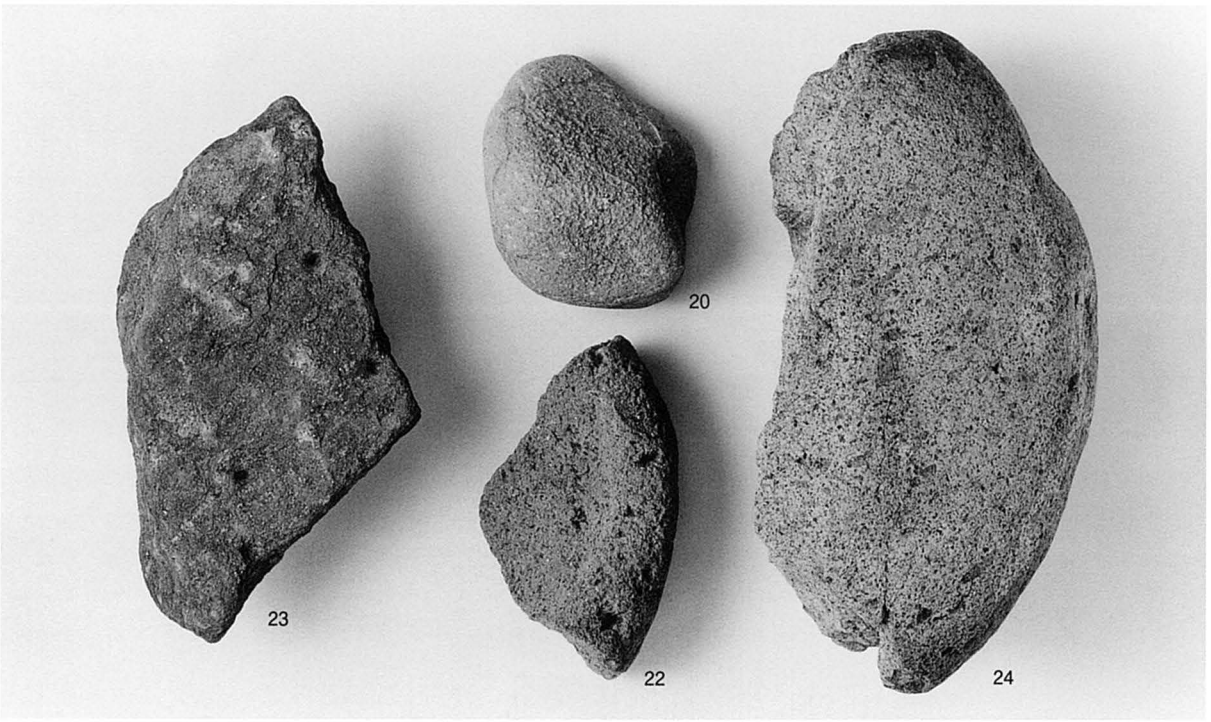


グリッド出土縄文土器

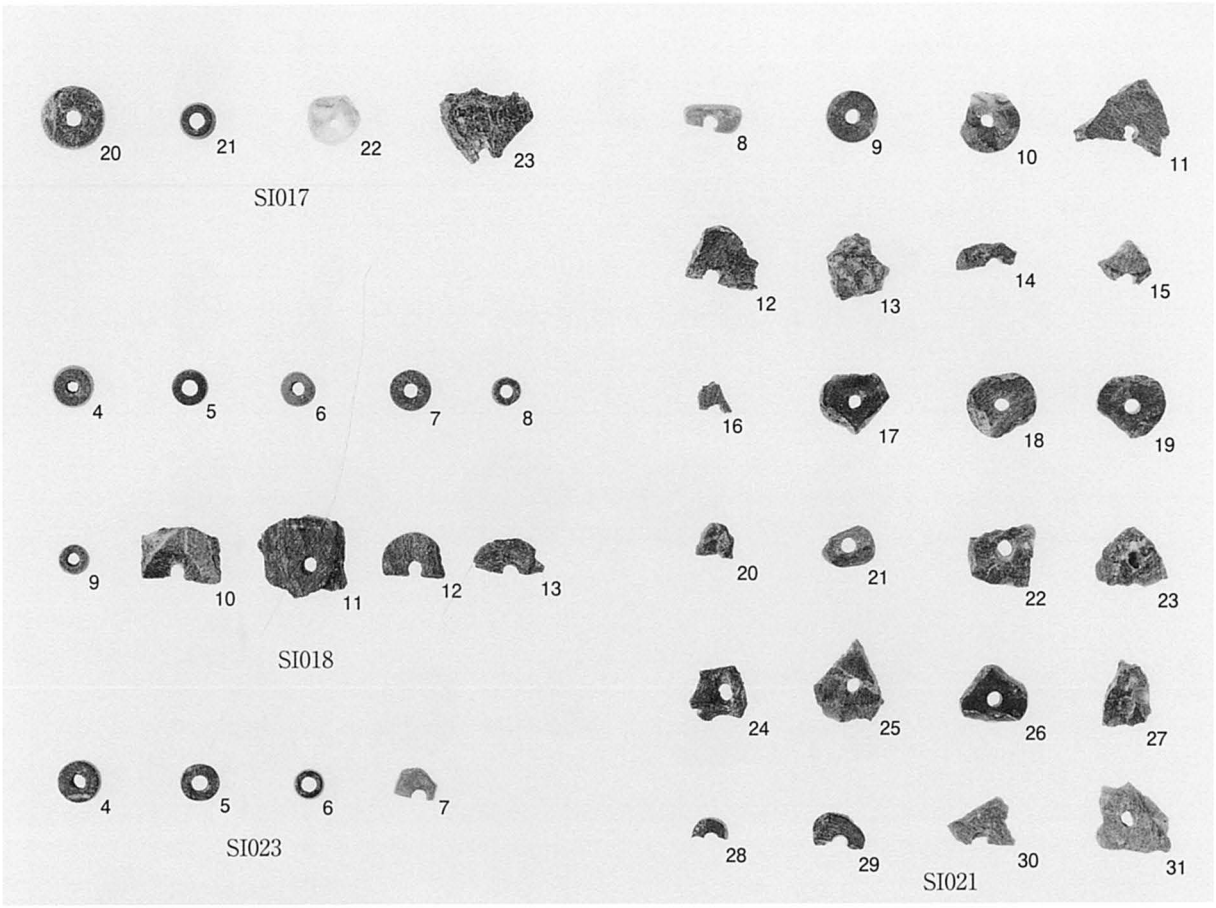
図版50

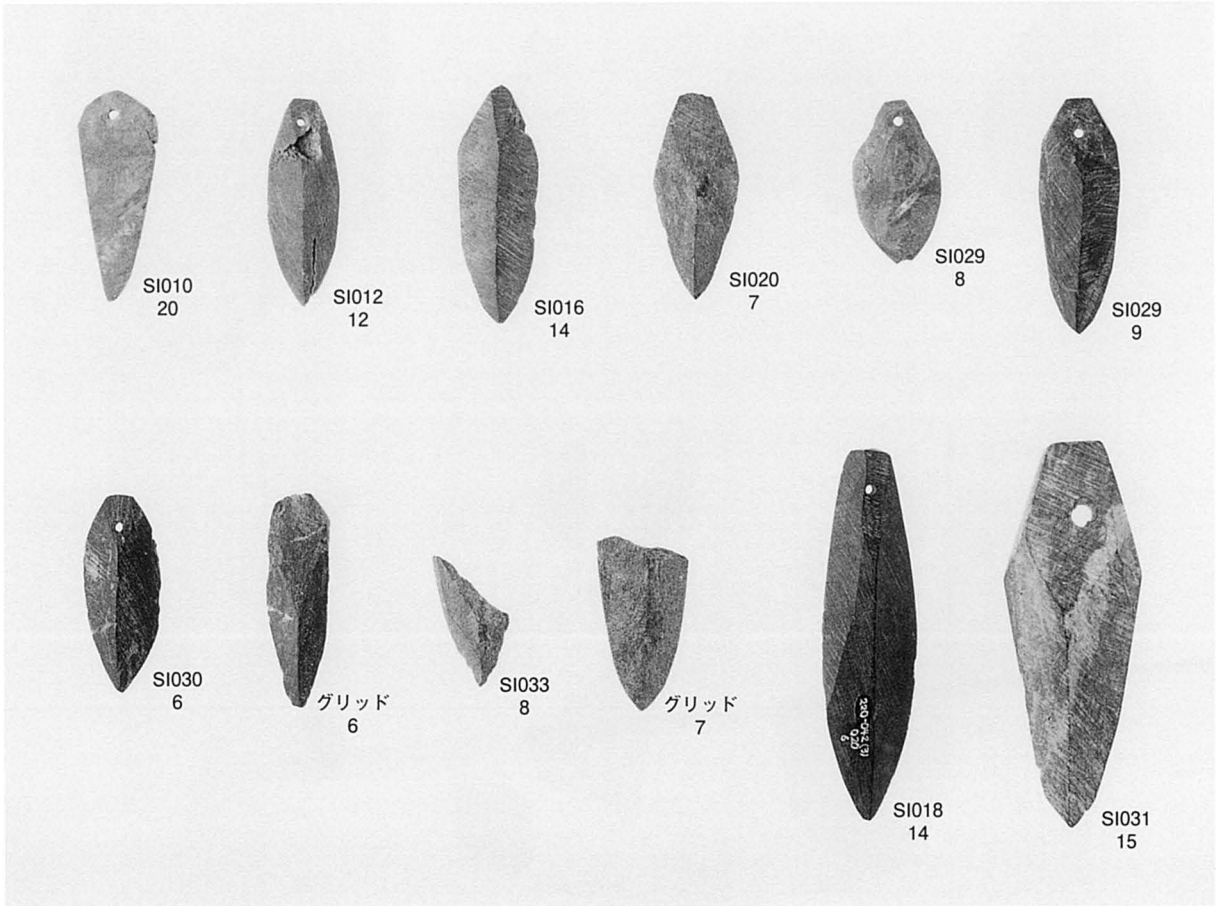






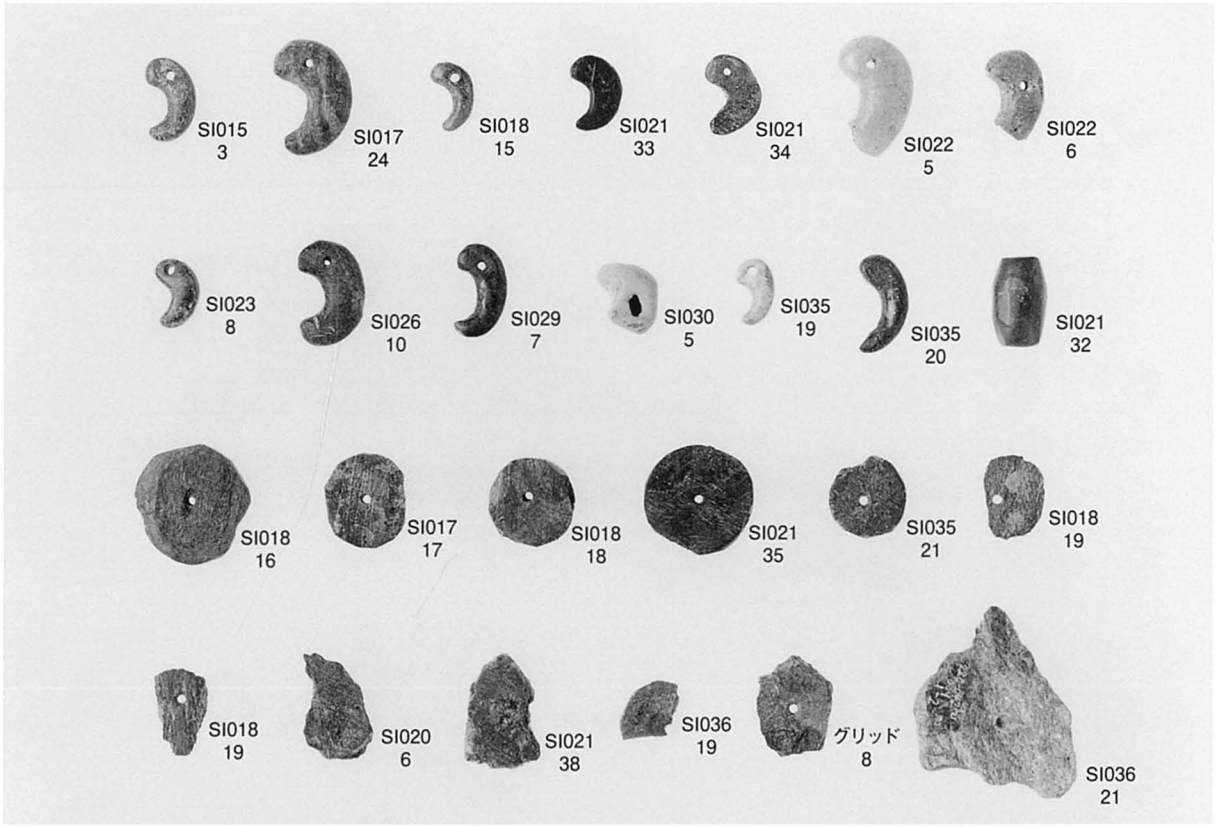
縄文時代石製品・石器

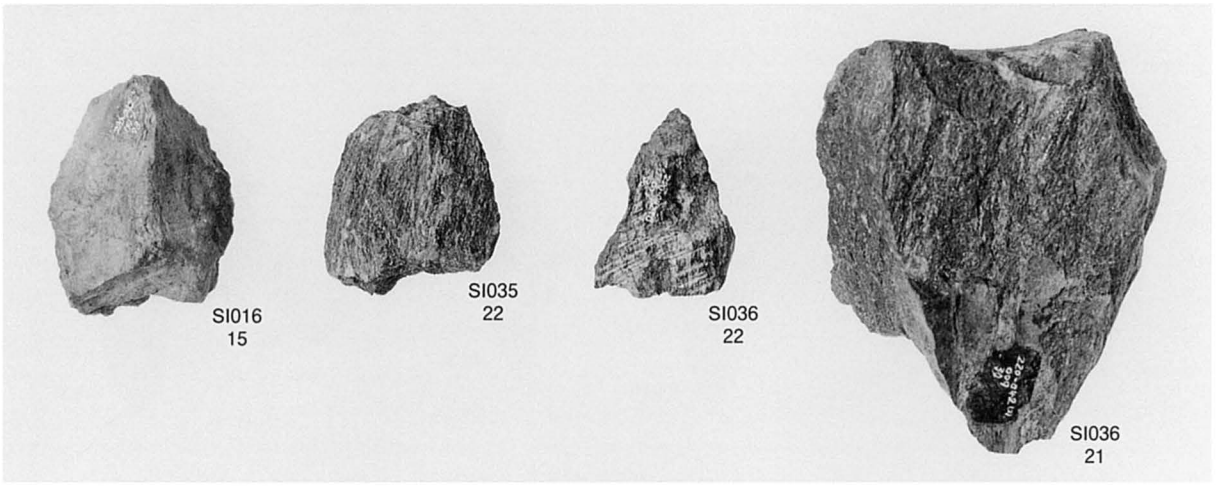

20
21
22
23
SI017
8
9
10
11
12
13
14
15
4
5
6
7
8
16
17
18
19
9
10
11
12
13
SI018
20
21
22
23
24
25
26
27
4
5
6
7
SI023
28
29
30
31
SI021

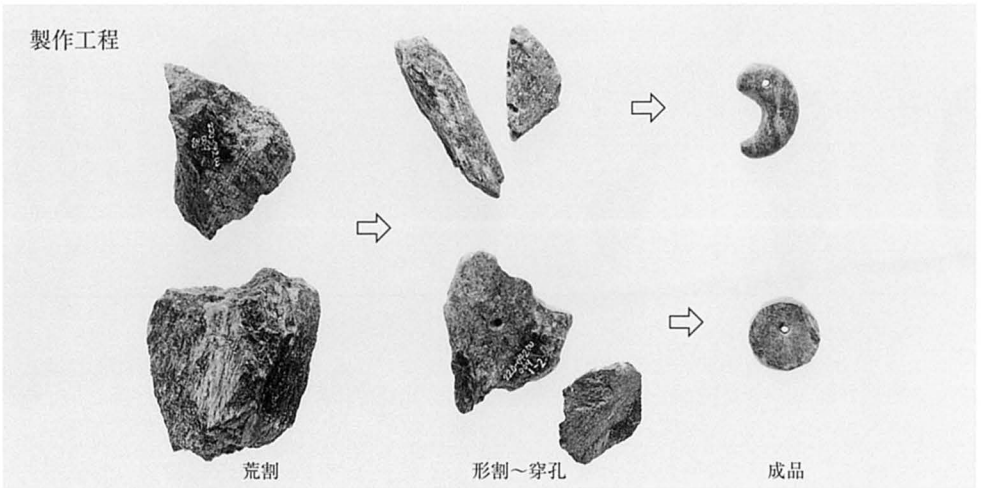

SI010
20
SI012
12
SI016
14
SI020
7
SI029
8
SI029
9
SI030
6
グリッド
6
SI033
8
グリッド
7
SI018
14
SI031
15

石製模造品類（1）

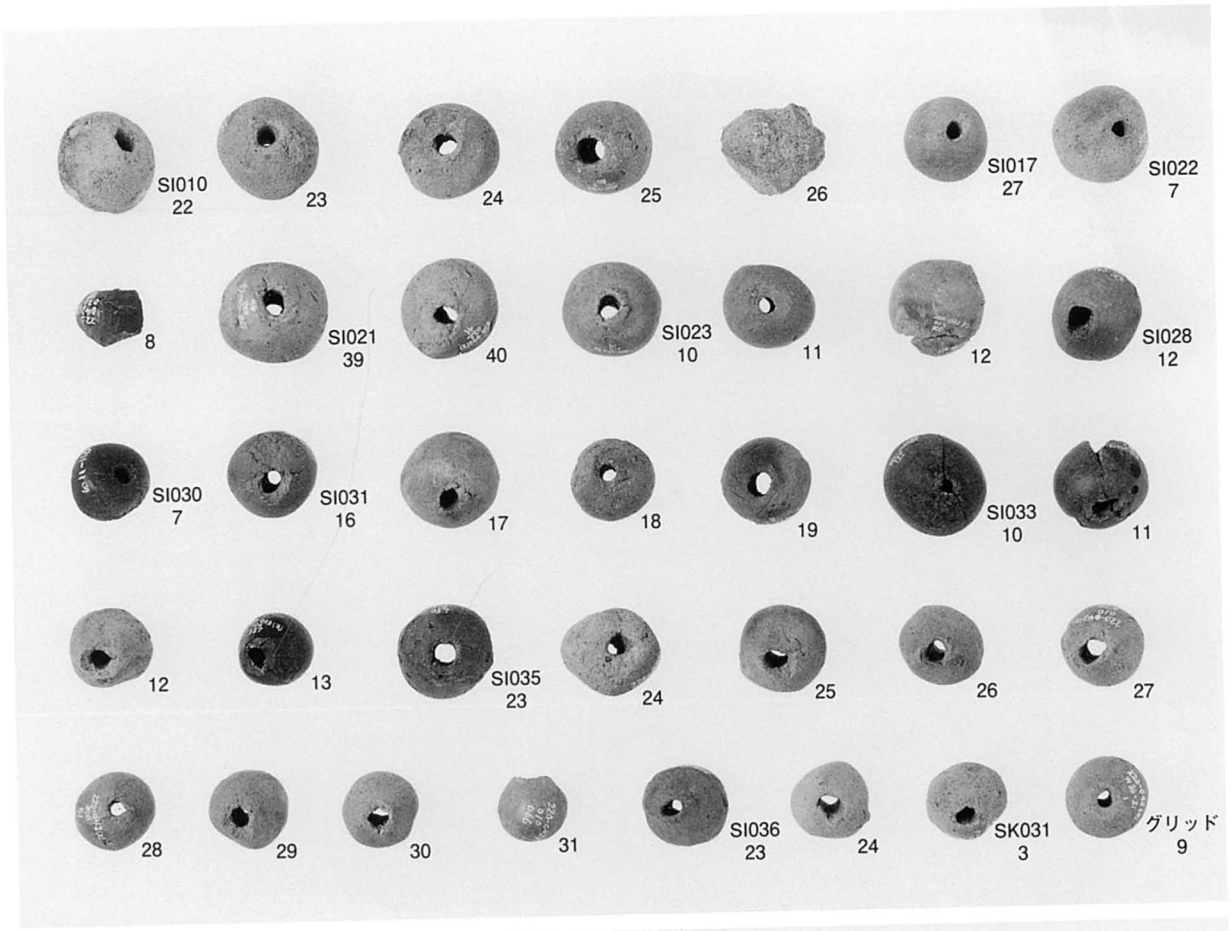
図版52

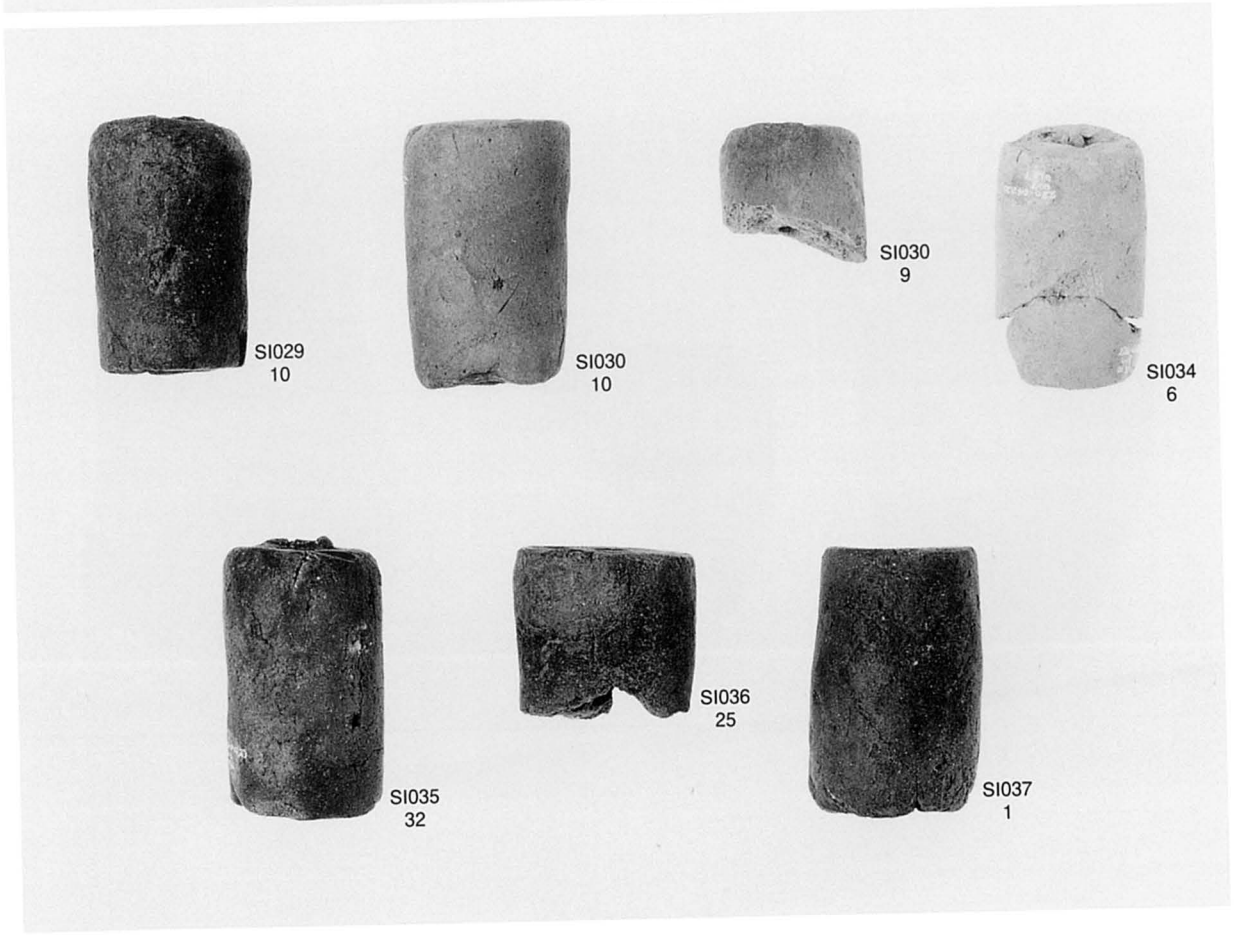






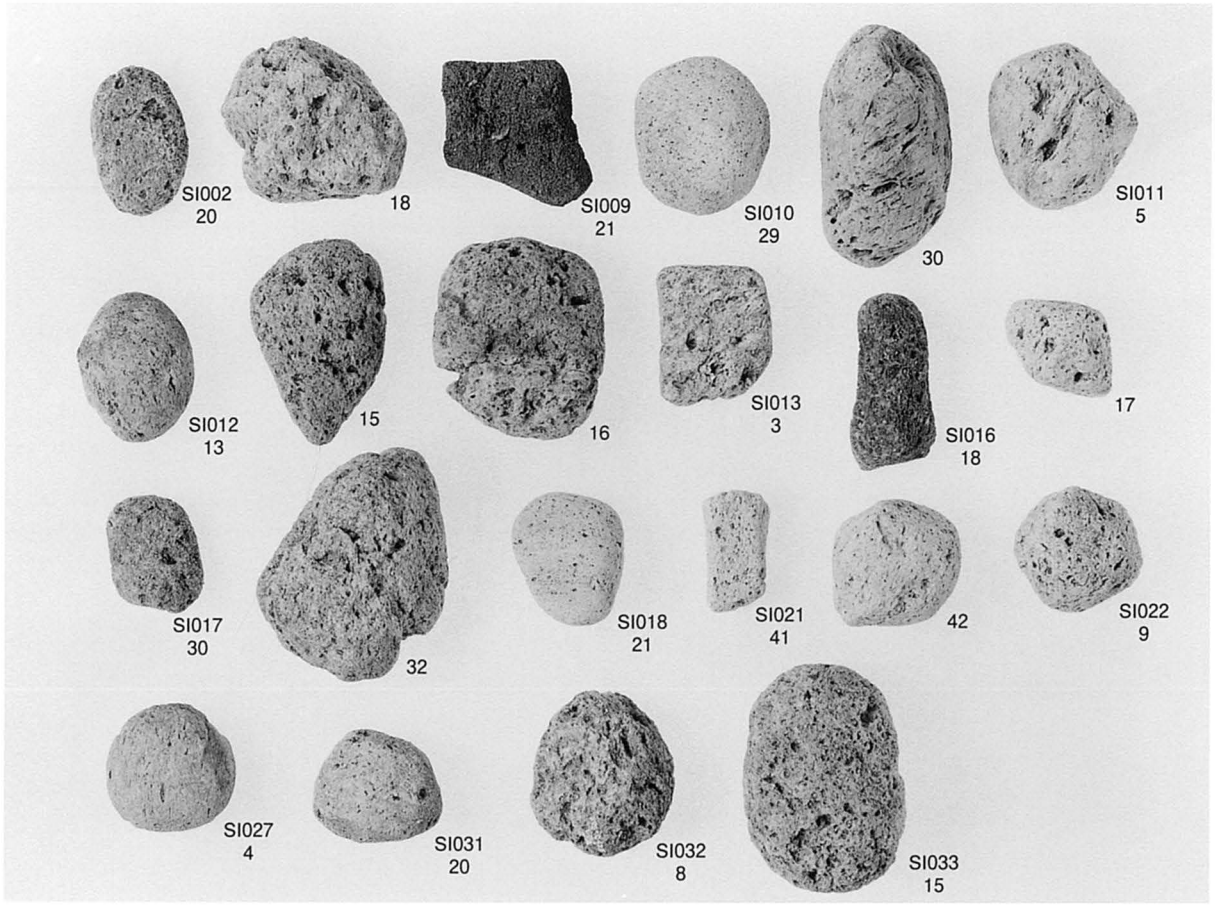
石製模造品類（2）

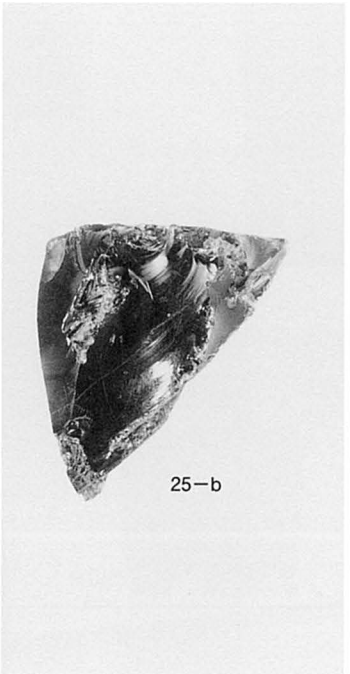

SI010
22
23
24
25
26
SI017
27
SI022
7
8
SI021
39
40
SI023
10
11
12
SI028
12
SI030
7
SI031
16
17
18
19
SI033
10
11
12
13
SI035
23
24
25
26
27
28
29
30
31
SI036
23
24
SK031
3
グリッド
9


SI029
10
SI030
10
SI030
9
SI034
6
SI035
32
SI036
25
SI037
1

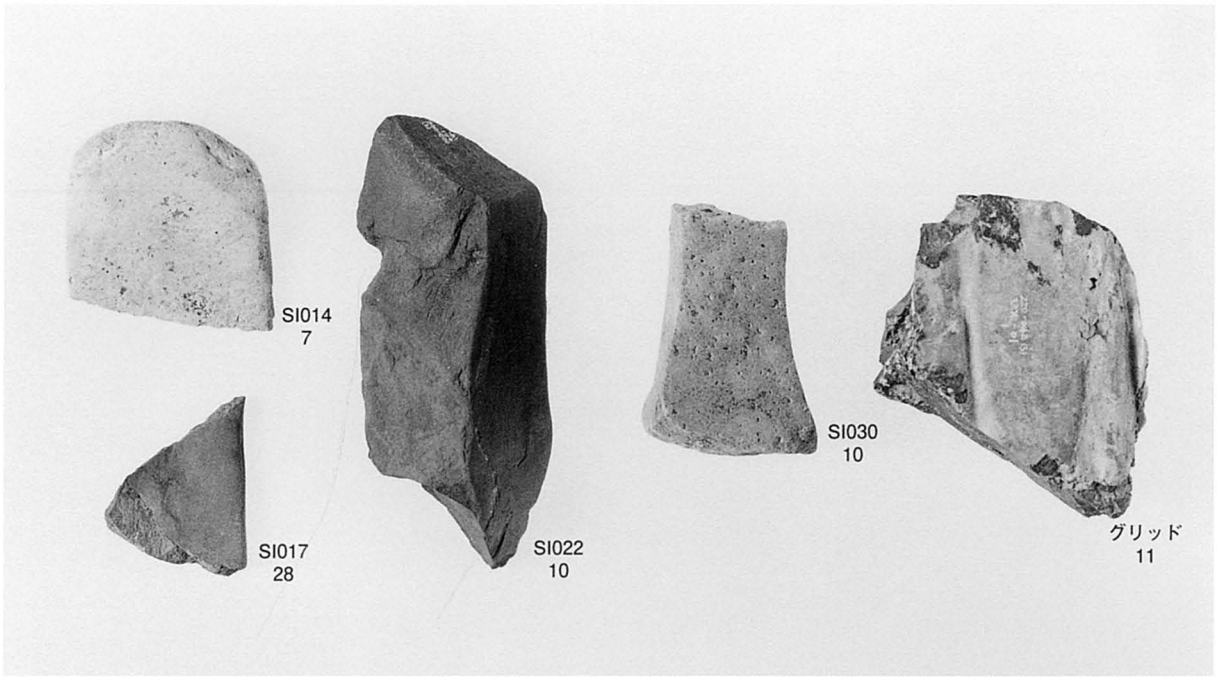
土玉・土錘

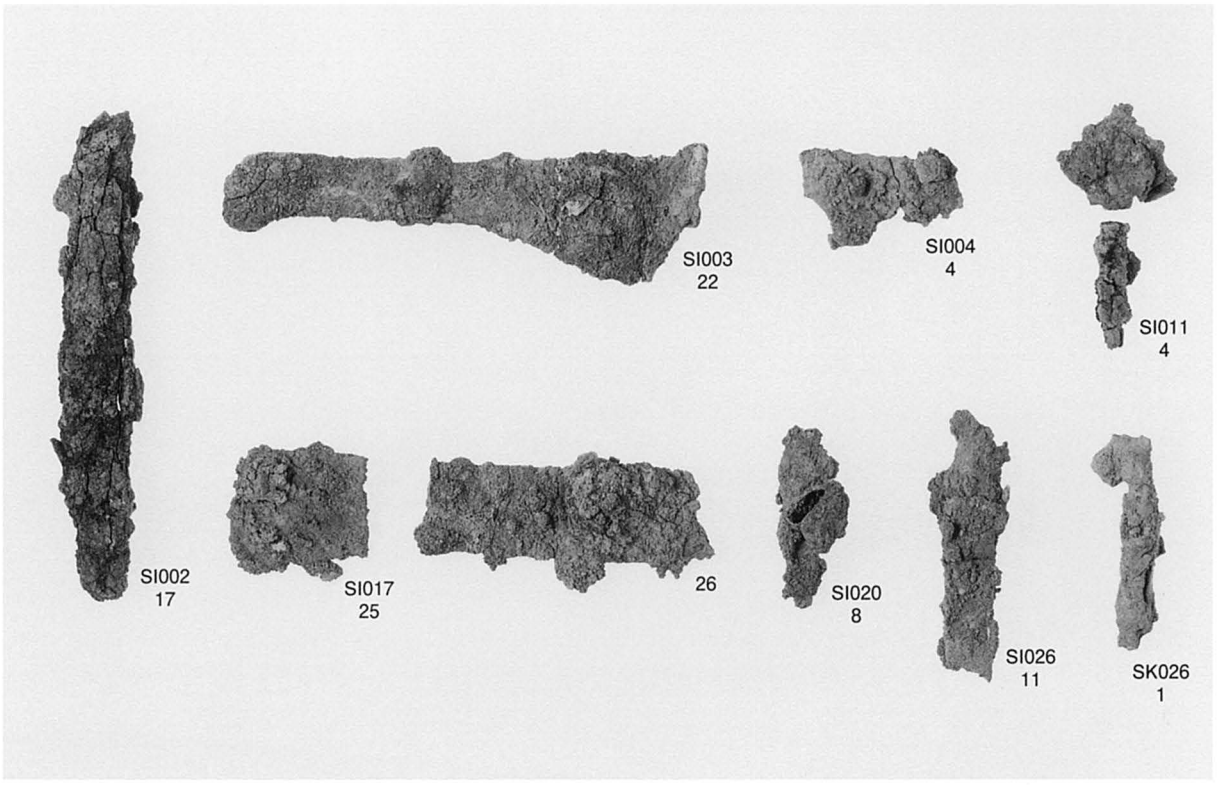
図版54

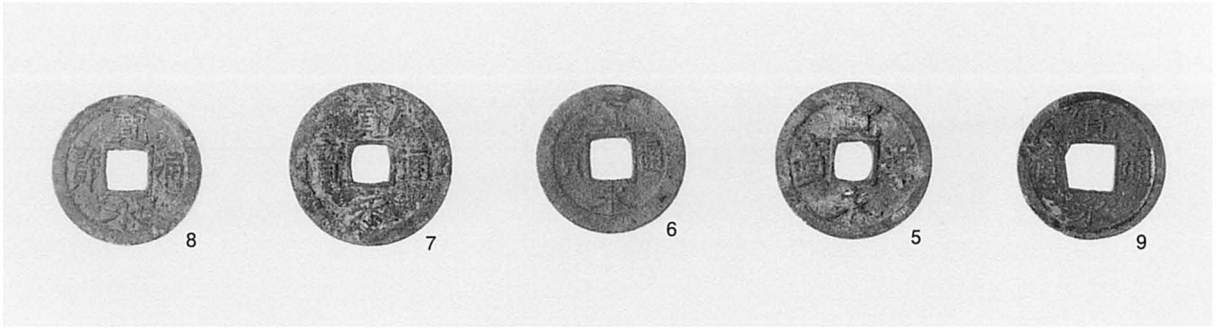




軽石・黒曜石石核


SI014
7
SI017
28
SI022
10
SI030
10
グリッド
11


SI002
17
SI003
22
SI004
4
SI011
4
SI017
25
26
SI020
8
SI026
11
SK026
1


8
7
6
5
9

砥石・鉄製品・銭貨

報告書抄録

ふりがな	ながれやましんしがいちちくまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書３
副書名	市野谷入台遺跡
巻次	３
シリーズ名	財団法人千葉県教育振興財団調査報告
シリーズ番号	第606集
編著者名	伊藤智樹・新田浩三・安井健一
編集機関	財団法人　千葉県教育振興財団　文化財センター
所在地	〒284-0003　千葉県四街道市鹿渡809番地の2　　TEL　043（424）4848
発行年月日	西暦2008年11月28日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
市野谷入台遺跡（いちのやいりだいいせき）	流山市市野谷（ながれやましいちのや）653－1ほか	12220	042	35度52分08秒	139度55分22秒	20000501～20060309	126,488㎡	土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
市野谷入台遺跡	包蔵地	旧石器時代	石器集中地点25か所	角錐状石器、ナイフ形石器、細石刃、細石刃石核	旧石器時代第３文化層は、Ⅴ層～Ⅳ層下部出土で、角錐状石器・ナイフ形石器に礫群が伴って出土。
	集落跡	縄文時代	住居跡　1軒 陥し穴　5基 土坑　10基 炉跡　1基	縄文土器、石器、玦状耳飾	縄文時代は早期の陥し穴、黒浜期の土坑、加曽利Ｅ式期の炉跡、堀ノ内式期の住居跡等を検出。
		古墳時代	住居跡　35軒 土坑　16基	土師器、鉄製品、石製模造品、土玉、管状土錘、砥石、軽石	古墳時代の集落は前期、中期が主体で、中期には石製模造品の工房が存在する。
		奈良・平安時代	住居跡　4軒	土師器、須恵器、管状土錘	
		中近世	竪穴建物　8棟 土坑　4基 溝状遺構　3条	陶器、砥石、銭貨	

要約	旧石器時代は５時期の石器群が検出された。古墳時代の集落は、既刊の市野谷宮尻遺跡、西初石五丁目遺跡と一体を成し、前期から中期中葉まで継続する。中期には小規模ながら勾玉・剣形品・臼玉等の石製模造品の工房跡が存在し、遺跡の所在する下総西部地域の製作跡の中では、その開始時期が古い段階にある点で重要な遺跡である。

千葉県教育振興財団調査報告第606集

流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書３

― 流山市市野谷入台遺跡 ―

平成20年11月28日発行

編　　集　　財団法人　千葉県教育振興財団
文化財センター

発　　行　　独立行政法人　都市再生機構千葉地域支社
千葉市美浜区中瀬１－３

財団法人　千葉県教育振興財団
四街道市鹿渡809番地の２

印　　刷　　株式会社　正文社
千葉市中央区都町１－10－６